

FUJITSU Server

PRIMEQUEST 3000 シリーズ

運用管理ツールリファレンス(MMB)



2022 年 10 月版

CA92344-1657-18

はじめに

本書は、MMB の機能の詳細など、運用の際に必要な操作や設定方法について説明しています。本書は、システム管理者を対象に書かれています。なお、各種基準、規格への適合状況や安全上のご注意などは、『PRIMEQUEST 3000 シリーズ 安全にご使用いただくために』（CA92344-1646）を参照してください。

本書の構成

本書の構成は以下のとおりです。

第 1 章 MMB の Web-UI の概要

MMB の Web-UI の概要について説明しています。

第 2 章 MMB の Web-UI (Web ユーザーインターフェース) 操作

MMB の Web-UI を使って PRIMEQUEST 3000 シリーズを管理／運用するためのメニューの一覧と、操作方法について説明しています。

第 3 章 MMB の CLI (コマンドラインインターフェース) 操作

MMB が提供する CLI (Command Line Interface) について説明しています。

付録 A 設定項目の一覧

各画面の設定項目の一覧を示しています。

製品の使用環境

本製品は電子計算機室での使用を前提とした電子計算機です。なお、使用環境の詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

『PRIMEQUEST 3000 シリーズ設置マニュアル』（CA92344-1654）

安全上の注意事項

警告表示

このマニュアルでは、使用者や周囲の方の身体や財産に損害を与えないために以下の警告表示をしています。



「警告」とは、正しく使用しない場合、死亡する、または重傷を負うことがあり得ることを示しています。



「注意」とは、正しく使用しない場合、軽傷、または中程度の傷害を負うことがあり得ることと、当該製品自身またはその他の使用者などの財産に、損害が生じる危険性があることを示しています。

重 要

「重要」とは、効果的な使い方など、使用者にとって価値のある情報であることを示しています。

本文中の警告表示の仕方

警告レベルの記号の後ろに警告文が続きます。警告文は、通常の記述と区別するため、行端を変えています。さらに、通常の記述行からは、前後 1 行ずつ空けています。



本製品および当社提供のオプション製品について、以下に示す作業は当社技術員が行います。お客様は絶対に作業しないようお願いします。感電・負傷・発火のおそれがあります。

- 各装置の新規設置と移設
- 前面、後面と側面カバーの取外し
- 内蔵オプション装置の取付け／取外し
- 外部インターフェースケーブルの抜き差し
- メンテナンス（修理と定期的な診断と保守）

また、重要な警告表示は「重要警告事項の一覧」としてまとめて記載しています。

重要警告事項の一覧

本マニュアルには、重要な警告事項は記載されていません。

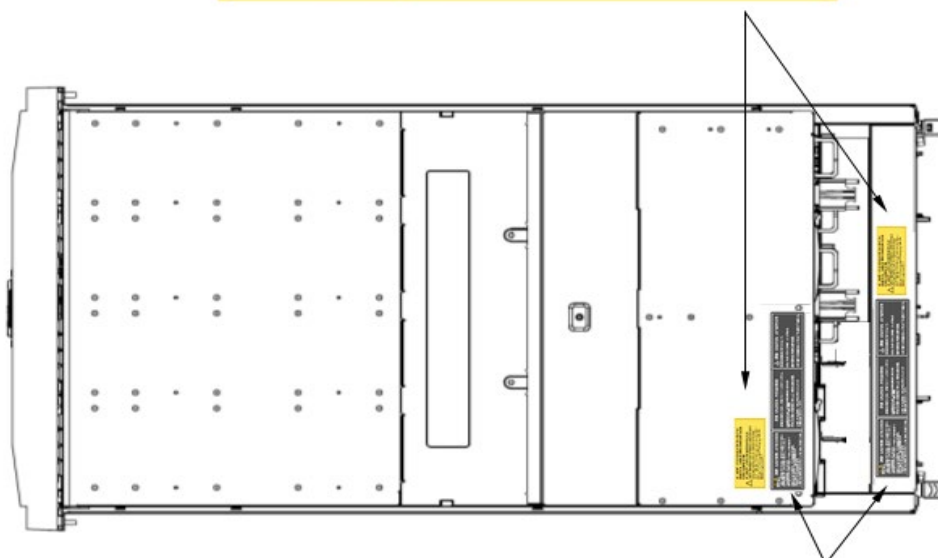
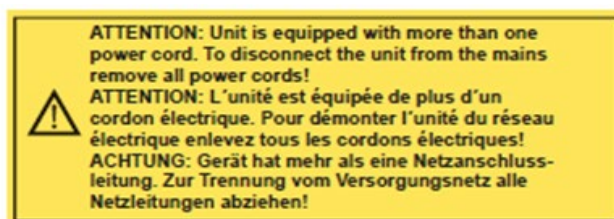
警告ラベル

当製品には以下のようにラベルが貼付してあります。以下のラベルは当製品の使用者を対象としています。

⚠ 注意

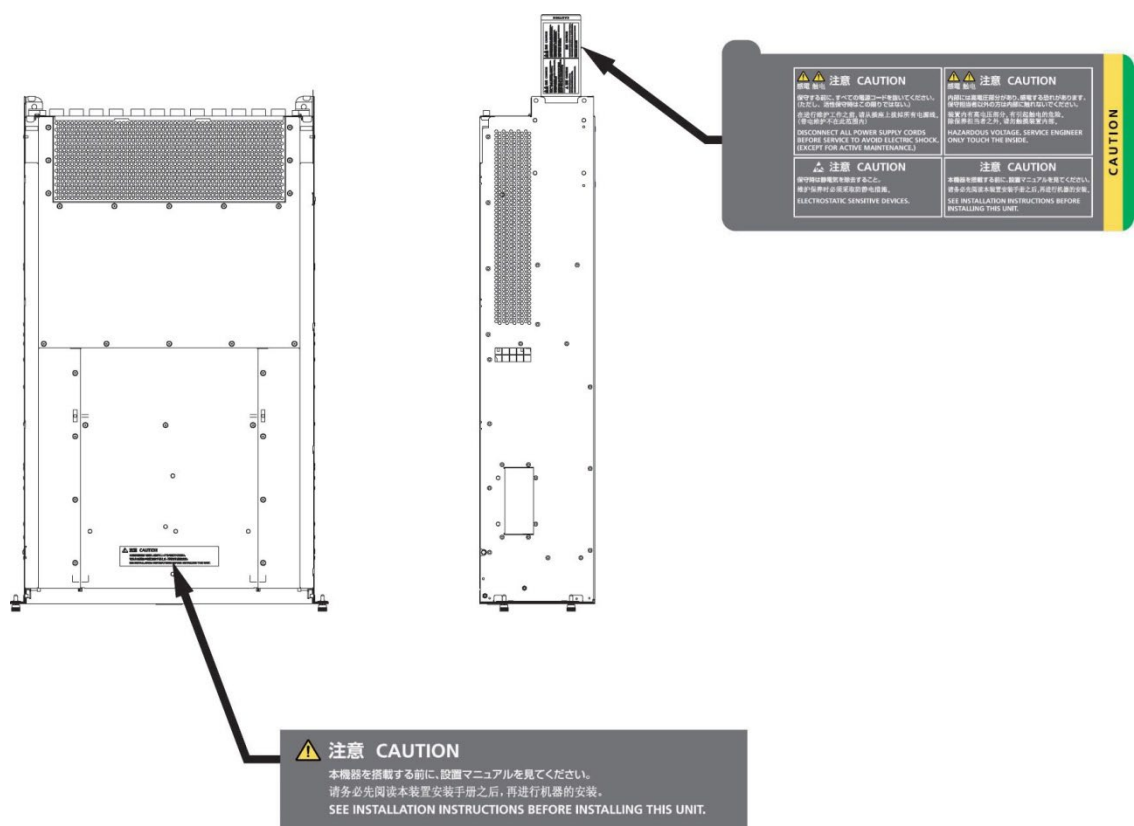
ラベルは絶対にはがさないでください。

警告ラベル位置(本体装置上面)



⚠ 注意 CAUTION ATTENTION 感電 触电 内部には高電圧部分があり、感電する恐れがあります。 保守担当者以外の方は内部に触れないでください。 HAZARDOUS VOLTAGE. SERVICE ENGINEER ONLY TOUCH THE INSIDE. 装置内有高电压部分，有引起触电的危险。 除保养担当者之外，请勿触摸装置内部。 TENSIONS DANGEREUSES. SEUL UN INGÉNIEUR PEUT VÉRIFIER L'INTÉRIEUR.	注意 CAUTION ATTENTION 本機器を搭載する前に、設置マニュアルを見てください。 SEE INSTALLATION INSTRUCTIONS BEFORE INSTALLING THIS UNIT. 请务必先阅读本装置安装手册之后，再进行机器的安装。 VOIR LE MANUEL D'INSTRUCTIONS AVANT D'INSTALLER CET UNITÉ.	⚠ 注意 CAUTION ATTENTION 保守時は静電気を除去すること。 ELECTROSTATIC SENSITIVE DEVICES. 维护保养时必须采取防静电措施。 CIRCUITS SENSIBLES A L'ELECTRICITÉ STATIQUE.
--	--	---

警告ラベル位置(PCI ボックス)



製品取扱い上の注意事項

本製品について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください。

添付品の保管について

添付品はサーバの運用上必要になりますので、大切に保管してください。

オプション製品の増設

PRIMEQUEST 3000 シリーズを安定してご使用いただくために、オプション製品の増設時には弊社指定のオプション製品をご使用ください。

弊社指定以外のオプション製品をご使用いただく場合、PRIMEQUEST 3000 シリーズの動作保証は一切いたしかねますので、ご注意ください。

本製品の輸出または提供について

本製品を輸出又は提供する場合は、外国為替及び外国貿易法および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認の上、必要な手続きをおとりください。

メンテナンス

警告

本製品および当社提供のオプション製品について、以下に示す作業は当社技術員が行います。お客様は絶対に作業しないようお願いします。感電・負傷・発火のおそれがあります。

- 各装置の新規設置と移設
- 前面、後面と側面カバーの取外し
- 内蔵オプション装置の取付け／取外し
- 外部インターフェースケーブルの抜き差し
- メンテナンス（修理と定期的な診断と保守）

注意

製品および当社提供のオプション製品について、以下に示す作業は当社技術員が行います。お客様は絶対に作業しないようお願いします。故障の原因となるおそれがあります。

- お客様のお手元に届いたオプションアダプターなどの開梱

本製品の改造／再生

注意

本製品に改造を加えたり、本製品の中古品を富士通に無断でオーバーホールなどによって再生したりして使用する場合、使用者や周囲の方の身体や財産に予期しない損害が生じるおそれがあります。

ご不要になったときの廃棄・リサイクル

法人、企業のお客様へ当社では、法人のお客様から排出される富士通製 ICT 製品を回収・リサイクル（有償）し、資源の有効利用に積極的に取り組んでいます。詳細は、当社ホームページ「ICT 製品の処分・リサイクル方法、コンデンサ製品の PCB」（<https://www.fujitsu.com/jp/about/environment/recycleinfo/>）をご覧ください。

廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意

本機器を使用していた状態のまま廃棄・譲渡すると、ハードディスク内のデータを第三者に読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。機密情報や重要なデータの流出を防ぐためには、本機器を廃棄・譲渡する際に、ハードディスク上のすべてのデータを消去することが必要となります。ところが、ハードディスク上のデータを消去するというのは、それほど容易なことではありません。ハードディスクを初期化（フォーマット）したり、OS 上からファイルを削除したりする操作をただけでは、一見データが消去されたように見えますが、ただ単に OS 上でそれらのデータを読み出す処理ができなくなっただけであり、悪意を持った第三者によってデータが復元されるおそれがあります。従って、お客様の機密情報や重要なデータをハードディスク上に保存していた場合には、上に挙げるような操作をするだけでなく、データ消去のサービスを利用するなどして、これらのデータを完全に消去し、復元されないようにすることをお勧めします。お客様が、廃棄・譲渡等を行う際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。

なお、ソフトウェア使用許諾（ライセンス）契約により、ソフトウェア（OS やアプリケーション・ソフトウェア）の第三者への譲渡が制限されている場合、ハードディスク上のソフトウェアを削除することなくサーバなどを譲渡すると、契約違反となる可能性があるため、そうした観点からも十分な確認を行う必要があります。

弊社では、お客様の機密情報や重要なデータの漏洩を防止するため、お客様が本機器を廃棄・譲渡する際にハードディスク上のデータやソフトウェアを消去するサービスを提供しておりますので、是非ご利用ください。

- データ消去サービス

弊社の専門スタッフがお客様のもとにお伺いし、短時間で、磁気ディスクおよび磁気テープ媒体上のデータなどを消去するサービスです。

詳しくは、データ消去サービス（<https://www.fujitsu.com/jp/services/infrastructure/maintenance/lcm/service-phase4/h-elimination/>）をご覧ください。

サポート&サービス

■ SupportDesk について（有償）

システムの安定稼働に向け、保守・運用支援サービス「SupportDesk」のご契約をお勧めします。ご契約により、ハードウェア障害時の当日訪問修理対応、定期点検、障害予兆／異常情報のリモート通報、電話によるハードウェア／ソフトウェアの問題解決支援、お客様専用ホームページでの運用支援情報提供などのサービスが利用できます。詳しくは、SupportDesk 紹介ページ「製品サポート」

（<https://www.fujitsu.com/jp/services/infrastructure/service-desk/index.html>）を参照してください。

■ 製品・サービスに関するお問い合わせ

製品の使用方法や技術的なお問い合わせ、ご相談については、製品を購入された際の販売会社、または弊社担当営業員・システムエンジニア（SE）にご連絡ください。PRIMEQUEST 3000 シリーズに関するお問い合わせ先がご不明なときやお困りのときには、「富士通コンタクトライン」にご相談ください。

■ 富士通コンタクトライン

- 電話によるお問い合わせ

電話：0120-933-200（通話料無料）

受付時間 9:00～12:00 および 13:00～17:30（土・日・祝日・当社指定の休業日を除く）

富士通コンタクトラインでは、お問い合わせ内容の正確な把握、およびお客様サービス向上のため、お客様との会話を記録・録音させていただいておりますので、あらかじめご了承ください。

- Web によるお問い合わせ

Web によるお問い合わせも承っております。詳細については、富士通ホームページをご覧ください。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primequest/contact/>

■ 保証について

保証期間中に故障が発生した場合には、保証書に記載の内容に基づき無償修理いたします。詳細については、保証書をご覧ください。

■ 修理ご依頼の前に

本体装置に異常が発生した場合は、『PRIMEQUEST 3000 シリーズ運用管理マニュアル』（CA92344-1656）の「11.2 トラブル対応」を参照して、内容をご確認ください。それでも解決できない異常については、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。

ご連絡の際は、本体装置前面部右側にある貼付ラベルに記載の型名、および製造番号を確認し、お伝えください。また、事前に『PRIMEQUEST 3000 シリーズ運用管理マニュアル』（CA92344-1656）の「11.2 トラブル対応」をご覧ください、必要事項を確認してください。お客様が退避したシステム設定情報は、保守時に使用します。

マニュアルについて

このマニュアルの取扱いについて

このマニュアルには本製品を安全に使用していただくための重要な情報が記載されています。本製品を使用する前に、このマニュアルを熟読し理解したうえで当製品を使用してください。また、このマニュアルは大切に保管してください。富士通は、使用者および周囲の方の身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っています。本製品を使用する際は、マニュアルの説明に従ってください。

本ドキュメントを輸出又は提供する場合は、外国為替及び外国貿易法および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認の上、必要な手続きをおとりください。

PRIMEQUEST 3000 シリーズのマニュアル体系

PRIMEQUEST 3000 シリーズをご利用いただくためのマニュアルとして、以下のマニュアルが用意されています。
マニュアルは以下のサイトから閲覧できます。

日本語版マニュアル：

<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primequest/products/3000/catalog/>

英語版マニュアル：

<https://support.ts.fujitsu.com/>

タイトル	説明	マニュアルコード
PRIMEQUEST 3000 シリーズ はじめにお読みください	PRIMEQUEST 3000 シリーズの開梱後、参照すべきマニュアルおよび重要な情報へのアクセス方法について説明しています。(製品添付マニュアル)	CA92344-1645
PRIMEQUEST 3000 シリーズ 安全にご使用いただくために	PRIMEQUEST 3000 シリーズを安全にご使用いただくための重要な情報について説明しています。	CA92344-1646
PRIMEQUEST 3000 シリーズ 製品概説	PRIMEQUEST 3000 シリーズの機能や特長について説明しています。	CA92344-1653
SPARC M10 システム/SPARC Enterprise/PRIMEQUEST 共通設置計画マニュアル	SPARC M10 システム/SPARC Enterprise および PRIMEQUEST を設置するための、設置計画および設備計画に必要な事項や考え方を説明しています。	C120-H007
PRIMEQUEST 3000 シリーズ 設置マニュアル	PRIMEQUEST 3000 シリーズを設置するための仕様や設置場所の要件について説明しています。	CA92344-1654
PRIMEQUEST 3000 シリーズ 導入マニュアル	導入のための準備や初期設定、ソフトウェアのインストールなど、PRIMEQUEST 3000 シリーズのセットアップについて説明しています。	CA92344-1655
PRIMEQUEST 3000 シリーズ 運用管理マニュアル	システムを運用・管理する際に必要なツール・ソフトウェアの利用方法、および保守（コンポーネントの交換、異常通知）の方法について説明しています。	CA92344-1656
PRIMEQUEST 3000 シリーズ 運用管理ツールリファレンス (MMB)	運用の際に必要な MMB の操作や設定方法について説明しています。	CA92344-1657
PRIMEQUEST 3000 シリーズ 運用管理ツールリファレンス (UEFI)	運用の際に必要な UEFI の操作や設定方法について説明しています。	CA92344-1658
PRIMEQUEST 3000 シリーズ 運用管理ツールリファレンス (sadump, Dynamic Reconfiguration)	運用の際に必要な sadump や Dynamic Reconfiguration の操作や設定方法について説明しています。	CA92344-1659
PRIMEQUEST 3000 シリーズ メッセージリファレンス	運用中にトラブルが発生したときのメッセージとその対処方法について説明しています。	CA92344-1660
PRIMEQUEST 3000 シリーズ 用語集・略語集	PRIMEQUEST 3000 シリーズに関する用語および略語について説明しています。	CA92344-1661
PRIMEQUEST 3000 シリーズ REMCS サービス導入マニュアル	REMCS サービスの導入と操作について説明しています。	CA92344-1662
PRIMEQUEST 3000 シリーズ iRMC S5 RESTful API	PRIMEQUEST 3000 シリーズに関する REST API について説明しています。	CA92344-1673

関連するマニュアル

PRIMEQUEST 3000 シリーズに関連するマニュアルとして、以下のマニュアルが用意されています。関連するマニュアルと最新の ServerView Suite マニュアルは以下のサイトから閲覧できます。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primequest/products/3000/catalog/>

タイトル	説明
Linux ユーザーズマニュアル	Red Hat 社から公開されている RHEL 向けマニュアルを補足するマニュアルです。RHEL システムの設計、導入、運用、保守に関する技術情報および参考となる考え方を提供します。 本書では、Red Hat Enterprise Linux を総称して「Linux ユーザーズマニュアル」と表記しています。
ServerView Suite ServerView Operations Manager Quick Installation (Windows)	Windows 環境での ServerView Operations Manager のインストールと起動方法について説明しています。
ServerView Suite ServerView Operations Manager Quick Installation (Linux)	Linux 環境での ServerView Operations Manager のインストールと起動方法について説明しています。
ServerView Suite ServerView Installation Manager	ServerView Installation Manager を使ったインストールについて説明しています。
ServerView Suite ServerView Operations Manager Server Management	ServerView Operations Manager によるサーバ監視の概要と、ServerView Operations Manager のユーザーインターフェースについて説明しています。
ServerView Suite ServerView RAID Management User Manual	ServerView RAID Manager による RAID 管理について説明しています。
ServerView Suite Basic Concepts	ServerView Suite の基本的な概念について説明しています
ServerView Operations Manager Installation ServerView Agents for Linux	ServerView Linux エージェントのインストール、および ServerView Linux エージェントのアップデートインストールについて記載しています。
ServerView Operations Manager Installation ServerView Agents for Windows	ServerView Windows エージェントのインストール、および ServerView Windows エージェントのアップデートインストールについて記載しています。
ServerView RAID Manager VMware vSphere ESXi 7 インストールガイド	VMware vSphere ESXi 7 サーバで、ServerView RAID Manager を使用するためのインストールと設定について説明しています。
ServerView RAID Manager VMware vSphere ESXi 6 インストールガイド	VMware vSphere ESXi 6 サーバで、ServerView RAID Manager を使用するためのインストールと設定について説明しています。

略称

本書では、製品名を以下のように表記しています。

正式名	略称
Microsoft (R) Windows Server (R) 2022 Standard	Windows, Windows Server 2022
Microsoft (R) Windows Server (R) 2022 Datacenter	
Microsoft (R) Windows Server (R) 2019 Standard	Windows, Windows Server 2019
Microsoft (R) Windows Server (R) 2019 Datacenter	
Microsoft (R) Windows Server (R) 2016 Standard	Windows, Windows Server 2016
Microsoft (R) Windows Server (R) 2016 Datacenter	
Microsoft (R) Windows Server (R) 2012 R2 Standard	Windows, Windows Server 2012 R2
Microsoft (R) Windows Server (R) 2012 R2 Datacenter	
Red Hat (R) Enterprise Linux (R) 9 (for Intel64)	Linux, RHEL9, RHEL9.x, RHEL
Red Hat (R) Enterprise Linux (R) 8 (for Intel64)	Linux, RHEL8, RHEL8.x, RHEL
Red Hat (R) Enterprise Linux (R) 7 (for Intel64)	Linux, RHEL7, RHEL7.x, RHEL
VMware vSphere (R) 7	VMware, vSphere 7.x, VMware 7, VMware 7.x
VMware (R) ESXi (R) 7	ESXi, ESXi 7, ESXi 7.x
VMware vSphere (R) 6	VMware, vSphere 6.x, VMware 6, VMware 6.x
VMware (R) ESXi (R) 6	ESXi, ESXi 6, ESXi 6.x
SUSE (R) Linux Enterprise Server (R) 15 (x86-64)	SLES, SLES 15
SUSE (R) Linux Enterprise Server (R) 12 (x86-64)	SLES, SLES 12

商標一覧

- Microsoft、Windows、Windows Server、Hyper-V、BitLocker は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Linux は、Linus Torvalds 氏の登録商標です。
- Red Hat は米国およびその他の国において登録された Red Hat, Inc.の商標です。
- SUSE および SUSE ロゴは、米国およびその他の国における SUSE LLC の商標または登録商標です。
- Oracle と Java は Oracle Corporation およびその関連企業の登録商標です。
- Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Intel Atom、Intel Atom Inside、Intel Core、Core Inside、Intel vPro、vPro Inside、Celeron、Celeron Inside、Itanium、Itanium Inside、Pentium、Pentium Inside、Xeon、Xeon Phi、Xeon Inside、Ultrabook は、アメリカ合衆国および/またはその他の国における Intel Corporation の商標です。
- Ethernet は、富士ゼロックス社、および米国その他の国におけるゼロックス社の登録商標です。
- VMware および VMware の製品名は、VMware, Inc.の米国および各国での商標または登録商標です。
- Xen は米国およびその他の国における Citrix Systems, Inc.またはその子会社の登録商標または商標です。
- その他、会社名と製品名はそれぞれ各社の商標、または登録商標です。
- 本資料に掲載されているシステム名、製品名などには、必ずしも商標表示（TM、（R））を付記しておりません。

表記上の規則

本書では、以下のような字体や記号を特別な意味を持つものとして使用しています。

字体または記号	意味	記述例
『 』	参照するマニュアルの書名を示します。	『PRIMEQUEST 3000 シリーズ導入マニュアル』（CA92344-1655）を参照してください。
「 」	参照する章、節、項を示します。	「1.4.1 [User List] 画面」を参照してください。
[]	画面名、画面のボタン名、タブ名、ドロップダウンメニューを示すときに使います。	[OK] ボタンをクリックしてください。

CLI（コマンドラインインターフェース）の表記

コマンドの記載形式は以下のとおりです。

■ 入力形式

コマンドの入力形式は以下のように記載しています。

- 値を入力する変数は<> で囲んで記載
- 省略可能な要素は[] で囲んで記載
- 省略可能なキーワードの選択肢は、まとめて[] で囲み、|で区切り記載
- 定義が必須なキーワードの選択肢は、まとめて{ } で囲み、|で区切り記載

なお、コマンドの入力形式は枠内に記載しています。

備考

PDF 形式のマニュアルでは、コマンド出力（例を含む）において、改行を表す記号（行末の）以外の箇所でも改行されている箇所があります。

表記に関する注意事項

- 本マニュアルに関するご意見、ご要望または内容に不明瞭な部分がありましたら、下記ウェブサイトにご具体的な内容を記入のうえ送付してください。
<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primequest/contact/>
- 本書は、予告なしに変更されることがあります。
- 本書では、「マネジメントボード（Management Board）」および「MMB ファームウェア」を、「MMB」と表記しています。
- 本書では、「IOUE」を、MMB Web-UI、MMB CLI の表記にあわせて、「IOU」と表記している場合があります。
- 本書に掲載している画面は、実際の装置の画面と一部異なることがあります。
- 本書の画面の IP アドレス、構成情報等は表示例であり、実際の運用では異なります。
- 本書では、Intel® Optane™ DC Persistent Memory を「DCPMM」と表記しています。
- 本書に掲載している「NVM/LRDIMM」という表記は、「DCPMM」を意味しています。

本書を無断で複製・転載しないようにお願いします。

Copyright 2017-2022 FUJITSU LIMITED

目 次

はじめに.....	i
目 次.....	xiii
図表目次.....	xxiii
第 1 章	MMB の Web-UI の概要 1
1.1	MMB のユーザーインターフェース 1
1.2	Web-UI 画面..... 2
1.3	領域..... 3
1.4	インフォメーション領域 4
1.5	サブメニュー領域 6
1.6	コンテンツ領域..... 8
1.7	Web-UI 画面の基本操作..... 10
1.7.1	アクセス手順..... 10
1.7.2	画面の表示と操作 12
1.8	ユーザーの権限レベル..... 14
1.9	操作対象の表示..... 15
第 2 章	MMB の Web-UI (Web ユーザーインターフェース) 操作 19
2.1	Web-UI のメニュー一覧..... 19
2.1.1	Web-UI のメニュー一覧(Administrator) 20
2.1.2	Web-UI のメニュー一覧(Operator) 25
2.1.3	Web-UI のメニュー一覧(Partition Operator) 30
2.1.4	Web-UI のメニュー一覧(User) 35
2.1.5	Web-UI のメニュー一覧(CE) 40
2.2	保守モード時の Web-UI メニュー 45
2.2.1	保守モード時の Web-UI メニュー一覧(Administrator) 46
2.2.2	保守モード時の Web-UI メニュー一覧(Operator) 48
2.2.3	保守モード時の Web-UI メニュー一覧(Partition Operator)..... 50
2.2.4	保守モード時の Web-UI メニュー一覧(User) 53
2.2.5	保守モード時の Web-UI メニュー一覧(CE) 55
2.2.6	保守モード時の Web-UI メニュー一覧(保守者)..... 57
2.3	[System]メニュー..... 59
2.3.1	[System Status] 画面..... 59
2.3.2	[System Event Log] 画面..... 62
2.3.3	[Operation Log] 画面 69

2.3.4	[Partition Event Log] 画面.....	72
2.3.5	[System Information] 画面	76
2.3.6	[Firmware Information] 画面	78
2.3.7	[System Setup] 画面.....	80
2.3.8	[System Power Control] 画面	85
2.3.9	[LEDs] 画面	87
2.3.10	[Power Supply] 画面.....	89
2.3.11	[Fans] 画面	91
2.3.12	[Temperature] 画面	93
2.3.13	[SB] メニュー	96
2.3.14	[IOU] メニュー.....	108
2.3.15	[DU] メニュー	115
2.3.16	[PCI_Box] メニュー.....	128
2.3.17	[OPL] 画面.....	136
2.3.18	[MMB] メニュー	138
2.3.19	[PCI_IFU_M] メニュー	141
2.3.20	[MGMT_IFU] メニュー	143
2.3.21	[Disk Enclosure]メニュー	147
2.4	[Partition] メニュー	151
2.4.1	[Power Control] 画面	151
2.4.2	[Schedule] メニュー	158
2.4.2.1	[Schedule Control] 画面	158
2.4.2.2	[Schedule List] 画面	160
2.4.2.3	[Add Schedule] 画面／[Edit Schedule] 画面	163
2.4.3	[Console Redirection Setup] 画面	165
2.4.3.1	[IPv4 Console Redirection Setup] 画面.....	165
2.4.3.2	[IPv6 Console Redirection Setup] 画面.....	167
2.4.4	[Partition Configuration] 画面.....	169
2.4.4.1	[Set Partition Name] ボタン	172
2.4.4.2	[Add SB/IOU to Partition] または [Add SB/IOU/Extended Partitioning to Partition] 画面	172
2.4.4.3	[Remove SB/IOU from Partition] または [Remove SB/IOU/Extended Partitioning from Partition] 画面	175
2.4.4.4	[Partition Home] 画面	178
2.4.5	[Partition #x Extended Partitioning Configuration]メニュー	179
2.4.5.1	[SB]画面	179
2.4.5.2	[IOU]画面.....	185
2.4.5.3	[PCI Box]画面	188
2.4.6	[Extended Socket Configuration] 画面	191

2.4.7	[Reserved SB Configuration] 画面	194
2.4.8	[Power Management Setup] 画面	196
2.4.9	[eLCM Setup] 画面	198
2.4.10	[Partition#x] メニュー	200
2.4.10.1	[Information] 画面	200
2.4.10.2	[ASR Control] 画面	202
2.4.10.3	[Console Redirection] 画面	205
2.4.10.4	[Mode] 画面	207
2.4.10.5	[NVM/LRDIMM Life Cycle Management] 画面	214
2.4.10.6	[SSD Life Cycle Management] 画面	216
2.4.10.7	[eLCM Redirection] 画面	219
2.5	[User Administration] メニュー	221
2.5.1	[User List] 画面	221
2.5.1.1	[Add User] 画面	223
2.5.1.2	[Edit User] 画面	224
2.5.1.3	[Remove User] ボタン	226
2.5.2	[Change Password] 画面	227
2.5.3	[Who] 画面	228
2.5.4	[LDAP Configuration] 画面	229
2.5.4.1	[Directory Service Configuration] 画面	229
2.5.4.2	[LDAP User Group List] 画面	234
2.5.4.3	[Add LDAP User Group] 画面	236
2.5.4.4	[Edit LDAP User Group] 画面	238
2.5.4.5	[Remove Group] ボタン	238
2.6	[Network Configuration]メニュー	239
2.6.1	[Date/Time] 画面	239
2.6.2	[Network Interface] メニュー	243
2.6.2.1	[IPv4 Interface] 画面	243
2.6.2.2	[IPv6 Interface] 画面	246
2.6.3	[Management LAN Port Configuration] 画面	249
2.6.4	[Network Protocols] 画面	256
2.6.5	[Refresh Rate] 画面	259
2.6.6	[SNMP Configuration]メニュー	261
2.6.6.1	[SNMP Community] 画面	261
2.6.6.2	[SNMP Trap] 画面	264
2.6.6.3	[SNMP v3 Configuration] 画面	267
2.6.7	[SSL] メニュー	270
2.6.7.1	[Create CSR] 画面	270
2.6.7.2	[Export Key/CSR] 画面	273

2.6.7.3	[Import Certificate] 画面	274
2.6.7.4	[Create Selfsigned Certificate] 画面.....	275
2.6.8	[SSH] メニュー.....	277
2.6.8.1	[Create SSH Server Key] 画面	277
2.6.9	[Remote Server Management] 画面	279
2.6.10	[Access Control] 画面	283
2.6.11	[Alarm E-Mail] 画面.....	288
2.7	[Maintenance] メニュー.....	294
2.7.1	[Firmware Update] メニュー	294
2.7.1.1	[Unified Firmware Update] 画面	294
2.7.2	[Backup/Restore Configuration] メニュー	296
2.7.2.1	[Backup/Restore MMB Configuration] 画面	296
2.7.2.2	[Backup BIOS Configuration] 画面	298
2.7.2.3	[Restore BIOS Configuration] 画面	299
2.7.3	[Maintenance Wizard] 画面	301
2.7.4	[REMCS] メニュー	301
第 3 章	MMB の CLI (コマンドラインインターフェース) 操作	302
3.1	CLI の基本操作	302
3.1.1	シリアルインターフェース経由でのアクセス	302
3.1.2	管理 LAN インターフェース経由でのアクセス	303
3.1.3	CLI のコマンド一覧	303
3.1.4	CLI のコマンドパラメーターとメッセージ	330
3.2	設定用コマンド.....	331
3.2.1	add partition	333
3.2.2	clear access_control	334
3.2.3	clear ssh_key	334
3.2.4	console.....	335
3.2.5	download ssh_key	336
3.2.6	power off	336
3.2.7	power on	337
3.2.8	sadump	338
3.2.9	reset.....	339
3.2.10	nmi	340
3.2.11	remove partition.....	341
3.2.12	set active_mmb.....	342
3.2.13	set date.....	342
3.2.14	set partition dynamic_reconfiguration.....	343
3.2.15	set gateway	343
3.2.16	set gateway_ipv6	344

3.2.17	set hostname	344
3.2.18	set http	345
3.2.19	set http_port	345
3.2.20	set https	345
3.2.21	set https_port	346
3.2.22	set ip	346
3.2.23	set ipv6	346
3.2.24	set maintenance_ip	347
3.2.25	set partition home	348
3.2.26	set partition lan_device_mode	349
3.2.27	set partition memory_mirror_ras_mode	350
3.2.28	set partition memory_operation_mode	351
3.2.29	set partition name	352
3.2.30	set ssh	353
3.2.31	set ssh_port	353
3.2.32	set telnet	354
3.2.33	set telnet_port	354
3.2.34	set timezone	354
3.2.35	set partition extended_partitioning_mode	359
3.2.36	set partition dimm_excl_mode	360
3.2.37	set partition skt_binding_mode	361
3.2.38	add extended_partition sb	362
3.2.39	add extended_partition iou	363
3.2.40	add extended_partition pcibox	364
3.2.41	remove extended_partition sb	365
3.2.42	remove extended_partition iou	366
3.2.43	remove extended_partition pcibox	367
3.2.44	hotadd partition	368
3.2.45	hotremove partition	369
3.2.46	pciinfo partition	370
3.2.47	set partition extended_socket_mode	370
3.2.48	set partition extended_socket_zone	371
3.2.49	set partition memory_sparing_mode	371
3.2.50	create raid logical_drive	372
3.2.51	delete raid logical_drive	373
3.2.52	modify raid logical_drive_policy	374
3.2.53	modify raid logical_drive	374
3.2.54	create raid global_hotspare	375
3.2.55	create raid dedicated_hotspare	375

3.2.56	delete raid hotspare	376
3.2.57	start raid locate_pd	376
3.2.58	stop raid locate_pd	376
3.2.59	start raid locate_ld	377
3.2.60	stop raid locate_ld	377
3.2.61	start raid locate_encl	377
3.2.62	stop raid locate_encl	378
3.2.63	start raid rebuild	378
3.2.64	cancel raid rebuild	378
3.2.65	start raid copyback	379
3.2.66	cancel raid copyback	379
3.2.67	start raid mdc	380
3.2.68	cancel raid mdc	380
3.2.69	start raid patrol	380
3.2.70	cancel raid patrol	381
3.2.71	make raid online	381
3.2.72	make raid offline	381
3.2.73	replace raid missing_drive	382
3.2.74	set mmbcontrol reset	382
3.2.75	set mmbcontrol switch_over	383
3.2.76	set special_account	384
3.2.77	set partition pci_ecrc_mode	385
3.2.78	set irmc user	386
3.2.79	set sysconf fan_control_mode	387
3.2.80	set sysconf required_psu	387
3.2.81	set sysconf power_restoration_policy	388
3.2.82	set sysconf power_on_delay	389
3.2.83	set sysconf altitude	389
3.2.84	set sysconf psu_redundant_mode	390
3.2.85	set sysconf system_guid_format	390
3.2.86	set reserved_sb	391
3.2.87	add user	392
3.2.88	set snmp sys_location	393
3.2.89	set snmp sys_contact	393
3.2.90	set snmp community	394
3.2.91	set snmp trap	395
3.2.92	set snmp test_trap	395
3.3	表示用コマンド	396
3.3.1	show access_control	398

3.3.2	show active_mmb.....	398
3.3.3	show date.....	399
3.3.4	show exit_code.....	399
3.3.5	show partition configuration	400
3.3.6	show partition dynamic_reconfiguration.....	401
3.3.7	show partition home.....	401
3.3.8	show partition lan_device_mode.....	401
3.3.9	show partition name.....	402
3.3.10	show partition memory_mirror_ras_mode.....	402
3.3.11	show partition memory_operation_mode	403
3.3.12	show timezone	403
3.3.13	show gateway.....	404
3.3.14	show gateway_ipv6	404
3.3.15	show http	405
3.3.16	show http_port	405
3.3.17	show https.....	405
3.3.18	show https_port.....	406
3.3.19	show ip.....	406
3.3.20	show ipv6.....	406
3.3.21	show hostname	407
3.3.22	show maintenance_ip	407
3.3.23	show ssh.....	407
3.3.24	show ssh_port.....	408
3.3.25	show telnet	408
3.3.26	show telnet_port	408
3.3.27	show network.....	409
3.3.28	show ntpq	410
3.3.29	who.....	412
3.3.30	help	412
3.3.31	netck traceroute.....	413
3.3.32	netck arptbl	413
3.3.33	netck arping	414
3.3.34	netck ifconfig.....	414
3.3.35	netck stat.....	415
3.3.36	show dynamic_reconfiguration status	415
3.3.37	show partition extended_partitioning_mode	415
3.3.38	show partition dimm_excl_mode.....	416
3.3.39	show partition skt_binding_mode.....	416
3.3.40	show extended_partition configuration	417

3.3.41	show partition status.....	419
3.3.42	show partition extended_socket_mode	421
3.3.43	show partition extended_socket_zone.....	421
3.3.44	show partition memory_sparing_mode	422
3.3.45	show raid adapter	423
3.3.46	show raid disk_enclosure.....	424
3.3.47	show raid physical_drive	425
3.3.48	show raid physical_drive_count	426
3.3.49	show raid logical_drive.....	427
3.3.50	show raid logical_drive_count	428
3.3.51	show raid bbu	428
3.3.52	show special_account.....	429
3.3.53	show partition pci_ecrc_mode	429
3.3.54	show sysconf fan_control_mode	430
3.3.55	show sysconf required_psu.....	430
3.3.56	show sysconf power_restoration_policy	431
3.3.57	show sysconf power_on_delay.....	431
3.3.58	show sysconf altitude	432
3.3.59	show sysconf psu_redundant_mode	432
3.3.60	show sysconf system_guid_format.....	433
3.3.61	show sysconf input_voltage.....	433
3.3.62	show firmware_version.....	434
3.3.63	show reserved_sb	435
3.3.64	show user_list	435
3.3.65	show snmp sys_location	436
3.3.66	show snmp sys_contact	436
3.3.67	show snmp community	437
3.3.68	show snmp trap.....	437
3.4	アップデート用コマンド	438
3.4.1	update ALL	439
3.4.2	show update_status.....	440
3.5	その他のコマンド	441
3.5.1	exit.....	441
3.5.2	passwd	441
3.5.3	ping	442
付録 A	設定項目の一覧	443
A.1	MMB Web-UI の設定項目	443
A.1.1	[System Event Log Filtering Condition] 画面の設定項目	444
A.1.2	[Operation Log Filtering Condition] 画面の設定項目	445

A.1.3	[Partition Event Log Filtering Condition] 画面の設定項目	445
A.1.4	[System Information] 画面の設定項目	446
A.1.5	[System Setup] 画面の設定項目	447
A.1.6	[System Power Control] 画面の設定項目	448
A.1.7	[Power Control] 画面の設定項目	448
A.1.8	[Schedule Control] 画面の設定項目	448
A.1.9	[Add Schedule]／[Edit Schedule] 画面の設定項目	449
A.1.10	[IPv4 Console Redirection Setup] 画面の設定項目	450
A.1.11	[IPv6 Console Redirection Setup] 画面の設定項目	450
A.1.12	[Partition Configuration] 画面の設定項目	450
A.1.13	[Power Management Setup] 画面の設定項目	451
A.1.14	[ASR Control] 画面の設定項目	452
A.1.15	[Console Redirection] 画面の設定項目	452
A.1.16	[Mode] 画面の設定項目	453
A.1.17	[Add User]／[Edit User] 画面の設定項目	454
A.1.18	[Change Password] 画面の設定項目	455
A.1.19	[Directory Service Configuration] 画面の設定項目	456
A.1.20	[Date/Time] 画面の設定項目	458
A.1.21	[IPv4 Interface] 画面の設定項目	459
A.1.22	[IPv6 Interface] 画面の設定項目	461
A.1.23	[Management LAN Port Configuration] 画面の設定項目	462
A.1.24	[Network Protocols] 画面の設定項目	463
A.1.25	[Refresh Rate] 画面の設定項目	464
A.1.26	[SNMP Community] 画面の設定項目	464
A.1.27	[SNMP Trap] 画面の設定項目	465
A.1.28	[SNMP v3 Configuration] 画面の設定項目	466
A.1.29	[Create CSR] 画面の設定項目	466
A.1.30	[Create Selfsigned Certificate] 画面の設定項目	467
A.1.31	[Edit User] 画面の設定項目	467
A.1.32	[Add Filter]／[Edit Filter] 画面の設定項目	468
A.1.33	[Alarm E-Mail] 画面の設定項目	469
A.1.34	[Alarm E-Mail Filtering Condition] 画面の設定項目	469
A.2	ビデオリダイレクションの設定項目	470
A.2.1	[Video] 画面の設定項目	471
A.2.2	[Keyboard] 画面の設定項目	471
A.2.3	[Mouse] 画面の設定項目	473
A.2.4	[Options] 画面の設定項目	473
A.3	ビデオリダイレクション(HTML5)の設定項目	474
A.3.1	[Video] 画面の設定項目	475

A.3.2	[Mouse] 画面の設定項目.....	475
A.3.3	[Options] 画面の設定項目.....	475
A.3.4	[Keyboard] 画面の設定項目.....	476
A.3.5	[Video Record] 画面の設定項目.....	476
A.4	eLCM リダイレクションの設定項目.....	477
A.4.1	[Tools]→[Deployment] 画面の設定項目.....	478
A.4.2	[Tools]→[Custom Image] 画面の設定項目.....	478
A.4.3	[Tools]→[Certificates] 画面の設定項目.....	478
A.4.4	[Settings]→[Network Management] 画面の設定項目.....	479
A.4.5	[Settings]→[Services] 画面の設定項目.....	479

図表目次

図目次

図 1.1	フレーム構成	3
図 1.2	インフォメーション領域	4
図 1.3	保守状態表示	5
図 1.4	サブメニュー領域	6
図 1.5	メニュー階層表示	7
図 1.6	コンテンツ領域	8
図 1.7	警告ダイアログボックス (例)	9
図 1.8	確認ダイアログボックス (例)	9
図 1.9	MMB Web-UI ログイン画面	11
図 1.10	警告ダイアログボックス (例)	12
図 1.11	Web-UI 表示 (MMB 機能・iRMC 機能)	15
図 1.12	[User List] 画面	17
図 1.13	[Network Protocols] 画面	18
図 2.1	[System Status] 画面	59
図 2.2	[System Event Log] 画面	62
図 2.3	[System Event Log (Collect)] 画面	64
図 2.4	[System Event Log Filtering Condition] 画面	66
図 2.5	[Operation Log] 画面	69
図 2.6	[Operation Log Filtering Condition] 画面	70
図 2.7	[Partition Event Log] 画面	72
図 2.8	[Partition Event Log Filtering Condition] 画面	74
図 2.9	[System Information] 画面	76
図 2.10	[Firmware Information] 画面	78
図 2.11	[System Setup] 画面 (100V 受電、かつ、PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400S Lite/3400S)	80
図 2.12	[System Setup] 画面 (100V 受電、かつ、PRIMEQUEST 3400E2/3400L2/3400E/3400L)	80
図 2.13	[System Setup] 画面 (200V 受電、かつ、PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400S Lite/3400S)	81
図 2.14	[System Setup] 画面 (200V 受電、かつ、PRIMEQUEST 3400E2/3400L2/3800E2/3800L2/3400E/3400L/3800E/3800L)	81
図 2.15	[System Power Control] 画面	85
図 2.16	[LEDs] 画面	87
図 2.17	[Power Supply] 画面	89

図 2.18	[Fans] 画面.....	91
図 2.19	[Temperature] 画面.....	94
図 2.20	[SB#x] 画面(1)	96
図 2.21	[SB#x] 画面(2)	97
図 2.22	PRIMEQUEST 3400S Lite/3400S/3400E/3400L/3800E/3800L (PA19043 版以前) の M.2 表示項目	98
図 2.23	[Memory Scale-up Board] 画面(1)	98
図 2.24	[Memory Scale-up Board] 画面(2)	99
図 2.25	[SB#x Status Clear] 画面(メッセージ表示)	106
図 2.26	[SB#x] 画面(CPU/DIMM なし、BMM ボード未搭載の場合).....	107
図 2.27	[IOU#x] 画面(1).....	108
図 2.28	[IOU#x] 画面(2).....	109
図 2.29	[DU#x] DU_SAS 画面.....	115
図 2.30	[DU#x] DU_PCIEA 画面.....	116
図 2.31	[DU_M#x] DU_M 画面.....	117
図 2.32	[PCI_Box] 画面(1)	128
図 2.33	[PCI_Box] 画面(2)	129
図 2.34	[OPL] 画面	136
図 2.35	[MMB#x] 画面	138
図 2.36	[PCI_IFU_M#x] 画面	141
図 2.37	[MGMT_IFU_E#x] 画面	143
図 2.38	[MGMT_IFU_M#x] 画面	145
図 2.39	Disk Enclosure 画面(1)	147
図 2.40	Disk Enclosure 画面(2)	148
図 2.41	[Power Control] 画面	152
図 2.42	[Power Control] 画面	152
図 2.43	[Power Control] 画面(グレースアウト表示).....	153
図 2.44	[Power Control] 画面(グレースアウト表示).....	153
図 2.45	[Power Control] 画面のエラー表示.....	157
図 2.46	[Schedule Control] 画面.....	158
図 2.47	[Schedule List] 画面	160
図 2.48	[Add Schedule] 画面.....	163
図 2.49	[IPv4 Console Redirection Setup] 画面.....	165
図 2.50	[IPv6 Console Redirection Setup] 画面.....	167
図 2.51	[Partition Configuration] 画面 (拡張パーティションなし)	169
図 2.52	[Partition Configuration] 画面 (拡張パーティションあり)	170
図 2.53	[Add SB/IOU to Partition] 画面.....	172
図 2.54	[Add SB/IOU/Extended Partitioning to Partition] 画面.....	173

図 2.55	[Remove SB/IOU from Partition] 画面	175
図 2.56	[Remove SB/IOU/Extended Partitioning from Partition] 画面	176
図 2.57	[Partition Home] 画面	178
図 2.58	[Extended Partitioning Configuration of SB Resources] 画面	179
図 2.59	[Extended Partitioning Configuration of SB Resources] (拡張パーティション割り当てなし)画面.....	184
図 2.60	[Extended Partitioning Configuration of IOU Resources]	185
図 2.61	[Extended Partitioning Configuration of IOU Resources] (拡張パーティション割り当てなし)画面	186
図 2.62	[Extended Partitioning Configuration of PCI Box Resources] 画面	188
図 2.63	[Extended Partitioning Configuration of PCI Box Resources] (拡張パーティション割り当てなし)画面	189
図 2.64	[Extended Socket Configuration] 画面	191
図 2.65	[Extended Socket Configuration] 画面のエラー表示.....	192
図 2.66	[Reserved SB Configuration] 画面.....	194
図 2.67	[Power Management Setup] 画面	196
図 2.68	[eLCM Setup] 画面	198
図 2.69	[Information] 画面	200
図 2.70	[Information] Extended Partitioning 画面.....	200
図 2.71	[ASR (Automatic Server Restart) Control] 画面	202
図 2.72	[Console Redirection] 画面.....	205
図 2.73	[Mode] 画面 (PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400S Lite/3400S)	207
図 2.74	[Mode] 画面 (PRIMEQUEST 3400E/3400L/3800E/3800L)	208
図 2.75	[Mode] 画面 (PRIMEQUEST 3400E2/3400L2/3800E2/3800L2).....	209
図 2.76	[Mode] 画面(拡張パーティション)	210
図 2.77	[NVM/LRDIMM Life Cycle Management] 画面.....	214
図 2.78	[SSD Life Cycle Management] 画面 (PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400E2/3400L2/3800E2/3800L2 は PB20021 版以降、 PRIMEQUEST 3400S Lite/3400S/3400E/3400L/3800E/3800L は PA20021 版以降)	216
図 2.79	[SSD Life Cycle Management] 画面 (PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400E2/3400L2/3800E2/3800L2 は PB19123 版以前、 PRIMEQUEST 3400S Lite/3400S/3400E/3400L/3800E/3800L は PA19121 版以前)	217
図 2.80	[eLCM Redirection] 画面.....	219
図 2.81	[User List] 画面.....	221
図 2.82	[Add User] 画面	223
図 2.83	[Edit User] 画面	224
図 2.84	[Change Password] 画面.....	227
図 2.85	[Who] 画面.....	228
図 2.86	[Directory Service Configuration] 画面	229
図 2.87	[LDAP User Group List] 画面.....	234

図 2.88	[Add LDAP User Group List] 画面.....	236
図 2.89	[Edit LDAP User Group] 画面.....	238
図 2.90	[Date/Time] 画面.....	239
図 2.91	[IPv4 Interface] 画面	243
図 2.92	[IPv6 Interface] 画面	246
図 2.93	[Management LAN Port Configuration] 画面	249
図 2.94	[Network Protocols] 画面.....	256
図 2.95	[Refresh Rate] 画面	259
図 2.96	[SNMP Community] 画面	261
図 2.97	[SNMP Trap] 画面.....	264
図 2.98	[SNMPv3 Configuration] 画面.....	267
図 2.99	[Create CSR] 画面.....	270
図 2.100	確認ダイアログボックス(1)	272
図 2.101	確認ダイアログボックス(2)	272
図 2.102	[Export Key/CSR] 画面	273
図 2.103	[Import Certificate] 画面.....	274
図 2.104	[Create Selfsigned Certificate] 画面	275
図 2.105	[Create SSH Server Key] 画面	277
図 2.106	[Remote Server Management] 画面	279
図 2.107	[Edit User] 画面.....	281
図 2.108	[Access Control] 画面	283
図 2.109	[Add Filter] 画面.....	285
図 2.110	[Alarm E-Mail] 画面.....	288
図 2.111	[Alarm E-Mail Filtering Condition] 画面.....	291
図 2.112	[Unified Firmware Update] 画面.....	294
図 2.113	[Backup/Restore MMB Configuration] 画面.....	296
図 2.114	[Backup BIOS Configuration] 画面	298
図 2.115	[Restore BIOS Configuration] 画面(1)	299
図 2.116	[Restore BIOS Configuration] 画面(2)	299

表目次

表 1.1	[System Status] 画面の表示項目	3
表 1.2	インフォメーション領域の表示項目	4
表 1.3	システム状態表示	5
表 1.4	サブメニュー領域	6
表 1.5	サブメニュー領域	8
表 1.6	ログイン時に入力する URL	10
表 1.7	ユーザーアカウントの初期値	11
表 2.1	ユーザー権限	19
表 2.2	Web-UI のメニュー一覧(Administrator)	20
表 2.3	Web-UI のメニュー一覧(Operator)	25
表 2.4	Web-UI のメニュー一覧(Partition Operator)	30
表 2.5	Web-UI のメニュー一覧(User)	35
表 2.6	Web-UI のメニュー一覧(CE)	40
表 2.7	保守モードの種類	45
表 2.8	保守モード時の Web-UI のメニュー一覧(Administrator)	46
表 2.9	保守モード時の Web-UI のメニュー一覧(Operator)	48
表 2.10	保守モード時の Web-UI メニュー一覧(Partition Operator)	50
表 2.11	保守モード時の Web-UI のメニュー一覧(User)	53
表 2.12	保守モード時の Web-UI のメニュー一覧(CE)	55
表 2.13	保守モード時の Web-UI メニュー一覧(保守者)	57
表 2.14	ユニットの状態とアイコン	60
表 2.15	[System Status] 画面の表示項目	60
表 2.16	[System Event Log] 画面の表示項目	63
表 2.17	[System Event Log] 画面のボタン	63
表 2.18	[System Event Log Filtering Condition] 画面の表示・設定項目	67
表 2.19	[System Event Log Filtering Condition] 画面のボタン	68
表 2.20	[Operation Log] 画面の表示項目	69
表 2.21	[Operation Log] 画面のボタン	69
表 2.22	[Operation Log Filtering Condition] 画面の表示・設定項目	71
表 2.23	[Operation Log Filtering Condition] 画面のボタン	71
表 2.24	[Partition Event Log] 画面の表示項目	72
表 2.25	[Partition Event Log] 画面のボタン	73
表 2.26	[Partition Event Log Filtering Condition] 画面の表示・設定項目	74
表 2.27	[Partition Event Log Filtering Condition] 画面のボタン	75
表 2.28	[System Information] 画面の表示・設定項目	76

表 2.29	[System Information] 画面のボタン	77
表 2.30	[Firmware Information] 画面の表示項目	78
表 2.31	[System Setup] 画面の表示・設定項目	82
表 2.32	[System Setup] 画面のボタン	84
表 2.33	[System Power Control] 画面の表示・設定項目	86
表 2.34	[System Power Control] 画面のボタン	86
表 2.35	[LEDs] 画面の表示・設定項目	88
表 2.36	[LEDs] 画面のボタン	88
表 2.37	[Power Supply] 画面の表示項目	89
表 2.38	[Power Supply] 画面のボタン	90
表 2.39	[Fans] 画面の表示項目	92
表 2.40	[Fans] 画面のボタン	92
表 2.41	[Temperature] 画面の表示項目	95
表 2.42	[SB#x] 画面の表示・設定項目	100
表 2.43	[SB#x] 画面のボタン	105
表 2.44	[IOU#x] 画面の表示・設定項目	110
表 2.45	[IOU#x] 画面のボタン	114
表 2.46	[DU#x] DU_SAS 画面の表示・設定項目	118
表 2.47	[DU#x] DU_SAS 画面のボタン	120
表 2.48	[DU#x] DU_PCIEA 画面の表示・設定項目	121
表 2.49	[DU#x] DU_PCIEA 画面のボタン	123
表 2.50	[DU_M#x] DU_M 画面の表示・設定項目	124
表 2.51	[DU_M#x] DU_M 画面のボタン	127
表 2.52	[PCI_Box#x] 画面の表示項目	130
表 2.53	[PCI_Box#x] 画面のボタン	135
表 2.54	[OPL] 画面の表示項目	136
表 2.55	[OPL] 画面のボタン	137
表 2.56	[MMB#x] 画面の表示・設定項目	139
表 2.57	[MMB#x] 画面のボタン	140
表 2.58	[PCI_IFU_M#x] 画面の表示・設定項目	141
表 2.59	[PCI_IFU_M#x] 画面のボタン	142
表 2.60	[MGMT_IFU_E#x] 画面の表示・設定項目	143
表 2.61	[MGMT_IFU_E#x] 画面のボタン	144
表 2.62	[MGMT_IFU_M#x] 画面の表示・設定項目	145
表 2.63	[MGMT_IFU_M#x] 画面のボタン	146
表 2.64	[Disk Enclosure#x] 画面の表示・設定項目	148
表 2.65	[Power Control] 画面の表示・設定項目	155

表 2.66	[Power Control] 画面のボタン	157
表 2.67	[Schedule Control] 画面の表示・設定項目	159
表 2.68	[Schedule Control] 画面のボタン	159
表 2.69	[Schedule List] 画面の表示・設定項目	161
表 2.70	[Schedule List] 画面のボタン	161
表 2.71	[Add Schedule] 画面の表示・設定項目	164
表 2.72	[Add Schedule] 画面のボタン	164
表 2.73	[IPv4 Console Redirection Setup] 画面の表示・設定項目	166
表 2.74	[IPv4 Console Redirection Setup] 画面のボタン	166
表 2.75	[IPv6 Console Redirection Setup] 画面の表示・設定項目	167
表 2.76	[IPv6 Console Redirection Setup] 画面のボタン	168
表 2.77	[Partition Configuration] 画面の表示・設定項目	171
表 2.78	[Partition Configuration] 画面のボタン	171
表 2.79	[Add SB/IOU/Extended Partitioning to Partition] 画面の表示・設定項目	174
表 2.80	[Remove SB/IOU/Extended Partitioning to Partition] 画面の表示・設定項目	176
表 2.81	メモリ割り当て粒度	181
表 2.82	[Extended Partitioning Configuration of SB Resources] 画面の表示・設定項目	183
表 2.83	[Extended Partitioning Configuration of IOU Resources] 画面の表示・設定項目	186
表 2.84	[Extended Partitioning Configuration of PCI Box Resources] 画面の表示・設定項目	189
表 2.85	[Extended Socket Configuration] 画面の表示・設定項目	192
表 2.86	[Extended Socket Configuration] 画面のボタン	193
表 2.87	[Reserved SB Configuration] 画面の表示・設定項目	195
表 2.88	[Reserved SB Configuration] 画面のボタン	195
表 2.89	[Power Management Setup] 画面の表示・設定項目	197
表 2.90	[Power Management Setup] 画面のボタン	197
表 2.91	[eLCM Setup] 画面の表示・設定項目	199
表 2.92	[eLCM Setup] 画面のボタン	199
表 2.93	[Information] 画面の表示項目	201
表 2.94	[ASR (Automatic Server Restart) Control] 画面の表示・設定項目	203
表 2.95	[ASR (Automatic Server Restart) Control] 画面のボタン	204
表 2.96	[Console Redirection] 画面の表示項目	206
表 2.97	[Console Redirection] 画面のボタン	206
表 2.98	[Mode] 画面の表示・設定項目	211
表 2.99	パーティションの状態による TPM 項目の表示/非表示	213
表 2.100	[NVM/LRDIMM Life Cycle Management] 画面の表示項目	215
表 2.101	[SSD Life Cycle Management] 画面の表示項目	

(PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400E2/3400L2/3800E2/3800L2 は PB20021 版以降、

PRIMEQUEST 3400S Lite/3400S/3400E/3400L/3800E/3800L は PA20021 版以降)	218
表 2.102 [SSD Life Cycle Management] 画面の表示項目 (PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400E2/3400L2/3800E2/3800L2 は PB19123 版以前、 PRIMEQUEST 3400S Lite/3400S/3400E/3400L/3800E/3800L は PA19121 版以前)	218
表 2.103 [eLCM Redirection] 画面の表示項目	220
表 2.104 [eLCM Redirection] 画面のボタン	220
表 2.105 [User List] 画面の表示項目	222
表 2.106 [User List] 画面のボタン	222
表 2.107 [Add User]／[Edit User] 画面の表示・設定項目	225
表 2.108 [Add User]／[Edit User] 画面のボタン	225
表 2.109 [Change Password] 画面のボタン	227
表 2.110 [Who] 画面の表示項目	228
表 2.111 [Directory Service Configuration] 画面の表示・設定項目	230
表 2.112 [Directory Service Configuration] 画面のボタン	233
表 2.113 [LDAP User Group List] 画面の表示項目	235
表 2.114 [LDAP User Group List] 画面のボタン	235
表 2.115 [Add LDAP User Group]／[Edit LDAP User Group] 画面の表示・設定項目	237
表 2.116 [Add LDAP User Group]／[Edit LDAP User Group] 画面のボタン	237
表 2.117 [Date/Time] 画面の表示・設定項目	240
表 2.118 [Date/Time] 画面のボタン	241
表 2.119 [IPv4 Interface] 画面の表示・設定項目	244
表 2.120 [IPv4 Interface] 画面のボタン	245
表 2.121 [IPv6 Interface] 画面の表示・設定項目	247
表 2.122 [IPv6 Interface] 画面のボタン	248
表 2.123 [Management LAN Port Configuration] 画面の表示・設定項目	250
表 2.124 [Management LAN Port Configuration] 画面のボタン	251
表 2.125 [Network Protocols] 画面の表示・設定項目	257
表 2.126 [Network Protocols] 画面のボタン	258
表 2.127 [Refresh Rate] 画面の表示・設定項目	259
表 2.128 [Refresh Rate] 画面のボタン	260
表 2.129 [SNMP Community] 画面の表示・設定項目	262
表 2.130 [SNMP Community] 画面のボタン	262
表 2.131 [SNMP Trap] 画面の表示・設定項目	265
表 2.132 [SNMP Trap] 画面のボタン	266
表 2.133 [SNMP v3 Configuration] 画面の表示・設定項目	268
表 2.134 [SNMP v3 Configuration] 画面のボタン	269
表 2.135 [Create CSR] 画面の表示・設定項目	271

表 2.136	[Create CSR] 画面のボタン	271
表 2.137	[Export Key/CSR] 画面のボタン	273
表 2.138	[Import Certificate] 画面のボタン	274
表 2.139	[Create Selfsigned Certificate] 画面の表示項目	275
表 2.140	[Create Selfsigned Certificate] 画面のボタン	275
表 2.141	[Create SSH Server Key] 画面のボタン	277
表 2.142	[Remote Server Management] 画面の表示・設定項目	280
表 2.143	[Remote Server Management] 画面のボタン	280
表 2.144	[Edit User] 画面の表示・設定項目	282
表 2.145	[Edit User] 画面のボタン	282
表 2.146	[Access Control] 画面の表示・設定項目	283
表 2.147	[Access Control] 画面のボタン	284
表 2.148	[Add Filter] 画面の表示・設定項目	286
表 2.149	[Add Filter] 画面のボタン	286
表 2.150	[Alarm E-Mail] 画面の表示・設定項目	289
表 2.151	[Alarm E-Mail] 画面のボタン	290
表 2.152	[Alarm E-Mail Filtering Condition] 画面の表示・設定項目	292
表 2.153	[Alarm E-Mail Filtering Condition] 画面のボタン	293
表 2.154	[Backup BIOS Configuration] 画面のボタン	298
表 2.155	[Restore BIOS Configuration] 画面(2) の表示・設定項目	300
表 2.156	[Restore BIOS Configuration] 画面(2) のボタン	300
表 3.1	ターミナルソフトウェアの設定値	302
表 3.2	MMB CLI コマンド一覧(Administrator) (1/2)	304
表 3.3	MMB CLI コマンド一覧(Administrator) (2/2)	307
表 3.4	MMB CLI コマンド一覧(Operator) (1/2)	309
表 3.5	MMB CLI コマンド一覧(Operator) (2/2)	312
表 3.6	MMB CLI コマンド一覧(Partition Operator) (1/2)	314
表 3.7	MMB CLI コマンド一覧(Partition Operator) (2/2)	318
表 3.8	MMB CLI コマンド一覧(User) (1/2)	320
表 3.9	MMB CLI コマンド一覧(User) (2/2)	323
表 3.10	MMB CLI コマンド一覧(CE) (1/2)	325
表 3.11	MMB CLI コマンド一覧(CE) (2/2)	328
表 3.12	パラメーターの指定範囲	330
表 3.13	show ntpq の出力項目	411
表 A.1	[System Event Log Filtering Condition] 画面の設定項目	444
表 A.2	[Operation Log Filtering Condition] 画面の設定項目	445
表 A.3	[Partition Event Log Filtering Condition] 画面の設定項目	445

表 A.4	[System Information] 画面の設定項目	446
表 A.5	[System Setup] 画面の設定項目	447
表 A.6	[System Power Control] 画面の設定項目	448
表 A.7	[Power Control] 画面の設定項目	448
表 A.8	[Schedule Control] 画面の設定項目	448
表 A.9	[Add Schedule]／[Edit User] 画面の設定項目	449
表 A.10	[Console Redirection Setup] 画面の設定項目	450
表 A.11	[Pv6 Console Redirection Setup] 画面の設定項目	450
表 A.12	[Partition Configuration] 画面の設定項目	450
表 A.13	[Power Management Setup] 画面の設定項目	451
表 A.14	[ASR Control] 画面の設定項目	452
表 A.15	[Console Redirection] 画面の設定項目	452
表 A.16	[Mode] 画面の設定項目	453
表 A.17	[Add User]／[Edit User] 画面の設定項目	454
表 A.18	[Change Password] 画面の設定項目	455
表 A.19	[Directory Service Configuration] 画面の設定項目	456
表 A.20	[Date/Time] 画面の設定項目	458
表 A.21	[IPv4 Interface] 画面の設定項目	459
表 A.22	[IPv6 Interface] 画面の設定項目	461
表 A.23	[Management LAN Port Configuration] 画面の設定項目	462
表 A.24	[Network Protocols] 画面の設定項目	463
表 A.25	[Refresh Rate] 画面の設定項目	464
表 A.26	[SNMP Community] 画面の設定項目	464
表 A.27	[SNMP Trap] 画面の設定項目	465
表 A.28	[SNMP v3 Configuration] 画面の設定項目	466
表 A.29	[Create CSR] 画面の設定項目	466
表 A.30	[Create Selfsigned Certificate] 画面の設定項目	467
表 A.31	[Edit User] 画面の設定項目	467
表 A.32	[Add Filter]／[Edit Filter] 画面の設定項目	468
表 A.33	[Alarm E-Mail] 画面の設定項目	469
表 A.34	[Alarm E-Mail Filtering Condition] 画面の設定項目	469
表 A.35	[Video] 画面の設定項目	471
表 A.36	[Keyboard] 画面の設定項目	471
表 A.37	[Mouse] 画面の設定項目	473
表 A.38	[Options] 画面の設定項目	473
表 A.39	[Video] 画面の設定項目	475
表 A.40	[Mouse] 画面の設定項目	475

表 A.41	[Options] 画面の設定項目	475
表 A.42	[Keyboard] 画面の設定項目	476
表 A.43	[Video Record] 画面の設定項目	476
表 A.44	[Tools]→[Deployment] 画面の設定項目.....	478
表 A.45	[Tools]→[Custom Image] 画面の設定項目	478
表 A.46	[Tools]→[Certificates] 画面の設定項目	478
表 A.47	[Settings]→[Network Management] 画面の設定項目	479
表 A.48	[Settings]→[Services] 画面の設定項目.....	479

第1章 MMB の Web-UI の概要

ここでは、MMB の Web-UI を使用した操作方法を説明します。

1.1 MMB のユーザーインターフェース

PRIMEQUEST 3000 シリーズは、MMB と呼ばれる専用プロセッサを搭載したサーバ管理用ボードにより、以下の 2 つのユーザーインターフェースを提供します。

■ Web-UI (Web ユーザーインターフェース)

パーソナルコンピュータやワークステーション（以降、あわせて PC と記します）の Web ブラウザから、運用・管理の操作ができます。

■ CLI (コマンドラインインターフェース)

シリアルポート経由での操作、および管理 LAN を経由したリモート PC での操作ができます。ここでは、MMB を利用して PRIMEQUEST 3000 シリーズを管理・運用するための、共通する Web-UI 画面と基本操作を説明します。CLI の基本操作については「[第 3 章 MMB の CLI \(コマンドラインインターフェース\) 操作](#)」を参照してください。

注意

MMB Web-UI は次のブラウザをサポートしています。これ以外のブラウザを使用した場合は、Web-UI 面が正しく表示されないことがあります。

- Firefox 32 以降 (OS: Windows または Linux)
- Internet Explorer 9 以降 (OS: Windows)
- Google Chrome 80 以降 (OS: Windows)
- Microsoft Edge 44 以降 (OS: Windows)

ビデオリダイレクション (HTML5)、または、eLCM を使用する場合は、以下のブラウザを使用してください。

- Firefox 40 以降 (OS: Windows または Linux)
- Internet Explorer 11 以降 (OS: Windows)
- Google Chrome 80 以降 (OS: Windows)
- Microsoft Edge 44 以降 (OS: Windows)

ビデオリダイレクションを使用する場合は、以下の Java を使用してください。(HTML5 は不要)

- Oracle Java 8 (PA18112 版以前のファームウェア)
- Open JDK 8 (PA19024 版以降のファームウェア、PB19032 版以降のファームウェア)

最新の情報については、以下の URL で公開している動作確認一覧を参照してください。

FUJITSU Server PRIMEQUEST 3000 シリーズ留意事項

<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primequest/products/3000/catalog/>

1.2 Web-UI 画面

Web-UI 画面では、ユーザーが好みの文字サイズを選択できます。また、システムの状態は文字で表示し、文字の背景色はユーザーが判別しやすいように以下の 4 パターンに分類および配色しています。

■ 通常 (Normal) 状態

画面の背景色のまま表示します。

■ 警告 (Warning) 状態

背景色を黄色で表示します。たとえば、あるユニットのステータスを表示する表の中で、ステータス状態が警告 (Warning) に相当する状態であった場合、その枠の背景色を黄色で表示します。

■ 重大 (Error) 状態

背景色を赤色で表示します。たとえば、あるユニットのステータスを表示する表の中で、ステータス状態が重大 (Error) に相当する状態であった場合、その枠の背景色を赤色で表示します。

■ Not present 状態

背景色を灰色で表示します。たとえば、あるユニットのステータスを表示する表の中で、そのユニットが未実装であり、ステータス状態が Not present に相当する状態であった場合、その枠の背景色を灰色で表示します。以下のような MMB の異常状態や警告状態などが発生した場合には、操作を行わず、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。その場合は、本体装置に貼付のラベルで記載の型名、および製造番号を確認し、連絡してください。

- MMB の Alarm LED が点灯している
- MMB#0、MMB#1 のどちらの Active LED も点灯していない
- Web-UI に接続できない
- 本体装置の複数のボードで Alarm LED が点灯する
- Web-UI に「Read Error」が表示されている
- Web-UI の[System Status] 画面で、すべてのユニットの状態が「Not-present」と表示される

1.3 領域

Web-UI 画面は、3 つのフレームで構成されています。フレームの構成を以下に示します。

図 1.1 フレーム構成

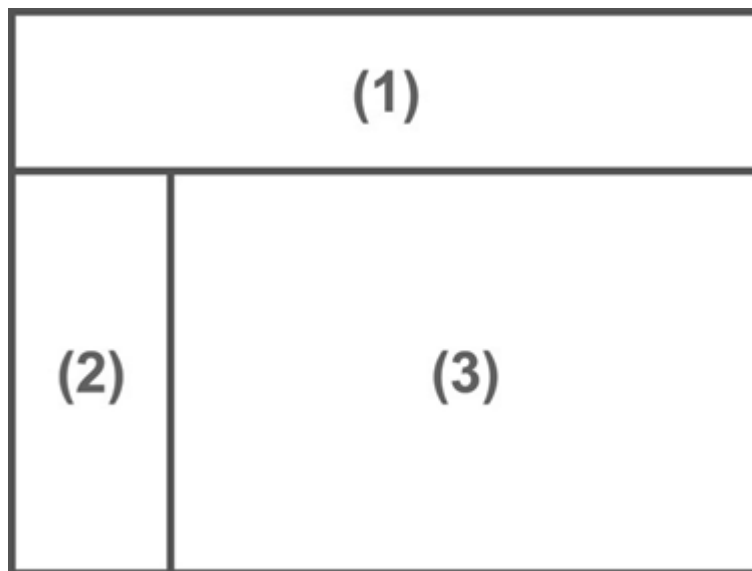


表 1.1 [System Status] 画面の表示項目

番号	領域	説明
(1)	インフォメーション領域	PRIMEQUEST 3000 シリーズのモデル名、パーツ番号を表示します。 この情報によって、システムを容易に特定することができます。
(2)	サブメニュー領域	階層構造のメニューを表示します。メニューを選択すると、コンテンツ領域に 状態表示や設定のための情報を表示します。
(3)	コンテンツ領域	個々の機能の設定や、状態表示をするための情報を表示します。

1.4 インフォメーション領域

インフォメーション領域の表示項目を以下に示します。

図 1.2 インフォメーション領域

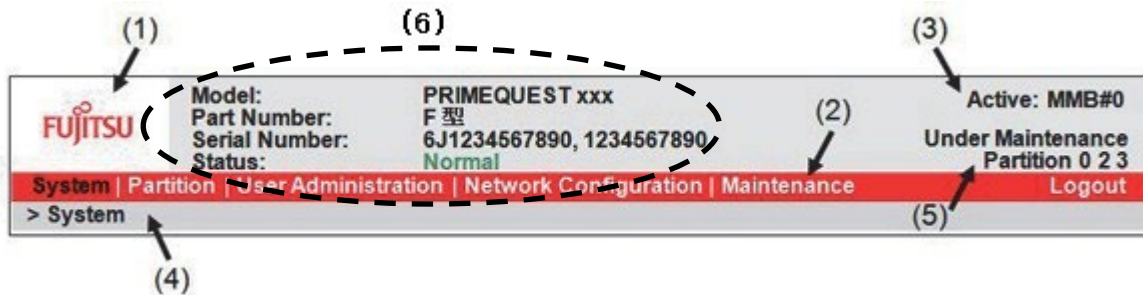
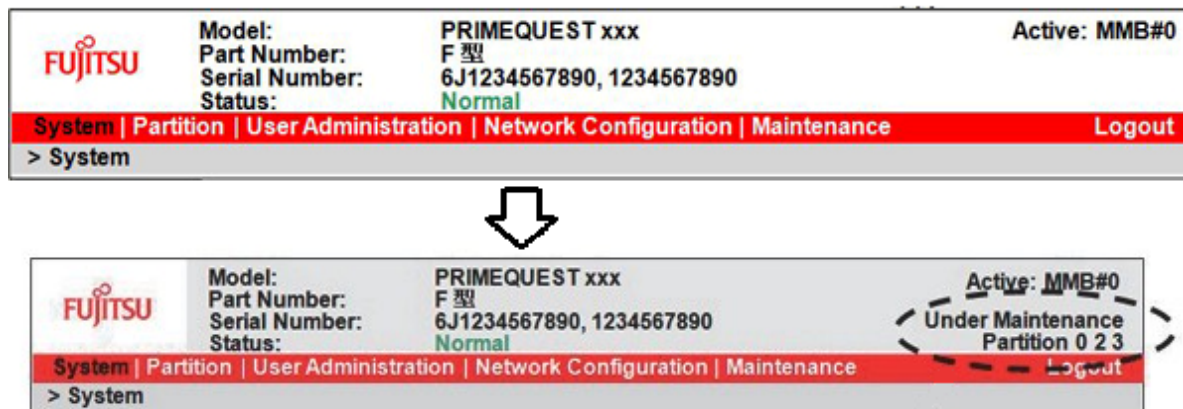


表 1.2 インフォメーション領域の表示項目

番号	領域	説明
(1)	富士通ロゴ	富士通のページにリンクしています。
(2)	ナビゲーションバー	サブメニュー領域に表示するメニューを選択します。メニューを選択すると、コンテンツ領域に状態表示や設定のための情報を表示します。 選択されているメニューは黒色表示、選択されていないメニューは白色表示です。 [Logout] をクリックすると、Web-UI からログアウトします。
(3)	Active MMB ボード番号表示	Web-UI が接続して動作しているアクティブな MMB の番号が表示されます。
(4)	サブメニュー階層表示バー	サブメニュー領域に表示しているメニューに到達するまでの階層を表示します。
(5)	保守状態表示	保守員が [Maintenance Wizard] メニューを使用して PRIMEQUEST 3000 シリーズを保守中の場合は、インフォメーション領域が灰色(*1)で表示されます。 保守中は [Under Maintenance] の文字が黒色で表示され、 [Under Maintenance] の下に保守対象のパーティション番号が表示されます。
(6)	情報表示	下記の情報を表示します。
	Model	PRIMEQUEST 3000 シリーズのモデル名を表示します。(*2)
	Part Number	PRIMEQUEST 3000 シリーズのパーツ番号を表示します。(*2)
	Serial Number	PRIMEQUEST 3000 シリーズのシリアル番号を表示します。(*2)
	Status	PRIMEQUEST 3000 シリーズ全体の状態を表示します。システムの状態表示は、Normal (通常状態)、Warning (警告)、Error (重大) の 3 種類(*3)です。 これらのシステム状態表示をクリックすると、[System Event Log] 画面が表示されます。

*1) 保守中は、インフォメーション領域は、下記に示したように、白色から灰色に変わります。

図 1.3 保守状態表示



*2) 「Read Error」が表示された場合は、『PRIMEQUEST 3000 シリーズ運用管理マニュアル』（CA92344-1656）の「11.2 トラブル対応」を参照して、内容を確認してください。それでも解決できない異常については、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。その場合は、本体装置に貼付のラベルで記載の型名、および製造番号を確認し、連絡してください。

*3) システム状態表示に使用する、表示色、アイコン、を以下に示します。

表 1.3 システム状態表示

状態	表示色	アイコン
Normal（通常状態）	緑色	（なし）
Warning（警告）	黄色	黄色三角内に黒色！マーク 
Error（重大）	赤色	赤色丸内に白色×マーク 

1.5 サブメニュー領域

サブメニュー領域には、ナビゲーションバーのメニューで選択した項目に対応するサブメニューを表示します。
サブメニュー領域の画面例を以下に示します。

図 1.4 サブメニュー領域

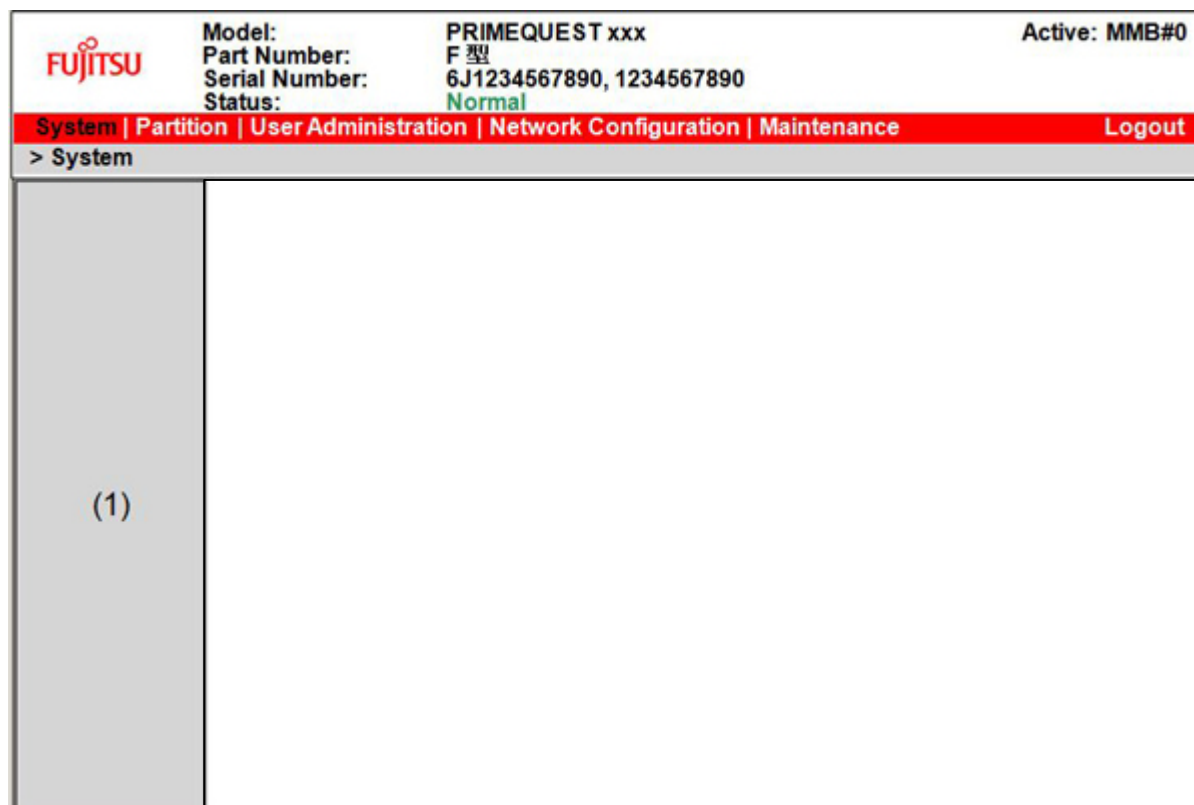
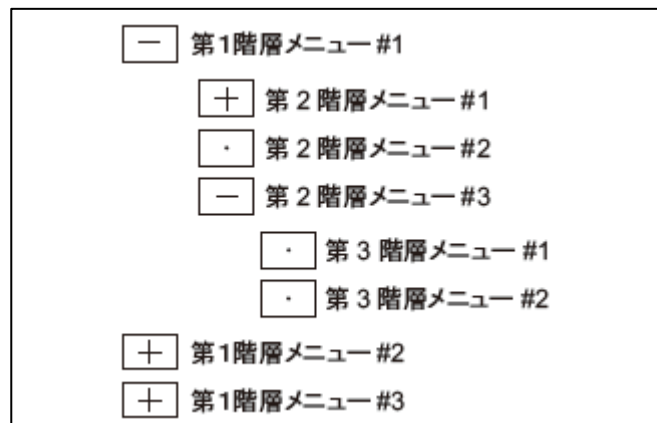


表 1.4 サブメニュー領域

番号	領域	説明
(1)	サブメニュー領域	サブメニュー領域は、以下のように表示します。 ・メニュー階層は最大 3 階層まで表示します。 3 階層より深くなる場合や、メニュー数が多くなり、サブメニュー領域にスクロールバーの表示が必要になる場合は、サブメニュー階層表示バーに 1 階層追加されます。追加されたサブメニュー表示領域には、サブメニュー階層表示バーの最下層メニューをトップとしたサブメニューを表示します。 ・メニュー階層の有無をアイコンで表示します。 下に階層が存在するかどうかかわかるように、各サブメニューの左側には以下のアイコンを表示します。 ☐+ : 下位層のメニューがあることを表します。 ☐- : 下位層のメニューがあり、下位層のメニューが展開されていることを表します。 ☐ : 下位にメニューがないことを表します。

各サブメニューの左側にはアイコンを表示します。メニュー階層は、以下のように表示されます。

図 1.5 メニュー階層表示



- マウスカースルがメニューをポイントしている場合、メニューの背景色が白になります。
- 選択しているメニューは、背景色が変わります。
- 階層メニューの背景色は、階層によって異なります。

1.6 コンテンツ領域

コンテンツ領域には、ナビゲーションバー、およびサブメニュー領域内のメニューで選択した画面を表示します。コンテンツ領域を以下に示します。

図 1.6 コンテンツ領域

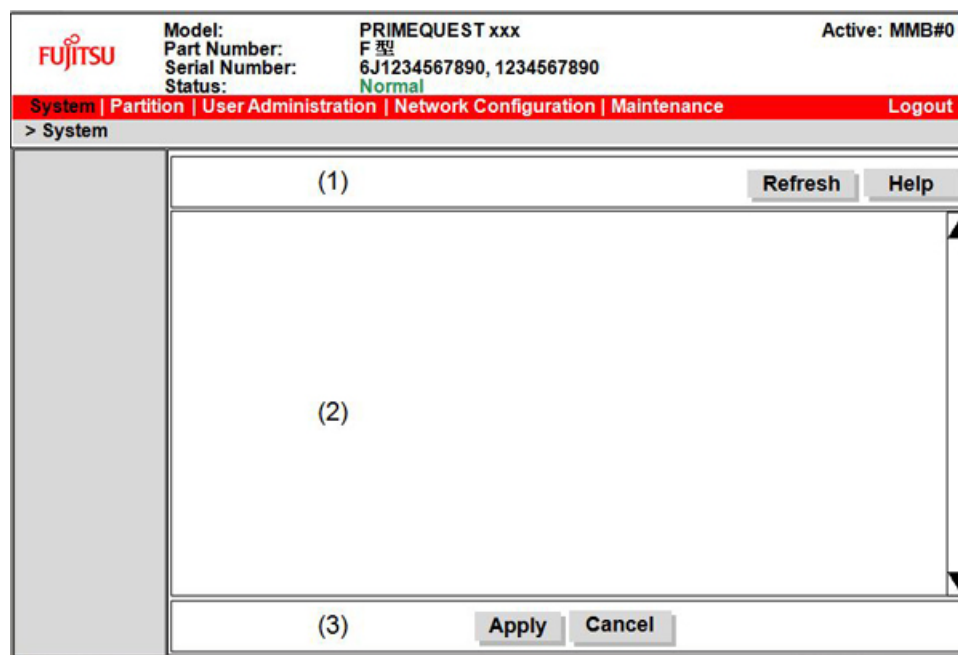


表 1.5 サブメニュー領域

番号	領域	説明
(1)	タイトル領域	コンテンツの内容を表示します。また、コンテンツに対するヘルプを表示するための [Help] ボタン、およびリロードするための [Refresh] ボタンが表示されます。 ・ [Help] ボタン ヘルプを表示するためのボタンです。クリックすると、ヘルプ画面が表示されます。 ・ [Refresh] ボタン クリックすると、コンテンツがリロードされます。リロードの対象は、コンテンツ領域だけです。また、[Refresh] ボタンを表示するのは自動的リフレッシュの対象画面だけで、状態が自動的に変化しない設定するだけの画面では、[Refresh] ボタンは表示されません。 タイトル領域は、下記の「状態表示、設定領域」とともにスクロールしません。
(2)	状態、設定領域	コンテンツに関する状態表示、または設定内容が表示される領域です。領域内に表示しきれない場合は、スクロールバーが表示されます。本画面に対して表示権限しか持たないユーザーが操作している場合は、入力フィールド、ラジオボタン、チェックボックスなどはグレースアウトされ、入力ができない状態になります。
(3)	ボタン領域	状態表示、設定部分の内容を設定するアクションを行うためのボタンが表示されます。[Apply] ボタンや [Cancel] ボタンなどが表示されます。 また、以下の場合は、ボタン領域は表示されません。 ・ 本コンテンツが表示だけで、入力が必要ない場合 ・ 表示権限しか持たないユーザーが操作している場合 この場合は、上記の「状態表示、設定領域」の表示領域が広がります

ダイアログボックス

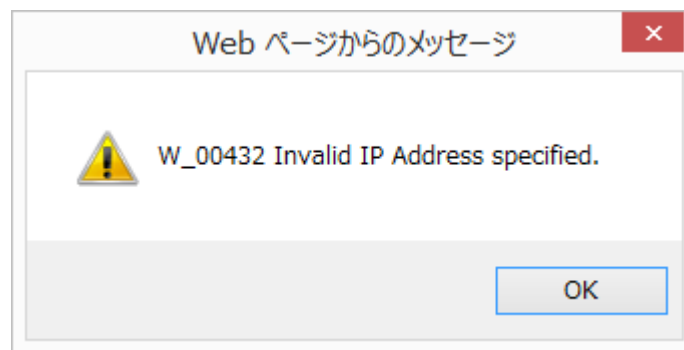
コンテンツ領域での操作に対してユーザーに確認を促したり、エラーを通知したり、必要な情報を入力してもらうために、ダイアログボックスを表示します。

表示するダイアログボックスの種類は、以下のとおりです。

- 警告ダイアログボックス

入力エラーなどのエラーを通知するためのダイアログボックスです。

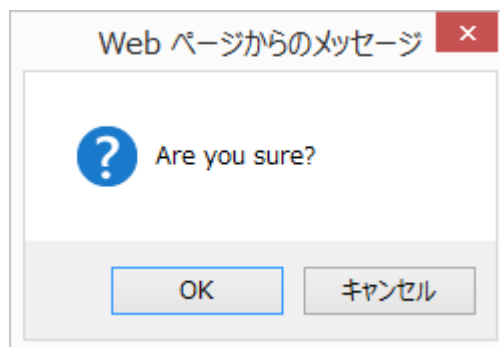
図 1.7 警告ダイアログボックス（例）



- 確認ダイアログボックス

ユーザーに対して、処理の継続を確認するためのダイアログボックスです。

図 1.8 確認ダイアログボックス（例）



1.7 Web-UI 画面の基本操作

ここでは、Web-UI 画面の基本的な操作方法を説明します。

1.7.1 アクセス手順

Web-UI で MMB にアクセスする手順は、以下のとおりです。

■ MMB へのアクセス

1. Web ブラウザを起動します。

備考

ブラウザの設定で、JavaScript およびダウンロードを有効にしてください。

2. 次の URL を入力します。

表 1.6 ログイン時に入力する URL

種別	URL
Standard	http://nodename:adminport
SSL	https://nodename:adminport
備考	上記 URL の nodename:adminport は、以下の記述形式になります。 nodename : MMB の FQDN または IP アドレス adminport : MMB の管理ポートに割り当てたポート番号（初期値は 8081、SSL の場合は 432）

注意

https で接続すると、証明書が「自己署名証明書」の場合、警告メッセージが表示されますが、そのまま接続を続行してください。

3. MMB Web-UI ログイン画面が表示されるので、ユーザーアカウントおよびパスワードを入力し、[Login] ボタンをクリックします。

図 1.9 MMB Web-UI ログイン画面

FUJITSU **FUJITSU Server PRIMEQUEST 3800E**
Management Board Web UI Version 1.00



Username :
 Password :

* Username and password are case sensitive.

Copyright © 2017 FUJITSU LIMITED. All Rights Reserved.

備考

初回起動時および設定変更をしていない場合は、以下の初期値のユーザーアカウントとパスワードでログインできます。セキュリティ上の理由から、一度ログインした後は、新しい管理者アカウントを作成してデフォルトの管理者アカウントを削除するか、少なくともパスワードを変更するようにお勧めします。

表 1.7 ユーザーアカウントの初期値

項目	初期値
Username	Administrator
Password	adminadmin

■ 目的の Web-UI 画面を表示

ログイン後、目的の Web-UI 画面を表示する手順は、以下のとおりです。

1. ナビゲーションバーでサブメニュー領域に表示するメニューを選択します。
サブメニュー領域にメニューが表示されます。
2. サブメニュー領域のメニューで目的の画面を選択します。
目的の画面がコンテンツ領域に表示されます。
3. 目的の画面で情報を確認、設定します。

注意

Web-UI を Internet Explorer で使用しているときに、以下の条件で Web-UI との接続が切断されます。Web-UI との接続が切断された場合は、再度ログインしてください。

- 処理の実行確認のダイアログボックスが表示された状態で 2 分以上経過した場合
- 処理完了の通知のダイアログボックスが表示された状態で 2 分以上経過した場合

■ Web-UI 画面の終了

Web-UI 画面を終了する手順は、以下のとおりです。

1. ナビゲーションバー右端の[Logout] をクリックします。
Web-UI からログアウトします。

1.7.2 画面の表示と操作

画面の各フィールドの表示と操作は、以下のとおりです。

- 文字列入力フィールド（テキストフィールド）
フィールド内に文字列の入力ができます。フィールドによって入力できる文字数や文字の種類が異なります。詳しくは「[第 2 章 MMB の Web-UI \(Web ユーザーインターフェース\) 操作](#)」の各画面の説明を参照してください。

Text Field

- 選択フィールド（プルダウンリスト）
「▼」ボタンをクリックして表示されるリストから値を選択できます。

Selection List ▼

- 設定ボタン（ボタン） クリックすると、フィールド内の表示に従って状態を遷移します。

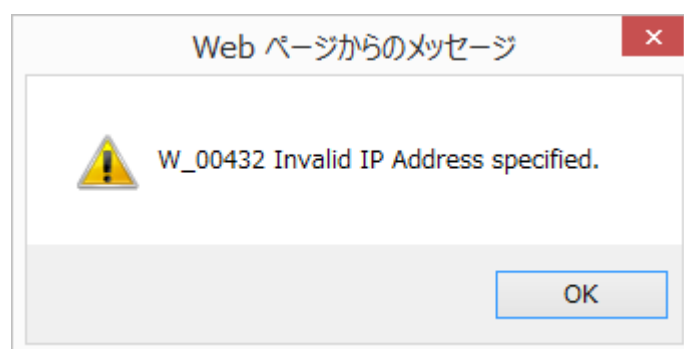
Apply

Cancel

以下に、ボタン領域に表示される設定ボタンの種類について説明します。

- [Apply] ボタン
[Apply] ボタンをクリックすると、コンテンツ領域を管理するプログラムにより、入力フィールドに入力されたデータが正しいかどうかチェックされます。正しくない場合は、入力値が正しくない旨の警告ダイアログボックスが表示され、ユーザー入力値エラーを通知します。たとえば、IP アドレス入力フィールドにおいて、255.255.255.255 のような IP アドレスとして間違ったアドレスを入力して、[Apply] ボタンをクリックした場合、以下のような警告ダイアログボックスを表示します。

図 1.10 警告ダイアログボックス（例）



また、入力した結果がシステムに与える影響が大きい場合には、ユーザーに処理の継続の確認を促すダイアログボックスを表示します。

- [Cancel] ボタン
[Cancel] ボタンをクリックすると、文字列入力フィールドや選択フィールドに入力したデータがシステムに適用されず、入力前の状態に戻ります。
- 単一選択（ラジオボタン）
フィールド内の 1 つを選択できます。

Option Radio Button	☐ ☐ ☐ ☐
---------------------	---

- 複数選択（チェックボックス）
フィールドを複数選択できます。
クリックするたびに「オフ」と「オン」が切り替わります。

Check Box	☐ ☐ ☐ ☐
-----------	---

- リンク
リンクをクリックすると、指定画面に移動します。

[This is a hyperlink to the XXX manual.](#)

- IPv4 アドレスの入力フィールド
各文字列入力フィールドに 0 から 255 の値を入力できます。

	.		.		.	
----------------------	---	----------------------	---	----------------------	---	----------------------

- IPv4/IPv6 アドレスの入力フィールド
IPv4/IPv6 共通で使用する入力フィールドです。
IPv4 アドレスの場合は、テキストフィールドに 10 進数の値を入力できます。例) 192.168.10.1
IPv6 アドレスの場合は、テキストフィールドに 16 進数の値を入力できます。
例) 2001:1000:0120:0000:0000:0000:fe34:0000
IPv6 アドレスは、以下の省略記法が可能です。
 - 各ブロックの先頭の連続する「0」は省略可能。例) 2001:1000:120:0000:0000:0000:fe34:0000
 - 「0000」は「0」と表記する。例) 2001:1000:120:0:0:0:fe34:0
 - 連続する「0」のブロックは、1 回に限り、「::」に置換え可能。例) 2001:1000:120::fe34:0英字は、大文字・小文字の値を入力できますが設定後は小文字で表示されます。

- MAC アドレスの入力フィールド
各文字列入力フィールドに 00 から FF までの値を 16 進数で入力できます。A～F の値に関しては、大文字小文字の区別はありません。

	:		:		:		:		:	
----------------------	---	----------------------	---	----------------------	---	----------------------	---	----------------------	---	----------------------

注意

Web-UI でダウンロード操作を行おうとして、ダウンロード先を確認するダイアログボックスがポップアップブロック機能により表示されないことがあります。ダウンロードするためには、ブラウザ側で Web-UI を「ポップアップ許可」を設定するか、ポップアップブロック機能を解除してください。

1.8 ユーザーの権限レベル

PRIMEQUEST 3000 シリーズは、ユーザーのシステムに対する操作を制限するために、以下の権限レベルを備えています。

- Administrator
- Operator
- Partition Operator
- User
- CE

ユーザー権限レベルについて詳しくは「[表 2.1 ユーザー権限](#)」を参照してください。

1.9 操作対象の表示

ここでは、MMB の Web-UI で iRMC 機能を表示する方法を説明します。

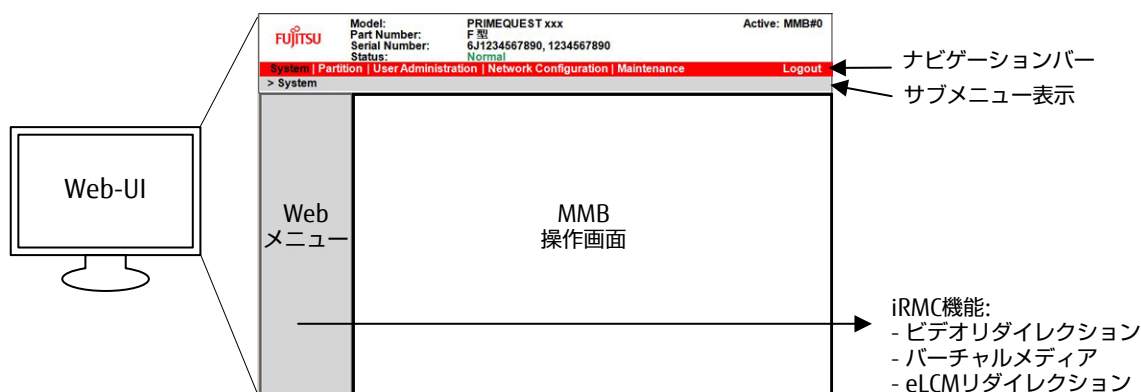
操作方法には、Web-UI 操作とコマンドラインインターフェース (CLI) 操作があり、管理 LAN に接続された PC から操作します。以下に、Web-UI と CLI の基本操作を説明します。Web-UI と CLI の詳細について詳しくは、「[第 2 章 MMB の Web-UI \(Web ユーザーインターフェース\) 操作](#)」「[第 3 章 MMB の CLI \(コマンドラインインターフェース\) 操作](#)」を参照してください。

■ Web-UI の基本操作

MMB 機能および iRMC 機能の Web-UI 操作は、以下のようにナビゲーションバーとメニューを使用します。サブメニュー一階層表示バーは、現在表示されている操作画面のメニュー位置を示しているのもので、現在の操作対象がわかります。

MMB 機能および iRMC 機能の Web-UI での表示を以下に示します。

図 1.11 Web-UI 表示 (MMB 機能・iRMC 機能)



■ MMB 機能の表示

1. ナビゲーションバーの[System] をクリックします。
MMB 機能が表示されます。

■ iRMC 機能の表示

「ビデオリダイレクション/バーチャルメディア」

1. ナビゲーションバーの[Partition] をクリックします。
2. [Partition] メニューから、[Partition#n] → [Console Redirection] をクリックします。
3. [Operation] から、[Video Redirection]、または、[Video Redirection(HTML5)]を選択します。
4. [Apply] をクリックします。
5. ダイアログボックスの[OK]ボタンをクリック(*)します。
*) Internet Explorer の場合は、[Ctrl]キーと[Alt]キーを押しながら[OK]ボタンをクリックします
別ウィンドウにビデオリダイレクション機能が表示されます。

「eLCM リダイレクション」

1. ナビゲーションバーの[Partition] をクリックします。
2. [Partition] メニューから、[Partition#n] → [eLCM Redirection] をクリックします。
3. [Operation] のチェックボックスをチェックします。
4. [Apply] をクリックします。

5. ダイアログボックスの[OK]ボタンをクリック(*)します。

*) Internet Explorer の場合は、[Ctrl]キーと[Alt]キーを押しながら[OK]ボタンをクリックします
別ウィンドウに eLCM リダイレクション機能が表示されます。

注意

- ビデオリダイレクション機能は事前に下記の実施が必要になります。
 - [Partition] → [Console Redirection Setup]で IPv4/IPv6 どちらか一方での Video Redirection の Enable 設定
 - 拡張パーティションの場合、[Partition] → [Partition#x Extended Partitioning Configuration] → [SB]で VGA/USB/rKVMs を割り当て設定
- eLCM リダイレクション機能は事前に下記の実施が必要になります。
 - [Partition] → [eLCM Setup]画面でのライセンス登録
 - BMM_BOARD への eLCM 用 Micro SD の搭載
 - [Partition] → [Console Redirection Setup]で IPv4/IPv6 どちらか一方での Video Redirection の Enable 設定
 - CLI コマンド “set irmc user” でのアカウント作成
- ビデオリダイレクションを実施するユーザー端末で DNS サーバへのアクセスが不可能な環境では DNS サーバのアドレス設定をしないでください。
- バーチャルメディアは同一ユーザー端末から複数パーティションに対して利用できません。

■ CLI 操作のための基本設定

CLI 操作では、管理 LAN に接続されている PC から telnet または SSH を使用して、各操作対象を表示します。telnet または SSH で操作対象の IP アドレスを指定し、操作対象の OS やファームウェアにログインするのが、基本的な操作です。

IP アドレス、パーティションのポート番号、アカウント、パスワードなど、リモートログインのために必要な情報は、事前に設定しておきます。

- MMB のユーザーアカウント、パスワードの情報は、Web-UI の[User List] 画面で確認します。[UserList] 画面を表示するには、[User Administration] → [User List] をクリックします。
[User List] 画面は、Administrator 権限のユーザーだけが表示できます。
[User List] 画面の操作方法について詳しくは「[2.5.1 \[User List\] 画面](#)」を参照してください。

図 1.12 [User List] 画面

System Partition **User Administration** Network Configuration Maintenance Logout

>User Administration >User List

User List

Click the Add User button to add a new user.
Select a user, then click the Edit/Remove User button to edit or remove the user.

User Name	Full Name	Privilege	Status	Operable Partition (for Partition Operator)
☐ Administrator	Default Administrator	Admin	Enabled	
☐ Operator		Operator	Enabled	
☒ User		User	Disabled	

Add User Edit User Remove User Cancel

- リモートログインのために必要なネットワークプロトコルについての情報は、[Network Protocols] 画面で設定します。[Network Protocols] 画面を表示するには、Web-UI の[Network Configuration] → [Network Protocols] をクリックします。
[Network Protocols] 画面は、Administrator 権限のユーザーだけが編集できます。
[Network Protocols] 画面の操作方法について、詳しくは、「[2.6.4 \[Network Protocols\] 画面](#)」を参照してください。

注意

外部から telnet または SSH で MMB にログインするには、[Network Configuration] → [Network Protocols] をクリックし、[Network Protocols] 画面で必要な項目を[Enable] に設定しておく必要があります。

図 1.13 [Network Protocols] 画面

System | **Partition** | **User Administration** | **Network Configuration** | **Maintenance** | [Logout](#)

>Network Configuration >Network Protocols

Network Protocols

Click the Apply Button to apply all changes.

Web (HTTP/HTTPS)

HTTP	☒ Enable ☐ Disable
HTTP Port#[80,1024-65535]	8081
HTTPS	☐ Enable ☒ Disable
HTTPS Port#[432,443,1024-65535]	432
Timeout (sec) [0,60-9999]	0

Telnet

Telnet	☒ Enable ☐ Disable
Telnet Port#[23,1024-65535]	23
Timeout (sec) [0,60-9999]	0

SSH

SSH	☐ Enable ☒ Disable
SSH Port#[22,1024-65535]	22
Timeout (sec) [0,60-9999]	600

SNMP

SNMP Agent	☐ Enable ☒ Disable
Agent Port#[161,1024-65535]	161
SNMP Trap	☐ Enable ☒ Disable
Trap Port#[162,1024-65535]	162

[Apply](#) [Cancel](#)

- MMB へのログイン方法
MMB の IP アドレスを指定して、リモートログインします。
リモートログイン後の操作について詳しくは、「[第 3 章 3.1 CLI の基本操作](#)」を参照してください。

第2章 MMB の Web-UI

(Web ユーザーインターフェース) 操作

本章では、MMB の Web-UI を使って PRIMEQUEST 3000 シリーズを管理／運用するためのメニューの一覧と、操作方法について説明します。

画面で表示されるメッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 3000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-1660) を参照してください。

2.1 Web-UI のメニュー一覧

MMB Web-UI では、ユーザー権限によって使用できるメニューが異なります。MMB Web-UI メニューを参照／操作するためのユーザー権限を「[表 2.1 ユーザー権限](#)」に示します。

表 2.1 ユーザー権限

権限レベル	説明
Administrator	すべての操作と参照が許可されます。
Operator	PRIMEQUEST 3000 シリーズの状態の参照、および設定が許可されます。 ユーザー管理やネットワークの設定変更はできません。 また、以下の操作ができません。 • [System Power Control] 画面からの電源操作 • ファンおよび PSU の Status の変更 • パーティションの構成変更 • Reserved SB の設定
Partition Operator	Operator の権限を、特定のパーティションだけに制限したアカウントです。 システムの状態参照は Operator と同様に可能です。 Operator では可能な SB/IOUE のステータスクリアなどの操作はできません。
User	PRIMEQUEST 3000 シリーズの状態の参照だけが許可されます。 システム構成情報の設定や、パーティションの電源のオン／オフはできません。
CE	PRIMEQUEST 3000 シリーズの状態の参照が許可されます。 電源操作は可能です。

Web-UI のメニュー一覧を、ユーザー権限ごとに示します。

- [2.1.1 Web-UI のメニュー一覧\(Administrator\)](#)
- [2.1.2 Web-UI のメニュー一覧\(Operator\)](#)
- [2.1.3 Web-UI のメニュー一覧\(Partition Operator\)](#)
- [2.1.4 Web-UI のメニュー一覧\(User\)](#)
- [2.1.5 Web-UI のメニュー一覧\(CE\)](#)

2.1.1 Web-UI のメニュー一覧(Administrator)

Administrator 権限で使用できる Web-UI のメニューを示します。

表 2.2 Web-UI のメニュー一覧(Administrator)

Navigation Bar	第 1 階層	第 2 階層	権限	備考
System				
	System Status		RO	システム全体の状態を表示します。
	System Event Log		RW	System Event Log を表示します。
	Operation Log		RW	Web-UI、CLI の操作を表示します。
	Partition Event Log		RW	Partition の通報メッセージを表示します(*1)。
	System Information		RW	システム名、製品名などのシステム情報を表示します。
	Firmware Information		RO	ファームウェアのバージョン情報を表示します。
	System Setup		RW	システムのコンフィグレーション設定を表示します。
	System Power Control		RW	電源制御を表示します。
	LEDs		RW	LED の状態を表示します。
	Power Supply		RW	電源の状態を表示します。
	Fans		RW	Fan の状態を表示します。
	Temperature		RO	システム内温度センサーを表示します。
	SB			
		SB#0	RW	SB または Memory Scale-up Board の状態を表示します。搭載されていない SB または Memory Scale-up Board のメニューは表示しません。
		SB#1	RW	
		SB#2	RW	
		SB#3	RW	
	IOU			
		IOU#0	RW	IOUE の状態を表示します。搭載されていない IOUE のメニューは表示しません。
		IOU#1	RW	
		IOU#2	RW	
		IOU#3	RW	
	DU			
		DU#0	RW	DU の状態を表示します。搭載されていない DU のメニューは表示しません。
		DU#1	RW	
		DU_M#0	RW	
		DU_M#1	RW	
		DU_M#2	RW	
		DU_M#3	RW	
	PCI_Box			PCI ボックスが 1 台も接続されていない場合は本メニューを表示しません。
		PCI_Box#0	RW	PCI ボックスの状態を表示します。搭載されていない PCI ボックスのメニューは表示しません。
		PCI_Box#1	RW	
		PCI_Box#2	RW	

Navigation Bar	第 1 階層	第 2 階層	権限	備考
		PCI_Box#3	RW	
	OPL		RW	
	MMB			
		MMB#0	RW	MMB に関する状態と情報を表示します。
		MMB#1	RW	
	PCI_IFU_M			
		PCI_IFU_M#0	RW	
		PCI_IFU_M#1	RW	
		PCI_IFU_M#2	RW	
		PCI_IFU_M#3	RW	
	MGMT_IFU			
		MGMT_IFU_E#0	RW	
		MGMT_IFU_E#1	RW	
		MGMT_IFU_M#0	RW	
		MGMT_IFU_M#1	RW	
	Disk Enclosure			Disk Enclosure が 1 台も接続されていない場合は本メニューを表示しません。
		Disk Enclosure#x	RW	搭載されていない Disk Enclosure のメニューは表示しません。
Partition				
	Power Control		RW	パーティションの電源制御を表示します。
	Schedule			
		Schedule Control	RW	スケジュール運転の設定を表示します。
		Schedule List	RW	電源オン／オフのスケジュール設定を表示します。
	Console Redirection Setup		RW	Video Redirection, Remote Storage, Text Console Redirection の設定を表示します。
		IPv4 Console Redirection Setup	RW	IPv4 用の設定を表示します。
		IPv6 Console Redirection Setup	RW	IPv6 用の設定を表示します。
	Partition Configuration		RW	パーティションの構成変更を表示します。
	Partition#n Extended Partition Configuration			拡張パーティションの構成変更を表示します。 Extended Partitioning Mode が Disable の場合は本メニューを表示しません。
		SB	RW	
		IOU#n	RW	
		PCI_Box#n	RW	
	Extended Socket Configuration		RW	Extended Socket に関する設定を行います。(Zone 設定)

Navigation Bar	第 1 階層	第 2 階層	権限	備考
	Reserved SB Configuration		RW	Reserved SB の定義を行います。
	Power Management Setup		RW	
	eLCM Setup		RW	
	Partition#0			パーティションに属するボードが 1 枚も存在しない場合は本サブメニューを表示しません。
		Information	RO	パーティションのステータス、各種情報を表示します。
		ASR Control	RW	パーティションの自動再起動条件の設定を表示します。
		Console Redirection	RW	パーティションのコンソール出力を表示します。
		Mode	RW	パーティションの Mode 設定を表示します。
		NVM/LRDIMM Life Cycle Management	RO	DCPMM が 1 枚も搭載されていない場合は本メニューを表示しません。 (PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400E2/3400L2/3800E2/3800L2 モデルの場合、本メニューが表示されます。)
		SSD Life Cycle Management	RO	PCIe SSD card が 1 枚も搭載されていない場合は本メニューを表示しません。
		eLCM Redirection	RW	
	Partition#1			Partition#0 と同様です。
	Partition#2			
	Partition#3			
User Administration				
	User List		RW	登録されているユーザーアカウントの一覧表示、編集、削除をします。
	Change Password		RW	自アカウントのパスワード変更をします。
	Who		RO	MMB にログインしているユーザーを表示します。
	LDAP Configuration		RW	LDAP に関する設定を行います。
		Directory Service Configuration	RW	MMB が LDAP 経由でディレクトリサービスにアクセスするための設定を行います。
		LDAP User Group List	RW	登録されている LDAP User Group の一覧表示、編集、削除を行います。
Network Configuration				
	Date/Time		RW	
	Network Interface			

Navigation Bar	第 1 階層	第 2 階層	権限	備考
		IPv4 Interface	RW	IPv4 用の IP Address などを設定します。
		IPv6 Interface	RW	IPv6 用の IP Address などを設定します。
	Management LAN Port Configuration		RW	MMB の LAN Port を設定します。
	Network Protocols		RW	
	Refresh Rate		RW	Web-UI 画面の Refresh Rate を設定します。
	SNMP Configuration		RW	
		Community	RW	
		Trap	RW	
		SNMPv3 Configuration	RW	
	SSL			
		Create CSR	RW	秘密鍵と CSR を作成します。
		Export Key/CSR	RW	秘密鍵/CSR の取出しをします。
		Import Certificate	RW	証明書をインストールします。
		Create Selfsigned Certificate	RW	自己署名した証明書を作成します。
	SSH			
		SSH Server Key	RW	SSH サーバのプライベートキーを作成します。
	Remote Server Management		RW	
	Access Control		RW	接続を許可する IP フィルタリングの設定をします。
	Alarm E-mail		RW	
Maintenance				
	Firmware Update			
		Unified Firmware Update	RW	一括アップデートをします。
	Backup/Restore Configuration			設定情報の退避／復元をします。
		Backup/Restore MMB Configuration	RW	
		Backup BIOS Configuration	RW	
		Restore BIOS Configuration	RW	
	Maintenance Wizard		RW	ウィザード形式で保守をします。
	REMCS			
		REMCS	RW	
		Detail Setup	RW	

権限欄の記号の意味は、以下のとおりです。

- RW：対象メニューの参照および設定、制御が可能です。
- RO：対象メニューの参照のみ可能です。

- N/A：対象メニュー自体、およびサブメニューが表示されません。

*1) PRIMEQUEST 3000 シリーズでは、Partition Event Log メニューは常に表示します。

2.1.2 Web-UI のメニュー一覧(Operator)

Operator 権限で使用できる Web-UI のメニューを示します。

表 2.3 Web-UI のメニュー一覧(Operator)

Navigation Bar	第 1 階層	第 2 階層	権限	備考
System				
	System Status		RO	システム全体の状態を表示します。
	System Event Log		RO	System Event Log を表示します。
	Operation Log		RO	Web-UI、CLI の操作を表示します。
	Partition Event Log		RO	Partition の通報メッセージを表示します(*1)。
	System Information		RO	システム名、製品名などのシステム情報を表示します。
	Firmware Information		RO	ファームウェアのバージョン情報を表示します。
	System Setup		RO	システムのコンフィグレーション設定を表示します。
	System Power Control		RO	電源制御を表示します。
	LEDs		RW	LED の状態を表示します。
	Power Supply		RO	電源の状態を表示します。
	Fans		RO	Fan の状態を表示します。
	Temperature		RO	システム内温度センサーを表示します。
	SB			
		SB#0	RW	SB または Memory Scale-up Board の状態を表示します。搭載されていない SB または Memory Scale-up Board のメニューは表示しません。
		SB#1	RW	
		SB#2	RW	
		SB#3	RW	
	IOU			
		IOU#0	RW	IOUE の状態を表示します。搭載されていない IOUE のメニューは表示しません。
		IOU#1	RW	
		IOU#2	RW	
		IOU#3	RW	
	DU			
		DU#0	RW	DU の状態を表示します。搭載されていない DU のメニューは表示しません。
		DU#1	RW	
		DU_M#0	RW	
		DU_M#1	RW	
		DU_M#2	RW	
		DU_M#3	RW	
	PCI_Box			PCI ボックスが 1 台も接続されていない場合は本メニューを表示しません。
		PCI_Box#0	RW	PCI ボックスの状態を表示します。
		PCI_Box#1	RW	搭載されていない PCI ボックスのメ

Navigation Bar	第 1 階層	第 2 階層	権限	備考
		PCI_Box#2	RW	ニューは表示しません。
		PCI_Box#3	RW	
	OPL		RW	
	MMB			
		MMB#0	RW	MMB に関する状態と情報を表示します。
		MMB#1	RW	
	PCI_IFU_M			
		PCI_IFU_M#0	RW	
		PCI_IFU_M#1	RW	
		PCI_IFU_M#2	RW	
		PCI_IFU_M#3	RW	
	MGMT_IFU			
		MGMT_IFU_E#0	RW	
		MGMT_IFU_E#1	RW	
		MGMT_IFU_M#0	RW	
		MGMT_IFU_M#1	RW	
	Disk Enclosure			Disk Enclosure が 1 台も接続されていない場合は本メニューを表示しません。
		Disk Enclosure#x	RW	搭載されていない Disk Enclosure のメニューは表示しません。
Partition				
	Power Control		RW	パーティションの電源制御を表示します。
	Schedule			
		Schedule Control	RW	スケジュール運転の設定を表示します。
		Schedule List	RW	電源オン／オフのスケジュール設定を表示します。
	Console Redirection Setup		RO	Video Redirection, Remote Storage, Text Console Redirection の設定を表示します。
		IPv4 Console Redirection Setup	RO	IPv4 用の設定を表示します。
		IPv6 Console Redirection Setup	RO	IPv6 用の設定を表示します。
	Partition Configuration		RO	パーティションの構成変更を表示します。
	Partition#n Extended Partition Configuration			拡張パーティションの構成変更を表示します。 Extended Partitioning Mode が Disable の場合は本メニューを表示しません。
		SB	RO	
		IOU#n	RO	
		PCI_Box#n	RO	

Navigation Bar	第 1 階層	第 2 階層	権限	備考
	Extended Socket Configuration		RW	Extended Socket に関する設定を行います。(Zone 設定)
	Reserved SB Configuration		RO	Reserved SB の定義を行います。
	Power Management Setup		RO	
	eLCM Setup		RO	
	Partition#0			パーティションに属するボードが 1 枚も存在しない場合は本サブメニューを表示しません。
		Information	RO	パーティションのステータス、各種情報を表示します。
		ASR Control	RO	パーティションの自動再起動条件の設定を表示します。
		Console Redirection	RW	パーティションのコンソール出力を表示します。
		Mode	RW	パーティションの Mode 設定を表示します。
		NVM/LRDIMM Life Cycle Management	RO	DCPMM が 1 枚も搭載されていない場合は本メニューを表示しません。(PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400E2/3400L2/3800E2/3800L2 モデルの場合、本メニューが表示されます。)
		SSD Life Cycle Management	RO	PCIe SSD card が 1 枚も搭載されていない場合は本メニューを表示しません。
		eLCM Redirection	RW	
	Partition#1			Partition#0 と同様です。
	Partition#2			
	Partition#3			
User Administration				
	User List		N/A	登録されているユーザーアカウントの一覧表示、編集、削除をします。
	Change Password		RW	自アカウントのパスワード変更をします。
	Who		RO	MMB にログインしているユーザーを表示します。
	LDAP Configuration		N/A	LDAP に関する設定を行います。
		Directory Service Configuration	N/A	MMB が LDAP 経由でディレクトリサービスにアクセスするための設定を行います。
		LDAP User Group List	N/A	登録されている LDAP User Group の一覧表示、編集、削除を行います。
Network Configuration				
	Date/Time		RO	

Navigation Bar	第 1 階層	第 2 階層	権限	備考
	Network Interface			
		IPv4 Interface	RO	IPv4 用の IP Address などを設定します。
		IPv6 Interface	RO	IPv6 用の IP Address などを設定します。
	Management LAN Port Configuration		N/A	MMB の LAN Port を設定します。
	Network Protocols		RO	
	Refresh Rate		RW	Web-UI 画面の Refresh Rate を設定します。
	SNMP Configuration		N/A	
		Community	N/A	
		Trap	N/A	
		SNMPv3 Configuration	N/A	
	SSL			
		Create CSR	N/A	秘密鍵と CSR を作成します。
		Export Key/CSR	N/A	秘密鍵/CSR の取出しをします。
		Import Certificate	N/A	証明書をインストールします。
		Create Selfsigned Certificate	N/A	自己署名した証明書を作成します。
	SSH			
		SSH Server Key	N/A	SSH サーバのプライベートキーを作成します。
	Remote Server Management		N/A	
	Access Control		N/A	接続を許可する IP フィルタリングの設定をします。
	Alarm E-mail		N/A	
Maintenance				
	Firmware Update			
		Unified Firmware Update	N/A	一括アップデートをします。
	Backup/Restore Configuration			設定情報の退避／復元をします。
		Backup/Restore MMB Configuration	N/A	
		Backup BIOS Configuration	N/A	
		Restore BIOS Configuration	N/A	
	Maintenance Wizard		N/A	ウィザード形式で保守をします。
	REMCS			
		REMCS	N/A	
		Detail Setup	N/A	

権限欄の記号の意味は、以下のとおりです。

- RW：対象メニューの参照および設定、制御が可能です。
- RO：対象メニューの参照のみ可能です。
- N/A：対象メニュー自体、およびサブメニューが表示されません。

*1) PRIMEQUEST 3000 シリーズでは、Partition Event Log メニューは常に表示します。

2.1.3 Web-UI のメニュー一覧(Partition Operator)

Partition Operator 権限で利用できる Web-UI のメニューを示します。

表 2.4 Web-UI のメニュー一覧(Partition Operator)

Navigation Bar	第 1 階層	第 2 階層	権限 (自パーティ ション)	権限 (他パーティ ション)	備考
System					
	System Status		RO	RO	システム全体の状態を表示します。
	System Event Log		RO	RO	System Event Log を表示します。
	Operation Log		RO	RO	Web-UI、CLI の操作を表示します。
	Partition Event Log		RO	RO	Partition の通報メッセージを表示します(*1)。
	System Information		RO	RO	システム名、製品名などのシステム情報を表示します。
	Firmware Information		RO	RO	ファームウェアのバージョン情報を表示します。
	System Setup		RO	RO	システムのコンフィグレーション設定を表示します。
	System Power Control		RO	RO	電源制御を表示します。
	LEDs		RW	RW	LED の状態を表示します。
	Power Supply		RO	RO	電源の状態を表示します。
	Fans		RO	RO	Fan の状態を表示します。
	Temperature		RO	RO	システム内温度センサーを表示します。
	SB				
		SB#0	RO	RO	SB または Memory Scale-up Board の状態を表示します。搭載されていない SB または Memory Scale-up Board のメニューは表示しません。
		SB#1	RO	RO	
		SB#2	RO	RO	
		SB#3	RO	RO	
	IOU				
		IOU#0	RO	RO	IOUE の状態を表示します。搭載されていない IOUE のメニューは表示しません。
		IOU#1	RO	RO	
		IOU#2	RO	RO	
		IOU#3	RO	RO	
	DU				
		DU#0	RO	RO	DU の状態を表示します。搭載されていない DU のメニューは表示しません。
		DU#1	RO	RO	
		DU_M#0	RO	RO	
		DU_M#1	RO	RO	
		DU_M#2	RO	RO	
		DU_M#3	RO	RO	

Navigation Bar	第 1 階層	第 2 階層	権限 (自パーティ ション)	権限 (他パーティ ション)	備考
	PCI_Box				PCI ボックスが 1 台も接続されていない場合は本メニューを表示しません。
		PCI_Box#0	RO	RO	PCI ボックスの状態を表示します。搭載されていない PCI ボックスのメニューは表示しません。
		PCI_Box#1	RO	RO	
		PCI_Box#2	RO	RO	
		PCI_Box#3	RO	RO	
	OPL		RO	RO	
	MMB				
		MMB#0	RO	RO	MMB に関する状態と情報を表示します。
		MMB#1	RO	RO	
	PCI_IFU_M				
		PCI_IFU_M#0	RO	RO	
		PCI_IFU_M#1	RO	RO	
		PCI_IFU_M#2	RO	RO	
		PCI_IFU_M#3	RO	RO	
	MGMT_IFU				
		MGMT_IFU_E#0	RO	RO	
		MGMT_IFU_E#1	RO	RO	
		MGMT_IFU_M#0	RO	RO	
		MGMT_IFU_M#1	RO	RO	
	Disk Enclosure				Disk Enclosure が 1 台も接続されていない場合は本メニューを表示しません。
		Disk Enclosure#x	RO	RO	搭載されていない Disk Enclosure のメニューは表示しません。
Partition					
	Power Control		RW	RO	パーティションの電源制御を表示します。
	Schedule				
		Schedule Control	RW	RO	スケジュール運転の設定を表示します。
		Schedule List	RW	RO	電源オン／オフのスケジュール設定を表示します。
	Console Redirection Setup		RO	RO	Video Redirection, Remote Storage, Text Console Redirection の設定を表示します。
		IPv4 Console Redirection Setup	RO	RO	IPv4 用の設定を表示します。
		IPv6 Console Redirection Setup	RO	RO	IPv6 用の設定を表示します。

Navigation Bar	第 1 階層	第 2 階層	権限 (自パーティ ション)	権限 (他パーティ ション)	備考
	Partition Configuration		RO	RO	パーティションの構成変更を表示 します。
	Partition#n Extended Partition Configuration				拡張パーティションの構成変更 を表示します。 Extended Partitioning Mode が Disable の場合は本メニューを 表示しません。
		SB	RO	RO	
		IOU#n	RO	RO	
		PCI_Box#n	RO	RO	
	Extended Socket Configuration		RW	RO	Extended Socket に関する設定 を行います。(Zone 設定)
	Reserved SB Configuration		RO	RO	Reserved SB の定義を行いま す。
	Power Management Setup		RO	RO	
	eLCM Setup		RO	RO	
	Partition#0				パーティションに属するボード が 1 枚も存在しない場合は本サ ブメニューを表示しません。
		Information	RO	N/A	パーティションのステータス、 各種情報を表示します。
		ASR Control	RW	N/A	パーティションの自動再起動条 件の設定を表示します。
		Console Redirection	RW	N/A	パーティションのコンソール出 力を表示します。
		Mode	RW	N/A	パーティションの Mode 設定を 表示します。
		NVM/LRDIMM Life Cycle Management	RO	RO	DCPMM が 1 枚も搭載されてい ない場合は本メニューを表示し ません。 (PRIMEQUEST 3400S2 Lite/ 3400S2/3400E2/3400L2/3800 E2/3800L2 モデルの場合、本メ ニューが表示されます。)
		SSD Life Cycle Management	RO	RO	PCIe SSD card が 1 枚も搭載さ れていない場合は本メニューを 表示しません。
		eLCM Redirection	RW	N/A	
	Partition#1				Partition#0 と同様です。
	Partition#2				
	Partition#3				
User Administration					

Navigation Bar	第 1 階層	第 2 階層	権限 (自パーティ ション)	権限 (他パーティ ション)	備考
	User List		N/A	N/A	登録されているユーザーアカウントの一覧表示、編集、削除をします。
	Change Password		RW	N/A	自アカウントのパスワード変更をします。
	Who		RO	RO	MMB にログインしているユーザーを表示します。
	LDAP Configuration		N/A	N/A	LDAP に関する設定を行います。
		Directory Service Configuration	N/A	N/A	MMB が LDAP 経由でディレクトリサービスにアクセスするための設定を行います。
		LDAP User Group List	N/A	N/A	登録されている LDAP User Group の一覧表示、編集、削除を行います。
Network Configuration					
	Date/Time		RO	RO	
	Network Interface				
		IPv4 Interface	RO	RO	IPv4 用の IP Address などを設定します。
		IPv6 Interface	RO	RO	IPv6 用の IP Address などを設定します。
	Management LAN Port Configuration		N/A	N/A	MMB の LAN Port を設定します。
	Network Protocols		RO	RO	
	Refresh Rate		RW	RW	Web-UI 画面の Refresh Rate を設定します。
	SNMP Configuration		N/A	N/A	
		Community	N/A	N/A	
		Trap	N/A	N/A	
		SNMPv3 Configuration	N/A	N/A	
	SSL				
		Create CSR	N/A	N/A	秘密鍵と CSR を作成します。
		Export Key/CSR	N/A	N/A	秘密鍵/CSR の取出しをします。
		Import Certificate	N/A	N/A	証明書をインストールします。
		Create Selfsigned Certificate	N/A	N/A	自己署名した証明書を作成します。
	SSH				

Navigation Bar	第 1 階層	第 2 階層	権限 (自パーティ ション)	権限 (他パーティ ション)	備考
		SSH Server Key	N/A	N/A	SSH サーバのプライベートキーを作成します。
	Remote Server Management		N/A	N/A	
	Access Control		N/A	N/A	接続を許可する IP フィルタリングの設定をします。
	Alarm E-mail		N/A	N/A	
Maintenance					
	Firmware Update				
		Unified Firmware Update	N/A	N/A	一括アップデートをします。
	Backup/Restore Configuration				設定情報の退避／復元をします。
		Backup/Restore MMB Configuration	N/A	N/A	
		Backup BIOS Configuration	N/A	N/A	
		Restore BIOS Configuration	N/A	N/A	
	Maintenance Wizard		N/A	N/A	ウィザード形式で保守をします。
	REMCS				
		REMCS	N/A	N/A	
		Detail Setup	N/A	N/A	

権限欄の記号の意味は、以下のとおりです。

- RW：対象メニューの参照および設定、制御が可能です。
- RO：対象メニューの参照のみ可能です。
- N/A：対象メニュー自体、およびサブメニューが表示されません。

*1) PRIMEQUEST 3000 シリーズでは、Partition Event Log メニューは常に表示します。

2.1.4 Web-UI のメニュー一覧(User)

User 権限で使用できる Web-UI のメニューを示します。

表 2.5 Web-UI のメニュー一覧(User)

Navigation Bar	第 1 階層	第 2 階層	権限	備考
System				
	System Status		RO	システム全体の状態を表示します。
	System Event Log		RO	System Event Log を表示します。
	Operation Log		RO	Web-UI、CLI の操作を表示します。
	Partition Event Log		RO	Partition の通報メッセージを表示します(*1)。
	System Information		RO	システム名、製品名などのシステム情報を表示します。
	Firmware Information		RO	ファームウェアのバージョン情報を表示します。
	System Setup		RO	システムのコンフィグレーション設定を表示します。
	System Power Control		RO	電源制御を表示します。
	LEDs		RW	LED の状態を表示します。
	Power Supply		RO	電源の状態を表示します。
	Fans		RO	Fan の状態を表示します。
	Temperature		RO	システム内温度センサーを表示します。
	SB			
		SB#0	RO	SB または Memory Scale-up Board の状態を表示します。搭載されていない SB または Memory Scale-up Board のメニューは表示しません。
		SB#1	RO	
		SB#2	RO	
		SB#3	RO	
	IOU			
		IOU#0	RO	IOUE の状態を表示します。搭載されていない IOUE のメニューは表示しません。
		IOU#1	RO	
		IOU#2	RO	
		IOU#3	RO	
	DU			
		DU#0	RO	DU の状態を表示します。搭載されていない DU のメニューは表示しません。
		DU#1	RO	
		DU_M#0	RO	
		DU_M#1	RO	
		DU_M#2	RO	
		DU_M#3	RO	
	PCI_Box			PCI ボックスが 1 台も接続されていない場合は本メニューを表示しません。
		PCI_Box#0	RO	PCI ボックスの状態を表示します。搭載されていない PCI ボックスのメニューは表示しません。
		PCI_Box#1	RO	
		PCI_Box#2	RO	

Navigation Bar	第 1 階層	第 2 階層	権限	備考
		PCI_Box#3	RO	
	OPL		RO	
	MMB			
		MMB#0	RO	MMB に関する状態と情報を表示します。
		MMB#1	RO	
	PCI_IFU_M			
		PCI_IFU_M#0	RO	
		PCI_IFU_M#1	RO	
		PCI_IFU_M#2	RO	
		PCI_IFU_M#3	RO	
	MGMT_IFU			
		MGMT_IFU_E#0	RO	
		MGMT_IFU_E#1	RO	
		MGMT_IFU_M#0	RO	
		MGMT_IFU_M#1	RO	
	Disk Enclosure			Disk Enclosure が 1 台も接続されていない場合は本メニューを表示しません。
		Disk Enclosure#x	RO	搭載されていない Disk Enclosure のメニューは表示しません。
Partition				
	Power Control		RO	パーティションの電源制御を表示します。
	Schedule			
		Schedule Control	RO	スケジュール運転の設定を表示します。
		Schedule List	RO	電源オン／オフのスケジュール設定を表示します。
	Console Redirection Setup		RO	Video Redirection, Remote Storage, Text Console Redirection の設定を表示します。
		IPv4 Console Redirection Setup	RO	IPv4 用の設定を表示します。
		IPv6 Console Redirection Setup	RO	IPv6 用の設定を表示します。
	Partition Configuration		RO	パーティションの構成変更を表示します。
	Partition#n Extended Partition Configuration			拡張パーティションの構成変更を表示します。 Extended Partitioning Mode が Disable の場合は本メニューを表示しません。
		SB	RO	
		IOU#n	RO	
		PCI_Box#n	RO	
	Extended Socket Configuration		RO	Extended Socket に関する設定を行います。(Zone 設定)

Navigation Bar	第 1 階層	第 2 階層	権限	備考
	Reserved SB Configuration		RO	Reserved SB の定義を行います。
	Power Management Setup		RO	
	eLCM Setup		RO	
	Partition#0			パーティションに属するボードが 1 枚も存在しない場合は本サブメニューを表示しません。
		Information	RO	パーティションのステータス、各種情報を表示します。
		ASR Control	RO	パーティションの自動再起動条件の設定を表示します。
		Console Redirection	N/A	パーティションのコンソール出力を表示します。
		Mode	RO	パーティションの Mode 設定を表示します。
		NVM/LRDIMM Life Cycle Management	RO	DCPMM が 1 枚も搭載されていない場合は本メニューを表示しません。 (PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400E2/3400L2/3800E2/3800L2 モデルの場合、本メニューが表示されます。)
		SSD Life Cycle Management	RO	PCIe SSD card が 1 枚も搭載されていない場合は本メニューを表示しません。
		eLCM Redirection	N/A	
	Partition#1			Partition#0 と同様です。
	Partition#2			
	Partition#3			
User Administration				
	User List		N/A	登録されているユーザーアカウントの一覧表示、編集、削除をします。
	Change Password		RW	自アカウントのパスワード変更をします。
	Who		RO	MMB にログインしているユーザーを表示します。
	LDAP Configuration		N/A	LDAP に関する設定を行います。
		Directory Service Configuration	N/A	MMB が LDAP 経由でディレクトリサービスにアクセスするための設定を行います。
		LDAP User Group List	N/A	登録されている LDAP User Group の一覧表示、編集、削除を行います。
Network Configuration				
	Date/Time		RO	
	Network Interface			

Navigation Bar	第 1 階層	第 2 階層	権限	備考
		IPv4 Interface	RO	IPv4 用の IP Address などを設定します。
		IPv6 Interface	RO	IPv6 用の IP Address などを設定します。
	Management LAN Port Configuration		N/A	MMB の LAN Port を設定します。
	Network Protocols		RO	
	Refresh Rate		RW	Web-UI 画面の Refresh Rate を設定します。
	SNMP Configuration		N/A	
		Community	N/A	
		Trap	N/A	
		SNMPv3 Configuration	N/A	
	SSL			
		Create CSR	N/A	秘密鍵と CSR を作成します。
		Export Key/CSR	N/A	秘密鍵/CSR の取出しをします。
		Import Certificate	N/A	証明書をインストールします。
		Create Selfsigned Certificate	N/A	自己署名した証明書を作成します。
	SSH			
		SSH Server Key	N/A	SSH サーバのプライベートキーを作成します。
	Remote Server Management		N/A	
	Access Control		N/A	接続を許可する IP フィルタリングの設定をします。
	Alarm E-mail		N/A	
Maintenance				
	Firmware Update			
		Unified Firmware Update	N/A	一括アップデートをします。
	Backup/Restore Configuration			設定情報の退避／復元をします。
		Backup/Restore MMB Configuration	N/A	
		Backup BIOS Configuration	N/A	
		Restore BIOS Configuration	N/A	
	Maintenance Wizard		N/A	ウィザード形式で保守をします。
	REMCS			
		REMCS	N/A	
		Detail Setup	N/A	

権限欄の記号の意味は、以下のとおりです。

- RW：対象メニューの参照および設定、制御が可能です。
- RO：対象メニューの参照のみ可能です。

- N/A：対象メニュー自体、およびサブメニューが表示されません。

*1) PRIMEQUEST 3000 シリーズでは、Partition Event Log メニューは常に表示します。

2.1.5 Web-UI のメニュー一覧(CE)

CE 権限で使用できる Web-UI のメニューを示します。

表 2.6 Web-UI のメニュー一覧(CE)

Navigation Bar	第 1 階層	第 2 階層	権限	備考
System				
	System Status		RO	システム全体の状態を表示します。
	System Event Log		RO	System Event Log を表示します。
	Operation Log		RO	Web-UI、CLI の操作を表示します。
	Partition Event Log		RO	Partition の通報メッセージを表示します(*1)。
	System Information		RO	システム名、製品名などのシステム情報を表示します。
	Firmware Information		RO	ファームウェアのバージョン情報を表示します。
	System Setup		RW	システムのコンフィグレーション設定を表示します。
	System Power Control		RO	電源制御を表示します。
	LEDs		RW	LED の状態を表示します。
	Power Supply		RW	電源の状態を表示します。
	Fans		RW	Fan の状態を表示します。
	Temperature		RO	システム内温度センサーを表示します。
	SB			
		SB#0	RW	SB または Memory Scale-up Board の状態を表示します。搭載されていない SB または Memory Scale-up Board のメニューは表示しません。
		SB#1	RW	
		SB#2	RW	
		SB#3	RW	
	IOU			
		IOU#0	RW	IOUE の状態を表示します。搭載されていない IOUE のメニューは表示しません。
		IOU#1	RW	
		IOU#2	RW	
		IOU#3	RW	
	DU			
		DU#0	RW	DU の状態を表示します。搭載されていない DU のメニューは表示しません。
		DU#1	RW	
		DU_M#0	RW	
		DU_M#1	RW	
		DU_M#2	RW	
		DU_M#3	RW	
	PCI_Box			PCI ボックスが 1 台も接続されていない場合は本メニューを表示しません。
		PCI_Box#0	RW	PCI ボックスの状態を表示します。搭載されていない PCI ボックスのメニューは表示しません。
		PCI_Box#1	RW	
		PCI_Box#2	RW	

Navigation Bar	第 1 階層	第 2 階層	権限	備考
		PCI_Box#3	RW	
	OPL		RW	
	MMB			
		MMB#0	RW	MMB に関する状態と情報を表示します。
		MMB#1	RW	
	PCI_IFU_M			
		PCI_IFU_M#0	RW	
		PCI_IFU_M#1	RW	
		PCI_IFU_M#2	RW	
		PCI_IFU_M#3	RW	
	MGMT_IFU			
		MGMT_IFU_E#0	RW	
		MGMT_IFU_E#1	RW	
		MGMT_IFU_M#0	RW	
		MGMT_IFU_M#1	RW	
	Disk Enclosure			Disk Enclosure が 1 台も接続されていない場合は本メニューを表示しません。
		Disk Enclosure#x	RW	搭載されていない Disk Enclosure のメニューは表示しません。
Partition				
	Power Control		RO	パーティションの電源制御を表示します。
	Schedule			
		Schedule Control	RO	スケジュール運転の設定を表示します。
		Schedule List	RO	電源オン／オフのスケジュール設定を表示します。
	Console Redirection Setup		RO	Video Redirection, Remote Storage, Text Console Redirection の設定を表示します。
		IPv4 Console Redirection Setup	RO	IPv4 用の設定を表示します。
		IPv6 Console Redirection Setup	RO	IPv6 用の設定を表示します。
	Partition Configuration		RO	パーティションの構成変更を表示します。
	Partition#n Extended Partition Configuration			拡張パーティションの構成変更を表示します。 Extended Partitioning Mode が Disable の場合は本メニューを表示しません。
		SB	RO	
		IOU#n	RO	
		PCI_Box#n	RO	
	Extended Socket Configuration		RO	Extended Socket に関する設定を行います。(Zone 設定)

Navigation Bar	第 1 階層	第 2 階層	権限	備考
	Reserved SB Configuration		RO	Reserved SB の定義を行います。
	Power Management Setup		RO	
	eLCM Setup		RO	
	Partition#0			パーティションに属するボードが 1 枚も存在しない場合は本サブメニューを表示しません。
		Information	RO	パーティションのステータス、各種情報を表示します。
		ASR Control	RO	パーティションの自動再起動条件の設定を表示します。
		Console Redirection	RO	パーティションのコンソール出力を表示します。
		Mode	RO	パーティションの Mode 設定を表示します。
		NVM/LRDIMM Life Cycle Management	RO	DCPMM が 1 枚も搭載されていない場合は本メニューを表示しません。 (PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400E2/3400L2/3800E2/3800L2 モデルの場合、本メニューが表示されます。)
		SSD Life Cycle Management	RO	PCIe SSD card が 1 枚も搭載されていない場合は本メニューを表示しません。
		eLCM Redirection	N/A	
	Partition#1			Partition#0 と同様です。
	Partition#2			
	Partition#3			
User Administration				
	User List		N/A	登録されているユーザーアカウントの一覧表示、編集、削除をします。
	Change Password		RW	自アカウントのパスワード変更をします。
	Who		RO	MMB にログインしているユーザーを表示します。
	LDAP Configuration		N/A	LDAP に関する設定を行います。
		Directory Service Configuration	N/A	MMB が LDAP 経由でディレクトリサービスにアクセスするための設定を行います。
		LDAP User Group List	N/A	登録されている LDAP User Group の一覧表示、編集、削除を行います。
Network Configuration				
	Date/Time		RO	
	Network Interface			

Navigation Bar	第 1 階層	第 2 階層	権限	備考
		IPv4 Interface	RO	IPv4 用の IP Address などを設定します。
		IPv6 Interface	RO	IPv6 用の IP Address などを設定します。
	Management LAN Port Configuration		N/A	MMB の LAN Port を設定します。
	Network Protocols		RO	
	Refresh Rate		RW	Web-UI 画面の Refresh Rate を設定します。
	SNMP Configuration		N/A	
		Community	N/A	
		Trap	N/A	
		SNMPv3 Configuration	N/A	
	SSL			
		Create CSR	N/A	秘密鍵と CSR を作成します。
		Export Key/CSR	N/A	秘密鍵/CSR の取出しをします。
		Import Certificate	N/A	証明書をインストールします。
		Create Selfsigned Certificate	N/A	自己署名した証明書を作成します。
	SSH			
		SSH Server Key	N/A	SSH サーバのプライベートキーを作成します。
	Remote Server Management		N/A	
	Access Control		N/A	接続を許可する IP フィルタリングの設定をします。
	Alarm E-mail		N/A	
Maintenance				
	Firmware Update			
		Unified Firmware Update	RW	一括アップデートをします。
	Backup/Restore Configuration			設定情報の退避／復元をします。
		Backup/Restore MMB Configuration	RW	
		Backup BIOS Configuration	RW	
		Restore BIOS Configuration	RW	
	Maintenance Wizard		RW	ウィザード形式で保守をします。
	REMCS			
		REMCS	RW	
		Detail Setup	RW	

権限欄の記号の意味は、以下のとおりです。

- RW：対象メニューの参照および設定、制御が可能です。
- RO：対象メニューの参照のみ可能です。

- N/A：対象メニュー自体、およびサブメニューが表示されません。

*1) PRIMEQUEST 3000 シリーズでは、Partition Event Log メニューは常に表示します。

2.2 保守モード時の Web-UI メニュー

保守モードが設定されている場合、保守モードを設定したユーザー(以降、保守者と記述) とそれ以外のユーザー(以降、非保守者と記述) に操作制限が生じる画面があります。以下に、保守モード時の Web-UI 画面について、保守者と非保守者それぞれの制限を示します。

参考：Maintenance → Maintenance Wizard の画面から Maintenance Wizard で保守作業を行っている状態を保守モードといいます。

保守モードには、以下の 5 種類があります。

表 2.7 保守モードの種類

保守モード	説明
Hot System Maintenance (Target unit not included in a partition) 活性作業(システム)	業務を停止することなく実施する、パーティション構成物以外の保守操作です。
Hot Partition Maintenance (Target unit in a activated partition) 活性作業(パーティション)	業務を停止することなく実施する、保守対象のパーティションが動作中の保守操作です。
Warm System Maintenance (Target unit in a powered off partition) パーティション停止作業	保守の対象パーティション、または保守対象となるユニットが含まれるパーティションの業務を停止して実施する保守操作です。保守の対象外となるパーティションの業務は、停止する必要はありません。
Cold System Maintenance (All partitions powered off, breaker on) 停止作業(スタンバイ)	システムを停止して実施する保守操作です。すべての業務が停止します。
Cold System Maintenance (All partitions powered off, breaker off) 停止作業(AC オフ)	システムを停止し、さらに AC 電源の切断(MMB 電源切断)をとる保守操作です。すべての業務が停止します。

以下に保守モード時の Web-UI のメニュー一覧を、ユーザー権限ごとに表示します。

- [2.2.1 保守モード時の Web-UI メニュー一覧\(Administrator\)](#)
- [2.2.2 保守モード時の Web-UI メニュー一覧\(Operator\)](#)
- [2.2.3 保守モード時の Web-UI メニュー一覧\(Partition Operator\)](#)
- [2.2.4 保守モード時の Web-UI メニュー一覧\(User\)](#)
- [2.2.5 保守モード時の Web-UI メニュー一覧\(CE\)](#)
- [2.2.6 保守モード時の Web-UI メニュー一覧\(保守者\)](#)

Navigation Bar	第 1 階層	第 2 階層	保守モード	権限	備考
		SB		Partition#n Extended Partition Configuration と同じ	
		IOU#n		Partition#n Extended Partition Configuration と同じ	
		PCI_Box#n		Partition#n Extended Partition Configuration と同じ	
	Reserved SB Configuration		Hot System	RW	
			Hot Partition	RO (*1)	
			Warm System	RW (*1)	
			Cold System	RO	
	Console Redirection		Hot System	RW	
			Hot Partition	RW (*1)	
			Warm System	RW (*1)	
			Cold System	RO	
Network Configuration					
	Network Interface	IPv4 Interface	Hot System	RO	
			Hot Partition	RO	
		IPv6 Interface	Warm System	RO	
			Cold System	RO	
Maintenance Wizard					
	Firmware Update				
		Unified Firmware Update	Hot System	RO	
			Hot Partition	RO	
			Warm System	RO	
			Cold System	RO	
	Backup/Restore Configuration				
		Backup/Restore MMB Configuration		RW	[Backup MMB] 保守モードには影響されません。
					[Restore MMB] 保守者のみ操作可能です。
	Maintenance Wizard		Hot System	RO	
			Hot Partition	RO	
			Warm System	RO	
			Cold System	RO	

権限欄の記号の意味は、以下のとおりです。

RW：対象画面の参照および設定が可能です。

RO：対象画面の参照のみ可能です。

N/A：対象メニューおよびサブメニューは表示されません。

*1) 対象画面の保守モードパーティション以外を操作可能です。

2.2.3 保守モード時の Web-UI メニュー一覧(Partition Operator)

Partition Operator 権限の保守モード時の Web-UI メニューを、以下に示します。

保守モード欄は、以下を示します。保守モードについて詳しくは、「[2.2 保守モード時の Web-UI メニュー](#)」を参照してください。

- Hot System : Hot System Maintenance (Target unit not included in a partition)
- Hot Partition : Hot Partition Maintenance (Target unit in a running partition)
- Warm System : Warm System Maintenance (Target unit in a powered off partition)
- Cold System : Cold System Maintenance (All partitions powered off, breaker on) および Cold System Maintenance (All partitions powered off, breaker off)

表 2.10 保守モード時の Web-UI メニュー一覧(Partition Operator)

Navigation Bar	第 1 階層	第 2 階層	保守モード	権限 (自パーティション)	権限 (他パーティション)	備考
System						
	System Power		Hot System	RO	RO	
	Control		Hot Partition	RO	RO	
			Warm System	RO	RO	
			Cold System	RO	RO	
	MMB					
		MMB#0	Hot System	RO	RO	
			Hot Partition	RO	RO	
			Warm System	RO	RO	
			Cold System	RO	RO	
		MMB#1		MMB#0 と同じ		
Partition						
	Power Control		Hot System	RW	RO	
			Hot Partition	RW (*1)	RO	
			Warm System	RW (*1)	RO	
			Cold System	RO	RO	
	Partition Configuration		Hot System	RO	RO	フリーユニットは交換対象ユニットである可能性があるため、Add は抑止します。
			Hot Partition	RO	RO	
			Warm System	RO	RO	
			Cold System	RO	RO	
		Add SB / IOU to Partition		Partition Configuration と同じ		
		Remove SB / IOU from Partition		Partition Configuration と同じ		
		Partition Home		Partition Configuration と同じ		

権限欄の記号の意味は、以下のとおりです。

RW：対象画面の参照および設定が可能です。

RO：対象画面の参照のみ可能です。

N/A：対象メニューおよびサブメニューは表示されません。

*1) 対象画面の保守モードパーティション以外を操作可能です。

2.2.4 保守モード時の Web-UI メニュー一覧(User)

User 権限の保守モード時の Web-UI メニューを、以下に示します。

保守モード欄は、以下を示します。保守モードについて詳しくは、「[2.2 保守モード時の Web-UI メニュー](#)」を参照してください。

- Hot System : Hot System Maintenance (Target unit not included in a partition)
- Hot Partition : Hot Partition Maintenance (Target unit in a running partition)
- Warm System : Warm System Maintenance (Target unit in a powered off partition)
- Cold System : Cold System Maintenance (All partitions powered off, breaker on) および Cold System Maintenance (All partitions powered off, breaker off)

表 2.11 保守モード時の Web-UI のメニュー一覧(User)

Navigation Bar	第 1 階層	第 2 階層	保守モード	権限	備考
System					
	System Power Control		Hot System	RO	
			Hot Partition	RO	
			Warm System	RO	
			Cold System	RO	
	MMB				
		MMB#0	Hot System	RO	
			Hot Partition	RO	
			Warm System	RO	
			Cold System	RO	
		MMB#1		MMB#0 と同じ	
Partition					
	Power Control		Hot System	RO	
			Hot Partition	RO	
			Warm System	RO	
			Cold System	RO	
	Partition Configuration		Hot System	RO	フリーユニットは交換対象ユニットである可能性があるため、Add は抑止します。
			Hot Partition	RO	
			Warm System	RO	
			Cold System	RO	
		Add SB / IOU to Partition		Partition Configuration と同じ	
		Remove SB / IOU from Partition		Partition Configuration と同じ	
		Partition Home		Partition Configuration と同じ	
	Partition#n Extended Partition Configuration		Hot System	RO	
			Hot Partition	RO	
			Warm System	RO	
			Cold System	RO	

Navigation Bar	第 1 階層	第 2 階層	保守モード	権限	備考
		SB		Partition#n Extended Partition Configuration と同じ	
		IOU#n		Partition#n Extended Partition Configuration と同じ	
		PCI_Box#n		Partition#n Extended Partition Configuration と同じ	
	Reserved SB Configuration		Hot System	RO	
			Hot Partition	RO	
			Warm System	RO	
			Cold System	RO	
	Console Redirection		Hot System	N/A	
			Hot Partition	N/A	
			Warm System	N/A	
			Cold System	N/A	
Network Configuration					
	Network Interface	IPv4 Interface	Hot System	RO	
			Hot Partition	RO	
		IPv6 Interface	Warm System	RO	
			Cold System	RO	
Maintenance Wizard					
	Firmware Update				
		Unified Firmware Update	Hot System	N/A	
			Hot Partition	N/A	
			Warm System	N/A	
			Cold System	N/A	
	Backup/Restore Configuration				
		Backup/Restore MMB Configuration		N/A	[Backup MMB] 保守モードには影響されません。
					[Restore MMB] 保守者のみ操作可能です。
	Maintenance Wizard		Hot System	N/A	
			Hot Partition	N/A	
			Warm System	N/A	
			Cold System	N/A	

権限欄の記号の意味は、以下のとおりです。

RW : 対象画面の参照および設定が可能です。

RO : 対象画面の参照のみ可能です。

N/A : 対象メニューおよびサブメニューは表示されません。

2.2.5 保守モード時の Web-UI メニュー一覧(CE)

CE 権限の保守モード時の Web-UI メニューを、以下に示します。

保守モード欄は、以下を示します。保守モードについて詳しくは、「[2.2 保守モード時の Web-UI メニュー](#)」を参照してください。

- Hot System : Hot System Maintenance (Target unit not included in a partition)
- Hot Partition : Hot Partition Maintenance (Target unit in a running partition)
- Warm System : Warm System Maintenance (Target unit in a powered off partition)
- Cold System : Cold System Maintenance (All partitions powered off, breaker on) および Cold System Maintenance (All partitions powered off, breaker off)

表 2.12 保守モード時の Web-UI のメニュー一覧(CE)

Navigation Bar	第 1 階層	第 2 階層	保守モード	権限	備考
System					
	System Power		Hot System	RO	
	Control		Hot Partition	RO	
			Warm System	RO	
			Cold System	RO	
	MMB				
		MMB#0	Hot System	RO	
			Hot Partition	RO	
			Warm System	RO	
			Cold System	RO	
		MMB#1		MMB#0 と同じ	
Partition					
	Power Control		Hot System	RO	
			Hot Partition	RO	
			Warm System	RO	
			Cold System	RO	
	Partition Configuration		Hot System	RO	フリーユニットは交換対象ユニットである可能性があるため、Add は抑止します。
			Hot Partition	RO	
			Warm System	RO	
			Cold System	RO	
		Add SB / IOU to Partition		Partition Configuration と同じ	
		Remove SB / IOU from Partition		Partition Configuration と同じ	
		Partition Home		Partition Configuration と同じ	
	Partition#n Extended Partition Configuration		Hot System	RO	
			Hot Partition	RO	
			Warm System	RO	
			Cold System	RO	

Navigation Bar	第 1 階層	第 2 階層	保守モード	権限	備考
		SB		Partition#n Extended Partition Configuration と同じ	
		IOU#n		Partition#n Extended Partition Configuration と同じ	
		PCI_Box#n		Partition#n Extended Partition Configuration と同じ	
	Reserved SB		Hot System	RO	
	Configuration		Hot Partition	RO	
			Warm System	RO	
			Cold System	RO	
	Console Redirection		Hot System	RO	
			Hot Partition	RO	
			Warm System	RO	
			Cold System	RO	
Network Configuration					
	Network Interface	IPv4 Interface	Hot System	RO	
			Hot Partition	RO	
		IPv6 Interface	Warm System	RO	
			Cold System	RO	
Maintenance Wizard					
	Firmware Update				
		Unified Firmware Update	Hot System	RO	
			Hot Partition	RO	
			Warm System	RO	
			Cold System	RO	
	Backup/Restore Configuration				
		Backup/Restore MMB Configuration		RW	[Backup MMB] 保守モードには影響され ません。
					[Restore MMB] 保守者のみ操作可能です。
	Maintenance Wizard		Hot System	RO	
			Hot Partition	RO	
			Warm System	RO	
			Cold System	RO	

権限欄の記号の意味は、以下のとおりです。

RW：対象画面の参照および設定が可能です。

RO：対象画面の参照のみ可能です。

N/A：対象メニューおよびサブメニューは表示されません。

Navigation Bar	第 1 階層	第 2 階層	保守モード	権限 (Administrator)	権限 (CE)	備考
		SB		Partition#n Extended Partition Configuration と同じ		
		IOU#n		Partition#n Extended Partition Configuration と同じ		
		PCI_Box#n		Partition#n Extended Partition Configuration と同じ		
	Reserved SB Configuration		Hot System	RW	RO	
			Hot Partition	RO	RO	
			Warm System	RW	RO	
			Cold System	RW	RO	
	Console Redirection		Hot System	RW	RO	
			Hot Partition	RW (*1)	RO	
			Warm System	RW	RW (*2)	
			Cold System	RW	RW	
Network Configuration						
	Network Interface		Hot System	RO	RO	
			Hot Partition	RO	RO	
			Warm System	RO	RO	
			Cold System	RO	RO	
Maintenance Wizard						
	Firmware Update					
		Unified Firmware Update	Hot System	RW	RW	
			Hot Partition	RO	RO	
			Warm System	RO	RO	
			Cold System	RW	RW	
	Backup/ Restore Configuration					
		Backup/ Restore MMB Configuration		RW	RW	[Backup MMB] 保守モードには影響されませ ん。
						[Restore MMB] 保守者のみ操作可能です。
	Maintenance Wizard		Hot System	RW	RW	
			Hot Partition	RW	RW	
			Warm System	RW	RW	
			Cold System	RW	RW	

権限欄の記号の意味は、以下のとおりです。

RW：対象画面の参照および設定が可能です。

RO：対象画面の参照のみ可能です。

N/A：対象メニューおよびサブメニューは表示されません。

*1) 対象画面の保守モードパーティション以外を操作可能です。

*2) 対象画面の保守モードパーティションのみ操作可能です。

2.3 [System]メニュー

System メニューでは、PRIMEQUEST 3000 シリーズシステム全体のハードウェアコンポーネントの状態表示や設定ができます。

備考

MMB Web-UI (コンテンツ領域、インフォメーション領域) 上の[Part Number]、[Serial Number]に「Read Error」が表示されたら、『PRIMEQUEST 3000 シリーズ運用管理マニュアル』(CA92344-1656)の「11.2 トラブル対応」を参照して、内容を確認してください。それでも解決できない異常については、担当営業員または修理相談窓口に連絡してください。

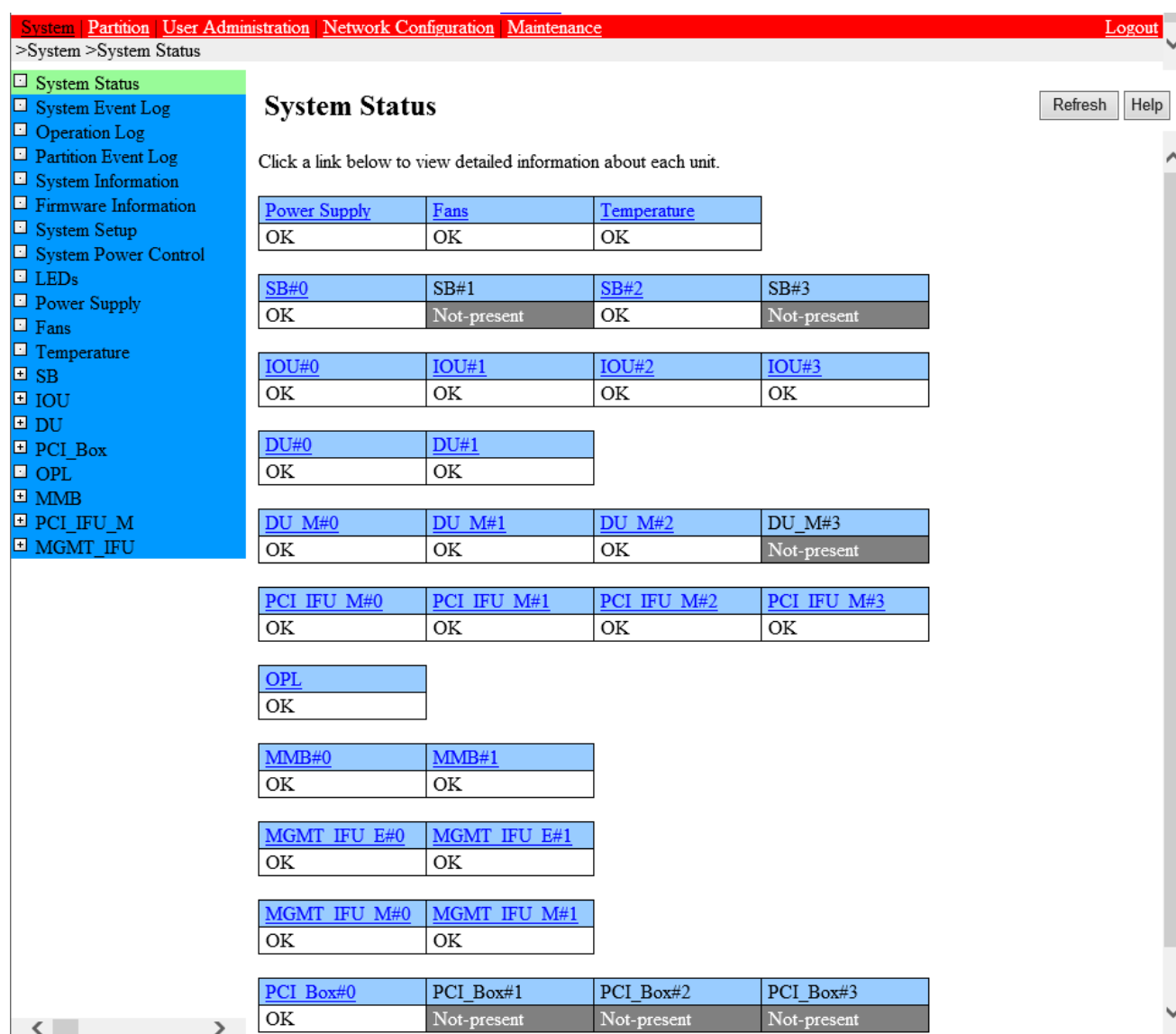
ご連絡の際は、本体装置に貼付のラベルで記載の型名、および製造番号を確認し、お伝えください。

2.3.1 [System Status] 画面

[System Status] 画面には、PRIMEQUEST 3000 シリーズシステム全体の状態が表示されます。装置構成によって表示内容が異なる場合があります。

各ユニットの表示枠(リンク表示)をクリックすると、各ユニットの詳細状態を表す画面が表示されます。

図 2.1 [System Status] 画面



The screenshot shows the [System Status] page in the MMB Web-UI. The page has a red header bar with navigation links: System, Partition, User Administration, Network Configuration, Maintenance, and Logout. Below the header, there is a breadcrumb trail: >System >System Status. On the left, there is a blue sidebar menu with various system status options, including System Status, System Event Log, Operation Log, Partition Event Log, System Information, Firmware Information, System Setup, System Power Control, LEDs, Power Supply, Fans, Temperature, SB, IOU, DU, PCI_Box, OPL, MMB, PCI_IFU_M, and MGMT_IFU. The main content area is titled 'System Status' and contains a 'Refresh' and 'Help' button. Below the title, there is a message: 'Click a link below to view detailed information about each unit.' The links are organized into several tables, each representing a different hardware component. The tables are as follows:

Power Supply	Fans	Temperature
OK	OK	OK

SB#0	SB#1	SB#2	SB#3
OK	Not-present	OK	Not-present

IOU#0	IOU#1	IOU#2	IOU#3
OK	OK	OK	OK

DU#0	DU#1
OK	OK

DU M#0	DU M#1	DU M#2	DU M#3
OK	OK	OK	Not-present

PCI IFU M#0	PCI IFU M#1	PCI IFU M#2	PCI IFU M#3
OK	OK	OK	OK

OPL
OK

MMB#0	MMB#1
OK	OK

MGMT IFU E#0	MGMT IFU E#1
OK	OK

MGMT IFU M#0	MGMT IFU M#1
OK	OK

PCI_Box#0	PCI_Box#1	PCI_Box#2	PCI_Box#3
OK	Not-present	Not-present	Not-present

ユニットの状態として表示される内容は、以下のとおりです。

[OK]：障害がなく、正常に動作している状態のユニットです。

[Not-present]：未搭載のユニットです。背景色が灰色で表示されます。

[Warning]：重大ではないが、将来問題が発生するおそれがある状態のユニットです。「」アイコンで表示されています。

[Failed]：障害が発生しており切離しが必要な状態のユニットです。「」アイコンで表示されています。

[Degraded]：ユニット内のコンポーネントに障害が発生していても、障害のコンポーネントを切り離して動作ができる状態のユニットです。「」アイコンで表示されています。

表 2.14 ユニットの状態とアイコン

状態	表示色	アイコン
Normal (通常状態)	緑色	なし
Warning、Degraded	黄色	黄色三角内に黒色！マーク 
Failed	赤色	赤色丸内に白色×マーク 

各ユニットは、詳細状態表示画面へリンクしています。ただし、搭載されていないユニットは詳細画面がないため、リンクになっていません。

表 2.15 [System Status] 画面の表示項目

項目	説明
Power Supply	PSU の状態を表示します。
Fans	ファンの状態を表示します。
Temperature	温度センサーの状態を表示します。
SB#0～SB#3	システムボードの状態を表示します。 PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400S Lite/3400S の場合は SB#0～SB#1 を表示します。
IOU#0～IOU#3	IOUE の状態を表示します。PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400S Lite/3400S の場合は IOUE#0, IOUE#1 を表示します。
DU#0～DU#1	DU の状態を表示します。
DU_M#0～DU_M#3	DU_M の状態を表示します。
PCI_IFU_M#0～PCI_IFU_M#3	PCI_IFU_M の状態を表示します。
OPL	OPL の状態を表示します。
MMB#0～MMB#1	MMB の状態を表示します。
MGMT_IFU_E#0～MGMT_IFU_E#1	MGMT_IFU_E の状態を表示します。
MGMT_IFU_M#0～MGMT_IFU_M#1	MGMT_IFU_M の状態を表示します。
PCI_Box#0～PCI_Box#3	接続されている PCI ボックスの状態を表示します。PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400S Lite/3400S の場合は PCI_Box を表示します。

(1) メニュー操作

[System] - [System Status]

(2) 画面操作

1. ユニットの詳細状態を確認する場合、該当する各ユニットのリンクをクリックします。
各ユニットの詳細状態を表示する画面が表示されます。

備考

詳細状態の表示は、直接、[System] のサブメニューから対象ユニットのメニューを選択することもできます。
操作について詳しくは、「[2.3.9 \[LEDs\] 画面](#)」～「[2.3.16 \[PCI_Box\] メニュー](#)」を参照してください。

2.3.2 [System Event Log] 画面

[System Event Log] 画面には、PRIMEQUEST 3000 シリーズシステム内で発生したイベントのうち、現在 MMB のシステムイベントログに保管されている MMB および iRMC のイベントが時系列で表示されます。システムイベントログには最大 32000 のイベントを保管できます。システムイベントログのエントリがいっぱいになった場合、最も古いイベントログが削除されて、新たに発生したイベントログがシステムイベントログに保管されます。

図 2.2 [System Event Log] 画面

The screenshot shows the 'System Event Log' page in the MMB web UI. The navigation menu on the left includes 'System Status', 'System Event Log' (selected), 'Operation Log', 'Partition Event Log', 'System Information', 'Firmware Information', 'System Setup', 'System Power Control', 'LEDs', 'Power Supply', 'Fans', 'Temperature', 'SB', 'IOU', 'DU', 'OPL', 'MMB', 'PCI_IFU_M', and 'MGMT_IFU'. The main content area is titled 'System Event Log' and contains a table of event logs. The table has the following columns: Severity, Date/Time, Unit, Source, Event ID, Description, and Detail. The table contains 12 rows of data, all with 'Info' severity. The events are related to FRU (Field Replaceable Unit) status changes for various components like BMM BOARD and SB. At the bottom of the table, there are buttons for 'Clear All Events', 'Collect', 'Filter', and 'Send'.

Severity	Date/Time	Unit	Source	Event ID	Description	Detail
Info	2017-05-18 18:53:47	SB#2	BMM BOARD	2C6F04FF	FRU Active	Detail
Info	2017-05-18 18:53:47	SB#2	BMM_BOARD 001AA	2C6F04FF	FRU Active	Detail
Info	2017-05-18 18:53:31	SB#2	BMM BOARD	2C6F00FF	FRU Not Installed	Detail
Info	2017-05-18 18:53:31	SB#2	SB 001AA	2C6F00FF	FRU Not Installed	Detail
Info	2017-05-18 18:52:40	SB#2	BMM BOARD	2C6F04FF	FRU Active	Detail
Info	2017-05-18 18:52:40	SB#2	SB 001AA	2C6F04FF	FRU Active	Detail
Info	2017-05-18 18:52:34	SB#2	BMM BOARD	2C6F00FF	FRU Not Installed	Detail
Info	2017-05-18 18:52:34	SB#2	SB 001AA	2C6F00FF	FRU Not Installed	Detail
Info	2017-05-18 18:51:13	SB#2	BMM BOARD	2C6F04FF	FRU Active	Detail
Info	2017-05-18 18:51:13	SB#2	SB 001AA	2C6F04FF	FRU Active	Detail

[System Event Log] 画面では、表のタイトルはスクロールせず、表の内容のみがスクロールします。表示するイベントが 1 つもない場合は、表の代わりに「There are no Event Logs.」のメッセージが表示されます。

表 2.16 [System Event Log] 画面の表示項目

項目	説明
Severity	イベント、エラーの重大度を表示します。 Error：ハードウェア故障などの重大な問題 Warning：必ずしも重大ではないが、将来問題になりそうなイベント Info：パーティションの電源オンなど、情報としてのイベント Monitor：CE 向けに表示されるイベント
Date/Time	イベント、エラーが発生した時間をローカルタイムで表示します。 フォーマット：YYYY-MM-DD HH:MM:SS
Unit	イベント、エラーが発生したセンサーを所有するユニットを表示します。 たとえば、SB#0 の CPU#0 でエラーが発生した場合は、[SB#0] と表示されます。ユニットの特定は、センサーの Entity ID から本センサーを保有する FRU を検索し、Entity Association Record から親 Entity を検索します。親エントリーの FRU Record 内に記述されている Board/Unit Name を表示します。 各ユニット詳細状態を表示する画面(各ユニットのパーツ番号、シリアル番号が参照できる画面)へのリンクがあります。
Source	イベント、エラーが発生したセンサーの名前を表示します。
Part Number	システムイベントログに格納されているパーツ番号を表示します。 格納されていない場合は「-」を表示します。
Event ID	Event の内容を識別するための ID (16 進で 8 桁表示) を表示します。 Event ID の割当てについて詳しくは、『PRIMEQUEST 3000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-1660) の「第 2 章 MMB のメッセージ」を参照してください。
Description	イベント、エラーの内容を表示します。 備考： ボードの拔差しに関するイベントについては、ボードのパーツ番号、シリアル番号を表示します。

表 2.17 [System Event Log] 画面のボタン

ボタン	説明
Clear All Events	[Clear All Events] ボタンをクリックすると、システムイベントログに保存されているすべてのイベントがクリアされます。担当保守員から指示があった場合にのみ使用します。
Collect	確認メッセージ表示後、[System Event Log (Collect)] 画面が表示されます。
Filter	[Filter] ボタンをクリックすると、フィルタ条件を入力するための[System Event Log Filtering Condition] 画面が表示されます。
Send(*)	[Send] ボタンをクリックすると、現時点のログを採取し REMCS センターへの送信を行います。
Detail	[Detail] ボタンをクリックすると、対応するイベントの詳細が、[System Event Log(Detail)] 画面に表示されます。

*) このボタンは、REMCS の状態が運用中の場合のみ表示されます。また、
PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400E2/3400L2/3800E2/3800L2 では初版以降のファームウェア、
PRIMEQUEST 3400S Lite/3400S/3400E/3400L/3800E/3800L では PA19024 版以降のファームウェアの場合に表示されます。

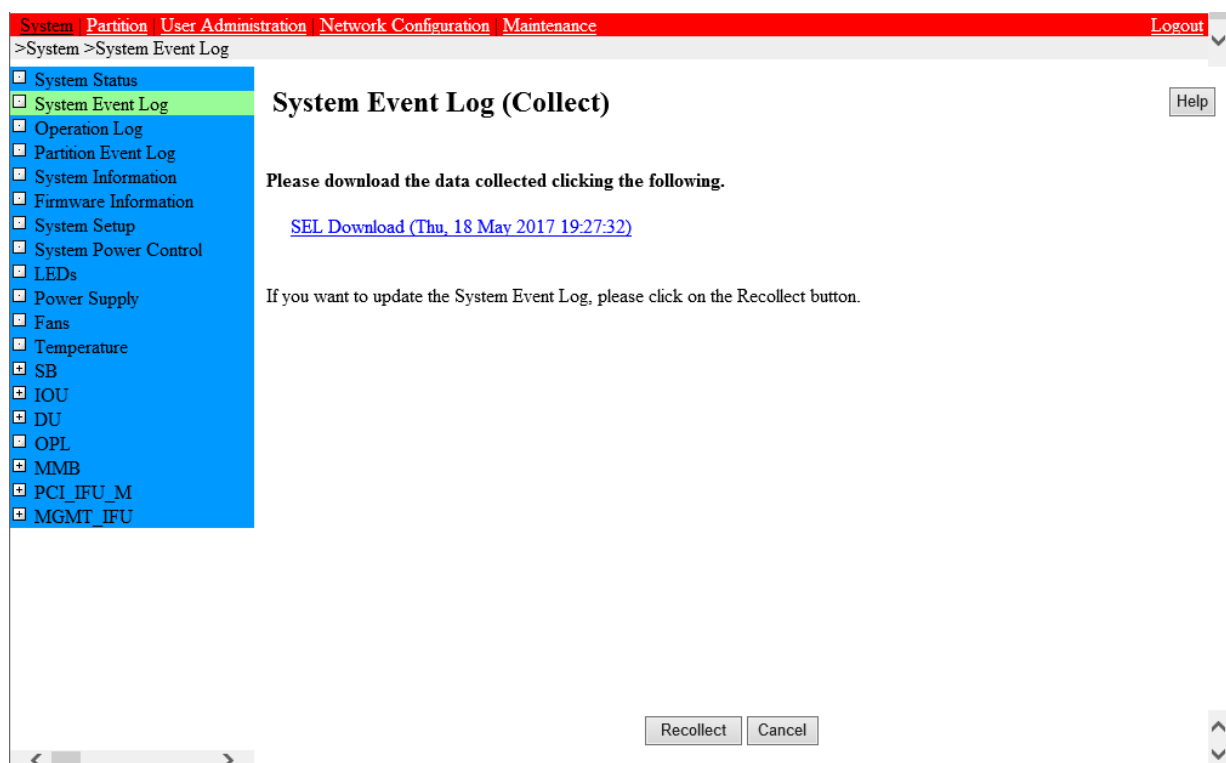
(1) メニュー操作

[System] - [System Event Log]

(2) 画面操作

- システムイベントログに保存されているイベントデータをダウンロードする場合(事前に採取されたシステムイベントログが存在しない場合)
 1. [Collect] ボタンをクリックすると[I_00417 Are you sure?] メッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックします。
 2. システムイベントログ情報の採取が自動的に開始し、[Progress] 画面が表示されます。
 3. [System Event Log (Collect)] 画面が表示され、採取したイベントデータに対するリンクが日付情報つきで表示されます。リンクをクリックすると、ダイアログボックスが表示されます。ファイル名、パスを指定し、Web-UI を表示している PC にイベントデータをダウンロードします。
- システムイベントログに保存されているイベントデータをダウンロードする場合(事前に採取されたシステムイベントログが存在する場合)
 1. [Collect] ボタンをクリックすると[I_00417 Are you sure?] メッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックします。
 2. [System Event Log (Collect)] 画面が表示され、事前に採取されたシステムイベントログ情報へのリンクが表示されます。
 3. 最新のシステムイベントログを取得するためには[Re-Collect] ボタンをクリックします。[I_00417 Are you sure?] メッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックします。システムイベントログ情報採取中は[Progress] 画面が表示されます。
 4. [System Event Log (Collect)] 画面が表示され、採取したイベントデータに対するリンクが日付情報つきで表示されます。リンクをクリックすると、ダイアログボックスが表示されます。ファイル名、パスを指定し、Web-UI を表示している PC にイベントデータをダウンロードします。

図 2.3 [System Event Log (Collect)] 画面



- 画面に表示されているイベントを絞り込む場合
 1. [Filter] ボタンをクリックします。
フィルタ条件を入力するための[System Event Log Filtering Condition] 画面が表示されます。
 2. [System Event Log Filtering Condition] 画面で条件を入力し、[Apply] ボタンをクリックします。
[System Event Log] 画面に戻り、指定した条件を満たすイベントが表示されます。
 - REMCS センターへログを送付する場合(*)
 1. [Send] ボタンをクリックします。
確認のためのダイアログボックスが表示されます。
 2. ダイアログボックスで、[OK] ボタンをクリックします。REMCS センターへ現時点のログの送付が実行されます。
 3. 実行結果の確認ダイアログボックスが表示されます。結果を確認して、[OK] ボタンをクリックします。
- *) この機能は、REMCS の状態が運用中の場合のみ可能です。また、
PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400E2/3400L2/3800E2/3800L2 では初版以降のファームウェア、
PRIMEQUEST 3400S Lite/3400S/3400E/3400L/3800E/3800L では PA19024 版以降のファームウェア
の場合に表示されます。
- 画面に表示されているイベントの詳細を表示する場合
 1. [Detail] ボタンをクリックします。
イベントの詳細を示す[System Event Log (Detail)] 画面が表示されます。

■ [System Event Log Filtering Condition] 画面

[System Event Log] 画面で[Filter] ボタンをクリックすると、フィルタ条件を入力するための[System Event Log Filtering Condition] 画面が表示されます。

[System Event Log Filtering Condition] 画面では、[System Event Log] 画面に表示するイベントのフィルタ条件を設定できます。

図 2.4 [System Event Log Filtering Condition] 画面

The screenshot shows the 'System Event Log Filtering Condition' web interface. At the top, there is a navigation bar with tabs: System, Partition, User Administration, Network Configuration, and Maintenance. Below this is a breadcrumb trail: >System >System Event Log. A left sidebar contains a tree view of system components, with 'System Event Log' highlighted. The main content area is titled 'System Event Log Filtering Condition' and includes a 'Help' button. The instructions state: 'Select the filtering conditions and click the Apply button to take effect. Note : The followings are AND conditions.'

The filtering conditions are as follows:

- 1)Severity: ☒ Error ☒ Warning ☒ Info
- 2)Partition: ☒ All
☐ Specified ☐ 0 ☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4 ☐ 5 ☐ 6 ☐ 7 ☐ 8 ☐ 9 ☐ 10 ☐ 11
- 3)Unit: ☒ All
☐ Specified ☐ PSUs ☐ Fans
☐ SB#0 ☐ SB#1 ☐ SB#2 ☐ SB#3
☐ IOU#0 ☐ IOU#1 ☐ IOU#2 ☐ IOU#3
☐ DU#0 ☐ DU#1
☐ DU_M#0 ☐ DU_M#1 ☐ DU_M#2 ☐ DU_M#3
☐ PCI_IFU_M#0 ☐ PCI_IFU_M#1 ☐ PCI_IFU_M#2 ☐ PCI_IFU_M#3
☐ OPL
☐ MMB#0 ☐ MMB#1
☐ MGMT_IFU_E#0 ☐ MGMT_IFU_E#1
☐ MGMT_IFU_M#0 ☐ MGMT_IFU_M#1
☐ PCI_Box#0 ☐ PCI_Box#1 ☐ PCI_Box#2 ☐ PCI_Box#3
- 4)Source: ☒ All
☐ Specified ☐ CPU ☐ DIMM ☐ Chipset
☐ Voltage ☐ Temperature ☐ Other
- 5)Sort by Date/Time: ☒ New event first ☐ Old event first
- 6)Start Date/Time: ☒ First event ☐ Specified Time 2013 - 1 - 1 0 : 0 : 0
- 7)End Date/Time: ☒ Last event ☐ Specified Time 2013 - 1 - 1 0 : 0 : 0
- 8)Number of events to display (Max 3000): 100 / 18194

At the bottom, there are three buttons: Apply, Cancel, and Default Setting.

表 2.18 [System Event Log Filtering Condition] 画面の表示・設定項目

項目	内容
Severity	チェックボックスから表示する Severity を選択します。複数選択可能です。 ・ Error：ハードウェア故障などの重大な問題 ・ Warning：必ずしも重大ではないが、将来問題になりそうなイベント ・ Info：パーティションの電源オンなど、情報としてのイベント ・ Monitor：CE 向けに表示されるイベント デフォルトはすべてオンです。 注意 [Monitor] チェックボックスは CE 権限でログインしている場合のみ表示されます。
Partition	表示するパーティションを選択します。 ラジオボタンで [All]、または、[Specified] を選択します。 ・ All：Partition によるフィルタリングをしません。 ・ Specified：パーティション単位のフィルタリングが設定可能となります。表示するパーティションをオンにします。 Partition Operator の場合、[All] はグレースアウトされ、選択できません。またパーティションのフィルタリングは、管理対象のパーティションのみ選択可能となります。 デフォルトは、Partition Operator 権限でない場合は、All です。Partition Operator 権限の場合は、デフォルトは、Specified、かつ、管理対象のパーティションがオンです。
Unit	表示する対象ユニットを選択します。 ラジオボタンで [All]、または、[Specified] を選択します。 ・ All：ユニットによるフィルタリングをしません。 ・ Specified：ユニット単位のフィルタリングが設定可能となります。表示する Source をオンにします。 デフォルトは All です。
Source	表示する対象 Source を選択します。 ラジオボタンで [All]、または、[Specified] を選択します。 ・ All：Source によるフィルタリングをしません。 ・ Specified：Source 単位のフィルタリングが設定可能となります。表示する Source をオンにします。 デフォルトは All です。 注意 "Source:CPU"のユニットで Filter する場合、CPU と Chipset の両方を指定してください。
Sort by Date/Time	新しい順で表示するか、古い順で表示するかをラジオボタンで指定します。 ・ New event first：新しい順にします。 ・ Old event first：古い順にします。 デフォルトは New event first です。
Start Date/Time	最初のイベントから表示するか、時間を指定するかをラジオボタンで指定します。 ・ First event：最初のイベントにします。 ・ Specified Time：時間指定にします。時間指定の場合は、開始時刻の年月日時分秒を入力します。 デフォルトは First event です。

項目	内容
End Date/Time	最後のイベントまで表示するか、時間を指定するかをラジオボタンで指定します。 ・ Last event : 最後のイベントにします。 ・ Specified Time : 時間指定にします。時間指定の場合は、終了時刻の年月日時分秒を入力します。 デフォルトは Last event です。
Number of events to display	表示するログの数を指定します。分母部分は、ログされているイベントの総数が表示されます。 指定最大値は 3000 件です。 デフォルトは 100 件です。

表 2.19 [System Event Log Filtering Condition] 画面のボタン

ボタン	説明
Apply	[Apply] ボタンをクリックすると、指定した条件に合致するログが [System Event Log] 画面に一覧表示されます。
Cancel	[Cancel] ボタンをクリックすると、[System Event Log] 画面に戻ります。
Default Setting	選択値をデフォルト値に戻します。

2.3.3 [Operation Log] 画面

[Operation Log] 画面には、Web-UI および CLI の設定や操作に関するログを表示します。
各操作ログには、操作元のログイン情報(Web-UI/CLI/RMCP、IP アドレス、アカウント)が含まれます。

図 2.5 [Operation Log] 画面

Date/Time	Operation	IP Address	User Name(SessionID)
2017-05-18 19:09:29	Web-UI I_10107 GUI Session Timeout.	XX.XX.XX.XX	Administrator(37)
2017-05-18 19:08:58	Web-UI I_10101 GUI Login.	XX.XX.XX.XX	Administrator(45)
2017-05-18 19:01:02	Web-UI I_10101 GUI Login.	XX.XX.XX.XX	Administrator(37)
2017-05-18 18:46:55	Web-UI I_10101 GUI Login.	XX.XX.XX.XX	Administrator(26)
2017-05-18 18:33:29	Web-UI I_10107 GUI Session Timeout.	XX.XX.XX.XX	Administrator(17)
2017-05-18 16:15:58	Web-UI I_10101 GUI Login.	XX.XX.XX.XX	Administrator(17)
2017-05-18 16:15:57	Web-UI I_10102 GUI Logout.	XX.XX.XX.XX	Administrator(04)
2017-05-18 16:06:07	Web-UI I_10101 GUI Login.	XX.XX.XX.XX	Administrator(04)
2017-05-18 15:59:44	Web-UI I_10101 GUI Login.	XX.XX.XX.XX	Administrator(21)
2017-05-18 15:56:46	Web-UI I_10128 MMB#0 Firmup 0.07 End.	-	-(-)
2017-05-18 15:56:46	Web-UI I_10159 MMB#0 Firmup: Role of Flash Memory exchanged.	-	-(-)

[Operation Log] 画面では、表のタイトルはスクロールせず、表の内容のみがスクロールします。

表 2.20 [Operation Log] 画面の表示項目

項目	説明
Date/Time	イベント、エラーが発生した時間を Local Time で表示します。 フォーマット：YYYY-MM-DD HH:MM:SS
Operation	操作元 (Web-UI、CLI、RMCP) および操作内容を表示します。
IP Address	操作元の IP アドレス(IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス) を表示します。 シリアルで接続されたコンソール上での CLI 操作の場合は、[Console] と表示されます。 ログイン時に MMB に設定されている DNS からホスト名がわかる場合は、ホスト名が表示されます。ホスト名がわからない場合は IP アドレスが表示されます。 Web-UI の場合は、DNS を使用していても IP アドレスのみの表示となります。同様に、IPv6 アドレス接続の場合は、DNS を使用していても IP アドレスのみの表示となります。
User Name (Session ID)	操作者および Web-UI 操作の場合の Session ID を表示します。 CLI 又は、RMCP 操作時の Session ID は「-」で表示されます。

表 2.21 [Operation Log] 画面のボタン

ボタン	説明
Filter	[Filter] ボタンをクリックすると、フィルタ条件を入力するための[Operation Log Filtering Condition] 画面が表示されます。
Clear	[Clear] ボタンをクリックすると、操作ログがすべてクリアされます。

(1) メニュー操作

[System] - [Operation Log]

(2) 画面操作

- 操作ログをすべてクリアする場合
 1. [Clear] ボタンをクリックします。確認用のダイアログボックスが表示されます。
 2. 操作ログをクリアする場合は、[OK] ボタンをクリックします。操作ログをクリアしない場合は、[Cancel] ボタンをクリックします。
- 画面に表示されている操作ログを絞り込む場合
 1. [Filter] ボタンをクリックします。
フィルタ条件を入力するための[Operation Log Filtering Condition] 画面が表示されます。
 2. [Operation Log Filtering Condition] 画面で条件を入力し、[Apply] ボタンをクリックします。
[Operation Log] 画面に戻り、指定した条件を満たすログが表示されます。

■ [Operation Log Filtering Condition] 画面

[Operation Log] 画面で [Filter] ボタンをクリックすると、フィルタ条件を入力するための[Operation Log Filtering Condition] 画面が表示されます。

[Operation Log Filtering Condition] 画面では、[Operation Log] 画面に表示するイベントのフィルタ条件を設定できます。

図 2.6 [Operation Log Filtering Condition] 画面

System Partition User Administration Network Configuration Maintenance Logout

>System >Operation Log

System Status
System Event Log
Operation Log
Partition Event Log
System Information
Firmware Information
System Setup
System Power Control
LEDs
Power Supply
Fans
Temperature
SB
IOU
DU
OPL
MMB
PCI_IFU_M
MGMT_IFU

Operation Log Filtering Condition

Help

Select the filtering conditions and click the Apply button to take effect.
Note : The followings are AND conditions.

1)Operation: ☒ All
☐ Specified ☒ Web-UI ☒ CLI ☒ RMCP

2)Sort by Date/Time: ☒ New event first ☐ Old event first

3)Start Date/Time: ☒ First event ☐ SpecifiedTime 2013 - 1 - 1 0 : 0 : 0

4)End Date/Time: ☒ Last event ☐ SpecifiedTime 2013 - 1 - 1 0 : 0 : 0

5)Number of events to display (Max 1000): 100 / 1000

Apply Cancel

表 2.22 [Operation Log Filtering Condition] 画面の表示・設定項目

項目	説明
Operation	表示する Operation を選択します。 ラジオボタンで [All]、または、[Specified]を選択します。 ・ All : Operation によるフィルタリングをしません。 ・ Specified : Operation のフィルタリングが設定可能となります。表示する Operation をオンにします。 デフォルトは All です。
Sort by Date/Time	新しい順で表示するか、古い順で表示するかをラジオボタンで指定します。 ・ New event first : 新しい順にします。 ・ Old event first : 古い順にします。 デフォルトは New event first です。
Start Date/Time	最初のイベントから表示するか、時間を指定するかをラジオボタンで指定します。 ・ First event : 最初のイベントにします。 ・ Specified Time : 時間指定にします。時間指定の場合は、開始時刻の年月日時分秒を入力します。 デフォルトは First event です。
End Date/Time	最後のイベントまで表示するか、時間を指定するかをラジオボタンで指定します。 ・ Last event : 最後のイベントにします。 ・ Specified Time : 時間指定にします。時間指定の場合は、終了時刻の年月日時分秒を入力します。 デフォルトは Last event です。
Number of events to display	表示するログの数を指定します。 分母部分は、ログされているイベントの総数が表示されます。 指定最大値は 1000 件です。 デフォルトは 100 件です。

表 2.23 [Operation Log Filtering Condition] 画面のボタン

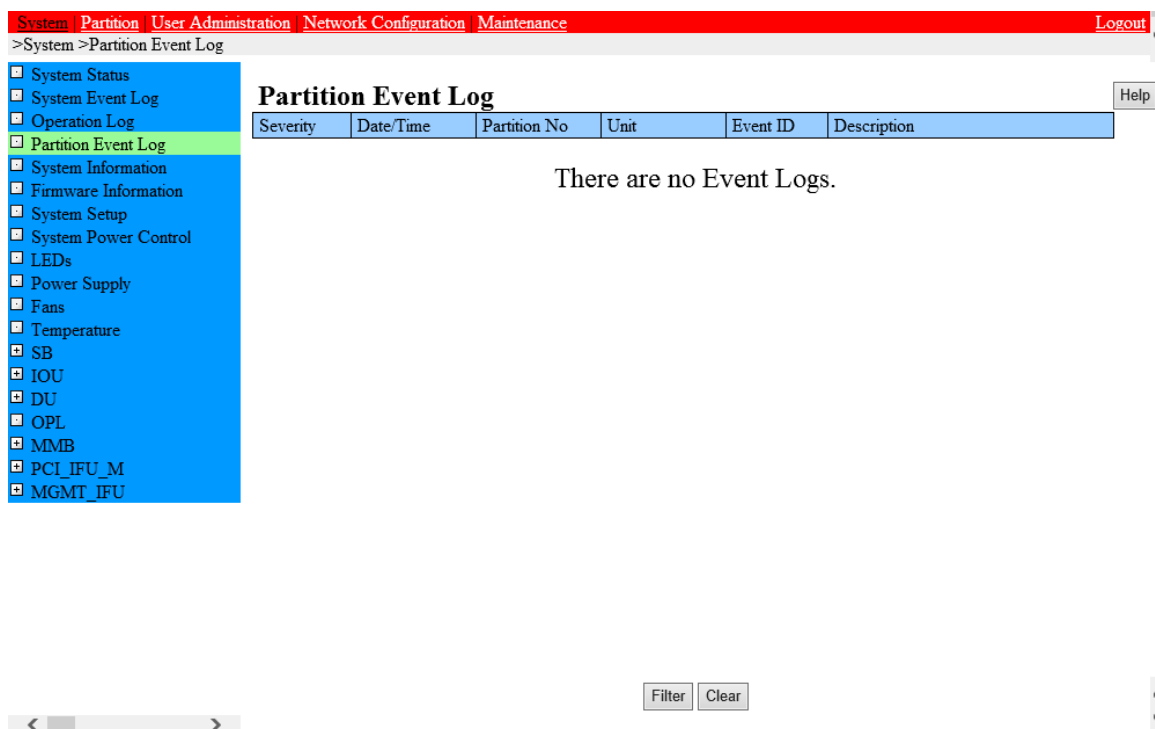
ボタン	説明
Apply	[Apply] ボタンをクリックすると、指定した条件に合致するログが [Operation Log] 画面に一覧表示されます。
Cancel	[Cancel] ボタンをクリックすると、[Operation Log] 画面に戻る。

2.3.4 [Partition Event Log] 画面

[Partition Event Log] 画面には、ハード異常情報(REMCS 通報対象メッセージ) が表示されます。(*)
最大 1000 のイベントを保管できます。エントリーがいっぱいになった場合、最も古いイベントログが削除されて、新たに発生したイベントログが保管されます。

*)XSP 動作機構のみログします。

図 2.7 [Partition Event Log] 画面



[Partition Event Log] 画面では、表のタイトルはスクロールせず、表の内容のみがスクロールします。表示するイベントが 1 つもない場合は、表の代わりに「There are no Event Logs.」のメッセージが表示されます。

表 2.24 [Partition Event Log] 画面の表示項目

項目	内容
Severity	イベント、エラーの重大度が表示されます。 - Error：ハードウェア故障などの重大な問題 - Warning：必ずしも重大ではないが、将来問題になりそうなイベント - information：パーティションの電源オンなど、情報としてのイベント
Date/Time	イベント、エラーが発生した時間が表示されます。 フォーマット：YYYY-MM-DD HH:MM:SS
Partition No	パーティション番号が表示されます。
Unit	イベント、エラーが発生したセンサーを所有するユニットが表示されます。
Event ID	Event の内容を識別するための ID (16 進で 8 桁表示) が表示されます。Event ID の割当てについて詳しくは、『PRIMEQUEST 3000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-1660) の「第 2 章 MMB のメッセージ」を参照。
Description	イベント、エラーの内容が表示されます。

表 2.25 [Partition Event Log] 画面のボタン

ボタン	説明
Filter	[Filter] ボタンをクリックすると、フィルタ条件を入力するための[Partition Event Log Filtering Condition] 画面が表示されます。
Clear	[Clear] ボタンをクリックすると、パーティションイベントログをすべて削除してよい か、確認メッセージが表示されます。

(1) メニュー操作

[System] - [Partition Event Log]

(2) 画面操作

- 画面に表示されているイベントを絞り込む場合
 1. [Filter] ボタンをクリックします。
フィルタ条件を入力するための[Partition Event Log Filtering Condition] 画面が表示されます。
 2. [Partition Event Log Filtering Condition] 画面で条件を入力し、[Apply] ボタンをクリックします。
[Partition Event Log] 画面に戻ります。指定した条件を満たすイベントが表示されます。
- パーティションイベントログをすべてクリアする場合
 1. [Clear] ボタンをクリックします。
確認用のダイアログボックスが表示されます。
 2. パーティションイベントログをクリアする場合は、[OK] ボタンをクリックします。
クリアしない場合は、[Cancel] ボタンをクリックします。

■ [Partition Event Log Filtering Condition] 画面

[Partition Event Log] 画面で[Filter] ボタンをクリックすると、フィルタ条件を入力するための[Partition Event Log Filtering Condition] 画面が表示されます。

[Partition Event Log Filtering Condition] 画面では、[Partition Event Log] 画面に表示するイベントのフィルタ条件を設定できます。

図 2.8 [Partition Event Log Filtering Condition] 画面

表 2.26 [Partition Event Log Filtering Condition] 画面の表示・設定項目

項目	内容
Partition	表示するパーティションを選択します。 ラジオボタンで[All] か[Specified] を選択します。 ・ All : Partition によるフィルタリングをしません。 ・ Specified : パーティション単位のフィルタリングが設定可能となります。 表示するパーティションをオンにします。 Partition Operator の場合、[All] はグレーアウトされ、選択できません。また、パーティションのフィルタリングは、管理対象のパーティションのみ選択可能となります。 デフォルトは、Partition Operator 権限でない場合は、[All] です。Partition Operator 権限の場合は、デフォルトは、[Specified]、かつ、管理対象のパーティションがオンです。
Number of events to display	表示するログの数を指定します。 分母部分は、ログされているイベントの総数が表示されます。 指定最大値は 1000 件です。 デフォルトは 100 件です。

表 2.27 [Partition Event Log Filtering Condition] 画面のボタン

ボタン	説明
Apply	[Apply] ボタンをクリックすると、指定した条件に合致するログが[Partition Event Log] 画面に一覧表示されます。
Cancel	[Cancel] ボタンをクリックすると、[Partition Event Log] 画面に戻ります。

2.3.5 [System Information] 画面

[System Information] 画面には、システムの名前や製品の名前などの PRIMEQUEST 3000 シリーズシステムに関する情報が表示されます。

また、PRIMEQUEST 3000 シリーズシステム(筐体) に対する名前の設定、および、Asset Tag (財産管理番号) の設定ができます。

図 2.9 [System Information] 画面

表 2.28 [System Information] 画面の表示・設定項目

項目	説明
System Name	PRIMEQUEST 3000 シリーズのシステム名を表示します。 Administrator 権限のユーザーはシステム名を変更できます。最大 64 文字まで入力が可能です。 備考 - 入力可能な文字は、英数字、半角スペースと以下の文字です。 !"#\$%&'()-^~\@`[]{}:;*+?<>./_ ただし、以下の制限があります。 #と半角スペースは、先頭文字として使用できません。 - 半角スペースは、最後の文字として使用できません。 デフォルトは、<PRIMEQUEST + 製品シリアル番号>。[System Name] を空欄にした場合はデフォルトのシステム名となります。
Product Name	PRIMEQUEST 3000 シリーズシステムの製品名を表示します。
Part Number	PRIMEQUEST 3000 シリーズシステムの装置型名を表示します。
Serial Number	PRIMEQUEST 3000 シリーズシステムのシリアル番号を表示します。
Asset Tag	財産管理情報 (Asset Tag) を表示します。 Administrator 権限のユーザーは、Asset Tag 情報を変更できます。最大 32 文字まで入力が可能です。 デフォルトは設定値なしです。

表 2.29 [System Information] 画面のボタン

ボタン	説明
Apply	[System Name] や[Asset Tag] の項目に文字を入力し、[Apply] ボタンをクリックすると、入力した情報が設定されます。
Cancel	[Cancel] ボタンをクリックすると、[System Name] や[Asset Tag] に入力した情報は設定されず元の状態に戻ります。

(1) メニュー操作

[System] - [System Information]

(2) 画面操作

1. [System Name] や[Asset Tag] の項目を変更して、[Apply] ボタンをクリックします。
それぞれの情報が設定されます。

2.3.6 [Firmware Information] 画面

[Firmware Information] 画面では、適用されているファームウェアの最新総合版数、システム内で稼動しているファームウェアのバージョン情報、およびバックアップされているファームウェアのバージョン情報が表示されます。

図 2.10 [Firmware Information] 画面

System Partition User Administration Network Configuration Maintenance Logout				
>System >Firmware Information				
- System Status - System Event Log - Operation Log - Partition Event Log - System Information Firmware Information - System Setup - System Power Control - LEDs - Power Supply - Fans - Temperature - SB - IOU - DU - OPL - MMB - PCI_IFU_M - MGMT_IFU	Firmware Information			
	Unified Firmware Version PA17082			
	Current Firmware			
	Unit	Firmware	active bank	Unified Firmware Version
			Version(bank1)	
			Version(bank2)	
	SB#0	Not-present		
	SB#1	iRMC	bank2	PA17082
			31.12a	
		BIOS	91.12a	PA17082
			bank1	
	SB#2	iRMC	1.13	PA17082
			1.14	
		BIOS	bank2	PA17082
			31.12a	
	SB#3	iRMC	31.12a	PA17082
			bank1	
		BIOS	81.15	PA17082
			1.13	
	MMB#0	MMB	bank2	PA17082
	MMB#1	MMB	0.17	
			99.91	PA17082
			bank2	
			0.17	PA17082
			99.91	
			bank2	

表 2.30 [Firmware Information] 画面の表示項目

項目	内容
Unified Firmware Version	適用されている最新のファーム総合版数を表示します。
Current Firmware	
Unit	ファームウェアを搭載している対象ユニットを表示します。 - SB#n - MMB#0 - MMB#1
Firmware	ファームウェアの種類およびユニットの搭載状態を表示します。 - iRMC - BIOS - MMB - Not-present：ユニットが搭載されていないことを示します。背景色が灰色で表示されます。

項目	内容
active bank	現在動作している面(bank1 or bank2) を表示します。 パーティションの起動・再起動後に最新の Firmware に反映されます。
Version(bank1)	bank1 のファームウェアのバージョンを表示します。 【バージョン表示形式】 ファームウェアは、バージョン情報を以下の形式で保持しています。 - Major Version= 1 バイトデータ(Binary 形式) - Minor Version= 1 バイトデータ(BCD 形式) このデータを以下のように表示します。 X.YY X は Major Version を 10 進数表示(0~255)します。 Y は Minor Version を BCD 形式(2 進化 10 進数) でそのまま 2 桁表示(00~99) します。
Version(bank2)	bank2 のファームウェアのバージョンを表示します。 【バージョン表示形式】 bank1 と同様です。
Unified Firmware Version	対象ユニットのファームウェアのバージョンを表示します。 ファームウェアは、バージョン情報を以下の形式で保持しています。 - モデル識別 XX =1 バイトデータ(PB、または、PA) - 西暦下 2 桁 YY =1 バイトデータ(BCD 形式) 09-99 - 月 MM =1 バイトデータ(BCD 形式) 01-12 - 追番 N =1 バイトデータ(Binary 形式) 1-9 このデータを以下のように表示します。 XXYYMMN 例：PA17071 総合版数が不明の場合は「-」と表示されます。

書き込まれた最新のファームウェアは、システム管理者またはパーティション管理者によってパーティションの起動／再起動を実行した後に反映されます。

備考

ファームウェアアップデートの実施後は、速やかにパーティションの起動／再起動をして、ファームウェアを反映させることを推奨します。

(1) メニュー操作

[System] - [Firmware Information]

(2) 画面操作

なし

2.3.7 [System Setup] 画面

[System Setup] 画面では、PRIMEQUEST 3000 シリーズシステムの入電モードや、復電時のアクションなどが設定できます。

図 2.11 [System Setup] 画面(100V 受電、かつ、PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400S Lite/3400S)

The screenshot shows the 'System Setup' page in the MMB Web-UI. The top navigation bar includes 'System', 'Partition', 'User Administration', 'Network Configuration', and 'Maintenance'. The left sidebar lists various system components, with 'System Setup' highlighted. The main area is titled 'System Setup' and contains a table of configuration options.

Input Voltage	100V
Power Restoration Policy	Always ON - chassis always powers up after AC is restored. Always OFF - chassis remains powered off after AC is restored. Restore - power is returned to the state that was in effect before AC was removed or lost. Schedule Sync - Synchronize with the schedule. Always OFF
Partition Power on Delay	0 sec
Altitude	Altitude < 1000m
PSU Redundant Mode	☐ Redundant ☒ Non-Redundant
Reserved SB Force Power Off Wait	10 min
System Power Save Control	☐ Enable ☒ Disable
System Power Saving Threshold	7650 W (1000W - 7650W)

Buttons: Apply, Cancel

図 2.12 [System Setup] 画面(100V 受電、かつ、PRIMEQUEST 3400E2/3400L2/3400E/3400L)

The screenshot shows the 'System Setup' page in the MMB Web-UI for a different model. The layout is identical to Figure 2.11, but the 'System Power Saving Threshold' is set to 1600W.

Input Voltage	100V
Power Restoration Policy	Always ON - chassis always powers up after AC is restored. Always OFF - chassis remains powered off after AC is restored. Restore - power is returned to the state that was in effect before AC was removed or lost. Schedule Sync - Synchronize with the schedule. Always OFF
Partition Power on Delay	0 sec
Altitude	Altitude < 1000m
PSU Redundant Mode	☐ Redundant ☒ Non-Redundant
Reserved SB Force Power Off Wait	10 min
System Power Save Control	☐ Enable ☒ Disable
System Power Saving Threshold	7650 W (1600W - 7650W)

Buttons: Apply, Cancel

図 2.13 [System Setup] 画面(200V 受電、かつ、PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400S Lite/3400S)

System Setup

Click the Apply Button to apply all changes.

Input Voltage	200V
Power Restoration Policy	Always ON - chassis always powers up after AC is restored. Always OFF - chassis remains powered off after AC is restored. Restore - power is returned to the state that was in effect before AC was removed or lost. Schedule Sync - Synchronize with the schedule. ☐ Always ON ☒ Always OFF ☐ Restore ☐ Schedule Sync
Partition Power on Delay	0 sec
Altitude	Altitude < 1000m
PSU Redundant Mode	☐ Redundant ☒ Non-Redundant
Reserved SB Force Power Off Wait	10 min
System Power Save Control	☐ Enable ☒ Disable
System Power Saving Threshold	7650 W (1000W - 7650W)

Apply Cancel

図 2.14 [System Setup] 画面(200V 受電、かつ、PRIMEQUEST 3400E2/3400L2/3800E2/3800L2/3400E/3400L/3800E/3800L)

System Setup

Click the Apply Button to apply all changes.

Input Voltage	200V
Required Number of PSU	☒ 2 PSUs ☐ 3 PSUs
Power Restoration Policy	Always ON - chassis always powers up after AC is restored. Always OFF - chassis remains powered off after AC is restored. Restore - power is returned to the state that was in effect before AC was removed or lost. Schedule Sync - Synchronize with the schedule. ☐ Always ON ☒ Always OFF ☐ Restore ☐ Schedule Sync
Partition Power on Delay	0 sec
Altitude	Altitude < 1000m
PSU Redundant Mode	☐ Redundant ☒ Non-Redundant
Reserved SB Force Power Off Wait	10 min
System Power Save Control	☐ Enable ☒ Disable
System Power Saving Threshold	7650 W (1600W - 7650W)

Apply Cancel

上図は、PRIMEQUEST 3400E/3400L/3800E/3800L の PA18021 版以降と PRIMEQUEST 3400E2/3400L2/3800E2/3800L2 のファームウェアの画面です。PRIMEQUEST 3400E/3400L/3800E/3800L のそれ以前のファームウェアは、項目の Required Number of PSU が表示されません。

表 2.31 [System Setup] 画面の表示・設定項目

項目	内容
Input Voltage	入力電圧を表示します。 100V 200V
Required Number of PSU [本設定メニューは、PRIMEQUEST 3400E/3400L/3800E/3800L では PA18021 版以降のファームウェアで利用できます]	PSU の必要数を設定します。 2 PSUs 3 PSUs この項目は、200V 受電、かつ、PRIMEQUEST 3400E2/3400L2/3800E2/3800L2/3400E/3400L/3800E/3800L モデルの場合のみ表示されます。 デフォルトは 2 PSUs です。 3400E2/3400L2 モデルの場合、デフォルトの 2PSUs から設定変更しないでください。 3800E2/3800L2 モデルで PSU_T を搭載した場合は、デフォルトの 2PSUs から設定変更しないでください。
Power Restoration Policy	停電後、復電したときのアクションの表示設定をします。 - Always off：復電後、電源オフの状態を維持します。 - Always on：停電したときの状態にかかわらず、復電後はパーティションの電源オンを行います。 - Restore：停電した時の状態に戻します。停電時にパーティションが電源オンの状態であった場合はパーティションの電源オンを行い、パーティションが電源オフの状態であった場合は、パーティションの電源オフの状態を維持します。 - Schedule Sync：復電時にスケジュール運転設定による運用時間帯であれば自動的にパーティションの電源オンを行います。 (注意) Special で設定したスケジュールは、指定した日のみ適用となります。 デフォルトは Restore です。
Partition Power On Delay	AC 電源投入後(復電時も含む) に設定した復電ポリシーに従ってパーティションの電源オンを指示するまでの待機時間を設定します。本項目はスケジュールによる Power On 時有効となります。 0 ～ 9999 秒の範囲で指定します。 デフォルト値は 0 秒です。 (注意) Partition Power On Delay の処理が終わるまでは、他の起動処理は実施されません。 ただし、スケジュール運転による Power On 時間が AC 電源投入(復電含む)による Power on delay 時間と重なった場合、AC 電源投入(復電含む)による Power On delay 時間が優先され、スケジュール運転による Power On での Power on delay は無視されます。
Altitude	PRIMEQUEST 3000 シリーズ筐体が設置されている高度を設定します。 - Altitude < 1000 m 1000 m <= Altitude < 1500 m 1500 m <= Altitude < 2000 m 2000 m <= Altitude デフォルト値は、Altitude < 1000 m です。 高度条件の設定誤差は±100m までになります。

項目	内容
PSU Redundant Mode	PSU を冗長で動作させるかどうかを設定します。 ・ Redundant : PSU を冗長にします。 ・ Non-redundant : PSU を非冗長にします。 デフォルトは Redundant です。 3800E2/3800L2 モデルで PSU_T を搭載した場合は、デフォルトの Redundant から設定変更しないください。
Reserved SB Force Power Off Wait	Reserved SB が他のパーティションで使用中の場合は、Reserved SB の切り替えのため、該当 SB を含むパーティションに直ちに OS シャットダウンを指示します。OS シャットダウン指示により OS がシャットダウンされない場合、パーティションを強制電源オフします。この項目は、Reserved SB の切り替え時、OS シャットダウン指示から強制電源オフを開始するまでの最大待機時間を設定します。0 ～ 99 分の範囲で指定します。 デフォルトは 10 分です。
System Power Save Control	システム全体としての Power Saving 機能の有効・無効設定を行います。 ・ Enable : Power Saving を有効にします。 ・ Disable : Power Saving を無効にします。 デフォルトは Disable です。 Power Saving 機能を使用する場合は、UEFI メニューからシステム内の全パーティションを以下の設定にする必要があります。 ・ 「Power Technology」を「Custom」にします。 ・ 「Enhanced Speed Step」を「Enabled」にします。 ・ 「Enable CPU HWPM」を「Disabled」にします。
System Power Saving Threshold	システム全体の消費電力閾値(Limit 値)を設定します。 System Power Save Control が Enable の場合、設定することができます。 System Power Save Control が Disable の場合、この項目はグレイアウト表示します。 PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400S Lite/3400S の場合 最小値は 1000W。 最大値は 7650W。 PRIMEQUEST 3400E2/3400L2/3800E2/3800L2/3400E/3400L/3800E/3800L の場合 最小値は 1600W。(PSU_T を搭載した場合は、1800W) 最大値は 7650W。 デフォルトは 7650W です。

表 2.32 [System Setup] 画面のボタン

ボタン	説明
Apply	[Power Restore Policy] などの項目を指定し、[Apply] ボタンをクリックすると、情報が設定されます。
Cancel	[Cancel] ボタンをクリックすると、変更または入力された項目が設定されずに元の状態に戻ります。

- (1) メニュー操作
 - [System] - [System Setup]
- (2) 画面操作
 - 1. [Power Restoration Policy] などの項目を指定し、[Apply] ボタンをクリックします。それぞれの情報が設定されます。

2.3.8 [System Power Control] 画面

[System Power Control] 画面では、PRIMEQUEST 3000 シリーズシステム全体の電源制御ができます。

備考

- Windows がインストールされているパーティションは、必ず OS のシャットダウンを実行してください。システムの応答がないなどの緊急時には MMB の Power Off (Force Power Off) で電源を切断してください。
 - 以下のような状態の場合は、『PRIMEQUEST 3000 シリーズ運用管理マニュアル』(CA92344-1656) の「11.2 トラブル対応」を参照して、内容をご確認ください。それでも解決できない異常については、担当営業員または修理相談窓口に連絡してください。ご連絡の際は、本体装置に貼付のラベルで記載の型名、および製造番号を確認し、お伝えください。また、障害が復旧するまでの間、パーティションの[Reset]、[Force Power Off] をしないでください。
- ・パーティションの[Power off]、[Reset]、[Force Power Off]、および OS からシャットダウンした場合、長時間たっても処理が終了しない状態で、MMB Web-UI 画面で各コンポーネントの状態を表示させると、Part Number、Serial Number が「Read Error」と表示されます。

図 2.15 [System Power Control] 画面

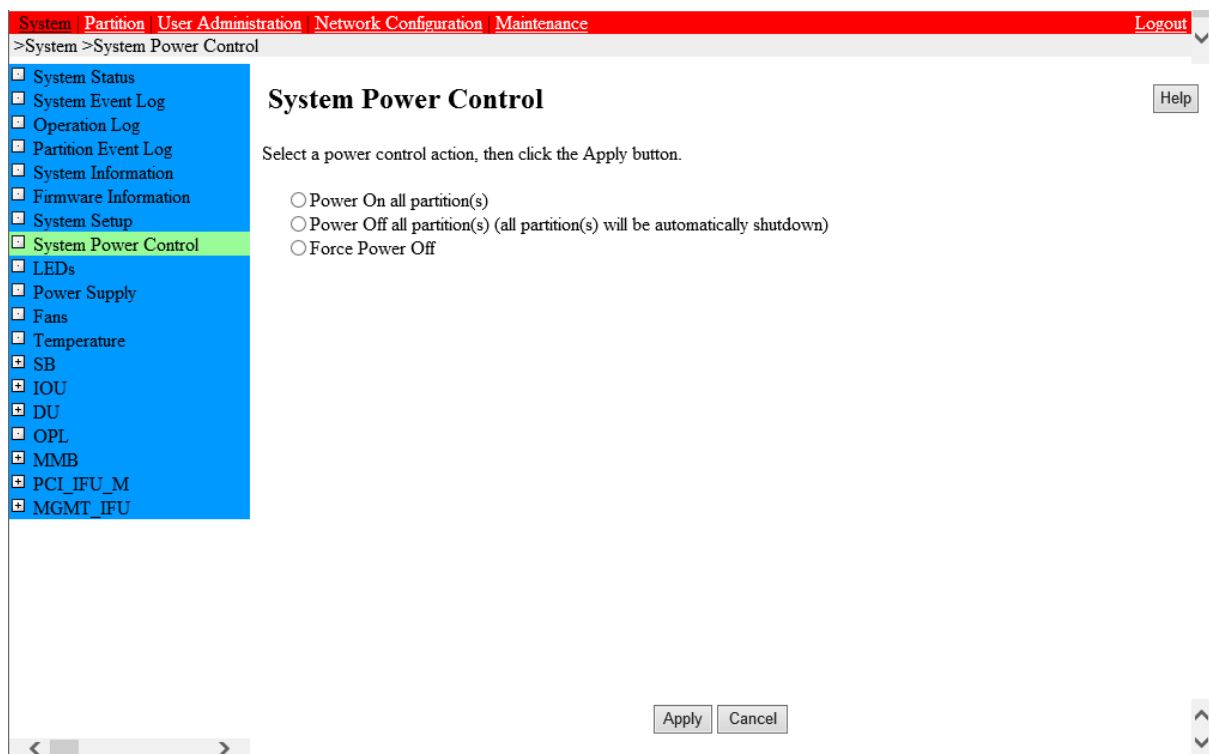


表 2.33 [System Power Control] 画面の表示・設定項目

項目	内容
Power On all partition(s)	すべてのパーティションの電源がオンになります。 筐体の電源のみオンになっている状態で選択すると、すべてのパーティションの電源がオンになります。
Power Off all partition(s) (all partition(s) will be automatically shutdown)	すべてのパーティションをシャットダウンし、筐体の電源がオフになります。
Force Power Off	パーティション上で動作している OS がシャットダウンされずに電源がオフになります。

表 2.34 [System Power Control] 画面のボタン

ボタン	説明
Apply	ラジオボタンで制御項目を選択し [Apply] ボタンをクリックすると、選択された項目に従って電源が制御されます。
Cancel	[Cancel] ボタンをクリックすると、電源は制御されずに元の状態に戻ります。

(1) メニュー操作

[System] - [System Power Control]

(2) 画面操作

- ラジオボタンで電源の制御項目を選択し、[Apply] ボタンをクリックします。確認のためのダイアログボックスが表示されます。
- [OK] ボタンをクリックします。選択された情報により電源が制御されます。

2.3.9 [LEDs] 画面

[LEDs] 画面には、システム内の LED 状態が表示されます。

図 2.16 [LEDs] 画面

LEDs

Unit	Power LED	Alarm LED	Location LED
System(OPL)			On Off
SB#0	Not-present		
SB#1			On Off
SB#2	Not-present		
SB#3	Not-present		
IOU#0			On Off
IOU#1			On Off
IOU#2			On Off
IOU#3			On Off
DU#0			On Off
DU#1	Not-present		
DU_M#0			On Off
DU_M#1			On Off
DU_M#2			On Off
DU_M#3			On Off
PCI_IFU_M#0			On Off
PCI_IFU_M#1			On Off
PCI_IFU_M#2			On Off
PCI_IFU_M#3			On Off
MMB#0			On Off
MMB#1			On Off
MGMT_IFU_E#0			On Off
MGMT_IFU_E#1			On Off
MGMT_IFU_M#0			On Off
MGMT_IFU_M#1			On Off
PCI_Box#0	Not-present		
PCI_Box#1	Not-present		
PCI_Box#2	Not-present		
PCI_Box#3	Not-present		

Turn off all Location LEDs

搭載されていないユニットに対しては、Not-present と表示され、その行は背景色が灰色で表示されます。

PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400S Lite/3400S の場合は、以下のユニットのみ表示されます。

SB : SB#0, SB#1

IOU : IOU#0, IOU#1

PCI_Box : PCI_Box

PRIMEQUEST 3400E/3400L の場合、SB#0 - SB#3 のユニットを表示します。

表 2.35 [LEDs] 画面の表示・設定項目

項目	内容
Unit	ユニット名を表示します。
Power LED	電源状態を表示します。
Alarm LED	ユニットの状態(正常、または、異常)を表示します。
Location LED	ユニットの Location LED の状態を表示／設定します。

表 2.36 [LEDs] 画面のボタン

ボタン	内容
On	[On] ボタンをクリックすると、Location LED が点灯します。
Off	[Off] ボタンをクリックすると、Location LED が消灯します。
Turn off all Location LEDs	[Turn off all Location LEDs] ボタンをクリックすると、システム内のすべての[Location LED]が消灯します。

(1) メニュー操作

[System] - [LEDs]

(2) 画面操作

1. [Turn off all Location LEDs] ボタンをクリックします。システム内のすべての[Location LED] が消灯します。

2.3.10 [Power Supply] 画面

[Power Supply] 画面では、PRIMEQUEST 3000 シリーズシステム内の PSU の状態が表示されます。

各 PSU の Status はいったん異常を検出すると、PSU を交換するか、[Status Clear] ボタンをクリックして異常状態をクリアするまで異常状態が保持されます。

図 2.17 [Power Supply] 画面

System Partition User Administration Network Configuration Maintenance Logout

>System >Power Supply

Power Supply Refresh Help

Click the Status Clear button to clear the status.

System Power Status	Standby
Power Supply Redundancy	Redundant

PSU

Slot#	Status	Power Status	Type	Part Number	Serial Number
0	OK	On	PSU_P	CA05954-3810/A3C40202586	IIMD1642000082
1	OK	On	PSU_P	CA05954-3810/A3C40202586	IMTD1704000074
2	Not-present	-	-		
3	Not-present	-	-		

PSU_M

Slot#	Status	Power Status	Type	Part Number	Serial Number
0	OK	On	PSU_P	A3C40175928	GPBD1631059490
1	OK	On	PSU_P	A3C40175928	GPBD1631056680

Power Consumption

System Power Consumption(W)	210
-----------------------------	-----

Status Clear

表 2.37 [Power Supply] 画面の表示項目

項目	内容
System Power Status	PRIMEQUEST 3000 シリーズシステム(筐体) の電源状態を表示します。 - On : オン状態です。 - Standby : スタンバイ状態です。
Power Supply Redundancy	PSU の冗長状態について表示します。 - Redundant : PSU は冗長です。 - Redundancy Degraded : PSU の複数冗長は失われたが、一部冗長が残っている場合。 - Non-redundant: Sufficient Resources : PSU の冗長性が失われても、システムを運用するために十分な PSU があります。 - Non-redundant: Insufficient Resources : 冗長性を失い、かつ、システムを運用するのに十分な PSU がありません。
PSU/PSU_M	
Slot#	PSU/PSU_M を搭載するスロットを表示します。
Status	PSU/PSU_M の状態を表示します。 - OK : PSU/PSU_M は正常です。 - Not-present : PSU/PSU_M は搭載されていません。 - Failed : PSU/PSU_M は異常です。 - AC Lost : PSU/PSU_M は AC 接続されていません。 - Configuration error : 搭載 PSU/PSU_M の組み合わせ、搭載位置が誤っています。

項目	内容
Power Status	PSU/PSU_M の電源状態オン／オフを表示します。 ・ On：オン状態です。 ・ Standby：スタンバイ状態です。
Type	PSU/PSU_M の種類を表示します。 PSU の場合 ・ PSU_P：2200W 80PLUS PLATINUM 対応 PSU ・ PSU_T：2600W 80PLUS PLATINUM 対応 PSU (*1) ・ -：(Not-present の場合) PSU_M の場合 ・ PSU_P：800W 80PLUS PLATINUM 対応 PSU ・ -：(Not-present の場合)
Part Number	PSU/PSU_M のパーツ番号を表示します。
Serial Number	PSU/PSU_M のシリアル番号を表示します。
Power Consumption	
System Power Consumption(W)	消費電力量を表示します。

*1) PRIMEQUEST 3800E2/3800L2 モデルで利用できます

表 2.38 [Power Supply] 画面のボタン

ボタン	内容
Status Clear	PSU/PSU_M のエラー状態をクリアします。

(1) メニュー操作

[System] - [Power Supply]

(2) 画面操作

1. [Status Clear] ボタンをクリックします。
確認のためのダイアログボックスが表示されます。
2. PSU の状態をクリアする場合には[OK] ボタンを、クリアしない場合には[Cancel] ボタンをクリックします。

2.3.11 [Fans] 画面

[Fans] 画面では、PRIMEQUEST 3000 シリーズシステム内のファンの状態表示とファン状態のクリア設定をします。

図 2.18 [Fans] 画面

System Partition User Administration Network Configuration Maintenance Logout

>System >Fans

System Status
System Event Log
Operation Log
Partition Event Log
System Information
Firmware Information
System Setup
System Power Control
LEDs
Power Supply
Fans
Temperature
SB
IOU
DU
OPL
MMB
PCI_IFU_M
MGMT_IFU

Fans

Click the Status Clear button to clear the status.

Fan Redundancy
Redundant

FAN#	Part Number	Serial Number	Status	Fan speed (rpm)	Threshold(rpm)	
					Warning (Low/High)	Critical (Low/High)
FANU#0	FANU	EVT03_00	OK	7493	- / 10303	4184 / -
			OK	6756	- / 8815	3631 / -
			OK	7703	- / 10303	4184 / -
			OK	6840	- / 8815	3631 / -
FANU#1	FANU	EVT03_01	OK	8161	- / 10303	4184 / -
			OK	7105	- / 8815	3631 / -
			OK	7703	- / 10303	4184 / -
			OK	7105	- / 8815	3631 / -
FANU#2	FANU	EVT03_02	OK	7596	- / 10303	4184 / -
			OK	7198	- / 8815	3631 / -
			OK	7703	- / 10303	4184 / -
			OK	6756	- / 8815	3631 / -
FANU#3	FANU	EVT03_03	OK	7703	- / 10303	4184 / -
			OK	6840	- / 8815	3631 / -
			OK	7596	- / 10303	4184 / -
			OK	7015	- / 8815	3631 / -
FANU#4	FANU	EVT03_04	OK	7703	- / 10303	4184 / -
			OK	6926	- / 8815	3631 / -
			OK	7925	- / 10303	4184 / -
			OK	6926	- / 8815	3631 / -
FANU#5	FANU	EVT03_05	OK	7925	- / 10303	4184 / -
			OK	6674	- / 8815	3631 / -
			OK	7596	- / 10303	4184 / -
			OK	6756	- / 8815	3631 / -
PSU#0 FAN	CA05954-3810/A3C40202586	IMTD1704000079	OK	8680	- / -	- / -
PSU#1 FAN	CA05954-3810/A3C40202586	IIMD1642000082	OK	9088	- / -	- / -
PSU#2 FAN			Not-present			
PSU#3 FAN			Not-present			
PSU_M#0 FAN	A3C40175928	GPBD1631059480	OK	6148	- / -	- / -
PSU_M#1 FAN	A3C40175928	GPBD1631056680	OK	6148	- / -	- / -

Airflow Volume

Airflow Volume(m3/h)
240

Status Clear

各ファンの Status はいったん異常を検出すると、ファンを交換するか、[Status Clear] ボタンをクリックして異常状態をクリアするまで異常状態が保持されます。

備考

[Status Clear] して再度ファンの回転数異常が検出されると、[Failed] 状態に遷移します。そのため、もともとファン回転数が異常であるファンのステータスをクリアしても、状態は[Failed] のまま変化しない場合があります。

表 2.39 [Fans] 画面の表示項目

項目		内容
Fan Redundancy		ファンの冗長状態が表示されます。 - Redundant：ファンは冗長です。 - Non-redundant: Sufficient Resource：ファンの冗長性は失われたが、システムの運転を継続するのに十分なファンがあります。
FAN#		ファン番号を表示します。
Part Number		ファンの Part Number を表示します。
Serial Number		ファンの Serial Number を表示します。
Status		各ファンの状態を表示します。 - OK：ファンは正常です。 - Not-present：ファンは実装されていません。 - Warning：ファンは動作継続可能な異常です。 - Failed：ファンは異常です。
Fan Speed(rpm)		各ファンの回転数(rpm) を表示します。
Threshold (rpm)	Warning (Low/ High)	各ファンの回転数の下限値と上限値を表示します。 (この回転数より低くなるか高くなると異常になります。) Warning となるファン回転数の下限値と上限値の閾値を表示します。
	Critical (Low/High)	各ファンの回転数の下限値と上限値を表示します。 (この回転数より低くなるか高くなると異常になります。) Critical となるファン回転数の下限値と上限値の閾値を表示します。
Airflow Volume		風量を表示します。

表 2.40 [Fans] 画面のボタン

ボタン	内容
Status Clear	ファンの状態をクリアします。

(1) メニュー操作

[System] - [Fans]

(2) 画面操作

- [Status Clear] ボタンをクリックします。
確認のためのダイアログボックスが表示されます。
- ファンの状態をクリアする場合には[OK] ボタンを、クリアしない場合には[Cancel] ボタンをクリックします。

2.3.12 [Temperature] 画面

[Temperature] 画面では、PRIMEQUEST 3000 シリーズシステム内の温度センサーの温度が表示されます。

PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400S Lite/3400S の場合は以下のユニットのみ表示されます。

SB : SB#0~SB#1

IOU : IOUE#0, IOUE#1

PCI_Box : PCI_Box

図 2.19 [Temperature] 画面

System Partition User Administration Network Configuration Maintenance
Logout
>System >Temperature

- System Status
- System Event Log
- Operation Log
- Partition Event Log
- System Information
- Firmware Information
- System Setup
- System Power Control
- LEDs
- Power Supply
- Fans
- Temperature**
- SB
- IOU
- DU
- PCI_Box
- OPL
- MMB
- PCI_IFU_M
- MGMT_IFU

Temperature

Refresh Help

Average Inlet Temp.	System Up Time
24°C	1440h

Sensor	Status	Temperature	Threshold	
			Warning (Low/High)	Critical (Low/High)
Inlet Temp.	OK	- °C	2 / 38°C	- / -°C

Sensor		Status	Temperature	Threshold	
				Warning (Low/High)	Critical (Low/High)
SB#0	SB#0-CPU#0	Not-present			
	SB#0-CPU#1	Not-present			
	SB#0-DIMMs DDR4	Not-present			
	SB#0-DIMMs AEP	Not-present			
SB#1	SB#1-CPU#0	OK	- °C	- / 96°C	- / -°C
	SB#1-CPU#1	OK	- °C	- / 96°C	- / -°C
	SB#1-DIMMs DDR4	OK	- °C	- / 87°C	- / 90°C
	SB#1-DIMMs AEP	Not-present			
SB#2	SB#2-CPU#0	OK	- °C	- / 94°C	- / -°C
	SB#2-CPU#1	OK	- °C	- / 94°C	- / -°C
	SB#2-DIMMs DDR4	OK	- °C	- / 87°C	- / 90°C
	SB#2-DIMMs AEP	Not-present			
SB#3	SB#3-CPU#0	OK	- °C	- / 94°C	- / -°C
	SB#3-CPU#1	OK	- °C	- / 94°C	- / -°C
	SB#3-DIMMs DDR4	OK	- °C	- / 87°C	- / 90°C
	SB#3-DIMMs AEP	Not-present			
IOU#0	GbE Temp.	OK	- °C	- / 105°C	- / 108°C
	PCIeSW Temp.	OK	- °C	- / 110°C	- / 113°C
IOU#1	GbE Temp.	OK	- °C	- / 105°C	- / 108°C
	PCIeSW Temp.	OK	- °C	- / 110°C	- / 113°C
IOU#2	GbE Temp.	OK	- °C	- / 105°C	- / 108°C
	PCIeSW Temp.	OK	- °C	- / 110°C	- / 113°C
IOU#3	GbE Temp.	Not-present			
	PCIeSW Temp.	Not-present			
PSU#0	PSU#0 Inlet	OK	29°C	- / -°C	- / -°C
	PSU#0 Hotspot	OK	39°C	- / -°C	- / -°C
PSU#1	PSU#1 Inlet	Not-present			
	PSU#1 Hotspot	Not-present			
PSU#2	PSU#2 Inlet	OK	31°C	- / -°C	- / -°C
	PSU#2 Hotspot	OK	38°C	- / -°C	- / -°C
PSU#3	PSU#3 Inlet	Not-present			
	PSU#3 Hotspot	Not-present			
PSU_M#0	PSU_M#0 Inlet	OK	32°C	- / -°C	- / -°C
	PSU_M#0 Hotspot	OK	42°C	- / -°C	- / -°C
PSU_M#1	PSU_M#1 Inlet	OK	30°C	- / -°C	- / -°C
	PSU_M#1 Hotspot	OK	39°C	- / -°C	- / -°C
DU#0	RAID Ctl Temp.	-	-	-	-
	RAID BBU Temp.	-	-	-	-
DU#1	RAID Ctl Temp.	-	-	-	-
	RAID BBU Temp.	-	-	-	-
DU_M#0	RAID Ctl Temp.	-	-	-	-
	RAID BBU Temp.	-	-	-	-
DU_M#1	RAID Ctl Temp.	-	-	-	-
	RAID BBU Temp.	-	-	-	-
DU_M#2	RAID Ctl Temp.	-	-	-	-
	RAID BBU Temp.	-	-	-	-
DU_M#3	RAID Ctl Temp.	-	-	-	-
	RAID BBU Temp.	-	-	-	-

表 2.41 [Temperature] 画面の表示項目

項目		内容
Average Inlet Temp.		吸気温度の平均温度を表示します。
System Up Time		システム稼働時間を表示します。単位は、1 時間(h)です。
Advanced Thermal Option		Advanced Thermal Option が有効の場合のみ、この項目を表示します。 ・ Enabled : Advanced Thermal Option が有効です。
Sensor		各温度センサーの種類を表示します。
Status		各温度センサーの状態を表示します。 ・ OK : 温度センサーは正常です。 ・ Not-present : 温度センサーは実装されていません。 ・ Warning : 温度センサーは動作継続可能な異常です。 ・ Critical : 温度センサーは異常です。
Temperature		各温度センサーの温度を表示します。(*1)
Threshold	Warning (Low/High)	各温度センサーの温度の下限值と上限値を表示します。 (この温度より低くなるか高くなると異常になります。) Warning となる温度の下限值と上限値の閾値を表示します。
	Critical (Low/High)	各温度センサーの温度の下限值と上限値を表示します。 (この温度より低くなるか高くなると異常になります。) Critical となる温度の下限值と上限値の閾値を表示します。

*1) : Inlet Temp の温度センサーは、パーティションが1つも起動していない状態から、パーティション起動後、10 分間は、実際の周囲温度よりも高い温度を表示することがあります。

(1) メニュー操作

[System] - [Temperature]

(2) 画面操作

なし

2.3.13 [SB] メニュー

[SB] メニューには、SB のユニットごとにメニューがあります。搭載されていない SB のメニューは表示されません。画面の形式と操作方法は各メニューとも同じなので、ここでは 1 つのメニューについて説明します。

PRIMEQUEST 3400E/3400L の場合は Memory Scale-up Board の情報も表示されます。

■ [SB#x] 画面

[SB#x] (x=0, 1, 2, 3) 画面では、SB#x ボードの状態の表示および設定ができます。

図 2.20 [SB#x] 画面(1)

System

Partition

User Administration

Network Configuration

Maintenance

Logout

>System >SB >SB#0

System Status

System Event Log

Operation Log

Partition Event Log

System Information

Firmware Information

System Setup

System Power Control

LEDs

Power Supply

Fans

Temperature

SB

SB#0

IOU

DU

PCI_Box

OPL

MMB

PCI_IFU_M

MGMT_IFU

SB#0

Refresh

Help

Click the Status Clear button to clear the status.

Board Information

Status	OK
Power Status	Standby
Home	Yes
Part Number	A3C40202223
Version	005AE
Serial Number	QM12345678
Location LED	Off On Off

BMM Board Information

Status	Part Number	Serial Number
OK	A3C40202225 006AD	BMM#83

CPUs

CPU#	Status	Core / Max Core	Model	Stepping	Part Number	Serial Number
0	OK	28/28	Intel® Xeon® Processor		02671420	A037B741FDE9A985
1	OK	28/28	Intel® Xeon® Processor		02671420	A037E14945BA5F81

DIMMs

DIMM#	Status	Size	Rank	Data Rate	Part Number	Serial Number
0A0	OK	16GB	2	DDR4-2400	DPRD-001602424	02E7DD44
0A1	OK	128GB	-	DDR4-2666	DSAL-012801826	00000F2D
0B0	Not-present					
0B1	Not-present					
0C0	Not-present					
0C1	Not-present					
0D0	OK	16GB	2	DDR4-2400	DPRD-001602424	02EEAED0
0D1	OK	128GB	-	DDR4-2666	DSAL-012801826	000002AB
0E0	Not-present					
0E1	Not-present					
0F0	Not-present					
0F1	Not-present					
1A0	OK	16GB	2	DDR4-2400	DPRD-001602424	02E7DDCE
1A1	OK	128GB	-	DDR4-2666	DSAL-012801826	0000116B
1B0	Not-present					
1B1	Not-present					
1C0	Not-present					
1C1	Not-present					
1D0	OK	16GB	2	DDR4-2400	DPRD-001602424	02E7DD47
1D1	OK	128GB	-	DDR4-2666	DSAL-012801826	0000116D
1E0	Not-present					
1E1	Not-present					
1F0	Not-present					
1F1	Not-present					

Status Clear

図 2.21 [SB#x] 画面(2)

System

Partition

User Administration

Network Configuration

Maintenance

Logout

>System >SB >SB#1

System Status

System Event Log

Operation Log

Partition Event Log

System Information

Firmware Information

System Setup

System Power Control

LEDs

Power Supply

Fans

Temperature

SB

IOU

DU

OPL

MMB

PCI_IFU_M

MGMT_IFU

SB#0

SB#1

SB#2

SB#3

Refresh

Help

SB#0

NVM/LRDIMMs

DIMM#	Firmware Version
0A1	-
0D1	-
1A1	-
1D1	-

Chipsets

Chipset	OK
---------	----

TPM

TPM	OK
-----	----

iRMC

iRMC	OK
------	----

Clock

Clock	OK
-------	----

M.2

Slot#	Status	Vendor	Model	Capacity
0	OK	MICRON	MTFDDAV240TCB	240GB
1	OK	MICRON	MTFDDAV480TCB	480GB

UFD

Status	Vendor ID	Device ID
OK	0bf8	1029

UFD Physical Drives

Slot#	Status	Vendor	Model	Capacity
0	Operational	SanDisk	Industrial 64GB	59 GB
1	Operational	SanDisk	Industrial 64GB	59 GB

Voltage

Sensor	Voltage	Threshold	
		Warning(Low/High)	Critical(Low/High)
SB#1-STBY_CPU0	2.51 V	2.30/ 2.70 V	1.62/ 3.00 V
SB#1-STBY_CPU1	2.51 V	2.30/ 2.70 V	1.62/ 3.00 V
SB#1-STBY_CPLD	1.49 V	1.38/ 1.62 V	0.98/ 1.80 V
SB#1-VCCIN_CPU0	- V	1.44/ 2.16 V	1.02/ 2.40 V
SB#1-VCCSA_CPU0	- V	0.46/ 1.19 V	0.32/ 1.32 V
SB#1-VCCIO_CPU0	- V	0.82/ 1.19 V	0.58/ 1.32 V
SB#1-VDDQ_ABC_0	- V	1.10/ 1.33 V	0.78/ 1.48 V
SB#1-VPP_ABC_0	- V	2.37/ 2.78 V	1.67/ 3.09 V
SB#1-VTT_ABC_0	- V	0.55/ 0.67 V	0.39/ 0.74 V
SB#1-VDDQ_DEF_0	- V	1.10/ 1.33 V	0.78/ 1.48 V
SB#1-VPP_DEF_0	- V	2.37/ 2.78 V	1.67/ 3.09 V
SB#1-VTT_DEF_0	- V	0.55/ 0.67 V	0.39/ 0.74 V
SB#1-VCCIN_CPU1	- V	1.44/ 2.16 V	1.02/ 2.40 V
SB#1-VCCSA_CPU1	- V	0.46/ 1.19 V	0.32/ 1.32 V
SB#1-VCCIO_CPU1	- V	0.82/ 1.19 V	0.58/ 1.32 V
SB#1-VDDQ_ABC_1	- V	1.10/ 1.33 V	0.78/ 1.48 V
SB#1-VPP_ABC_1	- V	2.37/ 2.78 V	1.67/ 3.09 V
SB#1-VTT_ABC_1	- V	0.55/ 0.67 V	0.39/ 0.74 V
SB#1-VDDQ_DEF_1	- V	1.10/ 1.33 V	0.78/ 1.48 V
SB#1-VPP_DEF_1	- V	2.37/ 2.78 V	1.67/ 3.09 V
SB#1-VTT_DEF_1	- V	0.55/ 0.67 V	0.39/ 0.74 V
BMM#1-5V	- V	4.60/ 5.40 V	3.25/ 6.00 V
BMM#1-3.3V	- V	3.04/ 3.56 V	2.14/ 3.96 V
SB#1-MAIN 12V_1	- V	11.10/13.14 V	7.86/14.58 V
SB#1-MAIN 12V_2	- V	11.10/13.14 V	7.86/14.58 V
SB#1-MAIN 12V_3	- V	11.10/13.14 V	7.86/14.58 V
SB#1-MAIN 12V_4	- V	11.10/13.14 V	7.86/14.58 V
SB#1-MAIN 3.3V	- V	3.04/ 3.56 V	2.14/ 3.96 V
SB#1-MAIN 5V	- V	4.60/ 5.40 V	3.25/ 6.00 V
BMM#1-1.8V STBY	1.78 V	1.66/ 1.94 V	1.17/ 2.16 V
BMM#1-1.2V STBY	1.19 V	1.10/ 1.30 V	0.78/ 1.44 V
BMM#1-1.05V STBY	1.04 V	0.96/ 1.14 V	0.68/ 1.26 V
BMM#1-1.0V STBY	1.00 V	0.92/ 1.08 V	0.65/ 1.20 V

Status Clear

搭載されていない CPU、DIMM の行は、背景色が灰色で表示されます。 設定権限のないユーザーには、[Status Clear] ボタンおよび「Click the Status Clear button to clear the status.」のメッセージは表示されません。

M.2 の表示項目は、 PRIMEQUEST 3400S Lite/3400S/3400E/3400L/3800E/3800L では PA19043 版以前のファームウェアの場合、下記のように表示されます。

図 2.22 PRIMEQUEST 3400S Lite/3400S/3400E/3400L/3800E/3800L(PA19043 版以前)の M.2 表示項目

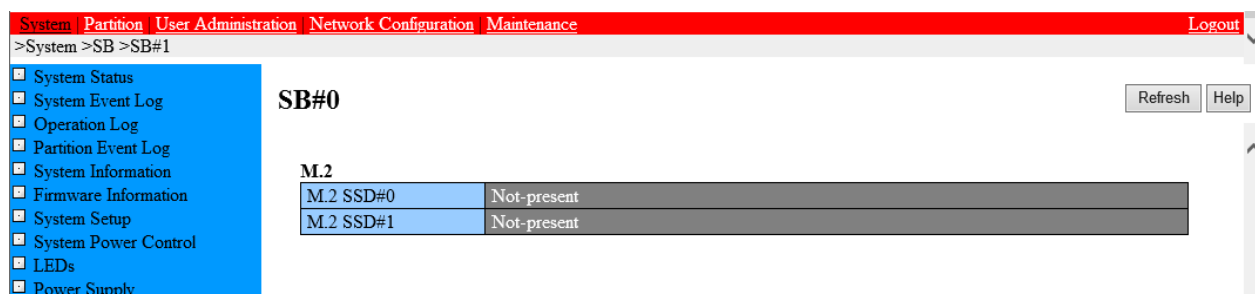


図 2.23 [Memory Scale-up Board] 画面(1)

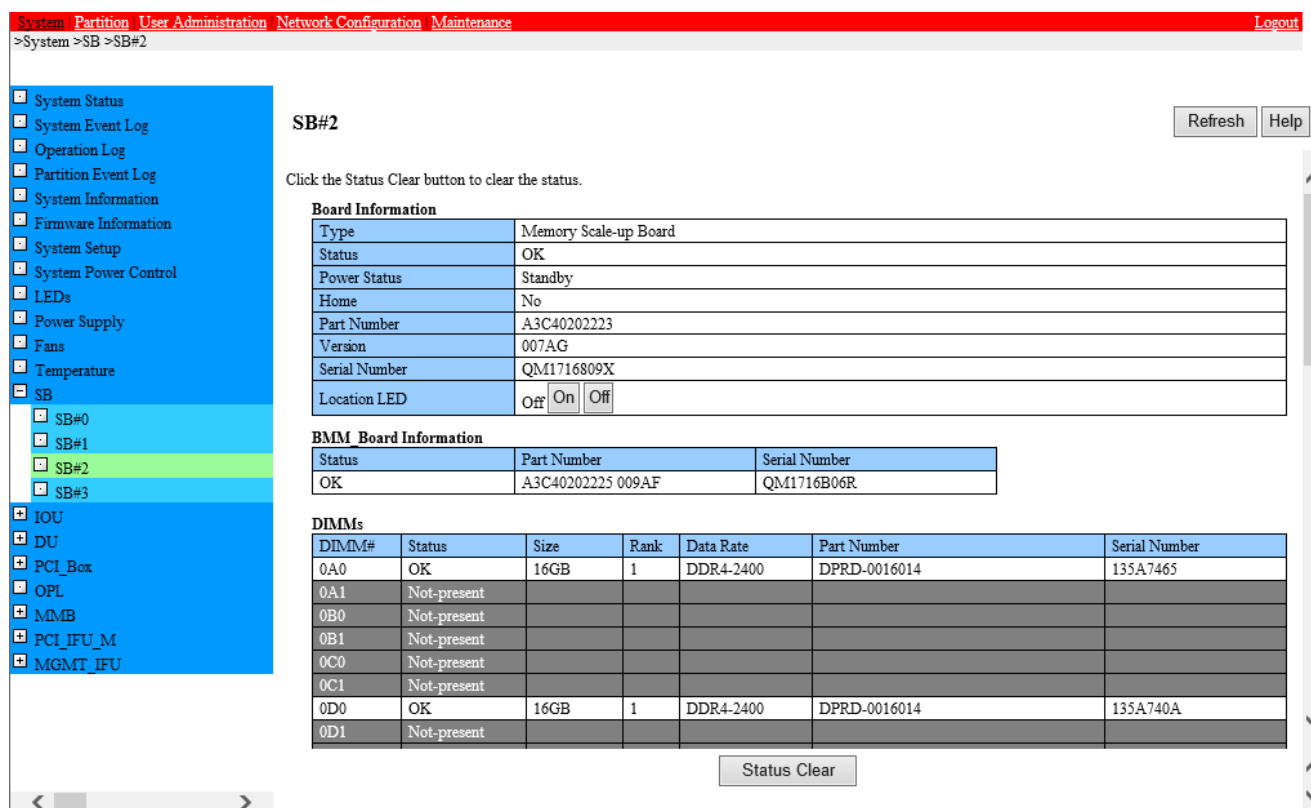


図 2.24 [Memory Scale-up Board] 画面(2)

System Partition User Administration Network Configuration Maintenance Logout

>System>SB>SB#2

- System Status
- System Event Log
- Operation Log
- Partition Event Log
- System Information
- Firmware Information
- System Setup
- System Power Control
- LEDs
- Power Supply
- Fans
- Temperature
- SB
 - SB#0
 - SB#1
 - SB#2
 - SB#3
- IOU
- DU
- PCI_Box
- OPL
- MMB
- PCI_IFU_M
- MGMT_IFU

SB#2

Refresh Help

0E1	Not-present					
0F0	Not-present					
0F1	Not-present					
1A0	OK	16GB	1	DDR4-2400	DPRD-0016014	135A7472
1A1	Not-present					
1B0	Not-present					
1B1	Not-present					
1C0	Not-present					
1C1	Not-present					
1D0	OK	16GB	1	DDR4-2400	DPRD-0016014	135A7466
1D1	Not-present					
1E0	Not-present					
1E1	Not-present					
1F0	Not-present					
1F1	Not-present					

Chipsets

Chipset OK

iRMC

iRMC OK

Clock

Clock OK

Voltage

Sensor	Voltage	Threshold Warning(Low/High)	Critical(Low/High)
BATT 3.0V	3.09 V	2.76/- V	1.95/ 3.62 V
BMM#2-1.05V STBY	1.04 V	0.96/ 1.14 V	0.68/ 1.26 V
BMM#2-1.0V STBY	1.00 V	0.92/ 1.08 V	0.65/ 1.20 V
SB#2-MAIN 3.3V	- V	3.04/ 3.56 V	2.14/ 3.96 V
SB#2-VCCIN_MSC0	- V	1.44/ 2.16 V	1.02/ 2.40 V
SB#2-VCCSA_MSC0	- V	0.46/ 1.19 V	0.32/ 1.32 V
SB#2-VCCIO_MSC0	- V	0.82/ 1.19 V	0.58/ 1.32 V
SB#2-VDDQ_ABC_0	- V	1.10/ 1.33 V	0.78/ 1.48 V
SB#2-VPP_ABC_0	- V	2.37/ 2.78 V	1.67/ 3.09 V
SB#2-VDDQ_DEF_0	- V	1.10/ 1.33 V	0.78/ 1.48 V
SB#2-VPP_DEF_0	- V	2.37/ 2.78 V	1.67/ 3.09 V
SB#2-VCCIN_MSC1	- V	1.44/ 2.16 V	1.02/ 2.40 V
SB#2-VCCSA_MSC1	- V	0.46/ 1.19 V	0.32/ 1.32 V
SB#2-VCCIO_MSC1	- V	0.82/ 1.19 V	0.58/ 1.32 V
SB#2-VDDQ_ABC_1	- V	1.10/ 1.33 V	0.78/ 1.48 V
SB#2-VPP_ABC_1	- V	2.37/ 2.78 V	1.67/ 3.09 V
SB#2-VDDQ_DEF_1	- V	1.10/ 1.33 V	0.78/ 1.48 V
SB#2-VPP_DEF_1	- V	2.37/ 2.78 V	1.67/ 3.09 V
BMM#2-5V	- V	4.60/ 5.40 V	3.25/ 6.00 V
BMM#2-3.3V	- V	3.04/ 3.56 V	2.14/ 3.96 V

Status Clear

表 2.42 [SB#x] 画面の表示・設定項目

項目	内容
Board Information	
Type	SB の種類を表示します。Memory Scale-up Board の場合のみ、この項目が表示されます。 Memory Scale-up Board
Status	SB の状態を表示します。 - OK：SB 上に障害はありません。 - Not-present：SB は搭載されていません。 - Warning：SB 上の電圧センサーなどで Warning を検出しています。 - Degraded：SB 上のコンポーネントに障害が発生しています。しかし、SB としては障害コンポーネントを切り離して動作できます。 - Failed：SB に障害が発生し SB の切離しが必要、または、切り離されています。 - Unsupported：MMB がサポートしていない SB です。
Power Status	SB の電源状態を表示します。 - On：オン状態です。 - Standby：スタンバイ状態です。
Home	SB が Home であるかどうかを表示します。 - Yes：Home です。 - No：Home ではありません。
Part Number	SB のパーツ番号を表示します。
Version	SB のバージョンを表示します。
Serial Number	SB のシリアル番号を表示します。
Location LED	Location LED の表示状態を示します。 表示状態には、以下の 2 つがあります。 - On：点灯しています。 - Off：消灯しています。 [On]、[Off] ボタンをクリックすることによって Location LED の点灯／消灯を制御できます。
BMM Board Information	
Status	BMM ボードの状態を表示します。 - OK：BMM ボード上に障害はありません。 - Not-present：BMM ボードは搭載されていません。 - Warning：BMM ボード上の電圧センサーなどで Warning を検出しています。 - Degraded：BMM ボード上のコンポーネントに障害が発生しています。しかし、BMM ボードとしては障害コンポーネントを切り離して動作できます。 - Failed：BMM ボードに障害が発生し BMM ボードの切離しが必要、または、切り離されています。 - Unsupported(*)：MMB がサポートしていない BMM ボードです。 *) PRIMEQUEST 3400S Lite/3400S/3400E/3400L/3800E/3800L では PA19024 版以降のファームウェアで表示されます。
Part Number	BMM ボードのパーツ番号を表示します。
Serial Number	BMM ボードのシリアル番号を表示します。

項目	内容	
CPUs（Memory Scale-up Board の場合は表示しません）		
CPU#0 CPU#1	Status	CPU の状態を表示します。 ・ OK：CPU は正常です。 ・ Not-present：CPU は実装されていません。 ・ Disabled：CPU は搭載されていますが無効です。 ・ Warning：CPU は動作継続可能な異常です。 ・ Failed：CPU は異常です。 ・ Configuration error：搭載 CPU の組み合わせ、搭載位置が誤っています。 ・ Unknown：未サポートの CPU です。
	Core/ Max Core	正常なコア数/最大コア数を表示します。 ・ コアの縮退状態を表示します。 コア数は、故障コアを除いた数を表示します。 最大コア数には Disable のコア数も含みます。
	Model	CPU の製品名を表示します。
	Stepping	CPU の版数を表示します。
	Part Number	CPU のパーツ番号を表示します。
	Serial Number	CPU のシリアル番号を表示します。
DIMMs		
DIMM#0A0 ～ DIMM#1F1	Status	DIMM の状態を表示します。 ・ OK：DIMM は正常です。 ・ Not-present：DIMM は実装されていません。 ・ Warning：DIMM は動作継続可能な異常です。 ・ Uncorrectable error：DIMM は訂正不可能な異常です。 ・ Disabled：DIMM は搭載されていますが無効です。 ・ Configuration error：搭載 DIMM の組み合わせ、搭載位置が誤っています。 ・ Degraded Configuration：DIMM は一部の機能、コンポーネントを縮退して動作しています。 ・ Unknown：未サポートの DIMM です。
	Size	DIMM のサイズを表示します。 表示例：64GB DIMM Status が Not-present、Unknown の場合は、何も表示しません。
	Rank	DIMM の Rank 数を表示します。 表示例：1 DIMM Status が Not-present、Unknown の場合は、何も表示しません。 DCPMM を搭載した場合、「-」を表示します。
	Data Rate	DIMM の Data Rate を表示します。 表示例：DDR4-2666 DIMM Status が Not-present、Unknown の場合は、何も表示しません。
	Part Number	DIMM のパーツ番号を表示します。 DIMM Status が Not-present、Unknown の場合は、何も表示しません。
	Serial Number	DIMM のシリアル番号を表示します。 DIMM Status が Not-present、Unknown の場合は、何も表示しません。

項目		内容
NVM/LRDIMMs（DCPMM を搭載していない SB の場合は、表示しません。） [本設定メニューは、PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400E2/3400L2/3800E2/3800L2 モデルで利用できます]		
DIMM#0A0 ～ DIMM#1F1 (DCPMM が搭載されてい るスロットのみ表示しま す。)	Firmware Version	DCPMM のファームウェアバージョンを表示します。 パーティションが Boot、または、OS Running 状態の場合に ファームウェアバージョンが表示されます。 ファームウェアバージョンが取得できていない場合は、 「ー」を表示します。 正しく情報が表示されるまでは System Progress が Boot、または、 OS Running の状態に変化してから、最大 5 分かかります。
Chipsets		
Chipset	チップセットの状態を表示します。 ・ OK：チップセットは正常です。 ・ Warning：チップセットは動作継続可能な異常です。 ・ Failed：チップセットは異常です。	
TPM（TPM を搭載していない SB、Memory Scale-up Board の場合は、表示しません。）		
TPM	TPM の状態を表示します。 ・ OK：TPM は正常です。 ・ Warning：TPM は動作継続可能な異常です。 ・ Failed：TPM は異常です。	
iRMC		
iRMC	iRMC の状態を表示します。 ・ OK：iRMC は正常です。 ・ Warning：iRMC は動作継続可能な異常です。 ・ Failed：iRMC は異常です。	
Clock		
Clock	システムクロックの状態を表示します。 ・ OK：システムクロックは正常です。 ・ Failed：システムクロックは異常です。	

項目	内容	
M.2（Memory Scale-up Board の場合は、表示しません。）		
Slot#0 Slot#1 [本設定メニューは、PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400E2/3400L2/3800E2/3800L2 のファームウェアで利用できます] [本設定メニューは、PRIMEQUEST 3400S Lite/3400S/3400E/3400L/3800E/3800L では PA19044 版以降のファームウェアで利用できます]	Status	M.2 の状態を表示します。SB の電源状態がオンになった後、正しい状態を表示します。 ・ OK：M.2 は正常です。 ・ Fail：M.2 は異常です。 ・ Empty or not installed：M.2 は実装されていません。
	Vendor	M.2 のベンダーを表示します。
	Model	M.2 のモデルを表示します。
	Capacity	M.2 の容量を表示します。
M.2 SSD#0 M.2 SSD#1 [本設定メニューは、PRIMEQUEST 3400S Lite/3400S/3400E/3400L/3800E/3800L では PA19043 版以前のファームウェアで利用できます]	Status	M.2 の状態を表示します。SB の電源状態がオンになった後、正しい状態を表示します。 ・ OK：M.2 は正常です。 ・ Fail：M.2 は異常です。 ・ Empty or not installed：M.2 は実装されていません。

項目		内容
UFD（UFD を搭載していない SB、Memory Scale-up Board の場合は、表示しません。） [本設定メニューは、PRIMEQUEST 3400S Lite/3400S/3400E/3400L/3800E/3800L では PA18041 版以降のファームウェアで利用できます]		
UFD		UFD の状態を表示します。SB の電源状態がスタンバイの場合は「－」を表示します。 ・ OK：UFD は正常です。 ・ Warning：UFD は動作継続可能な異常です。 ・ Failed：UFD は異常です。 ・ -：UFD の情報が読み出せません。
Vendor ID		UFD のベンダーID を表示します。
Device ID		UFD のデバイス ID を表示します。
UFD Physical Drives（UFD を搭載していない SB、Memory Scale-up Board の場合は、表示しません。） [本設定メニューは、PRIMEQUEST 3400S Lite/3400S/3400E/3400L/3800E/3800L では PA18041 版以降のファームウェアで利用できます]		
Slot#0 Slot#1	Status	UFD 物理ドライブの状態を表示します。SB の電源状態がスタンバイの場合は「－」を表示します。 ・ Operational：UFD 物理ドライブは動作中です。 ・ Rebuilding：UFD 物理ドライブはリビルド中です。 ・ Offline：UFD 物理ドライブはオフラインです。 ・ Failed：UFD 物理ドライブは異常です。 ・ Not-present：UFD 物理ドライブは実装されていません。 ・ -：UFD 物理ドライブの情報が読み出せません。
	Vendor	UFD 物理ドライブのベンダーを表示します。
	Model	UFD 物理ドライブのモデルを表示します。
	Capacity	UFD 物理ドライブの容量を表示します。
Voltage		
Sensor		電圧のセンサー名を表示します。
Voltage		現在の電圧を表示します。
Threshold	Warning (Low/High)	Warning となる電圧の下限値と上限値の閾値を表示します。 (この電圧より低くなるか高くなると異常になります。) 閾値が設定されていない場合は「－」を表示します。電圧は小数点以下 2 桁で表示します。
	Critical (Low/High)	Critical となる電圧の下限値と上限値の閾値を表示します。 (この電圧より低くなるか高くなると異常になります。) 閾値が設定されていない場合は「－」を表示します。電圧は小数点以下 2 桁で表示します。

*1) Memory Scale-up Board の場合、電圧のセンサータイプ名は表示名を"xxx_CPU" → "xxx_MSC"と表示します。
例. STBY_CPU0 → STBY_MSC0

表 2.43 [SB#x] 画面のボタン

ボタン	内容
On	[On] ボタンをクリックすると、Location LED が点灯します。
Off	[Off] ボタンをクリックすると、Location LED が消灯します。
Status Clear	SB の状態をクリアします。

■ [SB#x Status Clear] 画面

[SB#x] 画面で [Status Clear] ボタンをクリックすると、どのコンポーネントのエラー状態をクリアするかを指定できます。

SB 上で異常が検出されているコンポーネントのエラー状態を解除し、次のリブート時に再度、当該コンポーネントを使用するように指示できます。リブート時に再度エラーが検出された場合は、そのコンポーネントのエラー状態が再び記録されます。「Clear Status of common parts」のチェックボックスをチェックした場合、CPU/DIMM 以外 (Chipset 系) がクリアされます。

図 2.25 [SB#x Status Clear] 画面 (メッセージ表示)

System Partition User Administration Network Configuration Maintenance Logout

>System >SB >SB#0

SB#0 Status Clear Help

Click the Apply Button to apply all changes.

☒ Clear All Status
☐ Clear Specified Status
Select the appropriate "Status Clear" box.
☐ Clear Status of common parts

BMM Board Information

Status	Status Clear
OK	☐

CPUs

CPU#	Status	Status Clear
0	OK	☐
1	OK	☐

DIMMs

DIMM#	Status	Status Clear
0A0	OK	☐
0A1	Not-present	☐

Apply Cancel

(1) メニュー操作

[System] - [SB] - [SB#x] - [Status Clear] ボタン

(2) 画面操作

- クリアするコンポーネントを以下のように指定します。
 - すべてのコンポーネントをクリアする場合は、[Clear All Status] をオンにします。
 - コンポーネントのエラー状態を個別にクリアする場合は、[Clear Specified Status] をオンにし、エラー状態をクリアするコンポーネントの [Status Clear] チェックボックスをオンにします。
 - 共通部分をクリアする場合は、[Clear Status of common parts] チェックボックスをオンにします。
- [Apply] ボタンをクリックします。
指定されたコンポーネントがクリア設定されます。

■ CPU／DIMM が 1 つも搭載されていないときの表示

CPU または DIMM が 1 つも搭載されていない場合、当該 SB は縮退しませんが Partition 起動を抑止します。
この時、以下のように CPU または DIMM の構成表示の表上に、それぞれ、以下の文を異常条件に該当する場合、赤字、太文字で表示します。

"*It is necessary to install at least one CPU in SB#x." (CPU の場合)

"*It is necessary to install at least one DIMM set per one DIMM in SB#x." (DIMM の場合)

■ BMM ボードが搭載されていないときの表示

BMM ボードが搭載されていない場合、BMM ボードの構成表示の表上に、以下の文を、赤字、太文字で表示します。

"*It is necessary to install a BMM_BOARD in SB#x."

図 2.26 [SB#x] 画面(CPU/DIMM なし、BMM ボード未搭載の場合)

The screenshot shows the MMB Web-UI interface for the SB#0 configuration page. The top navigation bar includes links for System, Partition, User Administration, Network Configuration, Maintenance, and Logout. The left sidebar lists various system components, with SB#0 selected. The main content area displays the following information:

SB#0 [Refresh] [Help]

Click the Status Clear button to clear the status.

Board Information

Item	Value
Status	OK
Power Status	Standby
Home	No
Part Number	A3C40202223
Version	005AE
Serial Number	QM12345678
Location LED	Off ☐ On ☐ Off ☐

BMM Board Information ***It is necessary to install a BMM_BOARD in SB#0.**

Status	Part Number	Serial Number
Not-present		

CPUs ***It is necessary to install at least one CPU in SB#0.**

CPU#	Status	Core / Max Core	Model	Stepping	Part Number	Serial Number
0	Not-present					
1	Not-present					

DIMMs ***It is necessary to install at least one DIMM set per one DIMM in SB#0.**

DIMM#	Status	Size	Rank	Data Rate	Part Number	Serial Number
0A0	Not-present					

[Status Clear]

2.3.14 [IOU] メニュー

[IOU] メニューには、IOUE ごとに以下のメニューがあります。

[IOU#0] ~ [IOU#3]

搭載されていない IOUE のメニューは表示されません。画面と操作方法は各メニューとも同じなので、ここでは 1 つのメニューについて説明します。

■ [IOU#x] 画面

[IOU#x] 画面では、IOUE#x スロットに搭載されている IOUE の状態を表示します。また、IOUE の設定ができます。

IOUE の表示は PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400S Lite/3400S モデルとそれ以外のモデルで、PCI_Box connection の表示形式が異なります。

下の画面は、PRIMEQUEST 3400E2/3400L2/3800E2/3800L2/3400E/3400L/3800E/3800L モデルの場合の画面です。

図 2.27 [IOU#x] 画面(1)

System Partition User Administration Network Configuration Maintenance Logout

>System >IOU >IOU#0

System Status
System Event Log
Operation Log
Partition Event Log
System Information
Firmware Information
System Setup
System Power Control
LEDs
Power Supply
Fans
Temperature
SB
IOU
IOU#0
IOU#1
IOU#2
IOU#3
DU
PCI_Box
OPL
MMB
PCI_IFU_M
MGMT_IFU

IOU#0 Refresh Help

Click the Status Clear button to clear the status.

Board Information

Status	OK
Power Status	Standby
Part Number	IOUE_EVT
Version	001AA
Serial Number	IOBE#004
Location LED	Off ☐ On ☐ Off ☐

On board LAN

LAN#	MAC Address
0	Unknown
1	Unknown

PCI_Box connection

PCIC#	Status	Connected to	
		PCI_Box#	Connector
2	OK	0	0
3	OK	0	1

DU connection

DU#	Status
DU#0	OK
DU_M#0	OK

PCI-Express Slots

PCIC#	Power Status	Slot Status	Link Width	Seg/Bus/Dev	Vendor ID	Device ID	Subsystem Vendor ID	Subsystem ID
0	On	OK	x8	0/14/0	1000	005D	1734	1212
1	Standby	Not-present						
2	Standby	Not-present						
3	Standby	Not-present						

PCIeSW

PCIeSW	OK
--------	----

Status Clear

図 2.28 [IOU#x] 画面(2)

System Partition User Administration Network Configuration Maintenance Logout
<System>IOU>IOU#0

System Status
System Event Log
Operation Log
Partition Event Log
System Information
Firmware Information
System Setup
System Power Control
LEDs
Power Supply
Fans
Temperature
SB
IOU
IOU#0
IOU#1
IOU#2
IOU#3
DU
PCI_Box
OPL
MMB
PCI_IFU_M
MGMT_IFU

IOU#0

Refresh Help

Click the Status Clear button to clear the status.

M.2 RAID Card

PCIC#	Physical Drives Count	Logical Drives Count	Serial Number	Firmware Version
0	2	1	FW-8ADNAEK1AABWA	24.21.0-0076

M.2 RAID Physical Drives

PCIC#	Slot#	Status	Vendor	Model	Capacity
0	0	Operational	MICRON	MTFDDAV240TCB	240 GB
0	1	Operational	MICRON	MTFDDAV240TCB	240 GB

M.2 RAID Logical Drives

PCIC#	Sensor#	Status	RAID Level	Physical Drives assignment	Missing drives Count
0	0	Operational	1	0,1,	0

M.2 RAID Action Progress

PCIC#	Drive Type	Slot#/Sensor#	Action	Progress	Estimated time remaining (hh:mm:ss)
-	-	-	-	-	-

Voltage

Sensor	Voltage	Threshold	
		Warning(Low/High)	Critical(Low/High)
P2.1VL	2.09 V	1.95/ 2.25 V	1.36/ 2.52 V
P1.2VL	1.19 V	1.11/ 1.29 V	0.77/ 1.45 V
P0.83VL	0.83 V	0.77/ 0.89 V	0.53/ 1.00 V
P3.3V	3.38 V	3.06/ 3.54 V	2.14/ 3.98 V
P0.9V_D	0.89 V	0.83/ 0.97 V	0.58/ 1.09 V
P0.9V_A	0.89 V	0.83/ 0.97 V	0.58/ 1.09 V
P1.8V	1.78 V	1.67/ 1.93 V	1.16/ 2.17 V
P12V	12.21 V	11.15/12.87 V	7.79/14.45 V

Status Clear

表 2.44 [IOU#x] 画面の表示・設定項目

項目	内容
Board Information	
Status	IOUE の状態を表示します。 ・ OK : IOUE 上に障害はありません。 ・ Not-present : IOUE は搭載されていません。 ・ Warning : IOUE は動作継続可能な異常です。 ・ Degraded : IOUE は縮退状態です。 ・ Failed : IOUE は異常です。 ・ Unsupported(*) : MMB がサポートしていない IOUE です。 *) PRIMEQUEST 3400S Lite/3400S/3400E/3400L/3800E/3800L では PA19024 版以降のファームウェアで表示されます。
Power Status	IOUE の電源状態を表示します。 ・ On : オン状態です。 ・ Standby : スタンバイ状態です。
Part Number	IOUE のパーツ番号を表示します。
Version	IOUE のバージョンを表示します。
Serial Number	IOUE のシリアル番号を表示します。
Location LED	Location LED の表示状態を示します。 表示状態には、以下の 2 つがあります。 ・ On : 点灯しています。 ・ Off : 消灯しています。 また、[On]、[Off] ボタンをクリックすることによって Location LED の点灯／消灯を制御できます。
Onboard LAN	
LAN#	LAN の番号を表示します。
MAC Address	IOUE 上に搭載されているオンボード LAN に対する MAC アドレスを表示します。 MAC アドレスが不明な場合は “Unknown” を表示します。
PCI_Box connection	
PCIC#	IOUE 上の PCI ボックス接続用の PCIC 番号を表示します。
Status	PCI ボックスとの接続状態を表示します。 ・ OK : 正しく接続されています。 ・ Not-connected : 接続されていません。 ・ Incorrect connection : 接続が誤っています。
Connected to	PCI_Box# 接続先 PCI ボックスの番号を表示します。 未接続の場合は背景色が灰色で表示されます。 PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400S Lite/3400S 以外の場合に表示します。
	Connector PEXU の接続先 Connector 番号を表示します。 未接続の場合は背景色が灰色で表示されます。 PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400S Lite/3400S 以外の場合に表示します。
Connector	PEXU の接続先 Connector 番号を表示します。 未接続の場合は背景色が灰色で表示されます。

項目	内容
DU connection	
DU#	IOUE に接続される DU/DU_M の番号を表示します。IOUE#2、3 には、DU が接続されていないため、DU_M の番号のみ表示します。
Status	DU/DU_M との接続状態を表示します。 ・ OK：正しく接続されています。 ・ Not-connected：接続されていません。 ・ Incorrect connection：接続が誤っています。
PCI-Express Slots	
PCI#	PCI-Express スロットの番号を表示します。
Power Status	PCI-Express スロットの電源状態を表示します。 ・ On：オン状態です。 ・ Standby：スタンバイ状態です。
Slot Status	PCI-Express スロットの状態を表示します。 ・ OK：PCI-Express スロットに搭載されたカードは正常です。 ・ Not-present：PCI-Express スロットにカードは実装されていません。 ・ Failed：PCI-Express スロットに搭載されたカードは異常です。 ・ Disabled：PCI-Express スロットに搭載されたカードは搭載されていますが無効です。
Link Width	PCI-Express スロット形式の Link Width を表示します。 表示例：x8
Seg/Bus/Dev	PCI 装置の Segment 番号, Bus 番号, Device 番号を 10 進数で表示します。 該当 PCI-Express Slot を拡張パーティションで使用している場合は、括弧内に拡張パーティションに割り当てられた Segment 番号、Bus 番号、Device 番号の情報を追加表示します。 表示例：0/135/0 (0/27/0) PCNC の場合は、複数の拡張パーティションで共有されているため、どこか 1 つの拡張パーティション上の Segment 番号、Bus 番号、Device 番号が表示されます。
Vendor ID	PCI Card のベンダー ID を表示します。(*1)
Device ID	PCI Card のデバイス ID を表示します。(*1)
Subsystem Vendor ID	PCI Card のサブシステムベンダー ID を表示します。(*1)
Subsystem ID	PCI Card のサブシステム ID を表示します。(*1)
PCleSW	
PCleSW	PCleSW の番号を表示します。
Status	PCleSW の状態を表示します。 ・ OK：PCleSW は正常です。 ・ Warning：PCleSW は動作継続可能な異常です。 ・ Failed：PCleSW は異常です。
BBU	
BBU	RAID BBU の状態を表示します。 ・ Online：BBU はオンラインです。 ・ On Battery：RAID コントローラーはバッテリー動作中です。 ・ Charging：BBU は充電中です。 ・ Discharging：BBU は放電中です。 ・ Battery Low：BBU はバッテリー残量が少ないです。 ・ Relearn Required：BBU は診断要求状態です。 ・ Failed：BBU は異常です。 ・ Not-present：BBU は実装されていません。

項目	内容
M.2 RAID Card (*2)(*3)	
PCIC#	M.2 RAID Card の PCI-Express スロット番号を表示します。
Physical Drives Count	M.2 RAID Card に接続されている物理ドライブの数を表示します。
Logical Drives Count	M.2 RAID Card 配下で構成されている論理ドライブの数を表示します。
Serial Number	M.2 RAID Card のシリアル番号を表示します。
Firmware Version	M.2 RAID Card のファームウェアバージョンを表示します。
M.2 RAID Physical Drives (*2)(*3)	
PCIC#	M.2 RAID Card の PCI-Express スロット番号を表示します。
Slot#	物理ドライブが搭載されているスロット番号を表示します。
Status	物理ドライブの状態を表示します。 - Operational : 物理ドライブは動作中です。 - Available : 物理ドライブは利用可能です。 - Failed : 物理ドライブは異常です。 - Hot Spare : 物理ドライブはホットスペアです。 - Rebuilding : 物理ドライブはリビルド中です。 - SMART err : 物理ドライブは故障予測が発生しています。 - Shielded : 物理ドライブは保護状態です。 - Bad Block : 物理ドライブは媒体異常です。 - Foreign : 構成情報が最新でないか、別のアレイコントローラで作成された構成情報です。
Vendor	物理ドライブのベンダー名を表示します。
Model	物理ドライブのモデル名を表示します。
Capacity	物理ドライブの容量を表示します。
M.2 RAID Logical Drives (*2)(*3)	
PCIC#	M.2 RAID Card の PCI-Express スロット番号を表示します。
Sensor#	論理ドライブのセンサー番号を表示します。
Status	論理ドライブの状態を表示します。
RAID Level	論理ドライブの RAID レベルを表示します。
Physical Drives assignment	論理ドライブを構成している物理ドライブのスロット番号を表示します。
Missing drives Count	その論理ドライブを構成する物理ドライブのうち欠落しているものの数を表示します。
M.2 RAID Action Progress (*2)(*3)	
PCIC#	M.2 RAID Card の PCI-Express スロット番号を表示します。
Drive Type	RAID アクションが実行されているドライブタイプを表示します。 - Physical : 物理ドライブです。 - Logical : 論理ドライブです。
Slot#/Sensor#	Drive Type が Physical の場合は RAID アクションが実行されている Slot#を表示します。Drive Type が Logical の場合は RAID アクションが実行されている Sensor#を表示します。
Action	実行中の RAID アクションを表示します。 - Rebuilding 物理ドライブに対して、RAID ドライブのリビルドを実行していることを示します。 - Copyback Running 物理ドライブに対して、コピーバックが実行されていることを示します。 - MDC Running 論理ドライブに対して、MDC(Make Data Consistent)を実行していることを示します。

項目		内容
Progress		実行中の RAID アクションの進捗率をパーセンテージで表示します。
Estimated time remaining (hh:mm:ss)		実行中の RAID アクションが完了するまでに予想される残り時間を表示します。
Voltage		
Sensor		電圧のセンサー名を表示します。
Voltage		現在の電圧を表示します。
Threshold	Warning (Low/High)	Warning となる電圧の下限值と上限値の閾値を表示します。 (この電圧より低くなるか高くなると異常になります。) 閾値が設定されていない場合は「-」を表示します。
	Critical (Low/High)	Critical となる電圧の下限值と上限値の閾値を表示します。 (この電圧より低くなるか高くなると異常になります。) 閾値が設定されていない場合は「-」を表示します。

- *1) 『PRIMEQUEST 3000 シリーズ運用管理マニュアル』(CA92344-1656) の「付録 M PCI Express カードの情報」を参照して、PCI-Express スロットに搭載したカードを特定できます。
- *2) M.2 RAID Card を搭載したパーティションを Power On すると表示されます。
- *3) PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400E2/3400L2/3800E2/3800L2 では PB20021 版以降のファームウェアで表示されます。
PRIMEQUEST 3400S Lite/3400S/3400E/3400L/3800E/3800L では PA20021 版以降のファームウェアで表示されません。

表 2.45 [IOU#x] 画面のボタン

ボタン	内容
On	[On] ボタンをクリックすると、Location LED が点灯します。
Off	[Off] ボタンをクリックすると、Location LED が消灯します。
Status Clear	IOUE のエラー状態をクリアします。

[Status Clear] ボタンをクリックすると、IOUE のエラー状態をクリアし、次のリブート時に再度 IOUE を使用するよう指示できます。リブート時に再度エラーが検出されると、再度 IOUE のエラー状態が記録されます。

(1) メニュー操作

[System] - [IOU] - [IOU#x]

(2) 画面操作

1. [Status Clear] ボタンをクリックします。
確認のためのダイアログボックスが表示されます。
2. IOUE のエラー状態をクリアする場合には[OK] ボタンを、クリアしない場合には[Cancel] ボタンをクリックします。

2.3.15 [DU] メニュー

[DU]メニューでは、PRIMEQUEST 3000 シリーズに搭載されている DU#x、DU_M#x の状態の表示と、ボード状態の制御ができます。[DU#x]画面、[DU_M#x]画面は、DU の種類により、以下のような画面、設定項目を表示します。

■ DU_SAS の場合

図 2.29 [DU#x] DU_SAS 画面

System Partition User Administration Network Configuration Maintenance Logout
>System >DU >DU#0

DU#0 Refresh Help

Click the Status Clear button to clear the status.

Board Information

Type	DU_SAS
Status	Warning
Power Status	On
Part Number	DU_SAS_EVT
Version	001AA
Serial Number	RCB_02#002
Location LED	Off ☐ On ☐ Off ☐

RAID Slot

Power Status	Slot Status	Link Width	Seg/Bus/Dev
On	OK	x8	0/8/0

RAID Card

BBU Status	Physical Drives Count	Logical Drives Count	Serial Number	Firmware Version	Vendor ID	Device ID	Subsystem Vendor ID	Subsystem ID
Not-present	3	2	0000000000000000	24.7.0-0061	1000	005d	1734	1212

Physical Drives

Slot#	Status	Vendor	Model	Capacity	RAID Card#
0	Rebuilding	FUJITSU	MBD2300RC	300 GB	0
1	Operational	FUJITSU	MAY2073RC	73 GB	0
2	Operational	SEAGATE	ST9900805SS	900 GB	0
3	Not-present				

Logical Drives

Sensor#	Status	RAID Level	Physical Drives assignment	Missing drives Count
0	Operational	0	2,	0
1	Degraded	1	1,0,	0

RAID Action Progress

Drive Type	Slot#/Sensor#	Action	Progress	Estimated time remaining (hh:mm:ss)
Physical	0	Rebuilding	32%	00:13:13

Status Clear

■ DU_PCIEA の場合

図 2.30 [DU#x] DU_PCIEA 画面

System Partition User Administration Network Configuration Maintenance
Logout
>System >DU >DU#1

System Status
System Event Log
Operation Log
Partition Event Log
System Information
Firmware Information
System Setup
System Power Control
LEDs
Power Supply
Fans
Temperature
SB
IOU
DU
DU#0
DU#1
DU_M#0
DU_M#1
DU_M#2
DU_M#3
OPL
MMB
PCI_IFU_M
MGMT_IFU

DU#1

Click the Status Clear button to clear the status.

[Refresh](#) [Help](#)

Board Information

Type	DU_PCIEA
Status	OK
Power Status	Standby
Part Number	DU_PCIEA_EVT
Version	002AA
Serial Number	RCB_02#022
Location LED	Off ☐ On ☐ Off ☐

RAID Slot

Power Status	Slot Status	Link Width	Seg/Bus/Dev
On	OK	x8	0/37/0

RAID Card

BBU Status	Physical Drives Count	Logical Drives Count	Serial Number	Firmware Version	Vendor ID	Device ID	Subsystem Vendor ID	Subsystem ID
Not-present	2	2	0000000046079122	24.7.0-0061	1000	005d	1734	1212

Physical Drives

Slot#	Status	Vendor	Model	Capacity	RAID Card#
0	Operational	INTEL	MBF2600RC	600 GB	0
1	Operational	INTEL	MBF2600RC	600 GB	0
2	Not-present				
3	Not-present				

Logical Drives

Sensor#	Status	RAID Level	Physical Drives assignment	Missing drives Count
0	Operational	0	0,	0
1	Operational	0	1,	0

RAID Action Progress

Drive Type	Slot#/Sensor#	Action	Progress	Estimated time remaining (hh:mm:ss)
-	-	-	-	-

[Status Clear](#)

■ DU_M の場合

図 2.31 [DU_M#x] DU_M 画面

System Partition User Administration Network Configuration Maintenance Logout
<
>
System > DU > DU_M#0

System Status
System Event Log
Operation Log
Partition Event Log
System Information
Firmware Information
System Setup
System Power Control
LEDs
Power Supply
Fans
Temperature
SB
IOU
DU
DU#0
DU_M#0
DU_M#1
DU_M#2
DU_M#3
PCI_Box
OPL
MMB
PCI_IFU_M
MGMT_IFU

DU_M#0

Refresh Help

Click the Status Clear button to clear the status.

Board Information

Status	OK
Power Status	Standby
Part Number	A3C40204691
Version	003AC
Serial Number	QM1714F033
Fan Redundancy	Redundant
Location LED	Off ☐ On ☐ Off ☐

RAID Slot

Power Status	Slot Status	Link Width	Seg/Bus/Dev
Standby	OK	Unknown	Unknown

RAID Card

BBU Status	Physical Drives Count	Logical Drives Count	Serial Number	Firmware Version	Vendor ID	Device ID	Subsystem Vendor ID	Subsystem ID
-	-	-	-	-	-	-	-	-

Physical Drives

Slot#	Status	Vendor	Model	Capacity	RAID Card#
0	-	-	-	-	-
1	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-

Logical Drives

Sensor#	Status	RAID Level	Physical Drives assignment	Missing drives Count
-	-	-	-	-

RAID Action Progress

Drive Type	Slot#/Sensor#	Action	Progress	Estimated time remaining (hh:mm:ss)
-	-	-	-	-

Fan

FAN#	Status	Fan speed	Threshold	
			Warning(Low/High)	Critical(Low/High)
DU_M_FAN#0	OK	12435	- / 16949	8113 / -
DU_M_FAN#1	OK	12435	- / 16949	8113 / -

Voltage

Sensor	Voltage	Threshold	
		Warning(Low/High)	Critical(Low/High)
P3.3V#1	3.30 V	3.06/ 3.54 V	2.14/ 3.98 V

Status Clear

設定権限のないユーザーには、[Status Clear] ボタンおよび「Click the Status Clear button to clear the status.」のメッセージは表示されません。

RAID Card、Physical Drives、Logical Drives、Action Progress テーブルの各種情報はパーティションの System Progress が EFI、Boot、OS Running の場合に表示を行います。(*1)

*1) 正しく情報が表示されるまで System Progress が EFI、Boot、OS Running の状態に変化してから最大 1 分かかります。

■ DU_SAS の場合

表 2.46 [DU#x] DU_SAS 画面の表示・設定項目

項目	内容
Board Information	
Type	DU の種類を表示します。 DU_SAS
Status	DU の状態を表示します。 - OK : DU 上に障害はありません。 - Not-present : DU は搭載されていません。 - Warning : DU は動作継続可能な異常です。 - Degraded : DU は縮退状態です。 - Failed : DU は異常です。 - Unsupported : MMB がサポートしていない DU です。
Power Status	DU の電源状態を表示します。 - On : オン状態です。 - Standby : スタンバイ状態です。
Part Number	DU のパーツ番号を表示します。
Version	DU のバージョンを表示します。
Serial Number	DU のシリアル番号を表示します。
Location LED	Location LED の表示状態を示します。 表示状態には、以下の 2 つがあります。 - On : 点灯しています。 - Off : 消灯しています。 [On]、[Off] ボタンをクリックすることによって Location LED の点灯／消灯を制御できます。
RAID Slot	
Power Status	RAID スロットの電源状態を表示します。 - On : オン状態です。 - Standby : スタンバイ状態です。
Slot Status	RAID スロットの状態を表示します。 - OK : RAID スロットに搭載されたカードは正常です。 - Not-present : RAID スロットにカードは実装されていません。 - Failed : RAID スロットに搭載されたカードは異常です。 - Degraded : RAID スロットに搭載されたカードは縮退状態です。
Link Width	DU/RAID スロット形式の Link Width を表示します。 表示例 : x8

項目	内容
Seg/Bus/Dev	DU/RAID 装置の Segment#、Bus#、Device#を 10 進数で表示します。 該当 RAID Slot を拡張パーティションで使用している場合は、括弧内に拡張パーティションに割り当てられた Segment#、Bus#、Device#の情報を追加表示します。 表示例：0/135/0 (0/27/0)
RAID Card	
BBU Status	RAID BBU の状態を表示します。 - Online：BBU はオンラインです。 - On Battery：RAID コントローラーはバッテリー動作中です。 - Charging：BBU は充電中です。 - Discharging：BBU は放電中です。 - Battery Low：BBU はバッテリー残量が少ないです。 - Relearn Required：BBU は診断要求状態です。 - Failed：BBU は異常です。 - Not-present：BBU は実装されていません。
Physical Drives Count	RAID Card に接続されている物理ドライブの数を表示します。
Logical Drives Count	RAID Card 配下で構成されている論理ドライブの数を表示します。
Serial Number	RAID Card のシリアル番号を表示します。
Firmware Version	RAID Card のファームウェアバージョンを表示します。
Vendor ID	RAID Card のベンダーID を表示します。(*1)
DeviceID	RAID Card のデバイス ID を表示します。(*1)
Subsystem Vendor ID	RAID Card のサブシステムベンダーID を表示します。(*1)
Subsystem ID	RAID Card のサブシステム ID を表示します。(*1)
Physical Drives	
Slot#	物理ドライブが搭載されているスロット番号を表示します。
Status	物理ドライブの状態を表示します。 - Operational：物理ドライブは動作中です。 - Available：物理ドライブは利用可能です。 - Failed：物理ドライブは異常です。 - Hot Spare：物理ドライブはホットスペアです。 - Rebuilding：物理ドライブはリビルド中です。 - SMART err：物理ドライブは故障予測が発生しています。 - Shielded：物理ドライブは保護状態です。 - Bad Block：物理ドライブは媒体異常です。 - Foreign：物理ドライブは不正な構成情報があります。 - Not-present：物理ドライブは実装されていません。
Vendor	物理ドライブのベンダー名を表示します。
Model	物理ドライブのモデル名を表示します。
Capacity	物理ドライブの容量を表示します。
RAID Card#	物理ドライブを接続している RAID Card のスロット番号を表示します。
Logical Drives	
Sensor#	論理ドライブのセンサー番号を表示します。
Status	論理ドライブの状態を表示します。
RAID Level	論理ドライブの RAID レベルを表示します。

項目		内容
Physical Drives assignment		論理ドライブを構成している物理ドライブのロット番号を表示します。
Missing drives Count		その論理ドライブを構成する物理ドライブのうち欠落しているものの数を表示します。
RAID Action Progress		
Drive Type		RAID アクションが実行されているドライブタイプを表示します。 ・ Physical：物理ドライブです。 ・ Logical：論理ドライブです。
Slot#/Sensor#		Drive Type が Physical の場合は RAID アクションが実行されている Slot#を表示します。 Drive Type が Logical の場合は RAID アクションが実行されている Sensor#を表示します。
Action		実行中の RAID アクションを表示します。 ・ Rebuilding 物理ドライブに対して、RAID ドライブのリビルドを実行していることを示します。 ・ Copyback Running 物理ドライブに対して、コピーバックが実行されていることを示します。 ・ MDC Running 論理ドライブに対して、MDC(Make Data Consistent)を実行していることを示します。
Progress		実行中の RAID アクションの進捗率をパーセンテージで表示します。
Estimated time remaining (hh:mm:ss)		実行中の RAID アクションが完了するまでに予想される残り時間を表示します。
Voltage		
Sensor		電圧のセンサー名を表示します。
Voltage		現在の電圧を表示します。
Threshold	Warning (Low/High)	Warning となる電圧の下限値と上限値の閾値を表示します。 閾値が設定されていない場合は「-」を表示します。
	Critical (Low/High)	Critical となる電圧の下限値と上限値の閾値を表示します。 閾値が設定されていない場合は「-」を表示します。

*1) 『PRIMEQUEST 3000 シリーズ運用管理マニュアル』(CA92344-1656) の「付録 M PCI Express カードの情報」を参照して、PCI-Express スロットに搭載したカードを特定できます。

表 2.47 [DU#x] DU_SAS 画面のボタン

ボタン	内容
Status Clear	DU のエラー状態をクリアします。

[Status Clear] ボタンをクリックすると、DU のエラー状態をクリアし、次のリポート時に再度 DU を使用するように指示できます。リポート時に再度エラーが検出される場合は、再度 DU のエラー状態が記録されます。

(1) メニュー操作

[System] - [DU] - [DU#x]

(2) 画面操作

- [Status Clear] ボタンをクリックします。
確認のためのダイアログボックスが表示されます。
- DU のエラー状態をクリアする場合には [OK] ボタンを、クリアしない場合には [Cancel] ボタンをクリックします。

■ DU_PCIEA の場合

表 2.48 [DU#x] DU_PCIEA 画面の表示・設定項目

項目	内容
Board Information	
Type	DU の種類を表示します。 ・ DU_PCIEA
Status	DU の状態を表示します。 ・ OK : DU 上に障害はありません。 ・ Not-present : DU は搭載されていません。 ・ Warning : DU は動作継続可能な異常です。 ・ Degraded : DU は縮退状態です。 ・ Failed : DU は異常です。 ・ Unsupported : MMB がサポートしていない DU です。
Power Status	DU の電源状態を表示します。 ・ On : オン状態です。 ・ Standby : スタンバイ状態です。
Part Number	DU のパーツ番号を表示します。
Version	DU のバージョンを表示します。
Serial Number	DU のシリアル番号を表示します。
Location LED	Location LED の表示状態を示します。 表示状態には、以下の 2 つがあります。 ・ On : 点灯しています。 ・ Off : 消灯しています。 [On]、[Off] ボタンをクリックすることによって Location LED の点灯／消灯を制御できます。
RAID Slot	
Power Status	RAID スロットの電源状態を表示します。 ・ On : オン状態です。 ・ Standby : スタンバイ状態です。
Slot Status	RAID スロットの状態を表示します。 ・ OK : RAID スロットに搭載されたカードは正常です。 ・ Not-present : RAID スロットにカードは実装されていません。 ・ Failed : RAID スロットに搭載されたカードは異常です。 ・ Degraded : RAID スロットに搭載されたカードは縮退状態です。
Link Width	DU/RAID スロット形式の Link Width を表示します。 表示例 : x8
Seg/Bus/Dev	DU/RAID 装置の Segment#、Bus#、Device#を 10 進数で表示します。 該当 RAID Slot を拡張パーティションで使用している場合は、括弧内に拡張パーティションに割り当てられた Segment#、Bus#、Device#の情報を追加表示します。 表示例 : 0/135/0 (0/27/0)

項目	内容
RAID Card	
BBU Status	RAID BBU の状態を表示します。 - Online : BBU はオンラインです。 - On Battery : RAID コントローラーはバッテリー動作中です。 - Charging : BBU は充電中です。 - Discharging : BBU は放電中です。 - Battery Low : BBU はバッテリー残量が少ないです。 - Relearn Required : BBU は診断要求状態です。 - Failed : BBU は異常です。 - Not-present : BBU は実装されていません。
Physical Drives Count	RAID Card に接続されている物理ドライブの数を表示します。
Logical Drives Count	RAID Card 配下で構成されている論理ドライブの数を表示します。
Serial Number	RAID Card のシリアル番号を表示します。
Firmware Version	RAID Card のファームウェアバージョンを表示します。
Vendor ID	RAID Card のベンダーID を表示します。(*1)
DeviceID	RAID Card のデバイス ID を表示します。(*1)
Subsystem Vendor ID	RAID Card のサブシステムベンダーID を表示します。(*1)
Subsystem ID	RAID Card のサブシステム ID を表示します。(*1)
Physical Drives	
Slot#	物理ドライブが搭載されているスロット番号を表示します。
Status	物理ドライブの状態を表示します。 - Operational : 物理ドライブは動作中です。 - Available : 物理ドライブは利用可能です。 - Failed : 物理ドライブは異常です。 - Hot Spare : 物理ドライブはホットスペアです。 - Rebuilding : 物理ドライブはリビルド中です。 - SMART err : 物理ドライブは故障予測が発生しています。 - Shielded : 物理ドライブは保護状態です。 - Bad Block : 物理ドライブは媒体異常です。 - Foreign : 物理ドライブは不正な構成情報があります。 - Not-present : 物理ドライブは実装されていません。
Vendor	物理ドライブのベンダー名を表示します。
Model	物理ドライブのモデル名を表示します。
Capacity	物理ドライブの容量を表示します。
RAID Card#	物理ドライブを接続している RAID Card のスロット番号を表示します。
Logical Drives	
Sensor#	論理ドライブのセンサー番号を表示します。
Status	論理ドライブの状態を表示します。
RAID Level	論理ドライブの RAID レベルを表示します。
Physical Drives assignment	論理ドライブを構成している物理ドライブのスロット番号を表示します。
Missing drives Count	その論理ドライブを構成する物理ドライブのうち欠落しているものの数を表示します。

項目		内容
RAID Action Progress		
Drive Type		RAID アクションが実行されているドライブタイプを表示します。 ・ Physical : 物理ドライブです。 ・ Logical : 論理ドライブです。
Slot#/Sensor#		Drive Type が Physical の場合は RAID アクションが実行されている Slot#を表示します。 Drive Type が Logical の場合は RAID アクションが実行されている Sensor#を表示します。
Action		実行中の RAID アクションを表示します。 ・ Rebuilding 物理ドライブに対して、RAID ドライブのリビルドを実行していることを示します。 ・ Copyback Running 物理ドライブに対して、コピーバックが実行されていることを示します。 ・ MDC Running 論理ドライブに対して、MDC(Make Data Consistent)を実行していることを示します。
Progress		実行中の RAID アクションの進捗率をパーセンテージで表示します。
Estimated time remaining (hh:mm:ss)		実行中の RAID アクションが完了するまでに予想される残り時間を表示します。
Voltage		
Sensor		電圧のセンサー名を表示します。
Voltage		現在の電圧を表示します。
Threshold	Warning (Low/High)	Warning となる電圧の下限値と上限値の閾値を表示します。 閾値が設定されていない場合は「-」を表示します。
	Critical (Low/High)	Critical となる電圧の下限値と上限値の閾値を表示します。 閾値が設定されていない場合は「-」を表示します。

*1) 『PRIMEQUEST 3000 シリーズ運用管理マニュアル』(CA92344-1656) の「付録 M PCI Express カードの情報」を参照して、PCI-Express スロットに搭載したカードを特定できます。

表 2.49 [DU#x] DU_PCIEA 画面のボタン

ボタン	内容
Status Clear	DU のエラー状態をクリアします。

[Status Clear] ボタンをクリックすると、DU のエラー状態をクリアし、次のリブート時に再度 DU を使用するように指示できます。リブート時に再度エラーが検出される場合は、再度 DU のエラー状態が記録されます。

(1) メニュー操作

[System] - [DU] - [DU#x]

(2) 画面操作

1. [Status Clear] ボタンをクリックします。

確認のためのダイアログボックスが表示されます。

DU のエラー状態をクリアする場合には[OK] ボタンを、クリアしない場合には[Cancel] ボタンをクリックします。

■ DU_M の場合

表 2.50 [DU_M#x] DU_M 画面の表示・設定項目

項目	内容
Board Information	
Status	DU の状態を表示します。 ・ OK : DU 上に障害はありません。 ・ Not-present : DU は搭載されていません。 ・ Warning : DU は動作継続可能な異常です。 ・ Degraded : DU は縮退状態です。 ・ Failed : DU は異常です。
Power Status	DU の電源状態を表示します。 ・ On : オン状態です。 ・ Standby : スタンバイ状態です。
Part Number	DU のパーツ番号を表示します。
Version	DU のバージョンを表示します。
Serial Number	DU のシリアル番号を表示します。
Fan Redundancy	DU_M_FAN の冗長状態を表示します。 ・ Redundant : ファンが冗長です。 ・ Non-redundant: Sufficient Resource : ファンの冗長性は失われたが、システムの運転を継続するのに十分なファンがあります。 ・ Non-redundant: Insufficient Resource : ファンが冗長でなくなり、システムの運転を継続するために十分なファンがありません。
Location LED	Location LED の表示状態を示します。 表示状態には、以下の 2 つがあります。 ・ On : 点灯しています。 ・ Off : 消灯しています。 [On]、[Off] ボタンをクリックすることによって Location LED の点灯／消灯を制御できます。
RAID Slot	
Power Status	RAID スロットの電源状態を表示します。 ・ On ・ Standby
Slot Status	RAID スロットの状態を表示します。 ・ OK : RAID スロットに搭載されたカードは正常です。 ・ Not-present : RAID スロットにカードは実装されていません。 ・ Failed : RAID スロットに搭載されたカードは異常です。 ・ Degraded : RAID スロットに搭載されたカードは縮退状態です。
Link Width	DU/RAID スロット形式の Link Width を表示します。 表示例 : x8
Seg/Bus/Dev	DU/RAID 装置の Segment#、Bus#、Device#を 10 進数で表示します。 該当 RAID Slot を拡張パーティションで使用している場合は、括弧内に拡張パーティションに割り当てられた Segment#、Bus#、Device#の情報を追加表示します。 表示例 : 0/135/0 (0/27/0)

項目	内容
RAID Card	
BBU Status	RAID BBU の状態を表示します。 - Online : BBU はオンラインです。 - On Battery : RAID コントローラーはバッテリー動作中です。 - Charging : BBU は充電中です。 - Discharging : BBU は放電中です。 - Battery Low : BBU はバッテリー残量が少ないです。 - Relearn Required : BBU は診断要求状態です。 - Failed : BBU は異常です。 - Not-present : BBU は実装されていません。
Physical Drives Count	RAID Card に接続されている物理ドライブの数を表示します。
Logical Drives Count	RAID Card 配下で構成されている論理ドライブの数を表示します。
Serial Number	RAID Card のシリアル番号を表示します。
Firmware Version	RAID Card のファームウェアバージョンを表示します。
Vendor ID	RAID Card のベンダーID を表示します。(*1)
DeviceID	RAID Card のデバイス ID を表示します。(*1)
Subsystem Vendor ID	RAID Card のサブシステムベンダーID を表示します。(*1)
Subsystem ID	RAID Card のサブシステム ID を表示します。(*1)
Physical Drives	
Slot#	物理ドライブが搭載されているスロット番号を表示します。
Status	物理ドライブの状態を表示します。 - Operational : 物理ドライブは動作中です。 - Available : 物理ドライブは利用可能です。 - Failed : 物理ドライブは異常です。 - Hot Spare : 物理ドライブはホットスペアです。 - Rebuilding : 物理ドライブはリビルド中です。 - SMART err : 物理ドライブは故障予測が発生しています。 - Shielded : 物理ドライブは保護状態です。 - Bad Block : 物理ドライブは媒体異常です。 - Foreign : 物理ドライブは不正な構成情報があります。 - Not-present : 物理ドライブは実装されていません。
Vendor	物理ドライブのベンダー名を表示します。
Model	物理ドライブのモデル名を表示します。
Capacity	物理ドライブの容量を表示します。
RAID Card#	物理ドライブを接続している RAID Card のスロット番号を表示します。
Logical Drives	
Sensor#	論理ドライブのセンサー番号を表示します。
Status	論理ドライブの状態を表示します。
RAID Level	論理ドライブの RAID レベルを表示します。
Physical Drives assignment	論理ドライブを構成している物理ドライブのスロット番号を表示します。
Missing drives Count	その論理ドライブを構成する物理ドライブのうち欠落しているものの数を表示します。

項目		内容
RAID Action Progress		
Drive Type		RAID アクションが実行されているドライブタイプを表示します ・ Physical：物理ドライブです。 ・ Logical：論理ドライブです。
Slot#/Sensor#		Drive Type が Physical の場合は RAID アクションが実行されている Slot#を表示します。 Drive Type が Logical の場合は RAID アクションが実行されている Sensor#を表示します。
Action		実行中の RAID アクションを表示します。 ・ Rebuilding 物理ドライブに対して、RAID ドライブのリビルドを実行していることを示します。 ・ Copyback Running 物理ドライブに対して、コピーバックが実行されていることを示します。 ・ MDC Running 論理ドライブに対して、MDC(Make Data Consistent)を実行していることを示します。
Progress		実行中の RAID アクションの進捗率をパーセンテージで表示します。
Estimated time remaining (hh:mm:ss)		実行中の RAID アクションが完了するまでに予想される残り時間を表示します。
Fan		
FAN#		ファン番号を表示します。
Status		各ファンの状態を表示します。 ・ OK：ファンは正常です。 ・ Not-present：ファンは実装されていません。 ・ Failed：ファンは異常です。
Fan Speed(rpm)		各ファンの回転数(rpm) を表示します。
Threshold	Warning (Low/ High)	各ファンの回転数の下限値と上限値を表示します。 (この回転数より低くなるか高くなると異常になります。) Warning となるファン回転数の下限値と上限値の閾値を表示します。
	Critical (Low/High)	各ファンの回転数の下限値と上限値を表示します。 (この回転数より低くなるか高くなると異常になります。) Critical となるファン回転数の下限値と上限値の閾値を表示します。
Voltage		
Sensor		電圧のセンサー名を表示します。
Voltage		現在の電圧を表示します。
Threshold	Warning (Low/High)	Warning となる電圧の下限値と上限値の閾値を表示します。 閾値が設定されていない場合は「-」を表示します。
	Critical (Low/High)	Critical となる電圧の下限値と上限値の閾値を表示します。 閾値が設定されていない場合は「-」を表示します。

*1) 『PRIMEQUEST 3000 シリーズ運用管理マニュアル』(CA92344-1656) の「付録 M PCI Express カードの情報」を参照して、PCI-Express スロットに搭載したカードを特定できます。

表 2.51 [DU_M#x] DU_M画面のボタン

ボタン	内容
Status Clear	DU_M のエラー状態をクリアします。

[Status Clear] ボタンをクリックすると、DU_M のエラー状態をクリアし、次のリポート時に再度 DU_M を使用するよう
に指示できます。リポート時に再度エラーが検出される場合は、再度 DU_M のエラー状態が記録されます。

(1) メニュー操作

[System] - [DU] - [DU_M#x]

(2) 画面操作

- [Status Clear] ボタンをクリックします。
確認のためのダイアログボックスが表示されます。
- DU_M のエラー状態をクリアする場合には[OK] ボタンを、クリアしない場合には[Cancel] ボタンをクリッ
クします。

2.3.16 [PCI_Box] メニュー

[PCI_Box#x] 画面には、PRIMEQUEST 3000 シリーズに接続している PCI ボックスの状態が表示されます。
PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400S Lite/3400S では PCI ボックス搭載数が 1 のため、「PCI_Box#0」のような番号表示はされず、「PCI_Box」と表示されます。

図 2.32 [PCI_Box] 画面(1)

System Partition User Administration Network Configuration Maintenance Logout

>System >PCI_Box >PCI_Box#0

System Status
System Event Log
Operation Log
Partition Event Log
System Information
Firmware Information
System Setup
System Power Control
LEDs
Power Supply
Fans
Temperature
SB
IOU
DU
PCI_Box
PCI_Box#0
OPL
MMB
PCI_IFU_M
MGMT_IFU

PCI_Box#0

Click the Status Clear button to clear the status.

PCI_Box Information

Status	OK		
Power Status	On		
Power Supply Redundancy	Redundant		
Fan Speed Mode	Low		
IO_PSU Fan Speed Mode	Low		
Fan Redundancy	Redundant		
Part Number	CA07608-AXXX		
Version	A3		
PEXU	Part Number	CA07608-D002	
	Version	A3	
	Serial Number	PP140202G6	
Location LED	Off	On	Off

Power Supply

IO_PSU#	Status	Power Status	Part Number	Serial Number
0	OK	On	PQ:CA01022-0720	EA13311861
1	OK	On	PQ:CA01022-0720	EA13311888

Fan

FAN#	Status	Fan speed	Threshold	
			Warning(Low/High)	Critical(Low/High)
IO_FAN#0	OK	2242 rpm	- / 3099	1516 / -
IO_FAN#1	OK	2227 rpm	- / 3099	1516 / -
IO_PSU#0_FAN	OK	5666 rpm	- / 7605	3077 / -
IO_PSU#1_FAN	OK	5594 rpm	- / 7605	3077 / -

Temperature

Sensor	Status	Temperature	Threshold	
			Warning(Low/High)	Critical(Low/High)
Inlet Temp.	OK	22°C	2/38°C	-/-°C

Power Consumption

Power Consumption(W)	80
----------------------	----

Airflow Volume

Airflow Volume(m3/h)	160
----------------------	-----

Cable Connection

LNKC#	Status	Connected to	
		IOU#	PCIC#
0	OK	0	2
1	OK	0	3

Status Clear

図 2.33 [PCI_Box] 画面(2)

System Partition User Administration Network Configuration Maintenance Logout

>System >PCI_Box >PCI_Box#0

System Status
System Event Log
Operation Log
Partition Event Log
System Information
Firmware Information
System Setup
System Power Control
LEDs
Power Supply
Fans
Temperature
SB
IOU
DU
PCI_Box
PCI_Box#0
OPL
MMB
PCI_IFU_M
MGMT_IFU

PCI_Box#0

Click the Status Clear button to clear the status.

PCI-Express Slots

PCIC#	Power Status	Slot Status	Link Width	Seg/Bus/Dev	Vendor ID	Device ID	Subsystem Vendor ID	Subsystem ID
0	Standby	Not-present						
1	On	OK	x4	0/105/0	8086	150E	1734	11A8
2	Standby	Not-present						
3	On	OK	x2	0/111/0	1000	005F	1734	1255
4	Standby	Not-present						
5	On	OK	x8	0/117/0	1000	005B	1000	9291
6	Standby	Not-present						
7	Standby	Not-present						
8	Standby	Not-present						
9	Standby	Not-present						
10	Standby	Not-present						
11	Standby	Not-present						

Chipset

#	Chip	Status
0	PCIeSW	OK
1	PCIeSW	OK

M.2 RAID Card

PCIC#	Physical Drives Count	Logical Drives Count	Serial Number	Firmware Version
3	2	1	FW-MAD7AEK1AABWA	24.21.0-0076

M.2 RAID Physical Drives

PCIC#	Slot#	Status	Vendor	Model	Capacity
3	0	Operational	MICRON	MTFDDAV240TCB	240 GB
3	1	Operational	MICRON	MTFDDAV240TCB	240 GB

M.2 RAID Logical Drives

PCIC#	Sensor#	Status	RAID Level	Physical Drives assignment	Missing drives Count
3	0	Operational	1	0,1,	0

M.2 RAID Action Progress

PCIC#	Drive Type	Slot#/Sensor#	Action	Progress	Estimated time remaining (hh:mm:ss)
-	-	-	-	-	-

Voltage

Sensor	Voltage	Threshold	
		Warning(Low/High)	Critical(Low/High)
P3.3V#0	3.30 V	3.06/ 3.54 V	2.14/ 3.98 V
P1.8V_PCIEX#0	1.80 V	1.67/ 1.93 V	1.16/ 2.17 V
P0.9V_PCIEX#0	0.90 V	0.83/ 0.97 V	0.58/ 1.09 V
P0.9VA_PCIEX#0	0.90 V	0.83/ 0.97 V	0.58/ 1.09 V
P3.3V#1	3.30 V	3.06/ 3.54 V	2.14/ 3.98 V
P1.8V_PCIEX#1	1.80 V	1.67/ 1.93 V	1.16/ 2.17 V
P0.9V_PCIEX#1	0.90 V	0.83/ 0.97 V	0.58/ 1.09 V
P0.9VA_PCIEX#1	0.90 V	0.83/ 0.97 V	0.58/ 1.09 V
P12V	12.34 V	11.15/12.87 V	7.79/14.45 V

Status Clear

129

CA92344-1657-18

表 2.52 [PCI_Box#x] 画面の表示項目

項目		内容
PCI_Box Information		
Status		PCI ボックスの状態を表示します。 - OK : PCI ボックス上に障害はありません。 - Not-present : PCI ボックスは搭載されていません。 - Warning : PCI ボックスは動作継続可能な異常です。 - Degraded : PCI ボックスは縮退状態です。 - Failed : PCI ボックスは異常です。
Power Status		PCI ボックスの電源状態を表示します。 - On : オン状態です。 - Standby : スタンバイ状態です。
Power Supply Redundancy		IO_PSU の冗長状態を表示します。 - Redundant : IO_PSU は冗長です。 - Non-redundant: Sufficient Resources : IO_PSU は冗長ではありません。
Fan Speed Mode		ファンの回転数の状態を表示します。 - Low : ファン回転数が低速モードです。 - Normal : ファン回転数が通常モードです。 - High : ファン回転数が高速モードです。 - Full : ファン回転数が最高速モードです。
IO_PSU Fan Speed Mode		IO_PSU Fan Speed Mode を表示します。 - Low : IO_PSU ファン回転数が低速モードです。 - Normal : IO_PSU ファン回転数が通常モードです。 - High : IO_PSU ファン回転数が高速モードです。 - Full : IO_PSU ファン回転数が最高速モードです。
Fan Redundancy		ファンの冗長状態を表示します。 - Redundant : ファンは冗長です。 - Non-Redundant: Sufficient Resources : ファンは冗長ではありません。
Part Number		PCI ボックスのパーツ番号を表示します。
Version		PCI ボックスのバージョンを表示します。
PEXU	Part Number	PEXU のパーツ番号を表示します。
	Version	PEXU のバージョンを表示します。
	Serial Number	PEXU のシリアル番号を表示します。
Location LED		Location LED の表示状態を示します。 表示状態には、以下の 2 つがあります。 - On : 点灯しています。 - Off : 消灯しています。 [On]、[Off] ボタンをクリックすることで、Location LED の点灯／消灯を制御できます。
Power Supply		
IO_PSU#		IO_PSU 番号を表示します。

項目		内容
Status		IO_PSU の表示状態を示します。 - OK : IO_PSU は正常です。 - Not-present : IO_PSU は搭載されていません。 - Failed : IO_PSU は異常です。 - A/C Lost : IO_PSU は AC 接続されていません。 - Configuration error : 搭載 IO_PSU の組み合わせ、搭載位置が誤っています。
Power Status		IO_PSU の電源状態を表示します。 - On : オン状態です。 - Standby : スタンバイ状態です。
Part Number		IO_PSU のパーツ番号を表示します。
Serial Number		IO_PSU のシリアル番号を表示します。
Fan		
Fan#		ファン番号を表示します。
Status		ファンの状態を表示します。 - OK : ファンは正常です。 - Not-present : ファンは実装されていません。 - Failed : ファンは異常です。
Fan speed		ファンの回転数を表示します。
Threshold		ファンの閾値を表示します。
Temperature		
Sensor		温度センサーの識別名を表示します。
Status		温度センサーの状態を表示します。 - OK : 正常です。 - Not-present : 搭載されていません。 - Warning : 動作継続可能な異常です。 - Critical : 異常です。
Temperature		現在の温度を表示します。
Threshold		各温度センサーが保持する閾値を表示します。 - Warning: Low/High - Critical: Low/High
Power Consumption		
Power Consumption		消費電力を表示します。
Airflow Volume		
Airflow Volume		風量を表示します。
Cable Connection		
LNKC#		Link Card 番号を表示します。
Status		ケーブルの接続状態を表示します。 - OK : 正しく接続されています。 - Not-connected : 接続されていません。 - Incorrect connection : 接続が誤っています。
Connect to	IOU#	接続先 IOUE の番号を表示します。 接続していない場合はグレースアウトで表示します。
	PCIC#	接続先 IOUE の PCI-Express スロット番号を表示します。 接続していない場合はグレースアウトで表示します。

項目	内容
PCI -Express Slots	
PCIC#	PCI-Express スロット番号を表示します。
Power Status	PCI-Express スロットの電源状態を表示します。 ・ On : オン状態です。 ・ Standby : スタンバイ状態です。
Slot Status	PCI-Express スロットの状態を表示します。 ・ OK : PCI-Express スロットに搭載されたカードは正常です。 ・ Not-present : PCI-Express スロットにカードは実装されていません。 ・ Failed : PCI-Express スロットに搭載されたカードは異常です。 ・ Disabled : PCI-Express スロットに搭載されたカードは搭載されていますが無効です。
Link Width	PCI-Express スロット形式の Link Width を表示します。 表示例 : x8
Seg/Bus/Dev	PCI-Express スロットの Segment#、Bus#、Device# を 10 進数で表示します。 該当 PCI-Express Slot を拡張パーティションで使用している場合は、括弧内に拡張パーティションに割り当てられた Segment#、Bus#、Device# の情報を追加表示します。 表示例 : 0/135/0 (0/27/0)
Vendor ID	PCI Card のベンダー ID を表示します。(*1)
Device ID	PCI Card のデバイス ID を表示します。(*1)
Subsystem Vendor ID	PCI Card のサブシステムベンダー ID を表示します。(*1)
Subsystem ID	PCI Card のサブシステム ID を表示します。(*1)
Chipset	
#	チップセット番号を表示します。
Chip	チップセット名を表示します。 ・ PCIeSW
Status	チップセットの状態を表示します。 ・ OK : チップセットは正常です。 ・ Warning : チップセットは動作継続可能な異常です。 ・ Failed : チップセットは異常です。
M.2 RAID Card (*2)(*3)	
PCIC#	M.2 RAID Card の PCI-Express スロット番号を表示します。
Physical Drives Count	M.2 RAID Card に接続されている物理ドライブの数を表示します。
Logical Drives Count	M.2 RAID Card 配下で構成されている論理ドライブの数を表示します。
Serial Number	M.2 RAID Card のシリアル番号を表示します。
Firmware Version	M.2 RAID Card のファームウェアバージョンを表示します。
M.2 RAID Physical Drives (*2)(*3)	
PCIC#	M.2 RAID Card の PCI-Express スロット番号を表示します。
Slot#	物理ドライブが搭載されているスロット番号を表示します。

項目	内容
Status	物理ドライブの状態を表示します。 - Operational : 物理ドライブは動作中です。 - Available : 物理ドライブは利用可能です。 - Failed : 物理ドライブは異常です。 - Hot Spare : 物理ドライブはホットスペアです。 - Rebuilding : 物理ドライブはリビルド中です。 - SMART err : 物理ドライブは故障予測が発生しています。 - Shielded : 物理ドライブは保護状態です。 - Bad Block : 物理ドライブは媒体異常です。 - Foreign : 物理ドライブは不正な構成情報があります。
Vendor	物理ドライブのベンダー名を表示します。
Model	物理ドライブのモデル名を表示します。
Capacity	物理ドライブの容量を表示します。
M.2 RAID Logical Drives (*2) (*3)	
PCIC#	M.2 RAID Card の PCI-Express スロット番号を表示します。
Sensor#	論理ドライブのセンサー番号を表示します。
Status	論理ドライブの状態を表示します。
RAID Level	論理ドライブの RAID レベルを表示します。
Physical Drives assignment	論理ドライブを構成している物理ドライブのスロット番号を表示します。
Missing drives Count	その論理ドライブを構成する物理ドライブのうち欠落しているものの数を表示します。
M.2 RAID Action Progress (*2) (*3)	
PCIC#	M.2 RAID Card の PCI-Express スロット番号を表示します。
Drive Type	RAID アクションが実行されているドライブタイプを表示します。 - Physical : 物理ドライブです。 - Logical : 論理ドライブです。
Slot#/Sensor#	Drive Type が Physical の場合は RAID アクションが実行されている Slot#を表示します。 Drive Type が Logical の場合は RAID アクションが実行されている Sensor#を表示します。
Action	実行中の RAID アクションを表示します。 - Rebuilding 物理ドライブに対して、RAID ドライブのリビルドを実行していることを示します。 - Copyback Running 物理ドライブに対して、コピーバックが実行されていることを示します。 - MDC Running 論理ドライブに対して、MDC(Make Data Consistent)を実行していることを示します。
Progress	実行中の RAID アクションの進捗率をパーセンテージで表示します。
Estimated time remaining (hh:mm:ss)	実行中の RAID アクションが完了するまでに予想される残り時間を表示します。

項目		内容
Voltage		
Sensor		電圧のセンサー名を表示します。
Voltage		現在の電圧を表示します。
Threshold	Warning (Low/High)	Warning となる電圧の下限值と上限値の閾値を表示します。 (この電圧より低くなるか高くなると異常になります。) 閾値が設定されていない場合は「-」を表示します。
	Critical (Low/High)	Critical となる電圧の下限值と上限値の閾値を表示します。 (この電圧より低くなるか高くなると異常になります。) 閾値が設定されていない場合は「-」を表示します。

- *1) 『PRIMEQUEST 3000 シリーズ運用管理マニュアル』(CA92344-1656) の「付録 M PCI Express カードの情報」を参照して、PCI-Express スロットに搭載したカードを特定できます。
- *2) M.2 RAID Card を搭載したパーティションを Power On すると表示されます。
- *3) PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400E2/3400L2/3800E2/3800L2 では PB20021 版以降のファームウェアで表示されます。
PRIMEQUEST 3400S Lite/3400S/3400E/3400L/3800E/3800L では PA20021 版以降のファームウェアで表示されます。

表 2.53 [PCI_Box#x] 画面のボタン

ボタン	内容
On	[On] ボタンをクリックすると、Location LED が点灯します。
Off	[Off] ボタンをクリックすると、Location LED が消灯します。
Status Clear	PCI ボックスのエラー状態をクリアします。

(1) メニュー操作

[System] - [PCI_Box] - [PCI_Box#x]

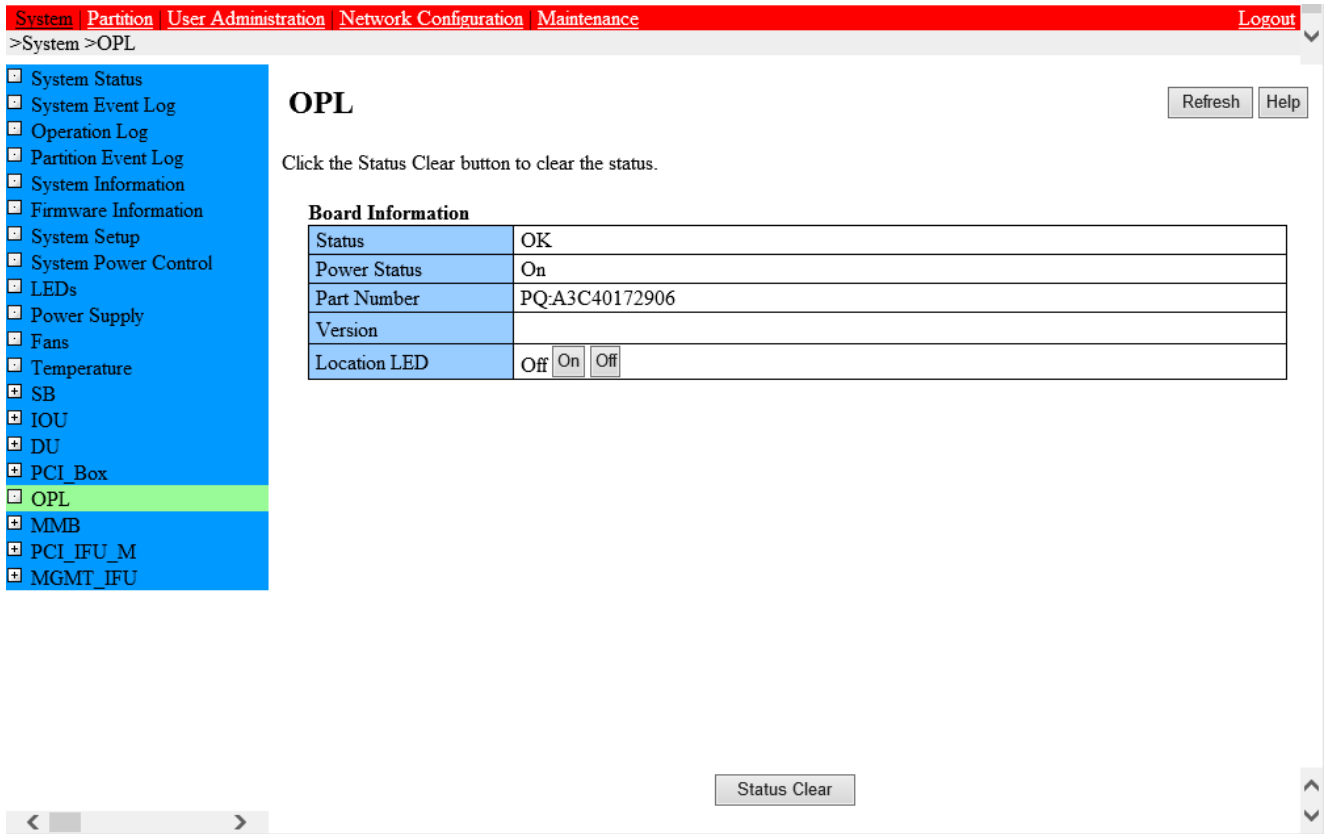
(2) 画面操作

1. [Status Clear] ボタンをクリックします。
PCI ボックスのエラー状態がクリアされます。

2.3.17 [OPL] 画面

[OPL] 画面では、OPL ボードの状態が表示されます。

図 2.34 [OPL] 画面



設定権限のないユーザーには、[Status Clear] ボタンおよび「Click the Status Clear button to clear the status.」のメッセージは表示されません。

表 2.54 [OPL] 画面の表示項目

項目	内容
Status	OPL の状態を表示します。 - OK：OPL 上に障害はありません。 - Not-present：OPL は搭載されていません。 - Degraded：OPL は縮退状態です。 - Failed：OPL は異常です。
Power Status	OPL の電源状態を表示します。 - On：オン状態です。 - Standby：スタンバイ状態です。
Part Number	OPL のパーツ番号を表示します。
Version	OPL のバージョンを表示します。(OPL は、バージョンがないので表示されません。)
Location LED	Location LED の表示状態を示します。 表示状態には、以下の 2 つがあります。 - On：点灯しています。 - Off：消灯しています。 [On]、[Off] ボタンをクリックすることによって Location LED の点灯／消灯を制御できます。

表 2.55 [OPL] 画面のボタン

ボタン	内容
Status Clear	OPL のエラー状態をクリアします。

- (1) メニュー操作
 - [System] - [OPL]
- (2) 画面操作
 - 1. [Status Clear] ボタンをクリックします。
確認のためのダイアログボックスが表示されます。
 - 2. OPL のエラー状態をクリアする場合には[OK] ボタンを、クリアしない場合には[Cancel] ボタンをクリックします。

2.3.18 [MMB] メニュー

[MMB] メニューには、MMB のユニットごとにメニューがあります。

[MMB#0] ~ [MMB#1]

画面と操作方法は各メニューとも同じなので、ここでは 1 つのメニューについて説明します。

■ [MMB#x] 画面

[MMB#x] 画面では、MMB に関する情報の表示、および Location LED の設定ができます。

図 2.35 [MMB#x] 画面

The screenshot shows the 'Maintenance' tab in the Web-UI. The breadcrumb is '>System >MMB >MMB#0'. The left sidebar lists various system components, with 'MMB#0' selected. The main content area is titled 'MMB#0' and includes a 'Help' button. Below the title is a message: 'Click the Apply Button to apply all changes.' The configuration is divided into two main sections: a top table for general MMB information and a bottom table for voltage monitoring.

Status	OK
Role	Standby
Part Number	CA07603-D053
Version	A7
Serial Number	PP16430276
MAC Address	User port: 2C:D4:44:F0:A7:0E
	Maintenance port: 2C:D4:44:F0:52:1B
Firmware Version	1.01
Location LED	Blink ☐ On ☐ Off
Reset MMB	☐ Reset the MMB All existing network connections will be lost. You will need to login again.
Switch Over to MMB	☐ Switch Over to another MMB All existing network connections will be lost. You will need to login again.
Enable/Disable	☒ Enable ☐ Disable

Sensor	Voltage	Threshold	
		Warning(Low/High)	Critical(Low/High)
P3.3VL	3.28 V	3.16/ 3.64 V	2.20/ 4.10 V
P1.5VL	1.49 V	1.39/ 1.61 V	0.97/ 1.81 V
P1.5VL_CPLD	1.48 V	1.39/ 1.61 V	0.98/ 1.81 V
P1.2VL	1.19 V	1.11/ 1.29 V	0.77/ 1.45 V
P1.0VL	0.99 V	0.92/ 1.08 V	0.64/ 1.21 V
P0.75VL	0.74 V	0.69/ 0.81 V	0.48/ 0.91 V

At the bottom right, there are 'Apply' and 'Cancel' buttons.

表 2.56 [MMB#x] 画面の表示・設定項目

項目		内容
Status		MMB の状態を表示します。 - OK : MMB 上に障害はありません。 - Not-present : MMB は搭載されていません。 - Warning : MMB は動作継続可能な異常です。 - Degraded : MMB は縮退状態です。 - Failed : MMB は異常です。
Role		MMB の動作状態を表示します。 - Active : MMB は運用状態です。 - Standby : MMB は待機状態です。 - Disabled : MMB は無効です。
Part Number		MMB のパーツ番号を表示します。
Version		MMB のバージョンを表示します。
Serial Number		MMB のシリアル番号を表示します。
MAC address	User port	MMB 管理ポートの MAC アドレスを表示します。 00:00:00:00:00:00 備考 USER Port#0 の MAC アドレスのみ表示します。
	Maintenance port	MMB ポートの MAC アドレスを表示します。 00:00:00:00:00:00 備考 REMOTE と LOCAL の MAC アドレスは共通です。
Firmware Version		MMB ファームウェアのバージョンを表示します。
Location LED		Location LED の表示状態を示します。 表示状態には、以下の 2 つがある。 - On : 点灯中 - Off : 消灯中 また、[On]、[Off] ボタンをクリックすることによって Location LED の点灯／消灯を制御できます。
Reset MMB		MMB をリセットする場合、本チェックボックスをオンにします。 本チェックボックスをオンにした場合、以下の[Switch Over to MMB] は設定できなくなります。(*) 注意 2 回以上連続して MMB をリセットする場合はリセット間隔を 15 分程度開けてください。

項目		内容
Switch Over to MMB		MMB の Active/Standby を切り替えるときに、本チェックボックスをオンにします。 本チェックボックスをオンにした場合、上記の[Reset MMB] は設定できなくなります。(*) 注意 2 回以上連続して MMB をリセットする場合はリセット間隔を 15 分程度開けてください。 備考 MMB が 2 枚搭載されていない場合、本チェックボックスは表示されません。
Enable/Disable		MMB の Enable/Disable を制御します。 本項目は Standby MMB でのみ設定可能です。 注意 本項目は試験機能である為、運用中の設定は実施しないでください。
Voltage		
Sensor		電圧のセンサー名を表示します。
Voltage		現在の電圧を表示します。
Threshold	Warning (Low/High)	Warning となる電圧の下限值と上限値の閾値を表示します。 (この電圧より低くなるか高くなると異常になります。) 閾値が設定されていない場合は「-」を表示します。
	Critical (Low/High)	Critical となる電圧の下限值と上限値の閾値を表示します。 (この電圧より低くなるか高くなると異常になります。) 閾値が設定されていない場合は「-」を表示します。

*) 本チェックボックスはトラブル発生時に使用する機能です。
本機能を 2 回以上連続して実行する場合は、機能の実行間隔を 15 分程度開けてください。

表 2.57 [MMB#x] 画面のボタン

ボタン	内容
On	[On] ボタンをクリックすると、Location LED が点灯します。
Off	[Off] ボタンをクリックすると、Location LED が消灯します。
Apply	[Apply] ボタンをクリックすると、制御情報が設定されます。
Cancel	[Cancel] ボタンをクリックすると、情報は設定されず元の状態に戻ります。

(1) メニュー操作

[System] - [MMB] - [MMB#x]

(2) 画面操作

1. MMB の状態を変える情報を指定し、[Apply] ボタンをクリックします。
MMB の状態を変更する情報が設定されます。

2.3.19 [PCI_IFU_M] メニュー

[PCI_IFU_M] メニューには、PRIMEQUEST 3000 シリーズに搭載されている PCI_IFU_M の状態の表示と、ボード状態の制御ができます。

■ [PCI_IFU_M#x] 画面

[PCI_IFU_M #x] 画面では、PCI_IFU_M #x ボードの状態の表示および設定ができます。

図 2.36 [PCI_IFU_M#x] 画面

System Partition User Administration Network Configuration Maintenance Logout

>System >PCI_IFU_M >PCI_IFU_M#0

PCI_IFU_M#0 Refresh Help

Click the Status Clear button to clear the status.

Board Information

Status	OK
Power Status	On
Part Number	A3C40204698
Version	002AB
Serial Number	QM1714K020
Location LED	Off ☐ On ☐ Off ☐

Cable Connection

Status	Connected to
	IOU#
OK	0

Voltage

Sensor	Voltage	Threshold	
		Warning(Low/High)	Critical(Low/High)
P3.3V#1	3.30 V	3.06/ 3.54 V	2.14/ 3.98 V

Status Clear

表 2.58 [PCI_IFU_M#x] 画面の表示・設定項目

項目	内容
Board Information	
Status	PCI_IFU_M の状態を表示します。 - OK : PCI_IFU_M 上に障害はありません。 - Not-present : PCI_IFU_M は搭載されていません。 - Warning : PCI_IFU_M は動作継続可能な異常です。 - Degraded : PCI_IFU_M は縮退状態です。 - Failed : PCI_IFU_M は異常です。
Power Status	PCI_IFU_M の電源状態を表示します。 - On : オン状態です。 - Standby : スタンバイ状態です。
Part Number	PCI_IFU_M のパーツ番号を表示します。
Version	PCI_IFU_M のバージョンを表示します。
Serial Number	PCI_IFU_M のシリアル番号を表示します。

項目		内容
Location LED		Location LED の表示状態を示します。 表示状態には、以下の 2 つがあります。 ・ On：点灯しています。 ・ Off：消灯しています。 また、[On]、[Off] ボタンをクリックすることによって Location LED の点灯／消灯を制御できます。
Cable Connection		
Status		IOUE との接続状態を表示します。 ・ OK：正しく接続されています。 ・ Not-connected：接続されていません。 ・ Incorrect connection：接続が誤っています。
Connected to	IOU#	接続先 IOUE の番号を表示します。 未接続の場合は背景色が灰色で表示されます。
Voltage		
Sensor		電圧のセンサー名を表示します。
Voltage		現在の電圧を表示します。
Threshold	Warning (Low/High)	Warning となる電圧の下限值と上限値の閾値を表示します。 (この電圧より低くなるか高くなると異常になります。) 閾値が設定されていない場合は「-」を表示します。
	Critical (Low/High)	Critical となる電圧の下限值と上限値の閾値を表示します。 (この電圧より低くなるか高くなると異常になります。) 閾値が設定されていない場合は「-」を表示します。

表 2.59 [PCI_IFU_M#x] 画面のボタン

ボタン	内容
On	[On] ボタンをクリックすると、Location LED が点灯します。
Off	[Off] ボタンをクリックすると、Location LED が消灯します。
Status Clear	PCI_IFU_M#x のエラー状態をクリアします。

[Status Clear] ボタンをクリックすると、PCI_IFU_M のエラー状態をクリアし、次のリブート時に再度 PCI_IFU_M を使用するように指示できます。リブート時に再度エラーが検出されると、再度 PCI_IFU_M のエラー状態が記録されます。

(1) メニュー操作

[System] - [PCI_IFU_M] - [PCI_IFU_M#x]

(2) 画面操作

- [Status Clear] ボタンをクリックします。
確認のためのダイアログボックスが表示されます。
- PCI_IFU_M のエラー状態をクリアする場合には [OK] ボタンを、クリアしない場合には [Cancel] ボタンをクリックします。

2.3.20 [MGMT_IFU] メニュー

[MGMT_IFU] メニューには、PRIMEQUEST 3000 シリーズに搭載されている MGMT_IFU_E と MGMT_IFU_M の状態の表示と、ボード状態の制御ができます。[MGMT_IFU_E#x]画面、[MGMT_IFU_M#x]画面は、MGMT_IFU の種類により、以下のような画面、設定項目を表示します。

■ [MGMT_IFU_E#x] 画面

[MGMT_IFU_E#x] 画面では、MGMT_IFU_E#x ボードの状態の表示および設定ができます。

図 2.37 [MGMT_IFU_E#x] 画面

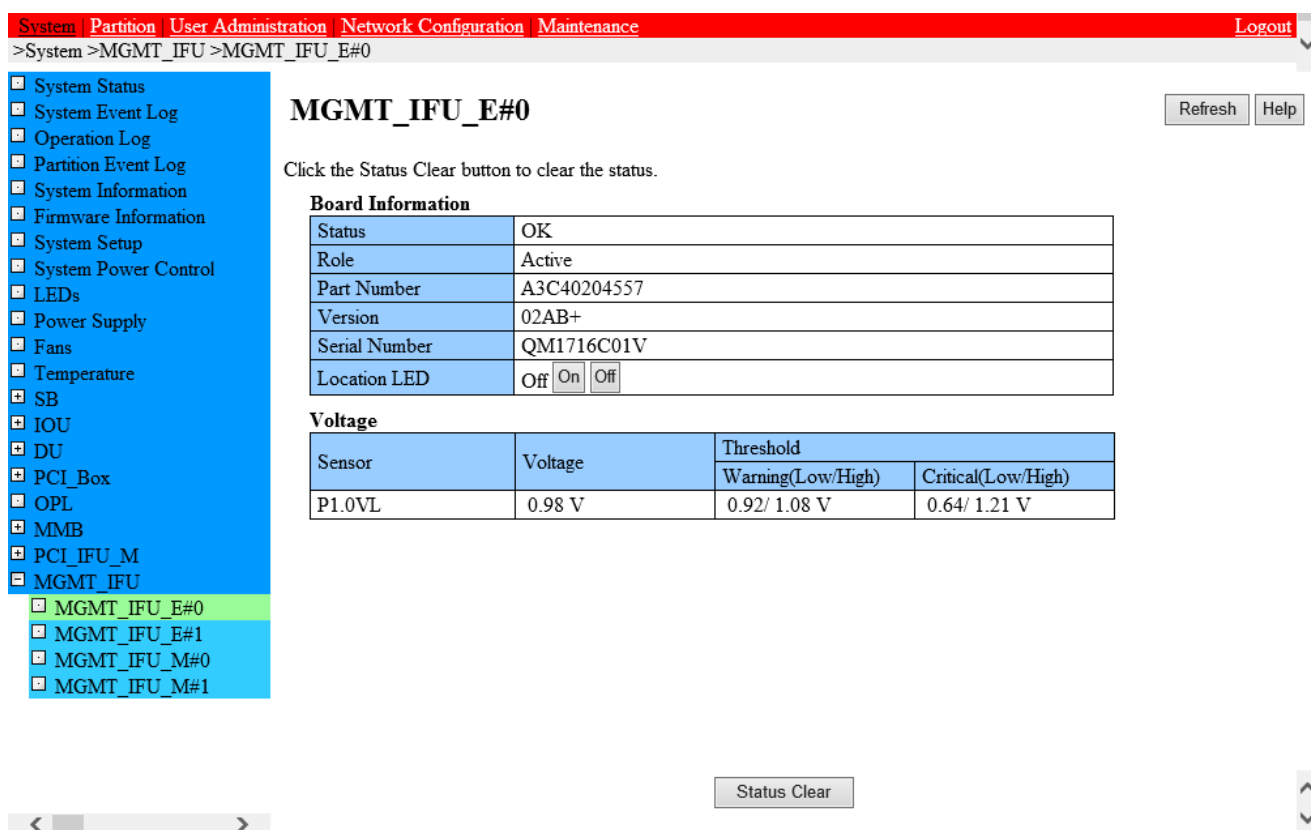


表 2.60 [MGMT_IFU_E#x] 画面の表示・設定項目

項目	内容
Board Information	
Status	MGMT_IFU_E の状態を表示します。 - OK : MGMT_IFU_E 上に障害はありません。 - Not-present : MGMT_IFU_E は搭載されていません。 - Warning : MGMT_IFU_E は動作継続可能な異常です。 - Degraded : MGMT_IFU_E は縮退状態です。 - Failed : MGMT_IFU_E は異常です。
Role	MGMT_IFU_E の動作状態を表示します。 - Active : MGMT_IFU_E は運用状態です。 - Standby : MGMT_IFU_E は待機状態です。 - Disabled : MGMT_IFU_E は無効です。
Part Number	MGMT_IFU_E のパーツ番号を表示します。

項目		内容
Version		MGMT_IFU_E のバージョンを表示します。
Serial Number		MGMT_IFU_E のシリアル番号を表示します。
Location LED		Location LED の表示状態を示します。 表示状態には、以下の 2 つがあります。 ・ On：点灯しています。 ・ Off：消灯しています。 また、[On]、[Off] ボタンをクリックすることによって Location LED の点灯／消灯を制御できます。
Voltage		
Sensor		電圧のセンサー名を表示します。
Voltage		現在の電圧を表示します。
Threshold	Warning (Low/High)	Warning となる電圧の下限值と上限値の閾値を表示します。 (この電圧より低くなるか高くなると異常になります。) 閾値が設定されていない場合は「-」を表示します。
	Critical (Low/High)	Critical となる電圧の下限值と上限値の閾値を表示します。 (この電圧より低くなるか高くなると異常になります。) 閾値が設定されていない場合は「-」を表示します。

表 2.61 [MGMT_IFU_E#x] 画面のボタン

ボタン	内容
On	[On] ボタンをクリックすると、Location LED が点灯します。
Off	[Off] ボタンをクリックすると、Location LED が消灯します。
Status Clear	MGMT_IFU_E#x のエラー状態をクリアします。

[Status Clear] ボタンをクリックすると、MGMT_IFU_E のエラー状態をクリアし、次のリポート時に再度 MGMT_IFU_E を使用するように指示できます。リポート時に再度エラーが検出されると、再度 MGMT_IFU_E のエラー状態が記録されます。

(1) メニュー操作

[System] - [MGMT_IFU] - [MGMT_IFU_E#x]

(2) 画面操作

- [Status Clear] ボタンをクリックします。
確認のためのダイアログボックスが表示されます。
- MGMT_IFU_E のエラー状態をクリアする場合には [OK] ボタンを、クリアしない場合には [Cancel] ボタンをクリックします。

■ [MGMT_IFU_M#x] 画面

[MGMT_IFU_M#x] 画面では、MGMT_IFU_M#x ボードの状態の表示および設定ができます。

図 2.38 [MGMT_IFU_M#x] 画面

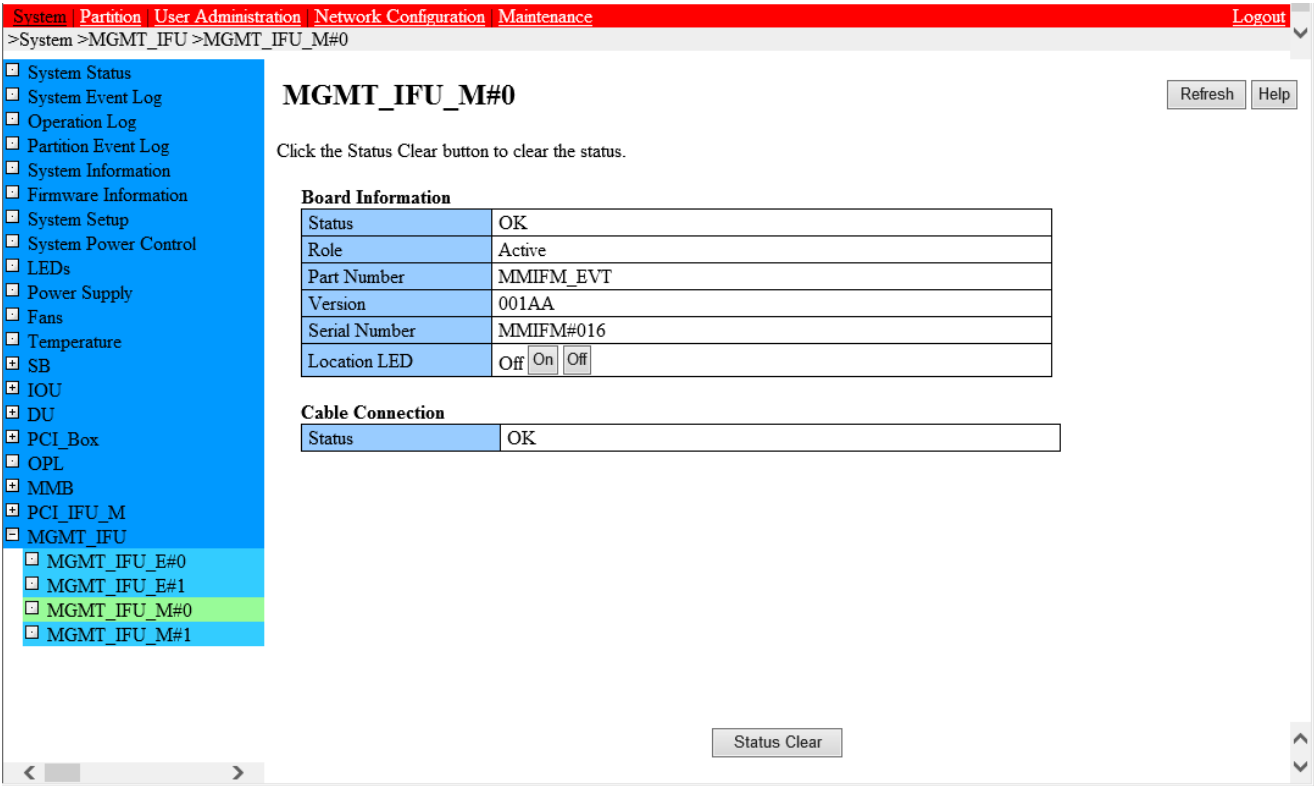


表 2.62 [MGMT_IFU_M#x] 画面の表示・設定項目

項目	内容
Board Information	
Status	MGMT_IFU_M の状態を表示します。 ・ OK : MGMT_IFU_M 上に障害はありません。 ・ Not-present : MGMT_IFU_M は搭載されていません。 ・ Warning : MGMT_IFU_M は動作継続可能な異常です。 ・ Degraded : MGMT_IFU_M は縮退状態です。 ・ Failed : MGMT_IFU_M は無効です。
Role	MGMT_IFU_M の動作状態を表示します。 ・ Active : MGMT_IFU_M は運用状態です。 ・ Standby : MGMT_IFU_M は待機状態です。 ・ Disabled : MGMT_IFU_M は無効です。
Part Number	MGMT_IFU_M のパーツ番号を表示します。
Version	MGMT_IFU_M のバージョンを表示します。
Serial Number	MGMT_IFU_M のシリアル番号を表示します。

項目	内容
Location LED	Location LED の表示状態を示します。 表示状態には、以下の 2 つがあります。 ・ On：点灯しています。 ・ Off：消灯しています。 また、[On]、[Off] ボタンをクリックすることによって Location LED の点灯／消灯を制御できます。
Cable Connection	
Status	MGMT_IFU_E との接続状態を表示します。 ・ OK：正しく接続されています。 ・ Not-connected：接続されていません。

表 2.63 [MGMT_IFU_M#x] 画面のボタン

ボタン	内容
On	[On] ボタンをクリックすると、Location LED が点灯します。
Off	[Off] ボタンをクリックすると、Location LED が消灯します。
Status Clear	MGMT_IFU_M#x のエラー状態をクリアします。

[Status Clear] ボタンをクリックすると、MGMT_IFU_M のエラー状態をクリアし、次のリブート時に再度 MGMT_IFU_M を使用するように指示できます。リブート時に再度エラーが検出されると、再度 MGMT_IFU_M のエラー状態が記録されます。

(1) メニュー操作

[System] - [MGMT_IFU] - [MGMT_IFU_M#x]

(2) 画面操作

1. [Status Clear] ボタンをクリックします。
確認のためのダイアログボックスが表示されます。
2. MGMT_IFU_M のエラー状態をクリアする場合には [OK] ボタンを、クリアしない場合には [Cancel] ボタンをクリックします。

2.3.21 [Disk Enclosure]メニュー

Disk Enclosure#x ページは PRIMEQUEST 3000 シリーズに接続しているディスクエンクロージャーおよびディスクの状態を表示します。

ディスクエンクロージャーが IOUE もしくは PCI ボックスに接続された場合にメニューに表示されます。

注意

Disk Enclosure 画面のエラーは System Status 画面には反映されません。

ディスクエンクロージャーが接続された RAID コントローラに、Logical drive が 1 つも構成されていないと、本画面は、表示されない場合があります。Logical drive を 1 つ以上構築し、画面を参照してください。

図 2.39 Disk Enclosure 画面(1)

Disk Enclosure#0

Disk Enclosure Information

Status	Warning
Location	IOU#1-PCIC#0-Port#1-Cascade#0
Location LED	On Off

Temperature

Sensor	Status	Temperature	Threshold	
			Warning (Low/High)	Critical (Low/High)
RAID Ctrl Temp.	OK	65°C	- / -	- / -
RAID BBU Temp.	OK	26°C	- / -	- / -

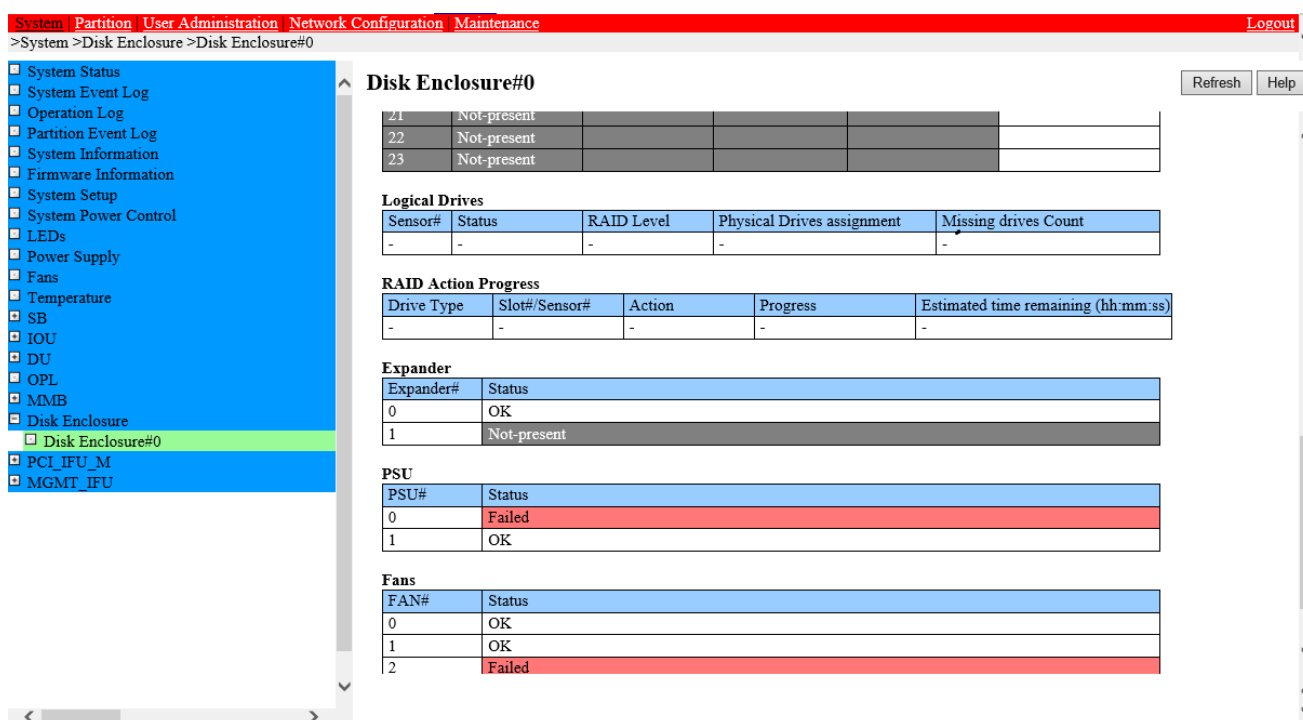
RAID Card

BBU Status	Vendor ID	Device ID	Physical Drives Count	Logical Drives Count	Serial Number	Firmware Version
Online	1000	005b	6	0	SV225P2246	23.9.0-0033

Physical Drives

Slot#	Status	Vendor	Model	Capacity
0	Foreign	FUJITSU	MBE2147RC	146 GB
1	Foreign	SEAGATE	ST300MM0006	300 GB
2	Available	SEAGATE	ST300MM0006	300 GB
3	Foreign	FUJITSU	MBD2147RC	146 GB
4	Not-present			

図 2.40 Disk Enclosure 画面(2)



RAID Card、Physical Drives、Logical Drives、RAID Action Progress テーブルの各種情報はパーティションの System Progress が EFI、Boot、OS Running の場合に表示を行います。(*1)

*1) 正しく情報が表示されるまで System Progress が EFI、Boot、OS Running の状態に変化してから最大 1 分かかります。

表 2.64 [Disk Enclosure#x] 画面の表示・設定項目

項目	内容
Disk Enclosure Information	
Status	ディスクエンクロージャーの状態を表示します。 - OK：ディスクエンクロージャー上に障害はありません。 - Warning：ディスクエンクロージャーは動作継続可能な異常です。 - Failed：ディスクエンクロージャーは異常です。
Location	ディスクエンクロージャーが接続されている場所を表示します。
Location LED	ディスクエンクロージャーの LED の操作ボタンを表示します。 表示状態には、以下の 2 つがあります。 - On：点灯しています。 - Off：消灯しています。 [On]、[Off] ボタンをクリックすることで、Location LED の点灯／消灯を制御できます。
Temperature	
Sensor	各温度センサーの識別名を表示します。
Status	各温度センサーの状態を表示します。 - OK：正常です。 - Not-present：搭載されていません。 - Warning：動作継続可能な異常です。 - Critical：異常です。

項目	内容
Temperature	各温度センサーの温度を表示します。
Threshold	各温度センサーが保持する閾値を表示します。 - Warning: Low/High - Critical: Low/High
RAID Card	
BBU Status	RAID BBU の状態を表示します。 - Online : BBU はオンラインです。 - On Battery : RAID コントローラーはバッテリー動作中です。 - Charging : BBU は充電中です。 - Discharging : BBU は放電中です。 - Battery Low : BBU はバッテリー残量が少ないです。 - Relearn Required : BBU は診断要求状態です。 - Failed : BBU は異常です。 - Not-present : BBU は実装されていません。
Vendor ID	RAID Card のベンダーID を表示します。(*1)
DeviceID	RAID Card のデバイス ID を表示します。(*1)
Physical Drives count	RAID Card に接続されている物理ドライブの数を表示します。
Logical Drives count	RAID Card 配下で構成されている論理ドライブの数を表示します。
Serial Number	RAID Card のシリアル番号を表示します。
Firmware Version	RAID Card のファームウェアバージョンを表示します。
Physical Drives	
Slot#	物理ドライブが搭載されているスロット番号を表示します。
Status	物理ドライブの状態を表示します。 - Operational : 物理ドライブは動作中です。 - Available : 物理ドライブは利用可能です。 - Failed : 物理ドライブは異常です。 - Hot Spare : 物理ドライブはホットスペアです。 - Rebuilding : 物理ドライブはリビルド中です。 - SMART err : 物理ドライブは故障予測が発生しています。 - Shielded : 物理ドライブは保護状態です。 - Bad Block : 物理ドライブは媒体異常です。 - Foreign : 物理ドライブは不正な構成情報があります。 - Not-present : 物理ドライブは実装されていません。
Vendor	物理ドライブのベンダー名を表示します。
Model	物理ドライブのモデル名を表示します。
Capacity	物理ドライブの容量を表示します。
Logical Drives	
Sensor#	論理ドライブのセンサー番号を表示します。
Status	論理ドライブの状態を表示します。
Raid Level	論理ドライブの RAID レベルを表示します。
Physical Drives assignment	論理ドライブを構成している物理ドライブのスロット番号を表示します。
Missing drives count	その RAID レベルの論理ドライブを構成するために欠落している物理ドライブの数を表示します。

項目	内容
RAID Action Progress	
Drive Type	RAID アクションが実行されているドライブタイプを表示します。 - Physical：物理ドライブです。 - Logical：論理ドライブです。
Slot#/Sensor#	Drive Type が Physical の場合は RAID アクションが実行されている Slot 番号を表示します。Drive Type が Logical の場合は RAID アクションが実行されている Sensor 番号を表示します。
Action	実行中の RAID アクションを表示します。 - Rebuilding 物理ドライブに対して、RAID ドライブのリビルドを実行していることを示します。 - Copyback Running 物理ドライブに対して、コピーバックが実行されていることを示します。 - MDC Running 論理ドライブに対して、MDC(Make Data Consistent)を実行していることを示します。
Progress (%)	実行中の RAID アクションの進捗率をパーセンテージで表示します。
Estimated time remaining (hh:mm:ss)	実行中の RAID アクションが完了するまでに予想される残り時間を表示します。
Expander	
Expander#	エクスパンダーの番号を表示します。
Status	エクスパンダーのステータスを表示します。 - OK：エクスパンダーは正常です。 - Warning：エクスパンダーは動作継続可能な異常です。 - Failed：エクスパンダーは異常です。 - Not-Present：エクスパンダーは搭載されていません。
PSU	
PSU#	PSU の番号を表示します。
Status	PSU のステータスを表示します。 - OK：PSU は正常です。 - Warning：PSU は動作継続可能な異常です。 - Failed：PSU は異常です。 - Not-Present：PSU は搭載されていません。
Fans	
FAN#	ファンの番号を表示します。
Status	ファンのステータスを表示します。 - OK：ファンは正常です。 - Warning：ファンは動作継続可能な異常です。 - Failed：ファンは異常です。 - Not-Present：ファンは搭載されていません。

*1) 『PRIMEQUEST 3000 シリーズ運用管理マニュアル』(CA92344-1656) の「付録 M PCI Express カードの情報」を参照して、PCI-Express スロットに搭載したカードを特定できます。

2.4 [Partition] メニュー

[Partition] メニューでは、PRIMEQUEST 3000 シリーズのパーティションの状態表示、設定ができます。

2.4.1 [Power Control] 画面

[Power Control] 画面では、パーティションの電源制御をします。この画面では、SB または IOUE を持つパーティションのみ表示されます。モデルにより表示画面および表示条件が異なります。正確には、以下の条件のどれかを満たすパーティションが表示されます。

- (1) 1SB 以上を含むパーティション、または
- (2) 1IOUE を含むパーティション、または
- (3) PRIMEQUEST 3400E2/3400L2/3800E2/3800L2/3400E/3400L/3800E/3800L モデルの場合、上記(1)または(2)を満たす物理パーティション上で拡張パーティションのパーティション番号が割り当てられている場合

PRIMEQUEST 3400E2/3400L2/3800E2/3800L2/3400E/3400L/3800E/3800L モデルの場合、物理パーティションの Extended Partitioning Mode が Enable 設定の場合には背景色を灰色で表示されて操作できません。逆に拡張パーティションの分割元となる物理パーティションの Extended Partitioning Mode が Disable 設定の場合には、拡張パーティションの表示がグレースアウトされて操作できません。

[PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400S Lite/3400S モデルの場合]

図 2.41 [Power Control] 画面

SystemPartitionUser AdministrationNetwork ConfigurationMaintenanceLogout

>Partition>Power Control

Power Control

Schedule

Console Redirection Setup

Partition Configuration

Reserved SB Configuration

Power Management Setup

Partition#0

Partition#1

Power Control

Select a Power Control option for one or more partitions, then click the Apply button to take effect.

#	Partition Name	Power Status	System Progress	Power Control	Force Power Off Delay	Boot Selector
0	Partition#0	Standby	Power Off	(Not specified)	☐ 1 min	No Override
1	Partition#1	Standby	Power Off	(Not specified)	☐ 1 min	No Override

ApplyCancel

[PRIMEQUEST 3400E2/3400L2/3800E2/3800L2/3400E/3400L/3800E/3800L モデルの場合]

図 2.42 [Power Control] 画面

SystemPartitionUser AdministrationNetwork ConfigurationMaintenanceLogout

>Partition>Power Control

Power Control

Schedule

Console Redirection Setup

Partition Configuration

Extended Socket Configuration

Reserved SB Configuration

Power Management Setup

Partition#0

Partition#1

Power Control

Select a Power Control option for one or more partitions, then click the Apply button to take effect.

#	P#	Partition Name	Power Status	System Progress	Power Control	Force Power Off Delay	Boot Selector
0	-	Partition#0	Standby	Power Off	(Not specified)	☒ 1 min	No Override
1	-	Partition#1	Standby	Power Off	(Not specified)	☐ 1 min	No Override

ApplyCancel

- Partition Operator 権限の場合(管理対象 Partition#0 の場合)

管理対象のパーティションに対してのみ、操作可能です。管理対象でない場合は、プルダウンメニューと設定項目はグレーアウト表示されます。

[PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400S Lite/3400S モデルの場合]

図 2.43 [Power Control] 画面(グレーアウト表示)

Power Control

Select a Power Control option for one or more partitions, then click the Apply button to take effect.

#	Partition Name	Power Status	System Progress	Power Control	Force Power Off Delay
0	Partition#0	Standby	Power Off	(Not specified)	1 min No Override
1	Partition#1	Standby	Power Off	(Not specified)	1 min No Override

Apply Cancel

[PRIMEQUEST 3400E2/3400L2/3800E2/3800L2/3400E/3400L/3800E/3800L モデルの場合]

図 2.44 [Power Control] 画面(グレーアウト表示)

Power Control

Select a Power Control option for one or more partitions, then click the Apply button to take effect.

#	P#	Partition Name	Power Status	System Progress	Power Control	Force Power Off Delay
0	-	Partition#0	Standby	Power Off	(Not specified)	1 min No Override
1	-	Partition#1	On	OS Running	(Not specified)	1 min No Override
2	-	Partition#2	On	EFI	(Not specified)	1 min No Override
3	-	Partition#3	Standby	Power Off	(Not specified)	1 min No Override

Apply Cancel

1. [Power Control] のプルダウンメニューからパーティションに対して行う処理を選択し、[Apply] ボタンをクリックします。
確認のためのダイアログボックスが表示されます。
2. 処理を実行する場合は[OK] ボタンをクリックします。
キャンセルする場合は[Cancel] ボタンをクリックします。
パーティションが Power On 中、または Power Off 中のため、指定した制御が失敗した場合は、警告ダイアログが表示されます。

パーティションの Power On を指示したときに、パーティション内の SB 間で搭載している CPU が不一致の場合は、警告ダイアログボックスが表示され、Power On 操作はエラーになります。

表 2.65 [Power Control] 画面の表示・設定項目

項目	内容
#	パーティションを識別するための番号を表示します。 [PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400S Lite/3400S モデルの場合] 0～3Partition まで存在します。 [PRIMEQUEST 3400E2/3400L2/3800E2/3800L2/3400E/3400L/3800E/3800L モデルの場合] 0～11Partition まで存在します。
P#	PRIMEQUEST 3400E2/3400L2/3800E2/3800L2/3400E/3400L/3800E/3800L モデルの場合にのみ表示されます。 Extended Partitioning Mode が Enable 設定の物理パーティションでは分割元の物理パーティションであることを示す" P" を表示し、拡張パーティションの場合は分割元の物理パーティション番号を表示します。
Partition Name	パーティションに付けた名前を表示します。
Power Status	パーティションの電源状態を表示します。 - On - Standby
System Progress	パーティションの進行状況を表示します。 - Power Off：パーティションは電源が切断されている状態です。 - Power On In Progress：パーティション電源投入の進行中です。 - Reset：パーティションのリセット開始から OS ブートが完了するまでの状態です。 - EFI：UEFI menu 画面を表示した状態です。 - Boot：OS ブート中です。 - OS Running：OS 稼動状態です。 - OS Shutdown：OS シャットダウン中です。 - Panic：パニック中です(RHEL のみ)。 - Power Off In Progress：パーティションの電源切断の進行中です。 - Fatal：停止中です。 - Dumping：ダンプ出力中です。 - Halt：Halt 中です。 - Extended Partitioning Running：拡張パーティションのファームウェアが稼動状態です。 備考 - パーティションに SVAS(Server View Agentless Service)/SVAgent(Server View Agent) がインストールされていない場合、実際に OS が動作していても「OS Running」に表示が切り替わらず、「Boot」のままとなります。 また、SVAS/SVAgent が指示する「OS Shutdown」、「Panic」についても SVAS/SVAgent がインストールされていない場合は表示されません。 - Extended Partitioning Mode が Enable 設定の物理パーティションでは、拡張パーティションのファームウェアの起動が完了するまでは Extended Partitioning Mode が Disable 設定の場合と同様な表示を行い、拡張パーティションのファームウェア起動後は"Extended Partitioning Running"と表示します。 - Linux OS での kdump 時の動作は以下のとおり。 - RHEL/SLES："Panic"および"Dumping"に遷移します。(FJSVfefpc パッケージがインストールされている場合のみ。パッケージがインストールされていない場合は"Panic"および"Dumping"に遷移しません。) - Windows: "Panic"は表示されません。

項目	内容
Power Control	パーティションに対して指示する電源制御を選択します。 ただし、すでに電源オンの状態であるパーティションに対しては、[Power On] メニューは表示されません。逆にすでに電源オフの状態であるパーティションの場合は、[Power Off]、[Reset]、[NMI]、[Power Cycle]、[Force Power Off]、[sadump] は表示されません。 - Power On：パーティションの電源をオンにします。 - Power Off：パーティションの電源をオフにします。(*1) OS から見た場合、装置の電源ボタンがオフされた場合と同様に見えます。そのため、OS が ACPI 対応していれば、OS をシャットダウンした後、電源を切断することも可能です。詳細は OS の電源仕様(ACPI) を参照ください。OS が ACPI 対応していない場合は、OS をシャットダウンせずに電源が切断されます。 - Power Cycle：パーティションの電源を強制的にオフした後、再度電源をオンにします。(*2) - Reset：パーティションを強制的にリセットします。(*3) - NMI：パーティションに対して NMI 割込みをあげます。 - Force Power Off：強制的に電源をオフにします。(*2) - sadump：パーティションに対して SADUMP を指示します。 (Not specified)：このパーティションに対して何も指示しません。
Force Power Off Delay	[Power Off] でパーティション上の OS に対するシャットダウン指示がうまく動作せずに電源オフが実行されない場合に、強制電源断をするかどうかを指定します。強制電源断をする指定にした場合は、指定時間 (1~9 分) が設定可能となります。この指定時間が経過すると強制的にパーティションの電源を切断します。 デフォルトは、チェックボックスがオフです。
Boot Selector	BIOS の Boot Maintenance Manager の設定を一時的に Override するブートデバイスを指定します。ブートするデバイスをブルダウンメニューから選択します。 - No Override：Boot Maintenance Manager の設定でブートします。 - Force boot into EFI Boot Manager：BIOS の Information メニューで入力待ち状態になります。 - Force Legacy PXE/iSCSI：Boot Maintenance Manager の設定を Override し、強制的に PXE からブートを試みます。(BIOS Boot Type: Legacy) - Force boot from Legacy DVD：Boot Maintenance Manager の設定を Override し、強制的に System の DVD からブートを試みます。(BIOS Boot Type: Legacy) - Force UEFI PXE/iSCSI：Boot Maintenance Manager の設定を Override し、強制的に PXE からブートを試みます。(BIOS Boot Type: UEFI) - Force boot from UEFI DVD：Boot Maintenance Manager の設定を Override し、強制的に System の DVD からブートを試みます。(BIOS Boot Type: UEFI) デフォルトは No Override です。 本設定は、設定直後の 1 回目のパーティションブート時のみに適用されます。パーティションのブート後、本設定は自動的に「No Override」に戻ります。そのため、パーティションのブートごとに設定する必要があります。定常的に設定する場合は、BIOS の Boot Maintenance Manager で設定します。

*1) OS が ACPI (Advanced Configuration and Power Interface) に対応している場合は、Power Off 操作で OS を Shutdown してから電源を Off することができますが、ACPI に対応していない場合は、OS を Shutdown せずに電源 Off することになります。また、OS が ACPI に対応している場合でも OS 上で動作しているアプリケーションが対応していない場合は、電源 Off できない場合があります。これは OS およびアプリケーションの仕様によるものですので、詳細については OS またはアプリケーションの仕様書を参照してください。

*2) Power Cycle/Force Power Off は OS Shutdown を行わずに強制的に電源を切断します。これらは極力使用せず、Power Off, Power On を使用してください。

*3) OS を Shutdown せず、パーティションのハードウェアを強制的に Reset します。

注意

下記の操作を実施後、初回のパーティション Power On 中に、BIOS が保持する設定情報と MMB が保持するバックアップ情報に差分がある場合、内部動作でリストア処理(MMB が保持している設定情報が使用される)が走り、一旦、パーティションのリセットが入ります。

- ・ 筐体の AC ON
- ・ パーティションに SB を追加
- ・ パーティションに拡張パーティションを追加
- ・ Home SB 切り替え
- ・ Home 設定された SB を挿入
- ・ Restore BIOS Configuration で BIOS のコンフィグレーション情報をリストア

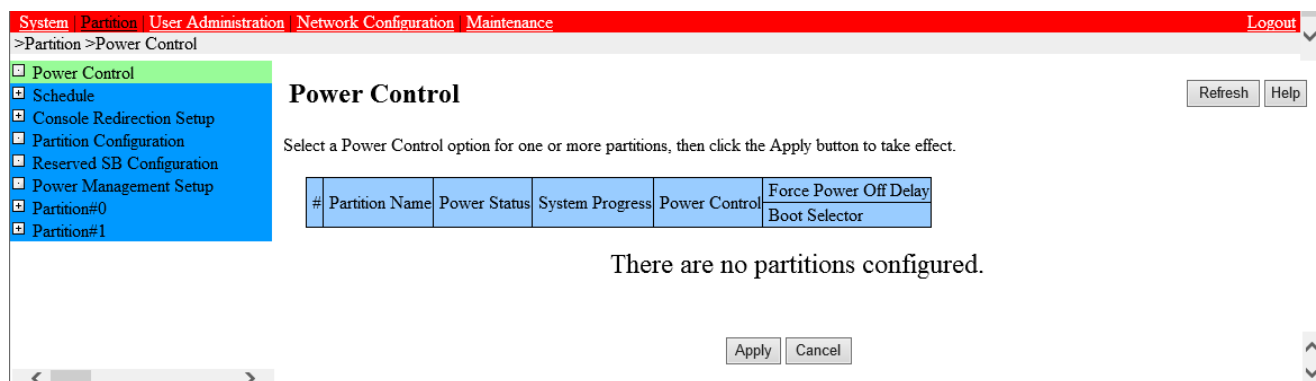
表 2.66 [Power Control] 画面のボタン

ボタン	内容
Apply	[Apply] ボタンをクリックすると、電源制御項目の情報が設定されます。 設定確認のためのダイアログボックスが表示されるので、設定内容を確認して[OK]ボタンをクリックしてください。
Cancel	[Cancel] ボタンをクリックすると、パーティションに対する電源制御項目の情報が設定されず、元の状態に戻ります。

■ 「エラー表示」

ブート可能なパーティションが 1 つも構成されていない場合は、以下の画面が表示されます。

図 2.45 [Power Control] 画面のエラー表示



(1) メニュー操作

[Partition] - [Power Control]

(2) 画面操作

1. 各パーティションに対する電源制御項目を[Power Control] のプルダウンリストから選択し、[Apply] ボタンをクリックします。
設定確認のためのダイアログボックスが表示されます。
2. 設定を実行する場合は[OK] ボタンをクリックします。

2.4.2 [Schedule] メニュー

[Schedule] メニューには、[Schedule Control]、[Schedule List] の画面があります。ここではこれらの画面と操作について説明します。

注意

以下のように、SEL に記録される時間は、スケジュール運転の予約時間より遅れる場合があります。

- 構成のチェックおよび起動の準備処理を行ったあと、パワーオンが開始するまで時間がかかることがあります。この場合、スケジュール運転の予約時間より、SEL 表示が 6 秒から 8 秒程度遅れます。
- MMB から OS へのシャットダウン指示は、設定時刻から数秒以内に実行されます。しかし、以下の時間が、設定および構成などさまざまな条件で変わることがあります。
 - ・ MMB から OS に到達するまでの時間
 - ・ OS がシャットダウンを開始し、MMB へシャットダウンの開始を SEL に通知するまでの時間
- [Power on Delay] を 0 秒にしてもパワーオン実行開始からリセットまでに、30 秒から 70 秒程度かかることがあります。

2.4.2.1 [Schedule Control] 画面

[Schedule Control] 画面では、各パーティションに対してスケジュールに関する設定ができます。

モデルにより表示画面が異なります。

PRIMEQUEST 3400E2/3400L2/3800E2/3800L2/3400E/3400L/3800E/3800L モデルの場合、物理パーティションの Extended Partitioning Mode が Enable 設定の場合は背景色が灰色で表示され、スケジュール運転は無効になります。逆に拡張パーティションの分割元となる物理パーティションの Extended Partitioning Mode が Disable 設定の場合は拡張パーティションの背景色が灰色で表示され、スケジュール運転は無効になります。

図 2.46 [Schedule Control] 画面

#	Partition Name	Schedule Control	Number of schedules
0	Partition#0	☒ On ☐ Off	1

スケジュール実施時刻に対象パーティションの保守作業(Hot Partition Maintenance、Warm System Maintenance、Cold System Maintenance のいずれか) が実施されていた場合には、スケジュールによるパーティションの電源操作はできません。

同一日にスケジュールが重複した場合、以下の優先順位に従って処理されます。

Special > Monthly > Weekly > Daily

- ・ Daily: 毎日実行されるスケジュール
- ・ Weekly: 毎週実行されるスケジュール
- ・ Monthly: 毎月実行されるスケジュール
- ・ Special: 毎年、指定した日に実行されるスケジュール

また、同時刻に Power On と Power Off の指定があった場合には、Power Off が優先されます。

Partition Operator の場合は、管理対象のパーティションのみ操作可能です。

Power On Delay 中は Partition は Power On していないため、Schedule Power Off は無視されます。また、Shutdown 要求を OS が受け付けられない場合も Power Off を行いません。

表 2.67 [Schedule Control] 画面の表示・設定項目

項目	内容
#	パーティションを識別するための番号を表示します(0~3)。 ただし、SB/IOUE が登録されているパーティションのみ表示します。
Partition Name	パーティションに付けた名前を表示します。
Schedule Control	各パーティションに対してスケジュール運転するかどうかを設定します。 ・ On ・ Off デフォルトは Off です。
Number of schedules	設定されているスケジュールの数を表示します。

表 2.68 [Schedule Control] 画面のボタン

ボタン	内容
Apply	[Apply] ボタンをクリックすると、指定したパーティションに対するスケジュール運転の情報が設定されます。
Cancel	[Cancel] ボタンをクリックすると、パーティションに対するスケジュール運転の情報は設定されず、元の状態に戻ります。

(1) メニュー操作

[Partition] - [Schedule] - [Schedule Control]

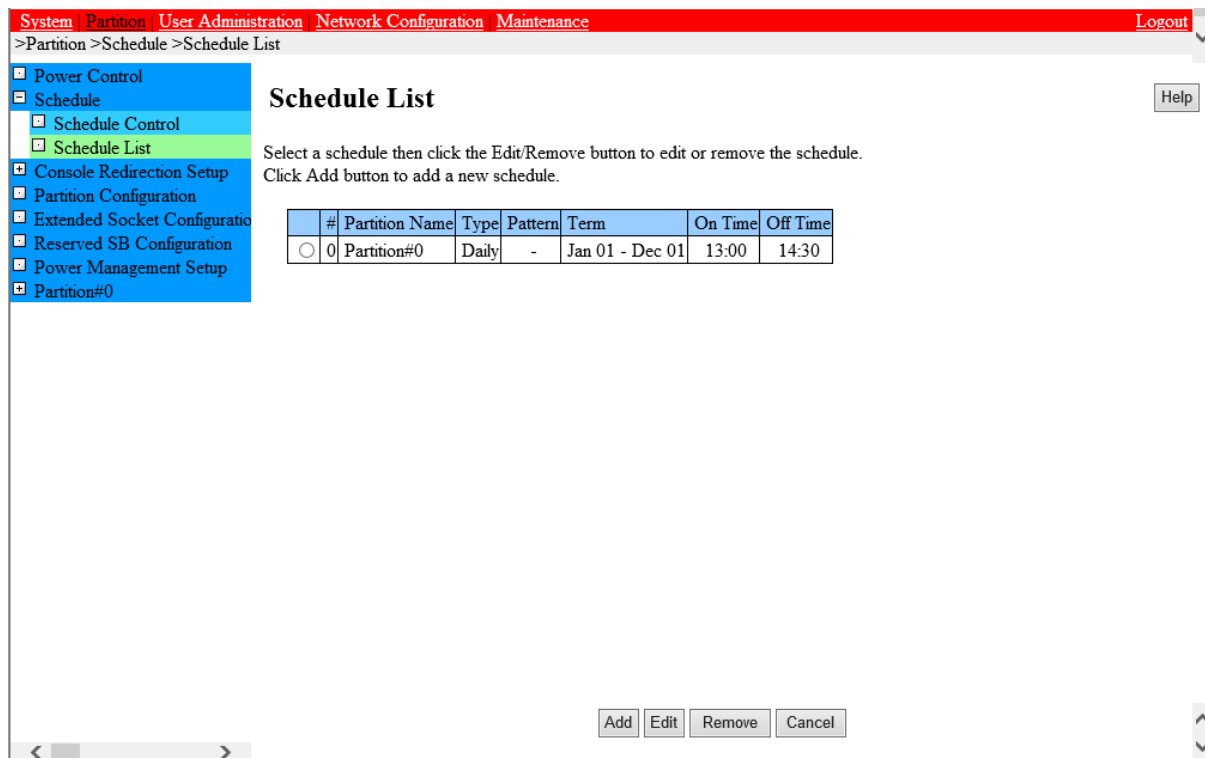
(2) 画面操作

1. 各パーティションに対して、ラジオボタンでスケジュール運転をするかどうかを指定します。
2. [Apply] ボタンをクリックします。
スケジュール運転の指定が適用されます。

2.4.2.2 [Schedule List] 画面

[Schedule List] 画面では、各パーティションの電源オン／オフのスケジュールを 1000 件まで登録できます。

図 2.47 [Schedule List] 画面



スケジュールは、パーティション番号順に表示されます。パーティション内は、期間の開始日の早い順に表示されます。パーティションも開始月日も同一である場合は、スケジュールを登録した順に表示されます。

備考

Type が Weekly の場合は、開始日を「1 日」として扱います。

Partition Operator の場合は、管理対象のパーティションのみ操作可能です。

表 2.69 [Schedule List] 画面の表示・設定項目

項目	内容
#	パーティションを識別するための番号を表示します(0～3)。 ただし、SB/IOUE が登録されているパーティションのみ表示します。
Partition Name	パーティションに付けた名前を表示します。
Type	パーティションに設定されているスケジュールの種類を表示します。 ・ Daily：毎日実行する場合に選択 ・ Weekly：毎週実行する場合に選択 ・ Monthly：毎月実行する場合に選択 ・ Special：毎年特定な日に実行する場合に選択 同一日にスケジュールが重複した場合、以下の優先順位に従って処理されます。 Special > Monthly > Weekly > Daily
Pattern	スケジュールの種類に応じたスケジュールパターンを表示します。 ・ Weekly における曜日(Sun～Sat) ・ Monthly における期間 ・ Special における指定月日
Term	スケジュールのタイプとパターンに応じたスケジュールの期間を表示します。 ・ Daily：開始月日と終了月日 ・ Weekly：開始月と終了月 ・ Monthly：開始月と終了月 デフォルトは以下のとおりです。 ・ Daily：From：Jan / 1 To：Jan / 1 注・・・1月1日のみ実行されます。 ・ Weekly：From：Jan To：Jan 注・・・1月のみ実行されます。 ・ Monthly：From：Jan To：Jan 注・・・1月のみ実行されます。
On Time	指定した実行日に電源オンの処理をする場合の時間を表示します。 時間は 24 時間表示。分は 00、10、20、30、40、50 の 10 分間隔で表示。
Off Time	指定した実行日に電源オフの処理をする場合時間を表示します。 時間は 24 時間指定。分は 00、10、20、30、40、50 の 10 分間隔で表示。

表 2.70 [Schedule List] 画面のボタン

ボタン	内容
Add	[Add] ボタンをクリックすると、[Add Schedule] 画面が表示され、スケジュールを追加できます。
Edit	[Edit] ボタンをクリックすると、[Edit Schedule] 画面が表示され、スケジュールを変更できます。
Remove	[Remove] ボタンをクリックすると、選択したスケジュールが削除されます。
Cancel	[Cancel] ボタンをクリックすると、前の画面に戻ります。

(1) メニュー操作

[Partition] - [Schedule] - [Schedule List]

(2) 画面操作

- 新規にスケジュールを追加する場合
 1. [Add] ボタンをクリックします。
[Add/Edit Schedule] 画面が表示されます。
 2. [Add/Edit Schedule] 画面で、新規スケジュールを追加します。
- スケジュールを変更する場合
 1. 既存スケジュールをラジオボタンで選択します。
 2. [Edit] ボタンをクリックします。
[Add/Edit Schedule] 画面が表示されます。
 3. [Add/Edit Schedule] 画面で、既存スケジュールを変更します。
- スケジュールを削除する場合
 1. スケジュールをラジオボタンで選択します。
 2. [Remove] ボタンをクリックします。
確認のダイアログボックスが表示されます。
 3. [OK] ボタンをクリックします。
スケジュールが削除されます。

2.4.2.3 [Add Schedule] 画面／[Edit Schedule] 画面

[Add Schedule] 画面では、各パーティションの電源オン／オフのスケジュールの新規追加ができます。

[Edit Schedule] 画面では、既存スケジュールの変更ができます。

[Add Schedule] 画面と [Edit Schedule] 画面の画面項目は共通です。ここでは、[Add Schedule] 画面を使って説明します。

図 2.48 [Add Schedule] 画面

System Partition User Administration Network Configuration Maintenance Logout

>Partition >Schedule >Schedule List

Power Control
Schedule
Schedule Control
Schedule List
Console Redirection Setup
Partition Configuration
Extended Socket Configuration
Reserved SB Configuration
Power Management Setup
Partition#0

Add Schedule

Help

Select a partition and input a schedule, then click the Apply button to take effect.

Partition #0: Partition#0

Type	Pattern	Term
☐ Daily	-	From: Jan 1 To: Jan 1
☐ Weekly	☐ Sun ☐ Mon ☐ Tue ☐ Wed ☐ Thu ☐ Fri ☐ Sat	From: Jan To: Jan
☐ Monthly	From: 1 To: 1	From: Jan To: Jan
☐ Special	Jan 1	-

☐ On Time Hour: 0 Min: 0

☐ Off Time Hour: 0 Min: 0

Apply Cancel

表 2.71 [Add Schedule] 画面の表示・設定項目

項目	内容
Partition	スケジュールを追加、または編集するパーティションを選択します。 デフォルトは、定義されている最も小さい番号のパーティションです。
Type	パーティションに設定するスケジュールの種類を選択します。 ・ Daily：毎日実行する場合に選択 ・ Weekly：毎週実行する場合に選択 ・ Monthly：毎月実行する場合に選択 ・ Special：毎年特定な日に実行する場合に選択 (Special の有効範囲は指定日のみ) 同一日にスケジュールが重複した場合、以下の優先順位に従って処理されます。 Special > Monthly > Weekly > Daily デフォルトは未選択です。
Pattern	スケジュールの種類に応じたスケジュールパターンを指定します。 ・ Weekly における曜日 (Sun～Sat) ・ Monthly における期間 ・ Special における指定月日 デフォルトは以下のとおりです。 ・ 曜日：未選択 ・ 期間：From：1 To：1 ・ 指定月日：Jan / 1
Term	スケジュールのタイプとパターンに応じたスケジュールの期間を指定します。 ・ Daily：開始月日と終了月日 ・ Weekly：開始月と終了月 ・ Monthly：開始月と終了月 デフォルトは以下のとおりです。 ・ Daily：From：Jan / 1 To：Jan / 1 ・ Weekly：From：Jan To：Jan ・ Monthly：From：Jan To：Jan
On Time	指定した実行日に電源オンにするかどうかを設定します。 電源オンにする場合は時刻を設定します。 時刻は 24 時間指定。分は 00、10、20、30、40、50 の 10 分間隔で指定可能です。
Off Time	指定した実行日に電源オフにするかどうかを設定します。 電源オフにする場合は時刻を設定します。 時刻は 24 時間指定。分は 00、10、20、30、40、50 の 10 分間隔で指定可能です。

表 2.72 [Add Schedule] 画面のボタン

ボタン	内容
Apply	[Apply] ボタンをクリックすると、各項目に指定したスケジュール情報がパーティションに適用されます。
Cancel	[Cancel] ボタンをクリックすると、各項目に指定したスケジュール情報は適用されず、元に戻ります。

2.4.3 [Console Redirection Setup] 画面

[Console Redirection Setup] のメニューには、以下の画面があります。

- [IPv4 Console Redirection Setup] 画面
- [IPv6 Console Redirection Setup] 画面

2.4.3.1 [IPv4 Console Redirection Setup] 画面

[IPv4 Console Redirection Setup] 画面では、IPv4 用の Console Redirection Setup へアクセスするための IP アドレスの設定、サブネットマスクの設定、ビデオリダイレクション、仮想メディアの有効／無効の設定をします。

Extended Partitioning Mode が Enable 設定の場合、この [IPv4 Console Redirection Setup] 画面で設定した設定値は、物理パーティションではなく、VGA/USB/rKVMs 資源を割り当てた拡張パーティションで使用されます。

図 2.49 [IPv4 Console Redirection Setup] 画面

System Partition User Administration Network Configuration Maintenance Logout

>Partition >Console Redirection Setup >IPv4 Console Redirection Setup

Power Control
Schedule
Console Redirection Setup
IPv4 Console Redirection Setup
IPv6 Console Redirection Setup
Partition Configuration
Extended Socket Configuration
Reserved SB Configuration
Power Management Setup
Partition#0
Partition#1

IPv4 Console Redirection Setup

Click the Apply Button to apply all changes.
Note: For using Video Redirection and Virtual Media in Extended Partitioning, VGA/USB/rKVMs must be connected to the partition.

#	Partition Name	IP Address	Subnet Mask	Video Redirection	Virtual Media
0	Partition#0	0 . 0 . 0 . 0	255 . 255 . 255 . 255	☐ Enable ☒ Disable	☐ Enable ☒ Disable
1	Partition#1	0 . 0 . 0 . 0	255 . 255 . 255 . 255	☐ Enable ☒ Disable	☐ Enable ☒ Disable

Apply Cancel

表 2.73 [IPv4 Console Redirection Setup] 画面の表示・設定項目

項目	内容
#	パーティションを識別するための番号を表示します。 0～3 Partition まで存在します。
Partition Name	パーティションに付けた名前を表示します。
IP Address	接続を許可するパーティション側の IP アドレスを入力します。MMB の Web-UI にアクセスするために使用する仮想 IP アドレス(「2.6.2 [Network Interface] メニュー」参照) と同一セグメントで、異なる IP アドレスを指定します。 デフォルトは 0.0.0.0 です。
Subnet Mask	接続を許可する IP アドレスのサブネットマスクを入力します。 デフォルトは、255.255.255.255 です。
Video Redirection	ビデオリダイレクションが使用可能かどうかを設定します。 ・ Enable : ビデオリダイレクションを使用可能にします。 ・ Disable : ビデオリダイレクションを使用不可にします。 デフォルトは Disable です。 注意 拡張パーティションの場合、[Partition]→[Partition#x Extended Partitioning Configuration]→[SB]で VGA/USB/rKVMs を割り当て設定する必要があります。
Virtual Media	仮想メディアが使用可能かどうかを設定します。 ・ Enable : 仮想メディアを使用可能にします。 ・ Disable : 仮想メディアを使用不可にします。 デフォルトは Disable です。 注意 仮想メディアを使う場合は、ビデオリダイレクションを Enable に設定する必要があります。 拡張パーティションの場合、[Partition]→[Partition#x Extended Partitioning Configuration]→[SB]で VGA/USB/rKVMs を割り当て設定する必要があります。

表 2.74 [IPv4 Console Redirection Setup] 画面のボタン

ボタン	内容
Apply	[Apply] ボタンをクリックすると指定したパーティションのビデオリダイレクション、仮想メディアの設定が適用されます。
Cancel	[Cancel] ボタンをクリックすると、ビデオリダイレクション、仮想メディアの設定は適用されず、元の状態に戻ります。

(1) メニュー操作

[Partition] - [Console Redirection Setup] - [IPv4 Console Redirection Setup]

(2) 画面操作

1. IP アドレス、サブネットマスクを入力し、ビデオリダイレクション、仮想メディアを使用するかどうかを設定します。
2. [Apply] ボタンをクリックします。

2.4.3.2 [IPv6 Console Redirection Setup] 画面

[IPv6 Console Redirection Setup] 画面では、IPv6 用の Console Redirection LAN へアクセスするための IP アドレスの設定、プレフィックス長の設定、ビデオリダイレクション、仮想メディアの有効／無効の設定をします。
Extended Partitioning Mode が Enable 設定の場合、この [IPv6 Console Redirection Setup] 画面で設定した設定値は、物理パーティションではなく、VGA/USB/rKVMs 資源を割り当てた拡張パーティションで使用されます。

図 2.50 [IPv6 Console Redirection Setup] 画面

System

Partition

User Administration

Network Configuration

Maintenance

Logout

>Partition >Console Redirection Setup >IPv6 Console Redirection Setup

Power Control

Schedule

Console Redirection Setup

IPv4 Console Redirection

IPv6 Console Redirection

Partition Configuration

Partition#1 Extended Partition

Extended Socket Configuration

Reserved SB Configuration

Power Management Setup

Partition#0

Partition#1

IPv6 Console Redirection Setup

Click the Apply Button to apply all changes.

Note: For using Video Redirection and Virtual Media in Extended Partitioning, VGA/USB/rKVMs must be connected to the partition.

#	Partition Name	IP Address	Prefix Length	Video Redirection	Virtual Media
0	Partition#0	::	0	☐ Enable ☒ Disable	☐ Enable ☒ Disable
1	Partition#1	::	0	☐ Enable ☒ Disable	☐ Enable ☒ Disable
Automatic Acquisition		Auto			

Apply

Cancel

表 2.75 [IPv6 Console Redirection Setup] 画面の表示・設定項目

項目	内容
#	パーティションを識別するための番号を表示します。 0～3 Partition まで存在します。
Partition Name	パーティションに付けた名前を表示します。
IP Address	接続を許可する IPv6 用のグローバルアドレスを入力します。 自動取得した場合は、取得された IP アドレスを表示します。
Prefix Length	IPv6 用のプレフィックス長を入力します。 自動取得した場合は、取得されたプレフィックス長を表示します。
Video Redirection	ビデオリダイレクションが使用可能かどうかを設定します。 - Enable：ビデオリダイレクションを使用可能にします。 - Disable：ビデオリダイレクションを使用不可にします。 デフォルトは Disable です。 注意 拡張パーティションの場合、[Partition]→[Partition#x Extended Partitioning Configuration]→[SB]で VGA/USB/rKVMS を割り当て設定する必要があります。
Virtual Media	仮想メディアが使用可能かどうかを設定します。 - Enable：仮想メディアを使用可能にします。 - Disable：仮想メディアを使用不可にします。 デフォルトは Disable です。 注意 仮想メディアを使う場合は、ビデオリダイレクションを Enable に設定する必要があります。 拡張パーティションの場合、[Partition]→[Partition#x Extended Partitioning Configuration]→[SB]で VGA/USB/rKVMS を割り当て設定する必要があります。
Automatic Acquisition	IPv6 アドレスの自動取得を行う場合、[Auto] ボタンをクリックします。IP アドレスおよびプレフィックス長が自動取得され、上書きされます。

表 2.76 [IPv6 Console Redirection Setup] 画面のボタン

ボタン	内容
Auto	[Auto] ボタンをクリックすると、IP アドレスとプレフィックス長が自動取得されます。
Apply	[Apply] ボタンをクリックすると指定したパーティションのビデオリダイレクション、仮想メディアの設定が適用されます。
Cancel	[Cancel] ボタンをクリックすると、ビデオリダイレクション、仮想メディアの設定は適用されず、元の状態に戻ります。

(1) メニュー操作

[Partition] - [Console Redirection Setup] - [IPv6 Console Redirection Setup]

(2) 画面操作

1. IP アドレス、プレフィックス長を入力し、ビデオリダイレクション、仮想メディアを使用するかどうかを設定します。
2. [Apply] ボタンをクリックします。

2.4.4 [Partition Configuration] 画面

[Partition Configuration] 画面では、パーティションを構成する SB、IOUE の設定ができます。モデルより表示画面が異なり、PRIMEQUEST 3400E2/3400L2/3800E2/3800L2/3400E/3400L/3800E/3800L モデルの場合は、拡張パーティション番号の設定も本画面で行います。

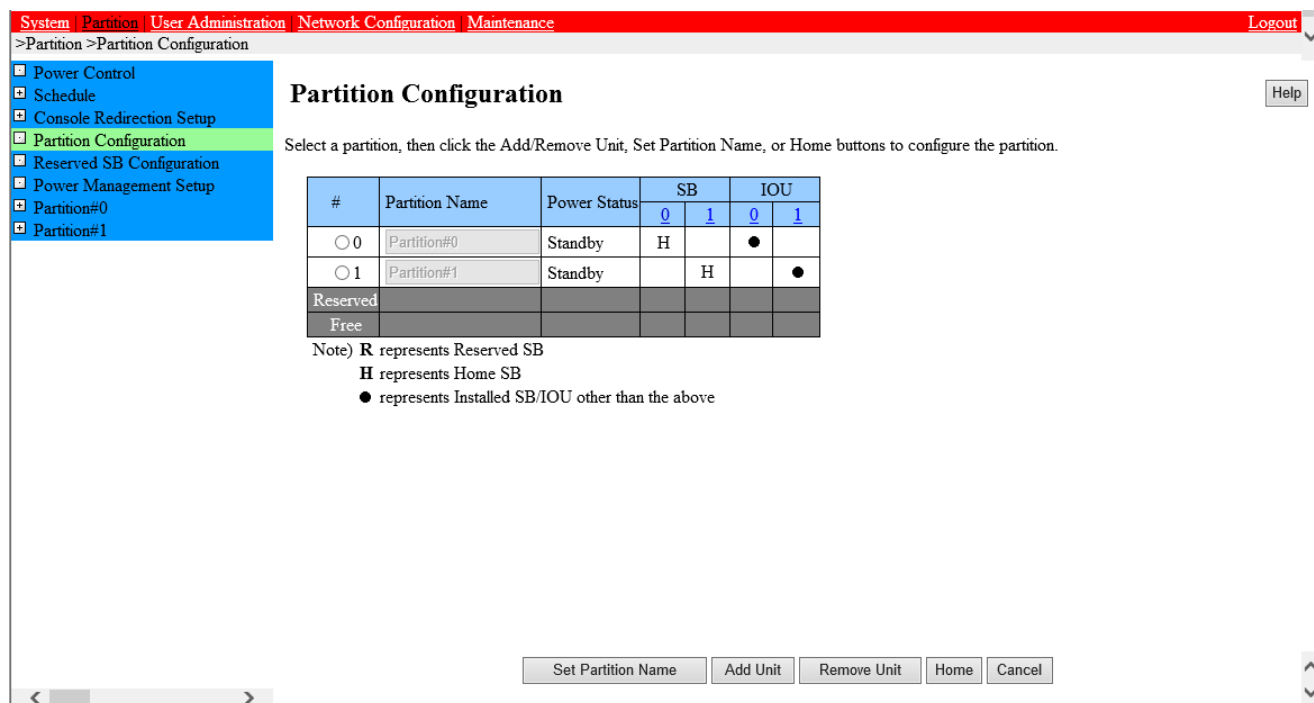
PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400S Lite/3400S の場合は、Partition は 0 と 1 のみ表示されます。

操作時の注意

- 拡張パーティションの変更を行う場合、複数 Web 画面を起動せず単一の Web 画面で変更してください。

[PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400S Lite/3400S モデル、拡張パーティションなしの場合]

図 2.51 [Partition Configuration] 画面 (拡張パーティションなし)



搭載されていない SB、IOUE の列は、背景色が灰色で表示されます。

[PRIMEQUEST 3400E2/3400L2/3800E2/3800L2/3400E/3400L/3800E/3800L モデル、拡張パーティションありの場合]

図 2.52 [Partition Configuration] 画面 (拡張パーティションあり)

Partition Configuration

Select a partition, then click the Add/Remove Unit, Set Partition Name, or Home buttons to configure the partition.

#	Partition Name	Power Status	SB				IOU				Extended Partitioning							
			0	1	2	3	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
○ 0	Partition#0	Standby	H				●					●						
○ 1	Partition#1	Standby		H			●					●						
● 2																		
● 3																		
Reserved																		
Free										●	●	●	●	●	●	●	●	●

Note) R represents Reserved SB
H represents Home SB
● represents Installed SB/IOU/Extended Partitioning other than the above

Set Partition Name Add Unit Remove Unit Home Cancel

搭載されていないSB、IOUE の列は、背景色が灰色で表示されます。設定するパーティションを左側のラジオボタンで選択し、設定する処理に対応するボタンを[Add Unit]、[Remove Unit]、[Home] から選びます。

Add Unit, Remove Unit ボタンの「Unit」は、SB, IOUE, また PRIMEQUEST

3400E2/3400L2/3800E2/3800L2/3400E/3400L/3800E/3800L モデルの場合は拡張パーティションを意味します。

SB/IOUE のリンクをクリックすると、それぞれ[SB#x] 画面、[IOU#x] 画面が表示されます。

保守モード (Hot Partition Maintenance、Warm System Maintenance または Cold System Maintenance) が設定されている場合、保守モードを設定したユーザー(保守者、Administrator 権限) 自身だけが操作可能です。保守対象外のパーティションを選択すると、メッセージが表示され操作ができません。

表 2.77 [Partition Configuration] 画面の表示・設定項目

項目	内容
#	パーティションを識別するための番号を表示します。 0～3Partition まで存在します。 PRIMEQUEST 3400E2/3400L2/3800E2/3800L2/3400E/3400L/3800E/3800L モデルの場合は拡張パーティションが追加されます。 パーティションに属さない SB/IOUE/Extended Partitioning は、以下のように表示します。 - Reserved : Reserved SB - Free : フリーSB/IOUE/Extended Partitioning
Partition Name	パーティションに付けた名前を表示、設定します。 名前は 16 文字まで入力可能です。 Partition Name には英数字、半角スペース、# (シャープ)、_ (アンダーライン)、- (ハイフン)を使用できます。 デフォルトは設定なしです。 拡張パーティションに付けた名前を表示、設定する画面は、「 2.4.5 [Partition #x Extended Partitioning Configuration]メニュー 」の「 2.4.5.1 [SB]画面 」です。
Power Status	パーティションの電源状態を表示します。 - On - Standby
SB	SB がどのパーティションに属しているかを表示します。
IOU	IOUE がどのパーティションに属しているかを表示します。
Extended Partitioning	PRIMEQUEST 3400E2/3400L2/3800E2/3800L2/3400E/3400L/3800E/3800L モデルの場合にのみ表示されます。 拡張パーティションがどのパーティションに属しているかを表示します。

表 2.78 [Partition Configuration] 画面のボタン

ボタン	内容
Set Partition Name	パーティションに名前を設定します。
Add Unit	ユニットを組み込むための[Add Unit] 画面を表示します。
Remove Unit	ユニットを削除するための[Remove Unit] 画面を表示します。
Home	パーティションの Home 設定をするための[Partition Home] 画面を表示します。
Cancel	情報は設定されず、元の状態に戻ります。

[Partition Configuration] 画面での操作方法を以下に説明します。

2.4.4.1 [Set Partition Name] ボタン

[Partition Name] の各セルにパーティション名を入力して、[Set Partition Name] ボタンをクリックすると、各パーティションに対する名前が設定されます。

2.4.4.2 [Add SB/IOU to Partition] または [Add SB/IOU/Extended Partitioning to Partition] 画面

モデルにより表示画面および表示条件が異なります。[Partition Configuration] 画面のラジオボタンでパーティションを選択して [Add Unit] ボタンをクリックすると、[Add SB/IOU to Partition] 画面または [Add SB/IOU/Extended Partitioning to Partition] 画面が表示されます。現在フリー状態である SB、IOUE、Extended Partitioning を選択し、指定されたパーティションに組み込みます。

[PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400S Lite/3400S モデルの場合]

図 2.53 [Add SB/IOU to Partition] 画面

The screenshot shows the 'Add SB/IOU to Partition' web interface. The top navigation bar includes 'System', 'Partition', 'User Administration', 'Network Configuration', and 'Maintenance'. The left sidebar menu has 'Partition Configuration' highlighted. The main content area is titled 'Add SB/IOU to Partition' and includes a 'Help' button. Below the title, there is a text instruction: 'Select an SB or IOU to add to the partition #0, then click the Apply Button.' A table lists available resources:

Free SB/IOU	Status	Note
☐ SB#0	OK	Number of CPUs = 2, Memory = 64 GB
☐ SB#1	OK	Number of CPUs = 2, Memory = 64 GB
☐ IOU#0	OK	Number of PCI-Express Slots = 4
☐ IOU#1	OK	Number of PCI-Express Slots = 4

At the bottom right, there are 'Apply' and 'Cancel' buttons.

[PRIMEQUEST 3400E2/3400L2/3800E2/3800L2/3400E/3400L/3800E/3800L モデルの場合]

図 2.54 [Add SB/IOU/Extended Partitioning to Partition] 画面

The screenshot shows the 'Add SB/IOU/Extended Partitioning to Partition' web interface. The top navigation bar includes links for System, Partition, User Administration, Network Configuration, and Maintenance. The left sidebar lists various configuration options, with 'Partition Configuration' highlighted. The main content area has the title 'Add SB/IOU/Extended Partitioning to Partition' and a 'Help' button. Below the title is a description: 'Select an SB or IOU or Extended Partitioning to add to the partition #1, then click the Apply Button.' A table lists available partitions with columns for 'Free SB/IOU/Extended Partitioning', 'Status', and 'Note'. The table includes options for SB#1, IOU#1 through IOU#3, and Extended Partitioning#4 through #11. At the bottom, there are 'Apply' and 'Cancel' buttons.

Free SB/IOU/Extended Partitioning	Status	Note
☐ SB#1	OK	Number of CPUs = 2, Memory = 512 GB
☐ IOU#1	OK	Number of PCI-Express Slots = 4
☐ IOU#2	OK	Number of PCI-Express Slots = 4
☐ IOU#3	OK	Number of PCI-Express Slots = 4
☐ Extended Partitioning#4	OK	
☐ Extended Partitioning#5	OK	
☐ Extended Partitioning#6	OK	
☐ Extended Partitioning#7	OK	
☐ Extended Partitioning#8	OK	
☐ Extended Partitioning#9	OK	
☐ Extended Partitioning#10	OK	
☐ Extended Partitioning#11	OK	

備考

各フリー SB、IOUE、Extended Partitioning の表示にはラジオボタンが付いていて、同時に複数選択はできません。

Memory Scale-up Board をパーティションに組み込む場合、1 つ以上の SB をパーティションに組み込む必要があります。

保守モード (Hot Partition Maintenance、Warm System Maintenance、または Cold System Maintenance) が設定されている場合、保守モードを設定したユーザー (保守者、または Administrator 権限) 自身だけが操作可能です。保守対象外のパーティションの場合は、メッセージが表示され、操作できません。

Dynamic Reconfiguration Mode が有効のパーティションに Memory Scale-up Board を組み込もうとした場合、メッセージダイアログが表示され、操作できません。

表 2.79 [Add SB/IOU/Extended Partitioning to Partition] 画面の表示・設定項目

項目	内容		
Free SB/IOU	フリーの状態(どのパーティションにも属していない状態) の SB/IOUE を表示します。 PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400S Lite/3400S モデルで利用可能です。		
Free SB/IOU/Extended Partitioning	フリーの状態(どのパーティションにも属していない状態) の SB/IOUE/Extended Partitioning を表示します。 PRIMEQUEST 3400E2/3400L2/3800E2/3800L2/3400E/3400L/3800E/3800L モデルで利用可能です。		
Status	SB/IOUE/Extended Partitioning の状態を表示します。		
Note	SB#x の場合	Number of CPUs	SB に搭載されている CPU の数を表示します。 Memory Scale-up Board の場合は表示されません。
		Memory	SB に搭載されているメモリ量を表示します。
	IOU#X の場合	Number of PCI-Express slots	IOUE の PCI-Express スロット数を表示します。
	Extended Partitioning#x の場合	表示なし。	

(1) メニュー操作

[Partition] - [Partition Configuration] - [Add Unit] ボタン

(2) 画面操作

1. パーティションに組み込みたい SB または IOUE、Extended Partitioning を選択し、[Apply] ボタンをクリックします。
確認のダイアログボックスが表示されます。
2. [OK] ボタンをクリックします。
SB または IOUE、Extended Partitioning が組み込まれます。
3. [Apply] または[Cancel] ボタンをクリックします。
[Partition Configuration] 画面に戻ります。

2.4.4.3 [Remove SB/IOU from Partition] または [Remove SB/IOU/Extended Partitioning from Partition] 画面

モデルにより表示画面および表示条件が異なります。[Partition Configuration] 画面のラジオボタンでパーティションを選択し、[Remove Unit] ボタンをクリックすると[Remove SB/IOU from Partition] 画面または[Remove SB/IOU/Extended Partitioning from Partition] 画面が表示されます。指定されたパーティションから SB、IOUE、Extended Partitioning を選択し、取り外せます。

[PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400S Lite/3400S モデルの場合]

図 2.55 [Remove SB/IOU from Partition] 画面

System Partition **User Administration** Network Configuration Maintenance Logout

>Partition >Partition Configuration

Power Control
Schedule
Console Redirection Setup
Partition Configuration
Reserved SB Configuration
Power Management Setup
Partition#0
Partition#1

Remove SB/IOU from Partition

Help

Select an SB or IOU to remove from the partition #0, then click the Apply Button.

SB/IOU	Status	Note
☐ IOU#1	OK	Number of PCI-Express Slots = 4

Apply Cancel

[PRIMEQUEST 3400E2/3400L2/3800E2/3800L2/3400E/3400L/3800E/3800L モデルの場合]

図 2.56 [Remove SB/IOU/Extended Partitioning from Partition] 画面

System Partition User Administration Network Configuration Maintenance Logout

>Partition >Partition Configuration

Power Control
Schedule
Console Redirection Setup
Partition Configuration
Extended Socket Configuration
Reserved SB Configuration
Power Management Setup
Partition#0
Partition#1

Remove SB/IOU/Extended Partitioning from Partition

Help

Select an SB or IOU or Extended Partitioning to remove from the partition #1, then click the Apply Button.

SB/IOU/Extended Partitioning	Status	Note
☐ SB#1	OK	Number of CPUs = 2, Memory = 512 GB
☐ IOU#1	OK	Number of PCI-Express Slots = 4

Apply Cancel

保守モード (Hot Partition Maintenance、Warm System Maintenance、または Cold System Maintenance)が設定されている場合、保守モードを設定したユーザー(保守者、Administrator 権限) 自身だけが操作可能です。保守対象外のパーティションの場合は、メッセージが表示され、操作できません。

表 2.80 [Remove SB/IOU/Extended Partitioning to Partition] 画面の表示・設定項目

項目	内容		
SB/IOU	パーティションに属している SB/IOUE を表示します。 PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400S Lite/3400S モデルで利用可能です。		
SB/IOU/Extended Partitioning	パーティションに属している SB/IOUE/Extended Partitioning を表示します。 PRIMEQUEST 3400E2/3400L2/3800E2/3800L2/3400E/3400L/3800E/3800L モデルで利用可能です。		
Status	SB/IOUE/Extended Partitioning の状態を表示します。		
Note	SB#x の場合	Number of CPUs	SB に搭載されている CPU の数を表示します。 Memory Scale-up Board の場合は表示されません。
		Memory	SB に搭載されているメモリ量を表示します。
	IOU#x の場合	Number of PCI-Express slots	IOUE の PCI-Express スロット数を表示します。
	Extended Partitioning#x の場合	表示なし。	

(1) メニュー操作

[Partition] - [Partition Configuration] - [Remove Unit] ボタン

(2) 画面操作

1. パーティションから取り外したい SB または IOUE、Extended Partitioning を選択し、[Apply] ボタンをクリックします。
確認のダイアログボックスが表示されます。
2. [OK] ボタンをクリックします。
SB または IOUE、Extended Partitioning が取り外されます。
3. [Apply] または [Cancel] ボタンをクリックします。
[Partition Configuration] 画面に戻ります。

2.4.4.4 [Partition Home] 画面

[Partition Configuration] 画面のラジオボタンでパーティションを選択して[Home] ボタンをクリックすると、[Partition Home] 画面が表示されます。

図 2.57 [Partition Home] 画面

System Partition User Administration Network Configuration Maintenance Logout

>Partition >Partition Configuration

Power Control
Schedule
Console Redirection Setup
Partition Configuration
Extended Socket Configuration
Reserved SB Configuration
Power Management Setup
Partition#0
Partition#1

Partition Home

Help

Select a Home SB for the partition #0, then click the Apply Button.

SB	Status
☒ SB#0	OK

Apply Cancel

1. Home SB にする SB をラジオボタンで選択します。
Home 設定されている SB(Memory Scale-up Board を除く)に限り、未実装の場合、背景色が灰色で表示されます。灰色で表示されている行のラジオボタンから灰色で表示されていない行のラジオボタンへの変更は可能ですが、いったん灰色で表示の行から選択が外れると、再度元のラジオボタンは選択できません。
Home SB 未設定時は、デフォルトとしてパーティションに最初に組み込まれた SB(Memory Scale-up Board を除く)が Home となります。ただし、Home SB が Remove されたり縮退した場合には、最も小さい番号の SB(Memory Scale-up Board を除く)が Home SB になります。
2. [Apply] ボタンをクリックします。
確認ダイアログボックスが表示されます。
3. 処理を継続する場合は[OK] ボタンをクリックします。キャンセルする場合は[Cancel] ボタンをクリックします。
4. [Apply] または[Cancel] ボタンをクリックします。
[Partition Configuration] 画面に戻ります。
[Apply] ボタンをクリックしたときに対象パーティションの電源がオンの場合は、[Home] の変更はできません。警告ダイアログボックスが表示されます。

2.4.5 [Partition #x Extended Partitioning Configuration]メニュー

この画面は PRIMEQUEST 3400E2/3400L2/3800E2/3800L2/3400E/3400L/3800E/3800L で利用可能です。

[Partition#x Extended Partitioning Configuration] メニューには、[SB]、[IOU]、[PCI_Box] の画面があります。ここではこれらの画面と操作について説明します。

Partition#x Extended Partitioning Configuration メニューは、Partition → Partition#x → Mode で物理パーティションの Extended Partitioning Mode を Enable 設定にした場合に表示され、拡張パーティションの構成変更が可能になります。

注意

- 拡張パーティションは、DCPMM をサポートしません。

操作時の注意

- パーティションの Power On 中の構成変更(設定)は行わないでください。
- 拡張パーティションの変更を行う場合、複数 Web 画面を起動せず単一の Web 画面で変更してください。

2.4.5.1 [SB]画面

Partition#x Extended Partitioning Configuration → SB メニューを選択すると、拡張パーティションに対する SB の資源割り当て設定画面が表示されます。

図 2.58 [Extended Partitioning Configuration of SB Resources] 画面

System **Partition** **User Administration** **Network Configuration** **Maintenance** **Logout**

>Partition >Partition#0 Extended Partition Configuration >SB

Extended Partition Configuration of SB Resources Help

Specify Partition Name, Number of CPU CORE (directly or by clicking SKT +/- buttons), Memory GB (directly or by clicking DIMM +/- buttons), or select radio buttons of other SB resources. To select DIMM EXCL option, check the "Memory EXCL" check box. To select SKT Binding option, check "SKT Binding" check box. After changing configurations, click "Apply" button.

Note: Only home SB has the following hardware resources to be configured to Extended Partitioning.

1. VGA/USB/rKVMS (inseparable)
Onboard VGA port, Onboard USB ports, Remote KVM and Storage.
2. M.2
Onboard M.2.

#	Partition Name	Power Status	CPU		Memory			SKT Binding	Home SB	
			SKT	CORE	DIMM	GB	EXCL		VGA/USB/rKVMS	M.2
4	EP#4	Standby	+ -	0	+ -	0	☐	☐	☒	☒
Free				47		30			☐	☐

Apply Cancel

Partition Name を入力し、「Apply」ボタンをクリックすると、指定した拡張パーティションに対して名前が設定されます。

割り当てたい CPU コア数を直接入力するか、CPU SKT +/- ボタンで CPU コア数をソケット単位で入力し、「Apply」ボタンをクリックすると、指定した拡張パーティションに対して割り当てる CPU コア数が設定されます。

拡張パーティションのファームウェアは、拡張パーティションの性能に影響を与えずに共通部の管理を独立して行うために、1 コアを占有します。

そのため、拡張パーティションに割り当て可能な CPU コア数は、拡張パーティションの親となる物理パーティションの全 CPU コア数 - 1 となります。

割り当てたいメモリを GB 単位で直接入力するか、Memory DIMM +/- ボタンで Memory GB 数をメモリグループ（指定した拡張パーティション内で最大容量の DIMM2 枚分）単位で入力し、「Apply」ボタンをクリックすると、指定した拡張パーティションに対して割り当てるメモリが設定されます。

1 つまたは複数の Partition に対して、Memory EXCL チェックボックスにチェックを入れて「Apply」ボタンをクリックすると、チェックを入れた拡張パーティションに対して DIMM を排他的に割り当て、他の拡張パーティションと物理 DIMM を共有しないようになります。排他的の単位は、ある CPU ソケット配下の全 DIMM 容量ですが、OS が使用できるのは、GB 単位で指定された容量になります。

SKT Binding チェックボックスにチェックを入れて「Apply」ボタンをクリックすると、チェックを入れた拡張パーティションに対して割り当てる CPU を 2 ソケットに固定し、コア数とその CPU の配下のメモリを割り当てます。

VGA/USB/rKVMS、M.2 の割り当てをラジオボタンで選択し、「Apply」ボタンをクリックすると、指定した Partition に対して資源が割り当てられます。

VGA/USB/rKVMS の変更時、VGA/USB/rKVMS を割り当てない運用をユーザーに促すためにメッセージダイアログ (I_00604) を表示します。

CPU CORE、Memory GB はフリーが 0 になるとそれ以上割り当てることはできません。

同じ物理パーティション上に複数の拡張パーティションが存在している場合、Power On している拡張パーティションの Partition Name 以外の設定変更はできません。Power On していない拡張パーティションでは設定変更が可能です。

分割元の物理パーティションが保守中には Partition Name 以外の設定変更はできません(エラーメッセージを表示します)。

「Cancel」ボタンをクリックした場合は、処理をキャンセルし、変更内容は破棄されます。

Apply または Cancel ボタンをクリックして、Partition Configuration ページに戻ります。

縮退されている CPU コアおよびメモリはフリーから減らして表示されます。フリーの総量を超える資源が縮退された場合、フリーは 0 と表記されます。

この場合、資源は若番の拡張パーティションから優先的に割り当てられます。

そのため、老番のパーティションでは設定した資源が割り当てられない可能性があります。

分割元の物理パーティションの Memory Operation Mode を「Normal Mode」にした状態で拡張パーティションにメモリを割り当てた後、「Full Mirror Mode」、「Spare Mode」のいずれかに変更した場合も拡張パーティションに割り当てられる Memory が減少し、老番のパーティションでは設定した資源が割り当てられない可能性があります。その場合は再設定してください。

動作している Memory Operation Mode によって、Memory DIMM +/- ボタンで自動的に増減するメモリ容量は物理パーティション内で最大容量の DIMM2 枚分の容量です。

表 2.81 メモリ割り当て粒度

Memory Operation Mode	Lockstep Mode	Memory の割り当て粒度 (※)	備考																																								
Normal Mode (デフォルト設定)	Enable (デフォルト設定)	Partition 内で最大容量の DIMM2 枚分の容量	割り当て可能な総容量は実際の容量から 2GB 引いた値になります。																																								
	Disable																																										
Full Mirror Mode	Disable		割り当て可能な総容量は実際の容量の半分から 2GB 引いた値になります。																																								
Address Range Mirror Mode	Disable		拡張パーティションのファームウェアは、4GB のメモリを使用するため、パーティションに割り当て可能な Memory の総容量は実際の容量から 4GB 引いた値になります。																																								
Spare Mode	Disable		割り当て可能な総容量は各チャンネル毎(*)の容量を計算し、各チャンネルの容量の合計値から 2GB 引いた値になります。 各チャンネルの容量は、以下の計算になります。 チャンネルに同一容量、かつ、同一 RANK 数の DIMM を搭載している場合 [LRDIMM(3DS)、RDIMM(3DS)、RDIMM の場合] 1RANK の DIMM の場合、または、2RANK 以上の DIMM、かつ、Memory Sparing Mode が Auto の場合は、実際の容量の 1/2 になります。 2RANK 以上の DIMM、かつ、Memory Sparing Mode が 1RANK の場合は、実際の容量の 3/4 になります。 [LRDIMM の場合] Memory Sparing Mode が Auto の場合は、実際の容量の 3/4 になります。 Memory Sparing Mode が 1RANK の場合は、実際の容量の 7/8 になります。 チャンネルに同一容量、かつ、同一 RANK 数の DIMM を搭載していない場合、実際の容量は、下記の表の数値倍になります。 [LRDIMM(3DS)の場合] <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">搭載 DIMM スロット</th><th colspan="2">Memory Sparing Mode</th></tr> <tr> <th>xx0</th><th>xx1</th><th>1RANK</th><th>Auto</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>256GB 8R</td><td>128GB 8R</td><td>2/3</td><td>1/3</td></tr> <tr> <td>256GB 8R</td><td>64GB 4R</td><td>3/5</td><td>1/5</td></tr> <tr> <td>128GB 8R</td><td>64GB 4R</td><td>2/3</td><td>1/3</td></tr> </tbody> </table> [RDIMM(3DS)の場合] <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">搭載 DIMM スロット</th><th colspan="2">Memory Sparing Mode</th></tr> <tr> <th>xx0</th><th>xx1</th><th>1RANK</th><th>Auto</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>256GB 8R</td><td>128GB 8R</td><td>2/3</td><td>1/3</td></tr> <tr> <td>256GB 8R</td><td>64GB 4R</td><td>3/5</td><td>1/5</td></tr> <tr> <td>128GB 8R</td><td>64GB 4R</td><td>2/3</td><td>1/3</td></tr> </tbody> </table>	搭載 DIMM スロット		Memory Sparing Mode		xx0	xx1	1RANK	Auto	256GB 8R	128GB 8R	2/3	1/3	256GB 8R	64GB 4R	3/5	1/5	128GB 8R	64GB 4R	2/3	1/3	搭載 DIMM スロット		Memory Sparing Mode		xx0	xx1	1RANK	Auto	256GB 8R	128GB 8R	2/3	1/3	256GB 8R	64GB 4R	3/5	1/5	128GB 8R	64GB 4R	2/3	1/3
搭載 DIMM スロット		Memory Sparing Mode																																									
xx0	xx1	1RANK	Auto																																								
256GB 8R	128GB 8R	2/3	1/3																																								
256GB 8R	64GB 4R	3/5	1/5																																								
128GB 8R	64GB 4R	2/3	1/3																																								
搭載 DIMM スロット		Memory Sparing Mode																																									
xx0	xx1	1RANK	Auto																																								
256GB 8R	128GB 8R	2/3	1/3																																								
256GB 8R	64GB 4R	3/5	1/5																																								
128GB 8R	64GB 4R	2/3	1/3																																								

		[LRDIMM の場合]	
搭載 DIMM スロット		Memory Sparing Mode	
xx0	xx1	1RANK	Auto
128GB 4R	64GB 4R	5/6	2/3
		[RDIMM の場合]	
搭載 DIMM スロット		Memory Sparing Mode	
xx0	xx1	1RANK	Auto
64GB 2R	32GB 2R	2/3	1/3
64GB 2R	16GB 2R	3/5	1/5
64GB 2R	16GB 1R	3/5	3/5
64GB 2R	8GB 1R	5/9	5/9
32GB 2R	16GB 2R	2/3	1/3
32GB 2R	16GB 1R	2/3	2/3
32GB 2R	8GB 1R	3/5	3/5
16GB 2R	16GB 1R	1/2	1/2
16GB 2R	8GB 1R	2/3	2/3
16GB 1R	8GB 1R	1/3	1/3

*)同一チャネルのメモリは、0A0、0A1 のように末尾の数字だけが異なるスロットに搭載したメモリのことです。

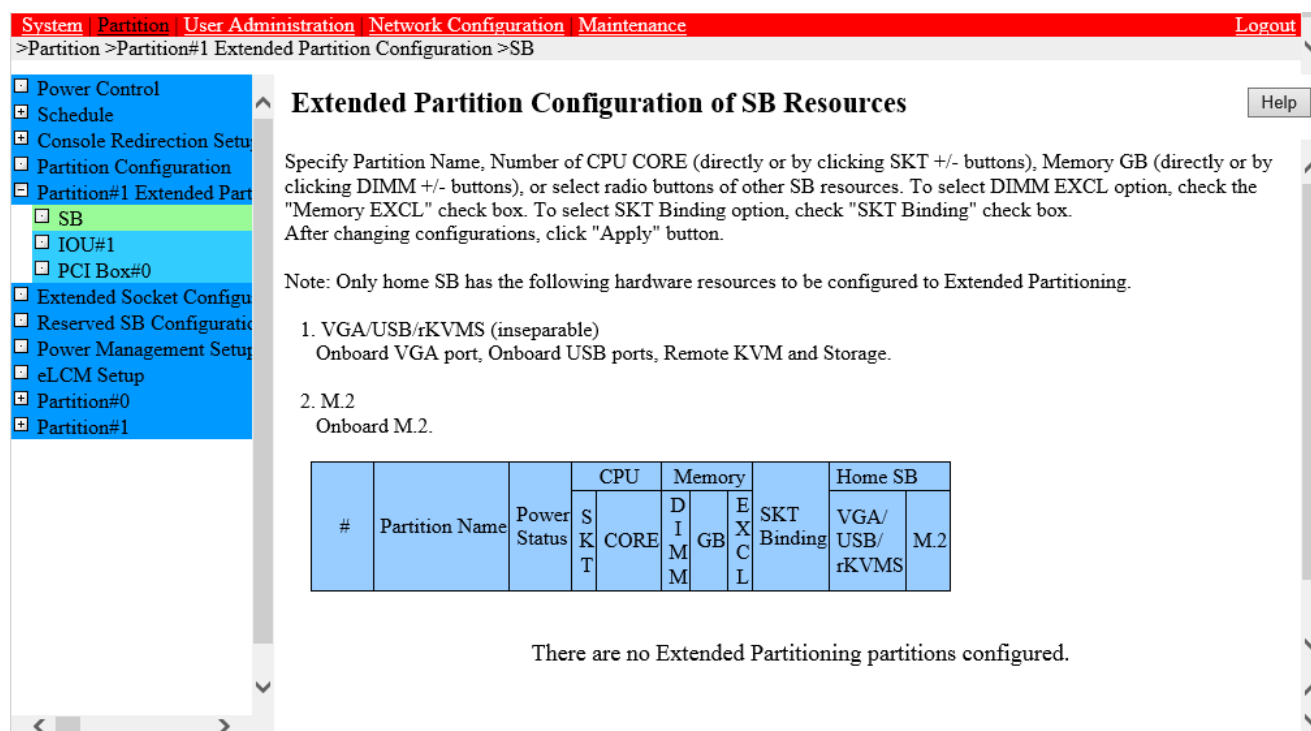
- Memory EXCL 有効時に DIMM を混載すると端数の DIMM が発生した場合にその DIMM が使用されなくなるため、EXCL 有効時は DIMM を混載しないことを推奨します。
- 拡張パーティションのファームウェアでメモリを 2GB 使用するため、拡張パーティションに割り当て可能なメモリの総容量はその分少なくなります。

表 2.82 [Extended Partitioning Configuration of SB Resources] 画面の表示・設定項目

項目	内容
#	拡張パーティションを識別するための番号を表示します。 物理パーティションに割り当てられた拡張パーティション番号だけを表示します。
Partition Name	拡張パーティションに付けた名前を表示、設定します。 名前は 16 文字まで入力可能です。 Partition Name には英数字、半角スペース、#(シャープ)、_(アンダーライン)、-(ハイフン)を使用できます。 (参考) OS 上で設定する Host Name と同じ名前を設定すると分かり易いです。 デフォルト値：Partition Name のデフォルトは設定なしです。 パーティションに付けた名前を表示、設定する画面は、「 2.4.4 [Partition Configuration] 画面 」です。
Power Status	パーティションの電源状態を表示します。 ・ On ・ Standby
CPU SKT	拡張パーティションに割り当てる CPU Core を Socket 単位で増減させるボタンを表示します。 ・ "+" は CPU Socket 単位で CPU Core の値を増やします。 ・ "-" は CPU Socket 単位で CPU Core の値を減らします。
CPU CORE	拡張パーティションにいくつの CPU Core を割り当てているかを表示、設定します。 拡張パーティションのファームウェアが、拡張パーティションの性能に影響を与えることなく、共有部の管理を独立して行うには 1 コアを占有する必要があるため、拡張パーティションに割り当て可能な CPU の総 Core 数は 1 コア少なくなります。
Memory DIMM	拡張パーティションに割り当てる Memory を DIMM グループ単位で増減させるボタンを表示します。 ・ "+" は DIMM グループ単位で Memory GB の値を増やします。 ・ "-" は DIMM グループ単位で Memory GB の値を減らします
Memory GB	拡張パーティションに何 GB の Memory を割り当てているかを表示、設定します。 割り当て可能な Memory の総容量は上記表の備考欄を参照ください。
Memory EXCL	DIMM 排他割り当てモードを設定します。 故障時の影響範囲を一つの Partition に限定するため、拡張パーティションに対して DIMM を排他的に割り当てる Option を選択します。本 Option を選択した場合、Memory GB で指定された値が DIMM グループ単位の容量に対して少ないときは DIMM グループ単位で切り上げた容量が割り当てられます。ただし、OS には指定された容量だけを見せます。
SKT Binding	CPU ソケット固定割り当てモードを設定します。 CPU Socket 数に応じて課金するライセンス体系のソフトウェアに対応するため、ある 2CPU Socket とその配下の DIMM からのみ CPU、Memory 資源を割り当てる(Partition 排他ではありません)。本 Option を選択した場合、CPU Core や Memory GB で指定された値が実際の資源を上回る場合、実際に存在する資源のみが割り当てられます。
Home SB (VGA/USB/rKVMs)	Home SB の VGA/USB/rKVMs(オンボード VGA Port, オンボード USB Port, Remote KVMs) がどの拡張パーティションに属しているかを表示、設定します。
Home SB(M.2)	Home SB の M.2 がどの拡張パーティションに属しているかを表示、設定します。
Free	どの拡張パーティションにも割り当てられていない資源を表します。

Partition→Partition Configuration 画面で拡張パーティション番号が割り当てられていない場合は、以下の画面を表示します。

図 2.59 [Extended Partitioning Configuration of SB Resources] (拡張パーティション割り当てなし)画面



(1) メニュー操作

[Partition] - [Partition#n Extended Partitioning Configuration] - [SB] ボタン

(2) 画面操作

1. “Partition Name” の変更、“CPU CORE”、“Memory GB” 割り当ての変更、“Memory EXCL”、“SKT Binding” オプションの変更、“VGA/USB/Remote KVMs”、“M.2” 割り当ての変更を行う場合は、各設定を変更後、[Apply] ボタンをクリックします。
確認のダイアログボックスが表示されます。
2. [OK] ボタンをクリックします。
資源の割当が変更されます。
3. [Apply] または[Cancel] ボタンをクリックします。
[Extended Partitioning Configuration of SB Resources] 画面に戻ります。

2.4.5.2 [IOU]画面

[Partition#x Extended Partitioning Configuration] - [IOU#] ページを選択すると、拡張パーティションに対する IOUE の資源割り当て設定画面が表示されます。

図 2.60 [Extended Partitioning Configuration of IOU Resources]

System | Partition | User Administration | Network Configuration | Maintenance | Logout

>Partition >Partition#3 Extended Partition Configuration >IOU#3

Power Control
Schedule
Console Redirection Setup
Partition Configuration
Partition#3 Extended Partitio
SB
IOU#3
Extended Socket Configurati
Reserved SB Configuration
Power Management Setup
Partition#0
Partition#3
Partition#4
Partition#5

Extended Partition Configuration of IOU Resources

Select radio button for the partition, then click "Apply" button.

#	Partition Name	Power Status	CPU Cores	Memory GB	IOU#3					
					Onboard LAN	PCI Slot #0	PCI Slot #1	PCI Slot #2	PCI Slot #3	Disk Unit M
4		Standby	28	32	☒	☒	☒	☒	☐	☒
5		Standby	4	16	☐	☐	☐	☐	☒	☐
Free			23	14	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Apply Cancel

オンボード LAN、PCI Slot#0～3、DU、DU_M の割り当てをラジオボタンで選択し、「Apply」ボタンをクリックすると、指定したパーティションに対して資源が割り当てられます。

CPU Cores、Memory GB は表示のみされます。

「Cancel」ボタンをクリックした場合は、処理をキャンセルします。

PCI スロット#2、#3 に PCI ボックスを接続するための PCNC が搭載された場合は背景色を灰色で表示し、操作を抑止します。

DU、DU_M が搭載されていない、もしくはカードが搭載されていない場合は背景色を灰色で表示し、操作を抑止します。

拡張パーティションが Power On 中もしくは分割元の物理パーティションが保守中には設定変更できません(エラーメッセージを表示します)。

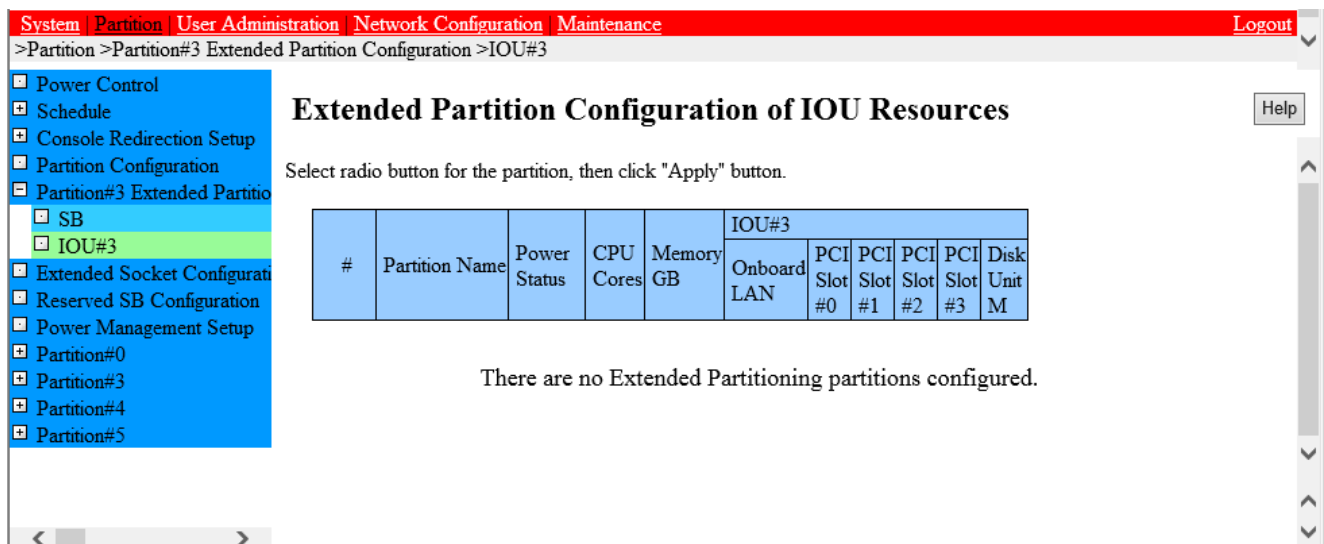
IOUE のいずれかの資源を割り当てた場合、拡張パーティションにはその IOUE の全 PCI スロットを見せますが、ラジオボタンで選択していない PCI スロットは、空きスロットとして見えます。

表 2.83 [Extended Partitioning Configuration of IOU Resources] 画面の表示・設定項目

項目		内容
#		拡張パーティションを識別するための番号を表示します。 物理パーティションに割り当てられた拡張パーティション番号だけを表示します。
Partition Name		拡張パーティションに付けた名前を表示します。
Power Status		パーティションの電源状態を表示します。 ・ On ・ Standby
CPU CORE		拡張パーティションにいくつの CPU Core を割り当てているかを表示します。
Memory GB		拡張パーティションに何 GB の Memory を割り当てているかを表示します。
IOU#x	Onboard LAN	IOUE のオンボード LAN がどの拡張パーティションに属しているかを表示、設定します。
	PCI Slot #y	IOUE の PCI Slot#y がどの拡張パーティションに属しているかを表示、設定します。
	Disk Unit	IOUE の DU がどの拡張パーティションに属しているかを表示、設定します。
	Disk Unit M	IOUE の DU_M がどの拡張パーティションに属しているかを表示、設定します。

Partition→Partition Configuration 画面で拡張パーティション番号が割り当てられていない場合は、以下の画面を表示します。

図 2.61 [Extended Partitioning Configuration of IOU Resources] (拡張パーティション割り当てなし)画面



(1) メニュー操作

[Partition] - [Partition#n Extended Partitioning Configuration] - [IOU#] ボタン

(2) 画面操作

1. 割り当てたい資源のラジオボタンでパーティションを選択し「Apply」ボタンをクリックします。
確認のダイアログボックスが表示されます。
2. [OK] ボタンをクリックします。
資源の割当が変更されます。
3. [Apply] または[Cancel] ボタンをクリックします。
[Extended Partitioning Configuration of IOU Resources] 画面に戻ります。

2.4.5.3 [PCI Box]画面

選択可能な場合に、Partition#x Extended Partitioning Configuration → PCI Box# ページを選択すると、拡張パーティションに対する PCI ボックスの資源割り当て設定画面が表示されます。

図 2.62 [Extended Partitioning Configuration of PCI Box Resources] 画面

#	Partition Name	Power Status	CPU Cores	Memory GB	PCI Box#0					
					PCI Slot #6	PCI Slot #7	PCI Slot #8	PCI Slot #9	PCI Slot #10	PCI Slot #11
4	EP#4	Standby	0	0	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Free			47	30	☐	☐	☐	☐	☐	☐

PCI スロットの割り当てをラジオボタンで選択し、「Apply」ボタンをクリックすると、指定したパーティションに対して資源が割り当てられます。

IOUE の PCI スロット #2、#3 に PCI ボックスを接続するための PCNC が搭載された場合、PCNC 一枚当たり 6PCI スロットの割り当てが可能になります。

CPU Cores、Memory GB は表示のみとなります。

「Cancel」ボタンをクリックした場合は、処理をキャンセルします。

拡張パーティションが Power On 中もしくは分割元の物理パーティションが保守中には設定変更できません(エラーメッセージを表示します)。

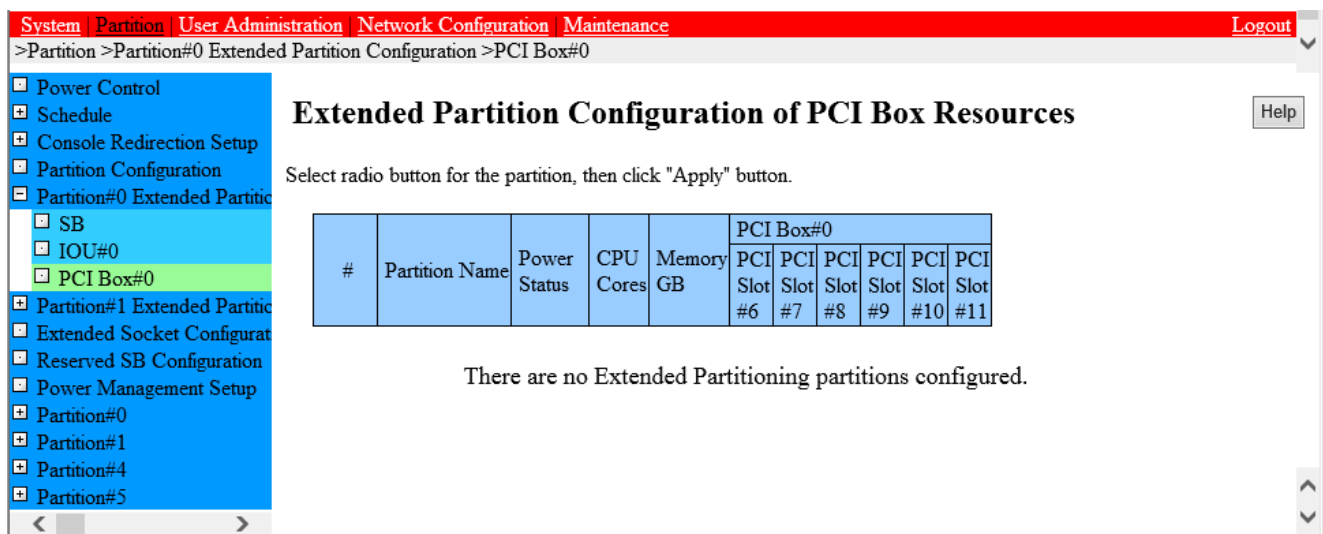
PCI ボックスの PCI スロットを割り当てた場合、拡張パーティションにはその PCI スロットが接続された PCNC の配下の全 PCI スロットを見せますが、ラジオボタンで選択していない PCI スロットは空きスロットとして見えます。

表 2.84 [Extended Partitioning Configuration of PCI Box Resources] 画面の表示・設定項目

項目	内容
#	拡張パーティションを識別するための番号を表示します。 物理パーティションに割り当てられた拡張パーティション番号だけを表示します。
Partition Name	拡張パーティションに付けた名前を表示します。
Power Status	パーティションの電源状態を表示します。 ・ On ・ Standby
CPU CORE	拡張パーティションにいくつの CPU Core を割り当てているかを表示します。
Memory GB	拡張パーティションに何 GB の Memory を割り当てているかを表示します。
PCI Box#x (PCI Slot#y)	PCI Box#x の PCI Slot#y がどの拡張パーティションに属しているかを表示、設定します。

Partition→Partition Configuration 画面で拡張パーティション番号が割り当てられていない場合は、以下の画面を表示します。

図 2.63 [Extended Partitioning Configuration of PCI Box Resources] (拡張パーティション割り当てなし) 画面



(1) メニュー操作

[Partition] - [Partition#n Extended Partitioning Configuration] - [PCI Box#] ボタン

(2) 画面操作

1. 割り当てたい資源のラジオボタンでパーティションを選択し「Apply」ボタンをクリックします。
確認のダイアログボックスが表示されます。
2. [OK] ボタンをクリックします。
資源の割当が変更されます。
3. [Apply] または[Cancel] ボタンをクリックします。
[Extended Partitioning Configuration of PCI Box Resources] 画面に戻ります。

2.4.6 [Extended Socket Configuration] 画面

[Extended Socket Configuration] 画面では、Extended Socket に関する設定ができます。
この画面は PRIMEQUEST 3400E2/3400L2/3800E2/3800L2/3400E/3400L/3800E/3800L で利用可能です。

備考

- Extended Socket の変更を行う場合、複数 Web 画面を起動せず単一の Web 画面で変更してください。

図 2.64 [Extended Socket Configuration] 画面

#	P#	Power Status	Extended Socket	Zone#									
				none	0	1	2	3	4	5	6	7	
4	0	Standby	Disabled	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
5	1	Standby	Disabled	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

ラジオボタンで Zone の設定変更後、「Apply」ボタンをクリックすると、Zone 設定が反映されます。
本設定は拡張パーティションの電源が On でも変更可能です。

拡張パーティション間の Zone の共有は、分割元が同一の物理パーティションの場合のみ可能です。設定しようとした Zone が、別の物理パーティションを分割元に持つ拡張パーティションの Zone に既に設定されていた場合、設定変更はできません。

表 2.85 [Extended Socket Configuration] 画面の表示・設定項目

項目	内容
#	拡張パーティションを識別するための番号を表示します。 物理パーティション に割り当てられた拡張パーティション番号だけを表示します。
P#	拡張パーティションの分割元の物理パーティション番号を表示します。この番号が一致する拡張パーティション間でのみ、共通の Zone が設定可能です。
Power Status	パーティションの電源状態を表示します。 ・ On ・ Standby
Extended Socket	Extended Socket が有効かどうかを表示します。 ・ Enabled ・ Disabled
Zone#	拡張パーティションの Zone を選択します。 接続先の Zone は、Zone0～Zone7 まであり、拡張パーティション毎に、1 個の Zone を選択可能です。Zone の選択はラジオボタンで選択します。Zone を割り当てない場合は none を選択します。 デフォルトは none です。 Extended Socket が disable の時はグレースアウトされ、操作できません。

Partition → Partition Configuration 画面で拡張パーティション番号が割り当てられていない場合は、以下の画面を表示します。

図 2.65 [Extended Socket Configuration] 画面のエラー表示

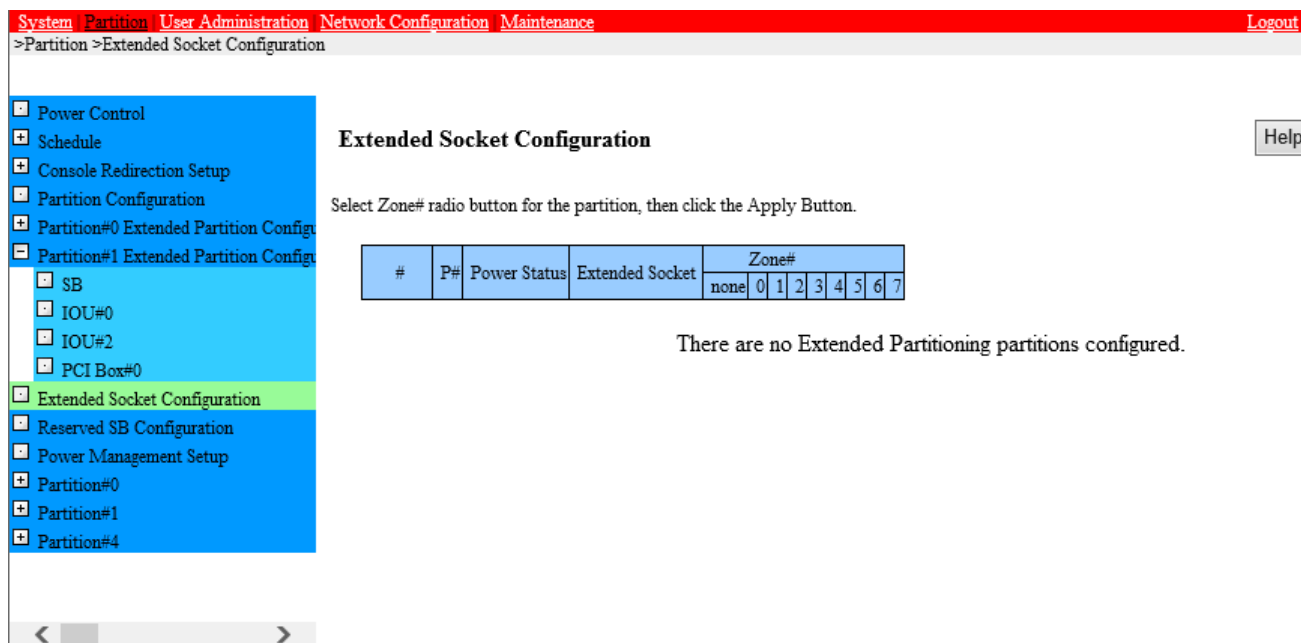


表 2.86 [Extended Socket Configuration] 画面のボタン

ボタン	内容
Apply	Extended Socket Configuration の設定を変更します。
Cancel	Extended Socket Configuration の設定は変更されず元の状態に戻ります。

- (1) メニュー操作
 - [Partition] - [Extended Socket Configuration]
- (2) 画面操作
 - 1. Extended Socket Configuration の設定変更を行う項目の設定を行い、[Apply] ボタンをクリックします。
Zone が設定されます。

2.4.7 [Reserved SB Configuration] 画面

[Reserved SB Configuration] 画面では、パーティションに対して、Reserved SB を設定できます。

Reserved SB とは、パーティションに組み込まれている SB (Memory Scale-up Board を除く) 内にハードウェア故障が発生してその SB を切り離した場合、切り離した SB の代わりに新たにパーティションに組み込まれる SB です。

図 2.66 [Reserved SB Configuration] 画面

#	Partition Name	Power Status	Mirror Mode (setting)	SB			
				0	1	2	3
0	Partition#0	Standby	Disable	●			
1	Partition#1	Standby	Disable		●		
2			Disable				
3			Disable				
Reserved							
Free							

搭載されていない SB 又は、Memory Scale-up Board の場合はグレーアウトします。

TPM 機能を使用するパーティションには、Reserved SB の設定は行えません。

DCPMM を搭載した SB、DCPMM を搭載した SB を含むパーティションには、Reserved SB の設定は行えません。

搭載条件を満たさない場合はメッセージが表示され、Reserved SB 設定はできません。

パーティションに設定されている Memory Operation Mode の要件を満たさない DIMM 構成の SB を、Reserved SB に設定しようとした場合、確認のダイアログボックスが表示されます。確認のダイアログボックスには、Reserved SB に切り替わったときに Memory Operation Mode が変更される旨の警告メッセージが表示され、Reserved SB の設定を続けるかどうか確認されます。

1 つのパーティションに複数の Reserved SB が登録されている場合は、SB 番号の小さい順に Reserved SB として機能します。

■ Reserved SB 設定における注意事項

[Partition] - [Reserved SB Configuration] 画面では、存在しないパーティションにも Reserved SB を設定することができます。誤設定にご注意ください。Reserved SB が設定したいパーティションに正しく設定できているか確認してください。

例： パーティション#1 に SB および IOU 資源が割り当てられていないケース。

[Partition] - [Partition Configuration] 画面では、パーティション#1 は SB および IOU が割り当てられておらず、存在していません。

#	Partition Name	Power Status	SB		IOU	
			0	1	0	1
0		On	H		●	●
1		On	H			
Reserved						
Free						

Note) R represents Reserved SB
H represents Home SB
● represents Installed SB/IOU other than the above

[Partition] - [Reserved SB Configuration] 画面では、SB#0 を存在しないパーティション#1 の Reserved SB として設定できます。

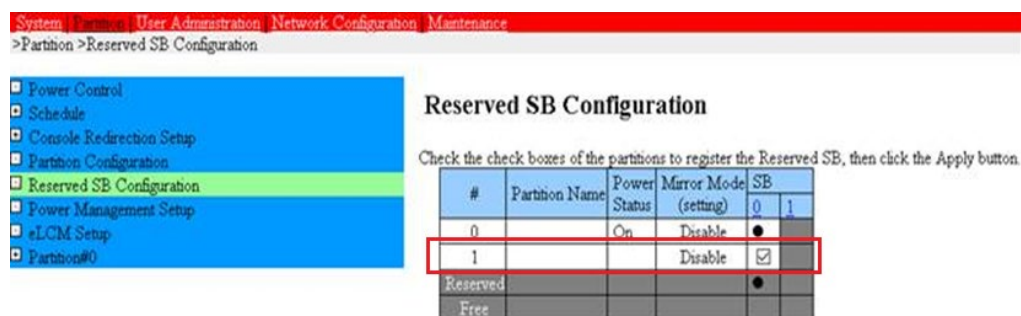


表 2.87 [Reserved SB Configuration] 画面の表示・設定項目

項目	内容
#	パーティションを識別するための番号を表示します (0～3)。 ・ Reserved : Reserved SB ・ Free : フリーSB
Partition Name	パーティションに付けた名前を表示します。
Power Status	パーティションの電源状態を表示します。 ・ On ・ Standby
Mirror Mode(setting)	パーティションに対する Mirror Mode の設定値を表示します。 ・ Enable : Mirror Mode が設定されています。 ・ Disable : Mirror Mode が設定されていません。
SB	SB がどのパーティションに属しているかを表示します。 Reserved SB またはフリーSB に対応するセルには、対応する行のパーティションにその SB を Reserved SB として登録するためのチェックボックスを表示します。

表 2.88 [Reserved SB Configuration] 画面のボタン

ボタン	内容
Apply	[Apply] ボタンをクリックすると Reserved SB として設定します。
Cancel	[Cancel] ボタンをクリックすると、Reserved SB として設定されず、元の状態に戻ります。

(1) メニュー操作

[Partition] - [Reserved SB Configuration]

(2) 画面操作

- Reserved SB の対象とするパーティションのチェックボックスをオンにします。
- [Apply] ボタンをクリックします。

2.4.8 [Power Management Setup] 画面

[Power Management Setup] 画面では、パーティション単位に Power Saving の設定ができます。
Power Saving の設定は、システムとしての Power Save Control が Enable の場合のみ設定が可能となります。
System Power Save Control の設定が Disable の場合、本画面の表示は灰色で表示され設定できません。

図 2.67 [Power Management Setup] 画面

System Partition User Administration Network Configuration Maintenance Logout

>Partition >Power Management Setup

Power Management Setup

Click the Apply Button to apply all changes.

#	Partition Name	Power Control Status	Power Save Control	Power Save Grace Period	Action reaching Power Save
0	Partition#0	Normal	☒ Enable ☐ Disable	5 min	Partition Power Off
1	Partition#1	Normal	☒ Enable ☐ Disable	5 min	Partition Power Off

Apply Cancel

表 2.89 [Power Management Setup] 画面の表示・設定項目

項目	内容
#	パーティションを識別するための番号を表示します (0~3)。 ただし、SB/IOUE が登録されているパーティションのみ表示します。
Partition Name	パーティションに付けた名前を表示します。
Power Control Status	各パーティションのパワー制御機能の動作状態を表示します。 ・ Normal : 通常動作状態。消費電力制限のための動作率抑止機能は働いていないことを示します。 ・ Power Saving : 動作率抑止中であることを示します。
Power Save Control	パーティション単位に、Power Saving 機能の有効・無効を設定します。 ・ Enable ・ Disable System Power Save Control が Enable の時のみ設定が可能であり、Disable の時は灰色で表示します。 Extended Partitioning 機能が有効な場合は操作を抑止します。 デフォルトは Enable です。
Power Save Grace Period	パーティション単位に、Limit 閾値を超過した場合のシャットダウン待ち時間を設定します。 0~99 分の範囲で指定可能です。 パーティションの Power Save Control が Enable 時に有効な項目であり、Disable 時は灰色で表示されます。 デフォルトは 5 分です。
Action reaching Power Save	パーティション単位に Limit 閾値超過待機時間後の動作設定を行います。 ・ Continue : 稼働中のパーティションを動作継続します。 ・ Partition Power Off : 稼働中のパーティションを Power Off します。 ・ Partition Force Power Off : 稼働中のパーティションを Force Power Off します。 パーティションの Power Save Control が Enable 時に有効な項目であり、Disable 時は灰色で表示されます。 デフォルトは Partition Power Off です。

表 2.90 [Power Management Setup] 画面のボタン

ボタン	内容
Apply	Power Management Setup の設定を変更します。
Cancel	Power Management Setup の設定は変更されず、元の状態に戻ります。

(1) メニュー操作

[Partition] - [Power Management Setup]

(2) 画面操作

1. Power Management Setup の項目の設定を変更します。
2. 設定を反映するため、[Apply] ボタンをクリックします。

2.4.9 [eLCM Setup] 画面

[eLCM Setup] 画面では、eLCM ライセンスの登録と状態の確認ができます。

図 2.68 [eLCM Setup] 画面

eLCM Setup	
License Key	XXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XX
License Status	OK

表 2.91 [eLCM Setup] 画面の表示・設定項目

項目	内容
License Key	登録されている eLCM ライセンスを表示します。 未登録の場合は、空欄が表示されます。 登録するライセンスは、” - “を含めて入力してください。(最大 32 文字入力可能) 登録の際は、筐体に 1 枚以上の SB が搭載されている必要があります。
License Status	eLCM ライセンスの状態を表示します。 ・ OK : eLCM ライセンスが登録済です。 ・ Not-installed : eLCM ライセンスが未登録です。 ・ Unknown : ライセンスの状態が取得できません。筐体に 1 枚以上の SB が搭載されていない場合、この状態表示になります。

表 2.92 [eLCM Setup] 画面のボタン

ボタン	内容
Apply	eLCM ライセンスを登録します。
Cancel	eLCM ライセンスは登録されず、元の状態に戻ります。

(1) メニュー操作

[Partition] - [eLCM Setup]

(2) 画面操作

1. [License Key]の入力フィールドに eLCM ライセンスを入力します。
2. eLCM ライセンスを登録するため、[Apply] ボタンをクリックします。

2.4.10 [Partition#x] メニュー

[Partition#x] メニューには、パーティションに対する以下の設定・表示ができます。

- ステータス表示
- ASR 条件設定
- ビデオリダイレクションの表示
- 各種モード

2.4.10.1 [Information] 画面

[Information] 画面には、パーティションのステータス、およびパーティションに関する各種情報が表示されます。
拡張パーティションでは表示画面が異なります。

[物理パーティションの場合]

図 2.69 [Information] 画面

The screenshot shows the MMB Web-UI interface. The top navigation bar includes 'System', 'Partition', 'User Administration', 'Network Configuration', and 'Maintenance'. The breadcrumb trail is '>Partition > Partition#1 > Information'. The left sidebar menu has 'Partition#1' expanded, showing 'Information', 'ASR Control', 'Console Redirection', and 'Mode'. The main content area is titled 'Information' and contains a table with the following data:

Partition Name	Partition#1
Power Status	Standby
System Progress	Power Off
Core / Max Core	56 / 56
Physical Memory Size	64GB

[拡張パーティションの場合]

図 2.70 [Information] Extended Partitioning 画面

The screenshot shows the MMB Web-UI interface for an extended partition. The top navigation bar is the same. The breadcrumb trail is '>Partition > Partition#4 > Information'. The left sidebar menu has 'Partition#4' expanded, showing 'Information', 'ASR Control', 'Console Redirection', and 'Mode'. The main content area is titled 'Information' and contains a table with the following data:

Partition Name	EP#4
Power Status	Standby
System Progress	Power Off
Assigned Core / Requested Core	- / 47
Assigned Memory Size / Requested Memory Size	- / 30GB

表 2.93 [Information] 画面の表示項目

項目	内容
Partition Name	パーティションの名前を表示します。
Power Status	パーティションの電源状態を表示します。 - On - Standby
System Progress	パーティションの進行状況を表示します。 - Power Off：パーティションは電源が切断されている状態です。 - Power On In Progress：パーティション電源投入の進行中です。 - Reset：パーティションのリセット中です。 - EFI：UEFI menu 画面を表示した状態です。 - Boot：OS ブート中です。 - OS Running：OS 稼動状態です。 - OS Shutdown：OS シャットダウン中です。 - Panic：パニック中です(RHEL のみ)。 - Power Off In Progress：パーティションの電源切断の進行中です。 - Fatal：停止中です。 - Dumping：ダンプ出力中です。 - Halt：Halt 中です。 - Stop Error：ストップエラーです。 - Extended Partitioning Running：拡張パーティションのファームウェアが稼動状態です。 備考 SVAS(Server View Agentless Service)がインストールされていない場合、実際に OS が動作していても「OS Running」に表示が切り替わりません。 また、「OS Shutdown」、「Panic」についても SVAS がインストールされていない場合は表示されません。
Core / Max Core (Assigned Core / Requested Core)	物理パーティションではパーティションに含まれる CPU コア数、Max コア数を表示します。 コア数は、故障コア、Disable コアを除いた数を表示します。 Max コア数には Disable コア数も含まれます。 拡張パーティションでは実際に割り当てられた CPU コア数、Extended Partition Configuration 画面で指定した CPU コア数を表示します。実際に割り当てられた CPU Core 数は、拡張パーティションが Power On されて値が確定するまでの間は” - “と表示します。 備考 縮退している CPU は数に含みません。
Physical Memory Size (Assigned Memory Size / Requested Memory Size)	物理パーティションではパーティションに含まれる物理メモリ量を表示します。 拡張パーティションでは実際に割り当てられたメモリ量、Extended Partition Configuration 画面で指定したメモリ量を表示します。 Memory EXCL 有効時、Assigned Memory Size には、DIMM グループ単位に切り上げられた容量を表示しますが、Requested Memory Size がこの値より小さい場合は、OS には Requested Memory Size だけを見せます。 実際に割り当てられたメモリ量は、拡張パーティションが Power ON されて値が確定するまでの間は” - “と表示します。 備考 表示される物理メモリ量は、実際に OS が使用できるメモリ量とは異なります。 縮退している DIMM はメモリ量に含みません。

(1) メニュー操作

[Partition] - [Partition#x] - [Information]

(2) 画面操作なし

2.4.10.2 [ASR Control] 画面

[ASR (Automatic Server Restart) Control] 画面では、パーティションの自動再起動を実行する条件が設定できます。

図 2.71 [ASR (Automatic Server Restart) Control] 画面

System Partition **User Administration** Network Configuration Maintenance Logout

>Partition >Partition#0 >ASR Control

ASR(Automatic Server Restart) Control Help

Click the Apply Button to apply all changes.

ASR

Number of Restart Tries	3
Action after exceeding Restart tries	Stop rebooting and Power Off
Retry Counter	3

Boot Watchdog

Boot Watchdog	☐ Enable ☒ Disable
Timeout time (seconds)	6000
Action when watchdog expires	Continue

Software Watchdog

Software Watchdog	☐ Enable ☒ Disable
Timeout time (seconds)	300
Action when watchdog expires	Continue

Apply Cancel

表 2.94 [ASR (Automatic Server Restart) Control] 画面の表示・設定項目

項目	内容
ASR	
Number of Restart Tries	Boot Watchdog や、SVAS の Software Watchdog によってタイムアウトが発生した場合、あるいは、ハードウェアエラーが発生し OS がシャットダウンした場合に、パーティションを自動再起動するリトライ回数を設定します。 回数は 0～10 回まで設定できます。0 が指定された場合はパーティションを自動再起動させず、' Action After exceeding Restart tries' で設定した動作が実行されます。 デフォルトは 5 回です。 注意 - Reserved SB 機能を使用する場合は、1 以上に設定します。 - Reserved SB 機能を有効にしている場合、パーティションの最初の自動再起動時に Reserved SB へ切り替わります。
Action after exceeding Restart tries	Watchdog Timeout などでのリスタートを繰り返し、上記のリトライ回数を超えた場合の動作を設定します。以下の設定が選択可能です。 - Stop rebooting and Power Off：リブート処理を止め、パーティションの電源を切断します。 - Stop rebooting：リブート処理を止め、パーティションを停止します。 - Diagnostic Interrupt assert：リブート処理を止め、パーティションに対して NMI 割り込みを指示します。停止しているパーティションに対して、停止の原因調査のための調査資料(ダンプ) 採取を試みます。 デフォルトは Stop rebooting and Power Off です。
Retry Counter	現状のリトライ可能な回数を表示します。
Boot Watchdog	
Boot Watchdog	ServerView の Boot Watchdog 機能の enable/disable を設定します。 Enable に設定すると、OS の起動を監視します。OS 起動後に ServerView によって Boot Watchdog を停止します。 デフォルトは Disable です。
Timeout time (seconds)	Boot Watchdog が timeout するまでの時間を設定します。 1～6000 の範囲を設定可能です。 デフォルトは 6000 秒 (=100 分) です。
Action when watchdog expires	Boot Watchdog が timeout した場合に、どういう Action を実行するかを設定します。 Action には、以下があります。 - Continue - Reset - Power Cycle
Software Watchdog	
Software Watchdog	ServerView の Software Watchdog 機能の enable/disable を設定します。 Enable に設定すると、OS 起動後に ServerView によって OS の運用を監視します。 デフォルトは Disable です。
Timeout time (seconds)	Software Watchdog が timeout するまでの時間を設定します。 1～6000 の範囲を設定可能です。 デフォルトは 300 秒 (= 5 分) です。

項目	内容
Action when watchdog expires	Software Watchdog が timeout した場合に、どういう Action を実行するかを設定します。 Action には、以下があります。 • Continue • Reset • Power Cycle • NMI

表 2.95 [ASR (Automatic Server Restart) Control] 画面のボタン

ボタン	内容
Apply	[Number of Restart Tries] [Action after exceeding Restart tries] が指定されていると、これらの情報が設定されます。
Cancel	情報は設定されず、元の状態に戻ります。

(1) メニュー操作

[Partition] - [Partition#x] - [ASR Control]

(2) 画面操作

1. 各項目を設定します。
2. [Apply] ボタンをクリックします。
指定された情報が設定されます。

2.4.10.3 [Console Redirection] 画面

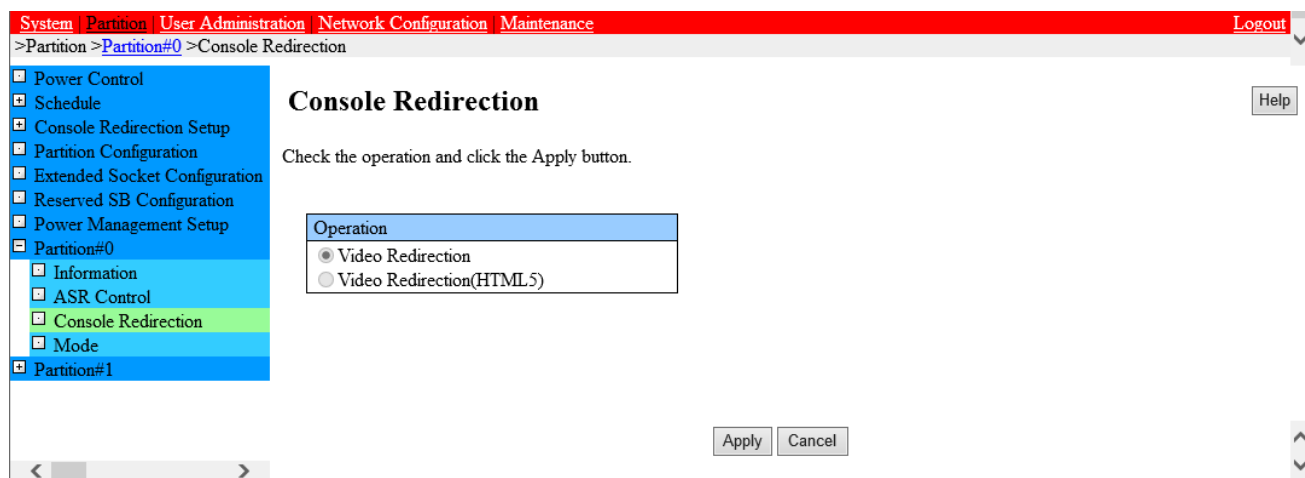
[Console Redirection]画面は、ラジオボタンが選択可能な場合に[Apply]ボタンをクリックすると、別ウィンドウに iRMC 側の Video Redirection 画面が表示されます。

[Console Redirection setup]画面での設定が Disable の場合、ラジオボタンを選択することはできません。

CE Port からの利用時、IPv4/IPv6 一方の[Console Redirection setup]画面で Video Redirection 設定が Enable の場合、ラジオボタンを選択することができます。

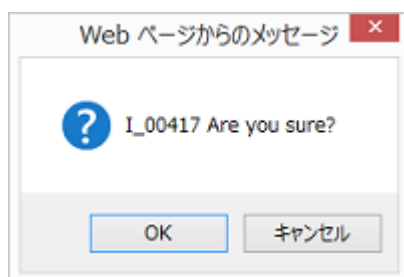
VGA/USB/rKVMs 資源を割り当てた拡張パーティションでは、拡張パーティションの分割元となる物理パーティションの [Console Redirection setup]設定の IP アドレスを使用します。

図 2.72 [Console Redirection] 画面



注意

Internet Explorer で Video Redirection を起動する場合は、以下のダイアログボックスで [Ctrl]キーと[Alt]キーを押しながら[OK]ボタンをクリックします。



[Ctrl]キーと[Alt]キーを押さないで、[OK]ボタンをクリックした場合、以下の画面が表示される場合があります。この場合は、この画面を閉じてから、再度、[Ctrl]キーと[Alt]キーを押しながら[OK]ボタンをクリックします。



Firefox の場合はマウスのクリックだけで接続できます。

表 2.96 [Console Redirection] 画面の表示項目

項目	内容
Video Redirection	iRMC 側の Video Redirection 画面を表示します。 (*1)(*2)
Video Redirection(HTML5)	iRMC 側の Video Redirection(HTML5)画面を表示します。 (*1)(*2)

*1) Console Redirection Setup 画面で Video Redirection が Enable の場合のみ選択可能であり、Disable の場合はラジオボタンの選択ができません。

*2) Extended Partitioning Mode が Enable 設定の物理パーティションでは、Video Redirection は使用できません。
また、VGA/USB/rKVMS が割り当てられていない拡張パーティションでは、Video Redirection は使用できません。

表 2.97 [Console Redirection] 画面のボタン

ボタン	内容
Apply	選択した Video Redirection のウィンドウが表示されます。
Cancel	選択した Video Redirection のウィンドウは表示されず元の状態に戻ります。

(1) メニュー操作

[Partition] - [Partition#x] - [Console Redirection]

(2) 画面操作

1. Video Redirection、または、Video Redirection(HTML5)を選択し、[Apply] ボタンをクリックします。
確認のダイアログボックスが表示されます。
2. [OK] ボタンをクリック(*3)します。
選択した Video Redirection のウィンドウが表示されます。

*3) Internet Explorer の場合は、[Ctrl]キーと[Alt]キーを押しながら[OK]ボタンをクリックします。

2.4.10.4 [Mode] 画面

[Mode] 画面では、パーティションに対する各種モードを設定できます。設定した値を反映するには、パーティションの電源をオフにした後、再度電源をオンにする必要があります。モデルにより表示画面および表示条件が異なります。

操作時の注意

拡張パーティションの変更を行う場合、複数 Web 画面を起動せず単一の Web 画面で変更してください。

図 2.73 [Mode] 画面 (PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400S Lite/3400S)

System Partition **User Administration** Network Configuration Maintenance Logout

>Partition >Partition#0 >Mode

Mode

Select mode for the partition, then click the Apply Button.
Note : A partition power off/on is required for the selections to become effective.

Memory Operation Mode	current status	Address Range Mirror Mode
	setting	☐ Normal Mode ☐ Full Mirror Mode ☐ Spare Mode ☒ Address Range Mirror Mode
Lockstep Mode	current status	Disabled
	setting	☐ Enable ☒ Disable
Memory Mirror RAS Mode	current status	Mirror Keep Mode
	setting	☒ Mirror Keep Mode ☐ Capacity Keep Mode
Memory Sparing Mode	current status	1Rank
	setting	☒ 1Rank ☐ Auto
TPM	chip status	Enabled

On board LAN Mode

IOU#0	current status	Disable
	setting	☐ Enable(WOL enabled) ☐ Enable(WOL disabled) ☒ Disable

Apply Cancel

図 2.74 [Mode] 画面 (PRIMEQUEST 3400E/3400L/3800E/3800L)

System
Partition
User Administration
Network Configuration
Maintenance
Logout

>Partition >Partition#0 >Mode

Power Control
Schedule
Console Redirection Setup
Partition Configuration
Extended Socket Configuration
Reserved SB Configuration
Power Management Setup
Partition#0
Information
ASR Control
Console Redirection
Mode
Partition#2

Mode

Select mode for the partition, then click the Apply Button.
Note : A partition power off/on is required for the selections to become effective.

Extended Partitioning Mode	setting	☐ Enable ☒ Disable
Memory Operation Mode	current status	Normal Mode
	setting	☒ Normal Mode ☐ Full Mirror Mode ☐ Spare Mode ☐ Address Range Mirror Mode
Lockstep Mode	current status	Disabled
	setting	☐ Enable ☒ Disable
Memory Mirror RAS Mode	current status	Mirror Keep Mode
	setting	☒ Mirror Keep Mode ☐ Capacity Keep Mode
Memory Sparing Mode	current status	1Rank
	setting	☒ 1Rank ☐ Auto
Dynamic Reconfiguration	current status	Disabled
	setting	☐ Enable ☒ Disable
TPM	chip status	Enabled

Onboard LAN Mode

IOU#3	current status	Enable(WOL disabled)
	setting	☐ Enable(WOL enabled) ☒ Enable(WOL disabled) ☐ Disable

Apply
Cancel

208

CA92344-1657-18

図 2.75 [Mode] 画面 (PRIMEQUEST 3400E2/3400L2/3800E2/3800L2)

System
Partition
User Administration
Network Configuration
Maintenance
Logout

>Partition >Partition#0 >Mode

Power Control
Schedule
Console Redirection Setup
Partition Configuration
Extended Socket Configuration
Reserved SB Configuration
Power Management Setup
Partition#0
Information
ASR Control
Console Redirection
Mode
Partition#2

Mode

Select mode for the partition, then click the Apply Button.
Note : A partition power off/on is required for the selections to become effective.

Extended Partitioning Mode	setting	☐ Enable ☒ Disable
Memory Operation Mode	current status	Normal Mode
	setting	☒ Normal Mode ☐ Full Mirror Mode ☐ Spare Mode ☐ Address Range Mirror Mode
Lockstep Mode	current status	Disabled
	setting	☐ Enable ☒ Disable
Memory Mirror RAS Mode	current status	Mirror Keep Mode
	setting	☒ Mirror Keep Mode ☐ Capacity Keep Mode
Memory Sparing Mode	current status	1Rank
	setting	☒ 1Rank ☐ Auto
TPM	chip status	Enabled

Onboard LAN Mode

IOU#3	current status	Enable(WOL disabled)
	setting	☐ Enable(WOL enabled) ☒ Enable(WOL disabled) ☐ Disable

Apply
Cancel

[拡張パーティションの場合]

図 2.76 [Mode] 画面(拡張パーティション)

The screenshot shows the MMB Web-UI interface for configuring Partition#4. The left sidebar contains a tree view with categories like Power Control, Schedule, Console Redirection Setup, Partition Configuration, and various Partition# settings. The 'Mode' option under Partition#4 is selected and highlighted in green. The main content area is titled 'Mode' and includes a note: 'Select mode for the partition, then click the Apply Button. Note : A partition power off/on is required for the selections to become effective.' Below the note is a table of settings:

Memory Operation Mode	current status	Normal Mode
	setting	☒ Normal Mode ☐ Full Mirror Mode ☐ Spare Mode ☐ Address Range Mirror Mode
Lockstep Mode	current status	Disabled
	setting	☐ Enable ☒ Disable
Memory Mirror RAS Mode	current status	Mirror Keep Mode
	setting	☒ Mirror Keep Mode ☐ Capacity Keep Mode
Memory Sparing Mode	current status	1Rank
	setting	☒ 1Rank ☐ Auto
Dynamic Reconfiguration	current status	Disabled
	setting	☐ Enable ☒ Disable
TPM	chip status	Enabled
Extended Socket	setting	☐ Enable ☒ Disable

At the bottom of the page, there are 'Apply' and 'Cancel' buttons.

Partition の電源がオンのときに[Apply] ボタンをクリックすると、"W_00487 Unable to change the mode, because this partition is powered on." という警告ダイアログボックスが表示されます。すでにパーティション電源がオフになっている場合は、このダイアログボックスは表示されず、設定が反映されます。

Extended Partitioning Mode は物理パーティションの電源状態が off の時にしか変更できません。物理パーティションが Power On 時に変更しようとする、" W_00552 The Extended Partitioning mode cannot be changed while the PPAR Partition is powered on. Please try to change the Extended Partitioning mode after the PPAR Partition is powered off." という旨の警告ダイアログボックスを表示し、設定を抑止します。

Mirror Mode の要件を満たさない DIMM 構成の SB が Reserved SB に設定されているパーティションに対して Mirror Mode を設定しようとした場合、確認のダイアログボックスが表示されます。確認のダイアログボックスには、Reserved SB に切り替わったときに Mirror Mode が解除される旨の警告メッセージが表示され、設定を続けるかどうか確認されます。

LAN Device Mode は指定されたパーティションに含まれる IOUE 単位に LAN Device Mode を表示します。設定は IOUE 単位に LAN Device Mode をラジオボタンで選択し、「Apply」ボタンをクリックします。拡張パーティションでは Extended Partitioning Mode および LAN Device Mode の設定項目は表示されず、また全ての Mode 設定は抑止され、設定変更はできません。

Memory Scale-up Board がパーティションに含まれる場合、Dynamic Reconfiguration Mode を Enable に設定しようとすると警告ダイアログボックスを表示し、設定できません。

DCPMM がパーティションに含まれる場合、Memory Operation Mode を Spare Mode に設定しようとすると警告ダイアログボックスを表示し、設定できません。

表 2.98 [Mode] 画面の表示・設定項目

項目	内容
Extended Partitioning Mode (setting)	拡張パーティション機能を有効にするかどうかを設定します。 ・ Enable : 拡張パーティション機能を有効にします ・ Disable : 拡張パーティション機能を無効にします。 Extended Partitioning Mode は物理パーティションでのみ表示されます。 Partition が Power Off 時にのみ設定変更が可能です。 Dynamic Reconfiguration が有効な場合は操作を抑止します。 Power Saving 機能が有効な場合は操作を抑止します。 デフォルトは Disable です。 注意 拡張パーティションは、DCPMM をサポートしません。 *) PRIMEQUEST 3400E2/3400L2/3800E2/3800L2/3400E/3400L/3800E/3800L モデルの場合に表示されます。
Memory Operation Mode (current status)	現在有効となっている Memory Operation Mode を表示します。 ・ Normal Mode : Normal Mode に設定されていることを示します。 ・ Full Mirror Mode : Full Mirror Mode に設定されていることを示します。 ・ Spare Mode : Spare Mode に設定されていることを示します。 ・ Address Range Mirror Mode : Address Range Mirror Mode に設定されていることを示します。
Memory Operation Mode (setting)	パーティションに対する Memory Operation Mode を設定します。 ・ Normal Mode ・ Full Mirror Mode ・ Spare Mode ・ Address Range Mirror Mode 設定が有効となるのは、パーティションのリブート後です。 DCPMM は、Spare Mode をサポートしません。 デフォルトは Normal Mode です。 Spare Mode の場合のメモリ量計算方法は、表 2.81 メモリ割り当て粒度を参照ください。 メモリ量は、表の備考に記載されている各チャネルの容量の合計値になります。 物理パーティションは、拡張パーティションの場合のように 2GB 引く必要はありません。
Lockstep Mode (current status)	現在有効となっている Memory Operation Mode 時の Lockstep Mode を表示します。 ・ Enabled : Lockstep Mode が有効です。 ・ Disabled : Lockstep Mode が無効です。
Lockstep Mode (setting)	パーティションに対する Lockstep Mode を設定します。 ・ Enable : Lockstep Mode を有効にします。 ・ Disable : Lockstep Mode を無効にします。 設定が有効となるのは、パーティションのリブート後です。 Memory Operation Mode (setting)にて Normal Mode 設定時のみ有効な項目であり、それ以外が選択されている場合は選択不可とし、Disable が設定されます。 デフォルトは Enable(*)です。 *) SB に搭載したメモリ条件により、デフォルトは変更される場合があります。
Memory Mirror RAS Mode (current status)	現在有効となっている Mirror Mode 時の Memory 動作を表示します。 ・ Mirror Keep Mode : Mirror Mode を維持します。 ・ Capacity Keep Mode : メモリ容量を維持します。

項目	内容
Memory Mirror RAS Mode (setting)	パーティションに対する Mirror Mode 時の Memory 動作を設定します。 ・ Mirror Keep Mode ・ Capacity Keep Mode 設定が有効となるのは、パーティションのリブート後です。 Full Mirror Mode 設定時のみ有効な項目であり、それ以外が設定されている場合は選択不可となります。 DCPMM は、Memory Mirror RAS Mode をサポートしません。常に Mirror Keep Mode で動作します。 デフォルトは Mirror Keep Mode です。
Memory Sparing Mode (current status)	現在有効となっている Spare Mode 時の Memory 動作を表示します。 ・ 1 Rank : 最大 1Rank を Spare Memory に割り当てます。 ・ Auto : 自動で Spare Memory を割り当てます。
Memory Sparing Mode (setting)	パーティションに対する Spare Mode 時の Memory 動作を設定します。 ・ 1 Rank ・ Auto 設定が有効となるのは、パーティションのリブート後です。 Spare Mode 設定時のみ有効な項目であり、Spare Mode が設定されていない場合は選択不可です。 デフォルトは 1 Rank です。 Spare Mode の場合のメモリ量計算方法は、表 2.81 メモリ割り当て粒度を参照ください。 メモリ量は、表の備考に記載されている各チャンネルの容量の合計値になります。 物理パーティションは、拡張パーティションの場合のように 2GB 引く必要はありません。
Dynamic Reconfiguration (current status)	Dynamic Reconfiguration 機能が有効か無効かを表示します。 ・ Enable ・ Disable *) PRIMEQUEST 3400E/3400L/3800E/3800L モデルの場合に表示されます。
Dynamic Reconfiguration (setting)	Dynamic Reconfiguration 機能を有効にするかどうかを設定します。 ・ Enable : Dynamic Reconfiguration 機能を有効にします。 ・ Disable : Dynamic Reconfiguration 機能を無効にします。 設定が有効となるのは、パーティションのリブート後です。 以下の条件時に設定可能です。 ・ 拡張パーティションでないこと ・ TXT/TPM 機能が無効であること デフォルトは Disable です。 *) PRIMEQUEST 3400E/3400L/3800E/3800L モデルの場合に表示されます。
TPM (chip status)	TPM 機能が無効か有効かを表示します。 ・ Enabled (TPM が有効) ・ Disabled (TPM が無効) 備考 パーティションの Home SB に TPM を搭載していない場合、この表示項目は表示されません。

項目	内容
Extended Socket (setting) (拡張パーティションの Mode 画面)	Extended Socket 機能を有効にするかどうかを設定します。 - Enable : Extended Socket 機能を有効にします。 - Disable : Extended Socket 機能を無効にします。 設定が有効となるのは、パーティションのリブート後です。 以下条件時に設定可能です。 - Extended Partitioning Mode が Enable であること デフォルトは Disable です。
Onboard LAN Mode	
IOU#	パーティションに属している IOUE を表示します。
Onboard LAN Mode (current status)	IOUE 単位に Onboard LAN Mode を表示します。 - Enable(WOL enabled) :AC On 状態でオンボード LAN が使用可能です。 - Enable(WOL disabled) :パーティション Power On 状態で該当パーティションに含まれるオンボード LAN が使用可能です。 - Disable :常にオンボード LAN が使用不可です。
Onboard LAN Mode (setting)	IOUE 単位に Onboard LAN Device Mode を設定します。 設定する Mode をラジオボタンより選択します。 - Enable(WOL enabled) - Enable(WOL disabled) - Disable デフォルトは Enable(WOL disabled)です。 Onboard LAN Mode は物理パーティション(Partition#0~3)でのみ表示されます。 Onboard LAN Mode を Disable または Enable(WOL disabled)に設定を変更した後、再び Enable(WOL enabled)とする場合は一度パーティションを起動し、WOL の設定を反映させてください。

表 2.99 パーティションの状態による TPM 項目の表示/非表示

	パーティションの状態		
	AC on 後で パーティション起動前	パーティション 起動中	パーティション 停止中
TPM 未実装 SB	×	×	×
TPM 実装 SB	×	○	○

○ : 表示

× : 非表示

(1) メニュー操作

[Partition] - [Partition#x] - [Mode]

(2) 画面操作

- それぞれのモードを指定し、[Apply] ボタンをクリックします。
確認ダイアログボックスが表示されます。
- [OK] ボタンをクリックします。

2.4.10.5 [NVM/LRDIMM Life Cycle Management] 画面

本設定メニューは、PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400E2/3400L2/3800E2/3800L2 モデルで利用できます。

[NVM/LRDIMM Life Cycle Management] 画面では、SB に搭載されている DCPMM の書き込みデータ量(write endurance)の情報を表示します。

パーティションに DCPMM が少なくとも 1 つ以上搭載されており、DCPMM を含むパーティションが Boot、または、OS Running 状態の場合に SSD の書き込みデータ量が表示されます。パーティションが Boot、または、OS Running 状態以外の場合は、「-」を表示します。

備考

本画面は物理パーティションのみサポートし、拡張パーティションでは本画面は表示されません。

図 2.77 [NVM/LRDIMM Life Cycle Management] 画面

Unit	Slot#	Capacity	Rated write endurance
SB#0	DIMM#0C0	256GB	-
SB#0	DIMM#0F0	256GB	-
SB#0	DIMM#1C0	256GB	-
SB#0	DIMM#1F0	256GB	-
SB#1	DIMM#0C0	256GB	-
SB#1	DIMM#0F0	256GB	-
SB#1	DIMM#1C0	256GB	-
SB#1	DIMM#1F0	256GB	-

表 2.100 [NVM/LRDIMM Life Cycle Management] 画面の表示項目

項目	内容
NVM/LRDIMMs	
Unit	DCPMM を搭載したユニットを表示します。
Slot#	DCPMM を搭載したスロット位置を表示します。
Capacity	DCPMM の容量を表示します。
Rated write endurance	DCPMM に書き込まれたデータ量を表示します。購入時は 0%の状態に表示され、書き込みデータが累積することで値が増加します。100%で書き込み寿命となります。

2.4.10.6 [SSD Life Cycle Management] 画面

[SSD Life Cycle Management] 画面では、PCI 拡張スロットに搭載されている PCIe-SSD と、SB、DU、DU_M、ディスクエンクロージャーに搭載されている SAS SSD、DU_PCIEA に搭載されている PCIe SSD SFF、BMM ボードに搭載されている M.2 SSD の書き込みデータ量(write endurance)の情報を表示します。

パーティションに PCIe-SSD、SAS SSD、PCIe SSD SFF、または、M.2 SSD、が少なくとも 1 つ以上搭載されており、PCIe SSD、SAS SSD、PCIe SSD SFF、または、M.2 SSD を含むパーティションが OS Running 状態で ServerView Agentless Service(SVAS)(*)が稼働中の場合に SSD の書き込みデータ量が表示されます。(*2)

*1) SVAS ではなく、ServerView agent (SVAgent)と ServerView RAID Manager (SV RAID)を稼働しても、SSD の書き込みデータ量が表示されます。

*2) 正しく情報が表示されるまでは System Progress が OS Running の状態に変化してから、最大 5 分かかります。

備考

本画面は物理パーティションのみサポートし、拡張パーティションでは本画面は表示されません。

拡張パーティションで SSD の寿命監視を行う場合は、ServerView agent (SVAgent)と ServerView RAID Manager (SV RAID)をインストールし、SV RAID の機能を使用してください。

図 2.78 [SSD Life Cycle Management] 画面

(PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400E2/3400L2/3800E2/3800L2 は PB20021 版以降、
PRIMEQUEST 3400S Lite/3400S/3400E/3400L/3800E/3800L は PA20021 版以降)

Unit	Slot#	Capacity	Rated write endurance
IOU#0-PCIC#0-M.2	0	240GB	0%
IOU#0-PCIC#0-M.2	1	240GB	0%
IOU#0-PCIC#1	-	4TB	0%
PCI_Box#0-PCIC#3-M.2	0	240GB	0%
PCI_Box#0-PCIC#3-M.2	1	240GB	0%
PCI_Box#0-Slot#5-Port#1-Cascade#0	16	800GB	0%

図 2.79 [SSD Life Cycle Management] 画面

(PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400E2/3400L2/3800E2/3800L2 は PB19123 版以前、
PRIMEQUEST 3400S Lite/3400S/3400E/3400L/3800E/3800L は PA19121 版以前)

System Partition User Administration Network Configuration Maintenance Logout

>Partition>Partition#0>SSD Life Cycle Management

Power Control
Schedule
Console Redirection Setup
Partition Configuration
Extended Socket Configuration
Reserved SB Configuration
Power Management Setup
Partition#0
Information
ASR Control
Console Redirection
Mode
SSD Life Cycle Management
Partition#1
Partition#2
Partition#3

SSD Life Cycle Management

Help

PCIe SSDs

Unit	Slot#	Capacity	Rated write endurance
IOU#3	1	1.6TB	0%

SAS SSDs

Unit	Slot#	Capacity	Rated write endurance
IOU#3-PCIC#2-Port#1-Cascade#0	23	200GB	0%

M.2 SSDs

Unit	Slot#	Capacity	Rated write endurance
SB#1	0	150GB	0%

< >

表 2.101 [SSD Life Cycle Management] 画面の表示項目
(PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400E2/3400L2/3800E2/3800L2 は PB20021 版以降、
PRIMEQUEST 3400S Lite/3400S/3400E/3400L/3800E/3800L は PA20021 版以降)

項目	内容
SSDs	
Unit (*1)	SSD が属するユニットを表示します。
Slot# (*1)	SSD が属するスロット位置を表示します。
Capacity (*1)	SSD の容量を表示します。
Rated write endurance (*1)	SSD ドに書き込まれたデータ量を表示します。購入時は 0%の状態に表示され、書き込みデータが累積することで値が増加します。100%で書き込み寿命となります。

*1) 表示対象の SSD がない場合、各表示項目の内容が「-」の 1 行を表示します。

表 2.102 [SSD Life Cycle Management] 画面の表示項目
(PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400E2/3400L2/3800E2/3800L2 は PB19123 版以前、
PRIMEQUEST 3400S Lite/3400S/3400E/3400L/3800E/3800L は PA19121 版以前)

項目	内容
PCIe SSDs	
Unit	PCIe SSD カードが属するユニットを表示します。
Slot#	PCIe SSD カードが属する IOUE または PCI ボックスのスロット位置を表示します。
Capacity	PCIe SSD カードの容量を表示します。
Rated write endurance	PCIe SSD カードに書き込まれたデータ量を表示します。購入時は 0%の状態に表示され、書き込みデータが累積することで値が増加します。100%で書き込み寿命となります。
SAS SSDs	
Unit	SAS SSD が属するユニットを表示します。
Slot#	SAS SSD の搭載スロット位置を表示します。
Capacity	SAS SSD の容量を表示します。
Rated write endurance	SAS SSD に書き込まれたデータ量を表示します。購入時は 0%の状態に表示され、書き込みデータが累積することで値が増加します。100%で書き込み寿命となります。
M.2 SSDs	
Unit	M.2 SSD が属するユニットを表示します。
Slot#	M.2 SSD が属するユニットのスロット位置を表示します。
Capacity	M.2 SSD の容量を表示します。
Rated write endurance	M.2 SSD に書き込まれたデータ量を表示します。購入時は 0%の状態に表示され、書き込みデータが累積することで値が増加します。100%で書き込み寿命となります。

2.4.10.7 [eLCM Redirection] 画面

[eLCM Redirection]画面は、[Operation]のチェックボックスにチェック入れて、[Apply]ボタンをクリックすると、別ウィンドウに iRMC 側の eLCM リダイレクション画面を表示します。

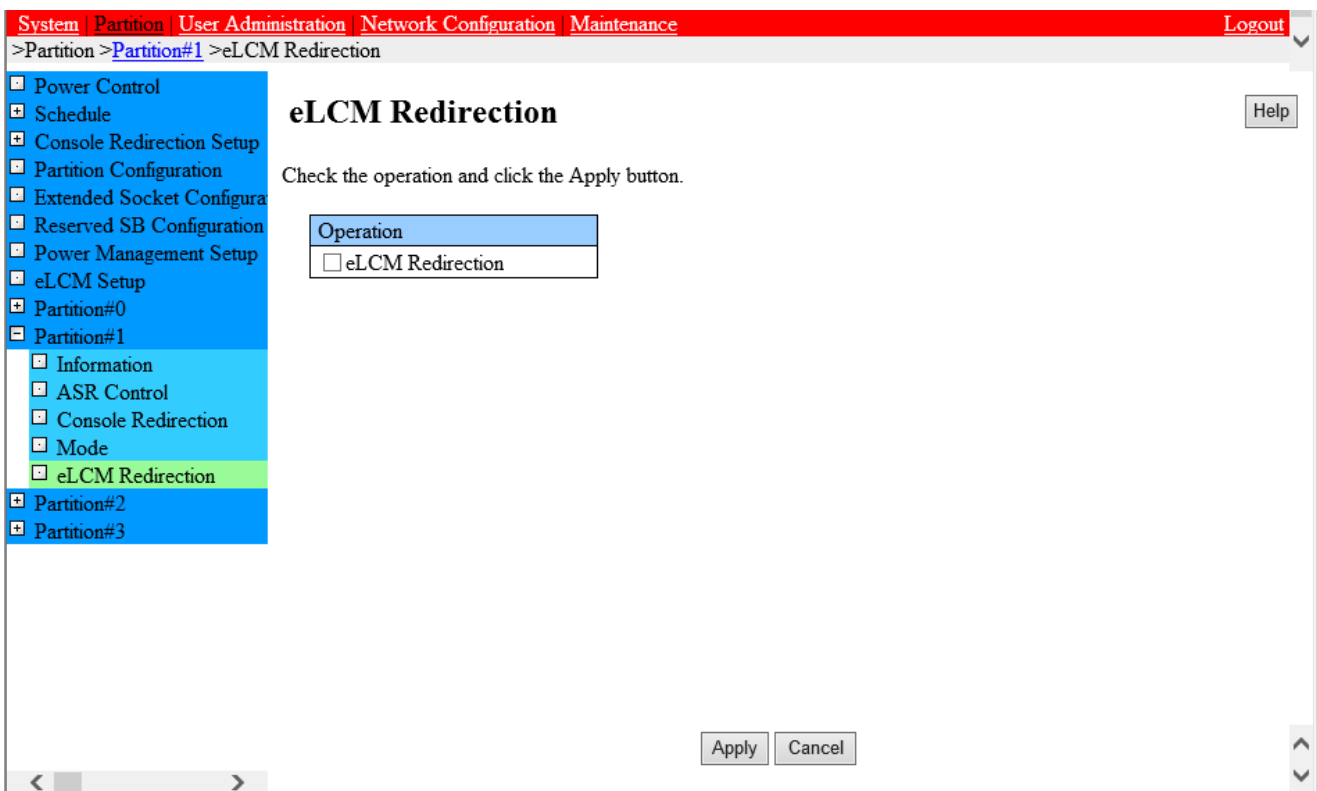
拡張パーティションでは、この画面は表示されません。

Maintenance Port からは、この画面は利用できません。

eLCM Redirection 画面を表示するためには、事前に下記を実施する必要があります。

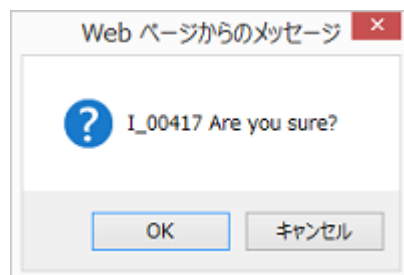
- [Partition] → [eLCM Setup]画面でのライセンス登録
- BMM_BOARD への eLCM 用 Micro SD の搭載
- [Partition] → [Console Redirection Setup]で IPv4/IPv6 どちらか一方での Video Redirection の Enable 設定
- CLI コマンド “set irmc user” でのアカウント作成

図 2.80 [eLCM Redirection] 画面



注意

Internet Explorer で eLCM Redirection を起動する場合は、[Apply]ボタンをクリックした後、以下のダイアログボックスで [Ctrl]キーと[Alt]キーを押しながら[OK]ボタンをクリックします。



[Ctrl]キーと[Alt]キーを押さずに、[OK]ボタンをクリックした場合、以下のダイアログボックスが表示される場合があります。この場合は、ダイアログボックスを閉じてから、再度、[Ctrl]キーと[Alt]キーを押しながら[OK]ボタンをクリックします。



Firefox の場合は[OK]ボタンのクリックだけで接続できます。

表 2.103 [eLCM Redirection] 画面の表示項目

項目	内容
eLCM Redirection	iRMC 側の eLCM Redirection 画面を表示します。 (*1)(*2)

*1) Console Redirection Setup 画面で Video Redirection が Enable の場合のみチェックボックスがチェック可能です。Disable の場合はチェックボックスが無効になります。

*2) Extended Partitioning Mode が Enable 設定の物理パーティションでは、チェックボックスが無効になり、eLCM Redirection は使用できません。

表 2.104 [eLCM Redirection] 画面のボタン

ボタン	内容
Apply	選択した eLCM Redirection のウィンドウが表示されます。
Cancel	選択した eLCM Redirection のウィンドウは表示されず元の状態に戻ります。

(1) メニュー操作

[Partition] - [Partition#x] - [eLCM Redirection]

(2) 画面操作

- [Operation]のチェックボックスにチェック入れて、[Apply] ボタンをクリックします。
確認のダイアログボックスが表示されます。
- [OK] ボタンをクリック(*3)します。
eLCM Redirection のウィンドウが表示されます。

*3) Internet Explorer の場合は、[Ctrl]キーと[Alt]キーを押しながら[OK]ボタンをクリックします。

2.5 [User Administration] メニュー

[User Administration] メニューでは、ユーザーアカウントの管理ができます。

2.5.1 [User List] 画面

[User List] 画面では、現在登録されているユーザーアカウントに対する情報が表示されます。この画面の表示は Administrator 権限のユーザーのみ可能です。

図 2.81 [User List] 画面

System Partition **User Administration** Network Configuration Maintenance Logout

>User Administration >User List

User List

Change Password

Who

LDAP Configuration

User List

Click the Add User button to add a new user.
Select a user, then click the Edit/Remove User button to edit or remove the user.

User Name	Full Name	Privilege	Status	Operable Partition (for Partition Operator)
☐ Administrator	Default Administrator	Admin	Enabled	
☐ Operator		Operator	Enabled	
☒ User		User	Disabled	

Add User Edit User Remove User Cancel

Disabled 設定されているユーザーは、灰色で表示されます。

表 2.105 [User List] 画面の表示項目

項目	内容
User Name	ユーザー名を表示します。 ユーザー名は 3 文字以上 32 文字以下で設定可能です。
Full Name	ユーザー名に関する実際の名前などを入力するフィールドとして使用します。 32 文字以下で設定可能です。
Privilege	ユーザーアカウントの権限を表示します。
Status	現在のこのアカウントの状態を表示します。 ・ Enabled ・ Disabled
Operable Partition	ユーザーの操作可能なパーティションを表示します。 Partition Operator 権限のユーザーアカウントの場合にのみ表示されます。

表 2.106 [User List] 画面のボタン

ボタン	内容
Add User	[Add User] 画面を表示します。
Edit User	[Edit User] 画面を表示します。
Remove User	ユーザーを削除します。
Cancel	指定した情報が設定されず、元に戻ります。

2.5.1.1 [Add User] 画面

[User List] 画面で[Add User] ボタンをクリックすると、[Add User] 画面が表示されます。
[Add User] 画面では、新規ユーザーを登録できます。最大 16 ユーザーまで登録できます。

図 2.82 [Add User] 画面

SystemPartitionUser AdministrationNetwork ConfigurationMaintenanceLogout

>User Administration>User List>Add User

User ListChange PasswordWhoLDAP Configuration

Add User

Click the Apply Button to apply all changes.

User Name																									
Password																									
Confirm Password																									
Privilege	☒ Admin ☐ Operator ☐ User ☐ CE ☐ Partition Operator																								
Status	☒ Enabled ☐ Disabled																								
Full Name	(optional)																								
Operable Partition (for Partition Operator)	<table><tr><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td></tr><tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr></table>	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11														
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐														

ApplyCancel

[Add User] 画面の表示・設定項目については、「表 2.107 [Add User]／[Edit User] 画面の表示・設定項目」を参照してください。

2.5.1.2 [Edit User] 画面

[User List] 画面でユーザーを選択し、[Edit User] ボタンをクリックすると、[Edit User] 画面が表示されます。

[Edit User] 画面では、ユーザーアカウントの管理情報を変更できます。

User Name 以外の User の管理情報の変更を行うことができます。

図 2.83 [Edit User] 画面

User Name	Administrator																								
Current Password																									
Password																									
Confirm Password																									
Privilege	☒ Admin ☐ Operator ☐ User ☐ CE ☐ Partition Operator																								
Status	☒ Enabled ☐ Disabled																								
Full Name	Default Administrator (optional)																								
Operable Partition (for Partition Operator)	<table border="1"><tr><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td></tr><tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr></table>	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11														
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐														

Apply Cancel

表 2.107 [Add User]／[Edit User] 画面の表示・設定項目

項目	内容
User Name	ユーザー名を設定します。 入力可能文字数は、3 文字以上 32 文字以下です。 ユーザー名に指定できる文字は以下のとおりです。 [0-9]、[a-z]、[A-Z]、「-」(ハイフン)「_」(アンダーバー) ただし、最初の 1 文字は[a-z] [A-Z] で始まる必要があります。
Current Password	現在のパスワードを入力します。
Password	パスワードを設定します。 入力可能文字数は、8 文字以上 32 文字以下です。 パスワードに使用できる文字は以下のとおりです。 数字：[0-9] 文字：[a-z]、[A-Z] 特殊文字：! " # \$ % & ' () = - ^ ~ \ @ ` [] { } : * ; + ? < . > , / _ 以下のルールでパスワードを設定します。 - 入力可能文字数は、8 文字以上 32 文字以下です。 - パスワードの文字は 5 種以上を使用します。 (大文字小文字の同じ文字は 2 種となります) (例: aabBcCee なら 6 種となります) - 回文にならないようにします。 (例:madam など) - 類推できるパスワードは設定不可です。 (例:abcdefgh, 12345678 など)
Confirm Password	確認のためパスワードをもう一度入力します。
Privilege	ユーザーアカウントの権限を設定します。
Status	現在のこのアカウントの状態を設定します。 - Enabled - Disabled
Full Name	ユーザー名に関係する実際の名前などを入力するフィールドとして使用します。 入力可能文字数は、32 文字以下です。
Operable Partition (for Partition Operator)	ユーザーの操作可能なパーティションを設定します。 [Privilege] で [Partition Operator] を選択した場合にのみ、設定できます。[Privilege] で [Partition Operator] 以外を選択した場合は、チェックボックスはグレイアウト表示されます。

表 2.108 [Add User]／[Edit User] 画面のボタン

ボタン	内容
Apply	ユーザーアカウントが追加または更新され、[User List] 画面に戻ります。
Cancel	ユーザーアカウントは追加または更新されずに、[User List] 画面に戻ります。

2.5.1.3 [Remove User] ボタン

ユーザーアカウントを削除する場合は、[User List] 画面で[User] を選択し、[Remove User] ボタンをクリックします。削除を確認するためのダイアログボックスが表示されます。削除する場合は[OK] ボタンをクリックします。キャンセルする場合は[Cancel] ボタンをクリックします。

2.5.2 [Change Password] 画面

[Change Password] 画面では、現在ログインしているユーザーのパスワードの変更ができます。

図 2.84 [Change Password] 画面

備考

パスワードは 8 文字以上、32 文字以下を入力する必要があります。8 文字以下の場合は、8 文字以上入力する必要がある旨のメッセージを表示します。また、類推できるパスワードは設定不可です。

表 2.109 [Change Password] 画面のボタン

ボタン	内容
Apply	変更したパスワードが登録されます。
Cancel	パスワードは変更されず元の状態に戻ります。

2.5.3 [Who] 画面

[Who] 画面には、MMB に Serial、Telnet/SSH および Web-UI で接続しているユーザーの一覧が表示できます。

図 2.85 [Who] 画面

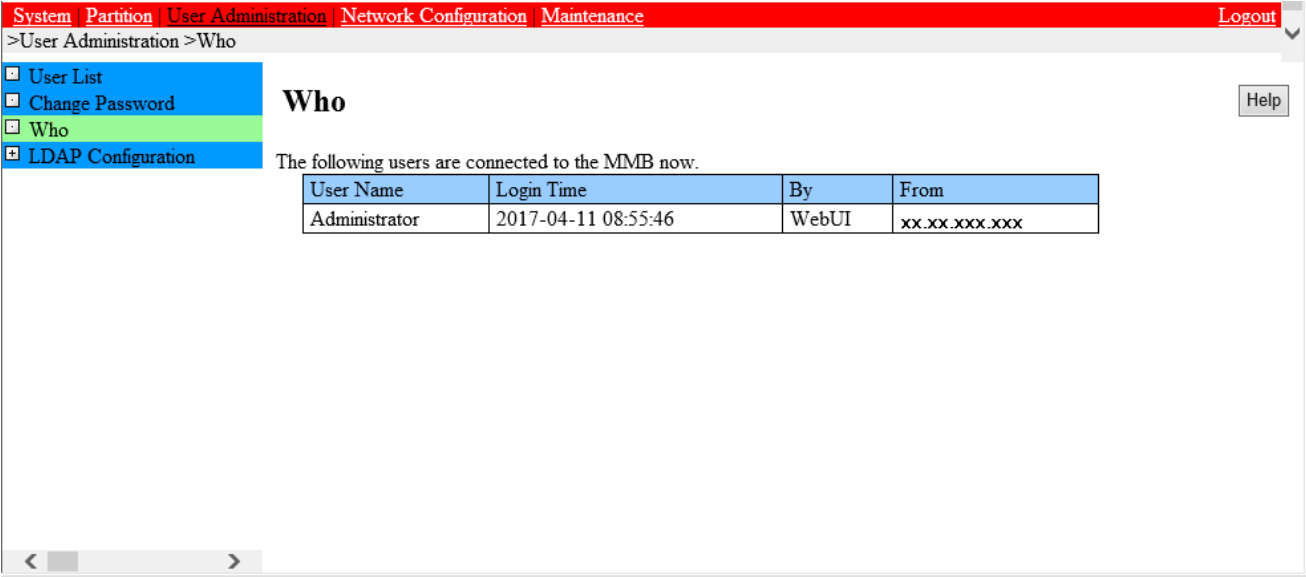


表 2.110 [Who] 画面の表示項目

項目	内容
User Name	Serial ポート、Telnet/SSH、または Web-UI で MMB にログインしているユーザー名を表示します。
Login Time	ログインした時間を表示します。
By	Web-UI または Telnet/SSH のどちらでログインしているのかを表示します。 Serial ポートからログインしている場合は「-」 (ハイフン) を表示します。
From	リモートからログインしている場合にリモートホストのホスト名または IP アドレス (IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス) を表示します。 ログイン時に MMB に設定されている DNS からホスト名がわかる場合はホスト名が表示され、わからない場合は IP アドレスを表示します。 MMB の Serial ポートからログインしている場合は「-」 (ハイフン) を表示します。 Web-UI の場合は、DNS を使用していても IP アドレスのみの表示となります。

2.5.4 [LDAP Configuration] 画面

[LDAP Configuration]画面では、LDAP 機能(Active Directory/Novell eDirectory/OpenLDAP/OpenDS/Open D)が設定可能です。

2.5.4.1 [Directory Service Configuration] 画面

[Directory Service Configuration] 画面では、ディレクトリサービスのディレクトリサービス構成設定やディレクトリサービスアクセス設定を行います。この画面の表示は Administrator 権限のユーザーのみ可能です。

図 2.86 [Directory Service Configuration] 画面

System Partition User Administration Network Configuration Maintenance Logout

>User Administration >LDAP Configuration >Directory Service Configuration

User List
Change Password
Who
LDAP Configuration
Directory Service Configuration
LDAP User Group List

Directory Service Configuration

Click the Apply Button to apply all changes.

Global Directory Service Configuration

LDAP	☐ Enable ☒ Disable	
LDAP SSL	☐ Enable ☒ Disable	
Directory Server Type	Active Directory	
Primary LDAP Server	LDAP Server	
	LDAP Port	389
	LDAP SSL Port	636
Backup LDAP Server	LDAP Server	
	LDAP Port	389
	LDAP SSL Port	636
Domain Name		
Base DN		
Groups directory as sub-tree from base DN		
User Search Context		
LDAP Group Scheme	group	
LDAP Member Scheme	member	

Directory Service Access Configuration

LDAP Auth UserName	
LDAP Auth Password	
Confirm Password	
Principal User DN	
Append Base DN to Principal User DN	☐ Enable ☒ Disable
Bind DN	
Enhanced User Login	☐ Enable ☒ Disable
User Login Search Filter	(&(objectclass=person)(cn=%s))

Apply Cancel Test LDAP

選択した Directory Server Type の種別によって入力できない項目はグレーで表示されます。

表 2.111 [Directory Service Configuration] 画面の表示・設定項目

項目	内容
Global Directory Service Configuration	
LDAP	LDAP の Enabled/Disabled を設定します。 デフォルトは Disabled です。 注意 LDAP が Enabled 時は、MMB へのログインはグローバルユーザーID のみとなります。 本項目が Disable の場合、LDAP SSL 以降の項目は使用されません。
LDAP SSL	LDAP サーバとの SSL の Enabled/Disabled を設定します。 デフォルトは Disabled です。 注意 本項目を Enable にする場合 LDAP の項目も Enable にする必要があります。
Directory Server Type	LDAP サーバが使用するディレクトリサービスを設定します。 - Active Directory - Novell eDirectory - OpenLDAP - Open DS / Open DJ デフォルトは Active Directory です。
Primary LDAP Server	プライマリ LDAP サーバを設定します。
LDAP Server	プライマリ LDAP サーバの IP アドレスまたは DNS 名を設定します。 DNS 名は 64 文字以下が設定可能です。
LDAP Port	プライマリ LDAP サーバの LDAP ポートを設定します。 設定可能なポート番号は、389, 1024~65535 です。 デフォルトは 389 です。
LDAP SSL Port	プライマリ LDAP サーバのセキュアな LDAP ポートを設定します。 設定可能なポート番号は、636, 1024~65535 です。 デフォルトは 636 です。
Backup LDAP Server	バックアップ LDAP サーバを設定します。
LDAP Server	バックアップ LDAP サーバの IP アドレスまたは DNS 名を設定します。 バックアップ LDAP サーバの設定が必要ない場合は LDAP Server の値を入力しません。 DNS 名は 64 文字以下が設定可能です。
LDAP Port	バックアップ LDAP サーバの LDAP ポートを設定します。 設定可能なポート番号は、389, 1024~65535 です。 デフォルトは 389 です。
LDAP SSL Port	バックアップ LDAP サーバのセキュアな LDAP ポートを設定します。 設定可能なポート番号は、636, 1024~65535 です。 デフォルトは 636 です。

項目	内容
Domain Name	ディレクトリサーバの完全な DNS パス名を設定します。 DNS 名は 64 文字以下が設定可能です。 Directory Server Type が Active Directory の場合に入力可能です。
Base DN	LDAP ディレクトリツリーの頂点の DN を設定します。 DN は 127 文字以下が設定可能です。 Directory Server Type が Active Directory の場合は入力不可です。
Groups Directory as subtree from base DN	Base DN 配下のグループディレクトリを設定します。 設定は 64 文字以下が可能です。 - Directory Server Type に Active Directory 以外を選択した場合、省略不可です。 - Directory Server Type に Active Directory を選択して本項目が未設定の場合、Base DN の設定値が検索開始位置となります。
User Search Context	ユーザー検索の開始地点を設定します。 設定は 64 文字以下が可能です。 - Directory Server Type に Active Directory 以外を選択した場合、省略不可です。 - Directory Server Type に Active Directory を選択して本項目が未設定の場合、Apply 後に本項目には Base DN の設定値が設定されます。
LDAP Group Scheme	LDAP group のスキームを設定します。 指定は 64 文字以下が可能です。 デフォルトは、Directory Server Type の選択により以下となります。 - Active Directory の場合：group - Active Directory 以外の場合：groupOfNames Directory Server Type が Active Directory の場合も入力可能です。
LDAP Member Scheme	LDAP member のスキームを設定します。 指定は 64 文字以下が可能です。 デフォルトは member です。 Directory Server Type が Active Directory の場合も入力可能です。
Directory Service Access Configuration	
LDAP Auth User Name	LDAP 認証ユーザー名を設定します。 ユーザー名は 3 文字以上 32 文字以下が設定可能です。 ユーザー名に指定できる文字は以下のとおりです。 [0-9], [a-z], [A-Z], 「-」 (ハイフン), 「_」 (アンダーバー), 「.」 (ドット)。 ただし、最初の 1 文字は[a-z][A-Z]のみ入力可能です。 Directory Server Type に Active Directory を選択した場合、入力可能です。

項目	内容
LDAP Auth Password	LDAP 認証パスワードを設定します。 パスワードは 8 文字以上 32 文字以下が設定可能です。 パスワードに使用できる文字は以下のとおりです。 数字：[0-9] 文字：[a-z]、[A-Z] 特殊文字：! " # \$ % & ' () = - ^ _ \ @ ` [] { } : * ; + ? < . > , / _ 以下のルールでパスワードを設定します。 ・ 入力可能文字数は、8 文字以上 32 文字以下です。 ・ パスワードの文字は 5 種以上を使用します。 (大文字小文字の同じ文字は 2 種となります。) (例: aabBcCee なら 6 種となります。) ・ 回文にならないようにします。 (例:madam など) ・ 類推できるパスワードは設定不可です。 (例:abcdefgh, 12345678 など)
Confirm Password	パスワードを確認します。
Principal User DN	プリンシパルユーザーDN を設定します。 設定は 64 文字以下が可能です。 Directory Server Type が Active Directory の場合は入力不可です。
Append Base DN to Principal User DN	プリンシパルユーザーDN にベース DN の追加の有無を設定します。 このオプションが有効な場合、プリンシパルユーザーDN にベース DN を付加します。 デフォルトは Disabled です。 Directory Server Type が Active Directory の場合は入力不可です。
Bind DN	設定を保存した後、LDAP 認証で使用する Principal User DN を表示します。
Enhanced User Login	拡張ユーザーログインの Enable/Disable を設定します。 有効にすると、ユーザーがログインする際の柔軟性を拡張するため、ユーザーログイン検索フィルタの指定ができます。 デフォルトは Disabled です。 Directory Server Type が Active Directory の場合も入力可能です。

項目	内容
User Login Search Filter	ユーザーログイン検索フィルタを設定します。 標準の検索フィルタ"(&(objectclass=person)(cn=%s))"を表示します。 ログイン時に、プレースホルダ "%s" は対応するグローバルログインに置き換えられます。 "cn=" の代わりに別の属性を指定することで、標準フィルタを変更することができます。 設定は 64 文字以下が可能です。 Directory Server Type が Active Directory の場合も入力可能です。

LDAP 機能を有効にする場合は、CLI により Admin 用と CE 用のスペシャルアカウントの作成と、LDAP ユーザーグループにて Admin 権限を持つグループを 1 つ、事前に作成する必要があります。

LDAP 機能を有効にした場合、ユーザー認証の参照先が、外部の LDAP サーバのみとなるため、ローカルユーザーIDでのログインが不可となり、グローバルユーザーIDのみでログイン可能となります。

グローバルユーザーID とは、グローバル・グループに属するユーザーを指します。
ユニバーサル・グループ内でグローバル・グループが含まれる場合も対象となります。

プライマリ LDAP サーバの設定は必須ですが、バックアップ LDAP サーバの設定は省略可能です。

表 2.112 [Directory Service Configuration] 画面のボタン

ボタン	内容
Apply	指定した情報が設定されます。
Cancel	指定した情報が設定されず、元に戻ります。
Test LDAP	アクセスデータを、LDAP ディレクトリサーバに送信します。

2.5.4.2 [LDAP User Group List] 画面

[LDAP User Group List] 画面では、現在登録されている各 LDAP ユーザーグループの情報を表示します。
この画面の表示は Administrator 権限のユーザーのみ可能です。

図 2.87 [LDAP User Group List] 画面

System Partition User Administration Network Configuration Maintenance Logout

>User Administration >LDAP Configuration >LDAP User Group List

User List
Change Password
Who
LDAP Configuration
Directory Service Configuration
LDAP User Group List

LDAP User Group List

Click the Add Group button to add a new group.
Select a group, then click the Edit/Remove Group button to edit or remove the group.

LDAP User Group Name	Privilege	Status	Operable Partition (for Partition Operator)
☐ Admin	Admin	Enabled	
☒ Operator	Operator	Disabled	

Add Group Edit Group Remove Group Cancel

ラジオボタンで Group を選択し、編集を行います。
また、Disabled 設定されている Group はグレーで表示されます。

表 2.113 [LDAP User Group List] 画面の表示項目

項目	内容
LDAP User Group Name	LDAP ユーザーグループ名を表示します。 グループ名は 3 文字以上 64 文字以下が設定可能です。 グループ名に指定できる文字は以下のとおりです。 [0-9], [a-z], [A-Z], 「-」 (ハイフン), 「_」 (アンダーバー), 「.」 (ドット)。 ただし、最初の 1 文字は[a-z][A-Z]のみ入力可能です。
Privilege	LDAP ユーザーグループの権限を表示します。
Status	現在のこの LDAP ユーザーグループの状態を表示します。 ・ Enabled : このグループのユーザーはログインできます。 ・ Disabled : このグループのユーザーはログインできません。
Operable Partition (for Partition Operator)	LDAP ユーザーグループに属するユーザーの操作可能なパーティションを表示します。

表 2.114 [LDAP User Group List] 画面のボタン

ボタン	内容
Add Group	[Add Group] 画面を表示します。
Edit Group	[Edit Group] 画面を表示します。
Remove Group	グループを削除します。
Cancel	指定した情報が設定されず、元に戻ります。

2.5.4.3 [Add LDAP User Group] 画面

[LDAP User Group List] 画面で[Add Group]ボタンをクリックし、[Add LDAP User Group]画面を表示します。
[Add LDAP User Group]画面では、新規にユーザーグループを登録することができます。
最大 16 グループまで登録を行うことができます。

図 2.88 [Add LDAP User Group List] 画面

System Partition User Administration Network Configuration Maintenance Logout

>User Administration >LDAP Configuration >Add LDAP User Group

User List
Change Password
Who
LDAP Configuration
Directory Service Configuration
LDAP User Group List

Add LDAP User Group

Click the Apply Button to apply all changes.

LDAP User Group Name

Privilege ☒ Admin ☐ Operator ☐ User ☐ OE ☐ Partition Operator

Status ☒ Enabled ☐ Disabled

Operable Partition (for Partition Operator)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Apply Cancel

必要事項を入力し、[Apply]ボタンをクリックすると、グループを作成し、[LDAP User Group List]画面に戻ります。
[LDAP User Group List]画面で登録したグループを確認することができます。
[Cancel]ボタンをクリックすると、何もせずに[LDAP User Group List]画面に戻ります。

表 2.115 [Add LDAP User Group]／[Edit LDAP User Group] 画面の表示・設定項目

項目	内容
LDAP User Group Name	LDAP ユーザーグループ名を設定します。 グループ名は 3 文字以上 64 文字以下が設定可能です。 グループ名に指定できる文字は以下のとおりです。 [0-9], [a-z], [A-Z], 「-」 (ハイフン), 「_」 (アンダーバー), 「.」 (ドット)。 ただし、最初の 1 文字は[a-z][A-Z]のみ入力可能です。
Privilege	グループの権限を設定します。
Status	現在のこのグループの状態を設定します。 ・ Enabled ・ Disabled
Operable Partition (for Partition Operator)	グループに属するユーザーの操作可能なパーティションを設定します。 [Privilege] で [Partition Operator] を選択した場合にのみ、設定できます。[Privilege] で [Partition Operator] 以外を選択した場合は、チェックボックスはグレースアウト表示されます。

表 2.116 [Add LDAP User Group]／[Edit LDAP User Group] 画面のボタン

ボタン	内容
Apply	グループが追加または更新され、[LDAP User Group List] 画面に戻ります。
Cancel	グループは追加または更新されずに、[LDAP User Group List] 画面に戻ります。

2.5.4.4 [Edit LDAP User Group] 画面

[LDAP User Group List] 画面でグループ管理情報を変更したいグループを選択します。[Edit Group] ボタンをクリックし、[Edit LDAP User Group]画面を表示します。

[Edit LDAP User Group]画面では、LDAP User Group Name 以外のグループ管理情報を変更することができます。

図 2.89 [Edit LDAP User Group] 画面

System Partition User Administration Network Configuration Maintenance Logout

>User Administration >LDAP Configuration >Edit LDAP User Group

User List
Change Password
Who
LDAP Configuration
Directory Service Configuration
LDAP User Group List

Edit LDAP User Group

Click the Apply Button to apply all changes.

LDAP User Group Name: Admin

Privilege: ☒ Admin ☐ Operator ☐ User ☐ CE ☐ Partition Operator

Status: ☒ Enabled ☐ Disabled

Operable Partition (for Partition Operator)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Apply Cancel

必要事項を入力し、[Apply] ボタンをクリックすると、グループ管理情報を変更し、[LDAP User Group List]画面に戻ります。[LDAP User Group List]画面で変更したアカウントを確認することができます。

[Cancel] ボタンをクリックすると、何もせずに[LDAP User Group List]画面に戻ります。

画面の表示・設定項目、画面のボタン、本画面で表示されるメッセージについては [2.5.4.3\[Add LDAP User Group\] 画面](#)を参照してください。

2.5.4.5 [Remove Group] ボタン

グループを削除する場合は、[LDAP User Group List] 画面でグループを選択し、[Remove Group] ボタンをクリックします。削除を確認するためのダイアログボックスが表示されます。削除する場合は[OK] ボタンをクリックします。キャンセルする場合は[Cancel] ボタンをクリックします。

2.6 [Network Configuration]メニュー

[Network Configuration] は、Administrator 権限を持つユーザーだけが使用できます。

2.6.1 [Date/Time] 画面

[Date/Time] 画面では、MMB の日付と時刻を設定します。

図 2.90 [Date/Time] 画面

System Partition User Administration Network Configuration Maintenance Logout

>Network Configuration >Date/Time

Date/Time Refresh Help

Click the Apply Button to apply all changes.

Date	2017 - 4 - 11
Time	☐ Modify the Time 9 : 41 : 29
Time zone	Asia / Tokyo
NTP	☐ Enable ☒ Disable
NTP Time Correction Mode	☒ Step ☐ Slew
NTP Server1	::
NTP Server2	::
NTP Server3	::
Current Sync Status	

Apply Cancel

表 2.117 [Date/Time] 画面の表示・設定項目

項目	内容
Date	日付を表示/設定します。 日付だけを指定した場合 ([Modify the Time] チェックボックスがオフの場合)、[Apply] ボタンがクリックされた時点の時間が指定されたものとして、指定された日付と時間が設定されます。たとえば、サマータイム期間外(1 月 1 日 13:00 現在) からサマータイム期間内(8 月 1 日) に日付変更する場合、8 月 1 日 13:00 を指定されたものとして処理します。
Time	[Date/Time] 画面を表示した時点の時刻(時：分：秒) を、24 時間形式で表示します。 表示を更新するためには、画面のリロードが必要です。 また、自動更新を設定している場合は、画面更新時の現在時刻を表示します。 時刻を設定する場合は、[Modify the Time] チェックボックスをオンにします。チェックボックスをオンにすると、時：分：秒のフィールドが入力可能となります。チェックしていない状態では、時：分：秒フィールドはグレイアウト表示されます。
Time zone	タイムゾーンをプルダウンメニューから選択します。
NTP	NTP 機能の有効／無効を設定します。 ・ Enable ・ Disable [Enable] に設定すると、MMB は以下の NTP1～NTP3 に設定されている NTP サーバと時刻を同期させます。 Enable 設定直後は NTP Time Correction Mode の設定に関わらず、サーバ側の時刻に同期させます。 デフォルトは Disable です。
NTP Time Correction Mode	NTP 時刻修正モードを設定します。 ([NTP] が[Enable] の場合に有効です。[Disable] の場合はグレイアウト表示されます。) ・ [Step] : NTP サーバとの時刻の差が 128msec 未満の場合は、Slew モード(1 秒間に 0.0005 秒ずつ)で時刻を修正します。差が 128msec 以上の場合は、一度に時刻を修正します。 差が±1000 秒(16 分 40 秒) 以上ある場合、NTP の機能が停止します。 ・ [Slew] NTP サーバとの時刻差により、以下の動作となります。 ・ ±600 秒(10 分) 未満の場合、Slew 調整します(逆進せずに 1 秒間に最大 0.0005 秒ずつ補正します)。 ・ ±600 秒(10 分) 以上、±1000 秒(16 分 40 秒) 未満の場合、Step 調整します(この場合、逆進の可能性があります)。 ・ ±1000 秒(16 分 40 秒) 以上の場合、NTP の機能が停止します。 デフォルトは Step です。
NTP 1	IPv4 または IPv6 の NTP サーバの IP アドレスを設定します。 ([NTP] が[Enable] の場合に有効です。[Disable] の場合はグレイアウト表示します。)
NTP 2	IPv4 または IPv6 の NTP サーバの IP アドレスを設定します。 ([NTP] が[Enable] の場合に有効です。[Disable] の場合はグレイアウト表示します。)
NTP 3	IPv4 または IPv6 の NTP サーバの IP アドレスを設定します。 ([NTP] が[Enable] の場合に有効です。[Disable] の場合はグレイアウト表示します。)

項目	内容
Current Sync Status	現在の NTP サーバとの同期状態を表示します。 ・ 同期している場合：IP アドレスと最終同期時刻を以下の形式で表示します。 xxx.xxx.xxx.xxx yyyy-mm-dd -dd:mm:ss ・ 同期していない場合：「No Sync」と表示します。 ・ ntpd が停止した場合：「Unknown」と表示します。(*1)

*1) NTP機能を再開する場合は、NTPの機能を一旦無効に設定し、再度有効にします。

表 2.118 [Date/Time] 画面のボタン

ボタン	内容
Apply	指定した情報が設定されます。
Cancel	指定した日付、タイムゾーンなどの情報が設定されず、元に戻ります。

(1) メニュー操作

[Network Configuration] - [Date/Time]

(2) 画面操作

1. 日付、タイムゾーンなどを指定して[Apply] ボタンをクリックします。
日付、タイムゾーンなどが設定されます。

■ NTP の時刻同期

NTP クライアントの時刻同期の動作仕様について説明します。

- 時刻同期開始時

MMB の NTP クライアントは動作開始時に NTP サーバとの時刻差に関係なく時刻同期を行います。

MMB の NTP クライアントは、以下のタイミングで動作開始します。

- MMB の NTP サービスを有効にしたタイミング([Network Configuration] - [Date/Time] 画面で[NTP]の [Enable] をオンにし、[Apply] ボタンをクリックしたタイミング)
- MMB の NTP サービスが有効のまま、MMB の Reset、MMB の二重化切替え、AC 電源の OFF→ON を行ったタイミング

- 時刻同期中

NTP の時刻調整方法は、NTP の動作モード(Step モード/Slew モード)により異なります。

Step モードの場合は、同期中の NTP サーバと MMB との時刻差が

- (1) ± 0.128 秒未満である場合、Slew 調整(逆進せずに 1 秒間に最大 0.0005 秒ずつ補正)します。
- (2) ± 0.128 秒以上、 ± 1000 秒未満である場合、Step 調整します(この場合、逆進の可能性があります)。
- (3) ± 1000 秒以上である場合、NTP の機能が停止します。

Slew モードの場合は、同期中の NTP サーバと MMB との時刻差が

- (1) ± 600 秒(10 分) 未満である場合、Slew 調整(逆進せずに 1 秒間に最大 0.0005 秒ずつ補正)します。
- (2) ± 600 秒(10 分) 以上、 ± 1000 秒(16 分 40 秒) 未満である場合、Step 調整します(この場合、逆進の可能性ががあります)。
- (3) ± 1000 秒(16 分 40 秒) 以上である場合、NTP の機能が停止します。

- 時刻同期の間隔

64 秒~1024 秒の間隔で同期します。初期の同期間隔は 64 秒で、同期精度が安定するに従い、64 秒→128 秒→256 秒→512 秒→1024 秒と段階的に増加します。

この同期間隔の増加アルゴリズムは RFC1305 に準拠しています。詳しくは、RFC1305 の 3.4.2 ~3.4.9 項を参照ください。

- MMB の NTP サーバの stratum

MMB の NTP サーバの stratum は、同期している外部 NTP サーバの stratum+1 となります。外部 NTP サーバと同期していない場合は 5 となります。

- うるう秒の対応

MMB の NTP にはうるう秒を挿入する機能はありません。そのため MMB の時刻をうるう秒に対応させるためには、うるう秒に対応した外部の NTP サーバと同期をとってください。

MMB の NTP クライアントが Step モードに設定されている場合、うるう秒の調整に対して、外部の NTP サーバがゆっくりと時刻をずらしても 0.128 秒以上の時刻差が発生すると MMB の時刻が Step 調整されることがあります。うるう秒の調整で Step 調整させたくない場合は、Slew モードを使用してください。

2.6.2 [Network Interface] メニュー

[Network Interface] のメニューには、以下の画面があります。

- [IPv4 Interface] 画面
- [IPv6 Interface] 画面

2.6.2.1 [IPv4 Interface] 画面

[IPv4 Interface] 画面では、MMB にアクセスするための IPv4 用の IP アドレスなどが設定できます。

図 2.91 [IPv4 Interface] 画面

The screenshot displays the 'IPv4 Interface' configuration page. The top navigation bar includes 'System', 'Partition', 'User Administration', 'Network Configuration', and 'Maintenance'. The breadcrumb trail is '>Network Configuration>Network Interface>IPv4 Interface'. A left sidebar lists various configuration options, with 'IPv4 Interface' selected. The main content area is titled 'IPv4 Interface' and includes a 'Help' button. Below the title, a message states: 'Click the Apply button for all changes to take effect.'

The configuration is divided into two main sections: 'MMB Virtual/Physical IP Address' and 'Maintenance IP Address'.

MMB Virtual/Physical IP Address

Virtual IP Address	
Hostname	PRIMEQUEST
IP Address	xx . xx . xx . xx
Subnet Mask	xx . xx . xx . xx
Gateway address	xx . xx . xx . xx
MMB#1 IP Address	
Interface	☒ Enable ☐ Disable
Hostname (optional)	
IP Address	xx . xx . xx . xx
Subnet Mask	xx . xx . xx . xx
Gateway address	xx . xx . xx . xx
DNS (optional)	
DNS	☐ Enable ☒ Disable
DNS Server 1	0 . 0 . 0 . 0
DNS Server 2	0 . 0 . 0 . 0
DNS Server 3	0 . 0 . 0 . 0
Management LAN	
Dualization	☐ Enable ☒ Disable

Maintenance IP Address

Interface	☒ Enable ☐ Disable
IP Address	192 . 168 . 1 . 1
Subnet Mask	255 . 255 . 255 . 0
Gateway address	0 . 0 . 0 . 0
SMTP address	0 . 0 . 0 . 0

At the bottom right, there are 'Apply' and 'Cancel' buttons.

表 2.119 [IPv4 Interface] 画面の表示・設定項目

項目	内容説明
MMB Virtual / Physical IP Address	
Virtual IP Address	Web-UI にアクセスするために使用する IPv4 用の仮想 IP アドレスを指定します。 MMB が二重化されている場合、本仮想 IP アドレスは切り替わった MMB に引き継がれます。
Hostname	FQDN 形式でホスト名を設定します。 最大 63 文字まで入力が可能です。 入力可能な文字は以下のとおりです。 [a-z]、[A-Z]、[0-9]、「-」(ハイフン)、「.」(ドット) 上記以外の文字は指定できません。 また、以下の制約があります。 - 先頭文字は英字でなければならない。 (ハイフン)、(ドット)を先頭文字、末尾文字として指定することはできない。 デフォルトは、"PRIMEQUEST" + 製品シリアル番号です。 たとえば、シリアル番号が 1020516004 の場合、"PRIMEQUEST1020516004" となります。 備考 ドメインで運用していない場合は FQDN 形式での設定は必須ではありません。
IP Address	IP アドレスを設定します。
Subnet Mask	サブネットマスクを設定します。
Gateway address	ゲートウェイの IP アドレスを設定します。
MMB#0 IP Address (*1)	MMB#0 のインターフェースに割り当てる物理 IP アドレスを指定します。 MMB#0 がシステムに存在するときに表示され設定が可能となります。 本インターフェースから Web-UI にはアクセスできません。 MMB#0 が搭載されていない場合、[MMB#0 IP Address] の表は表示されません。
Interface	MMB#0 の物理 IP アドレスを利用するかを指定します。 利用する場合は Enable を選択します。 デフォルトは Disable です。
Hostname (optional)	Host 名を使用する場合は Host 名を指定します。 最大 31 文字まで入力が可能です。
IP Address	IP アドレスを設定します。
Subnet Mask	サブネットマスクを設定します。
Gateway address	ゲートウェイの IP アドレスを設定します。
MMB#1 IP Address (*1)	MMB#1 のインターフェースに割り当てる物理 IP アドレスを指定します。 MMB#1 がシステムに存在するときに表示され設定が可能となります。 本インターフェースから Web-UI にはアクセスできません。 MMB#1 が搭載されていない場合、[MMB#1 IP Address] の表は表示されません。
Interface	MMB#1 の物理 IP アドレスを利用するかを指定します。 利用する場合は Enable を選択します。 デフォルトは Disable です。
Hostname (optional)	Host 名を使用する場合は Host 名を指定します。 最大 31 文字まで入力が可能です。
IP Address	IP アドレスを設定します。
Subnet Mask	サブネットマスクを設定します。

項目	内容説明
Gateway address	ゲートウェイの IP アドレスを設定します。
DNS (optional)	DNS サーバを利用するかどうかを設定します。
DNS	DNS サーバを利用するかどうかを設定します。 DNS を利用する場合は Enable を選択します。 デフォルトは Disable です。
DNS Server 1	Primary DNS サーバの IP アドレスを設定します。
DNS Server 2	Secondary DNS サーバの IP アドレスを設定します。
DNS Server 3	Third DNS サーバの IP アドレスを設定します。
Management LAN	管理 LAN の二重化設定を行います。
Dualization	管理 LAN の二重化設定を行います。 デフォルトは Disable です。
Maintenance IP Address	
Interface	CE/REMCS 用 LAN インターフェースの enable/disable を設定します。 デフォルトは Enable です。
IP Address	IP アドレスを設定します。 デフォルトは 192.168.1.1 です。
Subnet Mask	サブネットマスクを設定します。 デフォルトは 255.255.255.0 です。
Gateway address	ゲートウェイの IP アドレスを設定します。
SMTP address	SMTP の IP アドレスを設定します。

*1) 本画面の MMB IP Address と、他の IP Address の重複は、MMB IP Address の Interface 項目で Disable 設定の場合でも許可されません。また、MMB IP Address の 0.0.0.0 への初期化は行えません。重複チェックを回避するためには、一時的に MMB IP Address の Interface 項目で Enable に設定し、同一サブネットの IP アドレスを 1 つ用意して、MMB の IP Address を変更する必要があります。必要に応じて、MMB の IP Address 変更後、一時的に設定した MMB IP Address の Interface 項目を Disable へ戻します。

表 2.120 [IPv4 Interface] 画面のボタン

ボタン	内容
Apply	入力した情報が設定されます。
Cancel	IP アドレス、サブネットマスクなどの入力した情報が設定されず、元に戻ります。

(1) メニュー操作

[Network Configuration] - [Network Interface] - [IPv4 Interface]

(2) 画面操作

1. ネットワークインターフェース情報を設定するため、サブネットマスク、IP アドレスなどを選択／入力し、[Apply] ボタンをクリックします。
指定した IP アドレス、サブネットマスクなどが設定されます。

2.6.2.2 [IPv6 Interface] 画面

[IPv6 Interface] 画面では、MMB にアクセスするための IP アドレスなどが設定できます。

図 2.92 [IPv6 Interface] 画面

System Partition User Administration Network Configuration Maintenance Logout

>Network Configuration>Network Interface>IPv6 Interface

IPv6 Interface

Click the Apply button for all changes to take effect.

MMB Virtual/Physical IP Address

Virtual IP Address	
Hostname	PRIMEQUEST
Automatic Acquisition	Auto
IP Address	::
Prefix Length	0
Gateway address	::
MMB#1 IP Address	
Interface	☐ Enable ☒ Disable
Hostname (optional)	
Automatic Acquisition	Auto
IP Address	::
Prefix Length	0
Gateway address	::
DNS (optional)	
DNS	☐ Enable ☒ Disable
DNS Server 1	::
DNS Server 2	::
DNS Server 3	::
Management LAN	
Dualization	☐ Enable ☒ Disable

Maintenance IP Address

Interface	☐ Enable ☒ Disable
IP Address	::
Prefix Length	0
Gateway address	::
SMTP address	::

Apply Cancel

表 2.121 [IPv6 Interface] 画面の表示・設定項目

項目	内容説明
MMB Virtual / Physical IP Address	
Virtual IP Address	Web-UI にアクセスするために使用する IPv6 用の仮想 IP アドレスを指定します。 MMB が二重化されている場合、本仮想 IP アドレスは切り替わった MMB に引き継がれます。
Hostname	FQDN 形式でホスト名を設定します。 最大 63 文字まで入力が可能です。 入力可能な文字は以下のとおりです。 [a-z]、[A-Z]、[0-9]、[-] (ハイフン)、[.] (ドット) 上記以外の文字は指定できません。 また、以下の制約があります。 ・ 先頭文字は英字でなければならない。 ・ (ハイフン)、(ドット)を先頭文字、末尾文字として指定することはできない。 デフォルトは、"PRIMEQUEST" + 製品シリアル番号です。 たとえば、シリアル番号が 1020516004 の場合、"PRIMEQUEST1020516004" となります。 備考 ドメインで運用していない場合は FQDN 形式での設定は必須ではありません。
Automatic Acquisition	自動取得を行う場合、[Auto] ボタンをクリックします。グローバルアドレス、プレフィックス長およびゲートウェイの IP アドレスが自動取得され、上書きされます。
IP Address	グローバルアドレスを設定します。
Prefix Length	プレフィックス長を設定します。
Gateway address	ゲートウェイの IP アドレスを設定します。
MMB#0 IP Address (*1)	MMB#0 のインターフェースに割り当てる物理 IP アドレスを指定します。 MMB#0 がシステムに存在するときに表示され設定が可能となります。 本インターフェースから Web-UI にはアクセスできません。 MMB#0 が搭載されていない場合、[MMB#0 IP Address] の表は表示されません。
Interface	MMB#0 の物理 IP アドレスを利用するかを指定します。 利用する場合は Enable を選択します。 デフォルトは Disable です。
Hostname (optional)	Host 名を使用する場合は Host 名を指定します。 最大 31 文字まで入力が可能です。
Automatic Acquisition	自動取得を行う場合、[Auto] ボタンをクリックします。グローバルアドレス、プレフィックス長およびゲートウェイの IP アドレスが自動取得され、上書きされます。
IP Address	グローバルアドレスを設定します。
Prefix Length	プレフィックス長を設定します。
Gateway address	ゲートウェイの IP アドレスを設定します。
MMB#1 IP Address (*1)	MMB#1 のインターフェースに割り当てる物理 IP アドレスを指定します。 MMB#1 がシステムに存在するときに表示され設定が可能となります。 本インターフェースから Web-UI にはアクセスできません。 MMB#1 が搭載されていない場合、[MMB#1 IP Address] の表は表示されません。
Interface	MMB#1 の物理 IP アドレスを利用するかを指定します。 利用する場合は Enable を選択します。 デフォルトは Disable です。

項目	内容説明
Hostname (optional)	Host 名を使用する場合は Host 名を指定します。 最大 31 文字まで入力が可能です。
Automatic Acquisition	自動取得を行う場合、[Auto] ボタンをクリックします。グローバルアドレス、プレフィックス長およびゲートウェイの IP アドレスが自動取得され、上書きされます。
IP Address	グローバルアドレスを設定します。
Prefix Length	プレフィックス長を設定します。
Gateway address	ゲートウェイの IP アドレスを設定します。
DNS (optional)	DNS サーバを利用するかどうかを設定します。
DNS	DNS サーバを利用するかどうかを設定します。 DNS を利用する場合は Enable を選択します。 デフォルトは Disable です。
DNS Server 1	Primary DNS サーバの IP アドレスを設定します。
DNS Server 2	Secondary DNS サーバの IP アドレスを設定します。
DNS Server 3	Third DNS サーバの IP アドレスを設定します。
Management LAN	管理 LAN の二重化設定を行います。
Dualization	管理 LAN の二重化設定を行います。 デフォルトは Disable です。
Maintenance IP Address	
Interface	CE/REMCS 用 LAN インターフェースの enable/disable を設定します。 デフォルトは Disable です。
IP Address	グローバルアドレスを設定します。
Prefix Length	プレフィックス長を設定します。
Gateway address	ゲートウェイの IP アドレスを設定します。
SMTP address	SMTP の IP アドレスを設定します。 REMCS 接続しない、または REMCS 接続を P-P で行う場合は設定を行いません。

*1) 本画面の MMB IP Address と、他の IP Address の重複は、MMB IP Address の Interface 項目で Disable 設定の場合でも許可されません。また、MMB IP Address の::への初期化は行えません。重複チェックを回避するためには、一時的に MMB IP Address の Interface 項目で Enable に設定し、同一サブネットの IP アドレスを 1 つ用意して、MMB の IP Address を変更する必要があります。必要に応じて、MMB の IP Address 変更後、一時的に設定した MMB IP Address の Interface 項目を Disable へ戻します。

表 2.122 [IPv6 Interface] 画面のボタン

ボタン	内容
Auto	グローバルアドレスやプレフィックス長などを自動的に取得します。
Apply	入力した情報が設定されます。
Cancel	IP アドレスなどの入力した情報が設定されず、元に戻ります。

(1) メニュー操作

[Network Configuration] - [Network Interface] - [IPv6 Interface]

(2) 画面操作

1. ネットワークインターフェース情報を設定するため、IP アドレスなどを選択／入力し、[Apply] ボタンをクリックします。
指定した IP アドレスなどが設定されます。

2.6.3 [Management LAN Port Configuration] 画面

[Management LAN Port Configuration] 画面では、MMB ボード上の各ポートの Speed/Duplex の設定ができます。

図 2.93 [Management LAN Port Configuration] 画面

System Partition User Administration Network Configuration Maintenance Logout

>Network Configuration >Management LAN Port Configuration

Management LAN Port Configuration

Click the Apply button for all changes to take effect.

Speed/Duplex for MMB#0

User port	Auto
Maintenance port	Auto
REMCS port	Auto

Speed/Duplex for MMB#1

User port	Auto
Maintenance port	Auto
REMCS port	Auto

Apply Cancel

表 2.123 [Management LAN Port Configuration] 画面の表示・設定項目

項目	内容説明
Speed/Duplex for MMB#0	
User port	MMB#0 User port の Speed/Duplex を設定します。 • Auto • 100M/Full • 100M/Half • 10M/Full • 10M/Half デフォルトは Auto です。 備考 MMB#0 が搭載されている場合のみ表示されます。 User Port で 1G/Full を使用したい場合は、Auto を設定します。 User Port で 1G/Full 以外を使用したい場合は、User Port と LAN ケーブルで接続する機器の Speed/Duplex と同じ設定にします。
Maintenance port	MMB#0 Maintenance port の Speed/Duplex を設定します。 • Auto • 100M/Full • 100M/Half • 10M/Full • 10M/Half デフォルトは Auto です。 備考 MMB#0 が搭載されている場合のみ表示されます。
REMCS port	MMB#0 REMCS port の Speed/Duplex を設定します。 • Auto • 100M/Full • 100M/Half • 10M/Full • 10M/Half デフォルトは Auto です。 備考 MMB#0 が搭載されている場合のみ表示されます。

項目	内容説明
Speed/Duplex for MMB#1	
User port	MMB#1 User port の Speed/Duplex を設定します。 • Auto • 100M/Full • 100M/Half • 10M/Full • 10M/Half デフォルトは Auto です。 備考 MMB#1 が搭載されている場合のみ表示されます。 User Port で 1G/Full を使用したい場合は、Auto を設定します。 User Port で 1G/Full 以外を使用したい場合は、User Port と LAN ケーブルで接続する機器の Speed/Duplex と同じ設定にします。
Maintenance port	MMB#1 Maintenance port の Speed/Duplex を設定します。 • Auto • 100M/Full • 100M/Half • 10M/Full • 10M/Half デフォルトは Auto です。 備考 MMB#1 が搭載されている場合のみ表示されます。
REMCS port	MB#1 REMCS port の Speed/Duplex を設定します。 • Auto • 100M/Full • 100M/Half • 10M/Full • 10M/Half デフォルトは Auto です。 備考 MMB#1 が搭載されている場合のみ表示されます。

表 2.124 [Management LAN Port Configuration] 画面のボタン

ボタン	内容
Apply	入力した情報が設定されます。
Cancel	Speed/Duplex で指定した情報が設定されず、元に戻ります。

(1) メニュー操作

[Network Configuration] - [Management LAN Port Configuration]

(2) 画面操作

- Speed/Duplex を指定して [Apply] ボタンをクリックします。
Speed/Duplex が設定されます。

注意

Speed/Duplex を変更した場合は、通信状態を初期化するために下記手順に従って MMB の Reset を実行してください。

下記手順では MMB#0 が Active MMB の場合の手順を示します。

Active MMB が異なる場合は、MMB#0 と MMB#1 を読み替えて実行してください。

【MMB 2 重の場合】

1. MMB Web-UI にログインします。
2. Active MMB 画面(MMB#0)を開き、Standby MMB に切り替えます。
3. [Switch Over to MMB]のチェックボックスを選択し、[Apply]ボタンをクリックします。

System Partition **User Administration** Network Configuration Maintenance Logout

>System >MMB >MMB#0

System Status
System Event Log
Operation Log
Partition Event Log
System Information
Firmware Information
System Setup
System Power Control
LEDs
Power Supply
Fans
Temperature
SB
IOU
DU
PCI_Box
OPL
MMB
MMB#0
MMB#1
PCI_IFU_M
MGMT_IFU

MMB#0

Click the Apply Button to apply all changes.

Status	OK
Role	Active
Part Number	CA07603-D053 A7
Serial Number	PP16430276
MAC Address	User port 2C:D4:44:F0:A7:0E
	Maintenance port 2C:D4:44:F0:52:1B
Firmware Version	0.04
Location LED	Off On Off
Reset MMB	☐ Reset the MMB All existing network connections will be lost. You will need to login again.
Switch Over to MMB	☒ Switch Over to another MMB All existing network connections will be lost. You will need to login again.
Enable/Disable	☒ Enable ☐ Disable

Voltage

Sensor	Voltage	Threshold	
		Warning(Low/High)	Critical(Low/High)
P3.3VL	3.28 V	3.16/ 3.64 V	2.20/ 4.10 V
P1.5VL	1.49 V	1.39/ 1.61 V	0.97/ 1.81 V
P1.5VL_CPLD	1.49 V	1.39/ 1.61 V	0.98/ 1.81 V
P1.2VL	1.19 V	1.11/ 1.29 V	0.77/ 1.45 V
P1.0VL	0.99 V	0.92/ 1.08 V	0.64/ 1.21 V
P0.75VL	0.74 V	0.69/ 0.81 V	0.48/ 0.91 V

Apply Cancel

4. 再度 MMB Web-UI にログインします。
5. MMB#0 画面(Standby MMB)を開き、Reset します。
6. [Reset the MMB]のチェックボックスを選択し、[Apply]ボタンをクリックします。

System Partition **User Administration** Network Configuration Maintenance
Logout

>System >MMB >MMB#0

- ☐ System Status
- ☐ System Event Log
- ☐ Operation Log
- ☐ Partition Event Log
- ☐ System Information
- ☐ Firmware Information
- ☐ System Setup
- ☐ System Power Control
- ☐ LEDs
- ☐ Power Supply
- ☐ Fans
- ☐ Temperature
- ☐ SB
- ☐ IOU
- ☐ DU
- ☐ PCI_Box
- ☐ OPL
- ☐ MMB
 - ☒ MMB#0
 - ☐ MMB#1
- ☐ PCI_IFU_M
- ☐ MGMT_IFU

MMB#0

Click the Apply Button to apply all changes.

Status	OK
Role	Active
Part Number	CA07603-D053 A7
Serial Number	PP16430276
MAC Address	User port 2C:D4:44:F0:A7:0E
	Maintenance port 2C:D4:44:F0:52:1B
Firmware Version	0.04
Location LED	Off ☐ On ☐ Off ☐
Reset MMB	☒ Reset the MMB All existing network connections will be lost. You will need to login again.
Switch Over to MMB	☐ Switch Over to another MMB All existing network connections will be lost. You will need to login again.
Enable/Disable	☒ Enable ☐ Disable

Voltage

Sensor	Voltage	Threshold	
		Warning(Low/High)	Critical(Low/High)
P3.3VL	3.28 V	3.16/ 3.64 V	2.20/ 4.10 V
P1.5VL	1.49 V	1.39/ 1.61 V	0.97/ 1.81 V
P1.5VL_CPLD	1.49 V	1.39/ 1.61 V	0.98/ 1.81 V
P1.2VL	1.19 V	1.11/ 1.29 V	0.77/ 1.45 V
P1.0VL	0.99 V	0.92/ 1.08 V	0.64/ 1.21 V
P0.75VL	0.74 V	0.69/ 0.81 V	0.48/ 0.91 V

7. リセット処理が完了したことを確認します。Web-UI の MMB > MMB#0 を表示して、下図の項目が正しく表示されることを確認します。

- Part Number
- Serial Number
- Firmware Version
- Enable

System Partition **User Administration** Network Configuration Maintenance
Logout

>System >MMB >MMB#0

System Status

System Event Log

Operation Log

Partition Event Log

System Information

Firmware Information

System Setup

System Power Control

LEDs

Power Supply

Fans

Temperature

SB

IOU

DU

PCI_Box

OPL

MMB

MMB#0

MMB#1

PCI_IFU_M

MGMT_IFU

MMB#0

Click the Apply Button to apply all changes.

Status	OK
Role	Active
Part Number	CA07603-D053 A7
Serial Number	PP16430276
MAC Address	User port 2C:D4:44:F0:A7:0E
	Maintenance port 2C:D4:44:F0:52:1B
Firmware Version	0.04
Location LED	Off On Off
Reset MMB	☐ Reset the MMB All existing network connections will be lost. You will need to login again.
Switch Over to MMB	☐ Switch Over to another MMB All existing network connections will be lost. You will need to login again.
Enable/Disable	☒ Enable ☐ Disable

Voltage

Sensor	Voltage	Threshold	
		Warning(Low/High)	Critical(Low/High)
P3.3VL	3.28 V	3.16/ 3.64 V	2.20/ 4.10 V
P1.5VL	1.49 V	1.39/ 1.61 V	0.97/ 1.81 V
P1.5VL_CPLD	1.49 V	1.39/ 1.61 V	0.98/ 1.81 V
P1.2VL	1.19 V	1.11/ 1.29 V	0.77/ 1.45 V
P1.0VL	0.99 V	0.92/ 1.08 V	0.64/ 1.21 V
P0.75VL	0.74 V	0.69/ 0.81 V	0.48/ 0.91 V

Apply

Cancel

8. 2~7 の手順で MMB#1 に対して操作を繰り返し、Standby MMB にしてから Reset 操作を実施してください。

【MMB 1 重の場合】

1. MMB 画面を開き、Reset します。
2. [Reset the MMB]のチェックボックスを選択し、[Apply]ボタンをクリックしてください。

2.6.4 [Network Protocols] 画面

[Network Protocols] 画面では、MMB のネットワークプロトコルに関する設定をします。

図 2.94 [Network Protocols] 画面

System Partition User Administration Network Configuration Maintenance Logout

>Network Configuration >Network Protocols

Network Protocols

Click the Apply Button to apply all changes.

Web (HTTP/HTTPS)

HTTP	☒ Enable ☐ Disable
HTTP Port#[80,1024-65535]	8081
HTTPS	☐ Enable ☒ Disable
HTTPS Port#[432,443,1024-65535]	432
Timeout (sec) [0,60-9999]	0

Telnet

Telnet	☒ Enable ☐ Disable
Telnet Port#[23,1024-65535]	23
Timeout (sec) [0,60-9999]	0

SSH

SSH	☐ Enable ☒ Disable
SSH Port#[22,1024-65535]	22
Timeout (sec) [0,60-9999]	600

SNMP

SNMP Agent	☐ Enable ☒ Disable
Agent Port#[161,1024-65535]	161
SNMP Trap	☐ Enable ☒ Disable
Trap Port#[162,1024-65535]	162

Apply Cancel

表 2.125 [Network Protocols] 画面の表示・設定項目

項目	内容
Web (HTTP/HTTPS)	
HTTP	HTTP の Enable/Disable を設定します。 デフォルトは Enable です。
HTTP Port#	HTTP に使用するポート番号を設定します。 デフォルトは 8081 です。
HTTPS	HTTPS の Enable/Disable を設定します。 デフォルトは Disable です。
HTTPS Port#	HTTPS に使用するポート番号を設定します。 デフォルトは 432 です。
Timeout	HTTP/HTTPS 接続時に何も入力がない場合に、タイムアウトして接続を切断するまでの時間を設定します。 0、または 60～9999 の範囲で設定できます。 0 はタイムアウトなしを意味します。 デフォルトは 600 秒です。 備考 0 が設定されていても、ダイアログボックスを表示したままにしていると、HTTP/HTTPS 接続は切断されます。
Telnet	
Telnet	Telnet の Enable/Disable を設定します。 デフォルトは Enable です。
Telnet Port#	Telnet に使用するポート番号を設定します。 デフォルトは 23 です。
Timeout	Telnet 接続時に何も入力がない場合に、タイムアウトして接続を切断するまでの時間を設定します。 0、または 60～9999 の範囲で設定できます。 0 はタイムアウトなしを意味します。 デフォルトは 600 秒です。
SSH	
SSH	SSH の Enable/Disable を設定します。 デフォルトは Disable です。
SSH Port#	SSH に使用するポート番号を設定します。 デフォルトは 22 です。
Timeout	SSH 接続をタイムアウトするまでの時間を設定します。 0、または 60～9999 の範囲で設定できます。 0 はタイムアウトなしを意味します。 デフォルトは 600 秒です。
SNMP	
SNMP Agent	SNMP Agent の機能を Enable/Disable に設定します。 デフォルトは Disable です。

項目	内容
Agent Port#	SNMP Agent に使用するポート番号を設定します。 設定可能なポート番号は、161、1024～65535 です。 デフォルトは 161 です。
SNMP Trap	SNMP Trap の機能を Enable/Disable に設定します。 SNMP Trap を送信するには、SNMP Agent と SNMP Trap の機能を Enable にする必要があります。 デフォルトは Disable です。
Trap Port#	SNMP Trap に使用するポート番号を設定します。 設定可能なポート番号は、162、1024～65535 です。 デフォルトは 162 です。

備考

HTTPS を Enable にするには、有効な SSL 証明書が登録されている必要があります。
有効な SSL 証明書が登録されていない場合に、HTTPS を [Enable] にしようとしたときに、エラーが表示されます。

表 2.126 [Network Protocols] 画面のボタン

ボタン	内容
Apply	指定した情報が設定されます。
Cancel	ポート番号、タイムアウト時間などの指定した情報が設定されず、元に戻ります。

- (1) メニュー操作
[Network Configuration] - [Network Protocols]
- (2) 画面操作
プロトコルの情報を設定するため、ポート番号、タイムアウト時間などを指定し、[Apply] ボタンをクリックします。
ポート番号、タイムアウト時間などが設定されます。

2.6.5 [Refresh Rate] 画面

[Refresh Rate] 画面では、Web-UI 画面のうち、状態が変化する画面の自動更新を設定します。この設定は、ユーザー単位に設定・管理できます。

図 2.95 [Refresh Rate] 画面

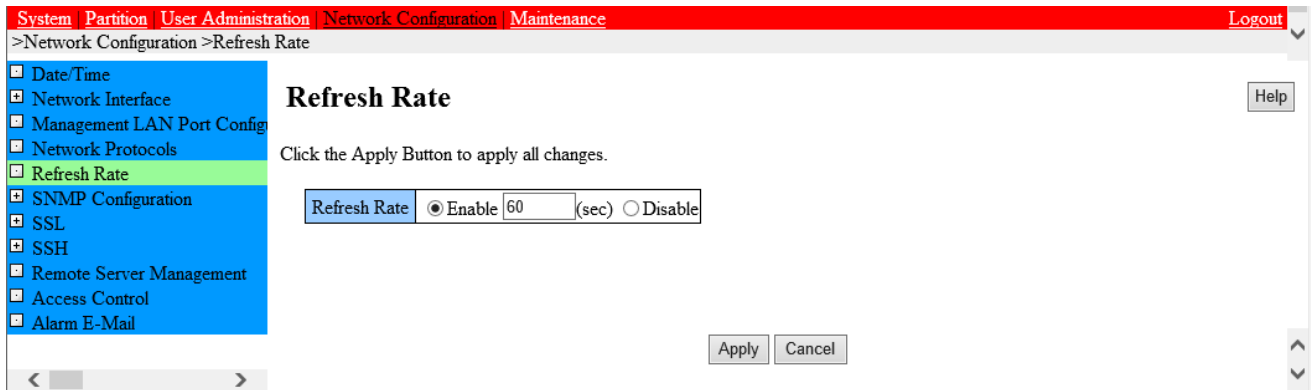


表 2.127 [Refresh Rate] 画面の表示・設定項目

項目	内容
Refresh Rate	表示内容が変化する Web-UI の画面を、自動的に更新するかどうかを設定します。 [Enable] を設定した場合は、自動更新の時間間隔を秒単位で設定できます。 指定可能な [Refresh Rate] の時間間隔は、5～999 秒です。 Disable では自動リフレッシュしません。 デフォルトは Disable です。 備考 Refresh Rate を Enable にしても、Dialog Box が表示されている場合は自動的に Refresh されません。

表 2.128 [Refresh Rate] 画面のボタン

ボタン	内容
Apply	リフレッシュの指定情報を設定します。
Cancel	リフレッシュの指定情報が設定されず、元に戻ります。

(1) メニュー操作

[Network Configuration] - [Refresh Rate]

(2) 画面操作

1. [Refresh Rate] の[Enable] または[Disable] を指定します。
[Enable] の場合は、時間間隔を入力します。
2. [Apply] ボタンをクリックします。
自動リフレッシュの情報が設定されます。

2.6.6 [SNMP Configuration] メニュー

[SNMP Configuration] のメニューには、以下の画面があります。

- [SNMP Community] 画面
- [SNMP Trap] 画面
- [SNMP v3 Configuration] 画面

2.6.6.1 [SNMP Community] 画面

[SNMP Community] 画面では、SNMP に関する設定ができます。

MMB では、最大 16 個の [Community/User] を設定できます。

図 2.96 [SNMP Community] 画面

System Partition User Administration Network Configuration Maintenance Logout

>Network Configuration >SNMP Configuration >Community

SNMP Community

Click the Apply Button to apply all changes.

System Information

System Name	PRIMEQUEST
System Location	
System Contact	

Note)System Name can be configured in System->[System Information](#) page.

Community

Community/User	IP Address/MASK	SNMP Version	Access	Auth
SNMP1	192.168.0.1	3 ▼	Read Only ▼	noauth ▼
SNMP2	10.10.10.0/24	3 ▼	Read Only ▼	auth ▼
		1 ▼	Read Only ▼	noauth ▼
		1 ▼	Read Only ▼	noauth ▼
		1 ▼	Read Only ▼	noauth ▼
		1 ▼	Read Only ▼	noauth ▼
		1 ▼	Read Only ▼	noauth ▼
		1 ▼	Read Only ▼	noauth ▼
		1 ▼	Read Only ▼	noauth ▼
		1 ▼	Read Only ▼	noauth ▼
		1 ▼	Read Only ▼	noauth ▼
		1 ▼	Read Only ▼	noauth ▼
		1 ▼	Read Only ▼	noauth ▼
		1 ▼	Read Only ▼	noauth ▼
		1 ▼	Read Only ▼	noauth ▼
		1 ▼	Read Only ▼	noauth ▼

Apply Cancel

表 2.129 [SNMP Community] 画面の表示・設定項目

項目	内容
System Name	SNMP のシステム名を表示します。 システム名は[System] -[System Information] で設定します。
System Location	SNMP の System Location を設定します。 最大 63 文字まで入力が可能です。 英数字、半角スペースと以下の文字を使用できます。 ! " # \$ % & ' () = - ^ ~ \ @ ` [] { } ; : * + ? < > . , / _ ただし、以下の制限があります。 ・ # と半角スペースは先頭文字として使用できません。 ・ 半角スペースは最後の文字として使用できません。
System Contact	SNMP の System Contact を設定します。 System Contact に使用できる文字は[System Location] と同じです。
Community/User	SNMP v1、v2 の場合は SNMP Community スtringを設定します。 SNMP v3 の場合は User 名を指定します。 最大 31 文字まで入力が可能です。 英数字と以下の文字を使用できます。 ! " # \$ % & ' () * + , - . / @ [] ^ _ ` {   } ~ ただし、「"」(ダブルクォーテーション)、「#」(シャープ)、「'」(シングルクォーテーション)、「`」(バッククォーテーション) は先頭文字として使用できません。
IP Address/MASK	・ IP アドレスを指定する場合：IP アドレスを指定します。(例:192.168.0.1) ・ サブネットで指定する場合：サブネットおよびマスクを指定します。 (例:10.10.10.0/24、XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:YYYY:YYYY:YYYY:YYYY/64)
SNMP Version	SNMP のバージョンを設定します。(1、2、3)
Access	読み込みのみか、書き込みも許可するのかを設定します。 ・ Read Only ・ Read Write
Auth	セキュリティレベルを設定します。 [SNMP Version] で[3] が選択された場合のみ設定可能となります。 ・ noauth：認証機能を利用しません。 ・ auth：認証機能を利用します。 ・ priv：認証機能および「プライバシー」機能(データの暗号化)を利用します。 [SNMP Version] で[1] または[2] が選択されている場合は、本項目は設定できません(グレーアウト表示)。この場合のセキュリティレベルは、noauth のみです。

表 2.130 [SNMP Community] 画面のボタン

ボタン	内容
Apply	指定した情報が設定されます。
Cancel	コミュニティ、アクセスを許す IP アドレスなど、指定した情報は設定されず、元に戻ります。

(1) メニュー操作

[Network Configuration] - [SNMP Configuration] - [SNMP Community]

(2) 画面操作

- コミュニティなどの情報を設定する場合
 1. コミュニティ、アクセスを許す IP アドレス、SNMP バージョン、アクセス権限、認証などを入力し、[Apply] ボタンをクリックします。
 2. 入力した情報が設定されます。
- コミュニティなどの情報を削除する場合
 1. コミュニティ、およびアクセスを許す IP アドレスをクリアし、[Apply] ボタンをクリックします。
 2. 設定されていた情報がクリアされます。

2.6.6.2 [SNMP Trap] 画面

[SNMP Trap] 画面では、SNMP トラップの送信先を設定します。

トラップ先は、最大 16 個まで設定できます。

SNMP Trap を送信するには、[Network Protocols] 画面で SNMP Agent と SNMP Trap の機能を Enable にする必要があります。

図 2.97 [SNMP Trap] 画面

System Partition User Administration Network Configuration Maintenance Logout

>Network Configuration >SNMP Configuration >Trap

SNMP Trap

Click the Apply Button to apply all changes.

Trap Destination

Community/User	IP Address	SNMP Version	Auth	Auth Type	Auth passphrase Priv passphrase
☐		1	noauth	MD5	
☐		1	noauth	MD5	
☐		1	noauth	MD5	
☐		1	noauth	MD5	
☐		1	noauth	MD5	
☐		1	noauth	MD5	
☐		1	noauth	MD5	
☐		1	noauth	MD5	
☐		1	noauth	MD5	
☐		1	noauth	MD5	
☐		1	noauth	MD5	
☐		1	noauth	MD5	
☐		1	noauth	MD5	
☐		1	noauth	MD5	
☐		1	noauth	MD5	
☐		1	noauth	MD5	

Apply Cancel Test Trap

表 2.131 [SNMP Trap] 画面の表示・設定項目

項目	内容
Community/User	SNMP v1、v2 の場合は SNMP Community スtringを設定します。 SNMP v3 の場合は User 名を指定します。 最大 31 文字まで入力が可能です。 英数字と以下の文字を使用できます。 !"#\$%&'()*+,-./@[]^_`{ }~</p> <p>ただし、「"」(ダブルクォーテーション)、「#」(シャープ)、「'」(シングルクォーテーション)、「`」(バッククォーテーション) は先頭文字として使用できません。
IP Address	IPv4 または IPv6 の Trap 転送先の IP アドレスを設定します。
SNMP Version	SNMP のバージョンを設定します。(1、2、3)
Auth	セキュリティレベルを設定します。 [SNMP Version] で[3] が選択された場合のみ設定可能です。 ・ noauth：認証機能を利用しません。 ・ auth：認証機能を利用します。 ・ priv：認証機能および「プライバシー」機能(データの暗号化)を利用します。 [SNMP Version] で[1] または[2] に設定されている場合は、本項目は設定できません(グレーアウト表示)。この場合のセキュリティレベルは noauth のみです。
Auth Type	パスワードを暗号化するのに使用するハッシュ関数を指定します。 ・ MD5 ・ SHA [SNMP Version] で[3] が選択された場合のみ有効です。[SNMP Version] で[1] または[2] に設定されている場合は、本項目は設定できません(グレーアウト表示)。
Auth passphrase	認証用のパスフレーズを設定します。 [SNMP Version] が[3]、かつ[Auth] に[auth]、または[priv] が設定されている場合のみ有効です。 8 文字以上 31 文字以下で設定可能です。 英数字と以下の文字を使用できます。 !"#\$%&'()*+,-./@[]^_`{ }~</p> <p>ただし、「"」(ダブルクォーテーション)、「#」(シャープ)、「'」(シングルクォーテーション)、「`」(バッククォーテーション) は先頭文字として使用できません。
Priv passphrase	暗号化用のパスフレーズを設定します。 [SNMP Version] が[3]、かつ[Auth] に[priv] が設定されている場合のみ有効です。 8 文字以上 31 文字以下で設定可能です。 英数字と以下の文字を使用できます。 !"#\$%&'()*+,-./@[]^_`{ }~</p> <p>ただし、「"」(ダブルクォーテーション)、「#」(シャープ)、「'」(シングルクォーテーション)、「`」(バッククォーテーション) は先頭文字として使用できません。

表 2.132 [SNMP Trap] 画面のボタン

ボタン	内容
Apply	指定した情報が設定されます。
Cancel	コミュニティまたはユーザー名、トラップ転送先の IP アドレスなどの指定した情報が設定されず、元に戻ります。
Test Trap	現在設定されているトラップディスティネーションに対してテスト用のトラップが送信されます。

(1) メニュー操作

[Network Configuration] - [SNMP Configuration] - [SNMP Trap]

(2) 画面操作

- SNMP トラップの情報を設定する場合
 1. コミュニティまたはユーザー名、トラップ転送先の IP アドレス、SNMP バージョンおよび、認証レベルを入力して[Apply] ボタンをクリックします。
入力した情報が設定されます。
- テスト用のトラップを送信する場合
 1. [Test Trap] ボタンをクリックします。
テストトラップが送信されます。

2.6.6.3 [SNMP v3 Configuration] 画面

[SNMP v3 Configuration] 画面では、SNMP v3 に固有の Engine ID およびユーザーを設定します。
SNMPv3 ユーザーを最大 16 ユーザーまで登録できます。すでに登録されているユーザーは、名前が表示されます。

備考

Engine ID または IP アドレスを変更した場合、SNMP v3 アクセス用に設定したユーザーは最初からすべて設定しなおす必要があります。

設定したユーザーを有効にするためには、いったん SNMP サービスを停止させ再起動する必要があります。

そのため、本画面で [Apply] ボタンをクリックした場合、一時的に SNMP サービスが停止され、自動で再起動されます。

図 2.98 [SNMP v3 Configuration] 画面

System Partition User Administration Network Configuration Maintenance Logout

>Network Configuration >SNMP Configuration >SNMPv3 Configuration

SNMP v3 Configuration

Click the Apply Button to apply all changes.

Engine ID

User Name	Auth Type	Auth passphrase Auth passphrase (confirm)	Priv passphrase Priv passphrase (confirm)
☐	☒ MD5 ☐ SHA	 	
☐	☒ MD5 ☐ SHA	 	
☐	☒ MD5 ☐ SHA	 	
☐	☒ MD5 ☐ SHA	 	
☐	☒ MD5 ☐ SHA	 	
☐	☒ MD5 ☐ SHA	 	
☐	☒ MD5 ☐ SHA	 	
☐	☒ MD5 ☐ SHA	 	

Apply Cancel

表 2.133 [SNMPv3 Configuration] 画面の表示・設定項目

項目	内容
Engine ID	Engine ID を設定します。 省略可能ですが、Engine ID を設定することで、SNMP エージェントを一意に識別可能になります。 最大 27 文字まで入力が可能です。 英数字、半角スペースと以下の文字を使用できます。 ! " # \$ % & ' () = - ^ _ \ @ ` [] { } ; : * + ? < > . , / _ ただし、以下の制限があります。 ・ # と半角スペースは先頭文字として使用できません。 ・ 半角スペースは最後の文字として使用できません。
User Name	チェックボックスをオンにし、ユーザー名を設定します。 最大 31 文字まで入力が可能です。 英数字と以下の文字を使用できます。 ! " # \$ % & ' () * + , - . / @ [] ^ _ ` { } ~ ただし、「"」(ダブルクォーテーション)、「#」(シャープ)、「'」(シングルクォーテーション)、「'」(バッククォーテーション) は先頭文字として使用できません。
Auth Type	認証タイプを設定します。 ・ MD5：パスワード暗号化のハッシュ関数として MD5 を使用します。 ・ SHA：パスワード暗号化のハッシュ関数として SHA を使用します。
Auth passphrase Auth passphrase (confirm)	認証用のパスフレーズを設定します。 8 文字以上 31 文字以下で設定可能です。 パスワードベース認証(暗号化なし)が有効な場合にパケット暗号化に使用されるキーワードです。 英数字と以下の文字を使用できます。 ! " # \$ % & ' () * + , - . / @ [] ^ _ ` { } ~ ただし、「"」(ダブルクォーテーション)、「#」(シャープ)、「'」(シングルクォーテーション)、「'」(バッククォーテーション) は先頭文字として使用できません。
Priv passphrase Priv passphrase (confirm)	暗号化用のパスフレーズを設定します。 8 文字以上 31 文字以下で設定可能です。 パスワードベースの認証と暗号化が有効な場合にパケット暗号化に使用されるキーワードです。 英数字と以下の文字を使用できます。 ! " # \$ % & ' () * + , - . / @ [] ^ _ ` { } ~ ただし、「"」(ダブルクォーテーション)、「#」(シャープ)、「'」(シングルクォーテーション)、「'」(バッククォーテーション) は先頭文字として使用できません。

表 2.134 [SNMP v3 Configuration] 画面のボタン

ボタン	内容
Apply	指定した情報を設定します。
Cancel	指定した情報は設定されず、元に戻ります。

(1) メニュー操作

[Network Configuration] - [SNMP Configuration] - [SNMP v3 Configuration]

(2) 画面操作

- 選択したユーザーの情報を修正する場合
 1. ユーザーのチェックボックスをオンにし、必要な情報を入力して[Apply] ボタンをクリックします。
選択したユーザーが反映されます。このとき、SNMP サービスはいったん停止され、再起動されます。
- 選択したユーザーを無効にする場合
 1. 無効にするユーザーのチェックボックスをオンにし、ユーザー名に何も入力せず、[Apply] ボタンをクリックします。
選択したユーザーが無効になります。

2.6.7 [SSL] メニュー

[SSL] メニューには、次の画面があります。

- [Create CSR] 画面
- [Export Key/CSR] 画面
- [Import Certificate] 画面
- [Create Selfsigned Certificate] 画面

2.6.7.1 [Create CSR] 画面

[Create CSR] 画面では、秘密鍵と、それに対応する CSR (署名要求) を作成します。下記の入力項目は認証局によって固有のガイドラインがあるため、送付先として選択した認証局のガイドラインに従って入力します。

図 2.99 [Create CSR] 画面

The screenshot displays the 'Create CSR' web interface. The top navigation bar includes 'System', 'Partition', 'User Administration', 'Network Configuration', and 'Maintenance'. The left sidebar menu shows 'Date/Time', 'Network Interface', 'Management LAN Port Configuration', 'Network Protocols', 'Refresh Rate', 'SNMP Configuration', 'SSL' (expanded), 'SSH', 'Remote Server Management', 'Access Control', and 'Alarm E-Mail'. Under 'SSL', 'Create CSR' is highlighted. The main content area is titled 'Create CSR' and contains the following text: 'Click the Create CSR Button for creating a new Key and a CSR(Certificate Signing Request).', 'SSL certificate status: No certificate is installed.', and a form with the following fields: 'Key length' (radio buttons for 1024 and 2048), 'Country Name(ISO ex. [JP][US])', 'State or Province Name', 'Locality Name', 'Organization Name', 'Organization Unit Name', 'Common Name', and 'E-Mail Address'. At the bottom right, there are 'Create CSR' and 'Cancel' buttons.

表 2.135 [Create CSR] 画面の表示・設定項目

項目	内容
SSL certificate status	現在の SSL 証明書のインストール状況を表示します。 ・ No certificate is installed. : SSL 証明書がインストールされていません。 ・ CSR has been generated. : CSR が作成済みです。 ・ A signed certificate is installed. : SSL 証明書がインストール済みです。
Key length	作成する秘密鍵の鍵長 (bit 数) を選択します。 ・ 1024 ・ 2048
Country Name	作成する CSR に設定される所有者の ISO 国コードを 2 文字の英字で設定します。 例： 日本「JP」、USA「US」
State or Province Name	作成する CSR に設定される所有者の都道府県名を 56 文字以内の指定可能文字で設定します。
Locality Name	作成する CSR に設定される所有者の都市名を 56 文字以内の指定可能文字で設定します。
Organization Name	作成する CSR に設定される所有者の組織名 (会社名) を 56 文字以内の指定可能文字で設定します。
Organization Unit Name	作成する CSR に設定される所有者の所属名を 56 文字以内の指定可能文字で設定します。
Common Name	作成する CSR に設定される所有者のサーバ(MMB)の FQDN を 56 文字以内の指定可能文字で設定します。 たとえば、www.mycompany.com など。ブラウザは、この情報を使って Web サイトを確認します。ブラウザによっては、サーバ名と電子証明書に組み込まれている Common Name が一致しない場合、安全な接続の確立を拒否する場合があります。このため、MMB を FQDN でアクセスする場合、Common Name は MMB と同じ FQDN を設定する必要があります。Common Name には、プロトコル指定子 http:// やポート番号、パス名などを含めません。また、"*"、"?" などのワイルドカードや IP アドレスの使用は禁止されています。
E-Mail Address	作成する CSR に設定される所有者の E-Mail アドレスを 40 文字以内の指定可能文字で設定します。

表 2.136 [Create CSR] 画面のボタン

ボタン	内容
Create CSR	秘密鍵と署名要求が作成されます。
Cancel	指定した情報は設定されず、元に戻ります。

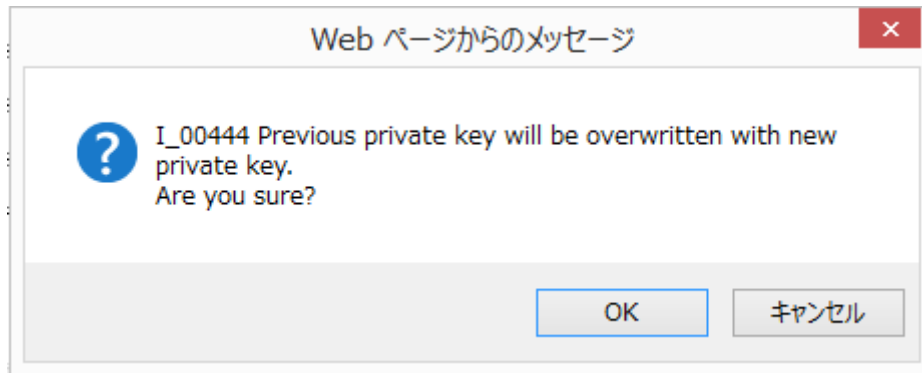
(1) メニュー操作

[Network Configuration] - [SSL] - [Create CSR]

(2) 画面操作

1. 秘密鍵の長さ、所有者の ISO 国コードなどを指定して [Create CSR] ボタンをクリックします。
新しい秘密鍵を作成すると以前の秘密鍵が使用できなくなる旨のダイアログボックス(1)が表示されます。

図 2.100 確認ダイアログボックス(1)



2. ダイアログボックス(1)の [OK] ボタンをクリックします。新しい秘密鍵と署名要求が作成されます。作成時間が数分かかることがあり、作成が完了すると確認ダイアログボックス(2)が表示されます。

図 2.101 確認ダイアログボックス(2)



3. 新しい秘密鍵を設定する場合、確認ダイアログボックス(2)の [OK] ボタンをクリックします。作成した新しい秘密鍵が設定され、[Export Key/CSR] 画面が表示されます。

2.6.7.2 [Export Key/CSR] 画面

[Export Key/CSR] 画面では、MMB 内に格納されている秘密鍵または CSR (署名要求) を取り出せます。

備考

セキュリティ上、秘密鍵の保管には注意が必要です。

また、本秘密鍵に対して発行された電子証明書を使用するためには、この秘密鍵が必要となるため、秘密鍵を必ずバックアップしておくことを推奨します。

図 2.102 [Export Key/CSR] 画面



表 2.137 [Export Key/CSR] 画面のボタン

ボタン	内容
Export Key	秘密鍵が取り出されます。
Export CSR	CSR が取り出されます。

(1) メニュー操作

[Network Configuration] - [SSL] - [Export Key/CSR]

(2) 画面操作

- 秘密鍵を取り出す場合
 1. [Export Key] ボタンをクリックします。
ダイアログボックスが表示されます。
 2. 保存するパスを指定します。
指定したパスに秘密鍵が保存されます。
- CSR を取り出す場合
 1. [Export CSR] ボタンをクリックします。
ダイアログボックスが表示されます。
 2. 保存するパスを指定します。
指定したパスに CSR が保存されます。

2.6.7.3 [Import Certificate] 画面

[Import Certificate] 画面では、認証局から送付されてきた署名済みの電子証明書を MMB にインポートできます。

図 2.103 [Import Certificate] 画面

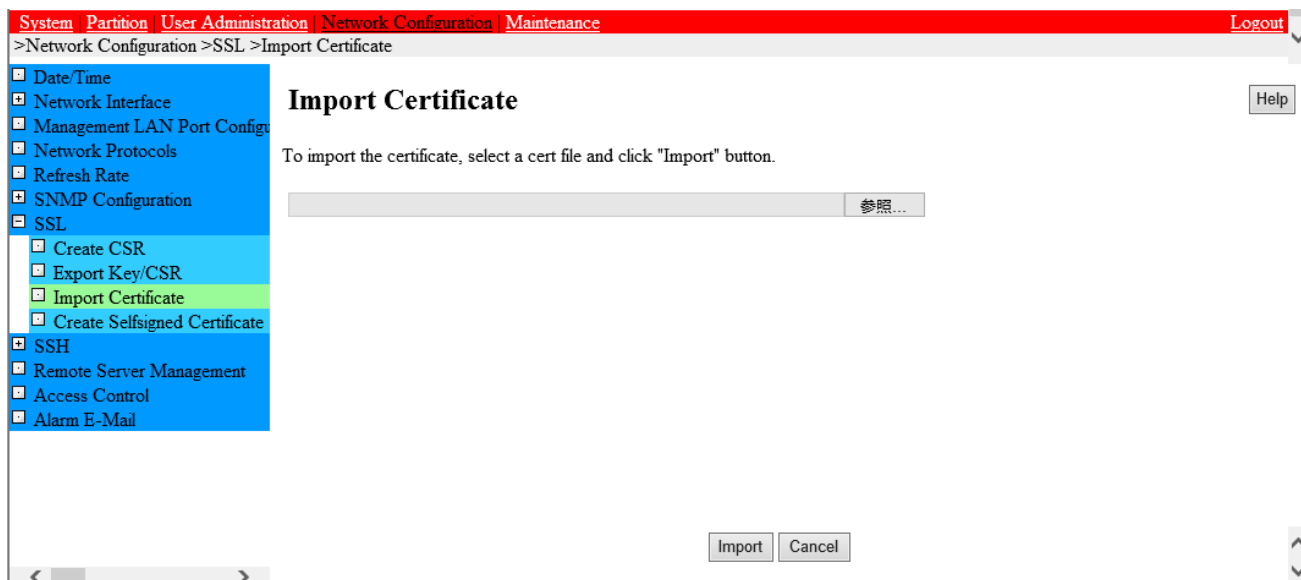


表 2.138 [Import Certificate] 画面のボタン

ボタン	内容
参照	インポートする電子証明書を選択する画面を表示します。
Import	電子証明書をインポートします。 不正な証明書をインポートした場合は、インポートが拒否されてエラーメッセージが表示されます。
Cancel	インポートを取り消します。

(1) メニュー操作

[Network Configuration] - [SSL] - [Import certificate]

(2) 画面操作

1. [参照] ボタンをクリックしてインポートするファイルを選択し、[Import] ボタンをクリックします。
電子証明書がインポートされます。

2.6.7.4 [Create Selfsigned Certificate] 画面

[Create Selfsigned Certificate] 画面では、自己署名した証明書が作成されます。

備考

自己署名証明書を作成する前に、[Network Protocols] 画面で HTTPS が[Disable] になっていることを確認してください。[Enable] の場合は、[Disable] に設定してから本画面の処理をします。

図 2.104 [Create Selfsigned Certificate] 画面

表 2.139 [Create Selfsigned Certificate] 画面の表示項目

項目	内容
Term	自己署名証明書の有効期限を日数で設定します。
その他の項目については、「 [Create CSR] 画面 」を参照ください。	

表 2.140 [Create Selfsigned Certificate] 画面のボタン

ボタン	内容
Create Selfsigned Certificate	自己署名証明書が作成されます。
Cancel	証明書の作成を中止します。

(1) メニュー操作

[Network Configuration] - [SSL] - [Create Selfsigned Certificate]

(2) 画面操作

1. 自己署名証明書を作成する前に、[Network Protocols] 画面の項目の[HTTPS] が[Disable] になっていることを確認します。
2. 秘密鍵の長さ、所有者の ISO 国コードなどを指定して[Create Selfsigned Certificate] ボタンをクリックします。
確認のダイアログボックスが表示されます。
3. ダイアログボックスの[OK] ボタンをクリックします。
自己署名証明書が作成されます。作成には数分かかります。作成が完了すると画面が更新され、「SSL certificate status: A signed certificate is installed.」と自己署名証明書がインストールされたことが表示されます。

2.6.8 [SSH] メニュー

[SSH] メニューには、[Create SSH Server Key] 画面があります。

2.6.8.1 [Create SSH Server Key] 画面

[Create SSH Server Key] 画面では、SSH サーバのプライベートキーを作成できます。

- Private Key を作成することにより SSH クライアントがサーバ(MMB)に接続する際(初回ログイン時)に MMB が正当なホストであることの確認が行われます。

注意

プライベートキーを作成しない場合は、電源オフ／オンでの MMB 再起動時に作り直されます。永続的に使用する場合は以下の作業が必要です。

図 2.105 [Create SSH Server Key] 画面

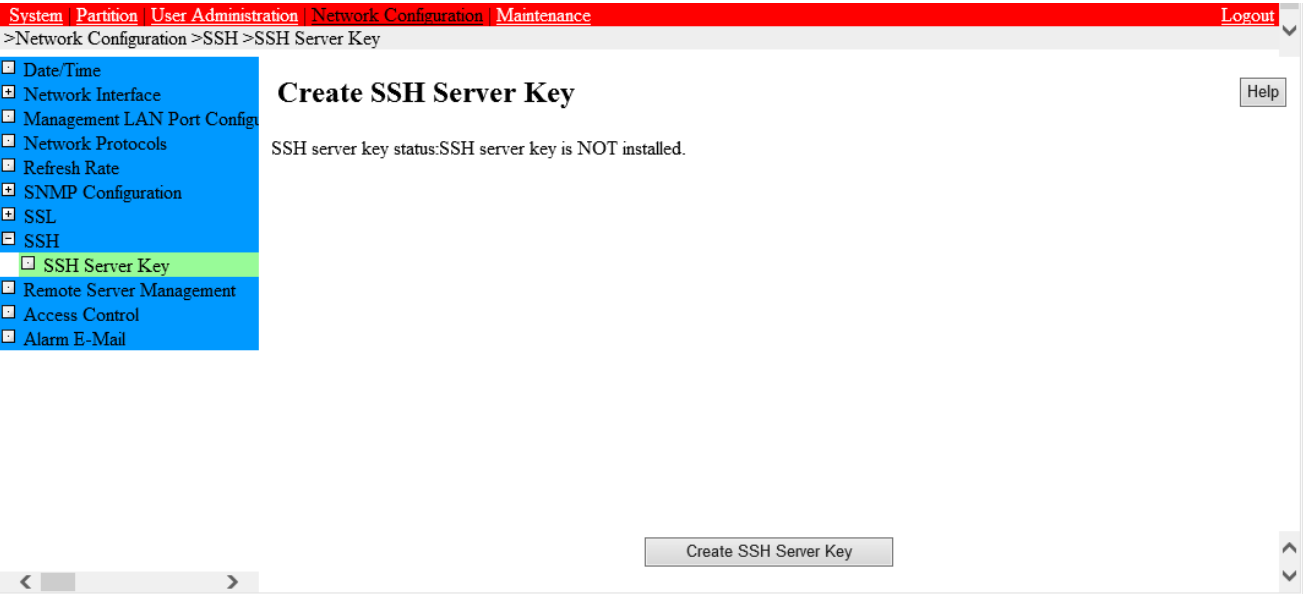


表 2.141 [Create SSH Server Key] 画面のボタン

ボタン	内容
Create SSH Server Key	SSH サーバのプライベートキーが作成されます。

(1) メニュー操作

[Network Configuration] - [SSH] - [Create SSH Server Key]

(2) 画面操作

1. プライベートキーを作成する前に、[Network Protocols] 画面の項目の[SSH] が[Disable] になっていることを確認します。
2. [Create SSH Server Key] ボタンをクリックします。
プライベートキーが作成されます。作成には数分かかることがあります。作成が完了すると確認ダイアログボックスが表示されます。
3. 新しく作成したプライベートキーを登録する場合、[OK] ボタンをクリックします。新しく作成したプライベートキーが登録されます。
新しく作成したプライベートキーを登録しない場合、[Cancel] ボタンをクリックします。作成した新しいプライベートキーは破棄されます。

2.6.9 [Remote Server Management] 画面

[Remote Server Management] 画面では、リモートから RMCP で MMB を制御するために必要なユーザーを設定します。

最大で 24 ユーザーまで登録できます。

デフォルトでは、すべてのユーザーは[Disabled] 状態かつ[No Access] に設定されています。また、デフォルトのユーザー名として[User0] から[User23] までそれぞれ名前が設定されています。リモートから RMCP を使って MMB を制御する場合は、[User Name]、[Password]、[Privilege] を設定して、制御する MMB のユーザーを[Enabled] 状態にする必要があります。

[Enabled] 状態のユーザー名とパスワードを使って、リモートからのアクセスを認証します。

図 2.106 [Remote Server Management] 画面

System Partition User Administration Network Configuration Maintenance Logout

>Network Configuration >Remote Server Management

Remote Server Management

Select a user from the list, then click the Edit button to edit the user.

User Name	Privilege	Status
☐ User0	No Access	Disabled
☐ User1	No Access	Disabled
☐ User2	No Access	Disabled
☐ User3	No Access	Disabled
☐ User4	No Access	Disabled
☐ User5	No Access	Disabled
☐ User6	No Access	Disabled
☐ User7	No Access	Disabled
☐ User8	No Access	Disabled
☐ User9	No Access	Disabled
☐ User10	No Access	Disabled
☐ User11	No Access	Disabled
☐ User12	No Access	Disabled
☐ User13	No Access	Disabled
☐ User14	No Access	Disabled
☐ User15	No Access	Disabled
☐ User16	No Access	Disabled
☐ User17	No Access	Disabled
☐ User18	No Access	Disabled
☐ User19	No Access	Disabled
☐ User20	No Access	Disabled
☐ User21	No Access	Disabled
☐ User22	No Access	Disabled
☐ User23	No Access	Disabled

Edit Cancel

表 2.142 [Remote Server Management] 画面の表示・設定項目

項目	内容
User Name	ユーザー名を表示します。
Privilege	ユーザーアカウント権限を表示します。 ・ Admin ・ Operator ・ User ・ CE ・ No Access (No Access を選択したユーザーは、リモートからアクセスすることはできません。)
Status	現在のアカウントの状態を表示します。 ・ Enabled ・ Disabled

表 2.143 [Remote Server Management] 画面のボタン

ボタン	内容
Edit	[Edit User] 画面を表示します。
Cancel	選択したユーザーの管理情報が設定されず、元に戻ります。

(1) メニュー操作

[Network Configuration] - [Remote Server Management]

(2) 画面操作

1. 設定するユーザーのラジオボタンをオンにし、[Edit] ボタンをクリックします。
[Edit User] 画面が表示されます。
2. [Edit User] 画面でユーザー管理情報を設定します。

■ [Edit User] 画面

[Edit User] 画面では、ユーザーの管理情報が変更できます。

図 2.107 [Edit User] 画面

System Partition **User Administration** Network Configuration Maintenance Logout

>Network Configuration >Remote Server Management

■ Date/Time
■ Network Interface
■ Management LAN Port Config
■ Network Protocols
■ Refresh Rate
■ SNMP Configuration
■ SSL
■ SSH
■ **Remote Server Management**
■ Access Control
■ Alarm E-Mail

Edit User

Click the Apply Button to apply all changes.

User Name	User0
Password	
Confirm Password	
Privilege	No Access ▼
Status	☐ Enabled ☒ Disabled

Apply Cancel

表 2.144 [Edit User] 画面の表示・設定項目

項目	内容
User Name	ユーザー名を設定します。 入力可能文字数は、3 文字以上 16 文字以下です。 ユーザー名に使用できる文字は以下のとおりです。 [0-9]、[a-z]、[A-Z] (英数字のみ)
Password	パスワードを設定します。 入力可能文字数は、8 文字以上 16 文字以下です。 パスワードに使用できる文字は以下のとおりです。 [0-9]、[a-z]、[A-Z] (英数字のみ)
Confirm Password	確認のためのパスワードをもう一度入力します。
Privilege	ユーザーアカウント権限を設定します。 - Admin - Operator - User - CE - No Access (No Access を選択したユーザーは、リモートからアクセスすることはできません。)
Status	現在のアカウントの状態を設定します。 - Enabled - Disabled

表 2.145 [Edit User] 画面のボタン

ボタン	内容
Apply	指定した管理情報が設定されます。
Cancel	ユーザー名、パスワードなどの指定した情報が設定されず、元に戻ります。

(1) メニュー操作

[Network Configuration] - [Remote Server Management] - [Edit] ボタン

(2) 画面操作

1. ユーザー名、パスワードなどのユーザーの管理情報を指定し、[Apply] ボタンをクリックします。
ユーザーの管理情報が設定されます。

2.6.10 [Access Control] 画面

[Access Control] 画面では、MMB のセキュリティを確保するため、ネットワークプロトコルに対してアクセス制御ができます。

最大 64 個のフィルタを設定可能です。フィルタは、プロトコル名のアルファベット順に表示されます。

備考

アクセス制御のフィルタは、同じ設定内容で複数登録できますが、動作には問題ありません。

図 2.108 [Access Control] 画面

Select	Protocol	IP Address	Subnet Mask/Prefix Length
☐	SSH	xx.xx.xx.xx	xx.xx.xx.xx

表 2.146 [Access Control] 画面の表示・設定項目

項目	内容
Select	設定を変更するフィルタを選択します。
Protocol	IP フィルタリングの対象となるプロトコルを表示します。 - HTTP - HTTPS - Telnet - SSH - SNMP - RMCP (*) *) PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400E2/3400L2/3800E2/3800L2 では PB20021 版以降のファームウェアで表示されます。 PRIMEQUEST 3400S Lite/3400S/3400E/3400L/3800E/3800L では PA20021 版以降のファームウェアで表示されます。
IP Address	接続を許可する IP アドレスを表示します。
Subnet Mask/Prefix Length	IPv4 の場合、接続を許可する IP アドレスのサブネットマスクを表示します。 IPv6 の場合、プレフィックス長を表示します。

表 2.147 [Access Control] 画面のボタン

ボタン	内容
Add Filter	新規にフィルタを追加するための[Add Filter] 画面を表示します。
Edit Filter	フィルタを編集するための[Edit Filter] 画面を表示します。
Remove Filter	選択したフィルタが削除されます。
Cancel	設定した情報が設定されずに、元に戻ります。

(1) メニュー操作

[Network Configuration] - [Access Control]

(2) 画面操作

- 新規にフィルタを追加する場合
 1. [Add Filter] ボタンをクリックします。
[Add Filter] 画面が表示されます。
 2. [Add Filter] 画面でフィルタを設定し、[Apply] ボタンをクリックします。
新たなフィルタが追加されます。
- フィルタを編集する場合
 1. [Select] のラジオボタンで編集対象のフィルタをオンにし、[Edit Filter] ボタンをクリックします。
[Edit Filter] 画面が表示されます。
 2. [Edit Filter] 画面でフィルタを編集し、[Apply] ボタンをクリックします。
- フィルタを削除する場合
 1. [Select] のラジオボタンで削除対象のフィルタをオンにし、[Remove Filter] ボタンをクリックします。
削除を確認するダイアログボックスが表示されます。
 2. [OK] ボタンをクリックします。
フィルタは削除され[Access Control] 画面に戻ります。

■ [Add Filter]/[Edit Filter] 画面

[Access Control] 画面で [Add Filter] ボタンまたは [Edit Filter] ボタンをクリックすると、[Add Filter] 画面または [Edit Filter] 画面が表示されます。

[Add Filter] 画面と [Edit Filter] 画面は、画面タイトルが異なるだけで、設定項目は共通です。ここでは、[Add Filter] 画面で説明します。

図 2.109 [Add Filter] 画面

System Partition User Administration Network Configuration Maintenance Logout

>Network Configuration >Access Control

Add Filter Help

Click the Apply Button to apply all changes.

Protocol	SSH
Access Control	☐ Enable ☒ Disable
IP Address	
Subnet Mask/Prefix Length	0

Apply Cancel

表 2.148 [Add Filter] 画面の表示・設定項目

項目	内容
Protocol	IP フィルタリングの対象となるプロトコルを設定します。プルダウンメニューから選択します。 ・ HTTP ・ HTTPS ・ Telnet ・ SSH ・ SNMP ・ RMCP (*) *) PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400E2/3400L2/3800E2/3800L2 では PB20021 版以降のファームウェアで表示されます。 PRIMEQUEST 3400S Lite/3400S/3400E/3400L/3800E/3800L では PA20021 版以降のファームウェアで表示されます。
Access Control	アクセス制御をするかどうかを設定します。 ・ Disable : [Protocol] で選択したプロトコルに対するアクセスがすべての IP に対して許可されます。[IP Address]、[Subnet Mask/Prefix Length] は入力禁止となります。 ・ Enable : [Protocol] で選択したプロトコルに対してアクセスを許可する [IP Address]、[Subnet Mask/Prefix Length] を設定します。
IP Address	接続を許可する IP アドレス (IPv4 または IPv6) を入力します。 備考 IPv4 の場合、あるサブネット内の特定 IP アドレスにだけ接続を許可するには、その IP アドレスを設定して、[Subnet Mask/Prefix Length] には「255.255.255.255」を設定します。 IPv6 の場合、プレフィックス長を表示します。 例) 特定の IP をアクセス制御したい場合(例 : 192.168.60.60/255.255.255.0) IP Address : 192.168.60.60 Subnet Mask/Prefix Length : 255.255.255.0 (24bit マスクで使用している IP のため) ・ 上記のように設定した場合は、192.168.60.60 の IP だけでなく、192.168.60.0/24 のサブネット内でアクセス制御が有効になります。
Subnet Mask/Prefix Length	IPv4 の場合、接続を許可する IP アドレスのサブネットマスクを表示します。 IPv6 の場合、プレフィックス長を表示します。

表 2.149 [Add Filter] 画面のボタン

ボタン	内容
Apply	指定した情報が設定されます。
Cancel	プロトコル、アクセスコントロールなどの指定した情報が設定されず、元に戻ります。

(1) メニュー操作

[Network Configuration] - [Access Control] - [Add Filter] ボタン/[Edit Filter] ボタン

(2) 画面操作

1. [Protocol]、[Access Control] を指定します。
2. [Access Control] を[Enable] に設定した場合は、[IP Address]、[Subnet Mask] を入力して、[Apply] ボタンをクリックします。
[Access Control] を[Disable] に設定した場合は、そのまま[Apply] ボタンをクリックします。フィルタが追加または編集されます。

2.6.11 [Alarm E-Mail] 画面

[Alarm E-Mail] 画面は、PRIMEQUEST 3000 シリーズでイベントが発生したときに E-Mail で通知する設定をします。

図 2.110 [Alarm E-Mail] 画面

The screenshot shows the 'Alarm E-Mail' configuration page. The left sidebar has a tree view with 'Alarm E-Mail' highlighted. The main content area has a title 'Alarm E-Mail' and a subtitle 'Click the Apply Button to apply all changes.' Below this is a form with the following fields:

Alarm E-Mail	☐ Enable ☒ Disable
From:	☐ Use envelope "from" address
To:	
SMTP Server	
Subject	

At the bottom of the form are four buttons: 'Apply', 'Cancel', 'Filter', and 'Test E-Mail'.

Alarm E-Mail のメッセージのフォーマットは以下になります。

MMB P#x yyyy-mm-dd hh:mm:ss L uuuuuuu EID#eeeeee dddddd Part#ppppppp Serial#sssssss

P#x : パーティション ID (x は 10 進表記)
システムの場合は S
複数パーティションの場合は半角空白で区切って P#x を並べます。

yyyy-mm-dd hh:mm:ss : イベント発生日時

L : レベル
E : Error / W : Warning / I : Information

uuuuuuuuu : Unit 名
SB#0-DIMM#0A0 の形式

EID#eeeeee : イベント ID
イベントメッセージと 1 対 1 で対応する ID

ddddddddd : イベントメッセージ (SEL メッセージと同じ内容)

Part#ppppppp : SEL レコードに格納されたパーツ番号

Serial#sssssss : SEL レコードに格納されたシリアル番号

例)

MMB P#0 P#1 P#2 P#3 2015-12-03 15:32:59 W MMB#0-+5VL EID#020100FF Lower Non-critical - going low
Assert 0.21V threshold: 4.59V Part#CA07125-D053 Serial#PP0948012P

表 2.150 [Alarm E-Mail] 画面の表示・設定項目

項目	内容
Alarm E-Mail	イベント発生時に Alarm E-Mail を送信するかどうかを設定します。 ・ Enable ・ Disable 本項目が Disable の場合、From: 以降の項目は使用されません。
From:	送信元の E-Mail アドレスを設定します。 最大 63 文字まで入力が可能です。 [Use envelope "from" address] のチェックボックスをオンにすると、[From:] のアドレスを送信元の E-Mail アドレスとして設定し、メールを送信します。デフォルトはオフです。 メールサーバは Alarm E-Mail を受信すると、[From:] で設定されているアドレスをメールヘッダの Return-Path に設定します。また、メーリングリストの場合は、[From:] で設定されているアドレスの代わりにメーリングリストの管理者のアドレスを Return-Path に設定します。 ただし、Return-Path の設定はメールサーバの設定に依存するため、Return-Path が設定されない場合もあります。
To:	送信先の E-Mail アドレスを設定します。 最大 255 文字まで入力が可能です。 複数設定する場合は、「,」(カンマ) で区切ります。
SMTP Server	SMTP サーバの IP アドレスまたは FQDN を設定します。 最大 63 文字まで入力が可能です。 FQDN が設定できるのは、DNS を設定している場合のみです (DNS サーバは、[Network Configuration] - [Network Interface] から設定できます)。
Subject	メールの件名を設定します。 最大 63 文字まで入力が可能です。

E-Mail アドレスは、「ユーザー名」@「ドメイン名」の形式です。「ユーザー名」、および、「ドメイン名」部で使用可能な文字は、それぞれ RFC 2822、RFC 1034 に従います。

たとえば、

- 「ユーザー名」には、英数字と! # % & ' * + - / = ? ^ _ { | } ~ が使用可能です。
- ただし、「#」は先頭文字に使用できません。「,」は先頭文字と最後の文字には使用できません。また「,」は2個連続して使用できません。(詳細は、RFC 2822 を参照ください。)

「ドメイン名」には、英数字と「-」のみが使用可能です。ただし、ドメイン名の先頭文字は英文字のみ、また、最後の文字は英数字のみという制約があります。(詳細は、RFC 1034 を参照ください)

Subject には、英数字と! # \$ % & ' () * + - . / _ ~ とスペースが使用可能です。

表 2.151 [Alarm E-Mail] 画面のボタン

ボタン	内容
Apply	指定した情報を設定します。
Cancel	Alarm E-Mail 送信の可否、送信元の E-Mail アドレスなどの指定した情報が設定されず、元に戻ります。
Filter	Alarm E-Mail を送信するイベントの条件を設定するための[Alarm E-Mail Filtering Condition] 画面を表示します。
Test E-Mail	確認用の Alarm E-Mail を、設定した送信先に送信します。

(1) メニュー操作

[Network Configuration] - [Alarm E-Mail]

(2) 画面操作

1. Alarm E-Mail 送信の可否、送信元の E-Mail アドレスなどを指定します。
2. [Apply] ボタンをクリックします。画面で指定した項目が設定されます。
3. Alarm E-Mail を送信するイベントに対してフィルタを設定する場合、[Filter] ボタンをクリックします。
[Alarm E-Mail Filtering Condition] 画面が表示されます。
4. [Alarm E-Mail Filtering Condition] 画面でフィルタを設定します。
5. Alarm E-Mail のテスト送信をする場合には、[Test E-Mail] ボタンをクリックします。
確認用の Alarm E-Mail が、設定されている送信先に送信されます。

■ [Alarm E-Mail Filtering Condition] 画面

[Alarm E-Mail] 画面で[Filter] ボタンをクリックすると、[Alarm E-Mail Filtering Condition] 画面が表示されます。
[Alarm E-Mail Filtering Condition] 画面では、Alarm E-Mail を送信するイベントのフィルタ条件を設定できます。各項目は AND 条件です。

図 2.111 [Alarm E-Mail Filtering Condition] 画面

The screenshot displays the 'Alarm E-Mail Filtering Condition' configuration page. The top navigation bar includes links for System, Partition, User Administration, Network Configuration, and Maintenance, with a Logout button on the right. The breadcrumb trail indicates the current path: >Network Configuration > Alarm E-Mail. The left sidebar lists various configuration categories, with 'Alarm E-Mail' highlighted in green. The main content area is titled 'Alarm E-Mail Filtering Condition' and includes a 'Help' button. Below the title, a instruction reads: 'Select the filtering conditions and click the Apply Button.' The configuration is organized into four sections:

- 1)Severity:** Checkboxes for Error, Warning, and Info, all of which are checked.
- 2)Partition:** A radio button for 'All' is selected. Below it, a 'Specified' option is available with checkboxes for 0, 1, 2, and 3, all of which are checked.
- 3)Unit:** A radio button for 'All' is selected. Below it, a 'Specified' option is available with a grid of checkboxes for various hardware components, all of which are checked:
 - PSUs, Fans, SB#0, SB#1, SB#2, SB#3
 - IOU#0, IOU#1, IOU#2, IOU#3
 - DU#0, DU#1, DU_M#0, DU_M#1, DU_M#2, DU_M#3
 - PCI_IFU_M#0, PCI_IFU_M#1, PCI_IFU_M#2, PCI_IFU_M#3
 - OPL, MMB#0, MMB#1
 - MGMT_IFU_E#0, MGMT_IFU_E#1
 - MGMT_IFU_M#0, MGMT_IFU_M#1
 - PCI_Box#0, PCI_Box#1, PCI_Box#2, PCI_Box#3
- 4)Source:** A radio button for 'All' is selected. Below it, a 'Specified' option is available with checkboxes for CPU, DIMM, Chipset, Voltage, Temperature, and Other, all of which are checked.

At the bottom of the configuration area, there are 'Apply' and 'Cancel' buttons. The page also features a bottom navigation bar with left and right arrow buttons and a vertical scrollbar on the right side.

表 2.152 [Alarm E-Mail Filtering Condition] 画面の表示・設定項目

項目	説明
Severity	表示する Severity を選択します。複数選択が可能です。 ・ Error ・ Warning ・ Info デフォルトはすべてオンです。
Partition	表示するパーティションを選択します。 ラジオボタンで [All] 、または、 [Specified] を選択します。 All : パーティションによるフィルタリングをしません。 Specified : パーティション単位のフィルタリングが設定可能となります。表示するパーティションのチェックボックスをオンにします。複数選択可能です。 PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400S Lite/3400S の場合のパーティション表示は、0 と 1 のみになります。 デフォルトはすべてオンです。
Unit	表示する対象ユニットを選択します。 ラジオボタンで [All] 、または、 [Specified] を選択します。 All : ユニットによるフィルタリングをしません。 Specified : ユニット単位のフィルタリングが設定可能となります。表示するユニットのチェックボックスをオンにします。複数選択可能です。 PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400S Lite/3400S モデルの場合、Unit 表示は、以下のようになります。 SB : SB#0, SB#1 IOU : IOUE#0, IOUE#1 DU_M : DU_M#0, DU_M#1 PCI_IFU_M : PCI_IFU_M#0, PCI_IFU_M#1 PCI_Box : PCI_Box デフォルトは All です。
Source	表示対象の Source を選択します。 ラジオボタンで [All] か [Specified] かを選択します。 All : [Source] によるフィルタリングをしません。 Specified : Source 単位のフィルタリングが設定可能となります。表示する Source のチェックボックスをオンにします。複数選択可能です。 デフォルトは All です。 注意 "Source:CPU"のユニットで Filter する場合、CPU と Chipset の両方を指定してください。

表 2.153 [Alarm E-Mail Filtering Condition] 画面のボタン

ボタン	内容
Apply	フィルタリング条件が設定されます。
Cancel	[Severity]、[Partition]、[Unit] などの指定した条件が設定されず、元に戻ります。

- (1) メニュー操作
 - [Network Configuration] - [Alarm E-Mail] - [Filter] ボタン
- (2) 画面操作
 - 1. [Severity]、[Partition]、[Unit] などを指定し、[Apply] ボタンをクリックします。
指定したフィルタリング条件が設定されます。

2.7 [Maintenance] メニュー

[Maintenance] メニューでは、PRIMEQUEST 3000 シリーズのメンテナンスができます。

2.7.1 [Firmware Update] メニュー

[Firmware Update] メニューには、以下の画面があります。

■ [Unified Firmware Update] 画面

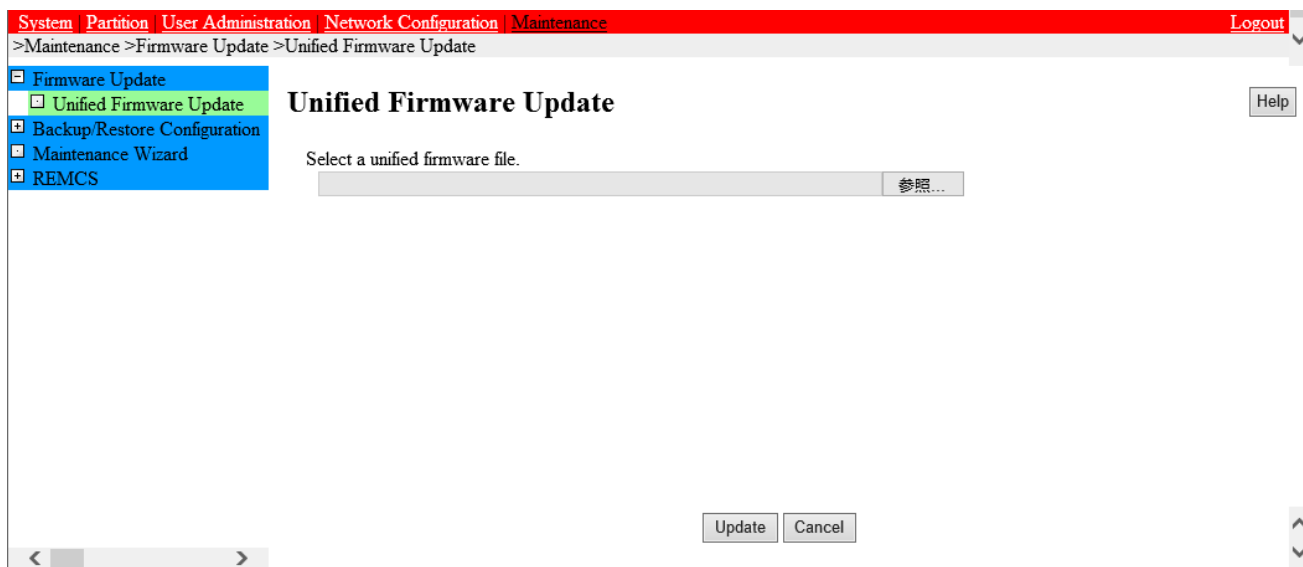
2.7.1.1 [Unified Firmware Update] 画面

[Unified Firmware Update] 画面では、ファームウェアアップデートを一括処理します。ファームウェア一式が MMB にアップロードされ、新版のファームウェアが保持されます。ファームウェアごとにバージョンを確認し、同一版数の場合はファームウェアのアップデート処理をせず、版数が違う場合にのみアップデート処理をします。オンライン・ファームウェア・アップデートでは同一版数の更新は行いません。

注意

MMB あるいは SB が故障している場合は、ファームウェアアップデートの前に保守を行ってください。故障した MMB あるいは SB が構成内に存在するときには、ファームウェアアップデートを実施しないでください。

図 2.112 [Unified Firmware Update] 画面

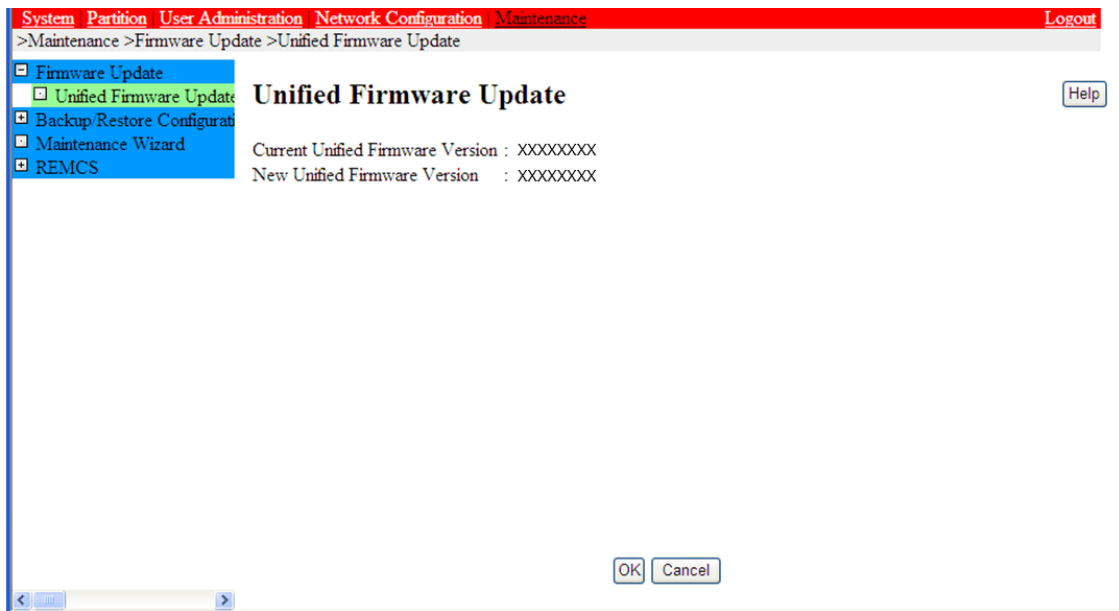


(1) メニュー操作

[Maintenance] - [Firmware Update] - [Unified Firmware Update]

(2) 画面操作

1. [参照] ボタンをクリックし、一括ファームウェアアップデートファイルを選択します。
2. [Update] ボタンをクリックします。
一括ファームウェアアップデートを行うバージョンを確認する以下の画面が表示されます。



3. アップデートを行う場合は、[OK] ボタンをクリックします。

2.7.2 [Backup/Restore Configuration] メニュー

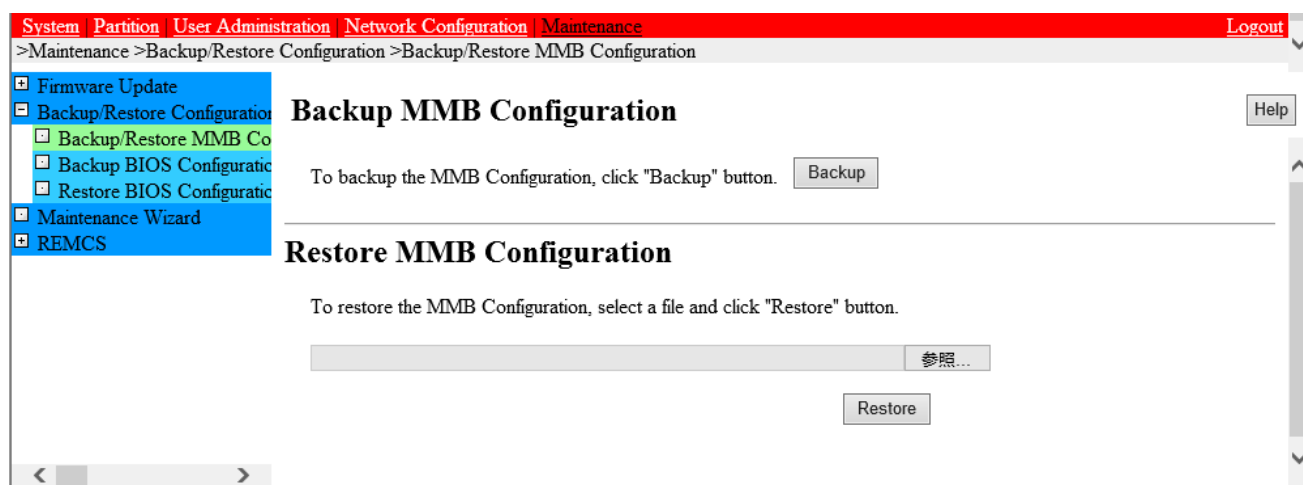
[Backup/Restore Configuration] メニューには、以下の画面があります。

- [\[Backup/Restore MMB Configuration\] 画面](#)
- [\[Backup BIOS Configuration\] 画面](#)
- [\[Restore BIOS Configuration\] 画面](#)

2.7.2.1 [Backup/Restore MMB Configuration] 画面

[Backup/Restore MMB Configuration] 画面では、MMB のコンフィグレーション情報のバックアップ、リストアができます。

図 2.113 [Backup/Restore MMB Configuration] 画面



(1) メニュー操作

[Maintenance] - [Backup/Restore Configuration] - [Backup/Restore MMB Configuration]

(2) 画面操作

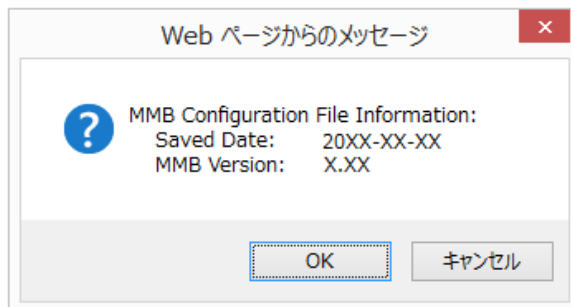
- MMB コンフィグレーション情報をバックアップする場合

1. [Backup] ボタンをクリックします。
ブラウザの格納先ダイアログボックスが表示されます。
2. 格納先ダイアログボックスで格納パスを選択して、[OK] ボタンをクリックします。
MMB のコンフィグレーションファイルがダウンロードされます。
退避する MMB のコンフィグレーションファイルのデフォルト名は、以下のとおりです。

MMB_(退避した日付)_(MMB バージョン).dat

- MMB コンフィグレーション情報をリストアする場合

1. システムが全停止していることを確認します。
2. [参照] ボタンをクリックし、バックアップされた MMB コンフィグレーションファイルを選択します。
3. [Restore] ボタンをクリックします。
MMB ヘファイルが転送され、以下のリストアを確認するための [MMB Configuration File Information:] ダイアログボックスが表示されます。



4. [MMB Configuration File Information:] ダイアログボックスで [OK] ボタンをクリックします。
MMB コンフィグレーション情報がリストアされます。
5. リストアしたデータを有効にするため、MMB がリブートされます。

2.7.2.2 [Backup BIOS Configuration] 画面

[Backup BIOS Configuration] 画面では、BIOS のコンフィグレーション情報を、ブラウザが動作している PC 上に退避できます。

注意

本画面で退避できる BIOS コンフィグレーション情報ファイルは、BIOS コンフィグレーション情報に変更のあった次の BIOS 起動時に、変更された情報が反映されます。

BIOS コンフィグレーション情報を変更した場合、変更された情報の反映のため、変更後に OS が起動していることを確認してから、本画面で、BIOS コンフィグレーション情報ファイルの退避を実施してください。

図 2.114 [Backup BIOS Configuration] 画面

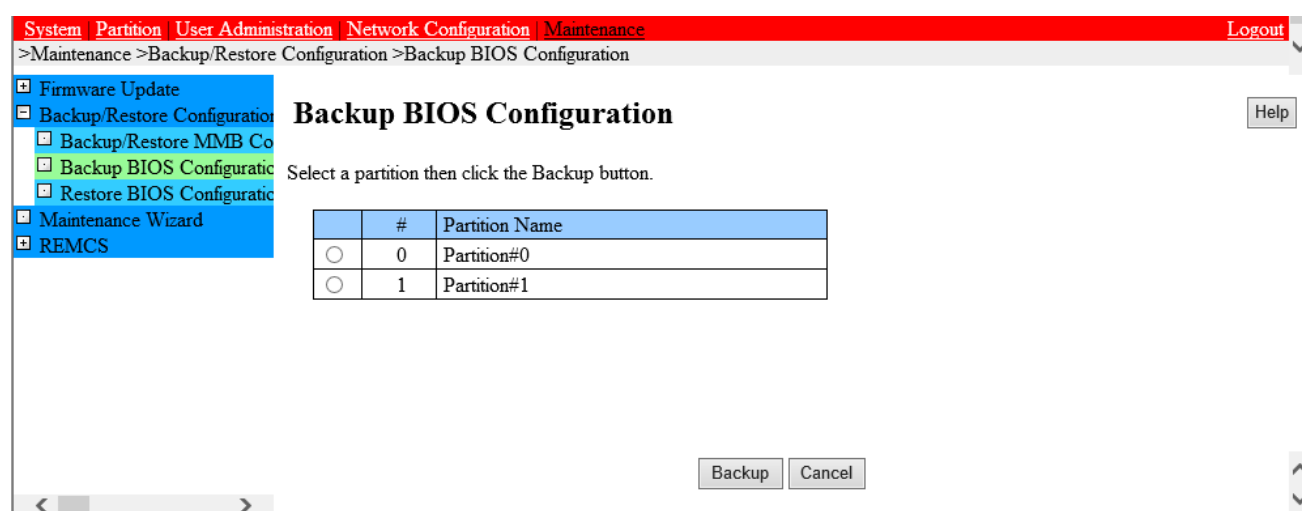


表 2.154 [Backup BIOS Configuration] 画面のボタン

ボタン	内容
Backup	BIOS コンフィグレーション情報を退避します。
Cancel	BIOS コンフィグレーション情報の退避が中止されます。

(1) メニュー操作

[Maintenance] - [Backup/Restore Configuration] - [Backup BIOS Configuration]

(2) 画面操作

- BIOS コンフィグレーション情報を退避するパーティションをラジオボタンで選択し、[Backup] ボタンをクリックします。
格納先ダイアログボックスが表示されます。
- 格納先ダイアログボックスで格納パスを選択して、[OK] ボタンをクリックします。
BIOS コンフィグレーション情報ファイルがダウンロードされます。
退避する BIOS コンフィグレーションファイルのデフォルト名は、以下になります。
(パーティション番号)_(退避した日付)_(BIOS バージョン).dat

2.7.2.3 [Restore BIOS Configuration] 画面

[Restore BIOS Configuration] 画面では、BIOS のコンフィグレーション情報をリストアできます。
リストアの手順は、「(2)画面操作」を参照してください。

図 2.115 [Restore BIOS Configuration] 画面(1)

System Partition User Administration Network Configuration Maintenance Logout

>Maintenance >Backup/Restore Configuration >Restore BIOS Configuration

Firmware Update
Backup/Restore Configuration
Backup/Restore MMB Co
Backup BIOS Configuratic
Restore BIOS Configuratic
Maintenance Wizard
REMCS

Restore BIOS Configuration

Help

Select a BIOS Configuration file.

参照...

Upload Cancel

図 2.116 [Restore BIOS Configuration] 画面(2)

System Partition User Administration Network Configuration Maintenance Logout

>Maintenance >Backup/Restore Configuration >Restore BIOS Configuration

Firmware Update
Backup/Restore Configuration
Backup/Restore MMB Co
Backup BIOS Configuratic
Restore BIOS Configuratic
Maintenance Wizard
REMCS

Restore BIOS Configuration

Help

Select partition(s) then click the Restore button.

Configuration File Information

Partition#: 0
Partition Name: Partition#0
Saved Date: 2017-04-17
BIOS Version: xxx

☐ Select All defined partition(s)

	#	Partition Name	BIOS Version
☐	0	Partition#0	xxx
☐	1	Partition#1	xxx

Restore Cancel

表 2.155 [Restore BIOS Configuration] 画面(2) の表示・設定項目

項目	説明
Select All defined partitions(s)	チェックボックスをオンにすると、すべてのパーティションの BIOS コンフィグレーション情報をリストアします。
#	パーティションを識別するための番号を表示します (0～3)。 リストア対象のパーティションは、左のチェックボックスをオンにして選択します。
Partition Name	パーティションに付けた名前を表示します。
BIOS Version	パーティションに現在インストールされている BIOS のバージョンを表示します。

表 2.156 [Restore BIOS Configuration] 画面(2) のボタン

ボタン	内容
Restore	BIOS コンフィグレーション情報ファイルがリストアされます。
Cancel	BIOS コンフィグレーションファイルの復元が中止されます。

(1) メニュー操作

[Maintenance] - [Backup/Restore Configuration] - [Restore BIOS Configuration]

(2) 画面操作

1. [Restore BIOS Configuration] 画面(1) で[参照] ボタンをクリックし、リモート PC に格納されている退避した BIOS コンフィグレーションファイルを選択します。
2. [Upload] ボタンをクリックします。
BIOS コンフィグレーションファイルが MMB へ転送され、[Restore BIOS Configuration] 画面(2) が表示されます。
3. [Restore BIOS Configuration] 画面(2) で復元するパーティションを選択して、[Restore] ボタンをクリックします。
BIOS コンフィグレーション情報ファイルが復元されます。

2.7.3 [Maintenance Wizard] 画面

Maintenance Wizard 画面では、ウィザード形式でユニットの保守をサポートします。本画面を使用するユーザーは、担当保守員を想定しています。

(1) メニュー操作

[Maintenance] - [Maintenance Wizard]

2.7.4 [REMCS] メニュー

REMCS に関する操作や設定をするメニューです。

REMCS について詳しくは、『PRIMEQUEST 3000 シリーズ REMCS サービス導入マニュアル』(CA92344-1662) を参照してください。

第3章 MMB の CLI

(コマンドラインインターフェース) 操作

MMB が提供する CLI (Command Line Interface) について説明します。
CLI で表示されるメッセージの詳細については、『PRIMEQUEST 3000 シリーズメッセージリファレンス』(CA92344-1661) を参照してください。

3.1 CLI の基本操作

CLI にアクセスするには、以下の 2 通りの方法があります。

- MMB のシリアルポート経由でアクセスする方法
- MMB の管理 LAN 経由でリモート PC からアクセスする方法

備考

GUI と同様に、CLI に同時にログインできるユーザー数の最大値は 16 です。

3.1.1 シリアルインターフェース経由でのアクセス

シリアルインターフェース経由で MMB の CLI にアクセスする手順は、以下のとおりです。

1. MMB と端末(ノート PC など) を RS-232C クロスケーブルで接続します。
2. 端末でターミナルソフトウェア(Windows 環境では、TeraTerm、PuTTY など) を起動し、ターミナルソフトウェアを以下のように設定します。

表 3.1 ターミナルソフトウェアの設定値

設定項目	値
ビット/秒	19200
データビット	8
パリティ	なし
ストップビット	1
フロー制御	なし
エミュレーション	VT100

3. ログインプロンプトが表示されます。ユーザー名、パスワードを入力し、ログインします。

3.1.2 管理 LAN インターフェース経由でのアクセス

管理 LAN インターフェース経由で MMB の CLI にアクセスする手順は、以下のとおりです。

1. MMB とリモート PC をストレート LAN ケーブルで接続します。
2. リモート PC 上で、Telnet または SSH クライアントを起動して、MMB の IP アドレス (IPv4 または IPv6) と、Telnet のポート番号または SSH のポート番号を指定して接続します。
3. ログインします。

備考

MMB では、SSH V2 プロトコルでの接続機能だけを提供します。

このため、MMB と SSH プロトコルで接続するには、SSH V2 対応の端末ソフトウェアを準備する必要があります。

また、MMB に SSH で接続する場合は、チャレンジレスポンス認証で接続する必要があります。

3.1.3 CLI のコマンド一覧

CLI のコマンドとその内容について説明します。

- 設定用コマンド
- 表示用コマンド
- アップデート用コマンド
- その他のコマンド

各コマンドに必要なアカウント権限の一覧を以下に示します。アカウント権限の欄の「可」は、そのアカウント権限でコマンドが使用できることを示しています。

- [表 3.2 MMB CLI コマンド一覧\(Administrator\) \(1/2\)](#)
- [表 3.3 MMB CLI コマンド一覧\(Administrator\) \(2/2\)](#)
- [表 3.4 MMB CLI コマンド一覧\(Operator\) \(1/2\)](#)
- [表 3.5 MMB CLI コマンド一覧\(Operator\) \(2/2\)](#)
- [表 3.6 MMB CLI コマンド一覧\(Partition Operator\) \(1/2\)](#)
- [表 3.7 MMB CLI コマンド一覧\(Partition Operator\) \(2/2\)](#)
- [表 3.8 MMB CLI コマンド一覧\(User\) \(1/2\)](#)
- [表 3.9 MMB CLI コマンド一覧\(User\) \(2/2\)](#)
- [表 3.10 MMB CLI コマンド一覧\(CE\) \(1/2\)](#)
- [表 3.11 MMB CLI コマンド一覧\(CE\) \(2/2\)](#)

表 3.2 MMB CLI コマンド一覧(Administrator) (1/2)

コマンド	Administrator	概要
電源制御		
power off	可	電源オフ
power on	可	電源オン
パーティション制御		
sadump	可	sadump の指示
Reset	可	Hard Reset の指示
nmi	可	NMI 割込みの指示
パーティション接続		
console	可	パーティションへの Text Console 接続
パーティション構築		
add partition	可	パーティション構成物追加
remove partition	可	パーティション構成物削除
show partition configuration	可	パーティション構成表示
show partition status	可	パーティション電源状態・進行状況表示
set reserved_sb	可	Reserved SB 設定
show reserved_sb	可	Reserved SB 表示
set partition home	可	Home SB 設定
show partition home	可	Home SB 表示
set partition memory_operation_mode	可	メモリオペレーションモード設定
show partition memory_operation_mode	可	メモリオペレーションモード設定表示
set partition memory_mirror_ras_mode	可	ミラーモード時のメモリ動作設定
show partition memory_mirror_ras_mode	可	ミラーモード時のメモリ動作設定表示
set partition lan_device_mode	可	LAN デバイスモード設定
show partition lan_device_mode	可	LAN デバイスモード設定表示
show partition mirror_mode	可	ミラーモード設定表示
set partition name	可	パーティション名設定
show partition name	可	パーティション名表示
set partition memory_sparing_mode	可	スペアモード時のメモリ動作設定
show partition memory_sparing_mode	可	スペアモード時のメモリ動作設定表示
set partition pci_ecrc_mode	可	ECRC の設定
show partition pci_ecrc_mode	可	ECRC の表示
時刻関係		
set date	可	日付、時刻設定
show date	可	日付、時刻表示
set timezone	可	タイムゾーン設定
show timezone	可	タイムゾーン表示
ネットワーク関係		
set ip	可	管理 LAN アドレス設定
set ipv6	可	IPv6 用の管理 LAN アドレス設定
show ip	可	管理 LAN アドレス表示
show ipv6	可	IPv6 用の管理 LAN アドレス表示
set hostname	可	MMB ホスト名設定
show hostname	可	MMB ホスト名表示
set gateway	可	gateway アドレス設定
set gateway_ipv6	可	IPv6 用の gateway アドレス設定
show gateway	可	gateway アドレス表示

コマンド	Administrator	概要
show network	可	管理 LAN インターフェース表示
show gateway_ipv6	可	IPv6 用の gateway アドレス表示
set http	可	http サービスの有効化設定
set https	可	https サービスの有効化設定
set ssh	可	ssh サービスの有効化設定
set telnet	可	telnet サービスの有効化設定
show http	可	http サービスの有効化設定表示
show https	可	https サービスの有効化設定表示
show ssh	可	ssh サービスの有効化設定表示
show telnet	可	telnet サービスの有効化設定表示
set http_port	可	http ポート番号設定
set https_port	可	https ポート番号設定
set ssh_port	可	ssh ポート番号設定
set telnet_port	可	telnet ポート番号設定
show http_port	可	http ポート番号表示
show https_port	可	https ポート番号表示
show ssh_port	可	ssh ポート番号表示
show telnet_port	可	telnet ポート番号表示
clear access_control	可	Access Control 設定クリア
show access_control	可	Access Control 設定表示
clear ssh_key	(未サポート)	SSH 公開鍵クリア
download ssh_key	(未サポート)	SSH 公開鍵ダウンロード
ping	可	Ping
show ntpq	可	NTP 問い合わせ (ntpq -p の実行)
システム設定		
set sysconf fan_control_mode	可	システム冷却用ファンの制御モードを設定
set sysconf required_psu	可	PSU の必要数の設定
set sysconf power_restoration_policy	可	復電後の動作設定
set sysconf power_on_delay	可	復電後のパワーオン待ち時間設定
set sysconf altitude	可	システムの設置高度設定
set sysconf psu_redundant_mode	可	PSU 冗長/非冗長設定
set sysconf system_guid_format	可	System GUID の応答フォーマット設定
show sysconf fan_control_mode	可	システム冷却用ファンの制御モードを表示
show sysconf required_psu	可	PSU の必要数の設定表示
show sysconf power_restoration_policy	可	復電後の動作設定表示
show sysconf power_on_delay	可	復電後のパワーオン待ち時間設定表示
show sysconf altitude	可	システムの設置高度設定表示
show sysconf psu_redundant_mode	可	PSU 冗長/非冗長設定表示
show sysconf system_guid_format	可	System GUID の応答フォーマット設定表示
show sysconf input_voltage	可	入力電圧表示
SNMP 関連		
set snmp sys_location	可	SNMP の System Location 設定
set snmp sys_contact	可	SNMP の System Contact 設定
set snmp community	可	SNMP の Community 設定
show snmp sys_location	可	SNMP の System Location 表示
show snmp sys_contact	可	SNMP の System Contact 表示
show snmp community	可	SNMP の Community 表示
set snmp trap	可	SNMP の Trap の送信先を設定
show snmp trap	可	SNMP の Trap の送信先を表示
set snmp test_trap	可	テスト用の Trap を送信

コマンド	Administrator	概要
アカウント管理		
add user	可	ユーザーの追加
show user_list	可	ユーザーの一覧表示
passwd	可	パスワード変更
who	可	ログインユーザー表示
set irmc user	可	iRMC 管理者 ID の変更とパスワード変更
ファームウェア更新		
update ALL	可	ファームウェア一括更新
MMB 設定、その他		
set active_mmb	可	Active MMB 設定 (Active MMB 実行不可)
show active_mmb	可	Active MMB 表示
set mmbcontrol reset	可	MMB リセット
set mmbcontrol switch_over	可	MMB 切り替え
exit	可	MMB ログアウト
help	可	ヘルプ
set irmc user	可	iRMC 管理者の ID とパスワードを設定
set sysconf fan_control_mode	可	システム冷却用ファンの制御モードを設定
show sysconf fan_control_mode	可	システム冷却用ファンの制御モードを表示
set sysconf required_psu	可	PSU の必要数を設定
show sysconf required_psu	可	PSU の必要数を表示
コマンド終了コード表示		
show exit_code	可	直前の実行コマンドの終了コード表示
ファームウェア更新状況／版数確認		
show update_status	可	一括ファームウェアアップデート進行状況表示
show firmware_version	可	ファームウェア版数表示
ネットワーク調査コマンド		
netck traceroute	可	ネットワーク経路の一覧表示
netck arptbl	可	Ethernet の物理アドレスの表示
netck arping	可	Ethernet の物理アドレスの表示
netck ifconfig	可	ネットワーク環境の設定状況表示
netck stat	可	使用しているポート番号の一覧表示
REMCS 関連コマンド		
set maintenance_ip	可	REMCS のネットワーク設定
show maintenance_ip	可	REMCS のネットワーク設定表示

表 3.3 MMB CLI コマンド一覧(Administrator) (2/2)

コマンド	Administrator	概要
DR 関連コマンド		
hotadd partition	可	Dynamic Reconfiguration HotAdd
hotremove partition	可	Dynamic Reconfiguration HotRemove
pciinfo partition	可	Dynamic Reconfiguration PciInfo
set partition dynamic_reconfiguration	可	パーティションの DR 状態設定
show partition dynamic_reconfiguration	可	パーティションの DR 状態表示
show dynamic_reconfiguration status	可	DR の進行状態表示
Extended Partitioning 関連コマンド		
set partition extended_partitioning_mode	可	拡張パーティションモード設定
show partition extended_partitioning_mode	可	拡張パーティションモード表示
set partition dimm_excl_mode	可	DIMM 排他割り当てモード設定
show partition dimm_excl_mode	可	DIMM 排他割り当てモード表示
set partition skt_binding_mode	可	CPU Socket 固定割り当てモード設定
show partition skt_binding_mode	可	CPU Socket 固定割り当てモード表示
add extended_partition sb	可	SB 資源を拡張パーティションに追加
add extended_partition iou	可	IOUE 資源を拡張パーティションに追加
add extended_partition pcibox	可	PCI ボックス資源を拡張パーティションに追加
remove extended_partition sb	可	SB 資源を拡張パーティションから取り外し
remove extended_partition iou	可	IOUE 資源を拡張パーティションから取り外し
remove extended_partition pcibox	可	PCI ボックス資源を拡張パーティションから取り外し
set partition extended_socket_mode	可	Extended Socket モード設定
show partition extended_socket_mode	可	Extended Socket モード表示
set partition extended_socket_zone	可	Extended Socket ゾーン設定
show partition extended_socket_zone	可	Extended Socket ゾーン表示
show extended_partition partition configuration	可	拡張パーティションに含まれる SB, IOUE, PCI Box の資源を表示
RAID 関連コマンド		
create raid logical_drive	可	論理ドライブ設定
delete raid logical_drive	可	論理ドライブ削除
modify raid logical_drive_policy	可	論理ドライブポリシー変更
modify raid logical_drive	可	論理ドライブ設定変更
create raid global_hotspare	可	グローバルホットスペアディスク設定
create raid dedicated_hotspare	可	デディケートッドホットスペアディスク設定
delete raid hotspare	可	ホットスペアディスク設定解除
start raid locate_pd	可	ディスクロケーション LED 点灯
stop raid locate_pd	可	ディスクロケーション LED 消灯
start raid locate_ld	可	論理ドライブに属するディスクロケーション LED 点灯
stop raid locate_ld	可	論理ドライブに属するディスクロケーション LED 消灯
start raid locate_encl	可	ディスクエンクロージャーロケーション LED 点灯
stop raid locate_encl	可	ディスクエンクロージャーロケーション LED 消灯
start raid rebuild	可	ディスクリビルド開始
cancel raid rebuild	可	ディスクリビルドキャンセル
start raid copyback	可	ディスクコピーバック開始
cancel raid copyback	可	ディスクコピーバックキャンセル
start raid mdc	可	論理ドライブデータ整合性チェック開始
cancel raid mdc	可	論理ドライブデータ整合性チェックキャンセル
start raid patrol	可	パトロールリード開始

コマンド	Administrator	概要
cancel raid patrol	可	パトロールリードキャンセル
make raid online	可	ディスクオンライン設定
make raid offline	可	ディスクオフライン設定
replace raid missing_drive	可	リプレイスミッシングドライブ
show raid adapter	可	RAID アダプタ情報表示
show raid disk_enclosure	可	ディスクエンクロージャー情報表示
show raid physical_drive	可	ディスク情報表示
show raid physical_drive_count	可	ディスクカウント表示
show raid logical_drive	可	論理ドライブ情報表示
show raid logical_drive_count	可	論理ドライブ数表示
show raid bbu	可	RAID バッテリー情報表示
LDAP 関連コマンド		
set special_account	可	スペシャルアカウント登録
show special_account	可	スペシャルアカウント表示

表 3.4 MMB CLI コマンド一覧(Operator) (1/2)

コマンド	Operator	概要
電源制御		
power off	可	電源オフ
power on	可	電源オン
パーティション制御		
Sadump	可	sadump の指示
Reset	可	Hard Reset の指示
Nmi	可	NMI 割込みの指示
パーティション接続		
Console	可	パーティションへの Test Console 接続
パーティション構築		
add partition		パーティション構成物追加
remove partition		パーティション構成物削除
show partition configuration	可	パーティション構成表示
show partition status	可	パーティション電源状態・進行状況表示
set reserved_sb		Reserved SB 設定
show reserved_sb	可	Reserved SB 表示
set partition home		Home SB 設定
show partition home	可	Home SB 表示
set partition memory_operation_mode	可	メモリオペレーションモード設定
show partition memory_operation_mode	可	メモリオペレーションモード設定表示
set partition memory_mirror_ras_mode	可	ミラーモード時のメモリ動作設定
show partition memory_mirror_ras_mode	可	ミラーモード時のメモリ動作設定表示
set partition lan_device_mode	可	LAN デバイスモード設定
show partition lan_device_mode	可	LAN デバイスモード設定表示
set partition name		パーティション名設定
show partition name	可	パーティション名表示
set partition memory_sparing_mode	可	スペアモード時のメモリ動作設定
show partition memory_sparing_mode	可	スペアモード時のメモリ動作設定表示
set partition pci_ecrc_mode	可	ECRC の設定
show partition pci_ecrc_mode	可	ECRC の表示
時刻関係		
set date		日付、時刻設定
show date	可	日付、時刻表示
set timezone		タイムゾーン設定
show timezone	可	タイムゾーン表示
ネットワーク関係		
set ip		管理 LAN アドレス設定
set ipv6		IPv6 用の管理 LAN アドレス設定
show ip	可	管理 LAN アドレス表示
show ipv6	可	IPv6 用の管理 LAN アドレス表示
set hostname		MMB ホスト名設定
show hostname	可	MMB ホスト名表示
set gateway		gateway アドレス設定
set gateway_ipv6		IPv6 用の gateway アドレス設定
show gateway	可	gateway アドレス表示
show gateway_ipv6	可	IPv6 用の gateway アドレス表示

コマンド	Operator	概要
show network	可	管理 LAN インターフェース表示
set http		http サービスの有効化設定
set https		https サービスの有効化設定
set ssh		ssh サービスの有効化設定
set telnet		telnet サービスの有効化設定
show http	可	http サービスの有効化設定表示
show https	可	https サービスの有効化設定表示
show ssh	可	ssh サービスの有効化設定表示
show telnet	可	telnet サービスの有効化設定表示
set http_port		http ポート番号設定
set https_port		https ポート番号設定
set ssh_port		ssh ポート番号設定
set telnet_port		telnet ポート番号設定
show http_port	可	http ポート番号表示
show https_port	可	https ポート番号表示
show ssh_port	可	ssh ポート番号表示
show telnet_port	可	telnet ポート番号表示
clear access_control		Access Control 設定クリア
show access_control		Access Control 設定表示
clear ssh_key	(未サポート)	SSH 公開鍵クリア
download ssh_key	(未サポート)	SSH 公開鍵ダウンロード
ping	可	Ping
show ntpq	可	NTP 問い合わせ (ntpq -p の実行)
システム設定		
set sysconf fan_control_mode		システム冷却用ファンの制御モードを設定
set sysconf required_psu		PSU の必要数の設定
set sysconf power_restoration_policy		復電後の動作設定
set sysconf power_on_delay		復電後のパワーオン待ち時間設定
set sysconf altitude		システムの設置高度設定
set sysconf psu_redundant_mode		PSU 冗長/非冗長設定
set sysconf system_guid_format		System GUID の応答フォーマット設定
show sysconf fan_control_mode	可	システム冷却用ファンの制御モードを表示
show sysconf required_psu	可	PSU の必要数の設定表示
show sysconf power_restoration_policy	可	復電後の動作設定表示
show sysconf power_on_delay	可	復電後のパワーオン待ち時間設定表示
show sysconf altitude	可	システムの設置高度設定表示
show sysconf psu_redundant_mode	可	PSU 冗長/非冗長設定表示
show sysconf system_guid_format	可	System GUID の応答フォーマット設定表示
show sysconf input_voltage	可	入力電圧表示
SNMP 関連		
set snmp sys_location		SNMP の System Location 設定
set snmp sys_contact		SNMP の System Contact 設定
set snmp community		SNMP の Community 設定
show snmp sys_location	可	SNMP の System Location 表示
show snmp sys_contact	可	SNMP の System Contact 表示
show snmp community	可	SNMP の Community 表示
set snmp trap		SNMP の Trap の送信先を設定
show snmp trap	可	SNMP の Trap の送信先を表示
set snmp test_trap		テスト用の Trap を送信

コマンド	Operator	概要
アカウント管理		
add user		ユーザーの追加
show user_list		ユーザーの一覧表示
passwd	可	パスワード変更
who	可	ログインユーザー表示
set irmc user	可	iRMC 管理者 ID の変更とパスワード変更
ファームウェア更新		
update ALL		ファームウェア一括更新
MMB 設定、その他		
set active_mmb		Active MMB 設定 (Active MMB 実行不可)
show active_mmb	可	Active MMB 表示
set mmbcontrol reset		MMB リセット
set mmbcontrol switch_over		MMB 切り替え
exit	可	MMB ログアウト
help	可	ヘルプ
set irmc user	可	iRMC 管理者の ID とパスワードを設定
set sysconf fan_control_mode		システム冷却用ファンの制御モードを設定
show sysconf fan_control_mode	可	システム冷却用ファンの制御モードを表示
set sysconf required_psu		PSU の必要数を設定
show sysconf required_psu	可	PSU の必要数を表示
コマンド終了コード表示		
show exit_code	可	直前の実行コマンドの終了コード表示
ファームウェア更新状況／版数確認		
show update_status		一括ファームウェアアップデート進行状況表示
show firmware_version		ファームウェア版数表示
ネットワーク調査コマンド		
netck traceroute	可	ネットワーク経路の一覧表示
netck arptbl	可	Ethernet の物理アドレスの表示
netck arping	可	Ethernet の物理アドレスの表示
netck ifconfig	可	ネットワーク環境の設定状況表示
netck stat	可	使用しているポート番号の一覧表示
REMCS 関連コマンド		
set maintenance_ip		REMCS のネットワーク設定
show maintenance_ip	可	REMCS のネットワーク設定表示

表 3.5 MMB CLI コマンド一覧(Operator) (2/2)

コマンド	Operator	概要
DR 関連コマンド		
hotadd partition		Dynamic Reconfiguration HotAdd
hotremove partition		Dynamic Reconfiguration HotRemove
pciinfo partition		Dynamic Reconfiguration PciInfo
set partition dynamic_reconfiguration	可	パーティションの DR 状態設定
show partition dynamic_reconfiguration	可	パーティションの DR 状態表示
show dynamic_reconfiguration status	可	DR の進行状態表示
Extended Partitioning 関連コマンド		
set partition extended_partitioning_mode	可	拡張パーティションモード設定
show partition extended_partitioning_mode	可	拡張パーティションモード表示
set partition dimm_excl_mode	可	DIMM 排他割り当てモード設定
show partition dimm_excl_mode	可	DIMM 排他割り当てモード表示
set partition skt_binding_mode	可	CPU Socket 固定割り当てモード設定
show partition skt_binding_mode	可	CPU Socket 固定割り当てモード表示
add extended_partition sb		SB 資源を拡張パーティションに追加
add extended_partition iou		IOUE 資源を拡張パーティションに追加
add extended_partition pcibox		PCI ボックス資源を拡張パーティションに追加
remove extended_partition sb		SB 資源を拡張パーティションから取り外し
remove extended_partition iou		IOUE 資源を拡張パーティションから取り外し
remove extended_partition pcibox		PCI ボックス資源を拡張パーティションから取り外し
set partition extended_socket_mode	可	Extended Socket モード設定
show partition extended_socket_mode	可	Extended Socket モード表示
set partition extended_socket_zone		Extended Socket ゾーン設定
show partition extended_socket_zone	可	Extended Socket ゾーン表示
show extended_partition partition configuration	可	拡張パーティションに含まれる SB, IOUE, PCI Box の資源を表示
RAID 関連コマンド		
create raid logical_drive	可	論理ドライブ設定
delete raid logical_drive	可	論理ドライブ削除
modify raid logical_drive_policy	可	論理ドライブポリシー変更
modify raid logical_drive	可	論理ドライブ設定変更
create raid global_hotspare	可	グローバルホットスペアディスク設定
create raid dedicated_hotspare	可	デディケートッドホットスペアディスク設定
delete raid hotspare	可	ホットスペアディスク設定解除
start raid locate_pd	可	ディスクロケーション LED 点灯
stop raid locate_pd	可	ディスクロケーション LED 消灯
start raid locate_ld	可	論理ドライブに属するディスクロケーション LED 点灯
stop raid locate_ld	可	論理ドライブに属するディスクロケーション LED 消灯
start raid locate_encl	可	ディスクエンクロージャーロケーション LED 点灯
stop raid locate_encl	可	ディスクエンクロージャーロケーション LED 消灯
start raid rebuild	可	ディスクリビルド開始
cancel raid rebuild	可	ディスクリビルドキャンセル

コマンド	Operator	概要
start raid copyback	可	ディスクコピーバック開始
cancel raid copyback	可	ディスクコピーバックキャンセル
start raid mdc	可	論理ドライブデータ整合性チェック開始
cancel raid mdc	可	論理ドライブデータ整合性チェックキャンセル
start raid patrol	可	パトロールリード開始
cancel raid patrol	可	パトロールリードキャンセル
make raid online	可	ディスクオンライン設定
make raid offline	可	ディスクオフライン設定
replace raid missing_drive	可	リプレイスミッシングドライブ
show raid adapter	可	RAID アダプタ情報表示
show raid disk_enclosure	可	ディスクエンクロージャー情報表示
show raid physical_drive	可	ディスク情報表示
show raid physical_drive_count	可	ディスクカウント表示
show raid logical_drive	可	論理ドライブ情報表示
show raid logical_drive_count	可	論理ドライブ数表示
show raid bbu	可	RAID バッテリー情報表示
LDAP 関連コマンド		
set special_account		スペシャルアカウント登録
show special_account		スペシャルアカウント表示

表 3.6 MMB CLI コマンド一覧(Partition Operator) (1/2)

コマンド	Partition Operator (*) (自パーティション)	Partition Operator (*) (他パーティション)	概要
電源制御			
power off	可		電源オフ
power on	可		電源オン
パーティション制御			
sadump	可		sadump の指示
reset	可		Hard Reset の指示
nmi	可		NMI 割込みの指示
パーティション接続			
console	可		パーティションへの Test Console 接続
パーティション構築			
add partition			パーティション構成物追加
remove partition			パーティション構成物削除
show partition configuration	可	可	パーティション構成表示
show partition status	可	可	パーティション電源状態・進行状況表示
set reserved_sb			Reserved SB 設定
show reserved_sb	可	可	Reserved SB 表示
set partition home			Home SB 設定
show partition home	可	可	Home SB 表示
set partition memory_operation_mode	可		メモリオペレーションモード設定
show partition memory_operation_mode	可	可	メモリオペレーションモード設定表示
set partition memory_mirror_ras_mode	可		ミラーモード時のメモリ動作設定
show partition memory_mirror_ras_mode	可	可	ミラーモード時のメモリ動作設定表示
set partition lan_device_mode	可		LAN デバイスモード設定
show partition lan_device_mode	可	可	LAN デバイスモード設定表示
set partition name			パーティション名設定
show partition name	可	可	パーティション名表示
set partition memory_sparing_mode	可		スペアモード時のメモリ動作設定
show partition memory_sparing_mode	可	可	スペアモード時のメモリ動作設定表示
set partition pci_ecrc_mode	可		ECRC の設定
show partition pci_ecrc_mode	可	可	ECRC の表示
時刻関係			
set date			日付、時刻設定
show date	可	可	日付、時刻表示
set timezone			タイムゾーン設定
show timezone	可	可	タイムゾーン表示
ネットワーク関係			
set ip			管理 LAN アドレス設定
set ipv6			IPv6 用の管理 LAN アドレス設定

コマンド	Partition Operator (*) (自パーティ ション)	Partition Operator (*) (他パーティ ション)	概要
show ip	可	可	管理 LAN アドレス表示
show ipv6	可	可	IPv6 用の管理 LAN アドレス表示
set hostname			MMB ホスト名設定
show hostname	可	可	MMB ホスト名表示
set gateway			gateway アドレス設定
set gateway_ipv6			IPv6 用の gateway アドレス設定
show gateway	可	可	gateway アドレス表示
show gateway_ipv6	可	可	IPv6 用の gateway アドレス表示
show network	可	可	管理 LAN インターフェース表示
set http			http サービスの有効化設定
set https			https サービスの有効化設定
set ssh			ssh サービスの有効化設定
set telnet			telnet サービスの有効化設定
show http	可	可	http サービスの有効化設定表示
show https	可	可	https サービスの有効化設定表示
show ssh	可	可	ssh サービスの有効化設定表示
show telnet	可	可	telnet サービスの有効化設定表示
set http_port			http ポート番号設定
set https_port			https ポート番号設定
set ssh_port			ssh ポート番号設定
set telnet_port			telnet ポート番号設定
show http_port	可	可	http ポート番号表示
show https_port	可	可	https ポート番号表示
show ssh_port	可	可	ssh ポート番号表示
show telnet_port	可	可	telnet ポート番号表示
clear access_control			Access Control 設定クリア
show access_control			Access Control 設定表示
clear ssh_key	(未サポート)	(未サポート)	SSH 公開鍵クリア
download ssh_key	(未サポート)	(未サポート)	SSH 公開鍵ダウンロード
ping	可	可	Ping
show ntpq	可	可	NTP 問い合わせ (ntpq -p の実行)
システム設定			
set sysconf fan_control_mode			システム冷却用ファンの制御モードを設定
set sysconf required_psu			PSU の必要数の設定
set sysconf power_restoration_policy			復電後の動作設定
set sysconf power_on_delay			復電後のパワーオン待ち時間設定
set sysconf altitude			システムの設置高度設定
set sysconf psu_redundant_mode			PSU 冗長/非冗長設定
set sysconf system_guid_format			System GUID の応答フォーマット設定
show sysconf fan_control_mode	可	可	システム冷却用ファンの制御モードを表示
show sysconf required_psu	可	可	PSU の必要数の設定表示
show sysconf power_restoration_policy	可	可	復電後の動作設定表示
show sysconf power_on_delay	可	可	復電後のパワーオン待ち時間設定表示
show sysconf altitude	可	可	システムの設置高度設定表示

コマンド	Partition Operator (*) (自パーティ ション)	Partition Operator (*) (他パーティ ション)	概要
show sysconf psu_redundant_mode	可	可	PSU 冗長/非冗長設定表示
show sysconf system_guid_format	可	可	System GUID の応答フォーマット設定表示
show sysconf input_voltage	可	可	入力電圧表示
SNMP 関連			
set snmp sys_location			SNMP の System Location 設定
set snmp sys_contact			SNMP の System Contact 設定
set snmp community			SNMP の Community 設定
show snmp sys_location	可	可	SNMP の System Location 表示
show snmp sys_contact	可	可	SNMP の System Contact 表示
show snmp community	可	可	SNMP の Community 表示
set snmp trap			SNMP の Trap の送信先を設定
show snmp trap	可	可	SNMP の Trap の送信先を表示
set snmp test_trap			テスト用の Trap を送信
アカウント管理			
add user			ユーザーの追加
show user_list			ユーザーの一覧表示
passwd	可	可	パスワード変更
who	可	可	ログインユーザー表示
set irmc user	可		iRMC 管理者 ID の変更とパスワード変更
ファームウェア更新			
update ALL			ファームウェア一括更新
MMB 設定、その他			
set active_mmb			Active MMB 設定(Active MMB 実行不可)
show active_mmb	可	可	Active MMB 表示
set mmbcontrol reset			MMB リセット
set mmbcontrol switch_over			MMB 切り替え
exit	可	可	MMB ログアウト
help	可	可	ヘルプ
set irmc user	可		iRMC 管理者の ID とパスワードを設定
set sysconf fan_control_mode			システム冷却用ファンの制御モードを設定
show sysconf fan_control_mode	可	可	システム冷却用ファンの制御モードを表示
set sysconf required_psu			PSU の必要数を設定
show sysconf required_psu	可	可	PSU の必要数を表示
コマンド終了コード表示			
show exit_code	可	可	直前の実行コマンドの終了コード表示
ファームウェア更新状況／版数確認			
show update_status			一括ファームウェアアップデート進行状況表示
show firmware_version			ファームウェア版数表示
ネットワーク調査コマンド			
netck traceroute	可	可	ネットワーク経路の一覧表示
netck arptbl	可	可	Ethernet の物理アドレスの表示
netck arpinfo	可	可	Ethernet の物理アドレスの表示
netck ifconfig	可	可	ネットワーク環境の設定状況表示
netck stat	可	可	使用しているポート番号の一覧表示

コマンド	Partition Operator (*) (自パーティ ション)	Partition Operator (*) (他パーティ ション)	概要
REMCS 関連コマンド			
set maintenance_ip			REMCS のネットワーク設定
show maintenance_ip	可	可	REMCS のネットワーク設定表示

表 3.7 MMB CLI コマンド一覧(Partition Operator) (2/2)

コマンド	Partition Operator (*) (自パーティション)	Partition Operator (*) (他パーティション)	概要
DR 関連コマンド			
hotadd partition			Dynamic Reconfiguration HotAdd
hotremove partition			Dynamic Reconfiguration HotRemove
pciinfo partition			Dynamic Reconfiguration PciInfo
set partition dynamic_reconfiguration	可		パーティションの DR 状態設定
show partition dynamic_reconfiguration	可	可	パーティションの DR 状態表示
show dynamic_reconfiguration status	可	可	DR の進行状態表示
Extended Partitioning 関連コマンド			
set partition extended_partitioning_mode	可		拡張パーティションモード設定
show partition extended_partitioning_mode	可	可	拡張パーティションモード表示
set partition dimm_excl_mode	可		DIMM 排他割り当てモード設定
show partition dimm_excl_mode	可	可	DIMM 排他割り当てモード表示
set partition skt_binding_mode	可		CPU Socket 固定割り当てモード設定
show partition skt_binding_mode	可	可	CPU Socket 固定割り当てモード表示
add extended_partition sb			SB 資源を拡張パーティションに追加
add extended_partition iou			IOUE 資源を拡張パーティションに追加
add extended_partition pcibox			PCI ボックス資源を拡張パーティションに追加
remove extended_partition sb			SB 資源を拡張パーティションから取り外し
remove extended_partition iou			IOUE 資源を拡張パーティションから取り外し
remove extended_partition pcibox			PCI ボックス資源を拡張パーティションから取り外し
set partition extended_socket_mode	可		Extended Socket モード設定
show partition extended_socket_mode	可	可	Extended Socket モード表示
set partition extended_socket_zone			Extended Socket ゾーン設定
show partition extended_socket_zone	可	可	Extended Socket ゾーン表示
show extended_partition partition configuration	可	可	拡張パーティションに含まれる SB, IOUE, PCI Box の資源を表示
RAID 関連コマンド			
create raid logical_drive	可		論理ドライブ設定
delete raid logical_drive	可		論理ドライブ削除
modify raid logical_drive_policy	可		論理ドライブポリシー変更
modify raid logical_drive	可		論理ドライブ設定変更
create raid global_hotspare	可		グローバルホットスペアディスク設定
create raid dedicated_hotspare	可		デディケートッドホットスペアディスク設定

コマンド	Partition Operator (*) (自パーティ ション)	Partition Operator (*) (他パーティ ション)	概要
delete raid hotspare	可		ホットスペアディスク設定解除
start raid locate_pd	可		ディスクロケーション LED 点灯
stop raid locate_pd	可		ディスクロケーション LED 消灯
start raid locate_ld	可		論理ドライブに属するディスクロケーション LED 点灯
stop raid locate_ld	可		論理ドライブに属するディスクロケーション LED 消灯
start raid locate_encl	可		ディスクエンクロージャーロケーション LED 点灯
stop raid locate_encl	可		ディスクエンクロージャーロケーション LED 消灯
start raid rebuild	可		ディスクリビルド開始
cancel raid rebuild	可		ディスクリビルドキャンセル
start raid copyback	可		ディスクコピーバック開始
cancel raid copyback	可		ディスクコピーバックキャンセル
start raid mdc	可		論理ドライブデータ整合性チェック開始
cancel raid mdc	可		論理ドライブデータ整合性チェックキャンセル
start raid patrol	可		パトロールリード開始
cancel raid patrol	可		パトロールリードキャンセル
make raid online	可		ディスクオンライン設定
make raid offline	可		ディスクオフライン設定
replace raid missing_drive	可		リプレイスミッシングドライブ
show raid adapter	可	可	RAID アダプタ情報表示
show raid disk_enclosure	可	可	ディスクエンクロージャー情報表示
show raid physical_drive	可	可	ディスク情報表示
show raid physical_drive_count	可	可	ディスクカウント表示
show raid logical_drive	可	可	論理ドライブ情報表示
show raid logical_drive_count	可	可	論理ドライブ数表示
show raid bbu	可	可	RAID バッテリー情報表示
LDAP 関連コマンド			
set special_account			スペシャルアカウント登録
show special_account			スペシャルアカウント表示

* : Partition Operator の「自」は許可されたパーティションの操作、「他」は許可されていないパーティションの操作を示します。

表 3.8 MMB CLI コマンド一覧(User) (1/2)

コマンド	User	概要
電源制御		
power off		電源オフ
power on		電源オン
パーティション制御		
Sadump		sadump の指示
Reset		Hard Reset の指示
Nmi		NMI 割込みの指示
パーティション接続		
Console		パーティションへの Test Console 接続
パーティション構築		
add partition		パーティション構成物追加
remove partition		パーティション構成物削除
show partition configuration	可	パーティション構成表示
show partition status	可	パーティション電源状態・進行状況表示
set reserved_sb		Reserved SB 設定
show reserved_sb	可	Reserved SB 表示
set partition home		Home SB 設定
show partition home	可	Home SB 表示
set partition memory_operation_mode		メモリオペレーションモード設定
show partition memory_operation_mode	可	メモリオペレーションモード設定表示
set partition memory_mirror_ras_mode		ミラーモード時のメモリ動作設定
show partition memory_mirror_ras_mode	可	ミラーモード時のメモリ動作設定表示
set partition lan_device_mode		LAN デバイスモード設定
show partition lan_device_mode	可	LAN デバイスモード設定表示
set partition name		パーティション名設定
show partition name	可	パーティション名表示
set partition memory_sparing_mode		スペアモード時のメモリ動作設定
show partition memory_sparing_mode	可	スペアモード時のメモリ動作設定表示
set partition pci_ecrc_mode		ECRC の設定
show partition pci_ecrc_mode	可	ECRC の表示
時刻関係		
set date		日付、時刻設定
show date	可	日付、時刻表示
set timezone		タイムゾーン設定
show timezone	可	タイムゾーン表示
ネットワーク関係		
set ip		管理 LAN アドレス設定
set ipv6		IPv6 用の管理 LAN アドレス設定
show ip	可	管理 LAN アドレス表示
show ipv6	可	IPv6 用の管理 LAN アドレス表示
set hostname		MMB ホスト名設定
show hostname	可	MMB ホスト名表示
set gateway		gateway アドレス設定
set gateway_ipv6		IPv6 用の gateway アドレス設定
show gateway	可	gateway アドレス表示
show gateway_ipv6	可	IPv6 用の gateway アドレス表示

コマンド	User	概要
show network	可	管理 LAN インターフェース表示
set http		http サービスの有効化設定
set https		https サービスの有効化設定
set ssh		ssh サービスの有効化設定
set telnet		telnet サービスの有効化設定
show http	可	http サービスの有効化設定表示
show https	可	https サービスの有効化設定表示
show ssh	可	ssh サービスの有効化設定表示
show telnet	可	telnet サービスの有効化設定表示
set http_port		http ポート番号設定
set https_port		https ポート番号設定
set ssh_port		ssh ポート番号設定
set telnet_port		telnet ポート番号設定
show http_port	可	http ポート番号表示
show https_port	可	https ポート番号表示
show ssh_port	可	ssh ポート番号表示
show telnet_port	可	telnet ポート番号表示
clear access_control		Access Control 設定クリア
show access_control		Access Control 設定表示
clear ssh_key	(未サポート)	SSH 公開鍵クリア
download ssh_key	(未サポート)	SSH 公開鍵ダウンロード
ping	可	Ping
show ntpq	可	NTP 問い合わせ (ntpq -p の実行)
システム設定		
set sysconf fan_control_mode		システム冷却用ファンの制御モードを設定
set sysconf required_psu		PSU の必要数の設定
set sysconf power_restoration_policy		復電後の動作設定
set sysconf power_on_delay		復電後のパワーオン待ち時間設定
set sysconf altitude		システムの設置高度設定
set sysconf psu_redundant_mode		PSU 冗長/非冗長設定
set sysconf system_guid_format		System GUID の応答フォーマット設定
show sysconf fan_control_mode	可	システム冷却用ファンの制御モードを表示
show sysconf required_psu	可	PSU の必要数の設定表示
show sysconf power_restoration_policy	可	復電後の動作設定表示
show sysconf power_on_delay	可	復電後のパワーオン待ち時間設定表示
show sysconf altitude	可	システムの設置高度設定表示
show sysconf psu_redundant_mode	可	PSU 冗長/非冗長設定表示
show sysconf system_guid_format	可	System GUID の応答フォーマット設定表示
show sysconf input_voltage	可	入力電圧表示
SNMP 関連		
set snmp sys_location		SNMP の System Location 設定
set snmp sys_contact		SNMP の System Contact 設定
set snmp community		SNMP の Community 設定
show snmp sys_location	可	SNMP の System Location 表示
show snmp sys_contact	可	SNMP の System Contact 表示
show snmp community	可	SNMP の Community 表示
set snmp trap		SNMP の Trap の送信先を設定
show snmp trap	可	SNMP の Trap の送信先を表示
set snmp test_trap		テスト用の Trap を送信

コマンド	User	概要
アカウント管理		
add user		ユーザーの追加
show user_list		ユーザーの一覧表示
passwd	可	パスワード変更
who	可	ログインユーザー表示
set irmc user		iRMC 管理者 ID の変更とパスワード変更
ファームウェア更新		
update ALL		ファームウェア一括更新
MMB 設定、その他		
set active_mmb		Active MMB 設定 (Active MMB 実行不可)
show active_mmb	可	Active MMB 表示
set mmbcontrol reset		MMB リセット
set mmbcontrol switch_over		MMB 切り替え
exit	可	MMB ログアウト
help	可	ヘルプ
set irmc user		iRMC 管理者の ID とパスワードを設定
set sysconf fan_control_mode		システム冷却用ファンの制御モードを設定
show sysconf fan_control_mode	可	システム冷却用ファンの制御モードを表示
set sysconf required_psu		PSU の必要数を設定
show sysconf required_psu	可	PSU の必要数を表示
コマンド終了コード表示		
show exit_code	可	直前の実行コマンドの終了コード表示
ファームウェア更新状況／版数確認		
show update_status		一括ファームウェアアップデート進行状況表示
show firmware_version		ファームウェア版数表示
ネットワーク調査コマンド		
netck traceroute	可	ネットワーク経路の一覧表示
netck arptbl	可	Ethernet の物理アドレスの表示
netck arpinfo	可	Ethernet の物理アドレスの表示
netck ifconfig	可	ネットワーク環境の設定状況表示
netck stat	可	使用しているポート番号の一覧表示
REMCS 関連コマンド		
set maintenance_ip		REMCS のネットワーク設定
show maintenance_ip	可	REMCS のネットワーク設定表示

表 3.9 MMB CLI コマンド一覧(User) (2/2)

コマンド	User	概要
DR 関連コマンド		
hotadd partition		Dynamic Reconfiguration HotAdd
hotremove partition		Dynamic Reconfiguration HotRemove
pciinfo partition		Dynamic Reconfiguration PciInfo
set partition dynamic_reconfiguration		パーティションの DR 状態設定
show partition dynamic_reconfiguration	可	パーティションの DR 状態表示
show dynamic_reconfiguration status	可	DR の進行状態表示
Extended Partitioning 関連コマンド		
set partition extended_partitioning_mode		拡張パーティションモード設定
show partition extended_partitioning_mode	可	拡張パーティションモード表示
set partition dimm_excl_mode		DIMM 排他割り当てモード設定
show partition dimm_excl_mode	可	DIMM 排他割り当てモード表示
set partition skt_binding_mode		CPU Socket 固定割り当てモード設定
show partition skt_binding_mode	可	CPU Socket 固定割り当てモード表示
add extended_partition sb		SB 資源を拡張パーティションに追加
add extended_partition iou		IOUE 資源を拡張パーティションに追加
add extended_partition pcibox		PCI ボックス資源を拡張パーティションに追加
remove extended_partition sb		SB 資源を拡張パーティションから取り外し
remove extended_partition iou		IOUE 資源を拡張パーティションから取り外し
remove extended_partition pcibox		PCI ボックス資源を拡張パーティションから取り外し
set partition extended_socket_mode		Extended Socket モード設定
show partition extended_socket_mode	可	Extended Socket モード表示
set partition extended_socket_zone		Extended Socket ゾーン設定
show partition extended_socket_zone	可	Extended Socket ゾーン表示
show extended_partition partition configuration	可	拡張パーティションに含まれる SB, IOUE, PCI Box の資源を表示
RAID 関連コマンド		
create raid logical_drive		論理ドライブ設定
delete raid logical_drive		論理ドライブ削除
modify raid logical_drive_policy		論理ドライブポリシー変更
modify raid logical_drive		論理ドライブ設定変更
create raid global_hotspare		グローバルホットスペアディスク設定
create raid dedicated_hotspare		デディケートッドホットスペアディスク設定
delete raid hotspare		ホットスペアディスク設定解除
start raid locate_pd		ディスクロケーション LED 点灯
stop raid locate_pd		ディスクロケーション LED 消灯
start raid locate_ld		論理ドライブに属するディスクロケーション LED 点灯
stop raid locate_ld		論理ドライブに属するディスクロケーション LED 消灯
start raid locate_encl		ディスクエンクロージャーロケーション LED 点灯
stop raid locate_encl		ディスクエンクロージャーロケーション LED 消灯

コマンド	User	概要
start raid rebuild		ディスクリビルド開始
cancel raid rebuild		ディスクリビルドキャンセル
start raid copyback		ディスクコピーバック開始
cancel raid copyback		ディスクコピーバックキャンセル
cancel raid copyback		ディスクコピーバックキャンセル
start raid mdc		論理ドライブデータ整合性チェック開始
cancel raid mdc		論理ドライブデータ整合性チェックキャンセル
start raid patrol		パトロールリード開始
cancel raid patrol		パトロールリードキャンセル
make raid online		ディスクオンライン設定
make raid offline		ディスクオフライン設定
replace raid missing_drive		リプレイスミッシングドライブ
show raid adapter	可	RAID アダプタ情報表示
show raid disk_enclosure	可	ディスクエンクロージャー情報表示
show raid physical_drive	可	ディスク情報表示
show raid physical_drive_count	可	ディスクカウント表示
show raid logical_drive	可	論理ドライブ情報表示
show raid logical_drive_count	可	論理ドライブ数表示
show raid bbu	可	RAID バッテリー情報表示
LDAP 関連コマンド		
set special_account		スペシャルアカウント登録
show special_account		スペシャルアカウント表示

表 3.10 MMB CLI コマンド一覧(CE) (1/2)

コマンド	CE	概要
電源制御		
power off		電源オフ
power on		電源オン
パーティション制御		
sadump		sadump の指示
reset		Hard Reset の指示
nmi		NMI 割込みの指示
パーティション接続		
console		パーティションへの Test Console 接続
パーティション構築		
add partition		パーティション構成物追加
remove partition		パーティション構成物削除
show partition configuration	可	パーティション構成表示
show partition status	可	パーティション電源状態・進行状況表示
set reserved_sb		Reserved SB 設定
show reserved_sb	可	Reserved SB 表示
set partition home		Home SB 設定
show partition home	可	Home SB 表示
set partition memory_operation_mode		メモリオペレーションモード設定
show partition memory_operation_mode	可	メモリオペレーションモード設定表示
set partition memory_mirror_ras_mode		ミラーモード時のメモリ動作設定
show partition memory_mirror_ras_mode	可	ミラーモード時のメモリ動作設定表示
set partition lan_device_mode		LAN デバイスモード設定
show partition lan_device_mode	可	LAN デバイスモード設定表示
set partition name		パーティション名設定
show partition name	可	パーティション名表示
set partition memory_sparing_mode		スペアモード時のメモリ動作設定
show partition memory_sparing_mode	可	スペアモード時のメモリ動作設定表示
set partition pci_ecrc_mode		ECRC の設定
show partition pci_ecrc_mode	可	ECRC の表示
時刻関係		
set date		日付、時刻設定
show date	可	日付、時刻表示
set timezone		タイムゾーン設定
show timezone	可	タイムゾーン表示
ネットワーク関係		
set ip		管理 LAN アドレス設定
set ipv6		IPv6 用の管理 LAN アドレス設定
show ip	可	管理 LAN アドレス表示
show ipv6	可	IPv6 用の管理 LAN アドレス表示
set hostname		MMB ホスト名設定
show hostname	可	MMB ホスト名表示
set gateway		gateway アドレス設定
set gateway_ipv6		IPv6 用の gateway アドレス設定
show gateway	可	gateway アドレス表示
show gateway_ipv6	可	IPv6 用の gateway アドレス表示

コマンド	CE	概要
show network	可	管理 LAN インターフェース表示
set http		http サービスの有効化設定
set https		https サービスの有効化設定
set ssh		ssh サービスの有効化設定
set telnet		telnet サービスの有効化設定
show http	可	http サービスの有効化設定表示
show https	可	https サービスの有効化設定表示
show ssh	可	ssh サービスの有効化設定表示
show telnet	可	telnet サービスの有効化設定表示
set http_port		http ポート番号設定
set https_port		https ポート番号設定
set ssh_port		ssh ポート番号設定
set telnet_port		telnet ポート番号設定
show http_port	可	http ポート番号表示
show https_port	可	https ポート番号表示
show ssh_port	可	ssh ポート番号表示
show telnet_port	可	telnet ポート番号表示
clear access_control		Access Control 設定クリア
show access_control		Access Control 設定表示
clear ssh_key	(未サポート)	SSH 公開鍵クリア
download ssh_key	(未サポート)	SSH 公開鍵ダウンロード
ping	可	Ping
show ntpq	可	NTP 問い合わせ (ntpq -p の実行)
システム設定		
set sysconf fan_control_mode	可	システム冷却用ファンの制御モードを設定
set sysconf required_psu	可	PSU の必要数の設定
set sysconf power_restoration_policy	可	復電後の動作設定
set sysconf power_on_delay	可	復電後のパワーオン待ち時間設定
set sysconf altitude	可	システムの設置高度設定
set sysconf psu_redundant_mode	可	PSU 冗長/非冗長設定
set sysconf system_guid_format	可	System GUID の応答フォーマット設定
show sysconf fan_control_mode	可	システム冷却用ファンの制御モードを表示
show sysconf required_psu	可	PSU の必要数の設定表示
show sysconf power_restoration_policy	可	復電後の動作設定表示
show sysconf power_on_delay	可	復電後のパワーオン待ち時間設定表示
show sysconf altitude	可	システムの設置高度設定表示
show sysconf psu_redundant_mode	可	PSU 冗長/非冗長設定表示
show sysconf system_guid_format	可	System GUID の応答フォーマット設定表示
show sysconf input_voltage	可	入力電圧表示
SNMP 関連		
set snmp sys_location		SNMP の System Location 設定
set snmp sys_contact		SNMP の System Contact 設定
set snmp community		SNMP の Community 設定
show snmp sys_location	可	SNMP の System Location 表示
show snmp sys_contact	可	SNMP の System Contact 表示
show snmp community	可	SNMP の Community 表示
set snmp trap		SNMP の Trap の送信先を設定
show snmp trap	可	SNMP の Trap の送信先を表示
set snmp test_trap		テスト用の Trap を送信

コマンド	CE	概要
アカウント管理		
add user		ユーザーの追加
show user_list		ユーザーの一覧表示
passwd	可	パスワード変更
who	可	ログインユーザー表示
set irmc user		iRMC 管理者 ID の変更とパスワード変更
ファームウェア更新		
update ALL	可	ファームウェア一括更新
MMB 設定、その他		
set active_mmb	可	Active MMB 設定 (Active MMB 実行不可)
show active_mmb	可	Active MMB 表示
set mmbcontrol reset		MMB リセット
set mmbcontrol switch_over		MMB 切り替え
exit	可	MMB ログアウト
help	可	ヘルプ
set irmc user		iRMC 管理者の ID とパスワードを設定
set sysconf fan_control_mode	可	システム冷却用ファンの制御モードを設定
show sysconf fan_control_mode	可	システム冷却用ファンの制御モードを表示
set sysconf required_psu	可	PSU の必要数を設定
show sysconf required_psu	可	PSU の必要数を表示
コマンド終了コード表示		
show exit_code	可	直前の実行コマンドの終了コード表示
ファームウェア更新状況／版数確認		
show update_status	可	一括ファームウェアアップデート進行状況表示
show firmware_version	可	ファームウェア版数表示
ネットワーク調査コマンド		
netck traceroute	可	ネットワーク経路の一覧表示
netck arptbl	可	Ethernet の物理アドレスの表示
netck arping	可	Ethernet の物理アドレスの表示
netck ifconfig	可	ネットワーク環境の設定状況表示
netck stat	可	使用しているポート番号の一覧表示
REMCS 関連コマンド		
set maintenance_ip	可	REMCS のネットワーク設定
show maintenance_ip	可	REMCS のネットワーク設定表示

表 3.11 MMB CLI コマンド一覧(CE) (2/2)

コマンド	CE	概要
DR 関連コマンド		
hotadd partition		Dynamic Reconfiguration HotAdd
hotremove partition		Dynamic Reconfiguration HotRemove
pciinfo partition		Dynamic Reconfiguration PciInfo
set partition dynamic_reconfiguration		パーティションの DR 状態設定
show partition dynamic_reconfiguration	可	パーティションの DR 状態表示
show dynamic_reconfiguration status	可	DR の進行状態表示
Extended Partitioning 関連コマンド		
set partition extended_partitioning_mode		拡張パーティションモード設定
show partition extended_partitioning_mode	可	拡張パーティションモード表示
set partition dimm_excl_mode		DIMM 排他割り当てモード設定
show partition dimm_excl_mode	可	DIMM 排他割り当てモード表示
set partition skt_binding_mode		CPU Socket 固定割り当てモード設定
show partition skt_binding_mode	可	CPU Socket 固定割り当てモード表示
add extended_partition sb		SB 資源を拡張パーティションに追加
add extended_partition iou		IOUE 資源を拡張パーティションに追加
add extended_partition pcibox		PCI ボックス資源を拡張パーティションに追加
remove extended_partition sb		SB 資源を拡張パーティションから取り外し
remove extended_partition iou		IOUE 資源を拡張パーティションから取り外し
remove extended_partition pcibox		PCI ボックス資源を拡張パーティションから取り外し
set partition extended_socket_mode		Extended Socket モード設定
show partition extended_socket_mode	可	Extended Socket モード表示
set partition extended_socket_zone		Extended Socket ゾーン設定
show partition extended_socket_zone	可	Extended Socket ゾーン表示
show extended_partition partition configuration	可	拡張パーティションに含まれる SB, IOUE, PCI Box の資源を表示
RAID 関連コマンド		
create raid logical_drive		論理ドライブ設定
delete raid logical_drive		論理ドライブ削除
modify raid logical_drive_policy		論理ドライブポリシー変更
modify raid logical_drive		論理ドライブ設定変更
create raid global_hotspare		グローバルホットスペアディスク設定
create raid dedicated_hotspare		デディケートッドホットスペアディスク設定
delete raid hotspare		ホットスペアディスク設定解除
start raid locate_pd		ディスクロケーション LED 点灯
stop raid locate_pd		ディスクロケーション LED 消灯
start raid locate_ld		論理ドライブに属するディスクロケーション LED 点灯

コマンド	CE	概要
stop raid locate_ld		論理ドライブに属するディスクロケーション LED 消灯
start raid locate_encl		ディスクエンクロージャーロケーション LED 点灯
stop raid locate_encl		ディスクエンクロージャーロケーション LED 消灯
start raid rebuild		ディスクリビルド開始
cancel raid rebuild		ディスクリビルドキャンセル
start raid copyback		ディスクコピーバック開始
cancel raid copyback		ディスクコピーバックキャンセル
cancel raid copyback		ディスクコピーバックキャンセル
start raid mdc		論理ドライブデータ整合性チェック開始
cancel raid mdc		論理ドライブデータ整合性チェックキャンセル
start raid patrol		パトロールリード開始
cancel raid patrol		パトロールリードキャンセル
make raid online		ディスクオンライン設定
make raid offline		ディスクオフライン設定
replace raid missing_drive		リプレイスミッシングドライブ
show raid adapter	可	RAID アダプタ情報表示
show raid disk_enclosure	可	ディスクエンクロージャー情報表示
show raid physical_drive	可	ディスク情報表示
show raid physical_drive_count	可	ディスクカウント表示
show raid logical_drive	可	論理ドライブ情報表示
show raid logical_drive_count	可	論理ドライブ数表示
show raid bbu	可	RAID バッテリー情報表示
LDAP 関連コマンド		
set special_account		スペシャルアカウント登録
show special_account		スペシャルアカウント表示

3.1.4 CLI のコマンドパラメーターとメッセージ

■ コマンド書式内のパラメーター表記

- [] は、複数のパラメーターのうち、どれかを選択することを表します。
たとえば、[A | B | C] の場合、A、B、C のうちの 1 つを選択して指定します。
- { } は、省略可能なパラメーターであることを表します。たとえば、{quiet} の場合、この quiet パラメーターは省略可能です。

■ パラメーターの指定範囲

コマンド書式に出現する<partition#>、<SB#>、<IOU#>の各パラメーターは、以下の範囲の数値から指定します。モデルにより指定できる範囲は異なります。

各モデルの指定範囲は以下のとおりです。

表 3.12 パラメーターの指定範囲

	PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2 3400S Lite/3400S	PRIMEQUEST 3400E2/3400L2 3400E/3400L	PRIMEQUEST 3800E2/3800L2 3800E/3800L
<partition#>	0～1	0～11	0～11
<SB#>	0～1	0～3(*1)	0～3
<IOU#>	0～1	0～3	0～3
<Extended Partitioning#>	未サポート	4～11	4～11

*1) PRIMEQUEST 3400E/3400L の場合、Memory Scale-up Board が使用可能な状態では、0～3 を指定可能です。

範囲外の値を指定した場合は、エラーメッセージが表示され、処理は行われません。

■ メッセージ

以下に、各コマンド共通のメッセージを示します。

CLI のパラメーター文字列として正しくないものが指定された場合には、以下のメッセージが表示されます。

CLI のパラメーターは、「show」「set」「add」「remove」「clear」「power」「download」「update」のいずれかのコマンドに分類されます。これらの CLI に該当しないパラメーターが入力された場合も、このメッセージが表示されます。

The specified parameter is invalid.

「show」「set」「add」「remove」「clear」「power」「download」「update」のいずれかのコマンド名のみ入力された場合には、以下のメッセージが表示されます。

Parameter missing

入力されたコマンドが「show」「set」「add」「remove」「clear」「power」「download」「update」のいずれのコマンドにも分類されず、かつ「passwd」「ping」「who」「help」のいずれにも該当しない場合は、以下のメッセージが表示されます。

No such file or directory

3.2 設定用コマンド

情報を設定するためのコマンドは、以下のとおりです。

- [3.2.1 add partition](#)
- [3.2.2 clear access_control](#)
- [3.2.3 clear ssh_key](#)
- [3.2.4 console](#)
- [3.2.5 download ssh_key](#)
- [3.2.6 power off](#)
- [3.2.7 power on](#)
- [3.2.8 sadump](#)
- [3.2.9 reset](#)
- [3.2.10 nmi](#)
- [3.2.11 remove partition](#)
- [3.2.12 set active_mmb](#)
- [3.2.13 set date](#)
- [3.2.14 set partition dynamic_reconfiguration](#)
- [3.2.15 set gateway](#)
- [3.2.16 set gateway_ipv6](#)
- [3.2.17 set hostname](#)
- [3.2.18 set http](#)
- [3.2.19 set http_port](#)
- [3.2.20 set https](#)
- [3.2.21 set https_port](#)
- [3.2.22 set ip](#)
- [3.2.23 set ipv6](#)
- [3.2.24 set maintenance_ip](#)
- [3.2.25 set partition home](#)
- [3.2.26 set partition lan_device_mode](#)
- [3.2.27 set partition memory_mirror_ras_mode](#)
- [3.2.28 set partition memory_operation_mode](#)
- [3.2.29 set partition name](#)
- [3.2.30 set ssh](#)
- [3.2.31 set ssh_port](#)
- [3.2.32 set telnet](#)
- [3.2.33 set telnet_port](#)
- [3.2.34 set timezone](#)
- [3.2.35 set partition extended_partitioning_mode](#)
- [3.2.36 set partition dimm_excl_mode](#)
- [3.2.37 set partition skt_binding_mode](#)
- [3.2.38 add extended_partition sb](#)
- [3.2.39 add extended_partition iou](#)
- [3.2.40 add extended_partition pcibox](#)
- [3.2.41 remove extended_partition sb](#)
- [3.2.42 remove extended_partition iou](#)
- [3.2.43 remove extended_partition pcibox](#)
- [3.2.44 hotadd partition](#)
- [3.2.45 hotremove partition](#)

- 3.2.46 pciinfo partition
- 3.2.47 set partition extended_socket_mode
- 3.2.48 set partition extended_socket_zone
- 3.2.49 set partition memory_sparing_mode
- 3.2.50 create raid logical_drive
- 3.2.51 delete raid logical_drive
- 3.2.52 modify raid logical_drive_policy
- 3.2.53 modify raid logical_drive
- 3.2.54 create raid global_hotspare
- 3.2.55 create raid dedicated_hotspare
- 3.2.56 delete raid hotspare
- 3.2.57 start raid locate_pd
- 3.2.58 stop raid locate_pd
- 3.2.59 start raid locate_ld
- 3.2.60 stop raid locate_ld
- 3.2.61 start raid locate_encl
- 3.2.62 stop raid locate_encl
- 3.2.63 start raid rebuild
- 3.2.64 cancel raid rebuild
- 3.2.65 start raid copyback
- 3.2.66 cancel raid copyback
- 3.2.67 start raid mdc
- 3.2.68 cancel raid mdc
- 3.2.69 start raid patrol
- 3.2.70 cancel raid patrol
- 3.2.71 make raid online
- 3.2.72 make raid offline
- 3.2.73 replace raid missing_drive
- 3.2.74 set mmbcontrol reset
- 3.2.75 set mmbcontrol switch_over
- 3.2.76 set special_account
- 3.2.77 set partition pci_ecrc_mode
- 3.2.78 set irmc user
- 3.2.79 set sysconf fan_control_mode
- 3.2.80 set sysconf required_psu
- 3.2.81 set sysconf power_restoration_policy
- 3.2.82 set sysconf power_on_delay
- 3.2.83 set sysconf altitude
- 3.2.84 set sysconf psu_redundant_mode
- 3.2.85 set sysconf system_guid_format
- 3.2.86 set reserved_sb
- 3.2.87 add user
- 3.2.88 set snmp sys_location
- 3.2.89 set snmp sys_contact
- 3.2.90 set snmp community
- 3.2.91 set snmp trap
- 3.2.92 set snmp test_trap

ここではこれらのコマンドの操作方法を説明します。

3.2.1 add partition

指定した SB、IOUE、Extended Partitioning を指定したパーティションに追加します。指定した SB、IOUE、Extended Partitioning がフリー状態でない場合は実行できません。指定したパーティション番号が拡張パーティションの場合は何も処理しません。

■ 権限 : Administrator

(1) 入力形式

```
add partition <partition#> SB <SB#x> {quiet}
add partition <partition#> IOU <IOU#x> {quiet}
add partition <partition#> EXT_PART <Extended Partitioning#x> {quiet}
```

(2) オプション

quiet : ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例 : PRIMEQUEST 3800E で SB#3 を Partition#2 に追加する場合
add partition 2 SB 3
Are you sure you want to add SB#3 to Partition#2? [Y/N] Y
Adding SB#3 to Partition#2 has been completed successfully.
#
- 例 : PRIMEQUEST 3800E で IOUE#1 を Partition#2 に追加する場合
add partition 2 IOU 1
Are you sure you want to add IOU#1 to Partition#2? [Y/N] Y
Adding IOU#1 to Partition#2 has been completed successfully.
#
- 例 : PRIMEQUEST 3800E で Extended Partitioning#4 を Partition#2 に追加する場合
add partition 2 EXT_PART 4
Are you sure you want to add Extended Partitioning#4 to Partition#2? [Y/N] Y
Adding Extended Partitioning#4 to Partition#2 has been completed successfully.
#

3.2.2 clear access_control

IPv4/IPv6 両方の Access Control の設定値をクリアします。

■ 権限 : Administrator

- (1) 入力形式

```
clear access_control
```

- (2) オプション

なし

- (3) 使用例

なし

3.2.3 clear ssh_key

ログインしているユーザーに対して登録されている SSH 公開鍵認証用の公開鍵を削除します。

注意

PRIMEQUEST 3000 シリーズは、このコマンドをサポートしていません。

■ 権限 : User

- (1) 入力形式

```
clear ssh_key
```

- (2) オプション

なし

- (3) 使用例

なし

3.2.4 console

指定されたパーティションの iRMC に接続して、Text Console 機能を実現します。

iRMC への Text Console 接続は、iRMC 当たり 1 コマンドのみ接続を行うことができます。ただし、既に他のユーザーが console コマンドを実行している場合には、後続の console コマンド実行時に以下のメッセージが表示されるので、'Y' と入力することで、iRMC への Text Console 接続を強制的に行うことができます。その場合に、接続中の console コマンドは強制切断されます。

```
[Console redirection already in use  
If needed, the current user can be disconnected  
Do you really want to force disconnect current user? [Y|N]:]
```

■ 権限 : Administrator、Operator、Partition Operator(管理対象 Partition のみ)、CE

(1) 入力形式

<code>console <partition#> {<timeout>} {quiet}</code>

(2) オプション

- timeout: timeout 値を設定します。
0 又は 1～120 分の範囲で設定します。
0 は特殊な意味を持ち、Timeout 無しを意味します。
デフォルトは 10 分です。本オプション指定なし時はデフォルト値で動作します。
- quiet: User に対するインタラクティブ動作無しでコマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例: Partition#0 の iRMC にログインする場合
console 0
#
- 例: Partition#1 の iRMC に timeout 値 20 分指定でログインする場合
console 1 20
#

3.2.5 download ssh_key

ログインしているユーザーの SSH 公開鍵認証に使用する公開鍵を、指定されたサーバからダウンロードして登録します。
URL の入力形式は以下のとおりです。

http://host/path/file

ftp://host/path/file

注意

PRIMEQUEST 3000 シリーズは、このコマンドをサポートしていません。

■ 権限 : User

(1) 入力形式

```
download ssh_key <URL>
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

サーバが指定されなかった場合：以下のように URL の入力を促すメッセージが表示され、URL の入力待ちとなります。

- 例：

download ssh_key

URL:

3.2.6 power off

システム全体または、指定したパーティションの電源をオフします。パラメーターで指定されたパーティションが構成されていない場合は、構成されていないパーティションは無視されます。

指定されたパーティションがすでに電源オフしている場合、そのパーティションに対しては何も処理しません。

拡張パーティションのファームウェアが動作できなくなった場合の電源オフに対応するため、指定されたパーティションの Extended Partitioning Mode が Enable 設定である場合でも本コマンドの操作は実行できます。

Partition Operator は管理対象のパーティションのみ操作が可能です。管理対象外のパーティションを含むパラメーターを指定した場合はエラーメッセージが表示され、指定されたパーティションに対する操作はできません。

■ 権限 : Administrator、Operator、Partition Operator (管理対象パーティションのみ)

(1) 入力形式

```
power off {partition} [ all | <partition#> [, | -] <partition#> ]  
{force}
```

(2) オプション

Partition：パーティション番号を指定したパーティションの OS をシャットダウンし、パーティションの電源をオフにします。当パラメーターは省略可能です。

パラメーター省略時は partition パラメーターが指定されているものとして処理されます。このため、パーティションの指定は必須です。

パーティションは、以下のように指定します。

- all (定義されているすべてのパーティション) 指定
- パーティション番号をカンマで区切って指定
- パーティション番号範囲で指定

force：パーティションの OS をシャットダウンすることなしに、強制的に電源オフを指示します。

(3) 使用例

なし

3.2.7 power on

システム全体または、指定したパーティションの電源をオンにします。パラメーターで指定したパーティションが構成されていない場合は、構成されていないパーティションは無視されます。指定されたパーティションがすでに電源オンしている場合、そのパーティションに対しては何も処理しません。

指定したパーティションの Extended Partitioning Mode が Enable 設定の場合はエラーメッセージが表示され、指定したパーティションに対する操作はできません。

Partition Operator は、管理対象のパーティションのみの操作が可能です。管理対象外のパーティションを含むパラメーターを指定した場合はエラーメッセージが表示され、指定されたパーティションに対する操作はできません。

■ 権限 : Administrator、Operator、Partition Operator (管理対象パーティションのみ)

(1) 入力形式

<code>power on {partition} [all <partition#> [, -] <partition#>]</code>

(2) オプション

Partition : パーティション番号を指定したパーティションの電源をオンにします。筐体の電源が入っていない場合は、パーティションの電源をオンにする前に筐体の電源をオンにしてから指定されたパーティションの電源をオンにします。

当パラメーターは省略可能です。パラメーター省略時は partition パラメーターが指定されているものとして処理されます。このため、パーティションの指定は必須です。パーティションは、以下のように指定します。

- all (定義されているすべてのパーティション) 指定
- パーティション番号をカンマで区切って指定
- パーティション番号範囲で指定

(3) 使用例

なし

3.2.8 sadump

指定したパーティションに sadump を指示します。パラメーターで指定されたパーティションが構成されていない場合は、構成されていないパーティションは無視されます。

指定したパーティションの Extended Partitioning Mode が Enable 設定の場合はエラーメッセージが表示され、指定したパーティションに対する操作はできません。

指定されたパーティションが電源オン状態でない場合、そのパーティションに対しては何も処理しません。

Partition Operator は管理対象のパーティションのみ操作が可能です。管理対象外のパーティションを含むパラメーターを指定した場合は、エラーメッセージが表示され、指定されたパーティションに対する操作はできません。

■ 権限

Administrator、Operator、Partition Operator (管理対象パーティションのみ)

(1) 入力形式

<code>sadump {partition} [<partition#> [, -] <partition#>] {quiet}</code>

(2) オプション

partition : partition#(パーティション番号)で指定したパーティションに sadump を指示します。当パラメーターは省略可能です。

partition のパラメーター省略時は partition パラメーターが指定されているものとして処理されます。このため、partition#(パーティション番号)の指定は必須です。

パーティションは以下のように指定します。

- パーティション番号をカンマで区切って指定
- パーティション番号範囲で指定

quiet : ユーザーに対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例 : Administrator 権限で Partition#1 に sadump を指示する場合
Administrator>sadump partition 1
Are you sure you want to sadump to Partition#1? [Y/N]: Y
Administrator>

3.2.9 reset

指定したパーティションを強制的に Reset します。OS を Shutdown せず、パーティションのハードウェアを強制的に Reset します。パラメーターで指定されたパーティションが構成されていない場合は、構成されていないパーティションは無視されます。指定されたパーティションが電源オン状態でない場合、そのパーティションに対しては何も処理しません。指定したパーティションの Extended Partitioning Mode が Enable 設定の場合はエラーメッセージが表示され、指定したパーティションに対する操作はできません。

Partition Operator は管理対象のパーティションのみ操作が可能です。管理対象外のパーティションを含むパラメーターを指定した場合は、エラーメッセージが表示され、指定されたパーティションに対する操作はできません。

■ 権限 : Administrator、Operator、Partition Operator (管理対象パーティションのみ)

(1) 入力形式

```
reset {partition} [<partition#> [, | -] <partition#>] {quiet}
```

(2) オプション

partition : partition#(パーティション番号)で指定したパーティションを強制 Reset します。当パラメーターは省略可能です。

partition パラメーター省略時は partition パラメーターが指定されているものとして処理されます。このため、partition#(パーティション番号)の指定は必須です。

パーティションは、以下のように指定します。

- パーティション番号をカンマで区切って指定
- パーティション番号範囲で指定

quiet : ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例 : Administrator 権限で Partition#1 に強制 Reset を指示する場合
Administrator>reset partition 1
Are you sure you want to Reset to Partition#1? [Y/N]: Y
Administrator>

3.2.10 nmi

指定したパーティションに NMI 割込みを指示します。パラメーターで指定されたパーティションが構成されていない場合は、構成されていないパーティションは無視されます。指定されたパーティションが電源オン状態でない場合、そのパーティションに対して何も処理しません。指定したパーティションの Extended Partitioning Mode が Enable 設定の場合はエラーメッセージが表示され、指定したパーティションに対する操作はできません。

Partition Operator は管理対象のパーティションのみ操作が可能です。管理対象外のパーティションを含むパラメーターを指定した場合は、エラーメッセージが表示され、指定されたパーティションに対する操作はできません。

■ 権限：Administrator、Operator、Partition Operator (管理対象パーティションのみ)

(1) 書式

```
nmi {partition} [<partition#> [, | -] <partition#>] {quiet}
```

(2) オプション

partition：partition#(パーティション番号)を指定したパーティションに NMI 割込みを指示します。当パラメーターは省略可能です。

partition パラメーター省略時は partition パラメーターが指定されているものとして処理されます。このため、partition#(パーティション番号)の指定は必須です。

パーティションは、以下のように指定します。

- パーティション番号をカンマで区切って指定
- パーティション番号範囲で指定

quiet：ユーザーに対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

(3) 使用例

例：Administrator 権限で Partition#1 に NMI を指示する場合

```
Administrator>nmi partition 1
```

```
Are you sure you want to NMI to Partition#1? [Y/N]: Y
```

```
Administrator>
```

3.2.11 remove partition

指定した SB、IOUE、Extended Partitioning を指定したパーティションから取り外します。

指定した SB、IOUE、Extended Partitioning が指定したパーティションに含まれていない場合は、実行できません。

■ 権限 : Administrator

(1) 入力形式

```
remove partition <partition#> SB <SB#x> {quiet}
remove partition <partition#> IOU <IOU#x> {quiet}
remove partition <partition#> EXT_PART <Extended Partitioning#x>
{quiet}
```

(2) オプション

quiet : User に対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例 : PRIMEQUEST 3800E で SB#3 を Partition#2 から取り外す場合
remove partition 2 SB 3
Are you sure you want to remove SB#3 from Partition#2? [Y/N] Y
Removing SB#3 from Partition#2 has been completed successfully.
#
- 例 : PRIMEQUEST 3800E で IOUE#1 を Partition#2 から取り外す場合
remove partition 2 IOU 1
Are you sure you want to remove IOU#1 from Partition#2? [Y/N] Y
Removing IOU#1 from Partition#2 has been completed successfully.
#
- 例 : PRIMEQUEST 3800E で Extended Partitioning#4 を Partition#2 から取り外す場合
remove partition 2 EXT_PART 4
Are you sure you want to remove Extended Partitioning#4 from Partition#2? [Y/N] Y
Removing Extended Partitioning#4 from Partition#2 has been completed successfully.
#

3.2.12 set active_mmb

Active MMB をリセットすることにより、Active MMB を切り替えます。

本コマンドは Active MMB につながらない場合 (CLI にも login 出来ない) を想定し、Standby MMB より実行するコマンドです。

本コマンドは Active MMB での実行をサポートしていないため、Active MMB で実行しないでください。

本コマンドはトラブル発生時に使用する MMB の強制切り替えコマンドです。通常の切り替えは set mmbcontrol switch_over コマンドを実行するか MMB Web-UI の Switch over を実行してください。正常時に本コマンドを実行しないでください。MMB が正常に動作しなくなる場合があります。

本コマンドを 2 回以上連続して発行する場合はコマンドの発行間隔を 15 分程度開けてください。

備考

- 本コマンドは、Standby MMB に接続した場合のみ発行できます。
- MMB Web-UI の Switch Over 機能とは異なります。

■ 権限 : Administrator、CE

(1) 入力形式

```
set active_mmb {quiet}
```

(2) オプション

quiet : User に対するインタラクティブ動作なしで MMB を切り替えます。

(3) 使用例

なし

3.2.13 set date

日付と時刻を設定します。設定フォーマットは以下のとおりです。

- MM : 月 (01~12)
- DD : 日 (1~28|29|30|31)
- hh : 時 (00~23)
- mm : 分 (00~59)
- CC : 年の上 2 桁 (オプション)
- YY : 年の下 2 桁 (オプション)
- SS : 秒 (オプション)

■ 権限 : Administrator

(1) 入力形式

```
set date MMDDhhmm{{CC}YY}{,ss}
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

なし

3.2.14 set partition dynamic_reconfiguration

指定したパーティションの Dynamic Reconfiguration の enable/disable を設定します。

PRIMEQUEST 3400E/3400L/3800E/3800L モデルのみサポートしています。

すでに電源オンしているパーティションに対して本コマンドで設定を実行した場合、以下のメッセージが表示され、設定できません。

「Unable to change the mode while the partition is running.Please try to change the mode after the partition is shutdown.」

すでに電源オフしているパーティションに対して本コマンドで設定を変更した場合は、電源のオフ／オンの必要はありません。上記メッセージは表示されずに、即時に設定した値が反映されます。

指定されたパーティションの Extended Partitioning Mode が Enable 設定の場合はエラーメッセージを表示し、指定されたパーティションに対する操作は抑止します。

指定したパーティションが拡張パーティションである場合はエラーメッセージが表示され、指定したパーティションに対する操作はできません。

指定されたパーティションに Memory Scale-up Board が組み込まれている場合は enable への設定変更はできません。

■ 権限 : Administrator

(1) 入力形式

```
set partition dynamic_reconfiguration <partition#> [disable |enable]
{quiet}
```

(2) オプション

quiet: ユーザーに対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例: Partition #3 の Dynamic Reconfiguration を enable に設定する場合
set partition dynamic_reconfiguration 3 enable

3.2.15 set gateway

デフォルトゲートウェイを設定します。

デフォルトの設定値は 0.0.0.0 です。

■ 権限 : Administrator

(1) 入力形式

```
set gateway <ip address>
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

なし

3.2.16 set gateway_ipv6

IPv6 のデフォルトゲートウェイを設定します。

自動設定を行う場合は、オプションに"auto" のみを指定します。

■ 権限 : Administrator

(1) 入力形式

- 手動設定の場合

```
set gateway_ipv6 <ip address>
```

- 自動設定の場合

```
set gateway_ipv6 auto
```

(2) オプション

auto : IP アドレスを自動設定します。

(3) 使用例

- 手動設定の場合

```
#set gateway_ipv6 fe80::1
```

- 自動設定の場合

```
#set gateway_ipv6 auto
```

```
fe80::beef
```

```
Are you sure to continue?[Y/N]y
```

```
#
```

3.2.17 set hostname

MMB のホスト名を FQDN 形式で指定します。

入力可能な文字は以下のとおりです。

[a-z]、[A-Z]、[0-9]、[-] (ハイフン)、[.] (ドット)

また、以下の制約があります。

- 先頭文字は英字でなければならない。
- [-] (ハイフン)、[.] (ドット) を先頭文字として指定することはできない。

デフォルトの設定値は"PRIMEQUEST" + Product Serial Number。

例 :

Serial Number が 1020516004 の場合

"PRIMEQUEST1020516004"

■ 権限 : Administrator

(1) 入力形式

```
set hostname <ホスト名>.<ドメイン名>
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

ホスト名"primequest"で設定する場合、

```
# set hostname primequest.fujitsu.com
```

```
#
```

3.2.18 set http

HTTP サーバの enable/disable を設定します。
デフォルトの設定値は enable (http は有効) です。

■ 権限 : Administrator

(1) 入力形式

```
set http [enable | disable]
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

なし

3.2.19 set http_port

HTTP セッションを受け入れるポートを設定します。デフォルトは 8081 です。
<port>に指定可能なポート番号は、1024～65535、標準ポートの 80 です。

■ 権限 : Administrator

(1) 入力形式

```
set http_port <port>
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

なし

3.2.20 set https

HTTP サーバの enable/disable を設定します。
デフォルトの設定値は disable (https 無効) です。

■ 権限 : Administrator

(1) 入力形式

```
set https [enable | disable]
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

なし

3.2.21 set https_port

HTTPS セッションを受け入れるポートを設定します。デフォルトは 432 です。
<port>に指定可能なポート番号は、432、1024～65535、標準ポートの 443 です。

■ 権限 : Administrator

(1) 入力形式

```
set https_port <port>
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

なし

3.2.22 set ip

管理 LAN インターフェースに対して<IP address>、<netmask>を設定します。
デフォルトの設定値は 0.0.0.0 です。

■ 権限 : Administrator

(1) 入力形式

```
set ip <ip address> <netmask>
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

なし

3.2.23 set ipv6

管理 LAN インターフェースに対して IPv6 用のグローバルアドレス、プレフィックス長を設定します。
MMB の仮想 IP アドレスを設定します。自動設定を行う場合は、オプションに"auto"のみを指定します。

■ 権限 : Administrator

(1) 入力形式

- 手動設定の場合

```
set ipv6 <ip address/prefix>
```

- 自動設定の場合

```
set ipv6 auto
```

(2) オプション

auto : IP アドレスを自動設定します。

(3) 使用例

- 手動設定の場合

```
#set ipv6 2001:db8:caaf:beef:206:29ff:fe1e:482e/48
#
```

- 自動設定の場合

```
GUID (装置 Serial 番号) : "123456789abcdef0" の場合
#set ipv6 auto
2001:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:1234.5678.9abc.def0 /64
Are you sure to continue?[Y/N]y
#
```

3.2.24 set maintenance_ip

備考

IPv4 のみサポートします。

保守用 LAN の IP アドレスを設定します。

デフォルトの設定値は、ip address は 192.168.1.1、netmask は 255.255.255.0、gateway address、smtp address は、0.0.0.0 です。

- <ip address> : 保守用 LAN に設定する IP アドレス (0.0.0.0 を指定した場合は、設定のクリア)
- <subnet mask> : IP アドレスのサブネットマスク
- <gateway address> : ゲートウェイ
- <smtp address> : REMCS 通知用メールサーバ

備考

- 本コマンドにより SMTP Address を変更した場合は、REMCS の環境設定画面での SMTP サーバの設定変更も必要となります。また、REMCS の初期設定をする前に、本コマンドにより Routing を設定しておく必要があります。
- P-P で REMCS 接続をする場合、<gateway address>および<SMTP address>の設定は不要です。この場合、<gateway address>および<SMTP address>には 0.0.0.0 を指定します。
- 本コマンドでの設定を無効にする場合は、<ip address>に 0.0.0.0 を指定します。そのほかのパラメーターは任意ですが、0.0.0.0 を推奨します。

■ 権限 : Admin、CE

(1) 入力形式

```
set maintenance_ip <ip address> <netmask> <gateway address> <smtp address>
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

例 : 以下の内容で保守用 LAN に IP アドレスを設定

- IP アドレス : 192.168.1.10
- サブネットマスク : 255.255.255.0
- ゲートウェイ : 192.168.1.1
- REMCS 通知用メールサーバ : 172.128.1.2

```
# set maintenance_ip 192.168.1.10 255.255.255.0 192.168.1.1 172.128.1.2
```

3.2.25 set partition home

指定したパーティションの Home SB を設定します。

Home に設定する SB 番号を指定します。指定した SB 番号のスロットに SB が搭載されていない場合は実行されません。指定した SB 番号のスロットに Memory Scale-up Board が搭載されている場合は実行されません。指定したパーティションが拡張パーティションである場合はエラーメッセージが表示され、指定したパーティションに対する操作はできません。

指定した物理パーティションの Extended Partitioning Mode が Enable 設定の場合、拡張パーティションに割り当てられている Home SB の VGA/USB は指定された SB の資源に自動的に切り替わります。

■ 権限 : Administrator

(1) 入力形式

```
set partition home <partition#> SB <SB#>
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

- 例 : Partition3 に SB#2 を Home として設定する場合
set partition home 3 SB 2
#

3.2.26 set partition lan_device_mode

指定したパーティション内の IOUE 単位で、LAN Device Mode を設定します。

デフォルトの設定値は wol_disable です。

- wol_enable : AC On 状態でオンボード LAN 使用可能。
- wol_disable : Partition On 状態でオンボード LAN 使用可能。
- device_disable : 常にオンボード LAN デバイス使用不可

すでに電源オンしているパーティションに対して本コマンドで設定を実行した場合、以下のメッセージが表示され、設定できません。

「Unable to change the mode while the partition is running.Please try to change the mode after the partition is shutdown.」

すでに電源オフしているパーティションに対して本コマンドで設定を変更した場合は、上記メッセージは表示されずに、即時に設定した値が反映されます。

指定したパーティションが拡張パーティションである場合はエラーメッセージが表示され、指定したパーティションに対する操作はできません。

■ 権限 : Administrator、Operator、Partition Operator (管理対象パーティションのみ)

(1) 入力形式

```
set partition lan_device_mode <partition#> <IOU#> [wol_enable|  
wol_disable | device_disable ] {quiet}
```

(2) オプション

quiet: ユーザーに対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例 Partition #3 内の IOUE#2 に Enable(WOL enabled)を設定する場合
set partition lan_device_mode 3 2 wol_enable
#

3.2.27 set partition memory_mirror_ras_mode

指定したパーティションの Memory Mirror RAS mode を設定します。

Memory Operation Mode の設定が、Mirror Mode 設定の場合のみ設定可能です。

デフォルトの設定値は mirror_keep(RAS 重視モード)です。

- mirror_keep : Mirror Mode を維持する
- capacity_keep : メモリ容量を維持する

すでに電源オンしているパーティションに対して本コマンドで設定を実行した場合、以下のメッセージが表示され、設定できません。

「Unable to change the mode while the partition is running.
Please try to change the mode after the partition is shutdown.」

すでに電源オフしているパーティションに対して本コマンドで設定を変更した場合は、上記メッセージは表示されず、即時に設定した値が反映されます。

指定したパーティションが拡張パーティションである場合はエラーメッセージが表示され、指定したパーティションに対する操作はできません。

■ 権限 : Administrator、Operator、Partition Operator (管理対象パーティションのみ)

(1) 入力形式

```
set partition memory_mirror_ras_mode <partition#> [mirror_keep |  
capacity_keep ] {quiet}
```

(2) オプション

quiet: ユーザーに対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例: Partition #3 の Memory Mirror RAS Mode を Mirror Keep Mode に設定する場合
set partition memory_mirror_ras_mode 3 mirror_keep
The setting will become effective the next time the partition power off/on is performed
Are you sure to continue?[Y/N] y
#

3.2.28 set partition memory_operation_mode

指定したパーティションの Memory Operation Mode と Lockstep Mode を設定します。

デフォルトの設定値(*)は normal(Lockstep 有効)です。

*) SB に搭載したメモリ条件により、デフォルトは変更される場合があります。

- normal : Normal Mode を設定します。
- full_mirror : Full Mirror Mode を設定します。
- spare : Spare Mode を設定します。
- address_range_mirror : Address Range Mirror Mode を設定します。

Lockstep Mode は、

- lockstep : Lockstep Mode を Enable(有効)にします。
- (オプション指定なし) : Lockstep Mode を Disable(無効)にします。

すでに電源オンしているパーティションに対して本コマンドで設定を実行した場合、以下のメッセージが表示され、設定できません。

[Unable to change the mode while the partition is running.
Please try to change the mode after the partition is shutdown.]

すでに電源オフしているパーティションに対して本コマンドで設定を変更した場合は、上記メッセージは表示されずに、即時に設定した値が反映されます。

指定したパーティションが拡張パーティションである場合はエラーメッセージが表示され、指定したパーティションに対する操作はできません。

■ 権限 : Administrator、Operator、Partition Operator (管理対象パーティションのみ)

(1) 入力形式

```
set partition memory_operation_mode <partition#> [normal | full_mirror |  
spare | address_range_mirror] {lockstep} {quiet}
```

(2) オプション

lockstep: このオプションを指定すると Lockstep Mode が Enable(有効)になります。オプション指定がない場合、Lockstep Mode が Disable(無効)になります。Memory Operation Mode が Full Mirror Mode、Spare Mode、Address Range Mirror Mode の場合に、このオプションを指定するとエラーメッセージが表示され、設定できません。

quiet: ユーザーに対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例: Partition #3 の Memory Operation Mode を Normal Mode、Lockstep Mode を Enable に設定する場合
set partition memory_operation_mode 3 normal lockstep
The setting will become effective the next time the partition power off/on is performed
Are you sure to continue?[Y/N]y
#

パーティションが 1SB で構成されており、かつ、Reserved SB が設定されている場合、Reserved SB として設定されている SB が満たす DIMM 構成以外の Memory Operation Mode 設定が行われると、確認のダイアログボックスが表示されることがあります。確認のダイアログボックスには、Reserved SB に切り替わったときに Memory Operation Mode が変更される旨の警告メッセージが表示され、設定を続けるかどうかを確認されます。

このような表示がされない場合は、Memory Operation Mode は Reserved SB に切り替わっても変更されません。

- 例: Partition 1 の Mirror Mode を enable に設定する場合 (Partition1 には Mirror Mode 要件を満たさない DIMM 構成の SB が Reserved SB として設定されている)
set partition memory_operation_mode 1 full_mirror
The SB with DIMM that does not satisfy requirements of Mirror Mode is registered as a Reserved SB.
If you register this partition as a Mirror Mode,
Mirror Mode will be disabled when switching to Reserved SB.
Are you sure to continue?[Y/N] y
#

3.2.29 set partition name

指定したパーティションに名前を設定します。

パーティションの名前は 16 文字までです。16 文字を超える文字数の名前は設定できません。名前にスペース(空白)を含む場合は、名前を" "で囲んで指定します。指定可能な文字は、以下のとおりです。

[a-z]、[A-Z]、[0-9]、「_」(アンダーバー)、「-」(ハイフン)、「#」(シャープ)、「」(空白)です。

デフォルトは設定値なしです。

■ 権限 : Administrator

(1) 入力形式

```
set partition name <partition#> <partition name>
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

- 例 : Partition#3 に名前"primequest"を設定する場合
set partition name 3 primequest
#

3.2.30 set ssh

SSH の enable/disable を設定します。デフォルトの設定値は disable (SSH 無効) です。

■ 権限 : Administrator

(1) 入力形式

```
set ssh [enable | disable]
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

なし

3.2.31 set ssh_port

SSH セッションを受け入れるポートを設定します。デフォルトは 22 です。

<port>に指定可能なポート番号は、22、1024～65535 です。

■ 権限 : Administrator

(1) 入力形式

```
set ssh_port <port>
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

なし

3.2.32 set telnet

Telnet の enable/disable を設定します。
デフォルトの設定値は enable (Telnet 有効) です。

■ 権限 : Administrator

(1) 入力形式

```
set telnet [enable | disable]
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

なし

3.2.33 set telnet_port

Telnet 接続を受け入れるポートを設定します。デフォルトポートは 23 です。
<port>に指定可能なポート番号は、23、1024～65535 です。

■ 権限 : Administrator

(1) 入力形式

```
set telnet_port <port>
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

なし

3.2.34 set timezone

タイムゾーンを設定します。

備考

タイムゾーンを設定した後は、set date コマンドで日時を再設定する必要があります。

■ 権限 : Administrator

(1) 入力形式

```
set timezone <timezone>
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

- 例: Asia/Tokyo を設定する場合
set timezone Asia/Tokyo
- 例: America/New_York を設定する場合
set timezone America/New_York
- 例: Europe/Berlin を設定する場合
set timezone Europe/Berlin
- 例: (no classified)/Cuba を設定する場合
set timezone ./Cuba
(no classified)の場合は、.(ピリオド)を指定します。

(4) Timezone リスト

Timezone は、地域名と都市名を/(半角スラッシュ)で区切って設定します。

例：地域名が Asia で、都市名が東京の場合

Asia/Tokyo

大文字、小文字は区別されるため、以下の文字列通りに設定する必要があります。

地域名のリスト

US	Pacific	Mideast	Mexico	Indian	Europe
Chile	Canada	Brazil	Australia	Atlantic	Asia
Arctic	Antarctica	America	Africa	分類無し (no classified)	

以下は、各地域ごとの都市名のリストです。

地域名が US の場合

Alaska	Aleutian	ArizonPacifia	Central	East-Indiana	Eastern
Hawaii	Indiana-Starke	Michigan	Mountain	Pacific	Pacific-New
Samoa					

地域名が Pacific の場合

Apia	Auckland	Chatham	Easter	Efate	Enderbury
Fakaofo	Fiji	Funafuti	Galapagos	Gambier	Guadalcanal
Guam	Honolulu	Johnston	Kiritimati	Kosrae	Kwajalein
Majuro	Marquesas	Midway	Nauru	Niue	Norfolk
Noumea	Pago_Pago	Palau	Pitcairn	Ponape	Port_Moresby
Rarotonga	Saipan	Samoa	Tahiti	Tarawa	Tongatapu
Truk	Wake	Wallis	Yap		

地域名が Mideast の場合

Riyadh87	Riyadh88	Riyadh89			
----------	----------	----------	--	--	--

地域名が Mexico の場合

BajaNorte	BajaSur	General			
-----------	---------	---------	--	--	--

地域名が Indian の場合

Antananarivo	Chagos	Christmas	Cocos	Comoro	Kerguelen
Mahe	Maldives	Mauritius	Mayotte	Reunion	

地域名が Europe の場合

Amsterdam	Berlin	Chisinau	Istanbul	London	Minsk
Paris	San_Marino	Stockholm	Vaduz	Zagreb	Andorra
Bratislava	Copenhagen	Kaliningrad	Luxembourg	Monaco	Prague
Sarajevo	Tallinn	Vatican	Zaporozhye	Athens	Brussels
Dublin	Kiev	Madrid	Moscow	Riga	Simferopol
Tirane	Vienna	Zurich	Belfast	Bucharest	Gibraltar
Lisbon	Malta	Nicosia	Rome	Skopje	Tiraspol
Vilnius	Belgrade	Budapest	Helsinki	Ljubljana	Mariehamn
Oslo	Samara	Sofia	Uzhgorod	Warsaw	

地域名が Chile の場合

Continental	EasterIsland				
-------------	--------------	--	--	--	--

地域名が Canada の場合

Atlantic	Central	East-Saskatchewan	Eastern	Mountain	Newfoundland
Pacific	Saskatchewan	Yukon			

地域名が Brazil の場合

Acre	DeNoronha	East	West		
------	-----------	------	------	--	--

地域名が Australia の場合

ACT	Brisbane	Canberra	Darwin	LHI	Lord_Howe
NSW	Perth	South	Tasmania	West	Adelaide
Broken_Hill	Currie	Hobart	Lindeman	Melbourne	North
Queensland	Sydney	Victoria	Yancowinna		

地域名が Atlantic の場合

Azores	Bermuda	Canary	Cape_Verde	Faeroe	Jan_Mayen
Madeira	Reykjavik	South_Georgia	St_Helena	Stanley	

地域名が Asia の場合

Aden	Almaty	Amman	Anadyr	Aqtau	Aqtobe
Ashgabat	Ashkhabad	Baghdad	Bahrain	Baku	Bangkok
Beirut	Hong_Kong	Macao	Calcutta	Choibalsan	Chongqing
Chungking	Colombo	Dacca	Damascus	Dhaka	Dili
Dubai	Dushanbe	Gaza	Harbin	Kuwait	Rangoon
Irkutsk	Istanbul	Jakarta	Jayapura	Jerusalem	Kabul
Kamchatka	Karachi	Kashgar	Katmandu	Krasnoyarsk	Kuala_Lumpur
Kuching	Qyzylorda	Tel_Aviv	Macau	Magadan	Makassar
Manila	Muscat	Nicosia	Novosibirsk	Omsk	Oral
Phnom_Penh	Pontianak	Pyongyang	Qatar	Tehran	Riyadh
Riyadh87	Riyadh88	Riyadh89	Saigon	Sakhalin	Samarkand
Seoul	Shanghai	Singapore	Taipei	Tashkent	Tbilisi
Brunei	Thimbu	Thimphu	Tokyo	Ujung_Pandang	Ulaanbaatar
Ulan_Bator	Urumqi	Vientiane	Vladivostok	Yakutsk	Yekaterinburg
Yerevan	Bishkek	Hovd			

地域名が Arctic の場合

Longyearbyen					
--------------	--	--	--	--	--

地域名が Antarctica の場合

Casey	DumontDURville	McMurdo	Rothera	Syowa	Davis
Mawson	Palmer	South_Pole	Vostok		

地域名が America の場合

Adak	Anchorage	Anguilla	Antigua	Araguaina	Argentina
Aruba	Asuncion	Atka	Bahia	Barbados	Belem
Belize	Boa_Vista	Bogota	Boise	Buenos_Aires	Cambridge_Bay
Ensenada	Knox_IN	Nome	St_Johns	Cayenne	Cayman
Chicago	Chihuahua	Coral_Harbour	Cordoba	Costa_Rica	Cuiaba
Curacao	Danmarkshavn	Dawson	Dawson_Creek	Denver	Detroit
Dominica	Edmonton	Eirunepe	El_Salvador	Kentucky	Nipigon
Shiprock	Godthab	Goose_Bay	Grand_Turk	Grenada	Guadeloupe
Guatemala	Guayaquil	Guyana	Halifax	Havana	Hermosillo
Indiana	Indianapolis	Inuvik	Iqaluit	Jamaica	Jujuy
Juneau	New_York	Scoresbysund	Catamarca	Los_Angeles	Louisville
Maceio	Managua	Manaus	Martinique	Mazatlan	Mendoza
Menominee	Merida	Mexico_City	Miquelon	Moncton	Monterrey
Montevideo	Montreal	Montserrat	Nassau	Sao_Paulo	Caracas
Glace_Bay	North_Dakota	Panama	Pangnirtung	Paramaribo	Phoenix
Port-au-Prince	Port_of_Spain	Porto_Acre	Porto_Velho	Puerto_Rico	Rainy_River
Rankin_Inlet	Recife	Regina	Rio_Branco	Rosario	Santiago
Santo_Domingo	Cancun	Fortaleza	Lima	St_Kitts	St_Lucia
St_Thomas	St_Vincent	Swift_Current	Tegucigalpa	Thule	Thunder_Bay
Tijuana	Toronto	Tortola	Vancouver	Virgin	Whitehorse
Winnipeg	Yakutat	Yellowknife	Campo_Grande	Fort_Wayne	La_Paz
Noronha					

地域名が Africa の場合

Abidjan	Accra	Addis_Ababa	Algiers	Asmera	Bamako
Bangui	Banjul	Dar_es_Salaam	Blantyre	Brazzaville	Bujumbura
Cairo	Casablanca	Ceuta	Conakry	Dakar	Khartoum
Djibouti	Douala	El_Aaiun	Freetown	Gaborone	Harare
Johannesburg	Kampala	Malabo	Kigali	Kinshasa	Lagos
Libreville	Lome	Luanda	Lubumbashi	Lusaka	Nouakchott
Maputo	Maseru	Mbabane	Mogadishu	Monrovia	Nairobi
Ndjamena	Niamey	Ouagadougou	Porto-Novo	Sao_Tome	Timbuktu
Tripoli	Tunis	Windhoek	Bissau		

地域名が分類無し(no classified)の場合

Timezone には、.(半角ピリオド)と/(半角スラッシュ)を使って以下のように指定します。

例：都市名が CNET の場合

./CNET

CET	CST6CDT	Cuba	EET	EST	EST5EDT
Egypt	Eire	Factory	GB	GB-Eire	GMT
GMT+0	GMT-0	GMT0	Greenwich	HST	Hongkong
Iceland	Iran	Israel	Jamaica	Japan	Kwajalein
Libya	MET	MST	MST7MDT	NZ	NZ-CHAT
Navajo	PRC	PST8PDT	Poland	Portugal	ROC
ROK	Singapore	Turkey	UCT	UTC	Universal
W-SU	WET	Zulu	leapseconds		

3.2.35 set partition extended_partitioning_mode

指定したパーティションの Extended Partitioning Mode を設定します。

デフォルトの設定値は disable です。

- enable: 拡張パーティションモード有効
- disable: 拡張パーティションモード無効

すでに電源オンしているパーティションに対して本コマンドで設定を実行した場合、以下のメッセージが表示され、設定できません。

「Unable to change the mode while the partition is running.Please try to change the mode after the partition is shutdown.」

すでに電源オフしているパーティションに対して本コマンドで設定を変更した場合は、電源のオフ／オンの必要はありません。上記メッセージは表示されず、即時に設定した値が反映されます。

また、現在値を同じ値に設定した場合も電源オフ／オンの必要はなく、上記メッセージは表示されません。

指定したパーティションが拡張パーティションである場合はエラーメッセージが表示され、指定したパーティションに対する操作はできません。

■ 権限：Administrator、Operator、Partition Operator (管理対象パーティションのみ)

(1) 入力形式

```
set partition extended_partitioning_mode <partition#> [enable|disable ]  
{quiet}
```

(2) オプション

quiet: ユーザーに対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例: Partition#1 の Extended Partitioning Mode を Enable に設定する場合
set partition extended_partitioning_mode 1 enable
#

3.2.36 set partition dimm_excl_mode

指定した拡張パーティションの DIMM 排他割り当てモードを設定します。

デフォルトの設定値は disable です。

- enable: DIMM 排他割り当てモード有効
- disable: DIMM 排他割り当てモード無効

すでに電源オンしているパーティションに対して本コマンドで設定を実行した場合、以下のメッセージが表示され、設定できません。

「Unable to change the mode while the partition is running.Please try to change the mode after the partition is shutdown.」

すでに電源オフしているパーティションに対して本コマンドで設定を変更した場合は、電源のオフ／オンの必要はありません。上記メッセージは表示されずに、即時に設定した値が反映されます。

また、現在値を同じ値に設定した場合も電源オフ／オンの必要はなく、上記メッセージは表示されません。指定したパーティションが拡張パーティションでない場合はエラーメッセージが表示され、指定したパーティションに対する操作はできません。

■ 権限：Administrator、Operator、Partition Operator (管理対象パーティションのみ)

(1) 入力形式

```
set partition dimm_excl_mode <partition#> [enable| disable ] {quiet}
```

(2) オプション

quiet: ユーザーに対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例: Partition#4 の DIMM 排他割り当てモードを Enable に設定する場合
set partition dimm_excl_mode 4 enable
#

3.2.37 set partition skt_binding_mode

指定した拡張パーティションの CPU ソケット固定割り当てモードを設定します。

デフォルトの設定値は disable です。

- enable: CPU ソケット固定割り当てモード有効
- disable: CPU ソケット固定割り当てモード無効

すでに電源オンしているパーティションに対して本コマンドで設定を実行した場合、以下のメッセージが表示され、設定できません。

「Unable to change the mode while the partition is running.Please try to change the mode after the partition is shutdown.」

すでに電源オフしているパーティションに対して本コマンドで設定を変更した場合は、電源のオフ／オンの必要はありません。上記メッセージは表示されずに、即時に設定した値が反映されます。

また、現在値を同じ値に設定した場合も電源オフ／オンの必要はなく、上記メッセージは表示されません。

2 ソケットより多くの CPU コア数が割り当てられている拡張パーティションに対して、このモードを disable から enable に変更した場合、CPU コア数は 2 ソケット分に変更されます。

指定したパーティションが拡張パーティションでない場合はエラーメッセージが表示され、指定したパーティションに対する操作はできません。

拡張パーティションに対する SB の資源割り当ての詳細は、[2.4.5.1\[SB\]画面](#)を参照してください。

■ 権限：Administrator、Operator、Partition Operator (管理対象パーティションのみ)

(1) 入力形式

```
set partition skt_binding_mode <partition#> [enable| disable ] {quiet}
```

(2) オプション

quiet: ユーザーに対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例：Partition#4 の CPU Socket 固定割り当てモードを Enable に設定する場合
set partition skt_binding_mode 4 enable
#
- 例：37 コアを割り当てている Partition#4 のモードを Enable に設定する場合
set partition skt_binding_mode 4 enable
The setting number of CPU cores will be modified.(current:37 to setting:36)
SKT Binding Mode of Partition#4 is enable.
Are you sure to continue?[Y/N]: y
#

3.2.38 add_extended_partition sb

指定した SB の資源を指定した拡張パーティションに追加します。CPU コア数の場合は、指定した値のコア数が設定されます。メモリサイズの場合は、指定した値が GB 単位で設定されます。指定した拡張パーティションが電源オン状態の場合は本コマンドの処理は実行されません。指定した CPU コア数、メモリサイズ、Home SB の VGA/USB/rKVMs、M.2 がフリー状態でない場合は本コマンドの処理は実行されません。指定したパーティション番号が拡張パーティションでない場合は何も処理しません。

VGAUSB の実行時、VGA/USB/rKVMs を割り当てない運用をユーザーに促すメッセージを出力します。

CPU ソケット固定割り当てモードが enable に設定されている拡張パーティションに対して、本コマンドにより 2 ソケット分より多い CPU コア数を指定した場合、CPU コア数は 2 ソケット分に変更されます。

■ 権限 : Administrator

(1) 入力形式

```
add_extended_partition sb <partition#> CPU <CPU コア数> {quiet}
add_extended_partition sb <partition#> MEMORY <メモリサイズ> {quiet}
add_extended_partition sb <partition#> VGAUSB {quiet}
add_extended_partition sb <partition#> M.2 {quiet}
```

(2) オプション

quiet : ユーザーに対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例 : PRIMEQUEST 3800E で 3 個の CPU Core を Partition#4 に設定する場合
add_extended_partition sb 4 CPU 3
Are you sure you want to add 3 CPU Cores to Partition#4? [Y/N] Y
Adding 3 CPU Cores to Partition#4 has been completed successfully.
#
- 例 : PRIMEQUEST 3800E で 24GB の Memory を Partition#4 に設定する場合
add_extended_partition sb 4 MEMORY 24
Are you sure you want to add 24G Memory to Partition#4? [Y/N] Y
Adding 24G Memory to Partition#4 has been completed successfully.
#
- 例 : PRIMEQUEST 3800E で Home SB の VGA/USB を Partition#4 に追加する場合
add_extended_partition sb 4 VGAUSB
Are you sure you want to add VGA/USB to Partition#4? [Y/N] Y
!!! CAUTION!!!
Assignment of "VGA/USB/rKVMs" cannot be changed if the Extended Partition is powered on.
Please release "VGA/USB/rKVMs" after the operation.
Note:
"IP Address", "Video Redirection" and "Virtual Media" for all Extended Partitions must be enabled in
"Partition -> Console Redirection Setup" menu.
Adding VGA/USB to Partition#4 has been completed successfully.
#
- 例 : PRIMEQUEST 3800E で Home SB の M.2 を Partition#4 に追加する場合
add_extended_partition sb 4 M.2
Are you sure you want to add M.2 to Partition#4? [Y/N] Y
Adding M.2 of SB#2 to Partition#4 has been completed successfully.
#
- 例 : CPU ソケット固定割り当てモードが enable である Partition#4 に 37 個の CPU コアを追加する場合
(CPU は 18 コア/ソケット)

```
# add extended_partition sb 4 CPU 37
```

The specified number of cores will be modified (37 to 36), because SKT Binding Mode is enable.

Are you sure you want to add 36 CPU Cores to Partition#4? [Y/N]: Y

Adding 36 CPU Cores to Partition#4 has been completed successfully.

```
#
```

3.2.39 add extended_partition iou

指定した IOUE の資源を指定した拡張パーティションに追加します。指定した拡張パーティションが電源オン状態の場合は本コマンドの処理は実行されません。指定したオンボード LAN, PCI Express スロット, DU, DU_M がフリー状態でない場合は本コマンドの処理は実行されません。

指定したパーティション番号が拡張パーティションでない場合は何も処理しません。

■ 権限 : Administrator

(1) 入力形式

```
add extended_partition iou <IOU#x> <partition#> ONBOARDLAN {quiet}
add extended_partition iou <IOU#x> <partition#> PCISLOT <PCI Slot#> {quiet}
add extended_partition iou <IOU#x> <partition#> DU {quiet}
add extended_partition iou <IOU#x> <partition#> DU_M {quiet}
```

(2) オプション

quiet : ユーザーに対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例 : PRIMEQUEST3800E で IOUE#1 のオンボード LAN を Partition#4 に追加する場合

```
# add extended_partition iou 1 4 ONBOARDLAN
```

Are you sure you want to add Onboard LAN of IOU#1 to Partition#4? [Y/N] Y

Adding Onboard LAN of IOU#1 to Partition#4 has been completed successfully.

```
#
```
- 例 : PRIMEQUEST3800E で IOUE#1 の PCI Express スロット#1 を Partition#4 に追加する場合

```
# add extended_partition iou 1 4 PCISLOT 1
```

Are you sure you want to add PCI Slot#1 of IOU#1 to Partition#4? [Y/N] Y

Adding PCI Slot#1 of IOU#1 to Partition#4 has been completed successfully.

```
#
```
- 例 : PRIMEQUEST3800E で IOUE#1 の DU を Partition#4 に追加する場合

```
# add extended_partition iou 1 4 DU
```

Are you sure you want to add DU of IOU#1 to Partition#4? [Y/N] Y

Adding DU of IOU#1 to Partition#4 has been completed successfully.

```
#
```

3.2.40 add_extended_partition pcibox

指定した PCI ボックスの PCI Express スロットを指定した拡張パーティションに追加します。

指定した拡張パーティションが電源オン状態の場合は本コマンドの処理は実行されません。

指定した PCI ボックスの PCI Express スロットがフリー状態でない場合は本コマンドの処理は実行されません。

指定したパーティション番号が拡張パーティションでない場合は何も処理しません。

■ 権限 : Administrator

(1) 入力形式

```
add extended_partition pcibox <PCIBOX#> <partition#> PCISLOT<PCISlot#>
{quiet}
```

(2) オプション

quiet : ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例 : PRIMEQUEST 3800E で PCI ボックス#1 の PCI Express スロット#2 を Partition#4 に追加する場合
add_extended_partition pcibox 1 4 PCISLOT 2
Are you sure you want to add PCI Slot#2 of PCI_Box#1 to Partition#4? [Y/N] Y
Adding PCI Slot#2 of PCI_Box#1 to Partition#4 has been completed successfully.
#

3.2.41 remove extended_partition sb

指定した SB の資源を指定した拡張パーティションから取り外します。指定した拡張パーティションが電源オン状態の場合は本コマンドの処理は実行されません。指定した HOME SB の VGA/USB/rKVMs, M.2 がパーティションに含まれていない場合は本コマンドの処理は実行されません。指定したパーティション番号が拡張パーティションでない場合は何も処理しません。

■ 権限 : Administrator

(1) 入力形式

<pre>remove extended_partition sb <partition#> VGAUSB {quiet} remove extended_partition sb <partition#> M.2 {quiet}</pre>

(2) オプション

quiet : ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例 : PRIMEQUEST 3800E で HOME SB の VGA/USB を Partition#4 から取り外す場合
remove extended_partition sb 4 VGAUSB
Are you sure you want to remove VGA/USB from Partition#4? [Y/N] Y
Removing VGA/USB from Partition#4 has been completed successfully.
!!! CAUTION!!!
Assignment of "VGA/USB/rKVMs" cannot be changed if the Extended Partition is powered on.
Please release "VGA/USB/rKVMs" after the operation.

Note:

"IP Address", "Video Redirection" and "Virtual Media" for all Extended Partitions must be enabled in "Partition -> Console Redirection Setup" menu.

#

- 例 : PRIMEQUEST 3800E で HOME SB の M.2 を Partition#4 から取り外す場合
remove extended_partition sb 4 M.2
Are you sure you want to remove M.2 from Partition#4? [Y/N] Y
Removing M.2 from Partition#4 has been completed successfully.
#

3.2.42 remove extended_partition iou

指定した IOUE の資源を指定した拡張パーティションから取り外します。指定した拡張パーティションが電源オン状態の場合は本コマンドの処理は実行されません。指定したオンボード LAN、PCI Express スロット、DU、DU_M がパーティションに含まれていない場合は本コマンドの処理は実行されません。指定したパーティション番号が拡張パーティションでない場合は何も処理しません。

■ 権限 : Administrator

(1) 入力形式

```
remove extended_partition iou <IOU#> <partition#> ONBOARDLAN {quiet}
remove extended_partition iou <IOU#> <partition#> PCISLOT <PCI Slot#> {quiet}
remove extended_partition iou <IOU#> <partition#> DU {quiet}
remove extended_partition iou <IOU#> <partition#> DU_M {quiet}
```

(2) オプション

quiet : ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例 : PRIMEQUEST 3800E で IOUE#1 のオンボード LAN を Partition#4 から取り外す場合
remove extended_partition iou 1 4 ONBOARDLAN
Are you sure you want to remove Onboard LAN of IOU#1 from Partition#4? [Y/N] Y
Removing Onboard LAN of IOU#1 from Partition#4 has been completed successfully.
#
- 例 : PRIMEQUEST 3800E で IOUE#1 の PCI Express スロット#1 を Partition#4 から取り外す場合
remove extended_partition iou 1 4 PCISLOT 1
Are you sure you want to remove PCI Slot#1 of IOU#1 from Partition#4? [Y/N] Y
Removing PCI Slot#1 of IOU#1 from Partition#4 has been completed successfully.
#
- 例 : PRIMEQUEST 3800E で IOUE#1 の DU を Partition#4 から取り外す場合
remove extended_partition iou 1 4 DU
Are you sure you want to remove DU of IOU#1 from Partition#4? [Y/N] Y
Removing DU of IOU#1 from Partition#4 has been completed successfully.
#

3.2.43 remove_extended_partition pcibox

指定した PCI ボックスの資源を指定した拡張パーティションから取り外します。

指定した拡張パーティションが電源オン状態の場合は本コマンドの処理は実行されません。

指定した PCI ボックスの PCI Express スロットがパーティションに含まれていない場合は本コマンドの処理は実行されません。指定したパーティション番号が拡張パーティションでない場合は何も処理しません。

■ 権限 : Administrator

(1) 入力形式

```
remove_extended_partition pcibox <PCIBOX#> <partition#> PCISLOT <PCI Slot#>
{quiet}
```

(2) オプション

quiet : ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例 : PRIMEQUEST 3800E で PCI ボックス#1 の PCI Express スロット#2 を Partition#4 から取り外す場合
remove_extended_partition pcibox 1 4 PCISLOT 2
Are you sure you want to remove PCI Slot#2 of PCI_Box#1 from Partition#4? [Y/N] Y
Removing PCI Slot#2 of PCI_Box#1 from Partition#4 has been completed successfully.
#

3.2.44 hotadd partition

指定したパーティションに指定した SB、または IOUE を動的に追加します。

- このコマンドの実行には、数分の時間が掛かります。
- SB パラメーターは物理 SB 番号を指定します (論理 SB 番号ではない)。
- このコマンドの実行を中断することはできません。
- コマンドが失敗した場合は次回起動時に構成変更が反映されます。

■ 権限 : Administrator

(1) 入力形式

```
hotadd partition <partition#> SB <SB#x> {quiet}  
hotadd partition <partition#> IOU <IOU#x> {quiet}
```

(2) オプション

quiet : ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例 : Partition#2 に SB#3 を追加する場合
hotadd partition 2 SB 3
Are you sure to continue adding SB#3 to partition#2? [Y/N] Y
DR operation start (1/5)
Assigning SB#3 to partition#2 (2/5)
Testing SB#3 (3/5)
Reconfiguring partition#2 (4/5)
Onlining added Memory/CPU (5/5)
Adding SB#3 to Partition#2 has been completed successfully.
#
- 例 : Partition#2 に IOUE#3 を追加する場合
hotadd partition 2 IOU 3
Are you sure to continue adding IOU#3 to Partition#2? [Y/N] Y
DR operation start (1/3)
Assigning IOU#\$ to partition#\$ (2/3)
Power on IOU#\$ (3/3)
Adding IOU#3 to Partition#2 has been completed successfully.
#

3.2.45 hotremove partition

指定したパーティションから指定した SB、または IOUE を動的に削除します。

- このコマンドの実行には、数分の時間が掛かります。
- SB パラメーターは物理 SB 番号を指定します (論理 SB 番号ではない)。
- このコマンドの実行を中断することはできません。
- コマンドが失敗した場合は次回起動時に構成変更が反映されます。

■ 権限 : Administrator

(1) 入力形式

```
hotremove partition <partition#> SB <SB#x> {quiet}  
hotremove partition <partition#> IOU <IOU#x> {quiet}
```

(2) オプション

quiet : ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例 : Partition#2 から SB#3 を削除する場合
hotremove partition 2 SB 3
Are you sure to continue removing SB#3 from partition#2? [Y/N] Y
DR operation start (1/4)
Offlining removed Memory/CPU (2/4)
Reconfiguring partition#2 (3/4)
Releasing SB#3 (4/4)
Removing SB#3 from partition#2 has been completed successfully.
#
- 例 : Partition#2 から IOUE#3 を削除する場合
hotremove partition 2 IOU 3
Are you sure to continue removing IOU#3 from Partition#2? [Y/N]: Y
DR operation start (1/3)
Remove IOU#3 (2/3)
IOU#3 power-off (3/3)
Removing IOU#3 from partition#2 has been completed successfully.
#

3.2.46 pciinfo partition

指定したパーティション<partition#>に指定した IOUE<IOU#>の PCI 情報通知を依頼します。

- このコマンドの実行には、数分の時間が掛かります。
- このコマンドの実行を中断することはできません。

■ 権限 : Administrator

(1) 入力形式

```
pciinfo partition <partition#> IOU <IOU#> {quiet}
```

(2) オプション

quiet : ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例 : Partition#2 に IOUE#3 を指定した場合
pciinfo partition 2 IOU 3
Are you sure to continue updating IOU#3 in Partition#2? [Y/N]: Y
...
Update IOU#3 PCI information in Partition#2 has been completed successfully.
#

3.2.47 set partition extended_socket_mode

指定した拡張パーティションの Extended Socket mode を設定します。

デフォルトの設定値は disable です。

- enable : Extended Socket mode 有効。
- disable : Extended Socket mode 無効。

電源 On している拡張パーティションに対して本コマンドで設定を実行した場合、設定を抑止するために、以下のメッセージを表示します。

```
「Unable to change the mode while the partition is running.  
Please try to change the mode after the partition is shutdown.」
```

電源 Off している拡張パーティションに対して本コマンドで設定を変更した場合は、電源の off/on の必要はなく、上記メッセージを表示せずに、即時に設定した値を反映します。また、現在値を同じ値に設定した場合も、電源 off/on の必要がないため、上記メッセージは表示されません。

■ 権限 : Admin, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

```
set partition extended_socket_mode <Extended Partitioning#> [enable| disable]  
{quiet}
```

(2) オプション

quiet : ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例 : 拡張パーティション #4 の Extended Socket mode を Enable に設定する場合
set partition extended_socket_mode 4 enable
#

3.2.48 set partition extended_socket_zone

指定した Zone に拡張パーティションを設定します。

Zone に none を設定した場合は、Zone 設定が none になります。

■ 権限 : Admin

(1) 入力形式

```
set partition extended_socket_zone [ <Zone#> | none ] [<Extended Partitioning#>
[,| -] <Extended Partitioning#> ] {quiet}
```

(2) オプション

quiet : ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例 : Zone #1 に拡張パーティション#4 と#5 を設定する場合
set partition extended_socket_zone 1 4,5
#

3.2.49 set partition memory_sparing_mode

指定したパーティションの Memory Sparing Mode の Rank 数を設定します。

本コマンドを使用する場合は予め Memory Operation Mode を Spare Mode に設定する必要があります。

デフォルトの設定値は 1Rank です。

1 : 1Rank を設定します

auto : 自動設定

電源 On している拡張パーティションに対して本コマンドで設定を実行した場合、設定を抑止するために、以下のメッセージを表示します。

「Unable to change the mode while the partition is running.
Please try to change the mode after the partition is shutdown.」

電源 Off しているパーティションに対して本コマンドで設定を変更した場合は、電源の off/on の必要はなく、上記メッセージを表示せずに、即時に設定した値を反映します。また、現在値を同じ値に設定した場合も、電源 off/on の必要がないため、上記メッセージは表示されません。

指定したパーティションが拡張パーティションである場合はエラーメッセージを表示し、指定したパーティションに対する操作は抑止されます。

■ 権限 : Admin, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

```
set partition memory_sparing_mode <Partition#> [1|auto] {quiet}
```

(2) オプション

quiet : ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例 : パーティション #4 の memory_sparing_mode の Rank 数を 1 に設定する場合
set partition memory_sparing_mode 4 1
The setting will become effective the next time the partition power off/on is performed
#

3.2.50 create raid logical_drive

指定した RAID アダプタに論理ドライブを作成します。

■ 権限 : Admin, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

```
create raid logical_drive [DU | DU_M | IOU | PCI_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#>  
disk=[<DISKSLOT#>{,<DISKSLOT#>...} | <PORT#>-<CASCADE#>-<DISKSLOT#>{,<PORT#>-  
<CASCADE#>-<DISKSLOT#>...}] level=<RAIDlevel> {spansize=<Span>} {size=<Size>[MB |  
GB | TB]} {name="<Name>"} {stripe=<StripeSize>} {init=[no | fast | slow]}  
{force}
```

(2) オプション

disk: ディスクスロット番号(例 : disk=0,1,2,3)、あるいは、ディスクが搭載されているエンクロージャーのポート番号、カスケード番号およびスロット番号(例 : disk=0-0-0,0-0-1,1-0-0,1-0-1)

level: RAID レベル。0,1,5,6,1E,10,50,60 の何れかを指定できます。(例 : level=5)

spansize: ディスク毎のスパンサイズ。RAID-50 あるいは RAID-60 の場合は、本パラメーターは意味をなしません。
(例 : spansize=5)

size: 論理ドライブサイズ。本パラメーターが省略された場合は、作成可能な最大サイズで論理ドライブを生成します。(例 : size=512GB)

name: 論理ドライブ名。本パラメーターが省略された場合は、" LogicalDrive_#" (#はターゲット ID)がドライブ名としてアサインされます。

stripe: 論理ドライブのストライプサイズ。8,16,32,64,128,256,512,1024 の何れかを指定できる。本パラメーターが省略された場合は、64 が設定されます。(例 : stripe=1024)

init: 論理ドライブの初期化方法。本パラメーターが省略された場合は、論理ドライブ作成後に、初期化処理は実行されません。(例 : init=fast)

force:ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

本コマンドの必須オプションは、" disk" および " level" のみで、その他オプションは省略可能です。省略された場合のデフォルト値は下記を参照ください。

オプション	デフォルト値
spansize	RAID-50 あるいは RAID-60 の場合、 spansize=指定されたディスク数 / 2 RAID-10 の場合、 spansize=2 その他 RAID レベルの場合、 spansize=指定されたディスク数
size	作成可能な最大サイズ
name	"LogicalDrive_#" (#: 論理ドライブの Target ID)
stripe	64
init	No

(3) 使用例

- 例 : DU#0 上のスロット 0,1,2,3 に搭載されているディスクを使用して RAID5 の論理ドライブを生成する場合
create raid logical_drive DU 0-0 disk=0,1,2,3 level=5 size=512GB name= "Logical_Drive_0"
stripe=1024 init=fast force
- 例 : IOUE#2-PCI スロット#0 の RAID カードのポート#0, カスケード#0 に接続されているディスクエンクロージャー上のスロット#0,#1 のディスクと、同 RAID カードのポート#1, カスケード#0 に接続されているディスクエンクロージャー上のスロット#0,#1 のディスクで、RAID6 の論理ドライブを生成する場合
create raid logical_drive IOU 0-0 disk=0-0-0,0-0-1,1-0-0,1-0-1 level=6 size=512GB
name= "Logical_Drive_0" stripe=1024 init=fast

(4) 備考

- 本コマンドで論理ドライブを作成する際に、指定できないポリシーがあります。これらのポリシーは、下記のデフォルト値が設定されていますが、論理ドライブ作成後に、“modify raid logical_drive_policy” コマンドで変更することが可能です。

ポリシー	デフォルト値	設定可能な値
Read Policy	No Read Ahead	No Read Ahead, Read Ahead
Write Policy	Write Back	Write Back, Write Through, Force Write Back
I/O Policy	Direct	Direct, Cached
Access Policy	Read/Write	Read/Write, Read Only, Blocked
Drive Cache	Enable	Unchanged, Enable, Disable

- 本コマンド実行時に、“Internal error[12:0x8017]”あるいは、“Internal error[12:0x802f]”で応答する場合がありますが、この場合、“show raid logical_drive” コマンドで、論理ドライブが作成されているか確認してください。
論理ドライブが作成されている場合は、動作に影響はないため、“Internal error”は無視してください。論理ドライブが作成されていない場合は、再度、“create logical_drive” コマンドを実行し、論理ドライブを作成してください。

3.2.51 delete raid logical_drive

指定した論理ドライブを削除します。

■ 権限：Admin, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

```
delete raid logical_drive [DU | DU_M | IOU | PCI_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#>  
target=<TargetID> {force}
```

(2) オプション

target: 削除したい論理ドライブのターゲット ID (例：target=0)

force：ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例：DU#0 上の RAID コントローラにアサインされている論理ドライブ#0 を削除する場合
delete raid logical_drive DU 0-0 target=0

3.2.52 modify raid logical_drive_policy

指定した論理ドライブのポリシーを変更します。

■ 権限 : Admin, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

```
modify raid logical_drive_policy [DU | DU_M | IOU | PCI_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#>  
target=<TargetID> {read=<ReadPolicy>} {write=<WritePolicy>} {io=<IOPolicy>}  
{access=<AccessPolicy>} {cache=<DriveCachePolicy>} {force}
```

(2) オプション

target: 論理ドライブのターゲット ID (例 : target=0)

read: リードポリシーの設定。0=No read ahead、1=Read ahead

No read ahead - メモリへの先読みアクセスが実行されません。

Read ahead - メモリへの先読みアクセスが実行されます。

write: ライトポリシーの設定。0=Write Back、1=Write Through、2=Force Write Back

Write Back - RAID コントローラは、コントローラのキャッシュにデータを書き込んだ時点でサーバに対して信号を送ります。

Write Through - RAID コントローラは、ディスクまでデータを書き込んだ場合のみサーバに対して信号を送ります。

Force Write Back - コントローラは、FBU(RAID バッテリ)が存在しなかったり、FBU が機能していない場合でも、コントローラのキャッシュに書き込まれた時点で常にサーバに信号を送信します。

io: IO ポリシーの設定。0=Direct、1=Cached

cache: キャッシュポリシーの設定。0=Unchanged、1=Enable、2=Disable

force : ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例 : DU#0 上の RAID コントローラにアサインされている論理ドライブ#0 のポリシーを変更する場合
modify raid logical_drive_policy DU 0-0 target=0 read=0 write=0 io=0 access=0 cache=0

3.2.53 modify raid logical_drive

指定した論理ドライブの設定を変更します。

■ 権限 : Admin, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

```
modify raid logical_drive [DU | DU_M | IOU | PCI_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#>  
target=<TargetID> [{disk=<DISKSLOT#>{,<DISKSLOT#>...} | disk=<PORT#>-<CASCADE#>-  
<DISKSLOT#>{,<PORT#>-<CASCADE#>-<DISKSLOT#>...}]} {level=<RAIDlevel>} {force}
```

(2) オプション

target: 設定変更したい論理ドライブのターゲット ID(例 : target=0)

disk: ディスクスロット番号(例 : disk=0)、あるいは、ディスクが搭載されているエンクロージャーのポート番号、カスケード番号およびスロット番号(例 : disk=0-0-0)

level: RAID レベル。0,1,5,6,1E,10,50,60 の何れかを指定できます。(例 : level=5)

force ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例 : DU#0 上の RAID コントローラにアサインされている論理ドライブ#0 に対して、スロット#3 のディスクを増設して RAID レベルを RAID-6 に変更する場合
modify raid logical_drive DU 0-0 target=0 disk=3 level=6

3.2.54 create raid global_hotspare

指定したディスクをグローバルホットスペアとしてアサインします。

■ 権限 : Admin, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

```
create raid global_hotspare [DU | DU_M | IOU | PCI_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#>  
disk=[<DISKSLOT#> | <PORT#>-<CASCADE#>-<DISKSLOT#>] {force}
```

(2) オプション

disk: ディスクスロット番号(例: disk=0)、あるいは、ディスクが搭載されているエンクロージャーのポート番号、カスケード番号およびスロット番号(例: disk=0-0-0)

force: ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例: DU#0 上のスロット#0 にディスクをグローバルホットスペアとしてアサインする場合
create raid global_hotspare DU 0-0 disk=0

3.2.55 create raid dedicated_hotspare

指定したディスクをデディケートィットホットスペアとしてアサインします。

■ 権限 : Admin, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

```
create raid dedicated_hotspare [DU | DU_M | IOU | PCI_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#>  
disk=[<DISKSLOT#> | <PORT#>-<CASCADE#>-<DISKSLOT#>]  
target=<TargetID#>{,<TargetID#>...} {force}
```

(2) オプション

disk: ディスクスロット番号(例: disk=0)、あるいは、ディスクが搭載されているエンクロージャーのポート番号、カスケード番号およびスロット番号(例: disk=0-0-0)

target: ホットスペアを設定したい論理ドライブのターゲット ID。最大で 16 個の論理ドライブを指定可能。(例: target=0)

force: ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例: DU#0 上のスロット#0 のディスクを論理ドライブ#0 のホットスペアとしてアサインする場合
create raid dedicated_hotspare DU 0-0 disk=0 target=0

3.2.56 delete raid hotspare

指定したディスクのホットスペア設定を解除します。

■ 権限 : Admin, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

```
delete raid hotspare [DU | DU_M | IOU | PCI_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#>  
disk=[<DISKSLOT#> | <PORT#>-<CASCADE#>-<DISKSLOT#>] {force}
```

(2) オプション

disk: ディスクスロット番号(例: disk=0)、あるいは、ディスクが搭載されているエンクロージャーのポート番号、カスケード番号およびスロット番号(例: disk=0-0-0)

force: ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例: DU#0 上のスロット#0 のディスクのホットスペア設定を解除する場合
delete raid hotspare DU 0-0 disk=0

3.2.57 start raid locate_pd

指定したディスクの location LED を点灯します。

■ 権限 : Administrator, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

```
start raid locate_pd [DU | DU_M | IOU | PCI_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#>  
disk=[<DISKSLOT#> | <PORT#>-<CASCADE#>-<DISKSLOT#>]
```

(2) オプション

disk: 内部ディスクのディスクスロット番号(例.disk=0)、またはディスクエンクロージャー上の外部ディスクのポート番号、カスケード番号、ディスクスロット番号(例.disk=0-0-0)を指定します。

(3) 使用例

- 例: slot#0 に割り当てられたディスクの location LED を点灯する場合
start raid locate_pd DU 0-0 disk=0

3.2.58 stop raid locate_pd

指定したディスクの location LED を消灯します。

■ 権限 : Administrator, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

```
stop raid locate_pd [DU | DU_M | IOU | PCI_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#>  
disk=[<DISKSLOT#> | <PORT#>-<CASCADE#>-<DISKSLOT#>]
```

(2) オプション

disk: 内部ディスクのディスクスロット番号(例.disk=0)、またはディスクエンクロージャー上の外部ディスクのポート番号、カスケード番号、ディスクスロット番号(例.disk=0-0-0)を指定します。

(3) 使用例

- 例: slot#0 に割り当てられたディスクの location LED を消灯する場合
stop raid locate_pd DU 0-0 disk=0

3.2.59 start raid locate_ld

指定した論理ドライブに割り当てられたディスクの location LED を点灯します。

■ 権限 : Administrator, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

```
start raid locate_ld [DU | DU_M | IOU | PCI_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#>  
target=<TargetID>
```

(2) オプション

target : 操作したい LED が割り当てられた物理ドライブ上の論理ドライブのターゲット ID を指定します。
(例.target=0)

(3) 使用例

- 例 : logical drive# 1 に割り当てられたディスクの location LED を点灯する場合
start raid locate_ld DU 0-0 target=1

3.2.60 stop raid locate_ld

指定した論理ドライブに割り当てられたディスクの location LED を消灯します。

■ 権限 : Administrator, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

```
stop raid locate_ld [DU | DU_M | IOU | PCI_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#>  
target=<TargetID>
```

(2) オプション

target : 操作したい LED が割り当てられた物理ドライブ上の論理ドライブのターゲット ID を指定します。
(例.target=0)

(3) 使用例

- 例 : logical drive#1 に割り当てられたディスクの location LED を消灯する場合
stop raid locate_ld DU 0-0 target=1

3.2.61 start raid locate_encl

指定したディスクエンクロージャーの location LED を点灯します。

■ 権限 : Administrator, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

```
start raid locate_encl [DU | DU_M | IOU | PCI_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#>  
encl=<PORT#>-<CASCADE#>
```

(2) オプション

encl : ディスクエンクロージャーが接続された RAID カードのポート番号と、ディスクエンクロージャーのカスケード番号 (例.encl=0-0)を指定します。

(3) 使用例

- 例 : IOUE#0-PCI slot#0 に RAID カードのポート#0-カスケード#0 に接続されたディスクエンクロージャーの location LED を点灯する場合
start raid locate_encl IOU 0-0 encl=0-0

3.2.62 stop raid locate_encl

指定したディスクエンクロージャーの location LED を消灯します。

■ 権限 : Administrator, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

```
stop raid locate_encl [DU | DU_M | IOU | PCI_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#> encl=<PORT#>-<CASCADE#>
```

(2) オプション

encl: ディスクエンクロージャーが接続された RAID カードのポート番号と、ディスクエンクロージャーのカスケード番号 (例: encl=0-0) を指定します。

(3) 使用例

- 例: IOUE#0-PCI slot#0 に RAID カードのポート#0-カスケード#0 に接続されたディスクエンクロージャーの location LED を消灯する場合
stop raid locate_encl IOU 0-0 encl=0-0

3.2.63 start raid rebuild

指定したディスクのリビルドを開始します。

■ 権限 : Admin, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

```
start raid rebuild [DU | DU_M | IOU | PCI_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#>  
disk=[<DISKSLOT#> | <PORT#>-<CASCADE#>-<DISKSLOT#>] {force}
```

(2) オプション

disk: 内部ディスクのディスクスロット番号 (例.disk=0)、またはディスクエンクロージャー上の外部ディスクのポート番号、カスケード番号、ディスクスロット番号 (例.disk=0-0-0) を指定します。

force: ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例: slot#0 に接続されたディスクのリビルドを開始する場合
start raid rebuild DU 0-0 disk=0

3.2.64 cancel raid rebuild

指定したディスクのリビルドを中止します。

■ 権限 : Administrator, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

```
cancel raid rebuild [DU | DU_M | IOU | PCI_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#>  
disk=[<DISKSLOT#> | <PORT#>-<CASCADE#>-<DISKSLOT#>] {force}
```

(2) オプション

disk: 内部ディスクのディスクスロット番号 (例.disk=0)、またはディスクエンクロージャー上の外部ディスクのポート番号、カスケード番号、ディスクスロット番号 (例.disk=0-0-0) を指定します。

force: ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例: slot#0 に接続されたディスクのリビルドを中止する場合
cancel raid rebuild DU 0-0 disk=0

3.2.65 start raid copyback

指定したディスクに対するコピーバックを開始します。

■ 権限 : Administrator, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

```
start raid copyback [DU | DU_M | IOU | PCI_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#> src=[<DISKSLOT#> | <PORT#>-<CASCADE#>-<DISKSLOT#>] dist=[<DISKSLOT#> | <PORT#>-<CASCADE#>-<DISKSLOT#>] {force}
```

(2) オプション

src : コピー元のディスクスロット番号 (例.src=0)、またはコピー元のディスクエンクロージャー上の外部ディスクのポート番号、カスケード番号、ディスクスロット番号 (例. src=0-0-0) を指定します。

dist : コピー先のディスクスロット番号 (例.dist=0)、またはコピー先のディスクエンクロージャー上の外部ディスクのポート番号、カスケード番号、ディスクスロット番号 (例. dist=0-0-0) を指定します。

force : ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例 : slot#0 に搭載されたディスクから slot#1 に搭載されたディスクへのコピーバックを開始する場合
start raid copyback DU 0-0 src=0 dist=1

3.2.66 cancel raid copyback

指定したディスクへのコピーバックを開始します。

■ 権限 : Administrator, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

```
cancel raid copyback [DU | DU_M | IOU | PCI_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#> disk=[<DISKSLOT#> | <PORT#>-<CASCADE#>-<DISKSLOT#>] {force}
```

(2) オプション

disk : 内部ディスクのディスクスロット番号 (例.disk=0)、またはディスクエンクロージャー上の外部ディスクのポート番号、カスケード番号、ディスクスロット番号 (例.disk=0-0-0) を指定します。

force : ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例 : slot#0 に搭載されたディスクへのコピーバックを中止する場合
cancel raid copyback DU 0-0 disk=0

3.2.67 start raid mdc

指定した論理ドライブの MDC(Make Data Consistent)を開始します。

■ 権限 : Administrator, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

```
start raid mdc [DU | DU_M | IOU | PCI_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#> target=<TargetID> {force}
```

(2) オプション

target : 論理ドライブへのターゲット ID を指定します。(例.target=0)

force : ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例 : 論理ドライブ#0 に対して MDC を開始する場合
start raid mdc DU 0-0 target=0

3.2.68 cancel raid mdc

指定した論理ドライブの MDC(Make Data Consistent)を中止します。

■ 権限 : Administrator, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

```
cancel raid mdc [DU | DU_M | IOU | PCI_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#> target=<TargetID>  
{force}
```

(2) オプション

target : 論理ドライブへのターゲット ID を指定します。(例.target=0)

force : ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例 : 論理ドライブ#0 への MDC を停止する場合
cancel raid mdc DU 0-0 target=0

3.2.69 start raid patrol

指定したアダプタの patrol read を開始します。

■ 権限 : Administrator, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

```
start raid patrol [DU | DU_M | IOU | PCI_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#> {force}
```

(2) オプション

force : ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例 : DU#0 に接続されたアダプタへの patrol read を開始する場合
start raid patrol DU 0-0

3.2.70 cancel raid patrol

指定したアダプタの patrol read を中止します。

■ 権限 : Administrator, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

```
cancel raid patrol [DU | DU_M | IOU | PCI_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#> {force}
```

(2) オプション

force : ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例 : DU#0 に接続されたアダプタの patrol read を中止する場合
cancel raid patrol DU 0-0

3.2.71 make raid online

指定したディスクを online にします。

■ 権限 : Administrator, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

```
make raid online [DU | DU_M | IOU | PCI_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#> disk=[<DISKSLOT#> |  
<PORT#>-<CASCADE#>-<DISKSLOT#>] {force}
```

(2) オプション

disk : 内部ディスクのディスクスロット番号(例.disk=0)、またはディスクエンクロージャー上の外部ディスクのポート番号、カスケード番号、ディスクスロット番号(例.disk=0-0-0)を指定します。

force : ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例 : スロット#0 に接続されたディスクを online にする場合
make raid online DU 0-0 disk=0

3.2.72 make raid offline

指定したディスクを offline にします。

■ 権限 : Administrator, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

```
make raid offline [DU | DU_M | IOU | PCI_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#> disk=[<DISKSLOT#> |  
<PORT#>-<CASCADE#>-<DISKSLOT#>] {force}
```

(2) オプション

disk : 内部ディスクのディスクスロット番号(例.disk=0)、またはディスクエンクロージャー上の外部ディスクのポート番号、カスケード番号、ディスクスロット番号(例.disk=0-0-0)を指定します。

force : ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例 : スロット#0 に接続されたディスクを offline にする場合
make raid offline DU 0-0 disk=0

3.2.73 replace raid missing_drive

RAID 冗長構成が崩れている論理ドライブに指定したディスクを組み込みます。

■ 権限 : Admin, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

```
replace raid missing_drive [DU | DU_M | IOU | PCI_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#>  
disk=[<DISKSLOT#> | <PORT#>-<CASCADE#>-<DISKSLOT#>] target=<TargetID#> {force}
```

(2) オプション

disk : 内部ディスクの指定したディスクスロット番号(例.disk=0)、またはディスクエンクロージャー上の外部ディスクのディスクスロット番号(例.disk=0-0-0)を指定します。

target : 壊れたドライブを持つ論理ドライブへのターゲット ID を指定します。(例.target=0)

force : ユーザーに対するインタラクティブ動作なしで、コマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例 : スロット 0 に搭載されたディスクを論理ドライブ #0 に組み込む場合
replace raid missing_drive DU 0-0 disk=0 target=0

3.2.74 set mmbcontrol reset

指定した MMB をリセットします。

本コマンドはトラブル発生時に使用するコマンドです。

本コマンドを 2 回以上連続して発行する場合はコマンドの発行間隔を 15 分程度開けてください。

保守モード中は本コマンドの実行ができません。

- 0 : MMB#0
- 1 : MMB#1

■ 権限 : Administrator

(1) 入力形式

```
set mmbcontrol reset [0|1] {quiet}
```

(2) オプション

quiet : User に対するインタラクティブ動作なしで MMB をリセットします。

(3) 使用例

- 例 : MMB#1 をリセットする場合
set mmbcontrol reset 1

3.2.75 set mmbcontrol switch_over

MMB の Active/Standby を切り替えます。

本コマンドはトラブル発生時に使用するコマンドです。

本コマンドを 2 回以上連続して発行する場合はコマンドの発行間隔を 15 分程度開けてください。

保守モード中は本コマンドの実行ができません。

MMB が 1 台の構成では本コマンドの実行ができません。

■ 権限 : Administrator

(1) 入力形式

```
set mmbcontrol switch_over {quiet}
```

(2) オプション

quiet : User に対するインタラクティブ動作なしで MMB の切り替えを行います。

(3) 使用例

- 例 : Active/Standby の切り替えを行う場合
set mmbcontrol switch_over

3.2.76 set special_account

LDAP で使用するスペシャルアカウントを設定します。Administrator, CE それぞれ 1 つだけスペシャルアカウントは設定でき、既に設定済の場合は上書きされます。

本コマンドで Administrator および CE のスペシャルアカウントを作成しない場合、LDAP 機能を有効にすることができません。

本コマンドで作成する Administrator および CE のスペシャルアカウントのユーザー名は、ローカルユーザー名および、外部 LDAP サーバのグローバルユーザー名と別名で作成する必要があります。

LDAP 機能を無効にした場合、本コマンドで作成したスペシャルアカウントで、CLI へのログインは可能ですが、Web-UI へのログインはできません。

- user name : ユーザー名を設定します。ユーザー名は 3 文字以上 32 文字以下が設定可能です。
ユーザー名に指定できる文字は以下のとおりです。
[0-9]、[a-z]、[A-Z]、[-] (ハイフン) [_] (アンダーバー)
ただし、最初の 1 文字は[a-z] [A-Z] で始まる必要があります。
- privilege : ユーザーアカウントの権限を設定します。
admin, ce のいずれかを設定します。
- password : パスワードを設定します。パスワードは 8 文字以上 32 文字以下が設定可能です。
パスワードに使用できる文字は以下のとおりです。
数字 : [0-9]
文字 : [a-z]、[A-Z]
特殊文字 : ! " # \$ % & ' () = - ^ ~ \ @ ` [] { } : * ; + ? < . > , / _ |
以下のルールでパスワードを設定します。
 - ・ 入力可能文字数は、8 文字以上 32 文字以下です。
 - ・ パスワードの文字は 5 種以上を使用します。
(大文字小文字の同じ文字は 2 種となります)
(例: aabBcCee なら 6 種となります)
 - ・ 回文にならないようにします。
(例:madam など)
 - ・ 類推できるパスワードは設定不可です。
(例:abcdefgh, 12345678 など)
- confirm password : パスワード確認用です。

■ 権限 : Administrator

(1) 入力形式

```
set special_account <user name> <privilege: [admin | ce] {quiet}> <password>
<confirm password>
```

(2) オプション

quiet : User に対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例 : Admin 権限のスペシャルアカウント(ユーザー名 : special_admin)を設定する場合
set special_account special_admin admin
Password:*****
Confirm Password: *****
- 例 : CE 権限のスペシャルアカウント(ユーザー名 : special_ce)を設定する場合
set special_account special_ce ce
Password:*****
Confirm Password: *****

3.2.77 set partition pci_ecrc_mode

指定したパーティションの ECRC(End-to-End CRC Protection for PCIe IO Subsystem)の有効／無効を設定します。

デフォルトの設定値は enable (有効)です。

- enable : ECRC 有効
- disable : ECRC 無効

本コマンドは対象パーティションの電源が Off の場合のみ実行可能であり、設定は次回パーティション電源 On 時から反映されます。

既に電源オンしているパーティションに対して本コマンドで設定を実行した場合、設定を抑止するために、以下のメッセージを表示します。

「Unable to change the mode while the partition is running.

Please try to change the mode after the partition is shutdown.」

指定されたパーティションが拡張パーティションである場合はエラーメッセージを表示し、指定されたパーティションに対する操作は抑止されます。

■ 権限 : Admin, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

```
set partition pci_ecrc_mode <partition#> [enable|disable ]
```

(2) オプション

quiet : User に対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例 : Partition3 の ECRC 設定を無効にする場合
set partition pci_ecrc_mode 3 disable
pci_ecrc_mode : disable
#

3.2.78 set irmc user

指定したパーティションの iRMC 管理者の ID とパスワードを設定します。

iRMC 管理者の ID は 16 文字までです。iRMC 管理者の ID に使用可能な文字は、以下のとおりです。

[a-z]、[A-Z]、[0-9]、

特殊文字：# & ' ^ @ [] . _

ただし、最初の 1 文字目は[a-z][A-Z]のみ入力可能です。

パスワードは 20 文字までです。パスワードに使用可能な文字は、以下のとおりです。

[a-z]、[A-Z]、[0-9]、

特殊文字：! " # \$ % & ' () = - ^ ~ \ @ ` [] { } : * ; + ? < . > , / _ |

デフォルトの設定値は iRMC 管理者が無効です。

- disable オプションなし：iRMC 管理者が有効
- disable オプションあり：iRMC 管理者が無効

本コマンドで iRMC 管理者を作成しない場合、REST 機能を有効にすることができません。

REST 機能については、PRIMEQUEST 3000 シリーズ iRMC S5 RESTful API』 (CA92344-1673) を参照してください。

iRMC 管理者は、パーティション毎に 1 つ作成できます。既に設定済の場合は上書きされます。

ファームウェア更新中、または、保守モードが動作中のパーティションに対して本コマンドで設定を実行した場合、設定を抑止するために、以下のメッセージを表示します。

「Unable to execute this command because the Partition#x is under maintenance.」 (x=パーティション番号)

または、

「Unable to execute this command while firmware updating.」

指定されたパーティションが拡張パーティションである場合はエラーメッセージを表示し、指定されたパーティションに対する操作は抑止されます。

■ 権限：Admin, Operator, Partition Operator(管理対象 Partition のみ)

(1) 入力形式

```
set irmc user <username> <password> <confirm password> <partition#> {disable} {quiet}
```

(2) オプション

disable：iRMC 管理者を無効にします。

quiet：User に対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例：Partition3 の iRMC 管理者(ID=admin、パスワード=pass)を設定にする場合
set irmc user admin pass pass 3
Are you sure you want to set Username and Password on Partition#3 iRMC? [Y/N]: y
#

3.2.79 set sysconf fan_control_mode

システム冷却用ファンの制御モードを設定します。

このコマンドは、PRIMEQUEST 3400S Lite/3400S/3400E/3400L/3800E/3800L では PA18011 版以降のファームウェアで利用できます。

- auto : 自動で最適なファン回転数制御を行います。
- full : ファンを最大回転数に設定します。

デフォルトの設定値は auto です。

■ 権限 : Administrator, CE

(1) 入力形式

```
set sysconf fan_control_mode [auto | full] {quiet}
```

(2) オプション

quiet : User に対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例 : システム冷却用ファンの制御モードを auto に設定する場合
set sysconf fan_control_mode auto
Are you sure to continue set sysconf fan_control_mode? [Y/N]: y
fan_control_mode: auto
#

3.2.80 set sysconf required_psu

PSU の必要数を設定します。

このコマンドは、PRIMEQUEST 3400E/3400L/3800E/3800L では PA18021 版以降のファームウェアで利用できます。

- 2 : PSU の必要数が 2 台
- 3 : PSU の必要数が 3 台

デフォルトの設定値は 2 です。

200V 受電、かつ、PRIMEQUEST 3400E2/3400L2/3800E2/3800L2/3400E/3400L/3800E/3800L の場合のみ設定できます。3400E2/3400L2 モデルの場合、デフォルトの 2PSUs から設定変更しないでください。

■ 権限 : Administrator, CE

(1) 入力形式

```
set sysconf required_psu [2 | 3] {quiet}
```

(2) オプション

quiet : User に対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

(3) 使用例

- 例 : PSU の必要数を 2 台に設定する場合
set sysconf required_psu 2
Are you sure to continue set sysconf required_psu? [Y/N]: y
required_psu: 2
#

3.2.81 set sysconf power_restoration_policy

停電後、復電したときのアクションを設定します。

- on : 停電したときの状態にかかわらず、復電後はパーティションの電源オンを行います。
- off : 復電後、電源オフの状態を維持します。
- restore : 停電した時の状態に戻します。停電時にパーティションが電源オンの状態であった場合はパーティションの電源オンを行い、パーティションが電源オフの状態であった場合は、パーティションの電源オフの状態を維持します。
- Sync : 復電時にスケジュール運転設定による運用時間帯であれば自動的にパーティションの電源オンを行います。

(注意)

Special で設定したスケジュールは、指定した日のみ適用となります。

デフォルトの設定値は restore です。

■ 権限 : Administrator, CE

(1) 入力形式

```
set sysconf power_restoration_policy [on| off | restore | sync] {quiet}
```

(2) オプション

quiet : User に対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

(3) 使用例

例 : 停電後、復電したときのアクションを off に設定する場合

```
# set sysconf power_restoration_policy off
```

```
Are you sure to continue set sysconf power_restoration_policy? [Y|N]: y
```

```
power_restoration_policy: Always OFF
```

```
#
```

3.2.82 set sysconf power_on_delay

AC 電源投入後(復電時も含む) に設定した復電ポリシーに従ってパーティションの電源オンを指示するまでの待機時間を設定します。本項目はスケジュールによる Power On 時にも有効となります。

(注意)

Partition Power On Delay の処理が終わるまでは、他の起動処理は実施されません。

ただし、スケジュール運転による Power On 時間が AC 電源投入(復電含む)による Power on delay 時間と重なった場合、AC 電源投入(復電含む)による Power On delay 時間が優先され、スケジュール運転による Power On での Power on delay は無視されます。

- time : 0~9999 秒の範囲

デフォルトの設定値は 0 秒です。

■ 権限 : Administrator, CE

(1) 入力形式

```
set sysconf power_on_delay <time> {quiet}
```

(2) オプション

quiet : User に対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

(3) 使用例

例 : 電源オンを指示するまでの待機時間を 90 秒に設定する場合

```
# set sysconf power_on_delay 90
```

```
Are you sure to continue set sysconf power_on_delay? [Y|N]:y
```

```
power_on_delay: 90sec
```

```
#
```

3.2.83 set sysconf altitude

PRIMEQUEST 3000 シリーズ筐体が設置されている高度を設定します。

高度条件の設定誤差は±100m までになります。

- altitude : 0~9999mの範囲

デフォルトの設定値は 1000m 以下です。

設定後の表示は以下となります。

```
Altitude < 1000 m
```

```
1000 m <= Altitude < 1500 m
```

```
1500 m <= Altitude < 2000 m
```

```
2000 m <= Altitude
```

■ 権限 : Administrator, CE

(1) 入力形式

```
set sysconf altitude <altitude> {quiet}
```

(2) オプション

quiet : User に対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

(3) 使用例

例 : 設置されている高度を 1250m に設定する場合

```
# set sysconf altitude 1250
```

```
Are you sure to continue set sysconf altitude? [Y|N]:y
```

```
1000m <= Altitude < 1500m
```

```
#
```

3.2.84 set sysconf psu_redundant_mode

PSU を冗長で動作させるかどうかを設定します。

3800E2/3800L2 モデルで PSU_T を搭載した場合は、デフォルトの Redundant から設定変更しないでください。

- Redundant : PSU を冗長にします。
- Non-redundant : PSU を非冗長にします。

デフォルトの設定値は Redundant です。

■ 権限 : Administrator, CE

(1) 入力形式

```
set sysconf psu_redundant_mode [redundant | non_redundant] {quiet}
```

(2) オプション

quiet : User に対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

(3) 使用例

例 : PSU を非冗長に設定する場合

```
# set sysconf psu_redundant_mode non_redundant
Are you sure to continue set sysconf psu_redundant_mode? [Y|N]:y
psu_redundant_mode: non_redundant
#
```

3.2.85 set sysconf system_guid_format

iRMC の System GUID Response フォーマットを設定します。

本コマンドは、装置全体(全パーティション)を設定します。

- IPMI Spec : IPMI Specification compatible
(System GUID レスポンフォーマットは IPMI 仕様に对应)
- SMBIOS Spec : SMBIOS 2.6 Specification compatible
(System GUID レスポンフォーマットは SMBIOS で参照する仕様に对应)

デフォルトの設定値は IPMI Spec です。

■ 権限 : Administrator, CE

(1) 入力形式

```
set sysconf system_guid_format [ipmi_spec | smbios_spec] {quiet}
```

(2) オプション

quiet : User に対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

(3) 使用例

例 : iRMC の System GUID Response フォーマットを SMBIOS Spec に設定する場合

```
# set sysconf system_guid_format smbios_spec
Are you sure to continue set sysconf system_guid_format? [Y|N]: y
System GUID Response Format : SMBIOS Spec
#
```

3.2.86 set reserved_sb

指定した SB を、指定したパーティションの Reserved SB に設定します。

Reserved SB 設定を解除する場合は、パーティション番号に” free” を指定します。

解除する場合、複数 Partition に指定された Reserved SB を、特定パーティションからのみ外すことができません。

- SB# : 0~3
- partition# : 0~3, free が設定可能

Reserved SB の設定条件等については、[2.4.7 \[Reserved SB Configuration\] 画面](#)を参照ください。

■ 権限 : Administrator

(1) 入力形式

```
set reserved_sb <SB#> <partition#> {quiet}
```

(2) オプション

quiet : User に対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

(3) 使用例

例 : 既に Partition#0 に SB#1 が Reserved SB に設定されている状態から、SB#3 を Reserved SB として追加した場合

```
# set reserved_sb 3 0
```

```
Are you sure you want to set the specified SB#3 as a Reserved SB to Partition#0 ? [Y/N]: y
```

```
# partition_name mirror_mode sb
0 Partition#0      enable      1 3
#
```

例 : SB#3 の Reserved SB 設定を解除する場合

```
# set reserved_sb 3 free
```

```
Are you sure you want to be free the specified SB#3 ? [Y/N]: y
```

```
# partition_name mirror_mode sb
free                                     3
#
```

3.2.87 add user

新規にユーザーを登録します。

- user name : ユーザー名を設定します。ユーザー名は 3 文字以上 32 文字以下が設定可能です。
ユーザー名に指定できる文字は以下のとおりです。
[0-9]、[a-z]、[A-Z]、「-」(ハイフン)「_」(アンダーバー)
ただし、最初の 1 文字は[a-z] [A-Z] で始まる必要があります。
- password : パスワードを設定します。パスワードは 8 文字以上 32 文字以下が設定可能です。
パスワードに使用できる文字は以下のとおりです。
数字 : [0-9]
文字 : [a-z]、[A-Z]
特殊文字 : ! " # \$ % & ' () = - ^ ~ \ @ ` [] { } : * ; + ? < . > , / _ |
以下のルールでパスワードを設定します。
 - ・ 入力可能文字数は、8 文字以上 32 文字以下です。
 - ・ パスワードの文字は 5 種以上を使用します。
(大文字小文字の同じ文字は 2 種となります)
(例: aabBcCee なら 6 種となります)
 - ・ 回文にならないようにします。
(例:madam など)
 - ・ 類推できるパスワードは設定不可です。
(例:abcdefgh, 12345678 など)
- confirm password : パスワード確認用です。
- privilege : ユーザーアカウントの権限を設定します。
admin, operator, user, ce, partition_operator のいずれかを設定します。
- partition# : 権限が partition operator の場合にのみ、ユーザーの操作可能なパーティションを設定します。

■ 権限 : Administrator

(1) 入力形式

```
add user <user name> <password> <confirm password> [admin | operator | user | ce |  
partition_operator] {partition#} {quiet}
```

(2) オプション

quiet : User に対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

(3) 使用例

例 : Partition Operator 権限以外の場合

```
# add user Admin_User Md9$**^A9 Md9$**^A9 admin
```

```
Are you sure you want to add Admin_User ? [Y/N]: y
```

```
User addition was completed.
```

```
#
```

例 : Partition Operator 権限の場合

```
# add user P1_Operator [268S9#3*6 [268S9#3*6 partition_operator 1
```

```
Are you sure you want to add P1_Operator ? [Y/N]: y
```

```
User addition was completed.
```

```
#
```

3.2.88 set snmp sys_location

SNMP の System Location を設定します。

- location : 英数字、半角スペースと以下の文字を使用できます。
! " # \$ % & ' () = - ^ _ \ @ ` [] { } ; : * + ? < > . , / _ |
ただし、以下の制限があります。
 - ・ # と半角スペースは先頭文字として使用できません。
 - ・ 半角スペースは最後の文字として使用できません。

System Location には半角スペースが指定可能なため、location をダブルコーテーション(")で囲んで指定します。

■ 権限 : Administrator

(1) 入力形式

```
set snmp sys_location <location> {quiet}
```

(2) オプション

quiet : User に対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

(3) 使用例

```
例 : SNMP の System Location を Tokyo DC に設定する場合
# set snmp sys_location "Tokyo DC"
Are you sure to continue set snmp sys_location ? [Y|N]:y
#
```

3.2.89 set snmp sys_contact

SNMP の System Contact を設定します。

- contact : 英数字、半角スペースと以下の文字を使用できます。
! " # \$ % & ' () = - ^ _ \ @ ` [] { } ; : * + ? < > . , / _ |
ただし、以下の制限があります。
 - ・ # と半角スペースは先頭文字として使用できません。
 - ・ 半角スペースは最後の文字として使用できません。

System Contact には半角スペースが指定可能なため、contact をダブルコーテーション(")で囲んで指定します。

■ 権限 : Administrator

(1) 入力形式

```
set snmp sys_contact <contact> {quiet}
```

(2) オプション

quiet : User に対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

(3) 使用例

```
例 : SNMP の System Contact を Email admin@company.com に設定する場合
# set snmp sys_contact "Email admin@company.com"
sys_contact: Email admin@company.com
#
```

3.2.90 set snmp community

SNMP の Community、アクセスを許可する IP アドレス、または、サブネット、SNMP バージョン、アクセス権限を設定します。

SNMP V3 指定はできません。

本コマンドは、IPv4 のみサポートします。

- community : 英数字と以下の文字を使用できます。
!"#\$%&'()*+,-./@[]^_`{|}~
ただし、「"」(ダブルクォーテーション)、「#」(シャープ)、「'」(シングルクォーテーション)、「`」(バッククォーテーション) は先頭文字として使用できません。
- ip or mask : IP アドレスを指定する場合、IP アドレスを指定します。(例:192.168.0.1)
サブネットで指定する場合、サブネットおよびマスクを指定します。(例:10.10.10.0/24)
- SNMP バージョン : 1、または、2 を指定します。
- アクセス権限 : ro (読み込みのみ許可)、または、rw (読み込みと書き込みを許可) を指定します。

■ 権限 : Administrator

(1) 入力形式

```
set snmp community <community> <ip or mask> [1 | 2] [ro | rw] {quiet}
```

(2) オプション

quiet : User に対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

(3) 使用例

```
例 : SNMP の Community に Public を設定する場合
# set snmp community Public 10.1.2.3 1 rw
Are you sure to continue set snmp community? [Y/N]:y
#
```

3.2.91 set snmp trap

SNMP の Trap の送信先を設定します。

SNMP の Community、Trap を送信する IP アドレス、SNMP バージョンを設定します。

SNMP V3 指定はできません。

本コマンドは、IPv4 のみサポートします。

- community : SNMP の Community を指定します。
- ip : Trap を送信する IP アドレスを設定します。(例:192.168.0.10)
- SNMP バージョン : 1、または、2 を指定します。

(注意)

Trap を送信するには、[\[Network Protocols\] 画面](#)で SNMP Agent と SNMP Trap の機能を Enable にする必要があります。

■ 権限 : Administrator

(1) 入力形式

```
set snmp trap <community> <ip> [1 | 2] {quiet}
```

(2) オプション

quiet : User に対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

(3) 使用例

例 : Trap を送信する IP アドレスを 10.2.3.4 に設定する場合

```
# set snmp trap public 10.2.3.4 1
```

```
Are you sure to continue set snmp trap? [Y/N]:y
```

```
#
```

3.2.92 set snmp test_trap

現在設定されている Trap 送信先に対して、テスト用の Trap を送信します。

(注意)

Trap を送信するには、[\[Network Protocols\] 画面](#)で SNMP Agent と SNMP Trap の機能を Enable にする必要があります。

■ 権限 : Administrator

(1) 入力形式

```
set snmp test_trap {quiet}
```

(2) オプション

quiet : User に対するインタラクティブ動作なしでコマンドを実行します。

(3) 使用例

例 : テスト用の Trap を送信する場合

```
# set snmp test_trap
```

3.3 表示用コマンド

情報を表示させるためのコマンドは、以下のとおりです。

- 3.3.1 show access_control
- 3.3.2 show active_mmb
- 3.3.3 show date
- 3.3.4 show exit_code
- 3.3.5 show partition configuration
- 3.3.6 show partition dynamic_reconfiguration
- 3.3.7 show partition home
- 3.3.8 show partition lan_device_mode
- 3.3.9 show partition name
- 3.3.10 show partition memory_mirror_ras_mode
- 3.3.11 show partition memory_operation_mode
- 3.3.12 show timezone
- 3.3.13 show gateway
- 3.3.14 show gateway_ipv6
- 3.3.15 show http
- 3.3.16 show http_port
- 3.3.17 show https
- 3.3.18 show https_port
- 3.3.19 show ip
- 3.3.20 show ipv6
- 3.3.21 show hostname
- 3.3.22 show maintenance_ip
- 3.3.23 show ssh
- 3.3.24 show ssh_port
- 3.3.25 show telnet
- 3.3.26 show telnet_port
- 3.3.27 show network
- 3.3.28 show ntpq
- 3.3.29 who
- 3.3.30 help
- 3.3.31 netck traceroute
- 3.3.32 netck arptbl
- 3.3.33 netck arping
- 3.3.34 netck ifconfig
- 3.3.35 netck stat
- 3.3.36 show dynamic_reconfiguration status
- 3.3.37 show partition extended_partitioning_mode
- 3.3.38 show partition dimm_excl_mode
- 3.3.39 show partition skt_binding_mode
- 3.3.40 show extended_partition configuration
- 3.3.41 show partition status
- 3.3.42 show partition extended_socket_mode
- 3.3.43 show partition extended_socket_zone
- 3.3.44 show partition memory_sparing_mode

- 3.3.45 show raid adapter
- 3.3.46 show raid disk_enclosure
- 3.3.47 show raid physical_drive
- 3.3.48 show raid physical_drive_count
- 3.3.49 show raid logical_drive
- 3.3.50 show raid logical_drive_count
- 3.3.51 show raid bbu
- 3.3.52 show special_account
- 3.3.53 show partition pci_ecrc_mode
- 3.3.54 show sysconf fan_control_mode
- 3.3.55 show sysconf required_psu
- 3.3.56 show sysconf power_restoration_policy
- 3.3.57 show sysconf power_on_delay
- 3.3.58 show sysconf altitude
- 3.3.59 show sysconf psu_redundant_mode
- 3.3.60 show sysconf system_guid_format
- 3.3.61 show sysconf input_voltage
- 3.3.62 show firmware_version
- 3.3.63 show reserved_sb
- 3.3.64 show user_list
- 3.3.65 show snmp sys_location
- 3.3.66 show snmp sys_contact
- 3.3.67 show snmp community
- 3.3.68 show snmp trap

ここではこれらのコマンドの操作方法を説明します。

3.3.1 show access_control

IPv4/IPv6 両方の現在のアクセス制御の設定値を表示します。

■ 権限 : Administrator

(1) 入力形式

```
show access_control
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例 (*)

```
#Administrator> show access_control
SSH : All
Telnet : All
HTTP : All
HTTPS : IP Address:10.66.250.190 :Netmask:24
SNMP : All
RMCP: IP Address: 2000:2001::e00:10:300:0 :Prefix Length:64
#
```

*) RMCP は、PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400E2/3400L2/3800E2/3800L2 では PB20021 版以降のファームウェアで表示されます。
RMCP は、PRIMEQUEST 3400S Lite/3400S/3400E/3400L/3800E/3800L では PA20021 版以降のファームウェアで表示されます。

3.3.2 show active_mmb

現在の Active MMB を表示します。

備考

本コマンドは Standby MMB から発行できます。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show active_mmb
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

```
# show active_mmb
Active MMB: 1
```

3.3.3 show date

現在の日付と時刻を表示します。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show date
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

```
#Administrator> show date
2009-11-30 11:14:21 JST
#
```

3.3.4 show exit_code

直前の実行コマンドの終了コードを表示します。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show exit_code
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

```
#power on all
#
#show exit_code
0
#
```

3.3.5 show partition configuration

パーティションに含まれる SB、IOUE、Extended Partitioning を表示します。指定したパーティションが拡張パーティションである場合はエラーメッセージが表示され、指定したパーティションに対する操作はできません。

出力形式：

1 パーティションに関する情報が 1 行に表示されます。各列の表示内容は以下のとおりです。

- 第 1 列 : パーティション番号
- 第 2 列 : パーティション名
- 第 3 列 : Home SB (SB#x の形式で表示)
- 第 4 列以降 : 対象パーティションに含まれる SB、IOUE、Extended Partitioning を SB、IOUE、Extended Partitioning 順に表示します。
 - SB、IOUE 内では番号の小さい順に表示します。
 - Reserved SB は RSB#x のように SB#x の頭に「R」を付けて表示します。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show partition configuration [all|free| <partition#> {[ , | -] \
<partition#>}]
```

\ : 改行しないことを表す。

(2) オプション

- all : すべてのパーティションと、どのパーティションにも属していない SB/IOUE/Extended Partitioning を表示します。
- free : どのパーティションにも属していない SB/IOUE/Extended Partitioning を表示します。
- <partition#> : 指定したパーティションを表示します。
複数のパーティションを指定する場合の指定方法は、以下のとおりです。
 - パーティション番号をカンマで区切って指定
 - パーティション番号範囲で指定

備考

カンマ区切りと番号範囲の指定は混在可能です。

(3) 使用例

- 例 : PRIMEQUEST 3800E/3800L でパーティション番号 0~2 のパーティションの構成情報を表示する場合
show partition configuration 0-2
0 fileserver SB#0 SB#0 RSB#3 IOU#0 EXT_PART#4 EXT_PART#5
1 testserver SB#1 SB#1 IOU#1
2 SB#2 SB#2 IOU#2
- 例 : 上記と同じ構成に対して all 指定を使用した場合
show partition configuration all
0 fileserver SB#0 SB#0 RSB#3 IOU#0
1 testserver SB#1 SB#1 IOU#1
2 SB#2 SB#2 IOU#2
3 <何も登録されていないのでブランク表示>
free IOU#3 EXT_PART#6 EXT_PART#7 EXT_PART#9 EXT_PART#10 EXT_PART#11
#

3.3.6 show partition dynamic_reconfiguration

指定したパーティションの Dynamic Reconfiguration の状態を表示します。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show partition dynamic_reconfiguration <partition#>
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

- 例 : Partition #3 の Dynamic Reconfiguration の状態を表示する場合
show partition dynamic_reconfiguration 3
current: disabled
setting: enabled
#

3.3.7 show partition home

指定したパーティションの Home SB を表示します。指定したパーティションが拡張パーティションである場合はエラーメッセージが表示され、指定したパーティションに対する操作はできません。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show partition home <partition#>
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

パーティション 3 の Home SB を表示する場合
show partition home 3
SB#2
#

3.3.8 show partition lan_device_mode

指定したパーティション内の IOUE 単位に LAN Device /WOL の設定(enable/disable)を表示します。指定したパーティションが拡張パーティションである場合はエラーメッセージが表示され、指定したパーティションに対する操作はできません。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show partition lan_device_mode <partition#>
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

- 例 : Partition #3 内の IOUE(例では IOUE#2 と IOUE#3)の LAN Device Mode を表示する場合
show partition lan_device_mode 3
iou#2: LAN Device: enable WOL: enable
- iou#3: LAN Device: disable WOL: disable
#

3.3.9 show partition name

指定したパーティションの名前を表示します。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show partition name <partition#>
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

パーティション 3 の名前(例:primequest)を表示する場合

```
# show partition name 3
```

```
primequest
```

```
#
```

3.3.10 show partition memory_mirror_ras_mode

指定したパーティションの Memory Mirror RAS Mode を表示します。

- mirror_keep : Mirror Keep Mode が設定されています
- capacity_keep : Capacity Keep Mode が設定されています

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show partition memory_mirror_ras_mode <partition#>
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

- 例 : Partition #3 の Memory Mirror RAS Mode を表示する場合

```
# show partition memory_mirror_ras_mode 3
```

```
current: mirror_keep
```

```
setting: capacity_keep
```

```
#
```

3.3.11 show partition memory_operation_mode

指定したパーティションの Memory Operation Mode と Lockstep Mode を表示します。

- normal lockstep : Normal Mode で Lockstep Mode が Enable(有効)に設定されています。
- normal : Normal Mode で Lockstep Mode が Disable(無効)に設定されています。
- full_mirror : Full Mirror Mode が設定されています。
- spare : Spare Mode が設定されています。
- address_range_mirror : Address Range Mirror Mode が設定されています。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show partition memory_operation_mode <partition#>
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

- 例 : Partition #3 の Memory Operation Mode を表示する場合
show partition memory_operation_mode 3
current: normal lockstep
setting: spare
#

3.3.12 show timezone

タイムゾーンを表示します。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show timezone
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

```
#Administrator> show timezone  
Timezone is set to Asia/Tokyo  
#
```

3.3.13 show gateway

管理 LAN インターフェースに設定されているデフォルトゲートウェイの IP アドレスを表示します。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show gateway
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

```
# show gateway
```

```
Gateway Address: 10.1.2.1
```

3.3.14 show gateway_ipv6

管理 LAN インターフェースに設定されている IPv6 用のデフォルトゲートウェイの IP アドレスを表示します。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show gateway_ipv6
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

```
# show gateway_ipv6
```

```
Gateway Address: fe80::1234:f3ff:fe03:5666
```

3.3.15 show http

現在の HTTP サーバの状態(enable/disable)を表示します。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show http
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

```
# show http
```

```
HTTP: disabled
```

3.3.16 show http_port

HTTP セッションが現在接続されているポートを表示します。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show http_port
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

```
# show http_port
```

```
HTTP Port Number: 8081
```

3.3.17 show https

現在の HTTPS サーバの状態(enable/disable)を表示します。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show https
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

```
# show https
```

```
HTTPS: disabled
```

3.3.18 show https_port

HTTPS セッションが現在接続されているポートを表示します。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show https_port
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

```
# show https_port
```

HTTPS Port Number: 432

3.3.19 show ip

管理 LAN インターフェースに設定されている IP アドレス、ネットマスクを表示します。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show ip
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

```
# show ip
```

IP Address: 10.1.2.124

Netmask: 255.255.255.0

3.3.20 show ipv6

管理 LAN インターフェースに設定されている IPv6 用のグローバルアドレス、プレフィックス長を表示します。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show ipv6
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

```
# show ipv6
```

IP Address/Prefix: 2000:2002:2003:2004:2005:2006:2007:2008/64

3.3.21 show hostname

MMB のホスト名を表示します。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show hostname
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

```
# show hostname
```

```
HostName: primequest.fujitsu.com
```

3.3.22 show maintenance_ip

保守用 LAN の IP アドレスを表示します。

備考

IPv4 のみサポートします。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show maintenance_ip
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

```
# show maintenance_ip
```

```
IP Address : 192.168.1.10
```

```
NetMask : 255.255.255.0
```

```
GatewayAddress : 192.168.1.1
```

```
SMTP Address : 172.128.1.2
```

```
#
```

3.3.23 show ssh

現在の SSH サーバの状態(enable/disable)を表示します。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show ssh
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

```
# show ssh
```

```
SSH: disabled
```

3.3.24 show ssh_port

SSH セッションが現在接続されているポートを表示します。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show  ssh_port
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

```
# show ssh_port
```

SSH Port Number: 22

3.3.25 show telnet

現在の Telnet サーバの状態(enable/disable)を表示します。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show  telnet
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

```
# show telnet
```

Telnet: disabled

3.3.26 show telnet_port

Telnet セッションが現在接続されているポートを表示します。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show  telnet_port
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

```
# show telnet_port
```

Telnet Port Number: 23

3.3.27 show network

管理 LAN インターフェースに設定されているネットワーク設定を表示します。IPv6 の設定がされている場合は、IPv6 情報も表示します。以下の情報を表示します。

- Hostname
- IP Address
- Netmask
- Gateway Address
- IPv6 用 IP Address/プレフィックス長
- IPv6 用 Gateway Address
- MAC Address
- HTTP status
- HTTP Port Number
- HTTPS status
- HTTPS Port Number
- Telnet status
- Telnet Port Number
- SSH status
- SSH Port Number

■ 権限 : All

(1) 入力形式

show network

(2) オプション

なし

(3) 用例

show network

Hostname:primequest.fujitsu.com

IP Address:10.1.2.124

Netmask:255.255.255.0

Gateway Address: 10.1.2.1

IPv6 IP Address/Prefix: 2000:2002:2003:2004:2005:2006:2007:2008/64

IPv6 Gateway Address: fe80::1234:f3ff:fe03:5555

MAC Address:00:AA:00:12:34:55

HTTP:disabled

HTTP Port Number:8081

HTTPS:disabled

HTTPS Port Number:432

Telnet:disabled

Telnet Port Number:23

SSH:enabled

SSH Port Number:22

3.3.28 show ntpq

NTP の動作状況を表示します。

備考

IPv4、IPv6 をサポートします。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show ntpq
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

```
# show ntpq
remote      refid st t  when  poll  reach  delay          offset
jitter
=====
=====
*10.23.4.3      10.0.50.32  4  u  882  1024  377   0.941   -0.154
0.284
10.49.51.3      .INIT.      16  u  -    1024  0     0.000   0.000
0.000
LOCAL(0)        .LOCL.      5   l  23h   64    0     0.000   0.000
0.000
#
```

表 3.13 show ntpq の出力項目

項目	説明
remote の先頭の記号	remote の先頭に表示される記号は以下の意味を示します。 空白: reject。要求が不到達、もしくは距離が遠い(サーバへの往復の通信時間が 16 秒以上)のために参照していません。 x: falsetick。MMB に登録している他の全 remote サーバから取得した時間が、2 台以上の remote と比較し時間がずれている(jitter の値をずれの許容範囲として、それ以上ずれている)のために参照リストから外されました。すべての時計がずれている場合、falsetick は検出されません。 -: outlier。現在同期中 remote の offset よりもこの remote の jitter の値が大きいため参照していません。 +: candidate。いつでも同期可能。 #: selected。同期可能ではあるが、距離が遠い(サーバへの往復の通信時間が 1 秒以上)のため candidate から外れています。 *: sys.peer。同期中。
remote	NTP Server (内部時計を NTP プロトコルにより他コンピュータに提供するサーバ) として参照しているホスト名("LOCAL"は MMB を示します)。
refid	remote がどこから時刻を同期しているかを表示します。不明の場合は、0.0.0.0。
st	サーバの階層を示す番号。一般にこの番号が大きくなるほど、時間の信頼性が薄らぎます。
t	remote サーバの種別。 l:ローカルサーバ。MMB の内部時計を取得(remote が LOCAL の時のみこのタイプになります)。 u:ユニキャストサーバ。MMB から remote に対して時刻要求を行い、送信されてきた時刻を取得します。
when	remote から最後にパケットを受け取ってからの経過時間(単位: 秒)。
poll	remote から時刻を取得する間隔(単位: 秒)。
reach	過去 8 回の時刻取得の成否のフラグ(8 進数表現)。 過去 8 回の時刻取得の成否結果を 8 ビット(0:失敗、1:成功) で表現し、それを 8 進数表示しています。時間取得する毎にビットを左シフトさせ、一番右ビットが最新の取得結果となります。例えば、この値が 356(8)=11,101,110(2)である場合、過去 8 回の取得結果のうち最新の取得と、4 回前の取得が失敗しています。次の時刻取得が成功すると、335(8)=11,011,101(2) となります。
delay	remote との通信のためにネットワーク往復にかかる通信時間(単位: ミリ秒)。
offset	remote の時計と内部時計との時刻のずれ(単位: ミリ秒)。
jitter	前回取得した時間に poll の間隔を足した時間と、実際に取得した最新の時間の誤差の値(単位: ミリ秒)、互いの時計の精度、ネットワークの状況により誤差が発生します。

3.3.29 who

現在 MMB ログインしているユーザーについて次の情報を表示します。

- ログイン名
- ログインした時間
- リモートホスト名(または、リモートホストの IP アドレス)

ログイン時点で MMB に設定されている DNS からリモートホスト名がわかる場合は、リモートホスト名を表示します。わからない場合は IP アドレスを表示します。また、シリアルポートからログインしている場合は「-」(ハイフン)が表示されます。

- Telnet/SSH で接続しているか、Web-UI で接続しているか、それとも、シリアルポートで接続しているか、Telnet/SSH でログインしている場合は「Telnet/SSH」と表示されます。Web-UI でログインしている場合は「WebUI」と表示されます。シリアルポートでログインしている場合は「-」(ハイフン)が表示されます。

備考

IPv4、IPv6 をサポートします。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
who
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

```
# who
User1      2017-07-08 10:35:51 Telnet/SSH 10.24.6.94
User2      2017-07-08 10:38:02 Telnet/SSH 2001:2345::3dfb:dc43:4d75:5a71
User3      2017-07-08 10:34:26 WebUI    10.24.6.191
```

3.3.30 help

使用可能コマンドについてのヘルプを表示します。装置により表示内容が異なります。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
help
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

省略

アカウントの各権限で使用可能なコマンドのヘルプが表示されます。

3.3.31 netck traceroute

指定した IP アドレスから目的のホストまでのネットワーク経路を一覧で表示します。

備考

IPv4 のみサポートします。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
netck traceroute <ip>
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

```
# netck traceroute 10.2.3.4
traceroute to 10.2.3.4 (10.2.3.4), 30 hops max, 40 byte packets
 1 10.2.4.1 (10.2.4.1) 0.822 ms 5.142 ms 0.59 ms
 2 10.2.5.1 (10.2.5.1) 0.923 ms 0.747 ms 0.679 ms
 3 10.2.6.1 (10.2.6.1) 0.955 ms 0.736 ms 0.71 ms
 4 10.3.2.1 (10.3.2.1) 1.023 ms 0.861 ms 0.837 ms
 5 10.3.2.2 (10.3.2.2) 1.049 ms 0.939 ms 0.887 ms
 6 10.2.3.5 (10.2.3.5) 1.285 ms 1.005 ms 0.997 ms
 7 10.2.3.4 (10.2.3.4) 0.976 ms 0.828 ms 0.891 ms
```

(4) 処理

"traceroute <ip>" を実行します。

3.3.32 netck arptbl

IP アドレスから Ethernet の物理アドレス(MAC アドレス) を表示します。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
netck arptbl
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

```
# netck arptbl
```

IP address	HW type	Flags	HW address	Mask	Device
10.1.2.3	0x1 0x2		00:21:a1:1a:32:45	*	bond0

(4) 処理

cat /proc/net/arp の bond0 (管理 LAN) のみ表示させます。

3.3.33 netck arping

指定した IP アドレスから Ethernet の物理アドレス (MAC アドレス) を表示します。

備考

IPv4 のみサポートします。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
netck arping <ip>
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

```
# netck arping 10.1.2.3
ARPING to 10.1.2.3 from 10.1.2.33 via bond0
Unicast reply from 10.1.2.3 [0:21:a1:1a:32:45] 1.253ms
Sent 1 probes (1 broadcast(s)) Received 1 reply
```

(4) 処理

arping -I bond0 -c 1 <ip>を実行します。

3.3.34 netck ifconfig

ネットワーク環境の設定状況 (IPv4 または IPv6) を表示します。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
netck ifconfig
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

```
#netck ifconfig
bond0 Link encap:Ethernet HWaddr 00:17:42:9B:D9:78
inet addr:10.24.77.80 Bcast:10.24.77.255 Mask:255.255.255.0 inet6 addr:2001:2345::10/64 Scope:Global
inet6 addr:fe80::217:42ff:fe9b:d978/64 Scope:Link
UP BROADCAST RUNNING MASTER MULTICAST MTU:1500 Metric:1
RX packets:4765 errors:0 dropped:0 overruns:0 frame:0
TX packets:3438 errors:0 dropped:0 overruns:0 carrier:0 collisions:0 txqueuelen:0
RX bytes:637685 (622.7 KiB) TX bytes:1318710 (1.2 MiB)
```

(4) 処理

"ifconfig bond0" を実行します。

3.3.35 netck stat

稼働中のプロセスが使用しているポート番号の一覧を表示します。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
netck stat
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

```
# netck stat
```

Proto	Recv-Q	Send-Q	Local Address	Foreign Address	State
tcp	0	0	PRIME123063:telnet	10.1.2.3:4015	TIME_WAIT

(4) 処理

netstat -tuwn から Private-LAN などの内部情報を削除します。

3.3.36 show dynamic_reconfiguration status

Dynamic Reconfiguration の進行状態を表示します。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show dynamic_reconfiguration status
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

- 例状態表示 (パーティション 2 に SB3 を追加する場合)

```
# show dynamic_reconfiguration status
Adding SB#3 to Partition#2, running : 35%
#
```

3.3.37 show partition extended_partitioning_mode

指定したパーティションの Extended Partitioning Mode の設定(enable/disable)を表示します。指定したパーティションが拡張パーティションである場合はエラーメッセージが表示され、指定したパーティションに対する操作はできません。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show partition extended_partitioning_mode <partition#>
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

- 例: Partition#1 の Extended Partitioning Mode を表示する場合

```
# show partition extended_partitioning_mode 1
partition#1: Extended Partitioning Mode: enable
#
```

3.3.38 show partition dimm_excl_mode

指定した拡張パーティションの DIMM 排他割り当てモードの設定(enable/disable)を表示します。指定したパーティションが拡張パーティションでない場合はエラーメッセージが表示され、指定したパーティションに対する操作はできません。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show partition dimm_excl_mode <partition#>
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

- 例: Partition#4 の DIMM 排他割り当てモードを表示する場合
show partition dimm_excl_mode 4
partition#4: DIMM excl mode: enable
#

3.3.39 show partition skt_binding_mode

指定した拡張パーティションの CPU ソケット固定他割り当てモードの設定(enable/disable)を表示します。指定したパーティションが拡張パーティションでない場合はエラーメッセージが表示され、指定したパーティションに対する操作はできません。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show partition skt_binding_mode <partition#>
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

- 例: Partition#4 の CPU ソケット固定割り当てモードを表示する場合
show partition skt_binding_mode 4
partition#4: CPU Socket binding mode: enable
#

3.3.40 show extended_partition configuration

拡張パーティションに含まれる SB、IOUE、PCI ボックスを表示します。指定したパーティションが拡張パーティションでない場合はエラーメッセージが表示され、指定したパーティションに対する操作はできません。

出力形式：パーティション毎に以下の情報が表示されます。

第 1 列 : パーティション番号
第 2 列 : パーティション名
第 3 列 : CPU コア数
第 4 列 : メモリサイズ(GB 単位)
第 5 列以降 : 対象パーティションに含まれる VGA/USB、M.2、DU、DU_M、オンボード LAN、
 PCI Express スロット順に表示されます。

DU、DU_M とオンボード LAN は IOUE の小さい順に表示します。

PCI Express スロットは SB、IOUE、PCI ボックスの順に表示します。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show extended_partition configuration [all | free | <partition#>
{[, | -] <partition#>}]
```

(2) オプション

all : すべてのパーティションと、どのパーティションにも属していない SB/IOUE/PCI ボックスの資源を表示。
free : どのパーティションにも属していない SB/IOUE/PCI ボックスの資源を表示。
<partition#> : 指定したパーティションについて表示。

複数のパーティションを指定する場合の指定方法は、以下のとおりです。

- パーティション番号をカンマで区切って指定
- パーティション番号範囲で指定

備考

カンマ区切りと番号範囲の指定は混在可能です。

(3) 使用例

- 例：PRIMEQUEST 3800E2/3800L2 でパーティション番号 4～5 のパーティションの構成情報を表示する場合

```
# show extended_partition partition configuration 4-5
```

4	Web front 1	8CPU	512GB	Onboard LAN(IOU#1)
		PCISLOT(SB#1 IOU#1{1}	PCIBOX#0{1 4})	
5	Web front 2	6CPU	1024GB	VGA/USB M.2
		DU_M(IOU#1)	PCISLOT (IOU#1{3}	PCIBOX#0{0 3})

- 例：上記と同じ構成に対して all 指定を使用した場合

```
# show extended_partition partition configuration all
```

```
4   Web front 1           8CPU           512GB           Onboard LAN(IOU#1)
                                PCISLOT(SB#1 IOU#1{1} PCIBOX#0{1 4})

5   Web front 2           6CPU           1024GB          VGA/USB          M.2
                                DU_M(IOU#1) PCISLOT (IOU#1{3} PCIBOX#0{0 3})

6   <何も登録されていないので空白表示>
7   <何も登録されていないので空白表示>
8   <何も登録されていないので空白表示>
9   <何も登録されていないので空白表示>
10  <何も登録されていないので空白表示>
11  <何も登録されていないので空白表示>

free 0 PCISLOT (SB#2 IOU#1{0} PCIBOX#0{2 5})
#
```

3.3.41 show partition status

パーティションの電源状態、進行状況(System Progress)を表示します。

出力形式：1 行当たり 1 パーティションに関する情報を表示します。

PRIMEQUEST 3400E2/3400L2/3800E2/3800L2/3400E/3400L/3800E/3800L と
PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400S Lite/3400S とで表示形式が異なります。

PRIMEQUEST 3400E2/3400L2/3800E2/3800L2/3400E/3400L/3800E/3800L の場合

- 第 1 列 : パーティション番号
- 第 2 列 : 物理パーティションの情報の表示
 - Extended Partitioning Mode が enable 設定の物理パーティションでは、分割元の物理パーティションを示す” P” を表示します。
 - Extended Partitioning Mode が disable 設定の物理パーティションでは、” - “を表示します。
 - 拡張パーティションの場合、分割元の物理パーティション番号を表示します。
- 第 3 列 : パーティション名
- 第 4 列 : パーティションの Power Status 表示
 - On
 - Standby
- 第 5 列以降 : パーティションの System Progress 表示
 - Power Off
 - Power On In Progress
 - Reset
 - EFI
 - Boot
 - OS Running
 - OS Shutdown
 - Panic
 - Power Off In Progress
 - Fatal
 - Dumping
 - Halt
 - Extended Partitioning Running

PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400S Lite/3400S の場合

- 第 1 列 : パーティション番号
- 第 2 列 : パーティション名
- 第 3 列 : パーティションの Power Status 表示
- 第 4 列 : パーティションの System Progress 表示

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show partition status [all | <partition#> {[ , | -] <partition#>}]
```

(2) オプション

- all : すべてのパーティションを表示。
- <partition#> : 指定したパーティションについて表示。
 - 複数のパーティションを指定する場合の指定方法は、以下の通りです。
 - パーティション番号をカンマで区切って指定
 - パーティション番号範囲で指定

備考

カンマ区切りと番号範囲の指定は混在可能です。

(3) 使用例

- 例：PRIMEQUEST 3400E2/3400L2/3800E2/3800L2/3400E/3400L/3800E/3800L で all 指定の場合

```
# show partition status all
```

0	P	fileserver	On	Extended Partitioning Running
1	-	testserver	Standby	Power Off
2	-	part2	On	EFI
4	0	Expar4	On	Reset
5	0	test5	Standby	Power Off

```
#
```

- 例：PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400S Lite/3400S でパーティション番号 0-3 指定の場合

```
# show partition status 0-3
```

0	fileserver	On	OS Running
1	testserver	Standby	Power Off
2	part2	On	EFI
3	test3	On	Reset

```
#
```

3.3.42 show partition extended_socket_mode

指定した拡張パーティションの Extended Socket mode の設定(enable/disable)を表示します。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show partition extended_socket_mode <Extended Partitioning#>
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

- 例: 拡張パーティション#4 の Extended Socket mode を表示する場合
show partition extended_socket_mode 4
Extended Socket Mode: enable
#

3.3.43 show partition extended_socket_zone

Extended Socket Zone の設定状態を表示します。

出力形式 :

1 行当たり、1 拡張パーティションに関する情報を表示します。各列の表示内容は以下の通りです。

第 1 列 : 拡張パーティション番号
第 2 列 : 物理パーティション番号
第 3 列 : Power Status (On/Standby)
第 4 列 : Extended Socket Mode 設定(enable/disable)
第 5 列 : Zone 番号

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show partition extended_socket_zone
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

- 例: Extended Socket Zone を表示する
show partition extended_socket_zone
4 0 Standby enable 0
5 0 On enable 0
6 0 On disable none
7 0 Standby disable none
8 2 On disable none
9 2 On enable 1
10 3 On enable 3
11 3 On enable 3
#

3.3.44 show partition memory_sparing_mode

指定したパーティションの Memory Sparing Mode の Rank 数設定を表示します。

Disable : Memory Operation Mode が spare mode でない

1 : 1Rank が設定されている

auto : 自動設定

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show partition memory_sparing_mode <Partition#>
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

- 例: パーティション#3 の Memory Sparing Mode の Rank 数設定を表示する場合

```
# show partition memory_sparing_mode 3
current: 1
setting: 1
#
```

3.3.45 show raid adapter

RAID アダプタの情報を表示します。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show raid adapter {[DU | DU_M | IOU | PCI_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#>} {[supported-raid-level | mfg-data | settings | log]}
```

(2) オプション

supported-raid-level : 指定した RAID アダプタがサポートする RAID レベルを表示。

mfg-data : 指定した RAID アダプタの製造者情報を表示。

settings : 指定した RAID アダプタのアダプタファームウェア設定を表示。

log : 指定した RAID アダプタのアダプタファームウェアログを表示。

(3) 使用例

- 例: RAID アダプタリストを表示する場合

```
#show raid adapter
```

Location	Product Name	Serial number	FW version
DU 0-0	FTS RAID Ctrl SAS 6G 1GB (D3116C)	0000000041432879	23.9.0-0029
DU 0-1	FTS RAID Ctrl SAS 6G 1GB (D3116C)	0000000041433203	23.9.0-0029
IOU 2-3	LSI MegaRAID SAS 9286CV-8e	SV225P2246	23.9.0-0029
PCIBox 1-8	LSI MegaRAID SAS 9286CV-8e	SV225P2374	23.9.0-0029

- 例: DU#0 の RAID アダプタを表示する場合

```
#show raid adapter DU 0-0
```

```
Product Name:          FTS RAID Ctrl SAS 6G 1GB (D3116C)
Serial Number:         0000000041232964
Ports:                 8
Protocol:              SAS600
VendorID/ DeviceID:    1000/005B
SubVendorVID/SubDeviceID: 1734/11E4
Firmware package version: 23.9.0-0029
NVRAM size:            32 KB
Memory size:           1024 MB
FlashROM size:         16 MB
Temperature:           49 deg C
```

3.3.46 show raid disk_enclosure

指定した RAID アダプタに接続されたディスクエンクロージャーの情報を表示します。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show raid disk_enclosure [IOU | PCI_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#> {encl=<Port#>-<Cascade#>}
```

(2) オプション

encl : ポート番号とカスケード番号を指定。(例. encl=0-0).

(3) 使用例

- 例: IOUE#2-PCI slot#3 の RAID アダプタに接続されたディスクエンクロージャーを表示する場合

```
# show raid disk_enclosure IOU 2-3
```

Port	Cascade	Vendor	Product	Type
0	0	FUJITSU	JX40S2	0302
0	1	FUJITSU	JX40S2	0302
1	0	FUJITSU	JX40S2	0302
1	1	FUJITSU	JX40S2	0302

- 例: IOUE#2-PCI slot#3 の RAID アダプタの port#0-cascade#0 に接続されたディスクエンクロージャーを表示する場合

```
# show raid disk_enclosure IOU 2-3 encl=0-0
```

```
Product Name:      FUJITSU ETERNUS JX40S2
Status:            OK
Vendor:            FUJITSU
Product:           JX40S2
Port number:       0
Cascade:           1
DeviceID:          48
SAS address:       51463080001ABC3E
Firmware version:  0302
```

3.3.47 show raid physical_drive

指定した RAID アダプタに接続されたディスクの情報を表示します。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show raid physical_drive [DU | DU_M | IOU | PCI_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#>  
{disk=[<DISKSLOT#> | <PORT#>-<CASCADE#>-<DISKSLOT#>]} {action-progress}
```

(2) オプション

disk : ディスクスロット番号(例. disk=0)またはポート、カスケード、スロット番号(例. disk=0-0-0)を指定

action-progress : 指定したディスクの Action Progress を表示

(3) 使用例

例: DU#0 の RAID アダプタに接続されたディスクリストを表示する場合

```
# show raid physical_drive DU 0-0
```

Slot	Status	Interface	Type	Vendor	Product	Capacity	Action in progress
0	Operational	SAS	HDD	FUJITSU	MBD2300RC	300 GB	-
1	Operational	SAS	HDD	FUJITSU	MBD2300RC	300 GB	-
3	Available	SAS	SSD	SEAGATE	ST9146802SS	146 GB	-

例: DU#0 の slot#1 のディスクを表示する場合

```
# show raid physical_drive DU 0-0 disk=1
```

```
Slot: 1
Status: Operational
Foreign configuration: No
Interface type: SAS
Interface type: SAS
Link speed: 6.0Gb/s
Max device speed: 6.0Gb/s
Type: HDD
Vendor: FUJITSU
Product: MBD2300RC
Firmware version: 5201
Serial number: D0A7PA303NMF
Physical size: 300 GB
Configured size: 300 GB
SAS address: 500000E114722F42
Power status: Active
Action in progress -
```

3.3.48 show raid physical_drive_count

指定した RAID アダプタに接続されたディスク数を表示します。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show raid physical_drive_count [DU | DU_M | IOU | PCI_BOX] <UNIT#>--<PCISLOT#>  
{encl=<PORT#>--<CASCADE#>}
```

(2) オプション

encl : ポート番号とカスケード番号を指定 (例. encl=0-0)

(3) 使用例

例: DU#0 の RAID アダプタに接続されたディスク数を表示する場合

```
# show raid physical_drive_count DU 0-0  
3
```

3.3.49 show raid logical_drive

指定した RAID アダプタに割り当てられた論理ドライブの情報を表示します。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show raid logical_drive [DU | DU_M | IOU | PCI_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#>  
{target=<Target#>} {action-progress}
```

(2) オプション

target : 論理ドライブのターゲット ID (例. target=0)

action-progress : 指定した論理ドライブの Action Progress を表示

(3) 使用例

例: DU#0 の RAID アダプタに割り当てられた論理ドライブリストを表示する場合

```
# show raid logical_drive DU 0-0
```

Target Id	Status	Name	Size	RAID	Action in progress
0	Operational	RHEL7	136.00 GB	RAID-0	-
1	Operational	WS2012R2	278.00 GB	RAID-1	Back ground initialization

例: DU#0 の logical drive#1 を表示する場合

```
# show raid logical_drive DU 0-0 target=1
```

```
Target ID:                1
Status:                   Operational
Name:                    WS2012R2
RAID level:              RAID-1
Strip size               64K
Logical size             278.00 GB
Read mode                Read-ahead
Write mode:             Write-back
Cache mode:             Direct
Disk cache mode:        Disabled
Background initialization: Enabled
Action in progress       Back ground initialization
Configured drives:
```

Slot	Span	Start block	Length[Blocks]	Length[MB/GB]
1	0	0	584843264	285568/278
2	0	0	584843264	285568/278

例: DU#0 の logical drive#1 の action-progress を表示する場合

```
# show raid logical_drive DU 0-0 target=1 action-progress
```

```
Action:                Make data consistency
Progress:              10 %
Estimated time remaining (hh:mm:ss): 00:10:03
```

3.3.50 show raid logical_drive_count

指定した RAID アダプタに割り当てられた論理ドライブ数を表示します。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show raid logical_drive_count [DU | DU_M | IOU | PCI_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#>
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

例: DU#0 の RAID アダプタに割り当てられた論理ドライブ数を表示する場合

```
# show raid logical_drive_count DU 0-0
2
```

3.3.51 show raid bbu

指定した RAID アダプタに接続された FBU の情報を表示します。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show raid bbu [DU | DU_M | IOU | PCI_BOX] <UNIT#>-<PCISLOT#>
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

例: DU#0 に接続された FBU を表示する場合

```
# show raid bbu DU 0-0
```

Status:	Normal
Type:	FBU
Vendor:	LSI
Manufacturer date:	03/21/2012
Intelligent BBU:	Yes
Auto learn mode:	Transparent
Next learn time:	Thu 17 Jul 2014 01:09:23 PM
Auto learn period:	28 Days
Design voltage:	9.411 V
Voltage:	9.518 V
Temperature:	27 deg C
Design capacity:	283 J
Remaining capacity:	321 J
Capacitance:	100 %

3.3.52 show special_account

登録されている LDAP で使用するスペシャルアカウントを表示します。

■ 権限 : Administrator

(1) 入力形式

```
show special_account
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

例: スペシャルアカウント設定されている場合

```
# show special_account
```

```
Admin: special_admin
```

```
CE : special_ce
```

```
#
```

例: スペシャルアカウントが設定されていない場合

```
# show special_account
```

```
Admin: -
```

```
CE : -
```

```
#
```

3.3.53 show partition pci_ecrc_mode

指定したパーティションの ECRC 有効／無効設定を表示します。

- enable : ECRC 有効
- disable : ECRC 無効

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show partition pci_ecrc_mode <partition#>
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

例: Partition2 の ECRC 設定を表示する場合

```
# show partition pci_ecrc_mode 2
```

```
pci_ecrc_mode : enable
```

```
#
```

3.3.54 show sysconf fan_control_mode

システム冷却用ファンの制御モードの設定を表示します。

このコマンドは、PRIMEQUEST 3400S Lite/3400S/3400E/3400L/3800E/3800L では PA18011 版以降のファームウェアで利用できます。

- auto : 自動で最適なファン回転数制御を行います。
- full : ファンを最大回転数に設定します。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show sysconf fan_control_mode
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

例 : システム冷却用ファンの制御モードが auto の場合

```
# show sysconf fan_control_mode
fan_control_mode: auto
#
```

3.3.55 show sysconf required_psu

PSU の必要数の設定を表示します。

このコマンドは、PRIMEQUEST 3400E/3400L/3800E/3800L では PA18021 版以降のファームウェアで利用できます。

- 2 : PSU の必要数が 2 台
- 3 : PSU の必要数が 3 台

200V 受電、かつ、PRIMEQUEST 3400E2/3400L2/3800E2/3800L2/3400E/3400L/3800E/3800L の場合のみ表示できます。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show sysconf required_psu
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

例 : PSU の必要数が 2 台に設定されている場合

```
# show sysconf required_psu
required_psu: 2
#
```

3.3.56 show sysconf power_restoration_policy

停電後、復電したときのアクションの設定を表示します。

- Always off : 復電後、電源オフの状態を維持します。
- Always on : 停電したときの状態にかかわらず、復電後はパーティションの電源オンを行います。
- Restore : 停電した時の状態に戻します。停電時にパーティションが電源オンの状態であった場合はパーティションの電源オンを行い、パーティションが電源オフの状態であった場合は、パーティションの電源オフの状態を維持します。
- Schedule Sync : 復電時にスケジュール運転設定による運用時間帯であれば自動的にパーティションの電源オンを行います。

(注意)

Special で設定したスケジュールは、指定した日のみ適用となります。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show sysconf power_restoration_policy
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

例 : 復電したときのアクションが Always ON の場合

```
#show sysconf power_restoration_policy
power_restoration_policy: Always ON
#
```

3.3.57 show sysconf power_on_delay

AC 電源投入後(復電時も含む) に設定した復電ポリシーに従ってパーティションの電源オンを指示するまでの待機時間の設定を表示します。本項目はスケジュールによる Power On 時にも有効となります。

(注意)

Partition Power On Delay の処理が終わるまでは、他の起動処理は実施されません。

ただし、スケジュール運転による Power On 時間が AC 電源投入(復電含む)による Power on delay 時間と重なった場合、AC 電源投入(復電含む)による Power On delay 時間が優先され、スケジュール運転による Power On での Power on delay は無視されます。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show sysconf power_on_delay
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

例 : パーティションの電源オンを指示するまでの待機時間の設定が 100 秒の場合

```
#show sysconf power_on_delay
power_on_delay: 100sec
#
```

3.3.58 show sysconf altitude

PRIMEQUEST 3000 シリーズ筐体が設置されている高度の設定を表示します。
高度条件の設定誤差は±100m までになります。

- Altitude < 1000 m
- 1000 m <= Altitude < 1500 m
- 1500 m <= Altitude < 2000 m
- 2000 m <= Altitude

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show sysconf altitude
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

```
例：高度の設定が Altitude < 1000 m の場合
# show sysconf altitude
Altitude < 1000m
#
```

3.3.59 show sysconf psu_redundant_mode

PSU を冗長で動作させるかどうかの設定を表示します。
3800E2/3800L2 モデルで PSU_T を搭載した場合は、デフォルトの Redundant から設定変更しないでください。

- Redundant : PSU を冗長にします。
- Non-redundant : PSU を非冗長にします。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show sysconf psu_redundant_mode
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

```
例：PSU を冗長で動作させるかどうかの設定が Redundant の場合
# show sysconf psu_redundant_mode
psu_redundant_mode: redundant
#
```

3.3.60 show sysconf system_guid_format

iRMC の System GUID Response フォーマットを表示します。

本コマンドの表示は、装置全体(全 Partition)の設定値を表示します。

- IPMI Spec : IPMI Specification compatible
(System GUID レスポンフォーマットは IPMI 仕様に対応)
- SMBIOS Spec : SMBIOS 2.6 Specification compatible
(System GUID レスポンフォーマットは SMBIOS で参照する仕様に対応)

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show sysconf system_guid_format
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

例 : System GUID Response フォーマットが SMBIOS Spec の場合

```
# show sysconf system_guid_format
System GUID Response Format : SMBIOS Spec
#
```

3.3.61 show sysconf input_voltage

入力電圧を表示します。

- 100V
- 200V

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show sysconf input_voltage
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

例 : 入力電圧が 100V の場合

```
# show sysconf input_voltage
input_voltage: 100V
#
```

3.3.62 show firmware_version

システム内で稼動しているファームウェアのバージョン情報、およびバックアップされているファームウェアのバージョン情報を表示します。

■ 権限 : Administrator、CE

(1) 入力形式

```
show firmware_version
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

```
#show firmware_version
UnifiedFirmware Version: PA17111
MMB#0 Firmware activebank: bank2
MMB#0 Firmware Version(bank1): 1.04
MMB#0 Firmware Version(bank2): 1.06
MMB#1 Firmware active bank: bank2
MMB#1 Firmware Version(bank1): 1.04
MMB#1 Firmware Version(bank2): 1.06
SB#0-iRMC Firmware active bank:bank2
SB#0-iRMC Firmware Version(bank1): 1.18Q
SB#0-iRMC Firmware Version(bank2): 1.22Q
SB#0-BIOS Firmware active bank:bank1
SB#0-BIOS Firmware Version(bank1): 1.29
SB#0-BIOS Firmware Version(bank2): 1.29
SB#1-iRMC Firmware active bank:bank2
SB#1-iRMC Firmware Version(bank1): 1.18Q
SB#1-iRMC Firmware Version(bank2): 1.22Q
SB#1-BIOS Firmware active bank:bank1
SB#1-BIOS Firmware Version(bank1): 1.29
SB#1-BIOS Firmware Version(bank2): 1.29
SB#2-iRMC Firmware active bank:bank2
SB#2-iRMC Firmware Version(bank1): 1.18Q
SB#2-iRMC Firmware Version(bank2): 1.22Q
SB#2-BIOS Firmware active bank:bank1
SB#2-BIOS Firmware Version(bank1): 1.29
SB#2-BIOS Firmware Version(bank2): 1.29
SB#3-iRMC Firmware active bank:bank2
SB#3-iRMC Firmware Version(bank1): 1.18Q
SB#3-iRMC Firmware Version(bank2): 1.22Q
SB#3-BIOS Firmware active bank:bank1
SB#3-BIOS Firmware Version(bank1): 1.29
SB#3-BIOS Firmware Version(bank2): 1.29
#
```

3.3.63 show reserved_sb

存在するパーティションに対して、Reserved SB として設定されている SB を表示します。
Reserved SB が設定されていないパーティションは、“-” が表示されます。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show reserved_sb
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

例 : Partition#0 に SB#1、Partition#1 に SB#1、SB#3 が Reserved SB として設定されている場合

```
# show reserved_sb
#  partition_name  mirror_mode  sb
0  Partition0      disable    1
1  Partition1      disable    1 3
2  Partition2      enable     -
#
```

3.3.64 show user_list

現在登録されているユーザーアカウント情報を表示します。

■ 権限 : Administrator

(1) 入力形式

```
show user_list
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

```
例 :
# show user_list
user_name      privilege      operable_partition
Administrator  Admin
Operator       Partition Operator #0,#1
CE             CE
#
```

3.3.65 show snmp sys_location

SNMP の System Location を表示します。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show snmp sys_location
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

例 : SNMP の System Location が Tokyo の場合

```
# show snmp sys_location
sys_location: Tokyo
#
```

3.3.66 show snmp sys_contact

SNMP の System Contact を表示します。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show snmp sys_contact
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

例 : SNMP の System Contact が admin@company.com の場合

```
# show snmp sys_contact
sys_contact: admin@company.com
#
```

3.3.67 show snmp community

設定されている SNMP の Community、アクセスを許可する IP アドレス、または、サブネット、SNMP バージョン、アクセス権限を表示します。

本コマンドは、IPv4 のみサポートします。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show snmp community
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

例 : SNMP の Community が Public、Private の場合

```
# show snmp community
```

community	ip_mask	version	access
Public	10.1.2.3	1	rw
Private	10.2.3.5	1	ro

```
#
```

3.3.68 show snmp trap

設定されている SNMP の Trap の送信先を表示します。

本コマンドは、IPv4 のみサポートします。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
show snmp trap
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

例 : SNMP の Trap の送信先が 10.1.2.3、10.2.3.5 の場合

```
# show snmp trap
```

community	ip	version
Public	10.1.2.3	1
Private	10.2.3.5	1

```
#
```

3.4 アップデート用コマンド

アップデート用のコマンドは、以下のとおりです。

- [3.4.1 update ALL](#)
- [3.4.2 show update_status](#)

ここではこれらのコマンドの操作方法を説明します。

3.4.1 update ALL

指定した URL から一括してファームウェアをダウンロードし、MMB、iRMC、BIOS をアップデートします。

URL は、以下のように指定します。

```
http://host/path/file
ftp://host/path/file
```

以下の順でアップデートを実施します。

- (1) MMB Firmware Update (Standby)
- (2) MMB Firmware Update (Active)
- (3) iRMC Firmware Update
- (4) BIOS Firmware Update

進行状況は、show update_status コマンドで確認します。

注意

MMB あるいは SB が故障している場合は、ファームアップデートの前に保守を行ってください。故障した MMB あるいは SB が構成内に存在するときには、ファームアップデートを実施しないでください。

■ 権限 : Administrator、CE

(1) 入力形式

```
update ALL <url> {force} {quiet}
```

(2) オプション

force : 適用する総合ファームウェア版数で、強制的にアップデートを実行します。

quiet : ユーザーに対するインタラクティブ動作なしでアップデートします。

使用例

```
# update ALL http://host/path/allfirm001
Downloading a Unified firmware file.....
Extracting a Unified firmware file.....
```

```
Current Unified Firmware Version: xxxxx
```

```
New Unified Firmware Version: yyyy
```

```
Are you sure to continue Firmware Update? [Y|N]: Y
```

```
#
```

(3) 処理オンライン・ファームアップが可能かチェックし、不可の場合はエラーメッセージを出力し、アップデート処理を中断します。(MMB 一重化の場合、又はオンライン・ファームアップできるファーム版数間の互換性確認テーブルに組み合わせがない場合)

- force オプションなしの場合

適用する総合ファーム版数と動作中の総合ファームウェア版数を比較して、古い版数または同一版数の場合、ファームウェアアップデートは行いません。

また、個別のファームウェアのファームウェア版数を確認し、同一版数の場合はファームウェアアップデートを行わず、版数が違う場合にのみファームウェアアップデートを行います。

- force オプション指定ありの場合

適用する総合ファーム版数と動作中の総合ファーム版数は比較しないで、運用する総合ファーム版数で強制的にファームウェアアップデートを行います。

オンライン・ファームアップは force オプション指定できません。

3.4.2 show update_status

一括ファームウェアアップデートのファームウェアのバージョンおよび進行状態を表示します。ステータスを以下に示します。

- completed : 正常終了
- failed : 異常終了
- updating : ファームウェアアップデート中(%表示)
- being updated : ファームウェアアップデート中(ファームウェアダウンロード中)
- not executed : アップデート処理を実行していない状態

■ 権限 : Administrator、CE

(1) 入力形式

```
show update_status
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

```
#show update_status
Unified Firmware Version :PA17111, update status:updating 35%
#
```

3.5 その他のコマンド

情報設定・表示・アップデート以外のコマンドは以下のとおりです。

- [3.5.1 exit](#)
- [3.5.2 passwd](#)
- [3.5.3 ping](#)

ここではこれらのコマンドの操作方法を説明します。

3.5.1 exit

ログアウトします。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
exit
```

(2) オプション

なし

(3) 使用例

なし

3.5.2 passwd

指定したユーザーのパスワードを変更します。Administrator 権限を持たないユーザーは、自分のパスワードしか変更できません。Administrator 権限を有するユーザーは、すべてのユーザーのパスワードを変更できます。ユーザーを指定しなかった場合は、現在ログインしているユーザーのパスワードが変更されます。入力可能な文字などの条件は、

「[表 2.106 \[Add User\] / \[Edit User\] 画面の表示・設定項目](#)」を参照してください。

■ 権限 : All

(1) 入力形式

```
passwd {USER}
```

(2) オプション

USER : パスワードを変更するユーザー名を指定します。

(3) 使用例

```
# passwd
Current password: *****
New password: *****
Re-enter new password: *****
Password changed.
```

3.5.3 ping

<IP address> または <server name> で指定された宛先に対して、ICMP echo message を送信します。

備考

IPv4 のみサポートします。

■ 権限：All

(1) 入力形式

```
ping {-c <count> } [<IP address>|<server name>]
```

(2) オプション

-c <count> : <count> で指定された数のパケットを送信後、終了します。

省略時のデフォルトは「1」。

(3) 使用例

なし

付録 A 設定項目の一覧

設定項目の初期値および設定可能値一覧で示します。

A.1 MMB Web-UI の設定項目

MMB Web-UI の設定項目の初期値と設定可能値を、画面ごとに一覧で示します。

- A.1.1 [System Event Log Filtering Condition] 画面の設定項目
- A.1.2 [Operation Log Filtering Condition] 画面の設定項目
- A.1.3 [Partition Event Log Filtering Condition] 画面の設定項目
- A.1.4 [System Information] 画面の設定項目
- A.1.5 [System Setup] 画面の設定項目
- A.1.6 [System Power Control] 画面の設定項目
- A.1.7 [Power Control] 画面の設定項目
- A.1.8 [Schedule Control] 画面の設定項目
- A.1.9 [Add Schedule]／[Edit Schedule] 画面の設定項目
- A.1.10 [IPv4 Console Redirection Setup] 画面の設定項目
- A.1.11 [IPv6 Console Redirection Setup] 画面の設定項目
- A.1.12 [Partition Configuration] 画面の設定項目
- A.1.13 [Power Management Setup] 画面の設定項目
- A.1.14 [ASR Control] 画面の設定項目
- A.1.15 [Console Redirection] 画面の設定項目
- A.1.16 [Mode] 画面の設定項目
- A.1.17 [Add User]／[Edit User] 画面の設定項目
- A.1.18 [Change Password] 画面の設定項目
- A.1.19 [Directory Service Configuration] 画面の設定項目
- A.1.20 [Date/Time] 画面の設定項目
- A.1.21 [IPv4 Interface] 画面の設定項目
- A.1.22 [IPv6 Interface] 画面の設定項目
- A.1.23 [Management LAN Port Configuration] 画面の設定項目
- A.1.24 [Network Protocols] 画面の設定項目
- A.1.25 [Refresh Rate] 画面の設定項目
- A.1.26 [SNMP Community] 画面の設定項目
- A.1.27 [SNMP Trap] 画面の設定項目
- A.1.28 [SNMP v3 Configuration] 画面の設定項目
- A.1.29 [Create CSR] 画面の設定項目
- A.1.30 [Create Selfsigned Certificate] 画面の設定項目
- A.1.31 [Edit User] 画面の設定項目
- A.1.32 [Add Filter]／[Edit Filter] 画面の設定項目
- A.1.33 [Alarm E-Mail] 画面の設定項目
- A.1.34 [Alarm E-Mail Filtering Condition] 画面の設定項目

A.1.1 [System Event Log Filtering Condition] 画面の設定項目

[System Event Log Filtering Condition] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.1 [System Event Log Filtering Condition] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Severity	すべてオン	- Error - Warning - Info - Monitor (複数選択可)	Monitor は、CE 権限でログインした場合のみ表示。
Partition	- Partition Operator 以外の場合：All - Partition Operator の場合：Specified (管理対象のパーティションが選択)	- All - Specified	All、Specified の切替えて、Specified 側のチェックボックスの選択データは保持。
Unit	All	- All - Specified	All、Specified の切替えて、Specified 側のチェックボックスの選択データは保持。
Source	All	- All - Specified	All、Specified の切替えて、Specified 側のチェックボックスの選択データは保持。
Sort by Date/Time	New event first	- New event first - Old event first	
Start Date/Time	First event	- First event - Specified Time	Specified Time を選択した場合、開始時間を入力できる。 First event、Specified Time の切替えて、Specified Time 側の時間データは保持。
End Date/Time	Last event	- Last event - Specified Time	Specified Time を選択した場合、終了時間を入力できる。 Last event、Specified Time の切替えて、Specified Time 側の時間データは保持。
Number of events to display	100 件	0 以上、表示されている分数の分母部分の数以下の整数(最大 3000 件)	表示されている分数の分母は、記録されているイベントの総数。

A.1.2 [Operation Log Filtering Condition] 画面の設定項目

[Operation Log Filtering Condition] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.2 [Operation Log Filtering Condition] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Operation	All	• All • Specified	All、Specified の切替えて、Specified 側のチェックボックスの選択データは保持。
Sort by Date/Time	New event first	• New event first • Old event first	
Start Date/Time	First event	• First event • Specified Time	Specified Time を選択した場合、開始時間を入力できる。 First event、Specified Time の切替えて、Specified Time 側の時間データは保持。
End Date/Time	Last event	• Last event • Specified Time	Specified Time を選択した場合、終了時間を入力できる。 Last event、Specified Time の切替えて、Specified Time 側の時間データは保持。
Number of events to display	100 件	0 以上、表示されている分数の分母部分の数以下の整数(最大 1000 件)	表示されている分数の分母は、記録されているイベントの総数。

A.1.3 [Partition Event Log Filtering Condition] 画面の設定項目

[Partition Event Log Filtering Condition] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.3 [Partition Event Log Filtering Condition] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Partition	• Partition Operator 以外の場合：All • Partition Operator の場合：Specified (管理対象のパーティションが選択)	• All • Specified	All、Specified の切替えて、Specified 側のチェックボックスの選択データは保持。
Number of events to display	100 件	0 以上、表示されている分数の分母部分の数以下の整数(最大 1000 件)	表示されている分数の分母は、記録されているイベントの総数。

A.1.4 [System Information] 画面の設定項目

[System Information] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.4 [System Information] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定可能値	備考
System Name	"PRIMEQUEST" + Product Serial Number	最大 64 文字入力可能 [0-9]、[a-z]、[A-Z]、 ! " # \$ % & ' () = - ^ ~ \ @ , [] { } ; : * + ? < > . / _	SNMP の System Name としても使 用。
Asset Tag	なし	最大 32 文字入力可能 (Administrator 権限のみ)	

A.1.5 [System Setup] 画面の設定項目

[System Setup] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.5 [System Setup] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Required Number of PSU [この設定は、PRIMEQUEST 3400E/3400L/3800E/3800L では PA18021 版以降のファームウェアで利用できます。]	2 PSUs	2 PSUs 3 PSUs	200V 受電、かつ、PRIMEQUEST 3400E2/3400L2/3800E2/3800L2/3400E/3400L/3800E/3800L モデルの場合のみ項目が表示され、設定可能。3400E2/3400L2 モデルの場合、デフォルトの 2PSUs から設定変更しないでください。3800E2/3800L2 モデルで PSU_T を搭載した場合は、デフォルトの 2PSUs から設定変更しないでください。
Power Restoration Policy	Restore	- Always off - Always on - Restore - Schedule Sync	
Partition Power On Delay	0 秒	0～9999 秒	
Altitude	Altitude < 1000 m	- Altitude < 1000 m 1000 m ≤ Altitude < 1500 m 1500 m ≤ Altitude < 2000 m 2000 m ≤ Altitude	高度条件の設定誤差は、±100 m まで可能
PSU Redundancy Mode	Redundant	- Redundant - Non-redundant	3800E2/3800L2 モデルで PSU_T を搭載した場合は、デフォルトの Redundant から設定変更しないでください。
Reserved SB Force Power Off Wait	10 分	0～99 分	
System Power Save Control	Disable	- Enable - Disable	
System Power Saving Threshold	7650W	[PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400S Lite/3400S モデルの場合] 1000W～7650W [PRIMEQUEST 3400E2/3400L2/3800E2/3800L2/3400E/3400L/3800E/3800L モデルの場合] 1600W(*1)～7650W *1)PSU_T を搭載した場合は、下限値は 1800W。	[System Power Save Control]が [Disable]時はグレースアウト。

A.1.6 [System Power Control] 画面の設定項目

[System Power Control] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.6 [System Power Control] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定可能値	備考
System Power Control	なし	- Power On all partition(s) - Power Off all partition(s) (all partitions(s) will be automatically shutdown) - Force Power Off	

A.1.7 [Power Control] 画面の設定項目

[Power Control] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.7 [Power Control] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Power Control	なし	- Power On - Power Off - Power Cycle - Reset - NMI - Force Power Off - sadump (Not Specified)	Power Status が「Standby」の場合のみ、「Power On」の設定が可能。 Power Status が「On」の場合のみ、「Power On」以外の設定が可能。
Force Power Off Delay	オフ	オンの場合は、時間指定 (1～9 分) が可能	
Boot Selector	No Override	- No Override - Force boot into EFI - Boot Manager - Force PXE/iSCSI - Force boot from DVD	

A.1.8 [Schedule Control] 画面の設定項目

[Schedule Control] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.8 [Schedule Control] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Schedule Control	Off	- On - Off	

A.1.9 [Add Schedule]／[Edit Schedule] 画面の設定項目

[Add Schedule]／[Edit Schedule] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.9 [Add Schedule]／[Edit User] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Partition	定義されている最も小さい番号のパーティション	[PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400S Lite/3400S モデルの場合] 0～1 パーティション [PRIMEQUEST 3400E2/3400L2/3800E2/3800L2/3400E/3400L/3800E/3800L モデルの場合] 0～11 パーティション	定義されているパーティションが「#n:パーティション名」の形式で選択可能
Type	未選択	• Daily • Weekly • Monthly • Special	
Pattern	Weekly : 未選択 Monthly : From 1 to 1 Special : Jan/1	• Weekly : Sun, Mon, Tue, Wed, Thu, Fri, Sat • Monthly : 1～31 • Special : Jan/1～Dec/31	
Term	• Daily : From : Jan/1 To : Jan/1 • Weekly : From : Jan To : Jan • Monthly : From : Jan To : Jan	• Daily : Jan/1～Dec/31 • Weekly : Jan～Dec • Monthly : Jan～Dec	
On Time	Hour : 0 Min : 0	Hour : 24 時間指定 Time : 10 分単位で指定	
Off Time	Hour : 0 Min : 0	Hour : 24 時間指定 Time : 10 分単位で指定	

A.1.10 [IPv4 Console Redirection Setup] 画面の設定項目

[IPv4 Console Redirection Setup] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.10 [Console Redirection Setup] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定可能値	備考
IP Address	0.0.0.0	0-255, 0-255, 0-255, 0-255	
Subnet Mask	255.255.255.255	0-255, 0-255, 0-255, 0-255	
Video Redirection	Disable	- Enable - Disable	
Virtual Media	Disable	- Enable - Disable	

A.1.11 [IPv6 Console Redirection Setup] 画面の設定項目

[IPv6 Console Redirection] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.11 [Pv6 Console Redirection Setup] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定値	備考
IP Address	無し	0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF	
Prefix Length	無し(0)	1～128	
KVM Redirection	Disable	- Enable - Disable	
Virtual Media	Disable	- Enable - Disable	

A.1.12 [Partition Configuration] 画面の設定項目

[Partition Configuration] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.12 [Partition Configuration] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Partition Name	なし	最大 16 文字入力可能。 英数字、半角スペース、 # _ -	

A.1.13 [Power Management Setup] 画面の設定項目

[Power Management Setup] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.13 [Power Management Setup] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定値	備考
Power Save Control	Disable	・ Enable ・ Disable	[System Setup] 画面の [System Power Save Control] が [Disable] 時はグレースアウト。
Power Save Grace Period	5 分	0～99 分	パーティションの [Power Save Control] が [Disable] 時はグレースアウト。
Action reaching Power Save	Partition Power Off	・ Continue ・ Partition Power Off ・ Partition Force Power Off	パーティションの [Power Save Control] が [Disable] 時はグレースアウト。

A.1.14 [ASR Control] 画面の設定項目

[ASR Control] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.14 [ASR Control] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定可能値	備考
ASR			
Number of Restart Tries	5 回	0～10 回 0：リトライしない	
Action after exceeding Restart tries	Stop rebooting and Power Off	- Stop rebooting and Power Off - Stop rebooting - Diagnostic Interrupt assert	
Boot Watchdog			
Boot Watchdog	Disable	- Enable - Disable	
Timeout time(seconds)	6000 秒	1 秒～6000 秒	
Action when watchdog expires	Continue	- Continue - Reset - Power Cycle	
Software Watchdog			
Software Watchdog	Disable	- Enable - Disable	
Timeout time(seconds)	300 秒	1 秒～6000 秒	
Action when watchdog expires	Continue	- Continue - Reset - Power Cycle - NMI	

A.1.15 [Console Redirection] 画面の設定項目

[Console Redirection] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.15 [Console Redirection] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Operation	Video Redirection	- Video Redirection - Video Redirection(HTML5)	[Console Redirection Setup] 画面で [Video Redirection] が [Enable] の場合にのみ、選択可能。

A.1.16 [Mode] 画面の設定項目

[Mode] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.16 [Mode] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Extended Partitioning Mode(setting)	Disable	• Enable • Disable •	PRIMEQUEST 3400E2/3400L2/3800E2/3800L2/3400E/3400L/3800E/3800L モデルで利用可能です
Memory Operation Mode (setting)	Normal Mode	• Normal Mode • Full Mirror Mode • Spare Mode • Address Range Mirror Mode	SB に搭載したメモリ条件により、デフォルトは変更される場合があります。
Lockstep Mode (setting)	Enable	• Enable • Disable	SB に搭載したメモリ条件により、デフォルトは変更される場合があります。
Memory Mirror RAS Mode (setting)	Mirror Keep Mode	• Mirror Keep Mode • Capacity Keep Mode	
Dynamic Reconfiguration (setting)	Disable	• Enable • Disable	PRIMEQUEST 3400E/3400L/3800E/3800L モデルで利用可能です
On board LAN Mode(setting)	Enabled(WOL disabled)	• Enabled(WOL enabled) • Enabled(WOL disabled) • Disabled	

A.1.17 [Add User]／[Edit User] 画面の設定項目

[Add User]／[Edit User] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.17 [Add User]／[Edit User] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定可能値	備考
User Name	なし	3 文字以上 32 文字以下。 [0-9]、[a-z]、[A-Z]、[「-」]、[「_」] ただし、最初の 1 文字は[a-z] [A-Z] であること。	
Password	なし	8 文字以上、32 文字以下。[0-9]、[a-z]、[A-Z]、特殊文字：! " # \$ % & ' () = - ^ ~ \ @ ` [] { } : * ; + ? < . > , / _	
Confirm Password	なし	8 文字以上、32 文字以下。[0-9]、[a-z]、[A-Z]、特殊文字：! " # \$ % & ' () = - ^ ~ \ @ ` [] { } : * ; + ? < . > , / _	
Privilege	Add User の場合：Admin Edit User の場合：現在の Privilege	• Admin • Operator • User • CE • Partition Operator	
Status	Add User の場合：Enabled Edit User の場合：現在の Status	• Enabled • Disabled	
Full Name	なし	最大 32 文字入力可能。	
Operable Partition (for Partition Operator)	なし	• オン：操作可能 • オフ：操作不可	Privilege が Partition Operator 以外の場合は、グレースアウト表示。

A.1.18 [Change Password] 画面の設定項目

[Change Password] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.18 [Change Password] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Current Password	なし	8 文字以上、32 文字以下。[0-9]、[a-z]、[A-Z]、 特殊文字：!"#\$%&'()=-^~\@'[] { } : * ; + ? < . > , / _	
New Password	なし	8 文字以上、32 文字以下。[0-9]、[a-z]、[A-Z]、 特殊文字：!"#\$%&'()=-^~\@`'[] { } : * ; + ? < . > , / _	
Confirm New Password	なし	8 文字以上、32 文字以下。[0-9]、[a-z]、[A-Z]、 特殊文字：!"#\$%&'()=-^~\@'[] { } : * ; + ? < . > , / _	

A.1.19 [Directory Service Configuration] 画面の設定項目

[Directory Service Configuration] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.19 [Directory Service Configuration] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定可能値	備考
LDAP	Disable	• Enable • Disable	
LDAP SSL	Disable	• Enable • Disable	
Directory Server Type	Active Directory	• Active Directory • Novell eDirectory • OpenLDAP • Open DS / Open DJ	
Primary LDAP Server			
LDAP Server	なし	DNS 名は 64 文字以下とします。	
LDAP Port	389		
LDAP SSL Port	636		
Backup LDAP Server			
LDAP Server	なし	DNS 名は 64 文字以下とします。	
LDAP Port	389		
LDAP SSL Port	636		
Domain Name	なし	DNS 名は 64 文字以下とします。	Directory Server Type が Active Directory の場合に 入力可能。
Base DN	なし	DN は 127 文字以下	Directory Server Type が Active Directory の場合は 入力不可。
Groups Directory as sub-tree from base DN	なし	設定は 64 文字以下	Directory Server Type に Active Directory 以外を選 択した場合、省略不可。
User Search Context	なし	設定は 64 文字以下	Directory Server Type に Active Directory 以外を選 択した場合、省略不可。

設定項目	初期値	設定可能値	備考
LDAP Group Scheme	groupOfNames	設定は 64 文字以下	Directory Server Type が Active Directory の場合も入力可能。
LDAP Member Scheme	member	設定は 64 文字以下	Directory Server Type が Active Directory の場合も入力可能。
LDAP Auth User Name	なし	3 文字以上 32 文字以下。 [0-9]、[a-z]、[A-Z]、[-]、[_] ただし、最初の 1 文字は[a-z] [A-Z] であること。	Directory Server Type が Active Directory の場合に入力可能。
LDAP Auth Password	なし	8 文字以上、32 文字以下。[0-9]、[a-z]、[A-Z]、 特殊文字：!"#\$%&'()=-^~\@'[]{}: * ; + ? < . > , / _	
Confirm Password	なし	8 文字以上、32 文字以下。[0-9]、[a-z]、[A-Z]、 特殊文字：!"#\$%&'()=-^~\@'[]{}: * ; + ? < . > , / _	
Principal User DN	なし	設定は 64 文字以下	Directory Server Type が Active Directory の場合は入力不可。
Append Base DN to Principal User DN	Disable	• Enable • Disable	Directory Server Type が Active Directory の場合は入力不可。
Bind DN	なし		この項目は表示のみ。
Enhanced User Login	Disable	• Enable • Disable	Directory Server Type が Active Directory の場合も入力可能。
User Login Search Filter	なし	設定は 64 文字以下	Directory Server Type が Active Directory の場合も入力可能。

A.1.20 [Date/Time] 画面の設定項目

[Date/Time] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.20 [Date/Time] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Date	サーバの時計での日付を表示	YYYY-MM-DD ・ YYYY：西暦 ・ MM：月 ・ DD：日	NTP が Disable の場合のみ、設定可能。
Time	サーバの時計での時刻を表示	・ Modify the Time がオン：時刻を設定します。 時：分：秒：24 時間形式 ・ Modify the Time がオフ：時刻を設定しない。	NTP が Disable の場合のみ、設定可能。
Time zone	なし	プルダウンメニューから選択	
NTP	Disable	・ Enable ・ Disable	
NTP Time Correction Mode	Step	・ Step ・ Slew	NTP が Enable の場合のみ、設定可能。
NTP Server1	なし	IPv4 の場合 0-255, 0-255, 0-255, 0-255 IPv6 の場合 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF	NTP が Enable の場合のみ、設定可能。
NTP Server2	なし	IPv4 の場合 0-255, 0-255, 0-255, 0-255 IPv6 の場合 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF	NTP が Enable の場合のみ、設定可能。
NTP Server3	なし	IPv4 の場合 0-255, 0-255, 0-255, 0-255 IPv6 の場合 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF	NTP が Enable の場合のみ、設定可能。

A.1.21 [IPv4 Interface] 画面の設定項目

[IPv4 Interface] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.21 [IPv4 Interface] 画面の設定項目

大項目	設定項目	初期値	設定可能値	備考
Virtual IP Address	Hostname	"PRIMEQUEST"+ Product Serial Number	最大 63 文字入力可能。 FQDN 形式でホスト名を 設定。 [a-z], [A-Z], [0-9], 「-」 (ハイフン), 「.」 (ドット)	- 先頭文字は英字でなければならない。 - (ハイフン)、. (ドット)を 先頭文字、末尾文字として 指定することはできない。
	IP Address	なし	0-255, 0-255, 0-255, 0-255	
	Subnet Mask	なし	0-255, 0-255, 0-255, 0-255	
	Gateway address	なし	0-255, 0-255, 0-255, 0-255	
MMB#0 IP Address	Interface	Disable	- Enable - Disable	
	Hostname (optional)	なし	最大 31 文字入力可能。 FQDN 形式でホスト名を 設定。 [a-z], [A-Z], [0-9], 「-」 (ハイフン), 「.」 (ドット)	- 先頭文字は英字でなければならない。 - (ハイフン)、. (ドット)を 先頭文字、末尾文字として 指定することはできない。
	IP Address	なし	0-255, 0-255, 0-255, 0-255	
	Subnet Mask	なし	0-255, 0-255, 0-255, 0-255	
	Gateway address	なし	0-255, 0-255, 0-255, 0-255	
MMB#1 IP Address	Interface	Disable	- Enable - Disable	
	Hostname (optional)	なし	最大 31 文字入力可能。 FQDN 形式でホスト名を 設定。 [a-z], [A-Z], [0-9], 「-」 (ハイフン), 「.」 (ドット)	- 先頭文字は英字でなければならない。 - (ハイフン)、. (ドット)を 先頭文字、末尾文字として 指定することはできない。
	IP Address	なし	0-255, 0-255, 0-255, 0-255	
	Subnet Mask	なし	0-255, 0-255, 0-255, 0-255	
	Gateway address	なし	0-255, 0-255, 0-255, 0-255	
DNS (optional)	DNS	Disable	- Enable - Disable	
	DNS Server1	なし	Primary DNS サーバの IP アドレスを設定。	

大項目	設定項目	初期値	設定可能値	備考
	DNS Server2	なし	Secondary DNS サーバの IP アドレスを設定。	
	DNS Server3	なし	Third DNS サーバの IP アドレスを設定	
Management LAN	Dualization	Disable	・ Enable ・ Disable	
Maintenance IP Address	Interface	Enable	・ Enable ・ Disable	
	IP Address	192.168.1.1	0-255, 0-255, 0-255, 0-255	
	Subnet Mask	255.255.255.0	0-255, 0-255, 0-255, 0-255	
	Gateway address	なし	0-255, 0-255, 0-255, 0-255	
	SMTP address	なし	0-255, 0-255, 0-255, 0-255	

A.1.22 [IPv6 Interface] 画面の設定項目

[IPv6 Interface] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.22 [IPv6 Interface] 画面の設定項目

大項目	設定項目	初期値	設定可能値	備考
Virtual IP Address	Hostname	"PRIMEQUEST"+ Product Serial Number	最大 63 文字入力可能。 FQDN 形式でホスト名を 設定。 [a-z], [A-Z], [0-9], 「-」 (ハイフン), 「.」 (ドット)	- 先頭文字は英字でなければならない。 -(ハイフン)、.(ドット)を 先頭文字、末尾文字として 指定することはできない。
	IP Address	なし	0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF	
	Prefix Length	なし	1～128	
	Gateway address	なし	0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF	
MMB#0 IP Address	Interface	Disable	- Enable - Disable	
	Hostname (optional)	なし	最大 31 文字入力可能。 FQDN 形式でホスト名を 設定。 [a-z], [A-Z], [0-9], 「-」 (ハイフン), 「.」 (ドット)	- 先頭文字は英字でなければならない。 -(ハイフン)、.(ドット)を 先頭文字、末尾文字として 指定することはできない。
	IP Address	なし	0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF	
	Prefix Length	なし	1～128	
	Gateway address	なし	0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF	
MMB#1 IP Address	Interface	Disable	- Enable - Disable	
	Hostname (optional)	なし	最大 31 文字入力可能。 FQDN 形式でホスト名を 設定。 [a-z], [A-Z], [0-9], 「-」 (ハイフン), 「.」 (ドット)	- 先頭文字は英字でなければならない。 -(ハイフン)、.(ドット)を 先頭文字、末尾文字として 指定することはできない。
	IP Address	なし	0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF	
	Prefix Length	なし	1～128	

大項目	設定項目	初期値	設定可能値	備考
	Gateway address	なし	0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF	
DNS (optional)	DNS	Disable	・ Enable ・ Disable	
	DNS Server1	なし	Primary DNS サーバの IP アドレスを設定。	
	DNS Server2	なし	Secondary DNS サーバ の IP アドレスを設定。	
	DNS Server3	なし	Third DNS サーバの IP アドレスを設定	
Management LAN	Dualization	Disable	・ Enable ・ Disable	
Maintenance IP Address	Interface	Disable	・ Enable ・ Disable	
	IP Address	なし	0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF	
	Prefix Length	なし	1～128	
	Gateway address	なし	0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF	
	SMTP address	なし	0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF	

A.1.23 [Management LAN Port Configuration] 画面の設定項目

[Management LAN Port Configuration] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.23 [Management LAN Port Configuration] 画面の設定項目

大項目	設定項目	初期値	設定可能値	備考
Speed/Duplex for MMB#0	User port	Auto	・ Auto ・ 100M/Full ・ 100M/Half ・ 10M/Full ・ 10M/Half	
	Maintenance port			
	REMCS port			
Speed/Duplex for MMB#1	User port	Auto	・ Auto ・ 100M/Full ・ 100M/Half ・ 10M/Full ・ 10M/Half	
	Maintenance port			
	REMCS port			

A.1.24 [Network Protocols] 画面の設定項目

[Network Protocols] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.24 [Network Protocols] 画面の設定項目

大項目	設定項目	初期値	設定可能値	備考
Web (HTTP/HTTPS)	HTTP	Enable	・ Enable ・ Disable	
	HTTP Port#	8081	80、1024～65535	
	HTTPS	Disable	・ Enable ・ Disable	
	HTTPS Port#	432	432、1024～65535	
	HTTP/HTTPS Timeout (sec)	600 秒	60～9999 秒 0：タイムアウトなし	
Telnet	Telnet	Enable	・ Enable ・ Disable	
	Telnet Port#	23	23、1024～65535	
	Telnet Timeout (sec)	600 秒	60～9999 秒 0：タイムアウトなし	
SSH	SSH	Disable	・ Enable ・ Disable	
	SSH Port#	22	22、1024～65535	
	SSH Timeout (sec)	600 秒	60～9999 秒 0：タイムアウトなし	
SNMP	SNMP Agent	Disable	・ Enable ・ Disable	
	Agent Port#	161	161、1024～65535	
	SNMP Trap	Disable	・ Enable ・ Disable	SNMP Trap を送信するには、SNMP Agent と SNMP Trap の機能を Enable にする必要があります。
	Trap Port#	162	162、1024～65535	

A.1.25 [Refresh Rate] 画面の設定項目

[Refresh Rate] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.25 [Refresh Rate] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Refresh Rate	Disable	- Enable - 秒：5～999 秒 - Disable	

A.1.26 [SNMP Community] 画面の設定項目

[SNMP Community] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.26 [SNMP Community] 画面の設定項目

大項目	設定項目	初期値	設定可能値	備考
System Information	System Location	なし	最大 63 文字入力可能。 [0-9]、[a-z]、[A-Z]、 特殊文字：! " # \$ % & ' () = - ^ ~ \ @ ` [] { } : * ; + ? < . > , / _	・ # と半角スペースは先頭文字として使用できません。 ・ 半角スペースは最後の文字として使用できません。
	System Contact	なし	最大 63 文字入力可能。 [0-9]、[a-z]、[A-Z]、 特殊文字：! " # \$ % & ' () = - ^ ~ \ @ ` [] { } : * ; + ? < . > , / _	・ # と半角スペースは先頭文字として使用できません。 ・ 半角スペースは最後の文字として使用できません。
Community	Community/User	なし	最大 31 文字入力可能。 [0-9]、[a-z]、[A-Z]、 特殊文字：! " # \$ % & ' () * + , - . / @ [] ^ _ ` { } ~	" # ' ` は、先頭文字として使用できません。
	IP Address/MASK	なし	IPv4 の場合 0-255, 0-255, 0-255, 0-255 IPv6 の場合 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF,	
	SNMP Version	1	1 2 3	
	Access	Read Only	- Read Only - Read Write	

大項目	設定項目	初期値	設定可能値	備考
	Auth	なし	• noauth • auth • priv	SNMP バージョン3が選択された場合のみ設定可能となります。SNMP バージョンに1、2が選択されている場合は、「noauth」と同等となります。

A.1.27 [SNMP Trap] 画面の設定項目

[SNMP Trap] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.27 [SNMP Trap] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Community/User	なし	最大 31 文字入力可能。 SNMP v1、v2 の場合は、SNMP Community スtringを設定。 SNMP v3 の場合は、User 名を指定。	SNMP Trap を送信するには、[Network Protocols] 画面で SNMP Agent と SNMP Trap の機能を Enable にする必要があります。
IP Address	なし	IPv4 の場合 0-255, 0-255, 0-255, 0-255 IPv6 の場合 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF	
SNMP Version	1	• 1 • 2 • 3	
Auth	なし	• noauth • auth • priv	
Auth Type	なし	• MD5 • SHA	
Auth passphrase	なし	8 文字以上 31 文字以下。 [0-9]、[a-z]、[A-Z]、 特殊文字：! " # \$ % & ' () * + , - . / @ [] ^ _ ` { } ~	
Priv passphrase	なし	8 文字以上 31 文字以下。 [0-9]、[a-z]、[A-Z]、 特殊文字：! " # \$ % & ' () * + , - . / @ [] ^ _ ` { } ~	

A.1.28 [SNMP v3 Configuration] 画面の設定項目

[SNMP v3 Configuration] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.28 [SNMP v3 Configuration] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Engine ID	なし	最大 27 文字入力可能。 [0-9]、[a-z]、[A-Z]、 特殊文字：! " # \$ % & ' () = - ^ ~ \ @ ` [] { } : * ; + ? < . > , / _	#と半角スペースは先頭文字として使用できません。 半角スペースは最後の文字として使用できません。
User Name	なし	最大 31 文字入力可能。 [0-9]、[a-z]、[A-Z]、 特殊文字：! " # \$ % & ' () * + , - . / @ [] ^ _ ` { } ~	" # ' ` は、先頭文字として使用できません。
Auth Type	MD5	- MD5 - SHA	
Auth passphrase	なし	8 文字以上 31 文字以下。 [0-9]、[a-z]、[A-Z]、 特殊文字：! " # \$ % & ' () * + , - . / @ [] ^ _ ` { } ~	" # ' ` は、先頭文字として使用できません。
Priv passphrase	なし	8 文字以上 31 文字以下。 [0-9]、[a-z]、[A-Z]、 特殊文字：! " # \$ % & ' () * + , - . / @ [] ^ _ ` { } ~	" # ' ` は、先頭文字として使用できません。

A.1.29 [Create CSR] 画面の設定項目

[Create CSR] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.29 [Create CSR] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Key length	1024	1024 2048	
Country Name	なし	ISO 国コード(英字 2 文字)	例：日本「JP」 USA「US」
State or Province Name	なし	最大 56 文字入力可能。	
Locality Name	なし	最大 56 文字入力可能。	
Organization Name	なし	最大 56 文字入力可能。	
Organization Unit Name	なし	最大 56 文字入力可能。	
Common Name	なし	最大 56 文字入力可能。	
E-Mail Address	なし	E-Mail アドレス。 最大 40 文字入力可能	

A.1.30 [Create Selfsigned Certificate] 画面の設定項目

[Create Selfsigned Certificate] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.30 [Create Selfsigned Certificate] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Key length	1024	・ 1024 ・ 2048	
Term	なし	1～4095 日	
Country Name	なし	最大 56 文字入力可能。	
State or Province Name	なし	最大 56 文字入力可能。	
Locality Name	なし	最大 56 文字入力可能。	
Organization Name	なし	最大 56 文字入力可能。	
Organization Unit Name	なし	最大 56 文字入力可能。	
Common Name	なし	最大 56 文字入力可能。	
E-Mail Address	なし	E-Mail アドレス。 最大 40 文字入力可能	

A.1.31 [Edit User] 画面の設定項目

[Edit User] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.31 [Edit User] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定可能値	備考
User Name	なし	3 文字以上、16 文字以下。 [0-9]、[a-z]、[A-Z]	
Password	なし	8 文字以上、16 文字以下。 [0-9]、[a-z]、[A-Z]	
Confirm Password	なし	8 文字以上、16 文字以下。 [0-9]、[a-z]、[A-Z]	
Privilege	Add User の場合 : Admin Edit User の場合 : 現在の Privilege	・ Admin ・ Operator ・ User ・ CE ・ No Access	
Status	Disabled	・ Enabled ・ Disabled	

A.1.32 [Add Filter]／[Edit Filter] 画面の設定項目

[Add Filter]／[Edit Filter] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.32 [Add Filter]／[Edit Filter] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Protocol	SSH	- HTTP - HTTPS - Telnet - SSH - SNMP - RMCP (*)	*) PRIMEQUEST 3400S2 Lite/3400S2/3400E2/3400L2/3800E2/3800L2 では PB20021 版以降のファームウェアで表示されます。 PRIMEQUEST 3400S Lite/3400S/3400E/3400L/3800E/3800L では PA20021 版以降のファームウェアで表示されます。
Access Control	Disable	- Enable - Disable	
IP Address	なし	IPv4 の場合 0-255, 0-255, 0-255, 0-255 IPv6 の場合 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF	
Subnet Mask/ Prefix Length	なし	IPv4 の場合 0-255, 0-255, 0-255, 0-255 IPv6 の場合 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF, 0-FFFF	

A.1.33 [Alarm E-Mail] 画面の設定項目

[Alarm E-Mail] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.33 [Alarm E-Mail] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Alarm E-Mail	Disable	• Enable • Disable	
From	なし	最大 63 文字入力可能。 E-Mail アドレス	[Use envelope "from" address] チェックボックスをオンにすると、[From:] のアドレスを送信元の E-Mail アドレスとして設定し、メールを送信します。デフォルトはオフ。
To	なし	最大 255 文字入力可能。 E-Mail アドレス	複数指定する場合は「,」（カンマ）で区切る。
SMTP Server	なし	最大 63 文字入力可能。 SMTP サーバの IP アドレスまたは FQDN1	
Subject	なし	最大 63 文字入力可能。 [0-9]、[a-z]、[A-Z]、 特殊文字：!#" \$ % & ' () * + - . / _ ~ スペース	

A.1.34 [Alarm E-Mail Filtering Condition] 画面の設定項目

[Alarm E-Mail Filtering Condition] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.34 [Alarm E-Mail Filtering Condition] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Severity	すべてオン	• Error • Warning • Info (複数選択可)	
Partition	All	• All • Specified (複数選択可)	Specified を選択した場合は、表示する Partition をオンにします。
Unit	All	• All • Specified	Specified を選択した場合は、表示する Unit をオンにします。
Source	All	• All • Specified	Specified を選択した場合は、表示する Source をオンにします。

A.2 ビデオリダイレクションの設定項目

iRMC の設定項目の初期値と設定可能値を、画面ごとに一覧で示します。

- [A.2.1 \[Video\] 画面の設定項目](#)
- [A.2.2 \[Keyboard\] 画面の設定項目](#)
- [A.2.3 \[Mouse\] 画面の設定項目](#)
- [A.2.4 \[Options\] 画面の設定項目](#)

A.2.1 [Video] 画面の設定項目

[Video] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.35 [Video] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定値	備考
Low Bandwidth Mode	Normal	• Normal • 8bpp • 8bpp B&W • 16bpp	
Settings			
Video Length Seconds	20	1-1800	
Video to be Saved			
Normalized video resolution to 1024x768	Checked(Enabled)	• Checked(Enabled) • No checked(Disabled)	

A.2.2 [Keyboard] 画面の設定項目

[Keyboard] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.36 [Keyboard] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Host Physical Keyboard	Auto Detect	• Auto Detect • English (United States) • English (United Kingdom) • French • French (Belgium) • German (Germany) • German (Switzerland) • Japanese • Spanish • Italian • Danish • Finnish • Norwegian (Norway) • Portuguese • Swedish • Dutch (Netherland) • Dutch (Belgium) • Turkish - F • Turkish - Q	

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Soft Keyboard		• English (United States) • English (United Kingdom) • Spanish • French • German (Germany) • Italian • Danish • Finnish • German (Switzerland) • Norwegian (Norway) • Portuguese(Portugal) • Swedish • Hebrew • French (Belgium) • Dutch (Netherlands) • Dutch (Belgium) • Russian (Russia) • Japanese(QWERTY) • Japanese(Hiragana) • Japanese(Katakana) • Turkish - F • Turkish - Q	

A.2.3 [Mouse] 画面の設定項目

[Mouse] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.37 [Mouse] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定値	備考
Mouse Mode	Absolute mouse mode	- Absolute mouse mode - Relative mouse mode - Hide mouse mode	

A.2.4 [Options] 画面の設定項目

[Options] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.38 [Options] 画面の設定項目

設定項目		初期値	設定値	備考
Window Size		Actual Size	- Actual Size - Fit to Client Resolution - Fit to Host Resolution	
GUI Languages		EN-English	- DE - Deutsch - EN - English - JA - 日本語	
Block Privilege Request	Allow only Video	No checked	- Checked(Enabled) - No Checked(Disabled)	
	Deny Access	No checked	- Checked(Enabled) - No Checked(Disabled)	

A.3 ビデオリダイレクション(HTML5)の設定項目

iRMC の設定項目の初期値と設定可能値を、画面ごとに一覧で示します。

- [A.3.1 \[Video\] 画面の設定項目](#)
- [A.3.2 \[Mouse\] 画面の設定項目](#)
- [A.3.3 \[Options\] 画面の設定項目](#)
- [A.3.4 \[Keyboard\] 画面の設定項目](#)
- [A.3.5 \[Video Record\] 画面の設定項目](#)

A.3.1 [Video] 画面の設定項目

[Video] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.39 [Video] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定値	備考
Host Display	Display ON	・ Display ON ・ Display OFF	

A.3.2 [Mouse] 画面の設定項目

[Mouse] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.40 [Mouse] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定値	備考
Show Client Cursor	Checked(Enabled)	・ Checked(Enabled) ・ No checked(Disabled)	

A.3.3 [Options] 画面の設定項目

[Options] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.41 [Options] 画面の設定項目

設定項目		初期値	設定値	備考
Block Privilege Request	Partial Permission	No checked	・ Checked(Enabled) ・ No checked(Disabled)	
	No Permission	No checked	・ Checked(Enabled) ・ No checked(Disabled)	

A.3.4 [Keyboard] 画面の設定項目

[Keyboard] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.42 [Keyboard] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定可能値	備考
Keyboard Layout	English U.S	- English U.S - German - Japanese	

A.3.5 [Video Record] 画面の設定項目

[Video Record] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.43 [Video Record] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定値	備考
Record Settings			
Video Length Seconds	20	1-1800	

A.4 eLCM リダイレクションの設定項目

iRMC の設定項目の初期値と設定可能値を、画面ごとに一覧で示します。

- A.4.1 [Tools]→[Deployment] 画面の設定項目
- A.4.2 [Tools]→[Custom Image] 画面の設定項目
- A.4.3 [Tools]→[Certificates] 画面の設定項目
- A.4.4 [Settings]→[Network Management] 画面の設定項目
- A.4.5 [Settings]→[Services] 画面の設定項目

A.4.1 [Tools]→[Deployment] 画面の設定項目

[Tools]→[Deployment] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.44 [Tools]→[Deployment] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定値	備考
Update Service Platform			
Operating System Category	All		
Operating System Types			
Deployment Process			
Default Boot Mode	・ PC compatible (legacy)	・ PC compatible (legacy) ・ Extensible Firmware Interface Boot (EFI)	

A.4.2 [Tools]→[Custom Image] 画面の設定項目

[Tools]→[Custom Image] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.45 [Tools]→[Custom Image] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定値	備考
Download Custom Images			
Custom Image URL			
Image Description			
Proxy Server			
Use Proxy Server	No checked	・ Checked (Enabled) ・ No checked (Disabled)	

A.4.3 [Tools]→[Certificates] 画面の設定項目

[Tools]→[Certificates] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.46 [Tools]→[Certificates] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定値	備考
Current SSL/TLS Certificate			
Generate certificate dialog			
Common Name (CN)			
Organization (O)			
Organization Unit (OU)			
Country (C)		ISO 国コード(英字 2 文字)	
State or Province (ST)			
City or Locality (L)			
Email address			
Valid For (days)	730		
Key Length (bits)	2048	1024 2048 4096	

A.4.4 [Settings]→[Network Management] 画面の設定項目

[Settings]→[Network Management] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.47 [Settings]→[Network Management] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定値	備考
Proxy Server			
Server Address		0-255, 0-255, 0-255, 0-255 または、 FQDN 形式でホスト名を設定。 [a-z], [A-Z], [0-9], 「-」 (ハイフン), 「.」 (ドット)	
Server Port	0	1 - 65535	
User Name			
User Password			
Confirm User Password			

A.4.5 [Settings]→[Services] 画面の設定項目

[Settings]→[Services] 画面の設定項目の初期値と設定可能値を、一覧で示します。

表 A.48 [Settings]→[Services] 画面の設定項目

設定項目	初期値	設定値	備考
Update and Deployment			
Update			
Repository Location	https://support.ts.fujitsu.com		
Proxy Server			
Use Proxy Server	No checked	・ Checked(Enabled) ・ No checked(Disabled)	
Deployment			
Repository Location	https://webdownloads.ts.fujitsu.com		
Proxy Server			
Use Proxy Server	No checked	・ Checked(Enabled) ・ No checked(Disabled)	

FUJITSU